

相模原市障害福祉計画等策定基礎調査

報 告 書

令和5年3月

相 模 原 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	アンケート調査の概要	1
3	ヒアリング調査の概要	2
4	この報告書の見方	3
II	障害のある人へのアンケート調査の結果	4
1	回答者の属性	4
(1)	調査の回答者	4
(2)	性別	5
(3)	年齢	6
(4)	地区	7
(5)	障害者手帳の取得状況	8
(6)	障害者手帳の種別と等級	9
(7)	身体障害の種別と等級	14
(8)	自立支援医療（精神通院）の受給、障害の診断などの状況	20
(9)	障害支援区分	21
(10)	介護保険制度における要介護度	22
(11)	介護保険によるサービスの利用状況	23
(12)	利用している介護保険によるサービス	24
(13)	現在の生活拠点	27
(14)	一緒に生活している人	28
(15)	主に介護・介助している人	31
(16)	受けている介護・介助の充足度	37
(17)	受けている介護・介助の内容	39
(18)	主な介護・介助者の健康状態	45

2	今後の暮らし方について	47
(1)	これから先の希望する生活	47
(2)	将来親や親族が病気などで一緒に生活できなくなったときに希望する生活	48
(3)	病院に入院してからの経過期間	50
(4)	退院して地域で生活することへの希望	52
(5)	今後地域で生活していくために必要なこと	52
(6)	休日など時間があるときに希望する過ごし方	53
(7)	希望する過ごし方の実現状況	56
(8)	かかりつけ医療機関の有無	57
(9)	かかりつけの医療機関・受診科	58
3	収入について	59
(1)	主な収入	59
(2)	働いて得ている1か月あたりの給料・報酬・事業収入・工賃	61
(3)	年金・手当・生活保護費・親族からの援助なども含めた1か月あたりの全収入	63
(4)	現在の市重度障害者等福祉手当の受給状況	65
(5)	重度障害者等福祉手当の主な使い道	66
4	教育について	68
(1)	現在の通学・通園・通所	68
(2)	学校(学園)生活をするうえで困っていること	70
(3)	学校(学園)生活をするうえで家族が負担を感じていること	72
(4)	長期休業中や放課後の活動についての希望	73
(5)	高等学校などを終了した後の進路希望	75
(6)	将来の進路のために希望すること	77
5	相談や福祉の情報について	79
(1)	いまの生活で困っていること	79
(2)	将来の生活で心配なこと	82
(3)	現在の困りごとや将来の心配の相談相手	86
(4)	気軽に相談するために必要だと思うこと	92
(5)	新型コロナウイルス感染症の流行が発生する前からの変化	95
(6)	新型コロナウイルス感染症の流行によるストレス	96
(7)	新型コロナウイルス感染症の流行による生活の改善	98
(8)	福祉サービスの情報の入手方法	100
(9)	パソコン・スマートフォン等の利用状況	103
(10)	パソコン・スマートフォン等での福祉サービスの申請や手続の希望	105
(11)	パソコン・スマートフォン等での福祉サービスの申請や手続を希望しない理由	106
(12)	福祉サービスの情報を知るために困ったこと	108

6	日中活動・就労について	110
(1)	平日の日中の主な過ごし方	110
(2)	障害があることで仕事をする上で不安や不満を感じること	112
(3)	日中活動や就労等をしていない理由	114
(4)	今後の就労希望	116
(5)	希望する勤務場所	118
(6)	希望する職種	120
(7)	希望する勤務形態	123
(8)	働く上で必要な条件	125
7	外出やバリアフリーについて	129
(1)	通院以外の外出の頻度	129
(2)	主な外出先	131
(3)	主な移動手段	134
(4)	主に一緒に外出する人	136
(5)	外出時の困りごとの有無	138
(6)	外出しやすくなるために希望すること	140
(7)	福祉タクシー利用券又は自動車燃料給油券の受給状況	143
(8)	福祉タクシー利用券の利用	145
(9)	自動燃料給油券の利用	147
(10)	福祉タクシー利用券又は自動車燃料給油券を利用する際の行先	148
(11)	スポーツの実施頻度	149
(12)	一緒にスポーツをする人	150
(13)	スポーツをしていない理由	153
(14)	現在の近所づきあい	159
(15)	今後の近所づきあいの希望	160
8	福祉サービスについて	162
(1)	福祉サービスの利用状況	162
(2)	利用している福祉サービス	164
(3)	福祉サービスを利用するときに困ったこと	167
9	権利擁護について	169
(1)	障害があることを理由とした差別を受けた・差別されたと感じた経験の有無	169
(2)	権利擁護に関する制度の認知度と今後の利用意向	171
10	災害対策について	175
(1)	災害発生時の不安	175
(2)	災害発生時の自宅以外の避難場所の有無・避難場所の認知度	179

11	ピアサポート活動について	180
	(1) 同じ障害や病気をもつ人への支援をしたいと思うか	180
	(2) 同じ障害や病気をもつ人へ支援する上で役立てたい経験	181
	(3) 同じ障害や病気をもつ人へ支援する上で心配なこと	182
12	啓発について	184
	(1) 「共にささえあい 生きる社会」のキャッチフレーズやデザインの認知度	184
	(2) 誰もが地域で生活できるよう地域の理解を進めるために力を入れるべきこと	186
	(3) 障害者の「害」という表記について	189
	(4) 障害のある人が安心して生活するために望むこと	191

Ⅲ 市民アンケート調査の結果 197

1	回答者の属性	197
	(1) 性別	197
	(2) 年齢	197
	(3) 一緒に住んでいる家族の人数	198
	(4) 相模原市での居住年数	199
	(5) 居住地区	200
	(6) 現在の仕事	201
	(7) 障害のある知り合いの有無	203
	(8) 障害のある人たちへの関心	203
	(9) 障害のある人との活動経験	204
2	障害のある人に対する理解について	205
	(1) 障害者虐待防止法の認知度	205
	(2) 障害者差別解消法の認知度	205
	(3) 相模原市内での障害を理由とする差別や偏見の有無	206
	(4) 障害のある人に対する差別や偏見の改善状況	207
	(5) 普段の生活の中での障害のある人への対応や理解の状況	208
	(6) 障害のある人への対応や理解が足りていない状況	209
	(7) 「共にささえあい 生きる社会」のキャッチフレーズやデザインの認知度	212
	(8) 障害のある人への市民の理解を深めるために必要なこと	213

3	障害のある人への支援・ボランティアなどについて	215
	(1) 福祉に関するボランティア活動への関心の有無	215
	(2) 福祉に関するボランティア活動経験の有無	215
	(3) 福祉に関するボランティア活動の内容	216
	(4) 福祉に関するボランティア活動についての考え	217
	(5) 障害のある人にしてみたい支援や活動	219
4	障害のある人の就労・教育などについて	221
	(1) 障害のある人の雇用を進めることについての考え	221
	(2) 障害のある人の雇用を進める必要がないと思う理由	222
	(3) 障害のある人が働くために必要だと思う条件	223
	(4) 障害のある児童・生徒の就学環境の整備	225
	(5) 障害のある児童・生徒の就学環境の整備について必要だと思うこと	226
5	福祉のまちづくりについて	227
	(1) まちの環境が障害のある人が外出しやすく改善されているか	227
	(2) 障害のある人にとっての施設などの利用しやすさ	228
6	相模原市の障害者施策について	233
	(1) 相模原市は障害のある人にとって暮らしやすいまちだと思うか	233
	(2) 障害のある人にとって暮らしやすいまちになるために重点的に取り組むべき分野	234
	(3) 障害者の「害」という表記についての考え	237
IV	自由意見	238
1	障害のある人	238
	(1) 身体障害者 (106 件)	238
	(2) 知的障害者 (114 件)	241
	(3) 精神障害者 (144 件)	244
	(4) 難病患者 (99 件)	248
	(5) 重度心身障害児者 (102 件)	250
	(6) 発達障害者 (61 件)	253
2	市民	256

V	ヒアリング調査の結果.....	259
1	障害等の理解・啓発について	259
2	権利擁護について	259
3	相談支援について	260
4	福祉・保健・医療サービスについて	261
5	教育・育成について	262
6	就労について	263
7	生活環境について	263
8	防犯・防災について	264
9	余暇活動・文化活動について	264
10	その他	264
VI	調査結果のまとめ.....	265
1	障害等の理解・啓発について	265
2	権利擁護について	265
3	相談支援について	266
4	福祉・保健・医療サービスについて	266
5	教育・育成について	267
6	就労について	267
7	生活環境について	268
8	防犯・防災について	268
9	余暇活動・文化活動について	268
10	新型コロナウイルス感染症について	269
11	その他	269
	(参考) 調査票.....	270
1	障害のある人（共通）	270
2	精神障害者	304
3	市民	347

I 調査の概要

1 調査の目的

相模原市障害福祉計画等の策定にあたり、市内に居住する障害者等を対象とした障害者施策等に関するアンケート調査、及び障害福祉団体等を対象としたヒアリング調査を、障害者の実情や福祉をはじめとする各種施策のニーズと市民の意識等を把握する目的で実施しました。

2 アンケート調査の概要

(1) 調査地域 相模原市

(2) 調査対象 相模原市居住の①身体障害者、②知的障害者、③精神障害者、④難病患者、
⑤重症心身障害児者、⑥発達障害者、⑦市民

(3) 抽出方法・標本数

調査対象	抽出方法	標本数
① 身体障害者	身体障害者手帳所持者から無作為抽出	630
② 知的障害者	療育手帳所持者から無作為抽出	610
③ 精神障害者	精神障害者保健福祉手帳所持者から無作為抽出	630
④ 難病患者	特定医療費（指定難病）医療受給者証所持者から無作為抽出	600
⑤ 重症心身障害児者	市内に住民登録のある重症心身障害児者	238
⑥ 発達障害者	療育手帳所持者からB 2-2項該当者を無作為抽出	360
⑦ 市民	18歳以上の市民から無作為抽出	640
合 計		3,708

(4) 調査方法 郵送による配付・郵送またはオンラインによる回答

(5) 調査期間 令和4年12月13日（火）～令和4年12月28日（水）

(6) 回収結果

調査対象	配付数	有効回収数	有効回収率
① 身体障害者	630票	415票	65.9%
② 知的障害者	610票	331票	54.3%
③ 精神障害者	630票	328票	52.1%
④ 難病患者	600票	385票	64.2%
⑤ 重症心身障害児者	238票	138票	58.0%
⑥ 発達障害者	360票	180票	50.0%
⑦ 市民	640票	300票	46.9%
合 計	3,708票	2,077票	56.0%

3 ヒアリング調査の概要

- (1) 調査地域 相模原市
 (2) 調査対象 相模原市内の障害福祉団体、特別支援学校、障害福祉サービス事業所等
 (3) 調査方法 事前にヒアリング調書を郵送し、その回答内容に基づき必要に応じて、団体等にヒアリング調査を実施しました。
 (4) 調査の対象

i 障害福祉団体（22団体）

①生きる会	⑫あすなろ会
②相模原市車いす友の会	⑬エンジェル会
③相模原市肢体障害者協会	⑭相模原市自閉症児・者親の会（相模原やまびこ会）
④天命会	⑮（一社）相模原市手をつなぐ育成会
⑤相模原失語症友の会	⑯わたげ
⑥相模原市視覚障害者協会	⑰あしたば会（相模原市精神障がい者仲間の会）
⑦相模原市腎友会	⑱ヴォイス
⑧相模原市聴覚障害者協会	⑲ボルトナット会
⑨(特非)相模原市難聴者協会・土の会	⑳みどり会(相模原市精神保健福祉家族会みどり会)
⑩ハイジの会	㉑四つ葉会
⑪藤野たんぼぼの会	㉒相模原市障害者地域作業所等連絡協議会

ii 特別支援学校（4校）

①神奈川県立相模原養護学校	③神奈川県立津久井養護学校
②神奈川県立相模原中央支援学校	④神奈川県立座間養護学校

iii 障害福祉サービス事業所等（14施設）

①相模原市立上九沢身体障害者デイサービスセンター	⑧たんぼぼの家
②かわせみ荘	⑨カモミール横山台
③くりのみ学園	⑩ヘルパーステーション千代田
④ワゲン療育病院長竹	⑪サポートルーム ぼっちぼっち
⑤児童発達支援センターいっぼ	⑫あみ
⑥こども広場 ワンダーステップ	⑬ワークショップ・フレンド
⑦やまびこ工房	⑭相模原療育園

(5) 調査項目

- 基礎項目（会員数、職員数、利用施設等）
- 目標及び活動の内容
- 目標の達成に向けての課題（活動、組織・人員、その他）
- 地域福祉、地域生活について（意見・要望、団体としての取り組み、市に期待する取り組み）
- 市の障害福祉施策に関する意見・要望
- 障害者の「害」という表記について
- その他
- ヒアリング実施希望の有無

4 この報告書の見方

- (1) 図表中の「n」は、各質問の回答者数を示します。
- (2) 調査結果の比率は、nを基数として比率を算出し、小数点以下第2位を四捨五入して1位まで示しました。したがって、すべての選択肢の比率を合計しても100.0%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の設問では、nを基数として比率を算出しているため、すべての選択肢の比率は通常100.0%を超えます。
- (4) クロス集計による分析では、年齢などの分析項目とした質問に無回答である層の結果を表示していません。しかし全体の基数（n）には含めているため、分析項目とした質問のすべての層の基数（n）の合計は、全体の基数（n）に一致しない場合があります。

II 障害のある人へのアンケート調査の結果

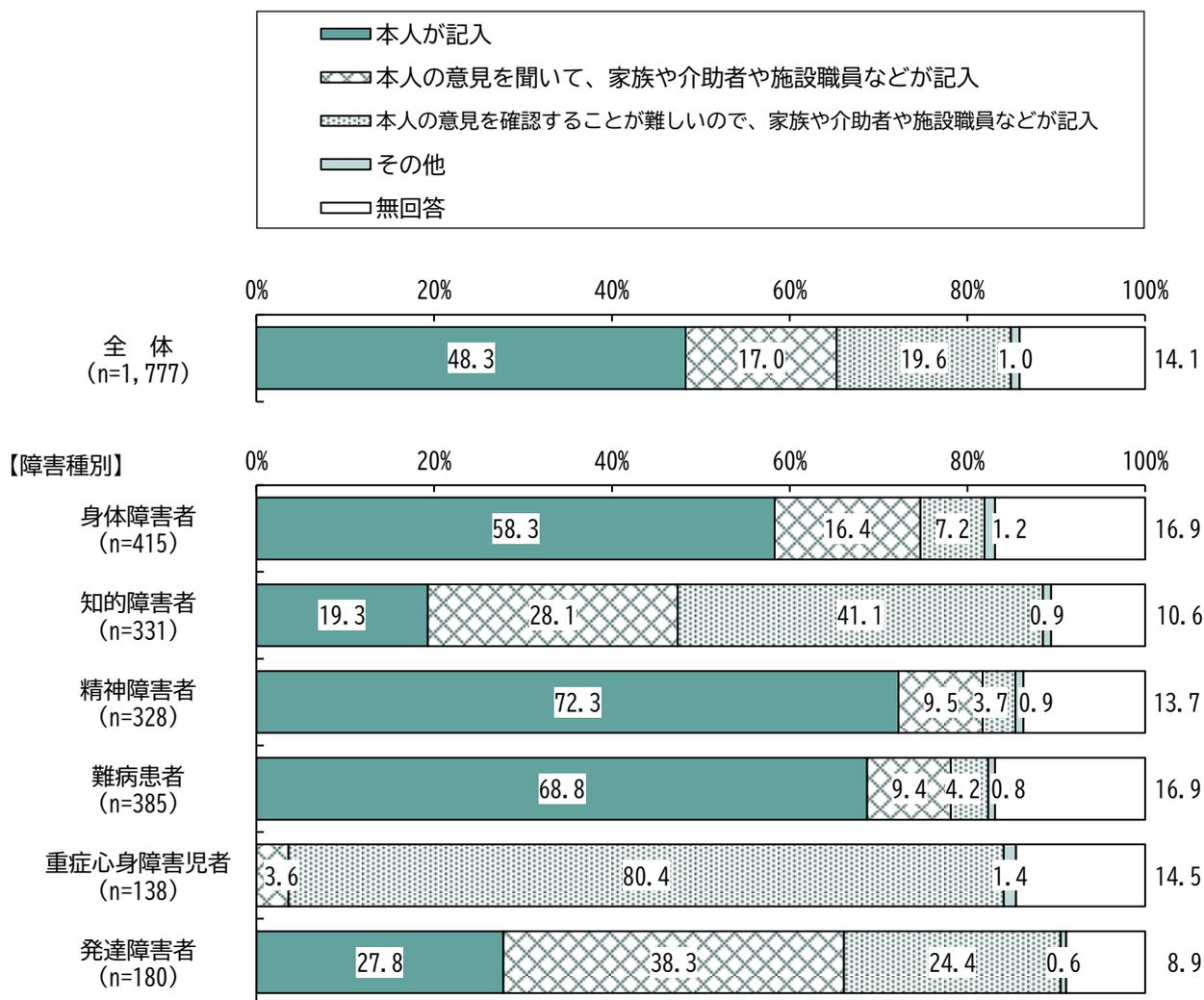
1 回答者の属性

(1) 調査の回答者

この調査票に記入していただくのはどなたですか。(○は1つ)

「本人が記入」が48.3%、「本人の意見を聞いて、家族や介助者や施設職員などが記入」が17.0%、「本人の意見を確認することが難しいので、家族や介助者や施設職員などが記入」が19.6%などとなっています。

障害種別にみると、“知的障害者”、“重症心身障害児者”では「本人の意見を確認することが難しいので、家族や介助者や施設職員などが記入」が最も多くなっています。また、“発達障害者”では「本人の意見を聞いて、家族や介助者や施設職員などが記入」が最も多くなっています。

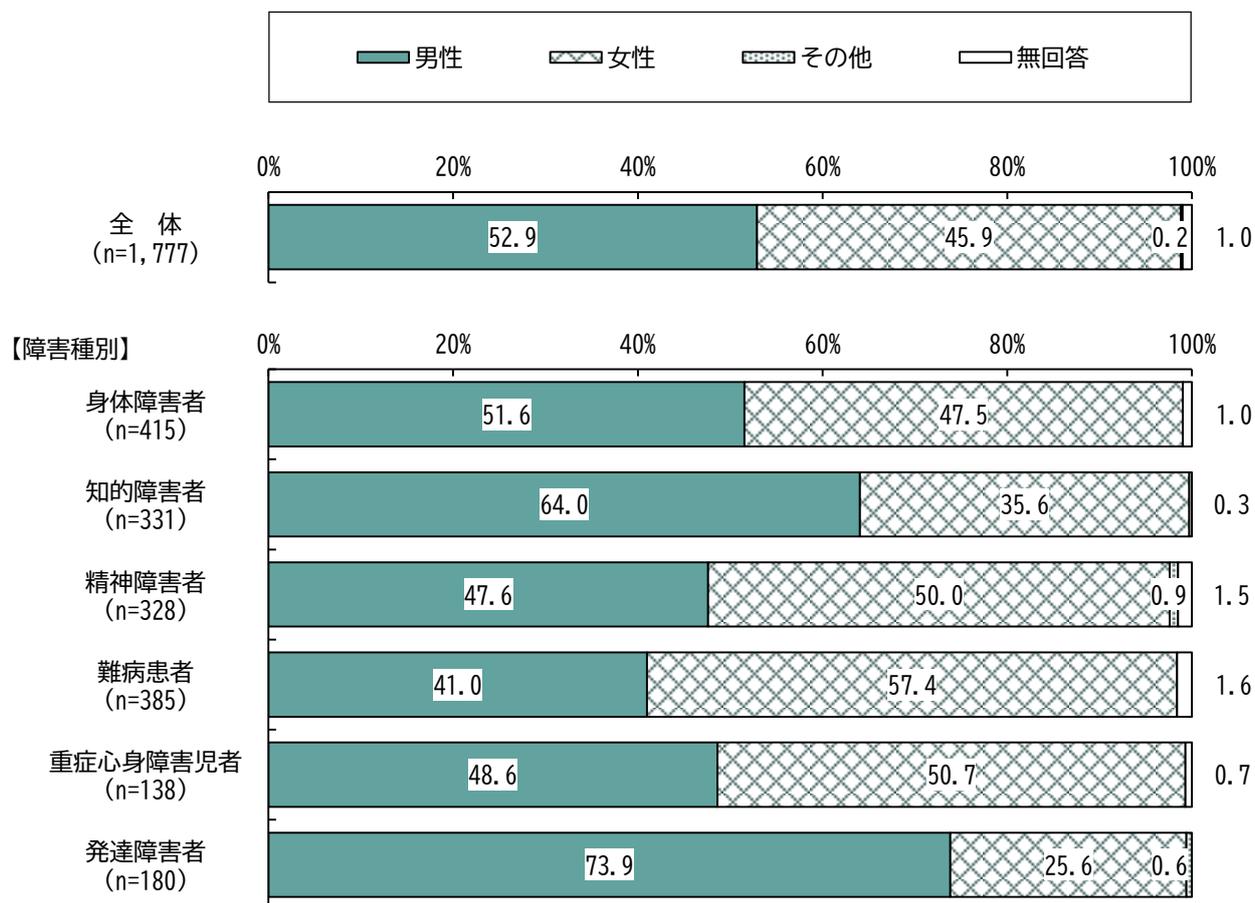


(2) 性別

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

「男性」が52.9%、「女性」が45.9%となっています。

障害種別にもと、「精神障害者」、「難病患者」、「重症心身障害児者」では「女性」のほうが多くなっています。

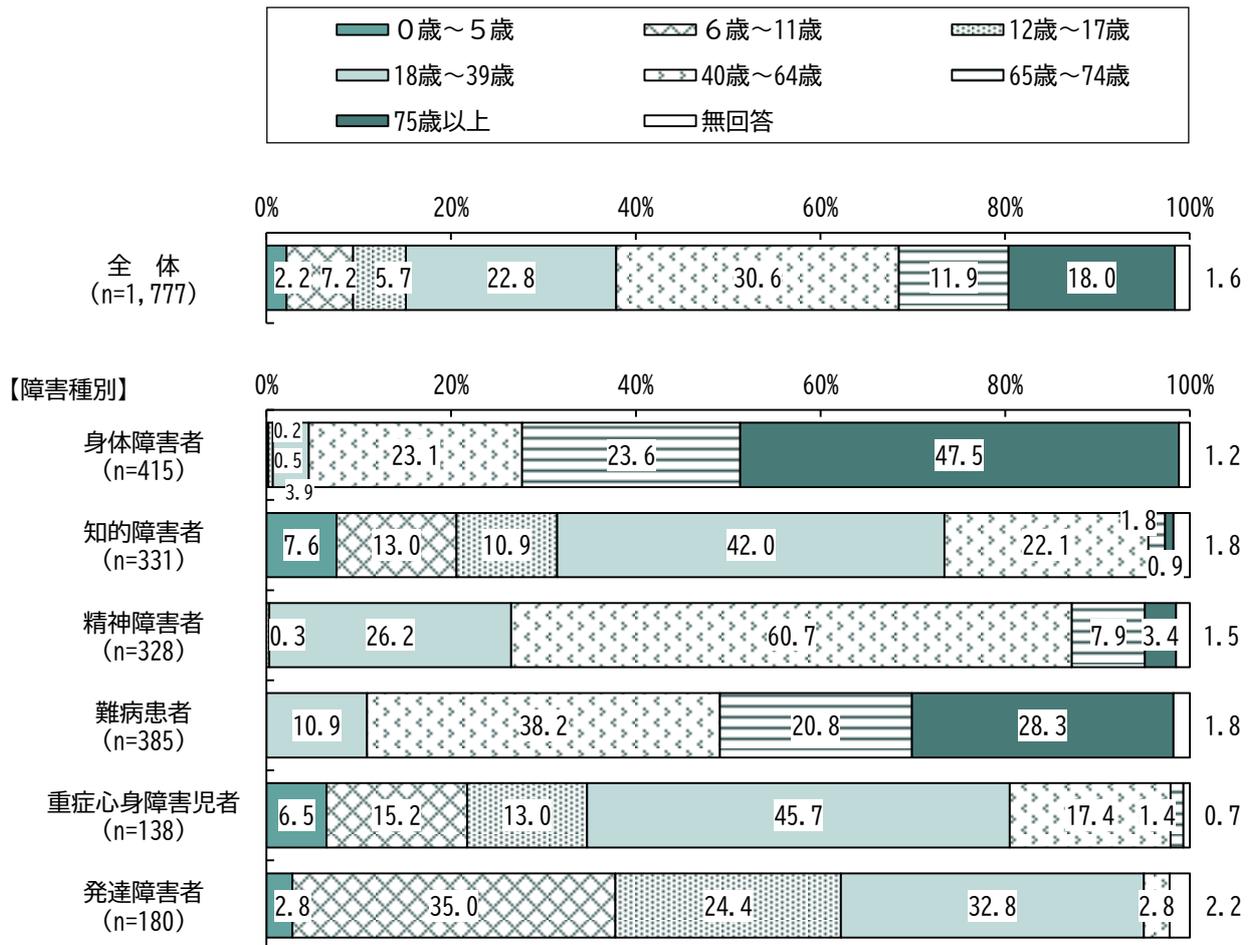


(3) 年齢

問2 年齢（令和4年12月1日現在）はおいくつですか。（数字を記入）

「40歳～64歳」が30.6%と最も多く、次いで「18歳～39歳」が22.8%、「75歳以上」が18.0%などとなっています。

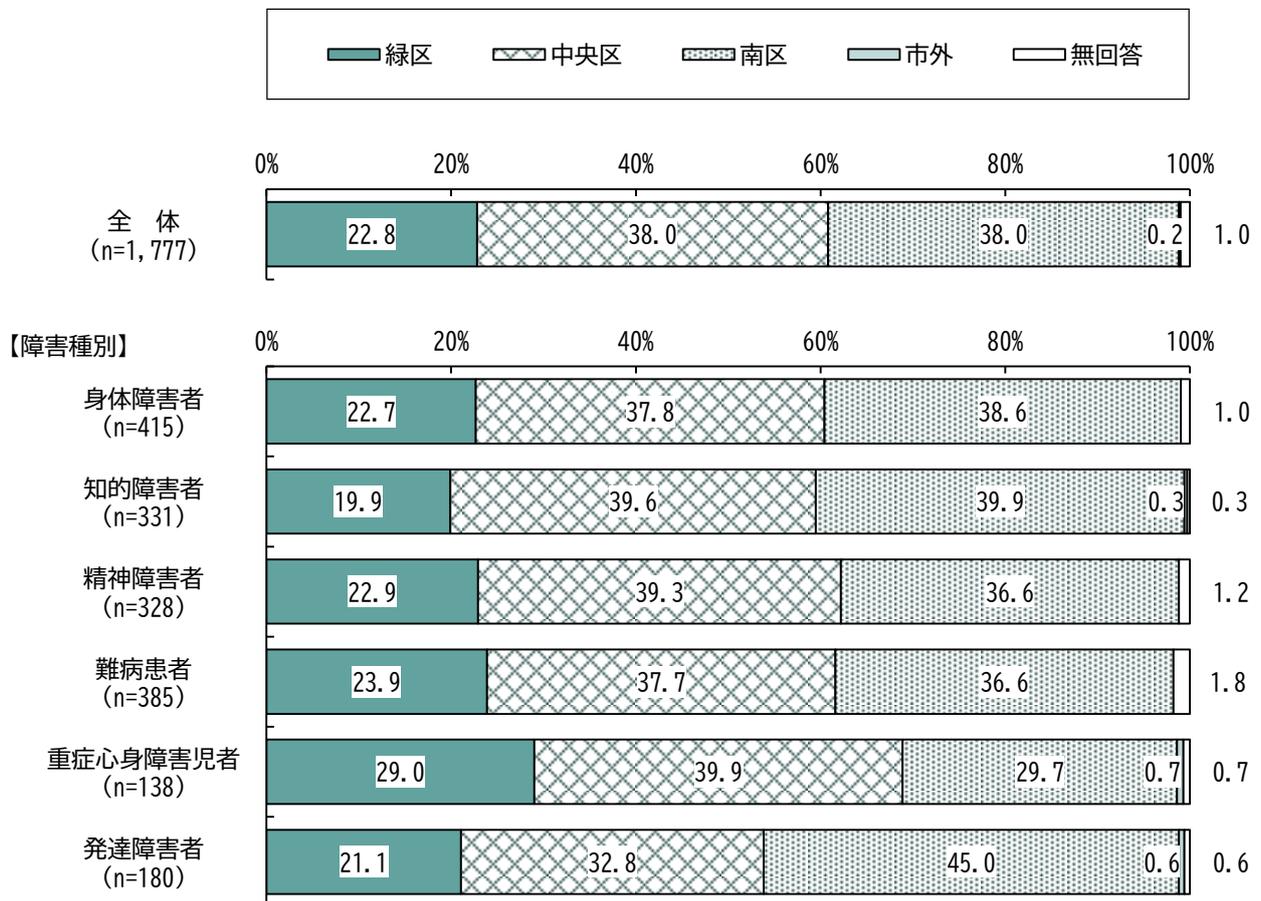
障害種別によると、“身体障害者”では「75歳以上」が最も多くなっています。また、“知的障害者”、“重症心身障害児者”では「18歳～39歳」が最も多くなっています。また、“発達障害者”では「6歳～11歳」が最も多くなっています。



(4) 地区

問3 現在のお住まいの地区はどこですか。(〇は1つ)

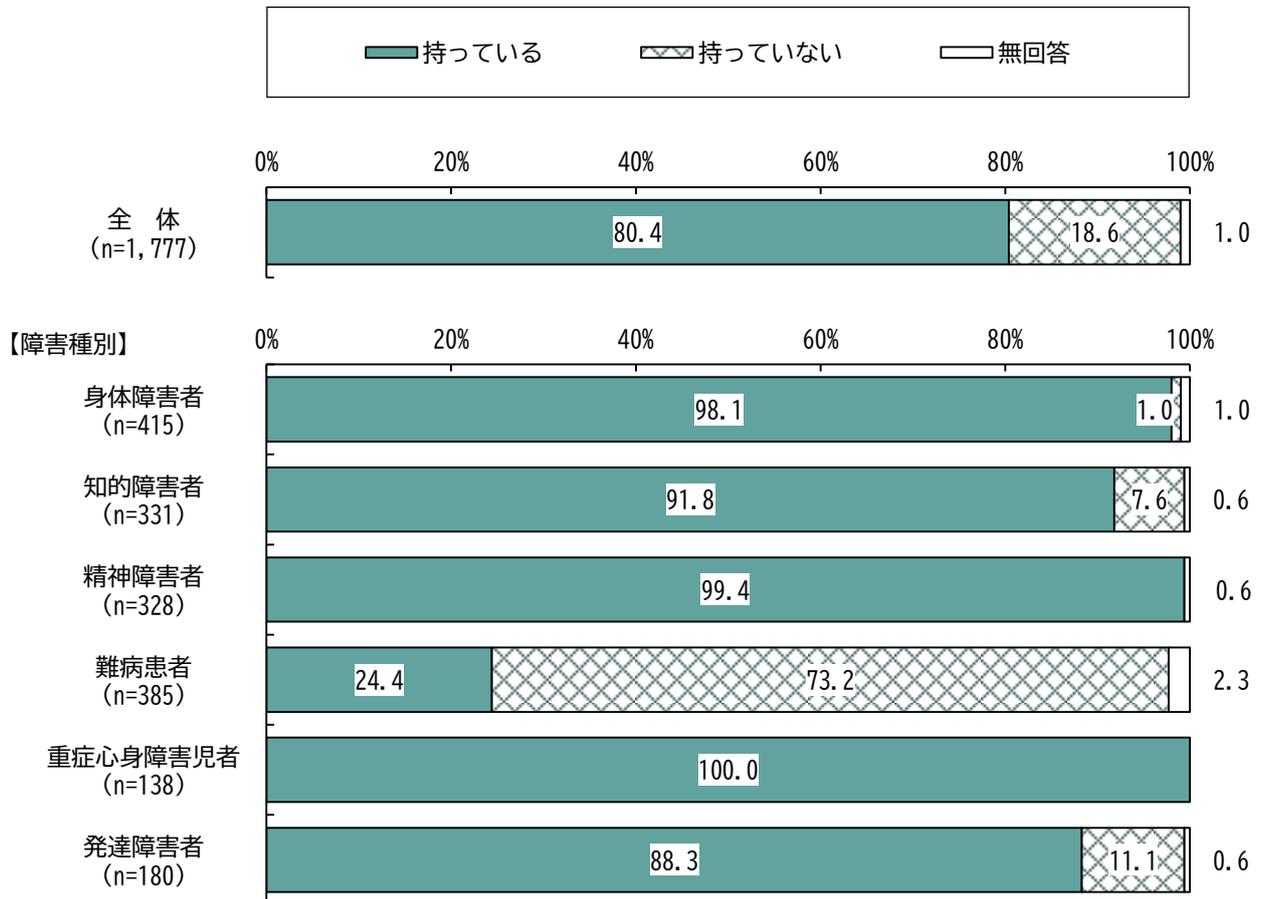
「緑区」が22.8%、「中央区」が38.0%、「南区」が38.0%、「市外」が0.2%となっています。
障害種別にみると、「発達障害者」では「南区」が最も多くなっています。



(5) 障害者手帳の取得状況

問4 障害者手帳はお持ちですか。(○は1つ)

障害者手帳の所持は、「持っている」が80.4%、「持っていない」が18.6%となっています。
障害種別にみると、“難病患者”では「持っていない」のほうが多くなっています。



(6) 障害者手帳の種別と等級

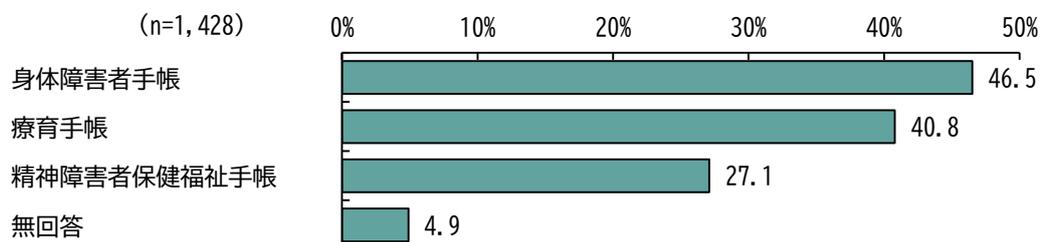
問4-1 問4で「1 持っている」とお答えの方のうち、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方にお聞きします。現在お持ちの障害者手帳の等級は何級ですか。

(○はいくつでも)

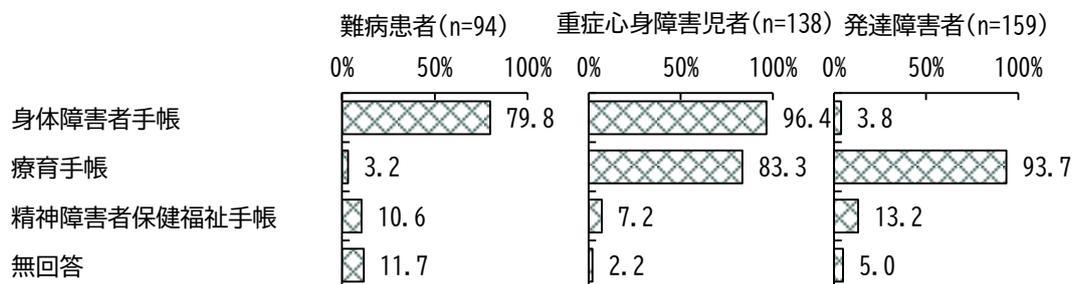
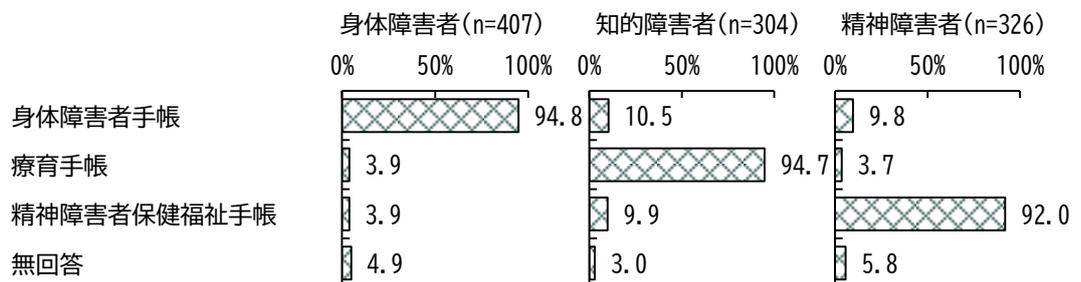
問4-2 問4で「1 持っている」とお答えの方のうち、身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きします。現在お持ちの障害者手帳の総合等級は何級ですか。(○は1つ)

持っている障害者手帳の種別は、「身体障害者手帳」が46.5%と最も多く、次いで「療育手帳」が40.8%、「精神障害者保健福祉手帳」が27.1%となっています。

障害種別によると、「知的障害者」、「発達障害者」では「療育手帳」が最も多くなっています。また、「精神障害者」では「精神障害者保健福祉手帳」が最も多くなっています。

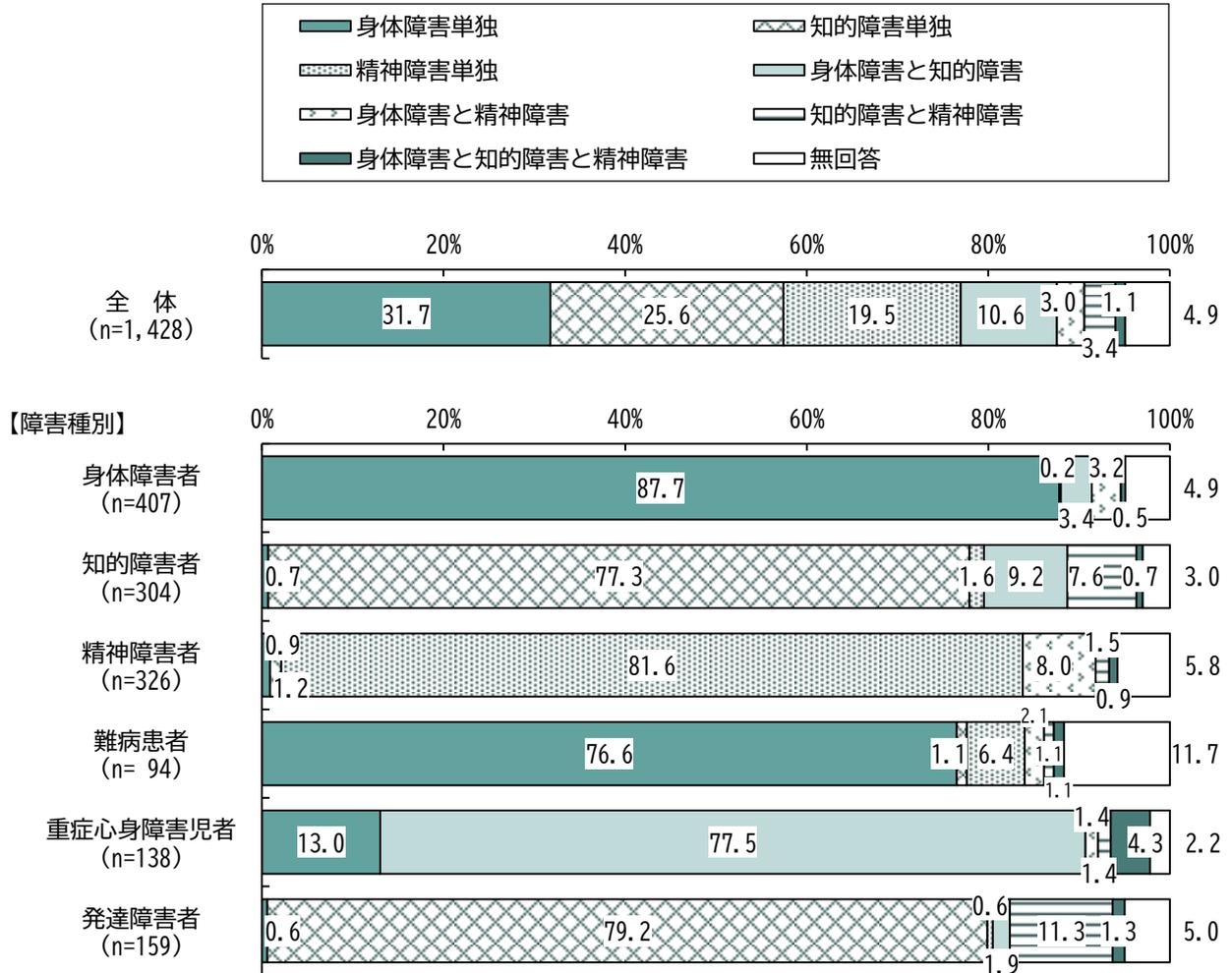


【障害種別】



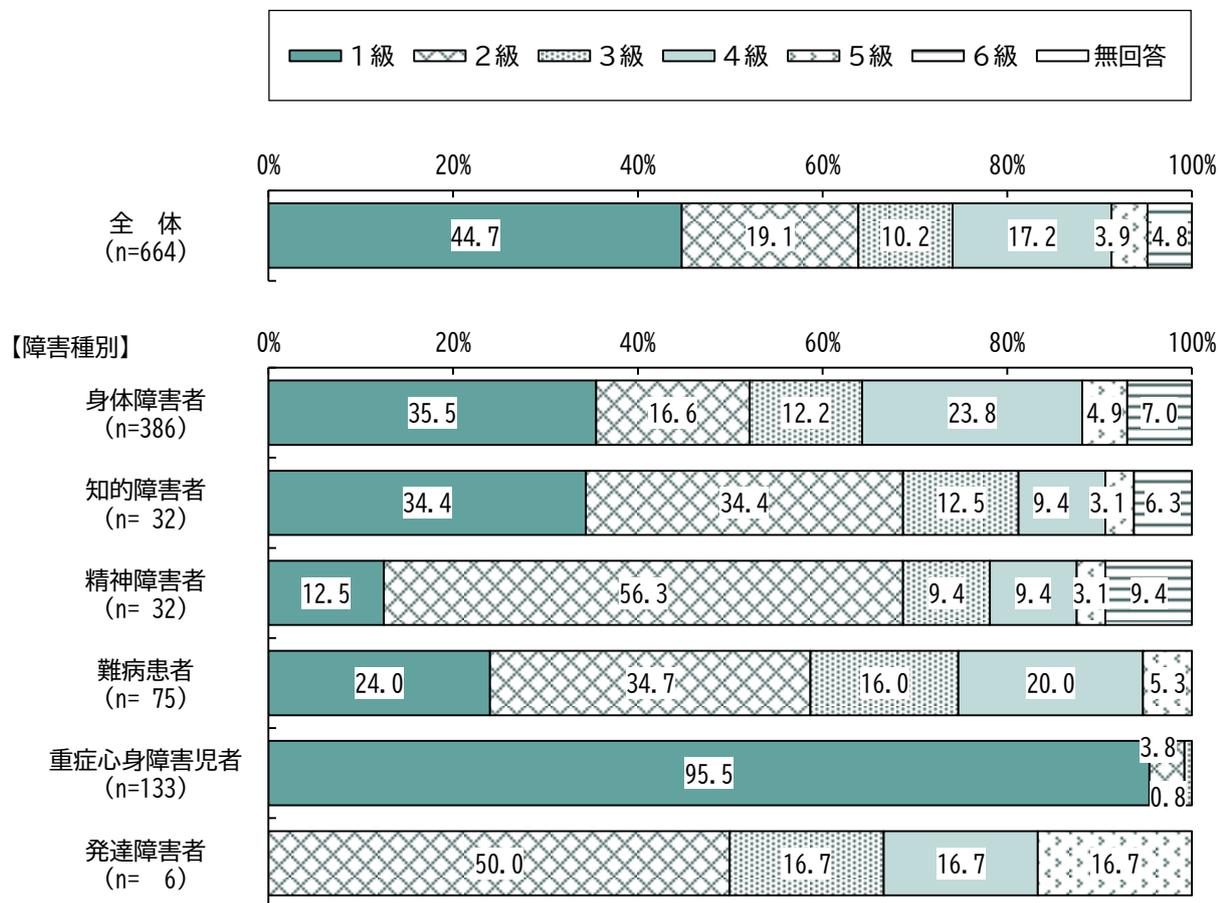
◎手帳の重複所持の状況

前記各質問の回答から、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を重複して持っているか整理すると、全体では「身体障害単独」が31.7%と最も多く、次いで「知的障害単独」が25.6%、「精神障害単独」が19.5%などとなっています。



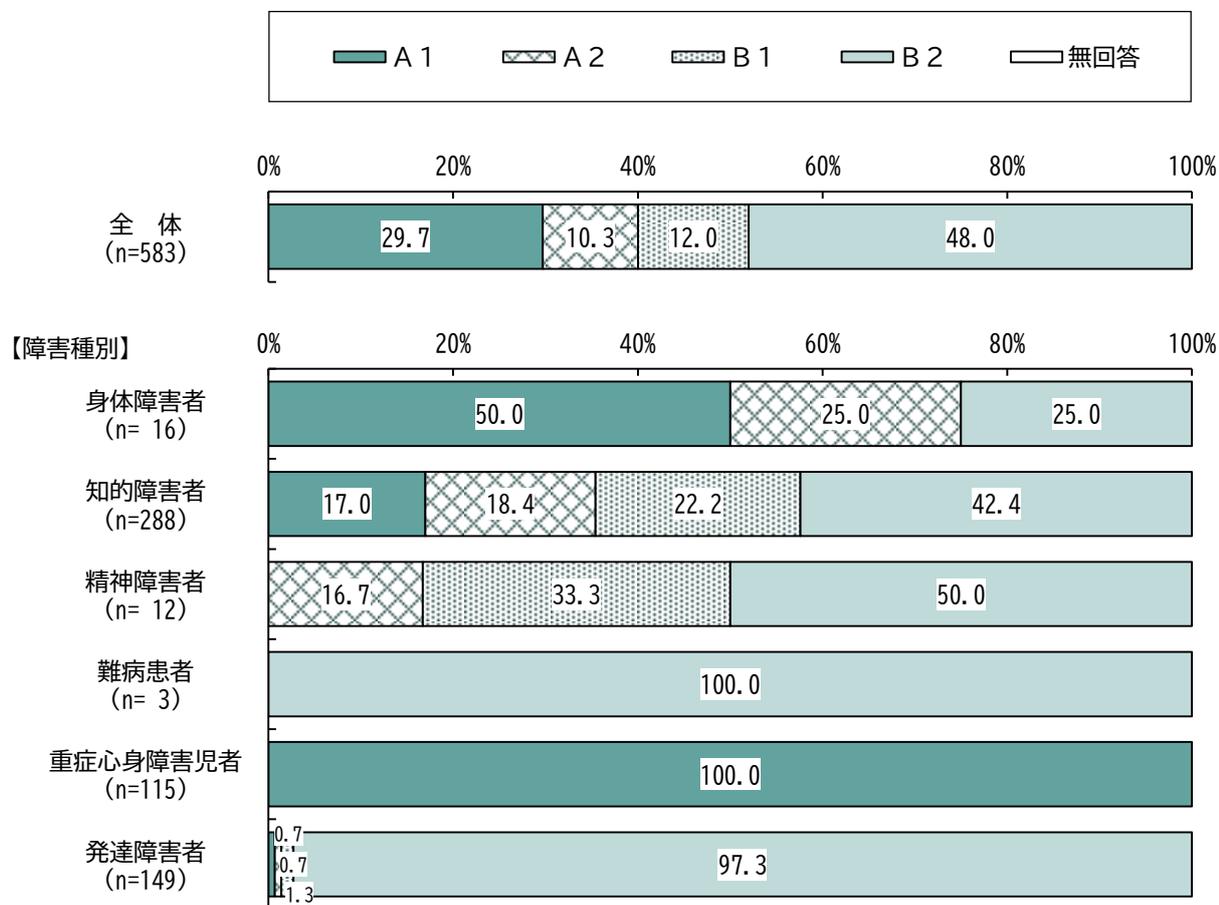
①身体障害者手帳の等級

「1級」が44.7%と最も多く、次いで「2級」が19.1%、「4級」が17.2%などとなっています。
障害種別にみると、“精神障害者”、“難病患者”、“発達障害者”では「2級」が最も多くなっています。



②療育手帳の等級

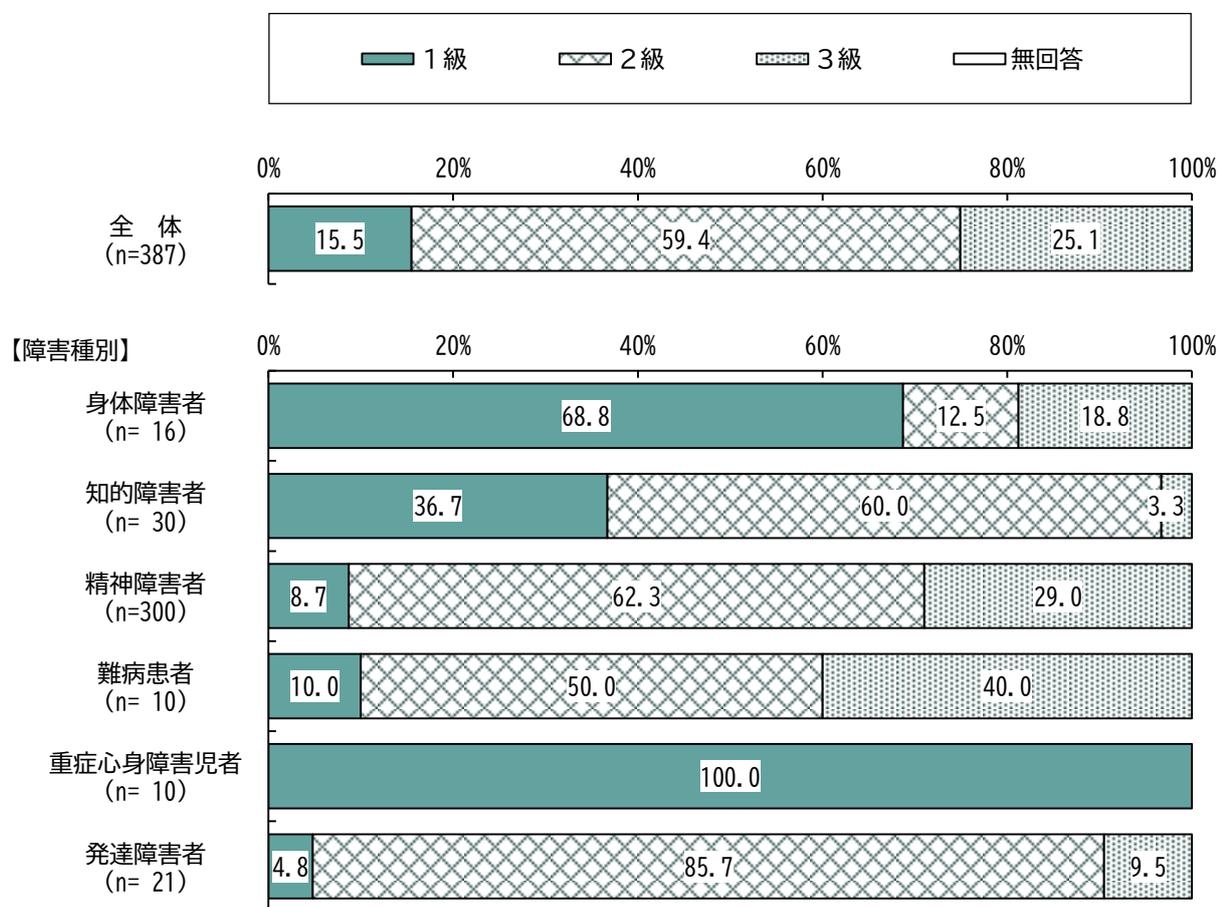
「A 1」が29.7%、「A 2」が10.3%、「B 1」が12.0%、「B 2」が48.0%となっています。
 障害種別に見ると、“身体障害者”、“重症心身障害児者”では「A 1」が最も多くなっています。



③精神障害者保健福祉手帳の等級

「1級」が15.5%、「2級」が59.4%、「3級」が25.1%となっています。

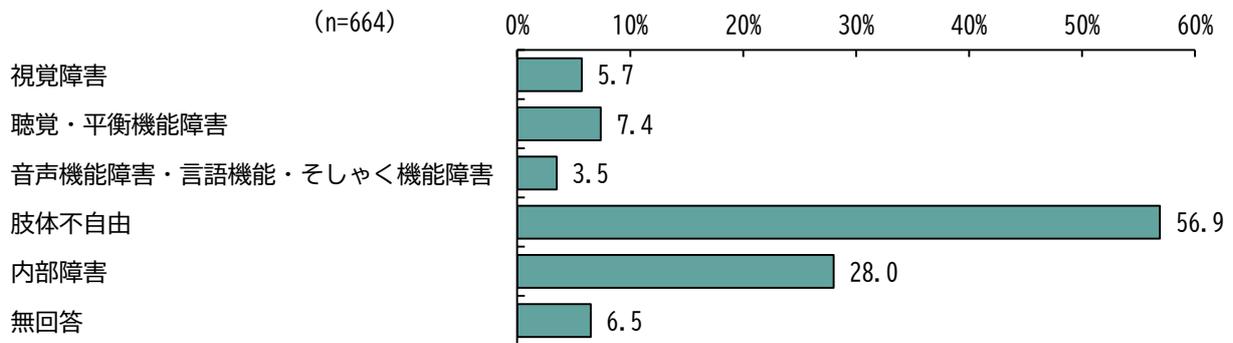
障害種別にもと、「身体障害者」、「重症心身障害児者」では「1級」が最も多くなっています。



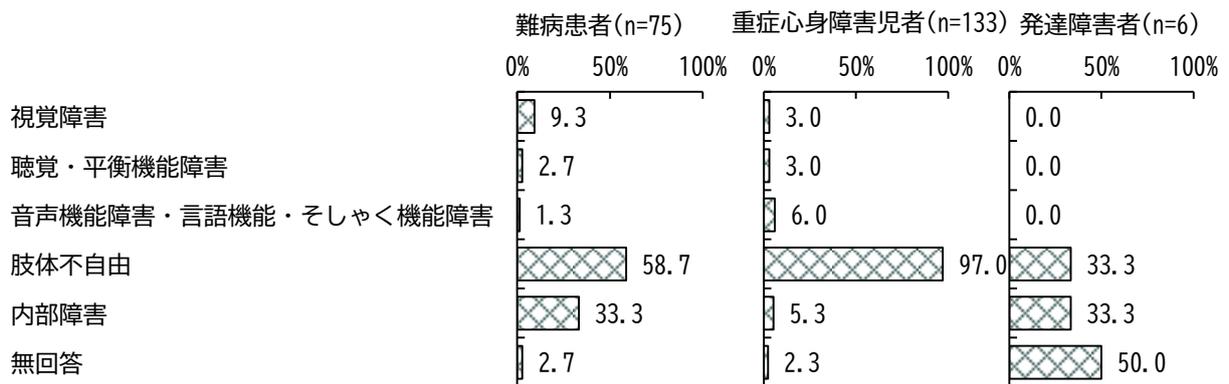
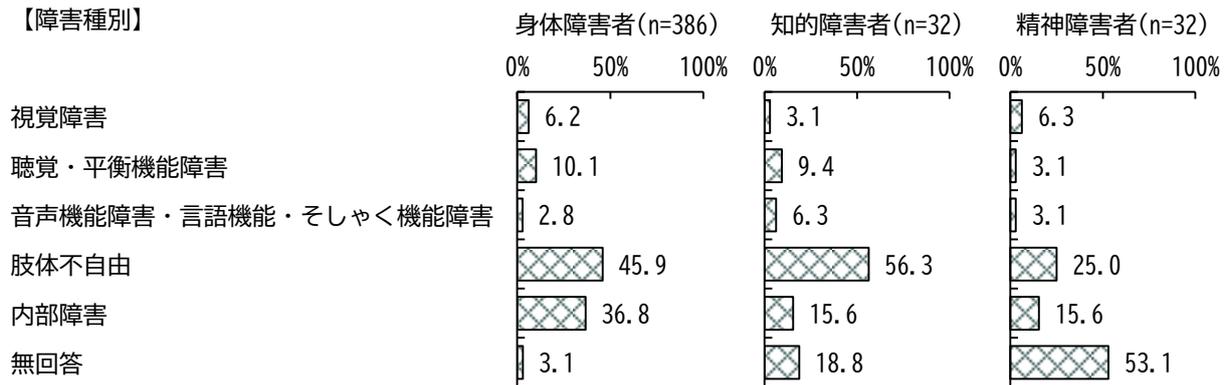
(7) 身体障害の種別と等級

問4-3 身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きします。あてはまる障害の種別の番号に○をつけて、等級をご記入ください。(○はいくつでも)

「肢体不自由」が56.9%と最も多く、次いで「内部障害」が28.0%、「聴覚・平衡機能障害」が7.4%などとなっています。

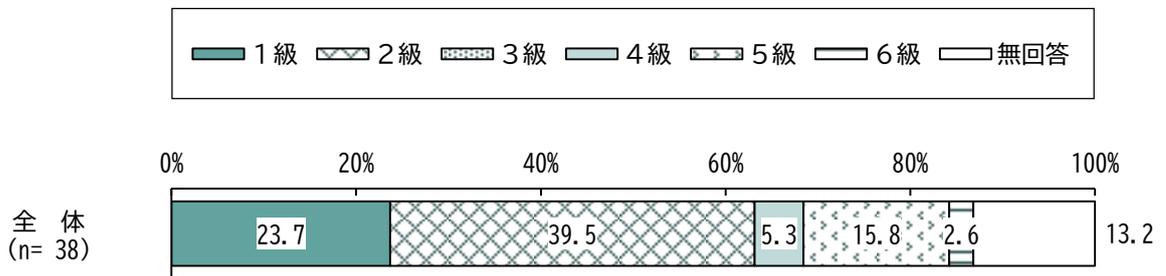


【障害種別】



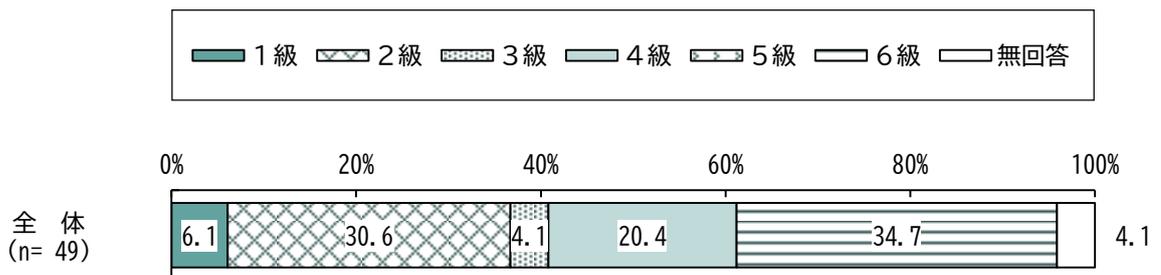
①視覚障害の等級

「2級」が39.5%と最も多く、次いで「1級」が23.7%、「5級」が15.8%などとなっています。
障害種別は、nが少ないため割愛します。



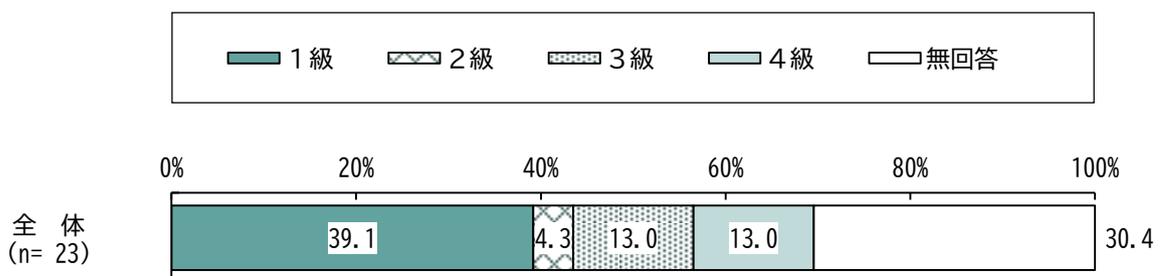
②聴覚・平衡機能障害の等級

「6級」が34.7%と最も多く、次いで「2級」が30.6%、「4級」が20.4%などとなっています。
障害種別は、nが少ないため割愛します。



③音声機能障害・言語機能・そしゃく機能障害の等級

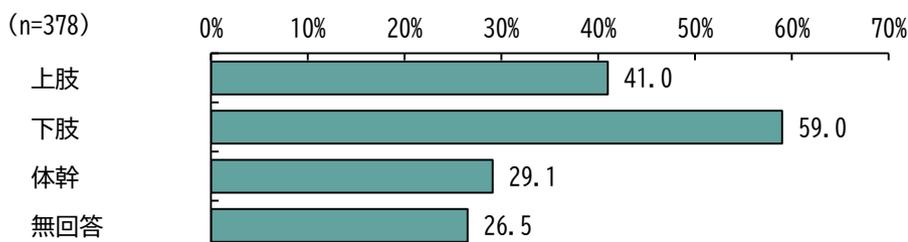
「1級」が39.1%、「2級」が4.3%、「3級」が13.0%、「4級」が13.0%となっています。
障害種別は、nが少ないため割愛します。



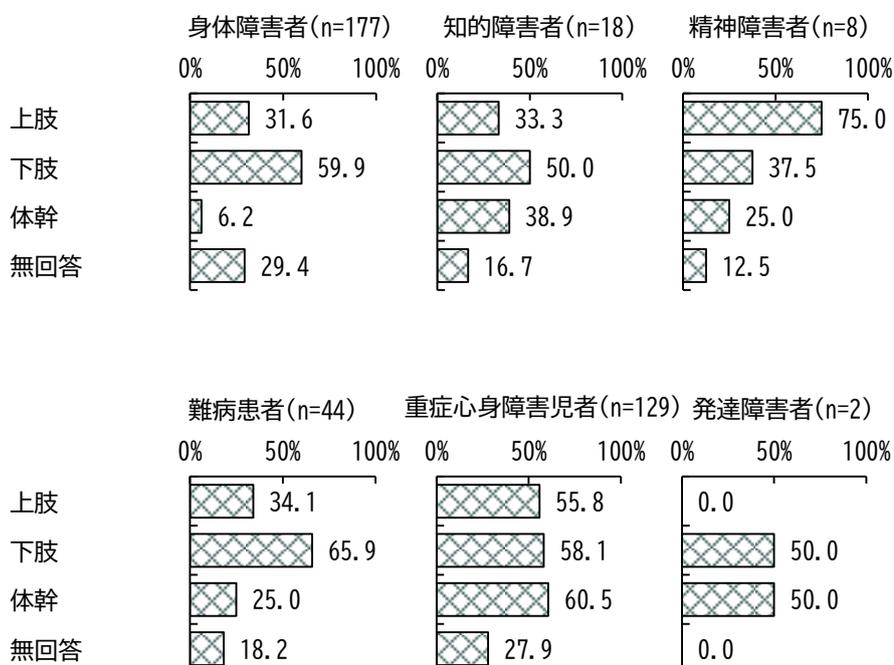
④ 肢体不自由の種別と等級

肢体不自由の種別は、「下肢」が59.0%と最も多く、次いで「上肢」が41.0%、「体幹」が29.1%となっています。

障害種別にみると、「精神障害者」では「上肢」が最も多くなっています。また、「重症心身障害児者」では「体幹」が最も多くなっています。

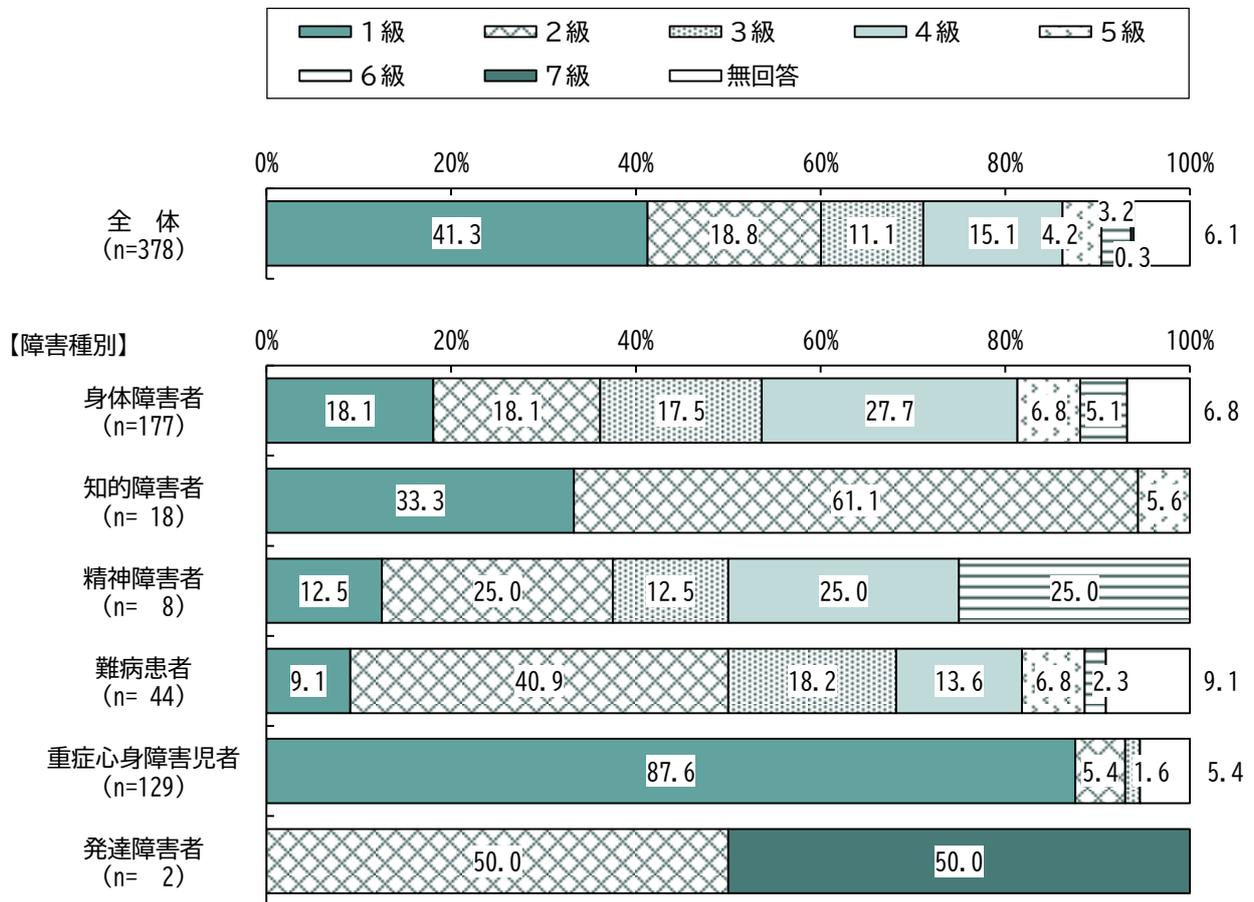


【障害種別】



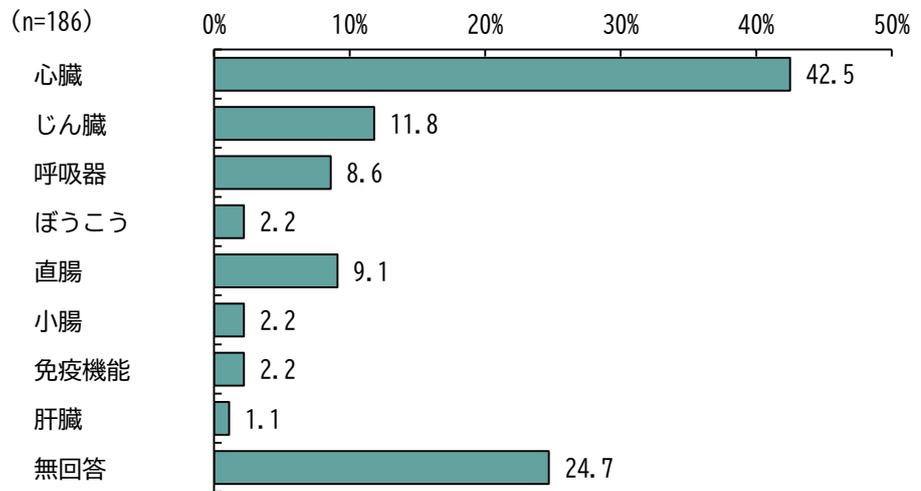
肢体不自由の等級は、「1級」が41.3%と最も多く、次いで「2級」が18.8%、「4級」が15.1%などとなっています。

障害種別にみると、「身体障害者」では「4級」が最も多くなっています。また、「知的障害者」、「難病患者」では「2級」が最も多くなっています。

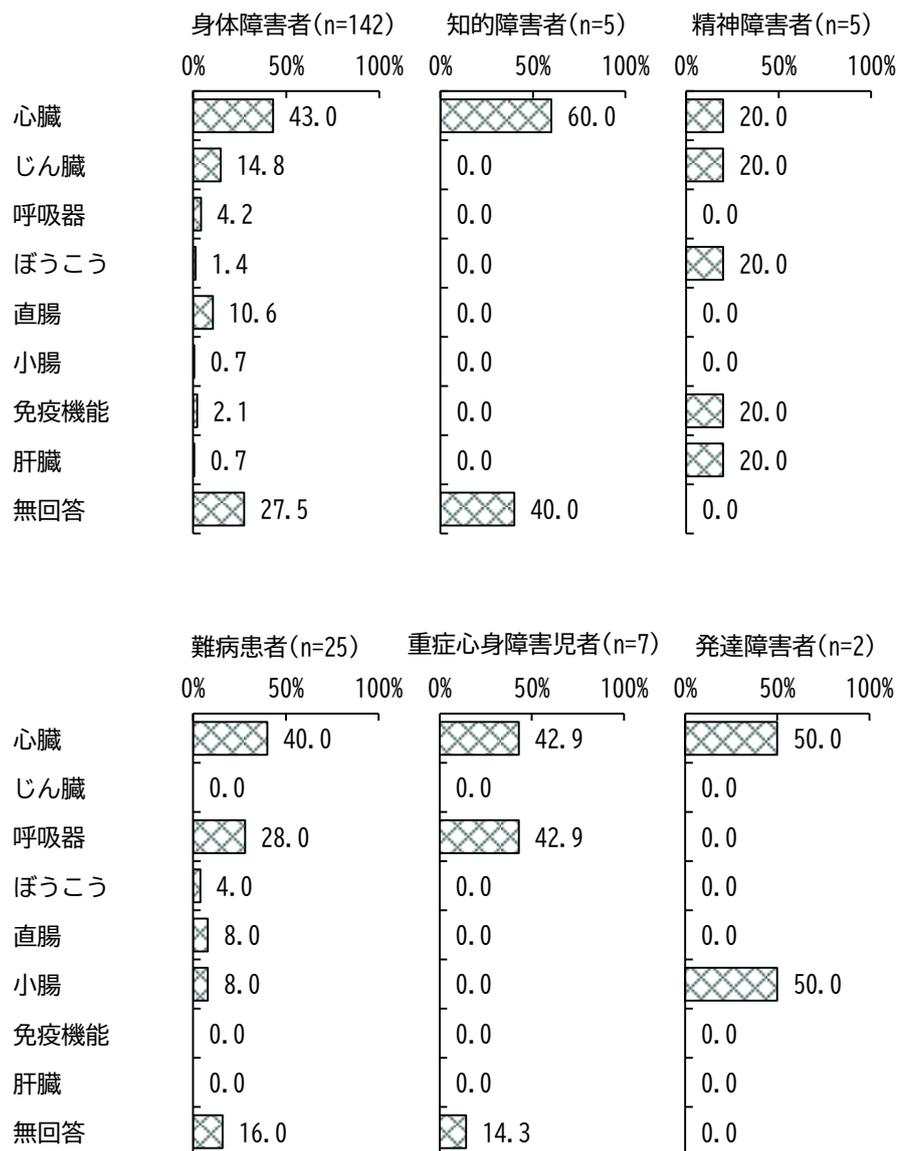


⑤内部障害の種別と等級

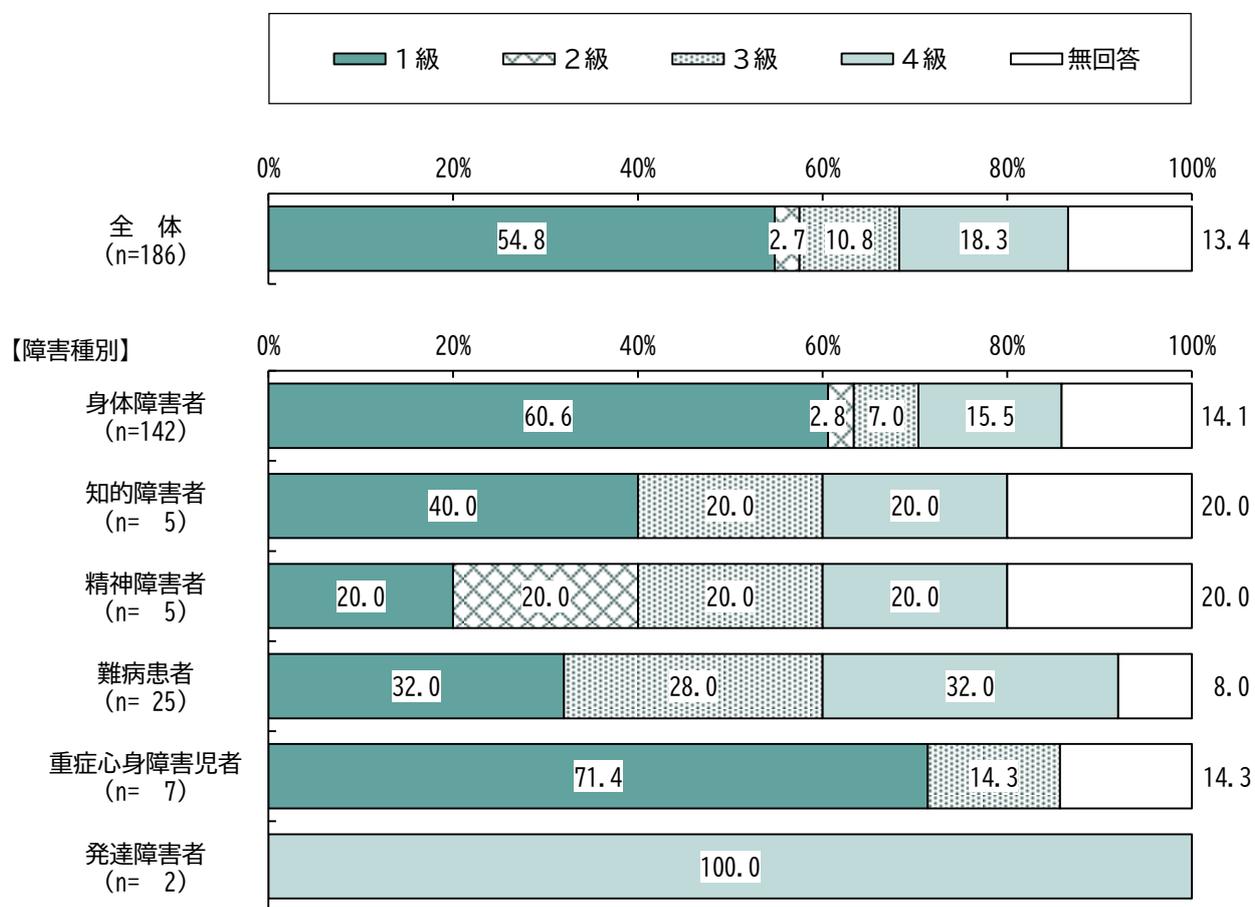
内部障害の種別は、「心臓」が42.5%と最も多く、次いで「じん臓」が11.8%、「直腸」が9.1%などとなっています。



【障害種別】



内部障害の等級は、「1級」が54.8%、「2級」が2.7%、「3級」が10.8%、「4級」が18.3%となっています。

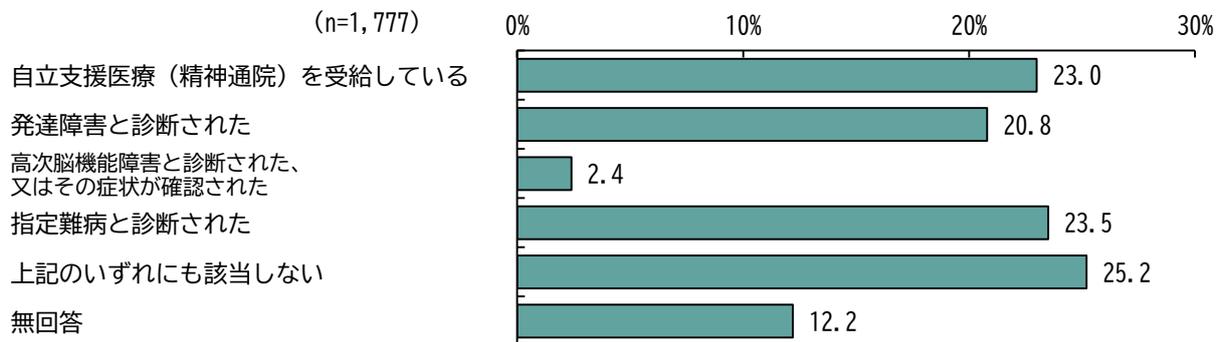


(8) 自立支援医療（精神通院）の受給、障害の診断などの状況

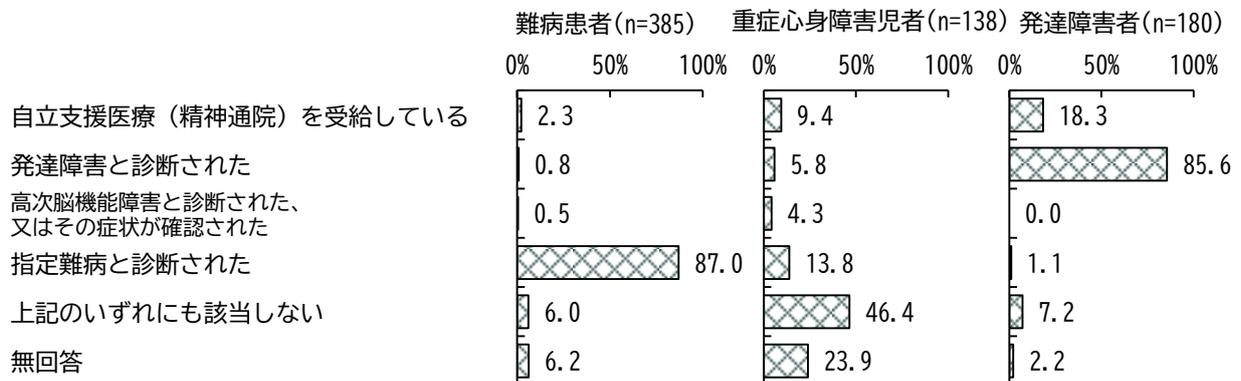
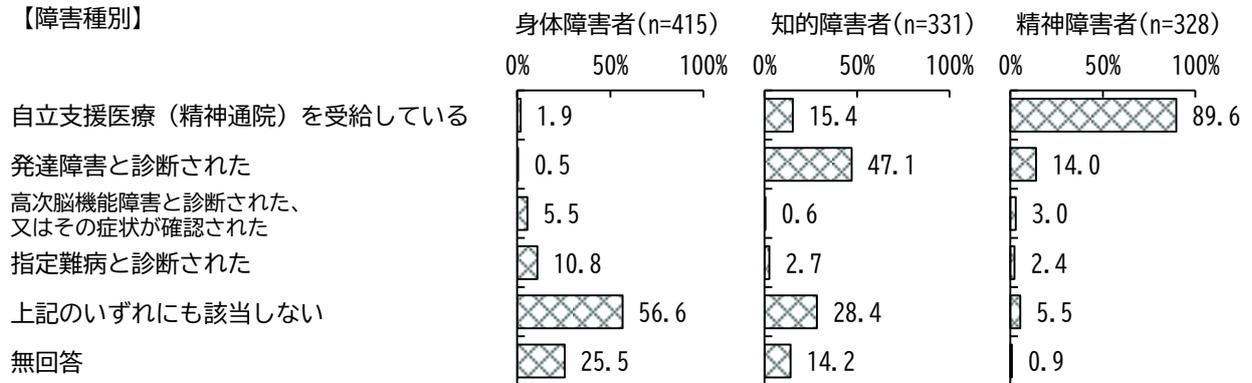
問4-4 自立支援医療（精神通院）の受給、障害の診断などについておたずねします。（あてはまる番号のすべてに○をつけてください。）

「指定難病と診断された」が23.5%最も多く、次いで「自立支援医療（精神通院）を受給している」が23.0%、「発達障害と診断された」が20.8%などとなっています。また、「上記のいずれにも該当しない」が25.2%となっています。

障害種別にみると、“知的障害者”、“発達障害者”では「発達障害と診断された」が最も多くなっています。また、“精神障害者”では「自立支援医療（精神通院）を受給している」が最も多くなっています。また、“難病患者”では「指定難病と診断された」が最も多くなっています。



【障害種別】

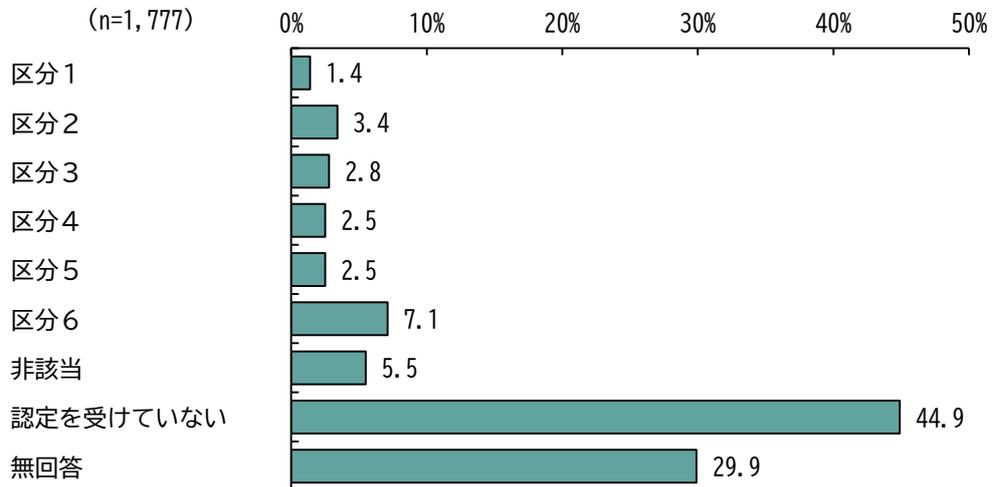


(9) 障害支援区分

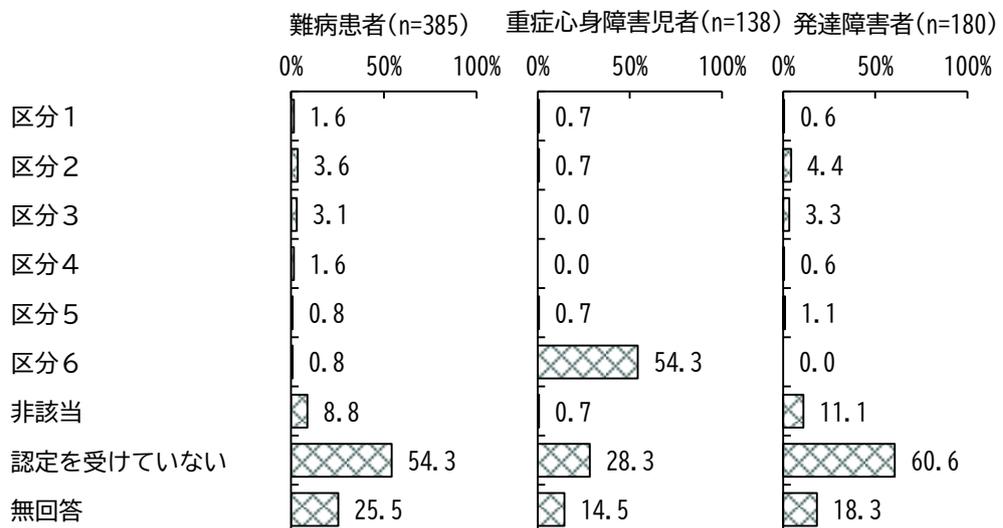
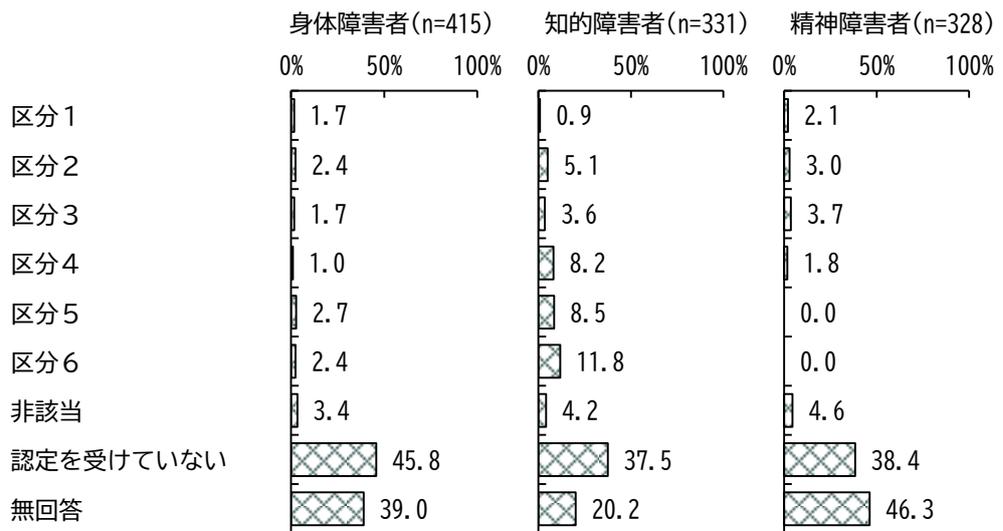
問5 あなたの障害支援区分は何ですか。(○は1つ)

「認定を受けていない」が44.9%と最も多く、次いで「区分6」が7.1%、「非該当」が5.5%などとなっています。

障害種別によると、“重症心身障害児者”では「区分6」が最も多くなっています。



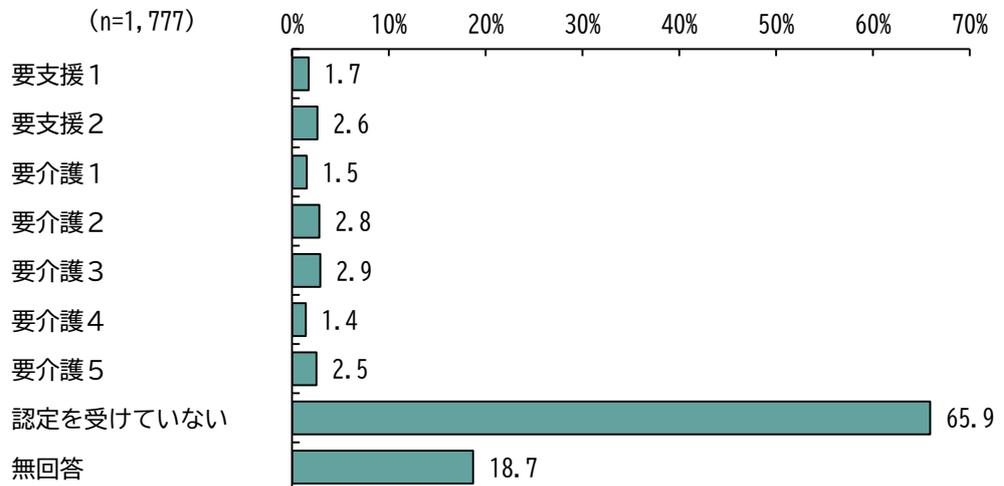
【障害種別】



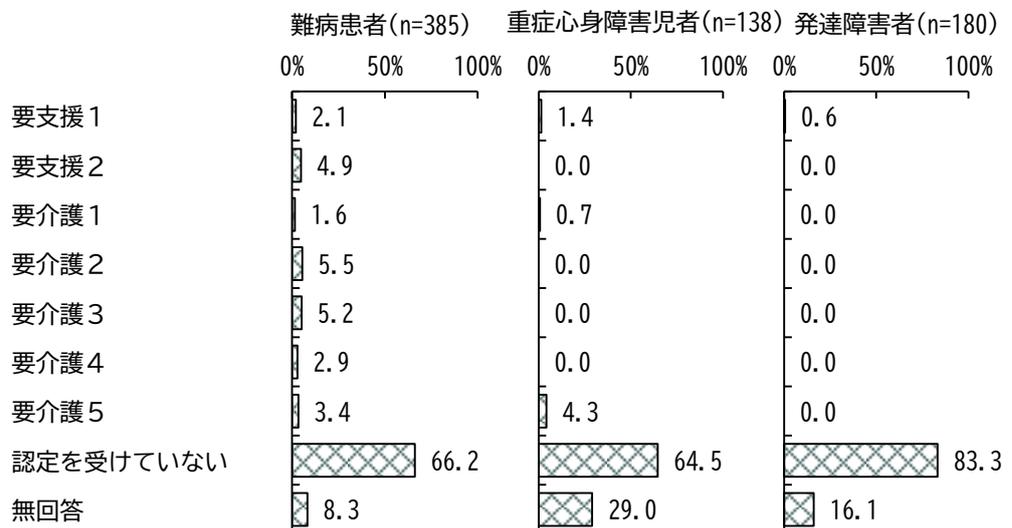
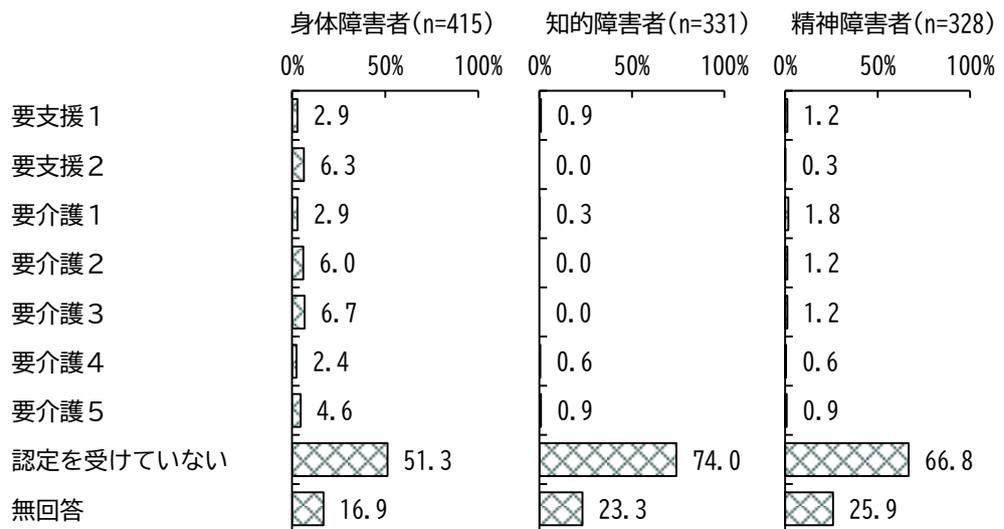
(10) 介護保険制度における要介護度

問6 あなたの介護保険制度における要介護度は何ですか。(○は1つ)

「認定を受けていない」が65.9%と最も多く、次いで「要介護3」が2.9%、「要介護2」が2.8%などとなっています。



【障害種別】

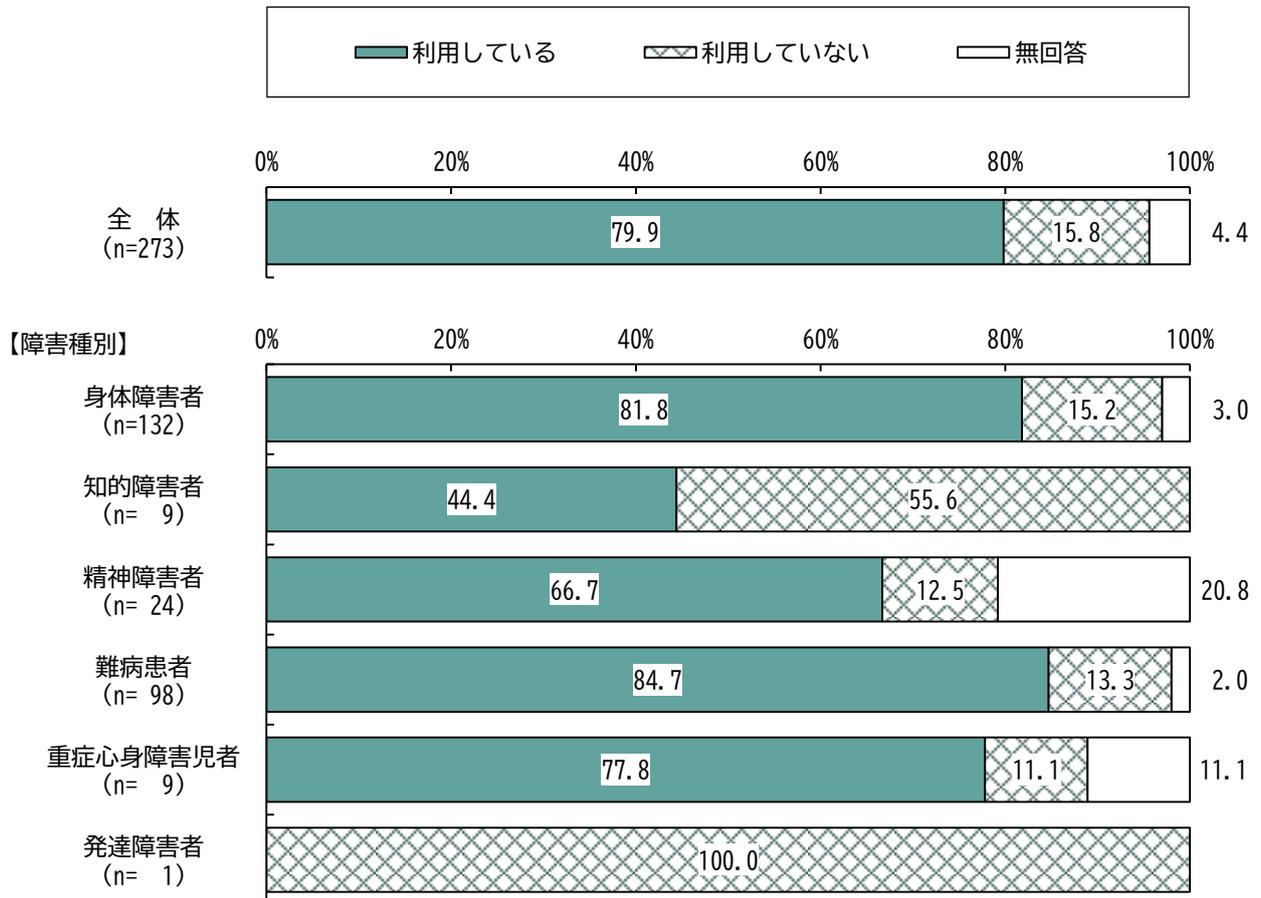


(11) 介護保険によるサービスの利用状況

問6-1 問6で「1 要支援1～7 要介護5」とお答えの方にお聞きします。あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。(○は1つだけ)

「利用している」が79.9%、「利用していない」が15.8%となっています。

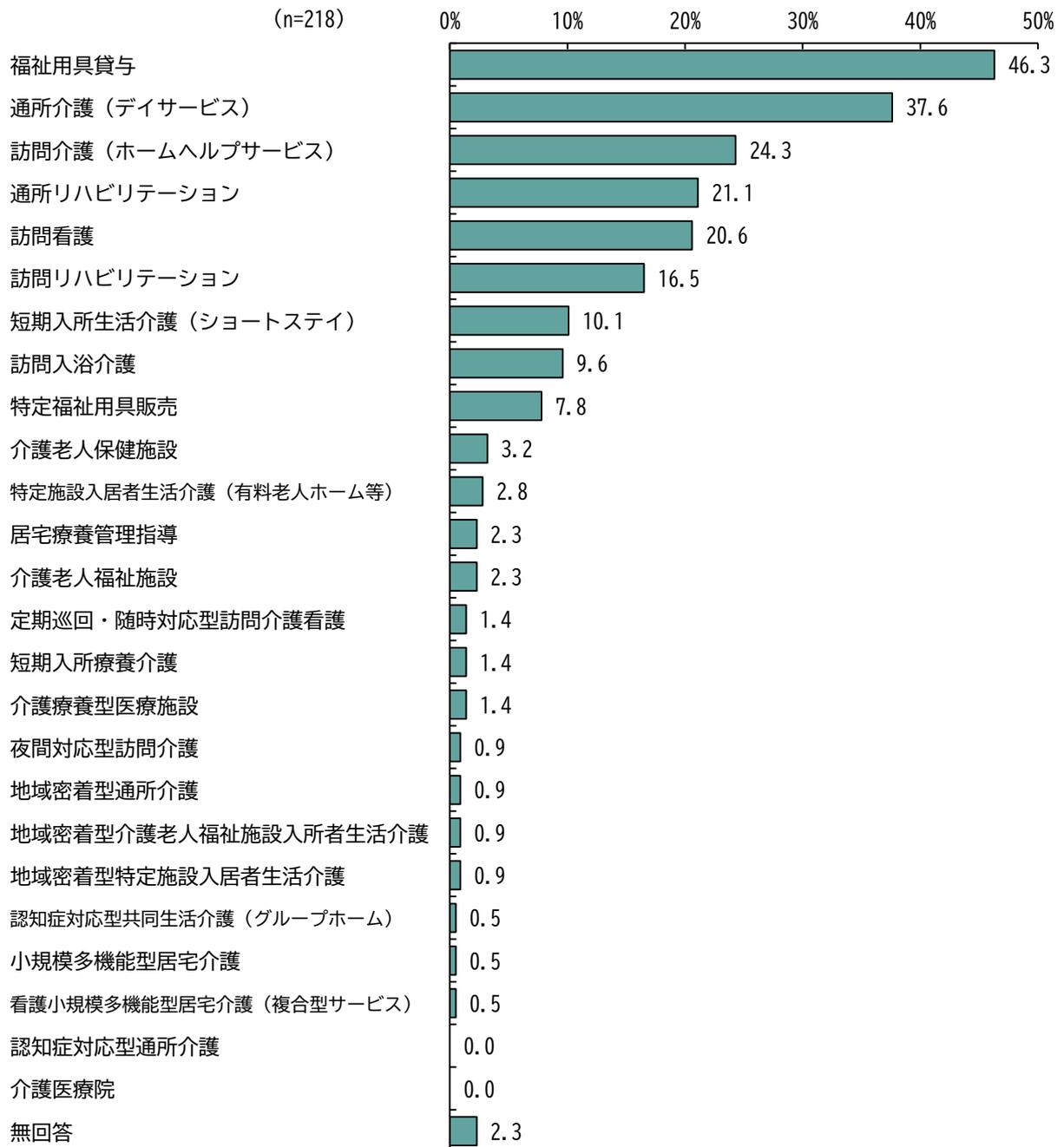
障害種別にみると、“知的障害者”では「利用していない」のほうが多くなっています。



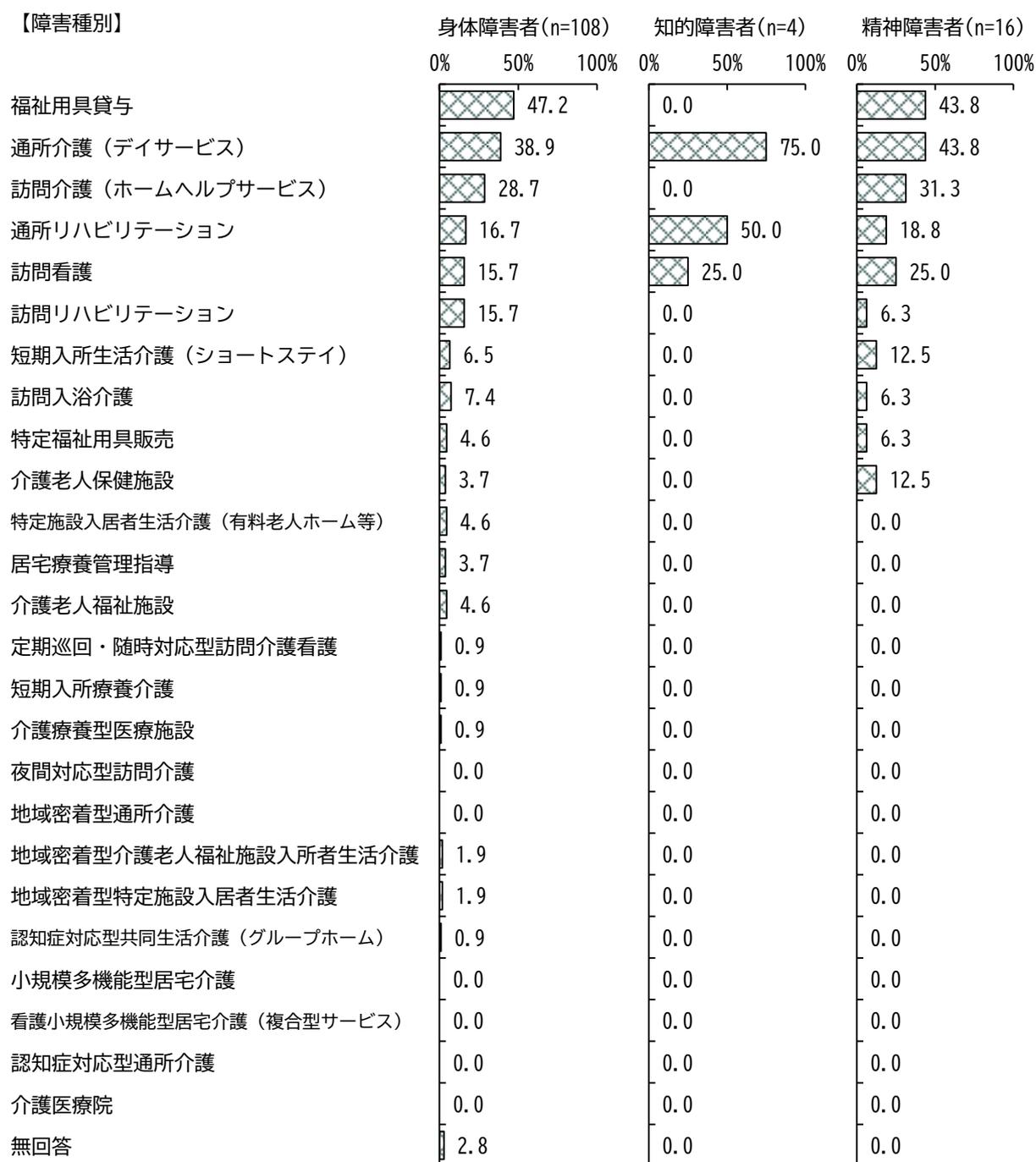
(12) 利用している介護保険によるサービス

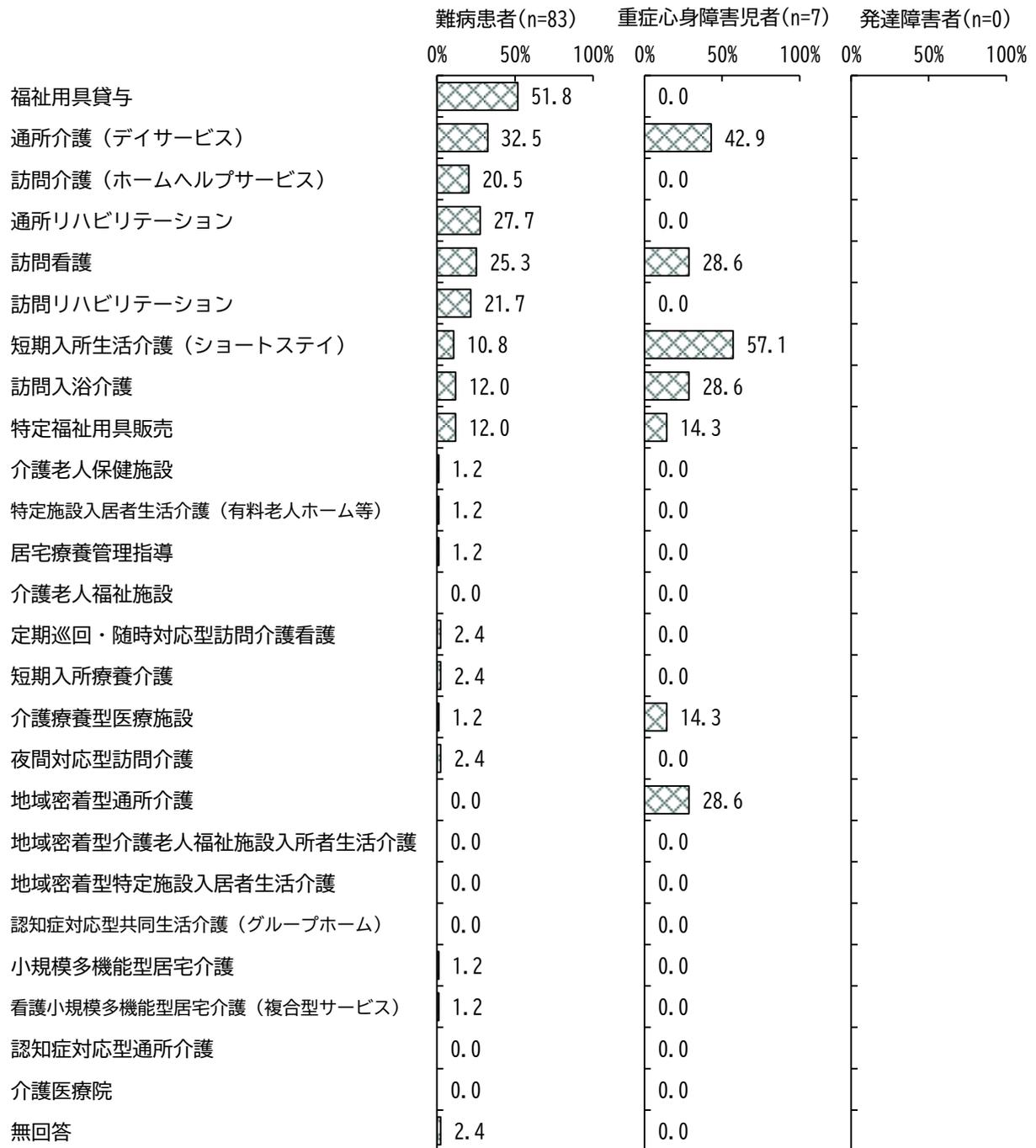
問6-2 問6-1で「1 利用している」とお答えの方にお聞きします。利用している介護保険サービスはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「福祉用具貸与」が46.3%と最も多く、次いで「通所介護（デイサービス）」が37.6%、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が24.3%などとなっています。



障害種別にみると、“知的障害者”では「通所介護（デイサービス）」が最も多くなっています。また、“重症心身障害児者”では「短期入所生活介護（ショートステイ）」が最も多くなっています。

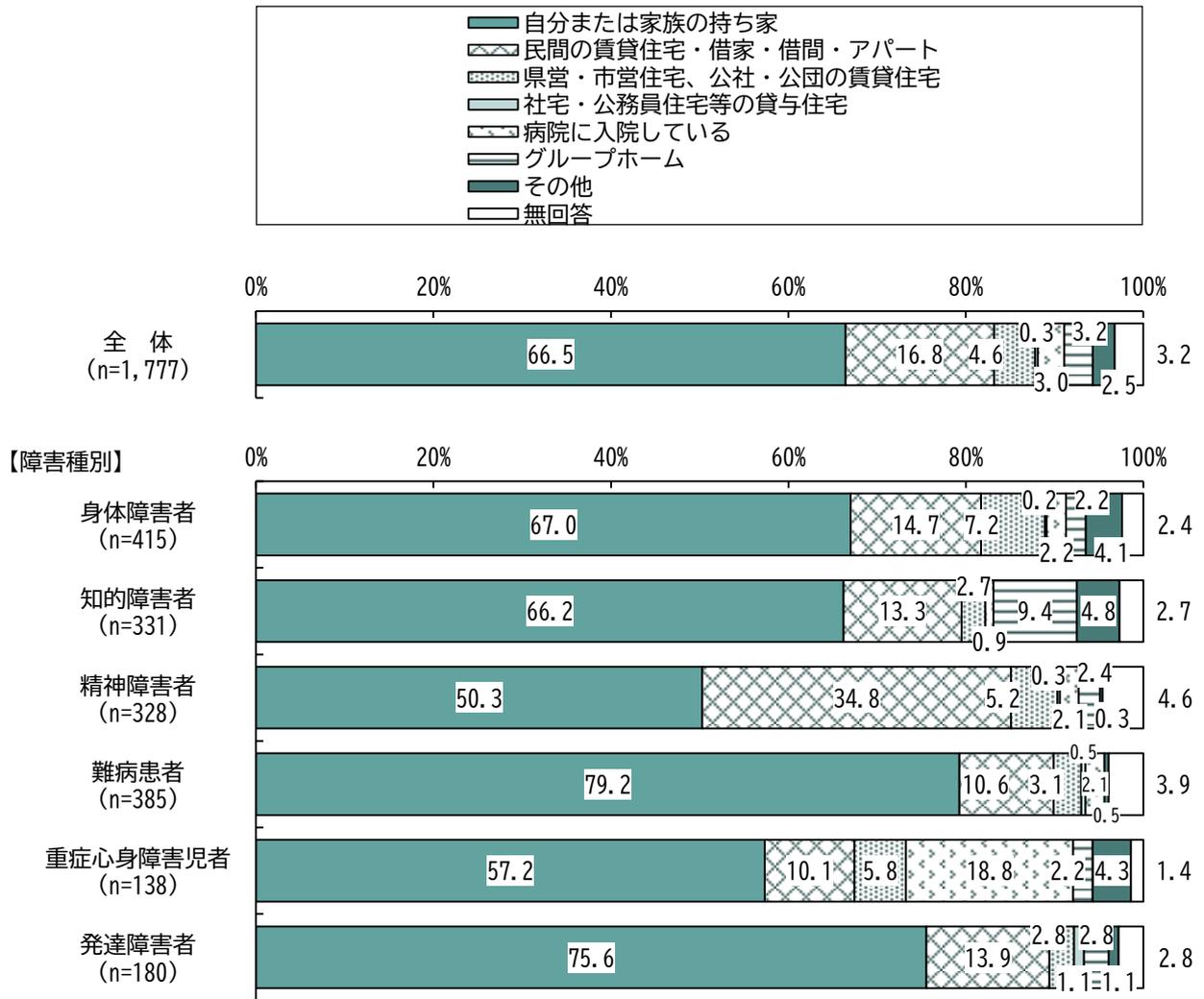




(13) 現在の生活拠点

問7 あなたは、いまどこで生活していますか。(○は1つ)

「自分または家族の持ち家」が66.5%と最も多く、次いで「民間の賃貸住宅・借家・借間・アパート」が16.8%、「県営・市営住宅、公社・公団の賃貸住宅」が4.6%などとなっています。

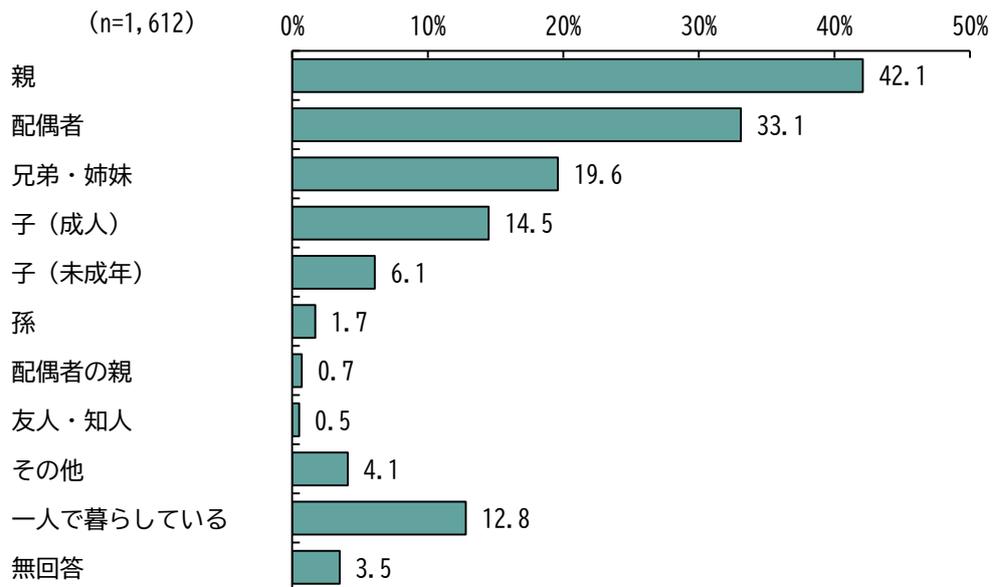


(14) 一緒に生活している人

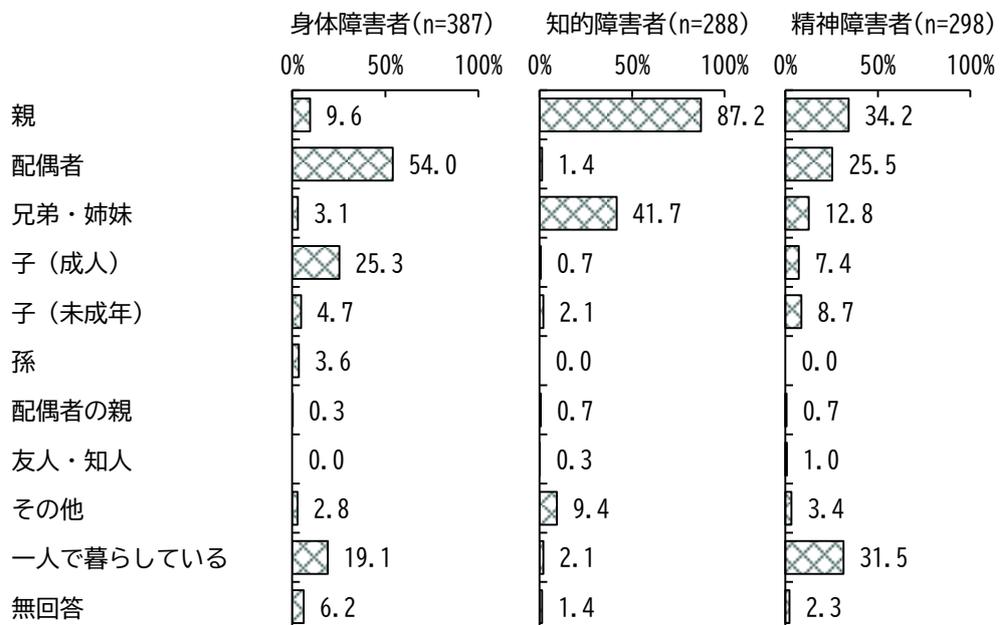
問7-1 問7で「1」～「4」または「7」とお答えの方（病院、グループホーム以外で生活している方）にお聞きします。あなたは、いまだれと生活していますか。（○はいくつでも）

「親」が42.1%と最も多く、次いで「配偶者」が33.1%、「兄弟・姉妹」が19.6%などとなっています。

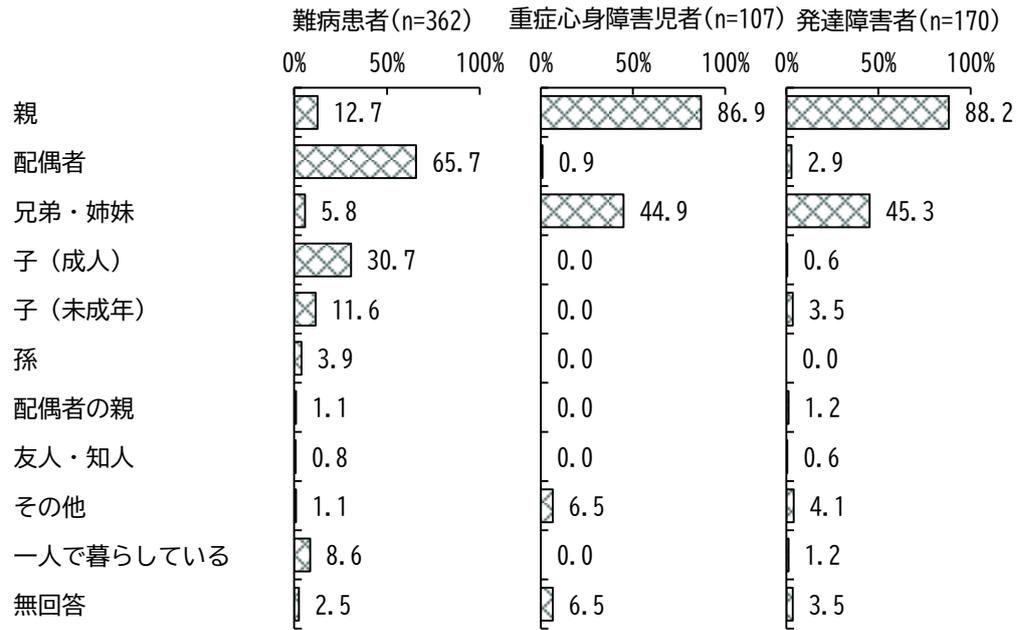
障害種別にみると、“身体障害者”、“難病患者”では「配偶者」が最も多くなっています。



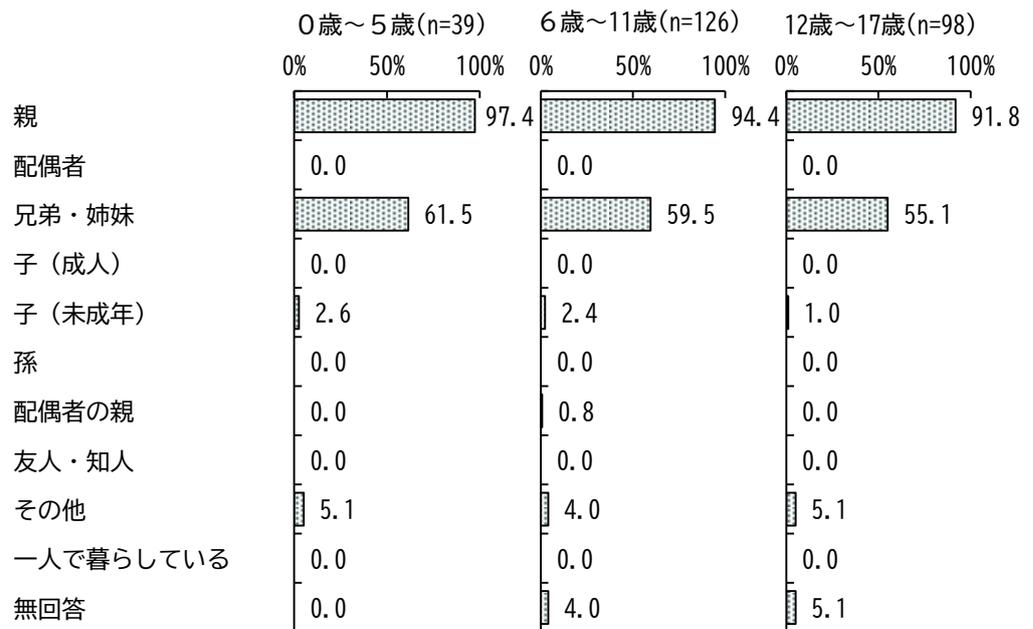
【障害種別】



【障害種別】

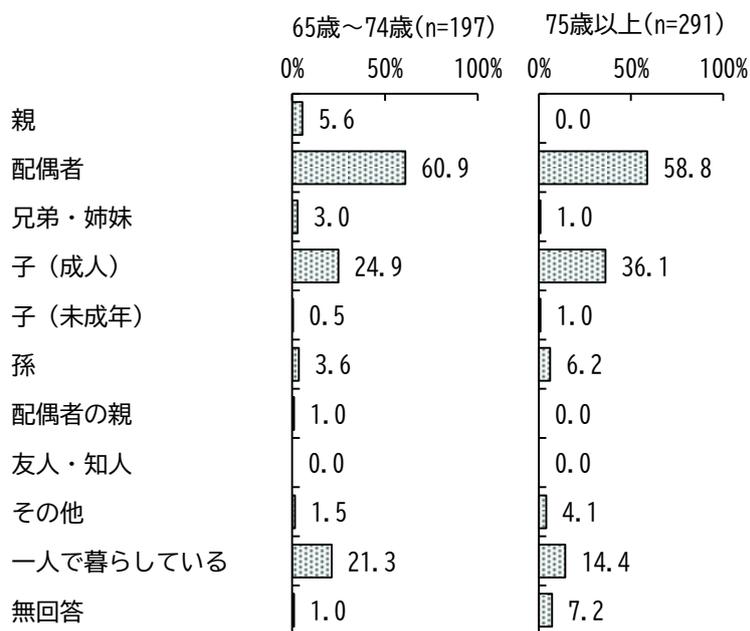
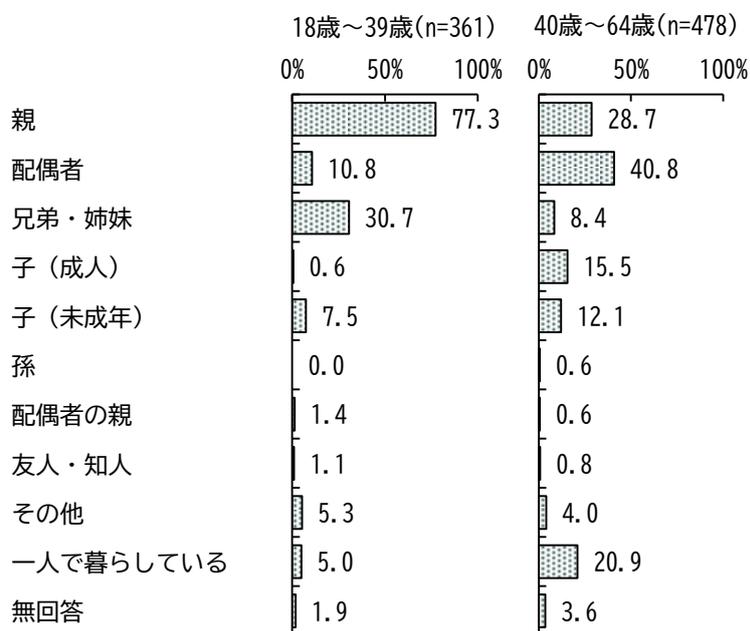


【年齢別】



年齢別にみると、“40歳～64歳”、“65歳～74歳”、“75歳以上”では「配偶者」が最も多くなっています。

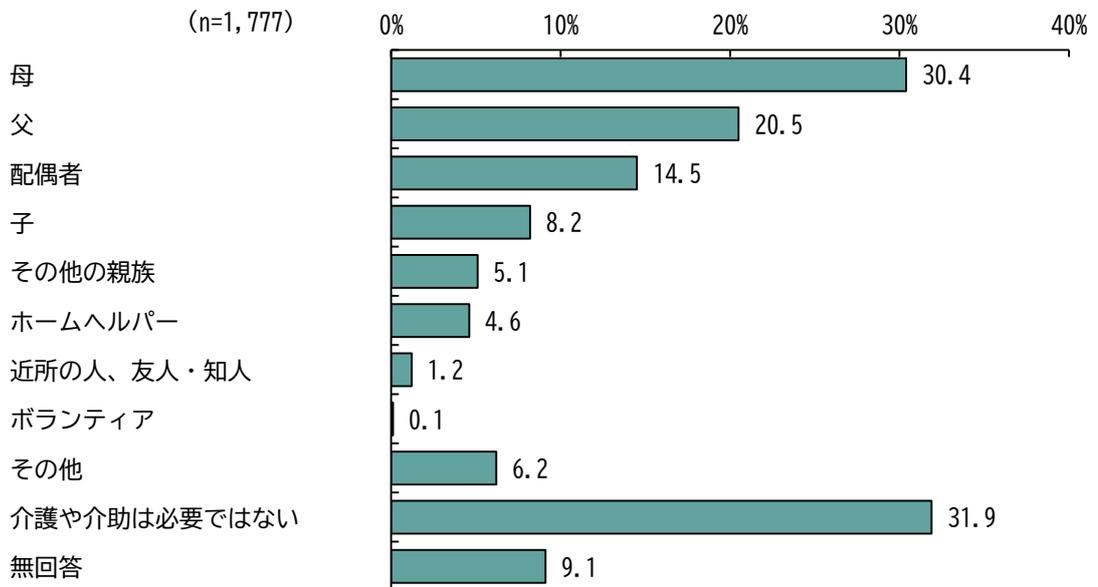
【年齢別】



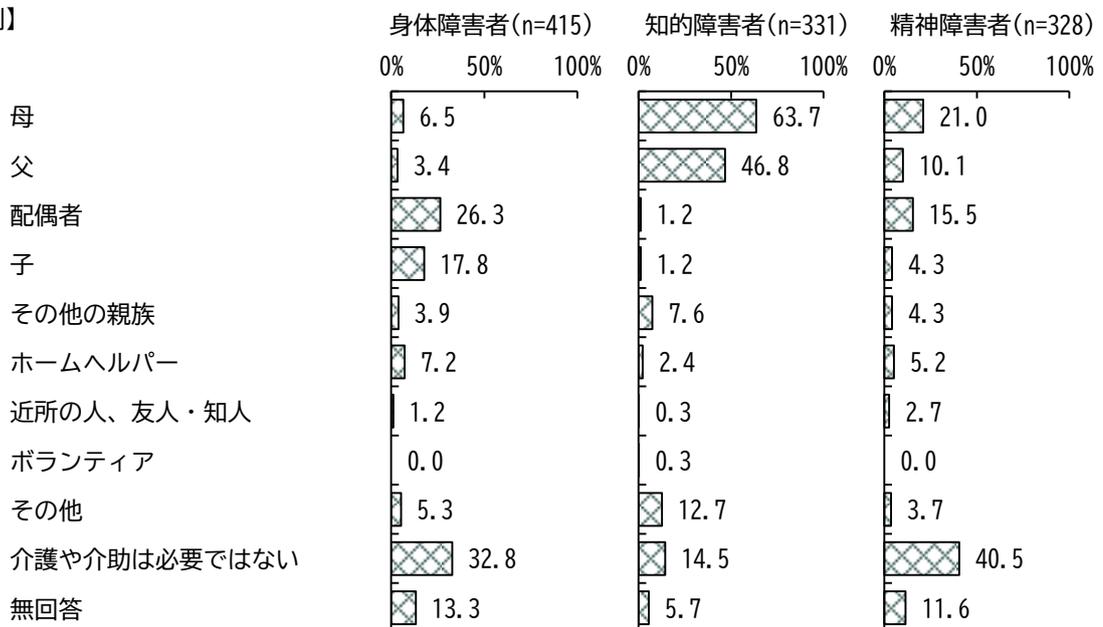
(15) 主に介護・介助している人

問8 あなたを主に介護・介助している人はどなたですか。(○は3つまで)
また、その人が「1 父」、「2 母」、「3 配偶者」の場合は、() 内に年齢を記入してください。

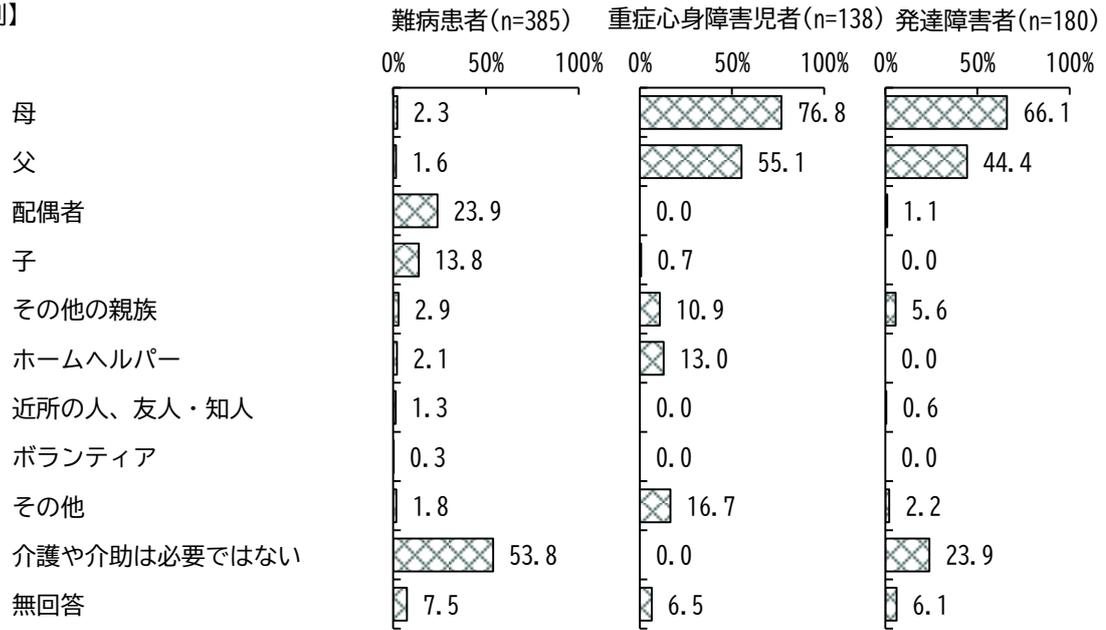
「母」が30.4%と最も多く、次いで「父」が20.5%、「配偶者」が14.5%などとなっています。また、「介護や介助は必要ではない」が31.9%となっています。



【障害種別】

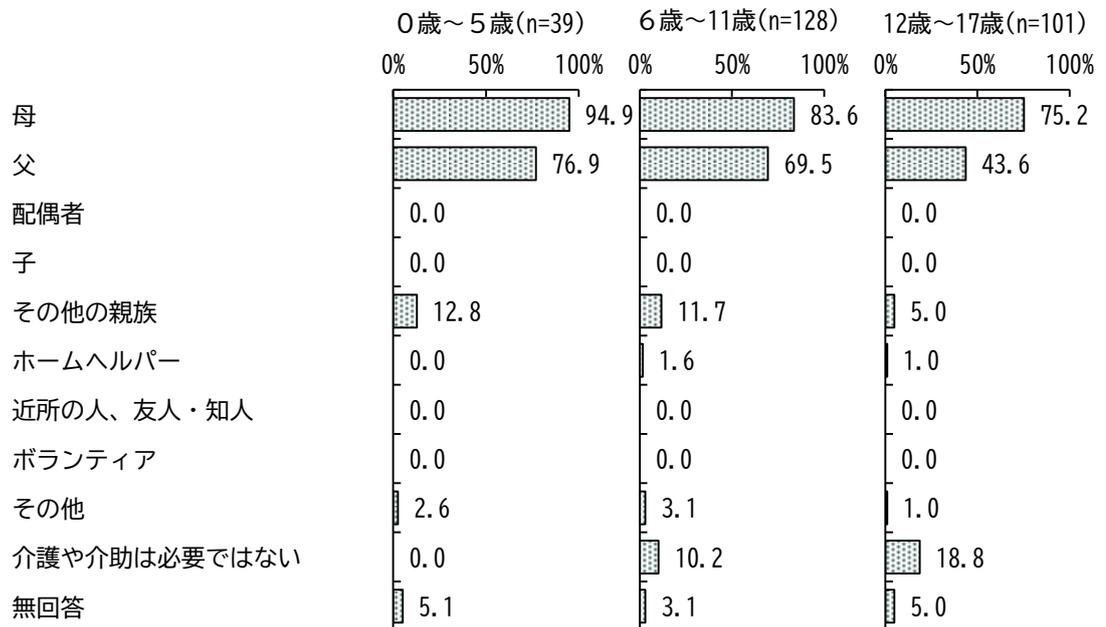


【障害種別】

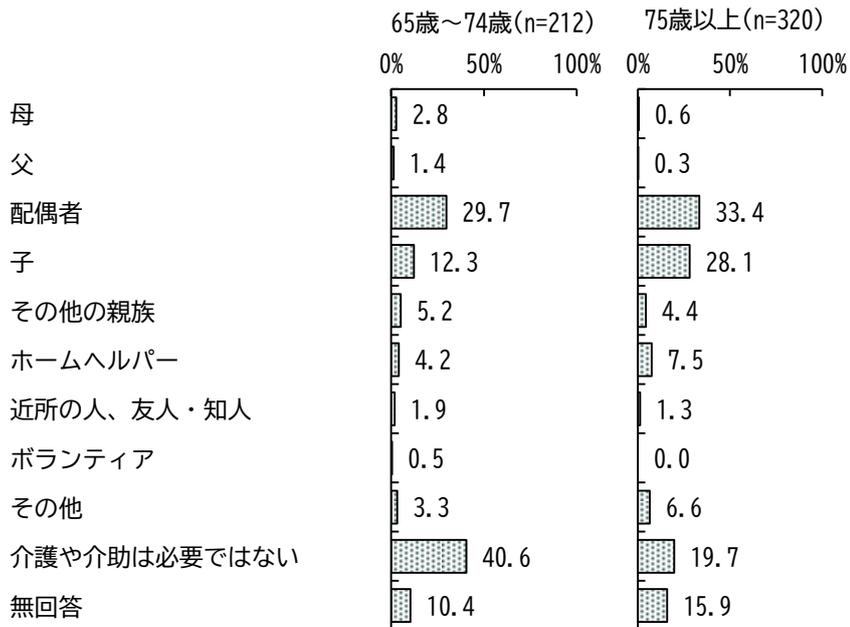
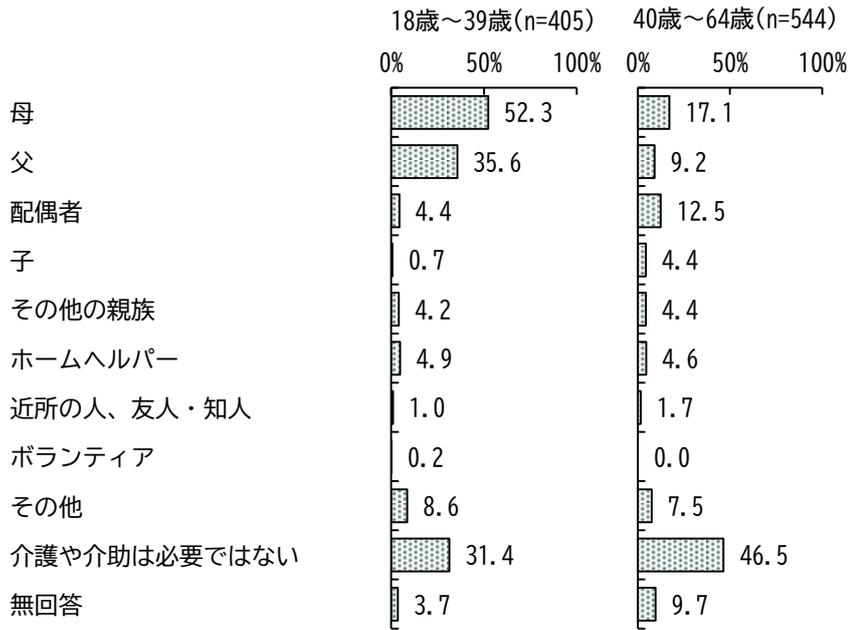


年齢別にみると、“75歳以上”では「配偶者」が最も多くなっています。

【年齢別】



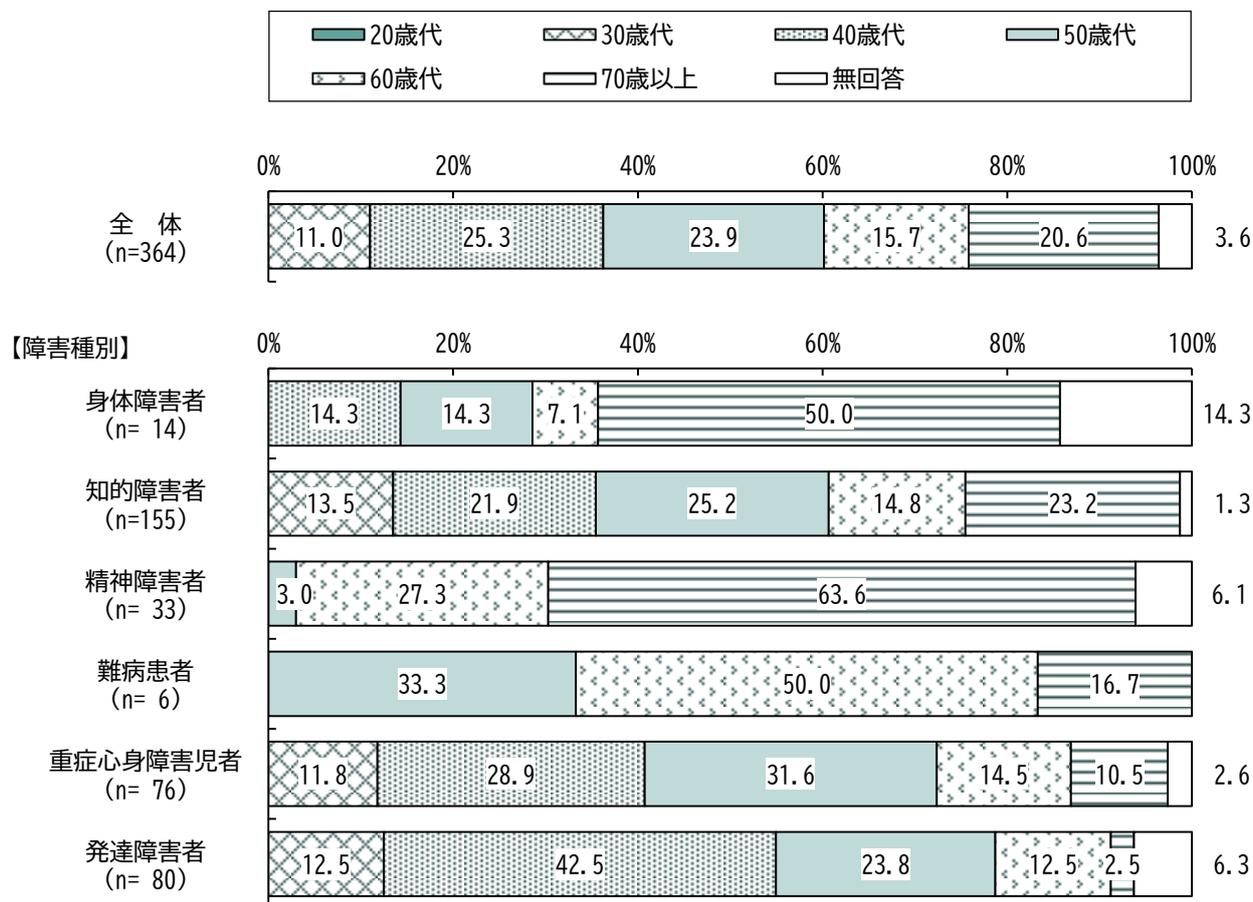
【年齢別】



①介護・介助している父の年齢

主な介護・介助者である父の年齢は、「40歳代」が25.3%と最も多く、次いで「50歳代」が23.9%、「70歳以上」が20.6%などとなっています。

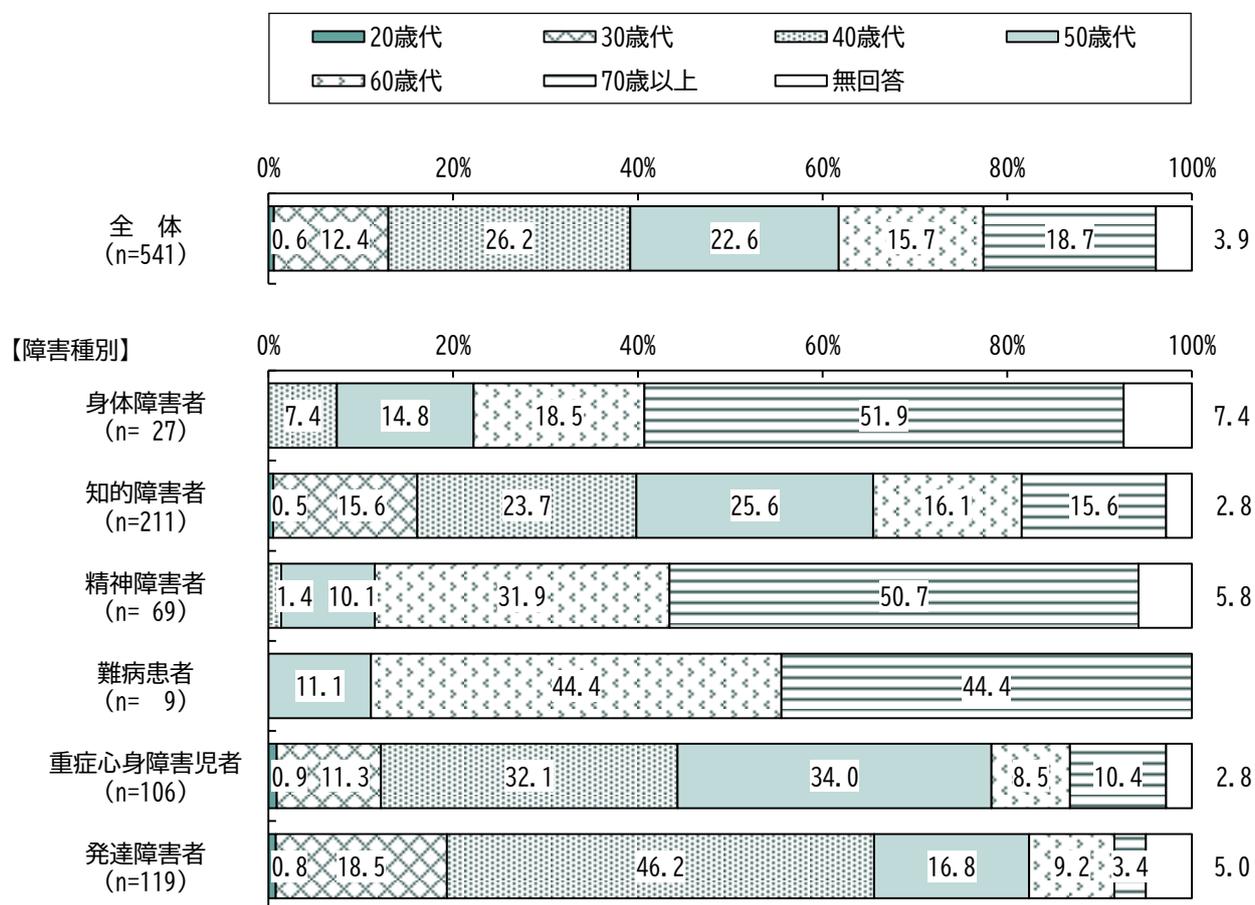
障害種別に見ると、「身体障害者」、「精神障害者」では「70歳以上」が最も多くなっています。また、「知的障害者」、「重症心身障害児者」では「50歳代」が最も多くなっています。また、「難病患者」では「60歳代」が最も多くなっています。



②介護・介助している母の年齢

主な介護・介助者である母の年齢は、「40歳代」が26.2%と最も多く、次いで「50歳代」が22.6%、「70歳以上」が18.7%などとなっています。

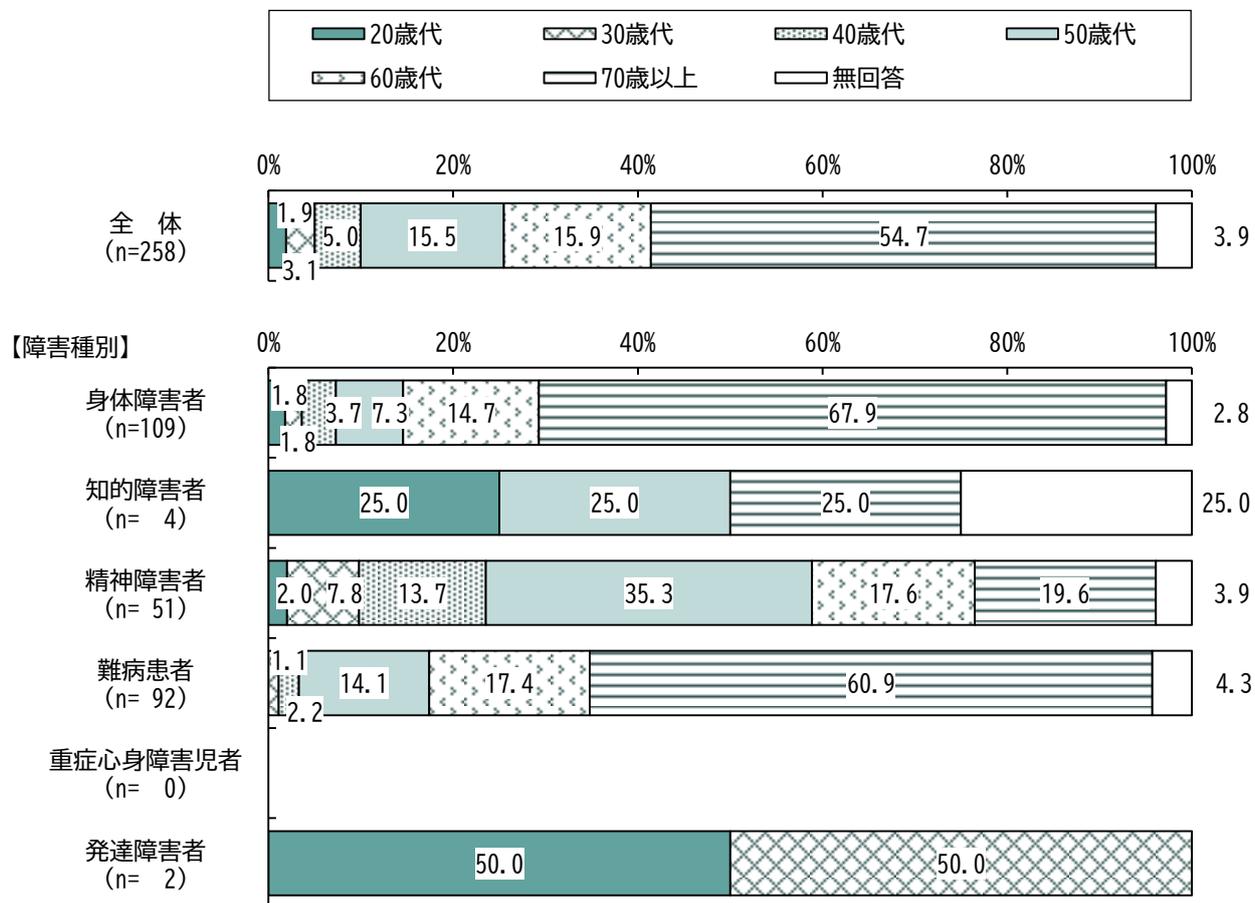
障害種別によると、「身体障害者」、「精神障害者」では「70歳以上」が最も多くなっています。また、「知的障害者」、「重症心身障害児者」では「50歳代」が最も多くなっています。



③介護・介助している配偶者の年齢

主な介護・介助者である配偶者の年齢は、「70歳以上」が54.7%と最も多く、次いで「60歳代」が15.9%、「50歳代」が15.5%などとなっています。

障害種別にみると、“精神障害者”では「50歳代」が最も多くなっています。



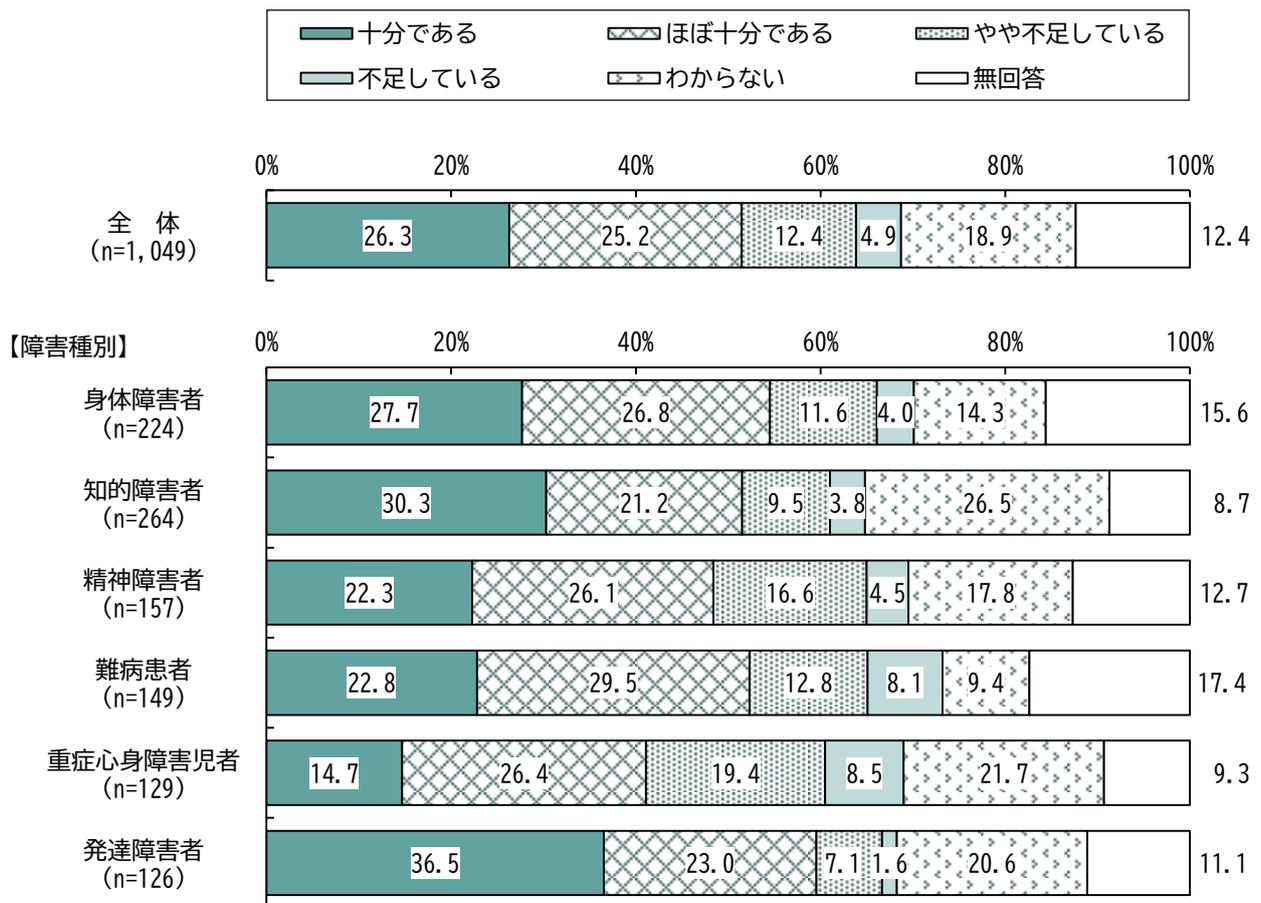
(16) 受けている介護・介助の充足度

(問8で「1」～「9」とお答えの方(あなたを介護・介助している人がいる方)にお聞きします。)

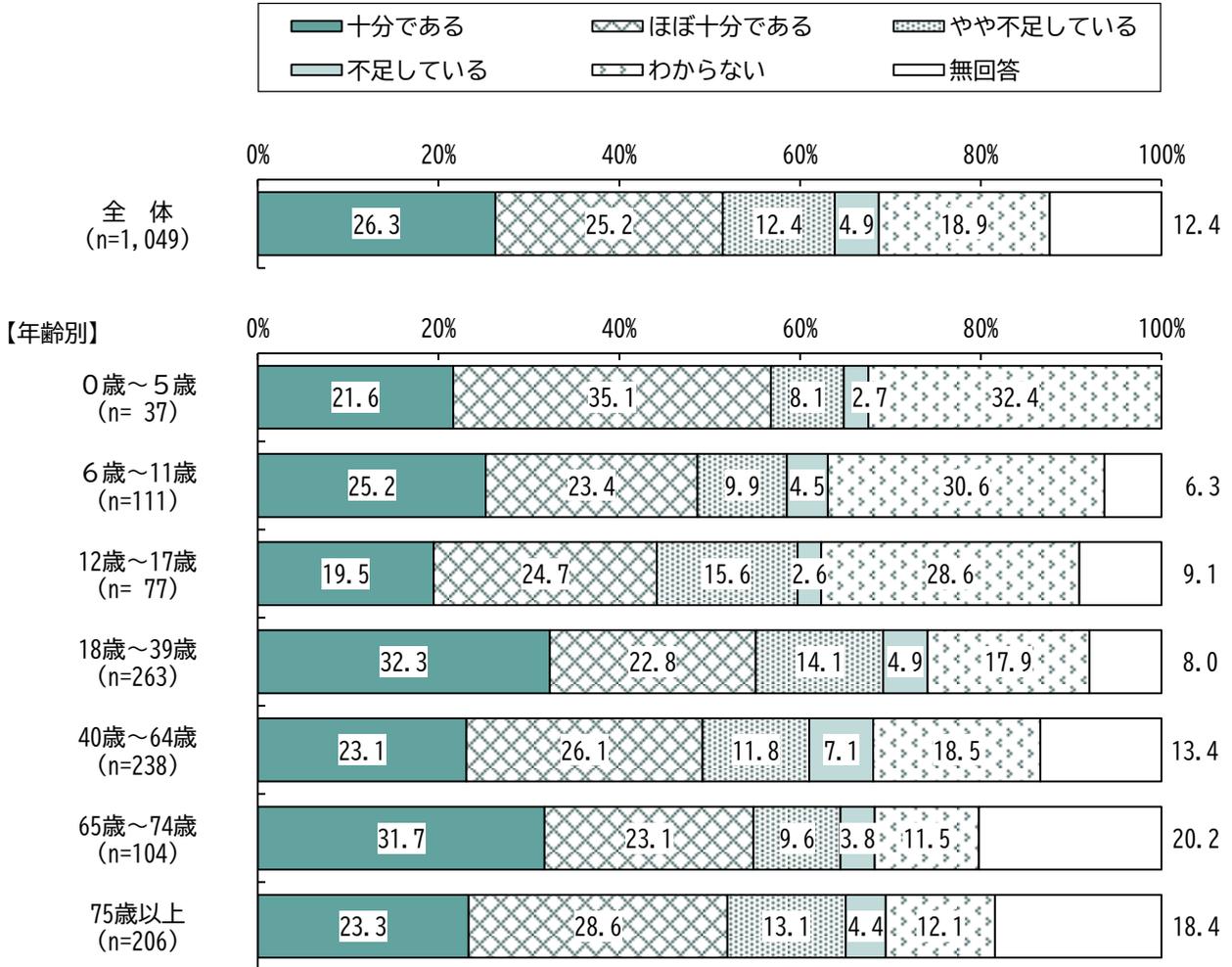
問8-1 あなたが受けている介護・介助についてどう感じていますか。(○は1つ)

「十分である」が26.3%と最も多く、次いで「ほぼ十分である」が25.2%、「わからない」が18.9%などとなっています。

障害種別にみると、「精神障害者」、「難病患者」、「重症心身障害児者」では「ほぼ十分である」が最も多くなっています。



年齢別にみると、“0歳～5歳”、“40歳～64歳”、“75歳以上”では「ほぼ十分である」が最も多くなっています。また、“6歳～11歳”、“12歳～17歳”では「わからない」が最も多くなっています。

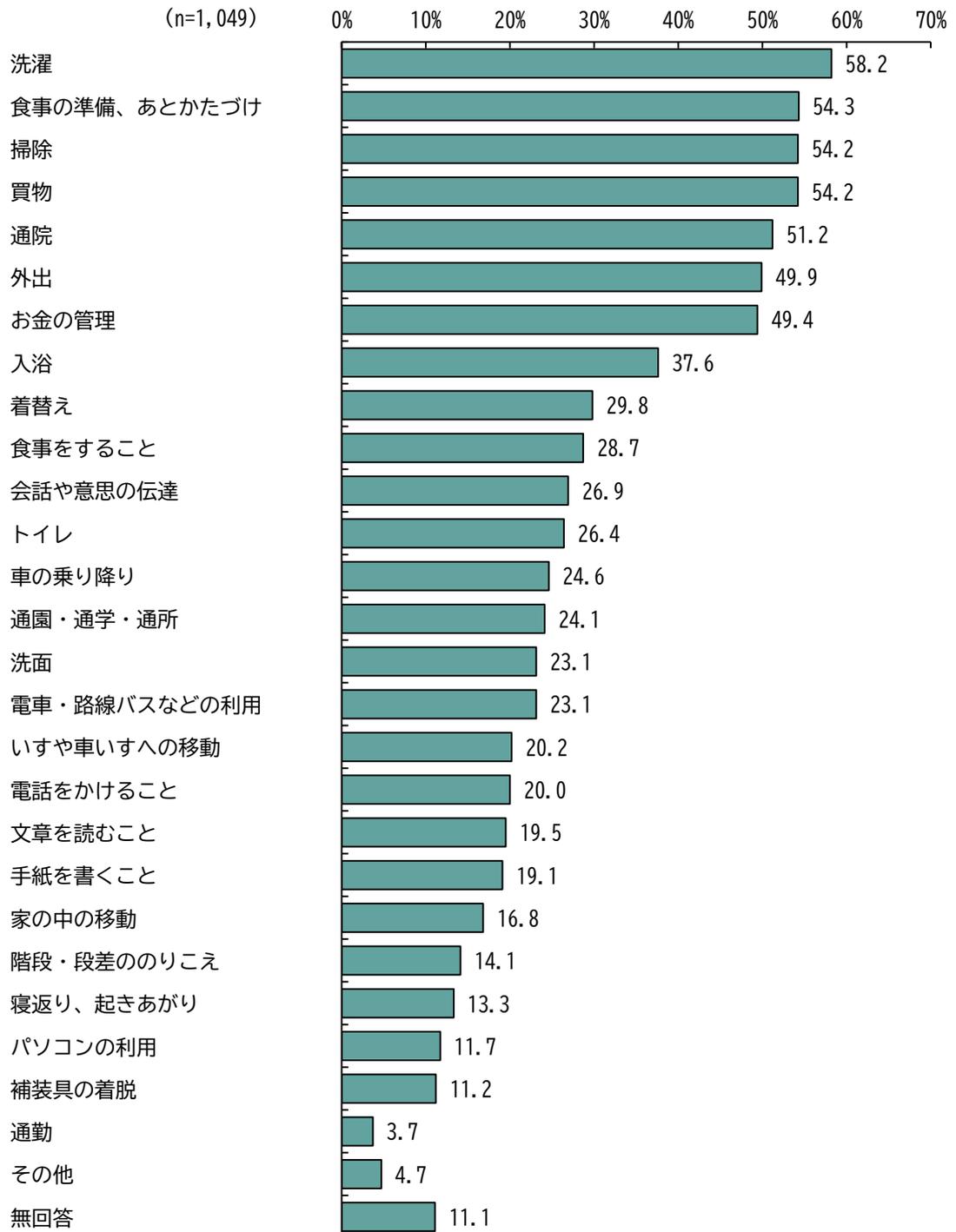


(17) 受けている介護・介助の内容

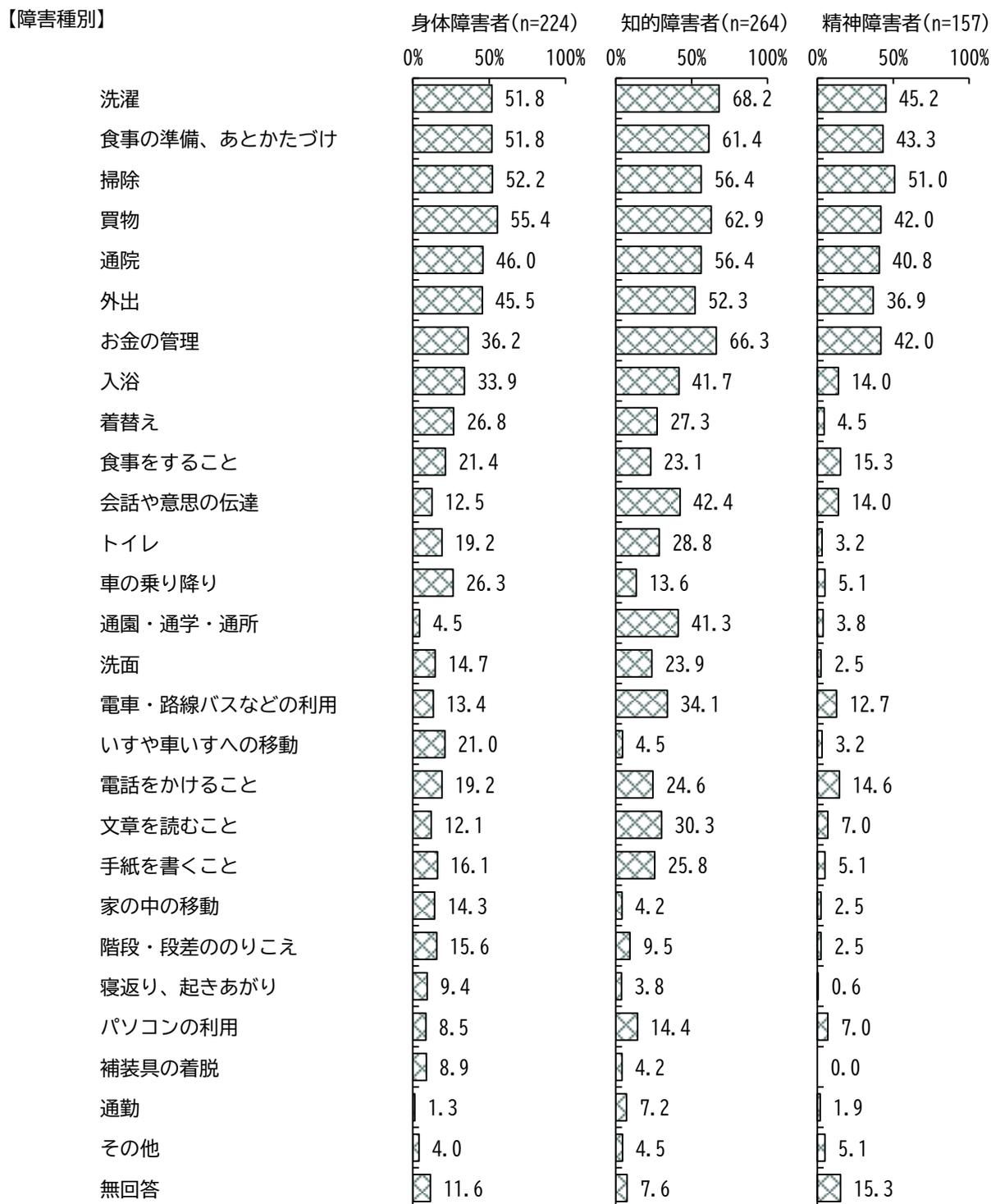
(問8で「1」～「9」とお答えの方(あなたを介護・介助している人がいる方)にお聞きします。)

問8-2 受けている介護・介助はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

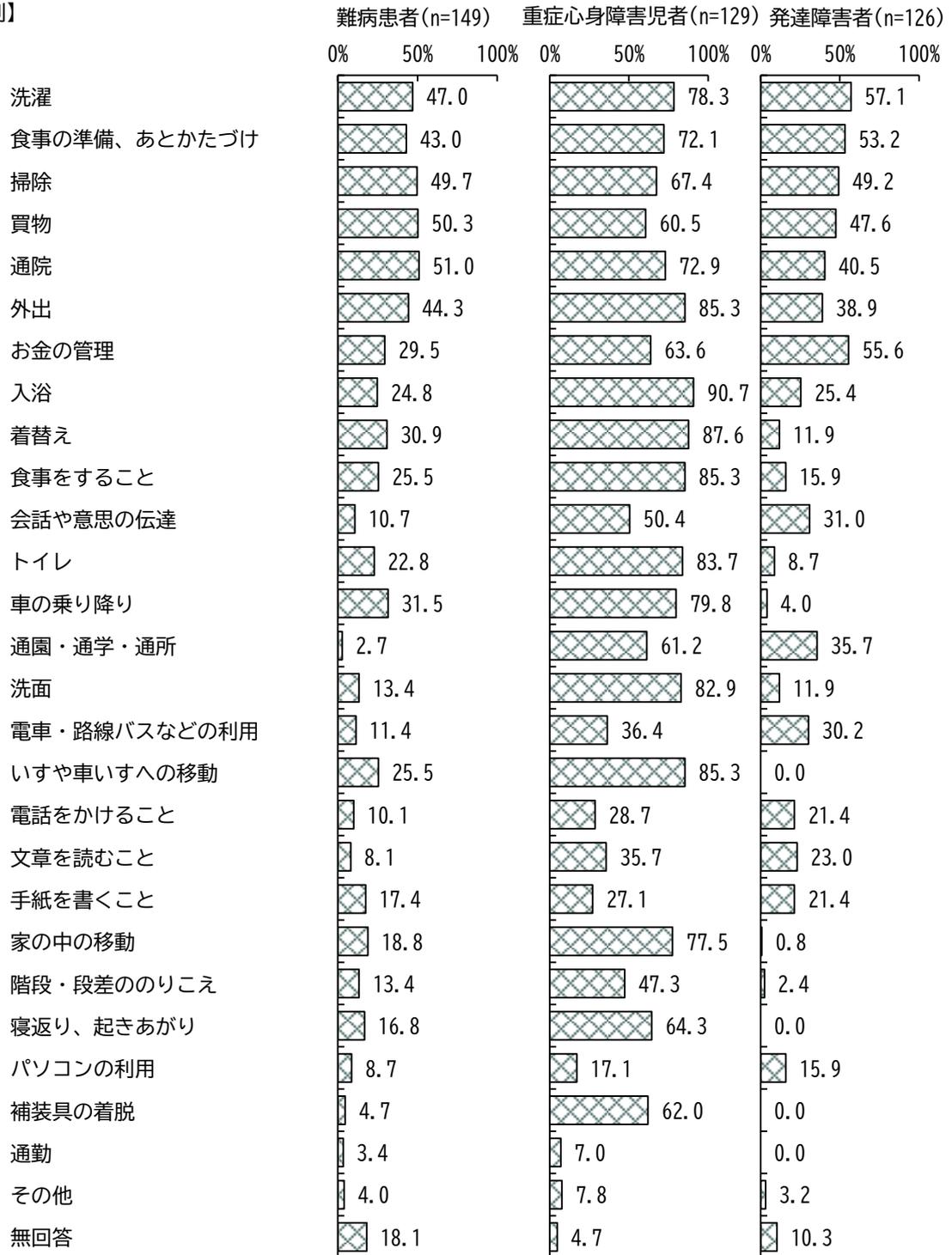
「洗濯」が58.2%と最も多く、次いで「食事の準備、あとかたづけ」が54.3%、「掃除」、「買物」が54.2%などとなっています。



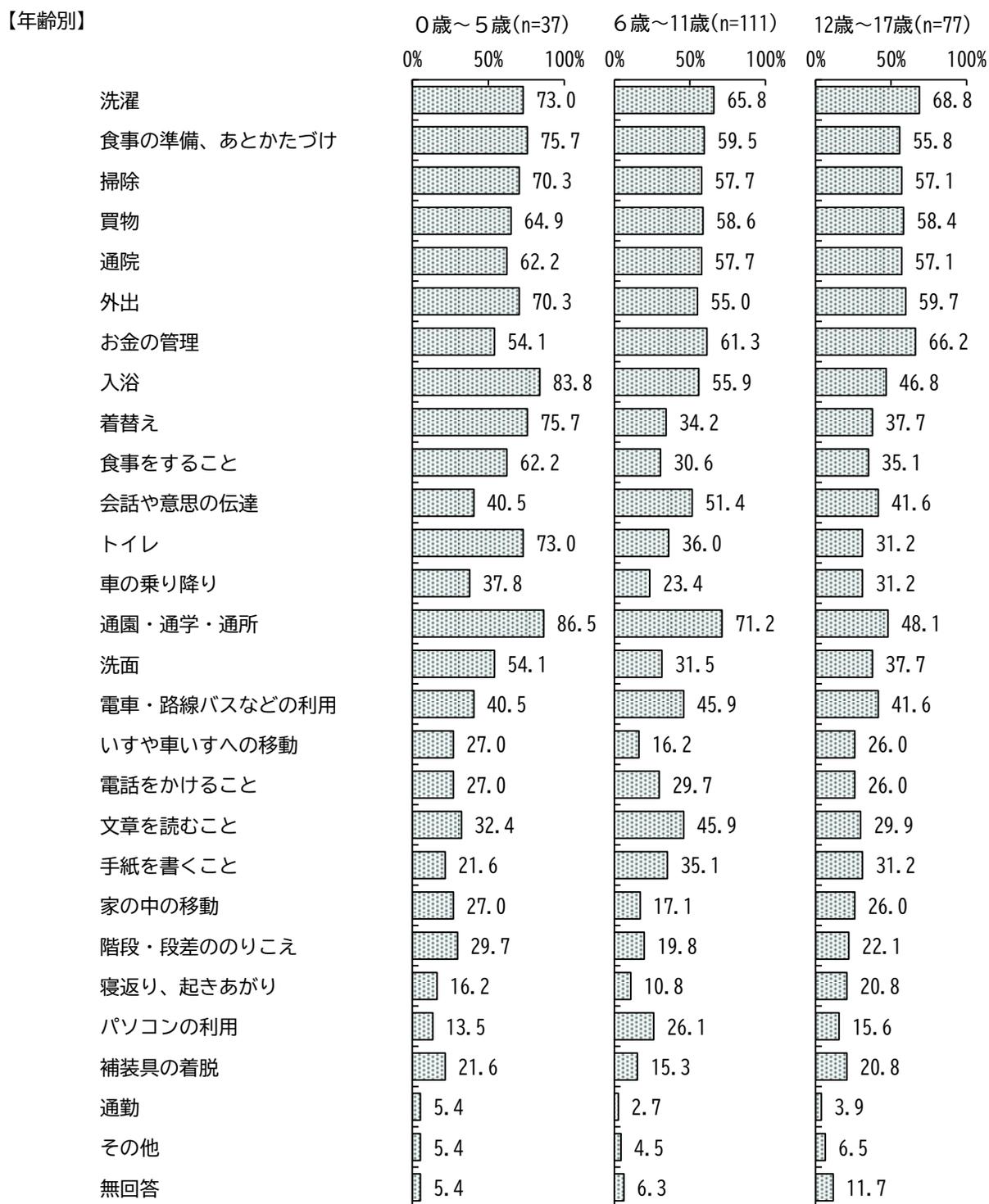
障害種別にみると、“身体障害者”では「買物」が最も多くなっています。また、“精神障害者”では「掃除」が最も多くなっています。また、“重症心身障害児者”では「入浴」が最も多くなっています。



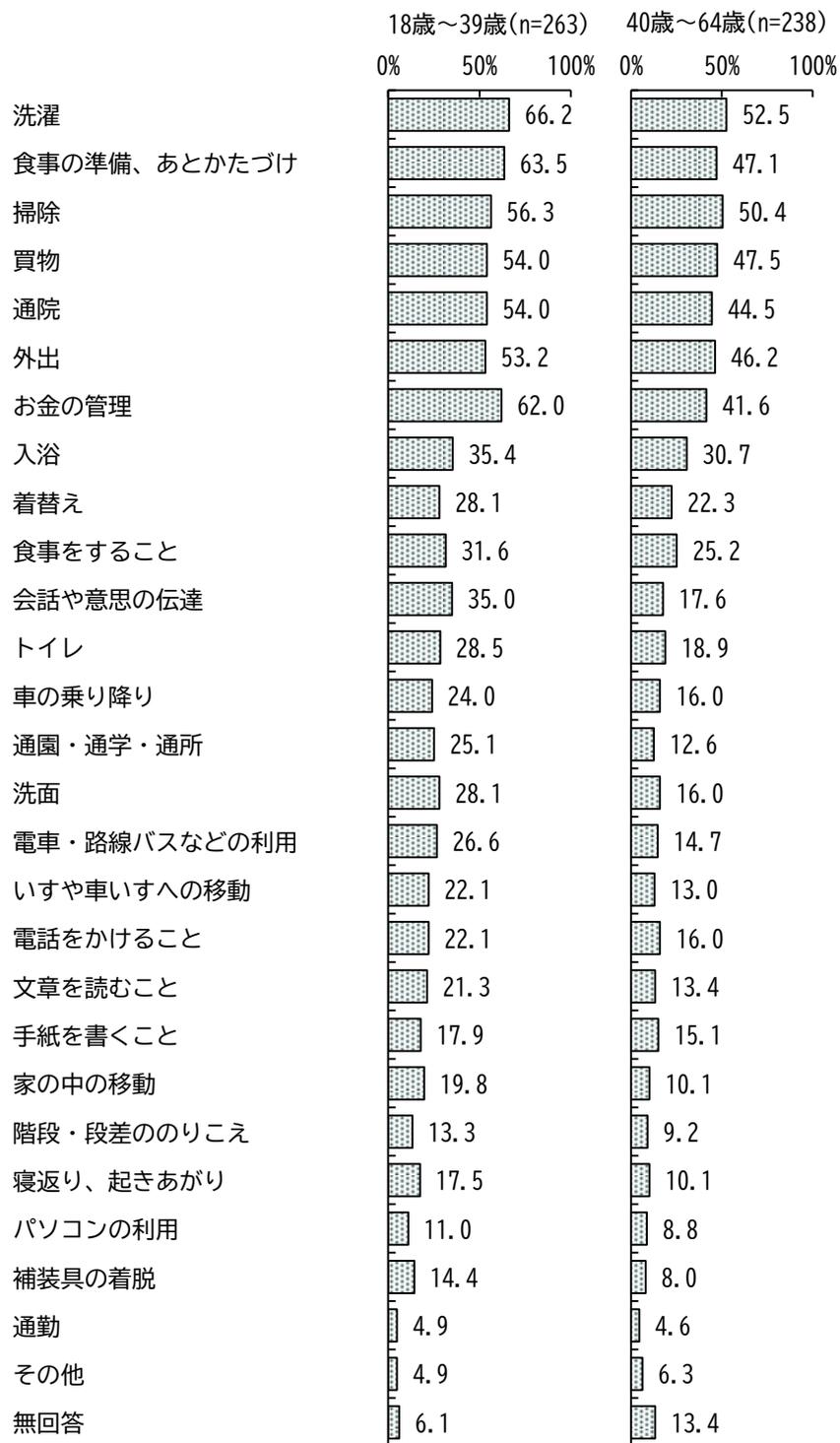
【障害種別】



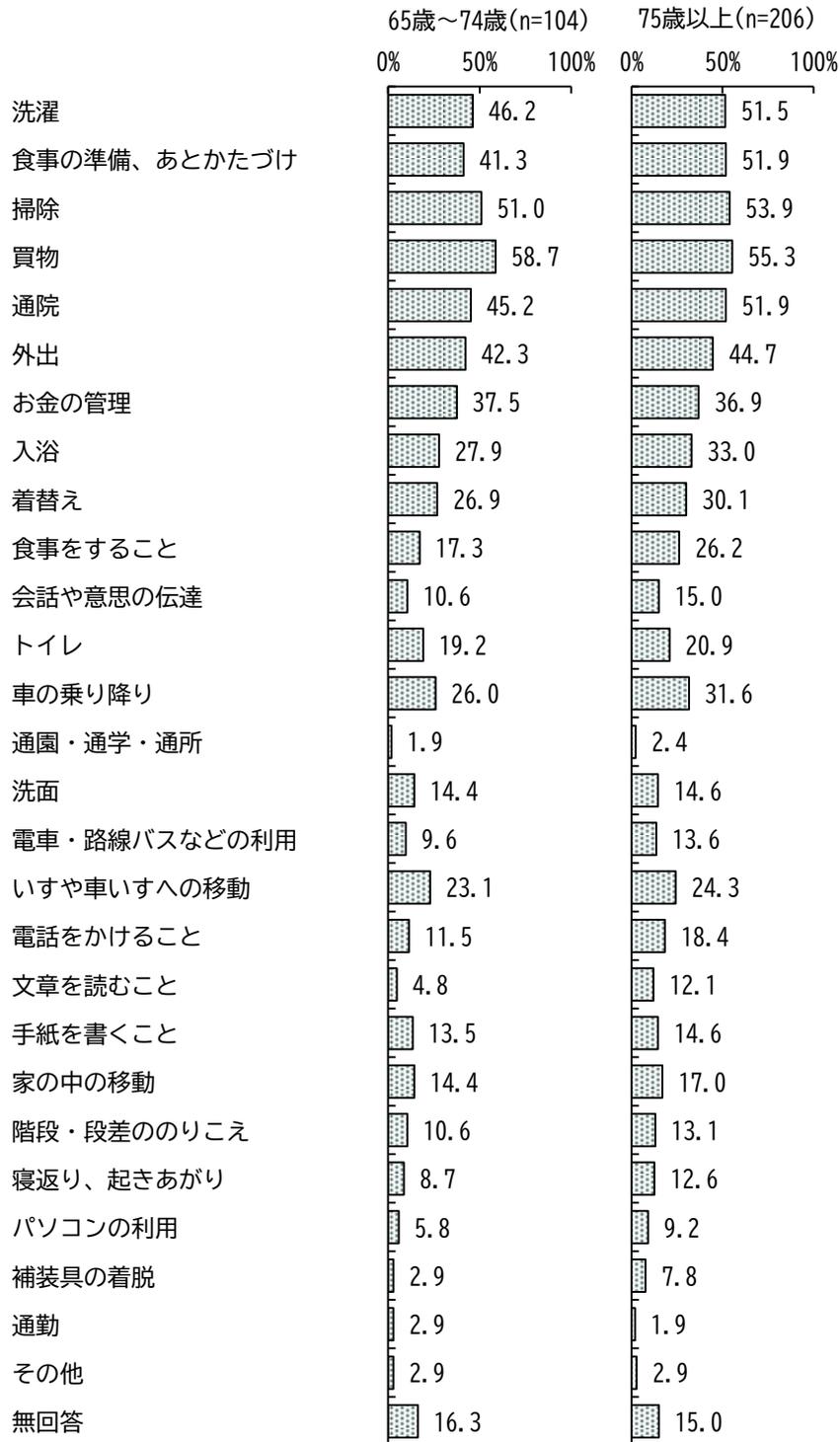
年齢別にみると、“0歳～5歳”、“6歳～11歳”では「通園・通学・通所」が最も多くなっています。また、“65歳～74歳”、“75歳以上”では「買物」が最も多くなっています。



【年齢別】



【年齢別】



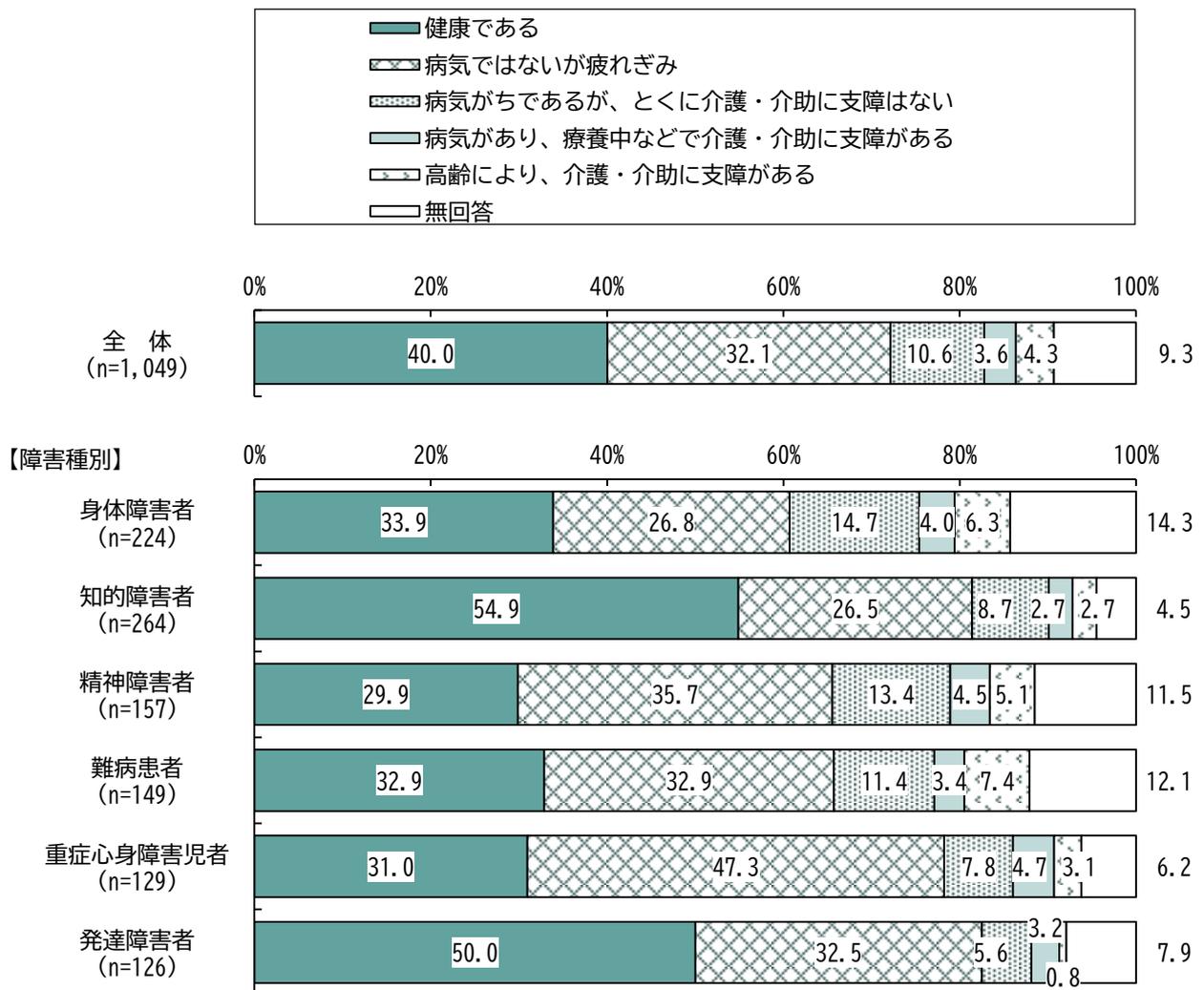
(18) 主な介護・介助者の健康状態

(問8で「1」～「9」とお答えの方(あなたを介護・介助している人がいる方)にお聞きします。)

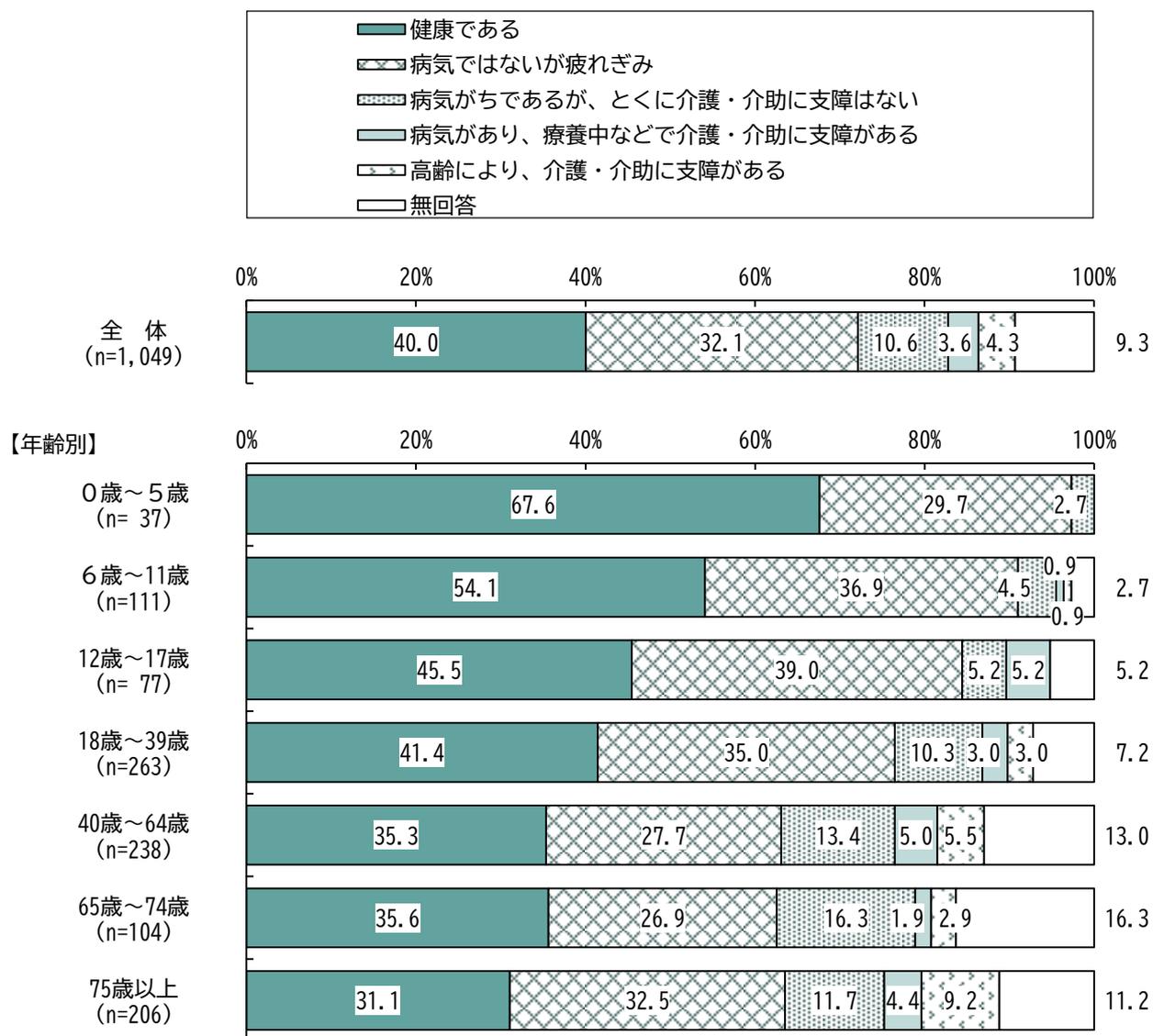
問8-3 主な介護・介助している人の状態はいかがですか。(○は1つ)

「健康である」が40.0%と最も多く、次いで「病気ではないが疲れぎみ」が32.1%、「病気がちであるが、とくに介護・介助に支障はない」が10.6%などとなっています。

障害種別にみると、「精神障害者」、「重症心身障害児者」では「病気ではないが疲れぎみ」が最も多くなっています。



年齢別にみると、“75歳以上”では「病気ではないが疲れぎみ」が最も多くなっています。

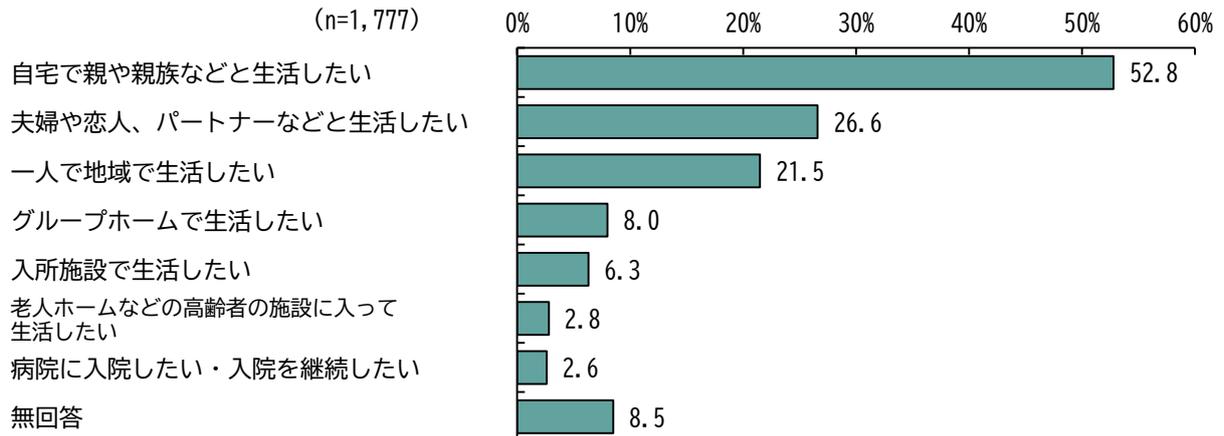


2 今後の暮らし方について

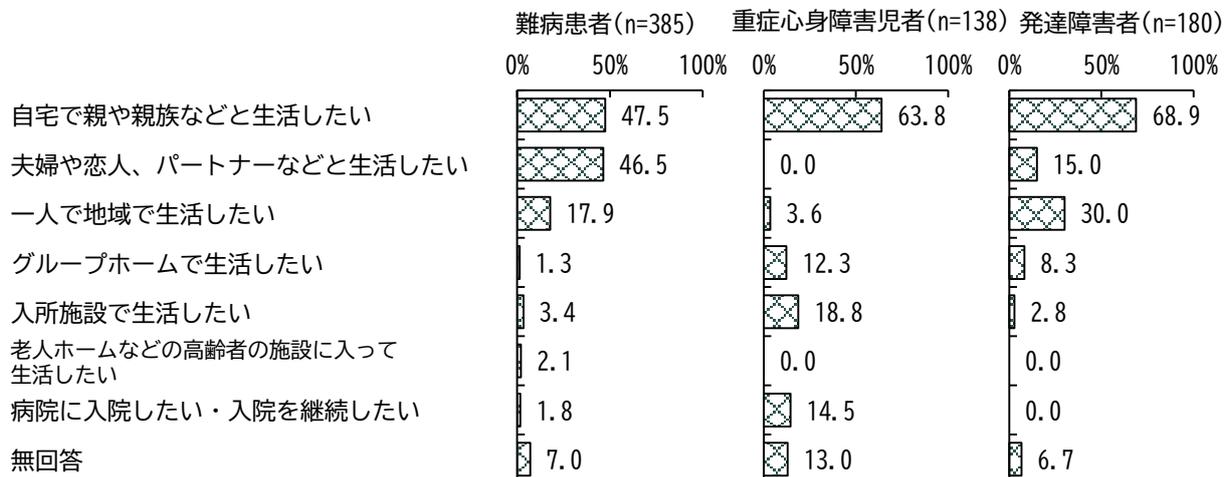
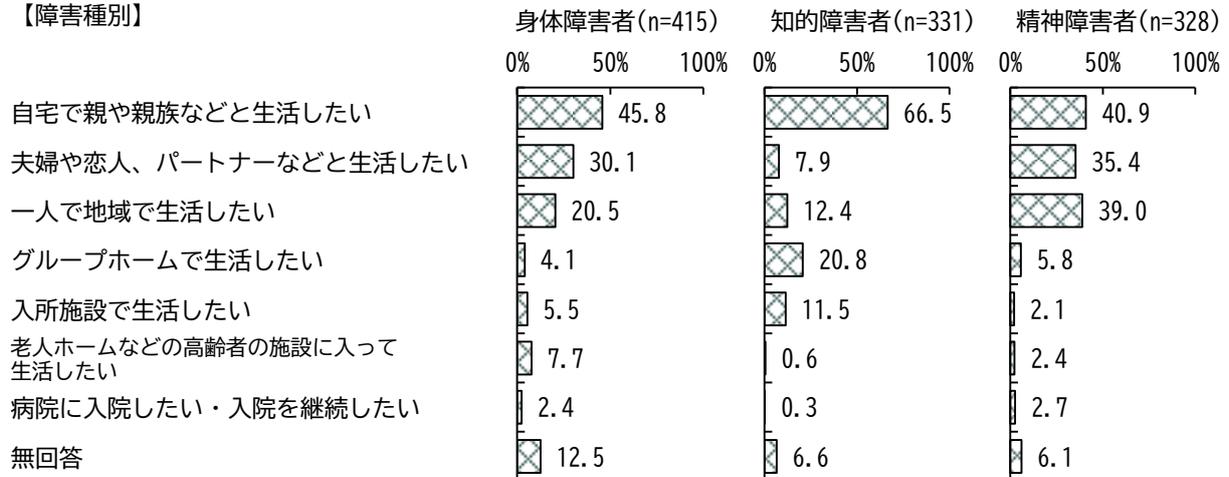
(1) これから先の希望する生活

問9 あなたは、これから次の中でどのような生活を希望しますか。(〇は2つまで)

「自宅で親や親族などと生活したい」が52.8%と最も多く、次いで「夫婦や恋人、パートナーなどと生活したい」が26.6%、「一人で地域で生活したい」が21.5%などとなっています。



【障害種別】



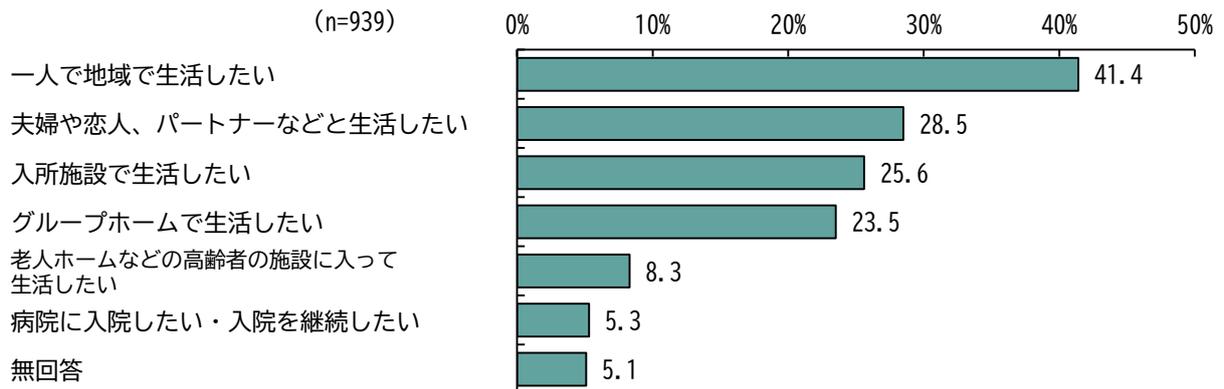
(2) 将来親や親族が病気などで一緒に生活できなくなったときに希望する生活

問9-1 問9で「②自宅で親や親族などと生活したい」とお答えの方にお聞きします。

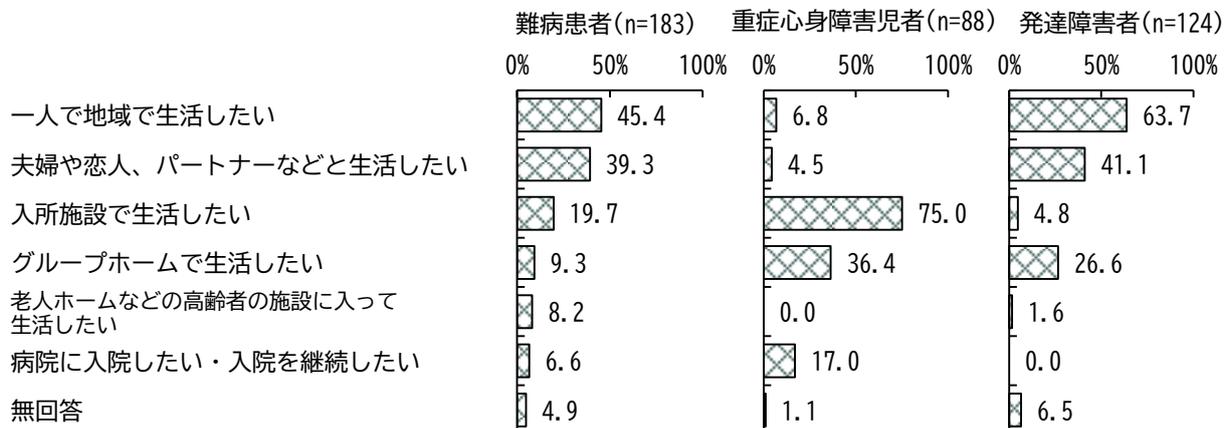
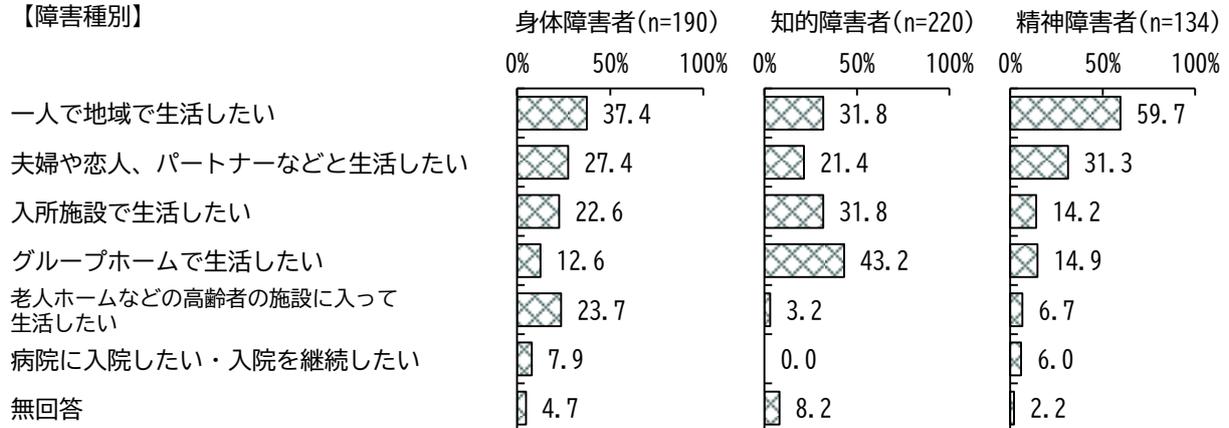
将来、親や親族が病気などで一緒に生活できなくなったときは、次の中のどのような生活を希望しますか。(○は2つまで)

「一人で地域で生活したい」が41.4%と最も多く、次いで「夫婦や恋人、パートナーなどと生活したい」が28.5%、「入所施設で生活したい」が25.6%などとなっています。

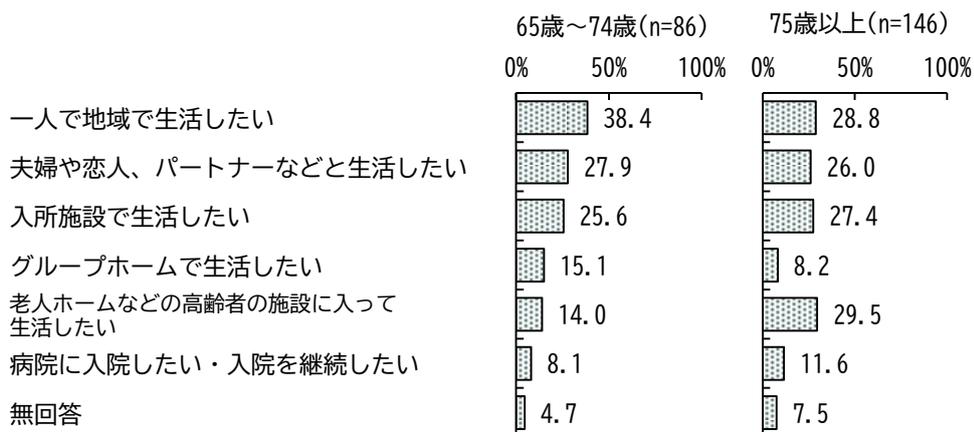
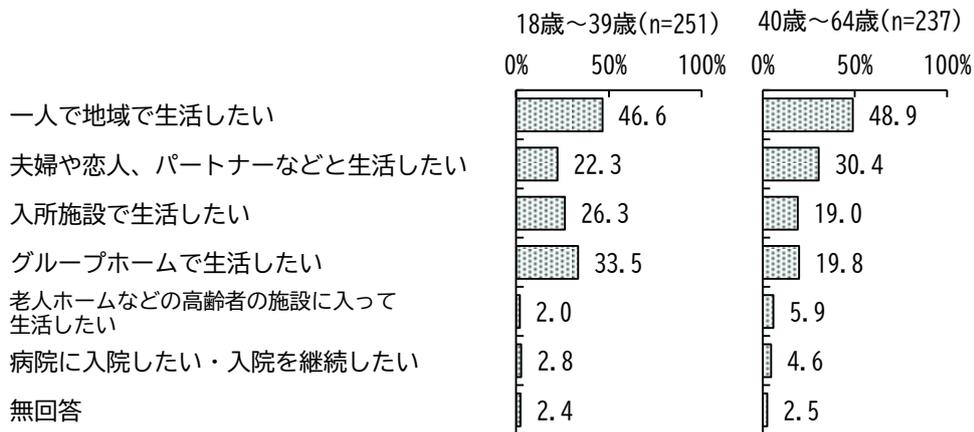
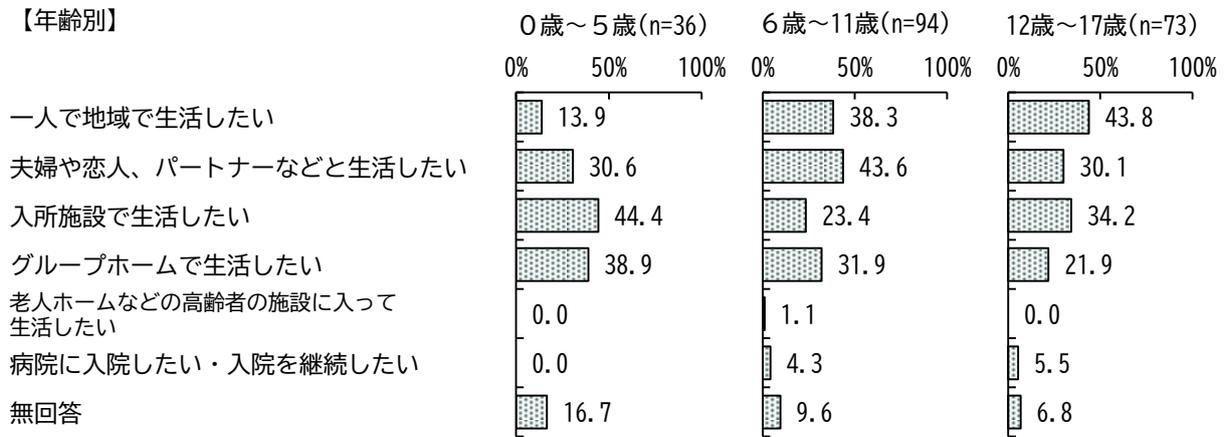
障害種別に見ると、“知的障害者”では「グループホームで生活したい」が最も多くなっています。また、“重症心身障害児者”では「入所施設で生活したい」が最も多くなっています。



【障害種別】



年齢別にみると、“0歳～5歳”では「入所施設で生活したい」が最も多くなっています。また、“6歳～11歳”では「夫婦や恋人、パートナーなどと生活したい」が最も多くなっています。

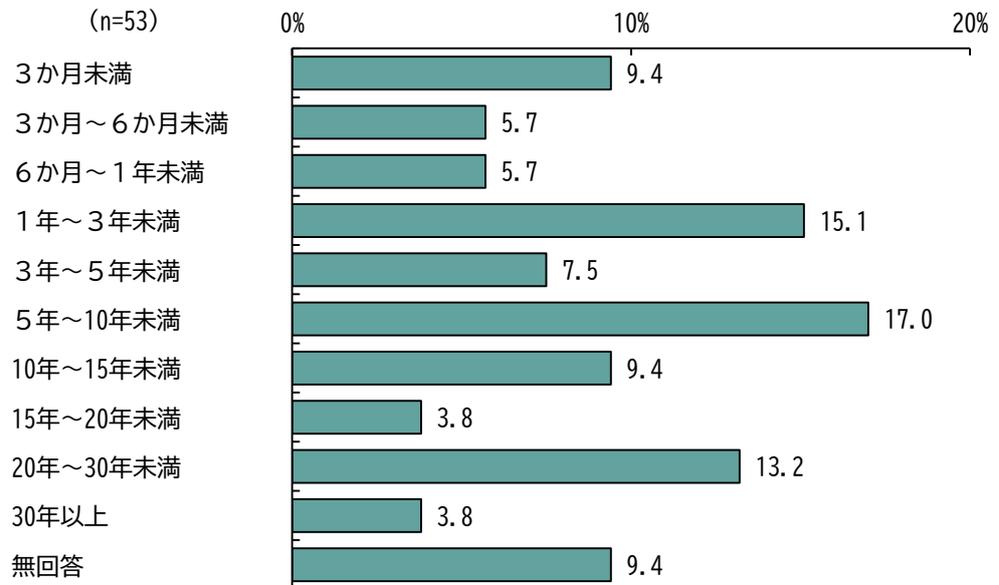


(3) 病院に入院してからの経過期間

(問7で「5 病院に入院している」とお答えの方にお聞きします。)

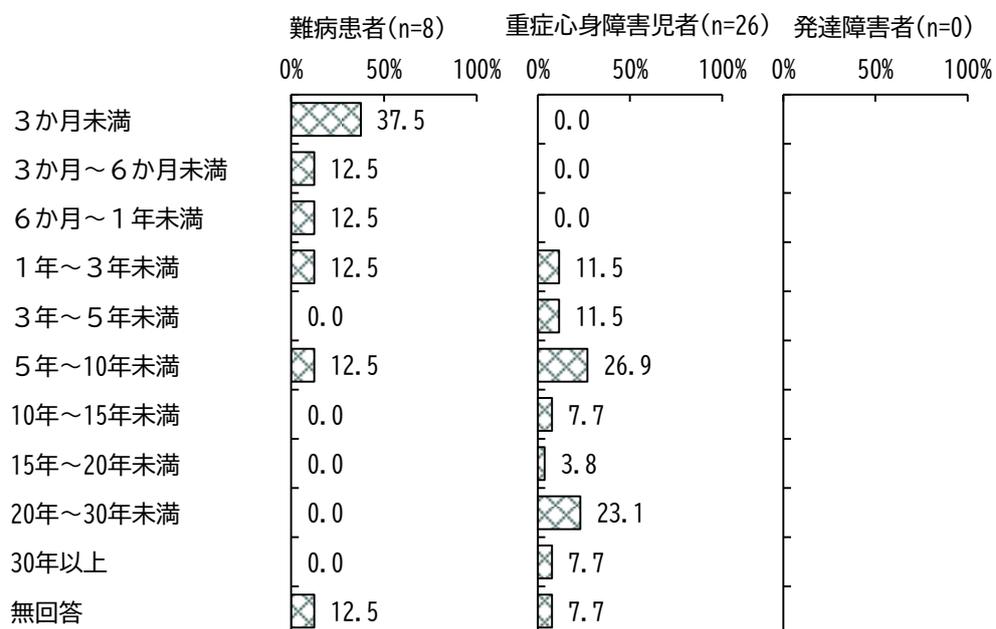
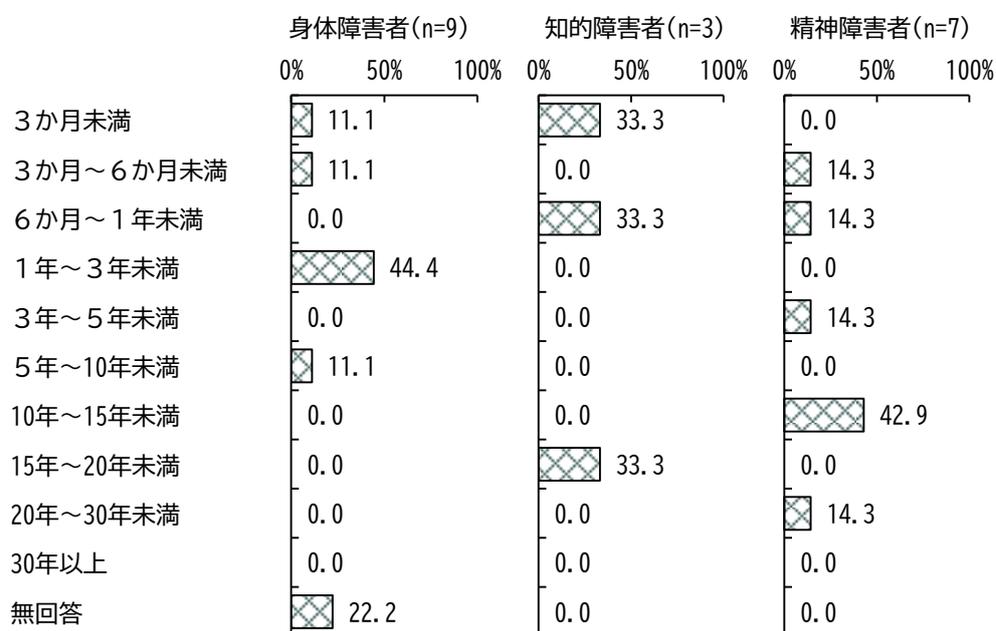
問10 あなたは、病院に入院してどのくらいの期間が経過していますか。(○は1つ)

「5年～10年未満」が17.0%と最も多く、次いで「1年～3年未満」が15.1%、「20年～30年未満」が13.2%などとなっています。



障害種別にみると、“身体障害者”では「1年～3年未満」が最も多くなっています。また、“精神障害者”では「10年～15年未満」が最も多くなっています。また、“難病患者”では「3か月未満」が最も多くなっています。

【障害種別】

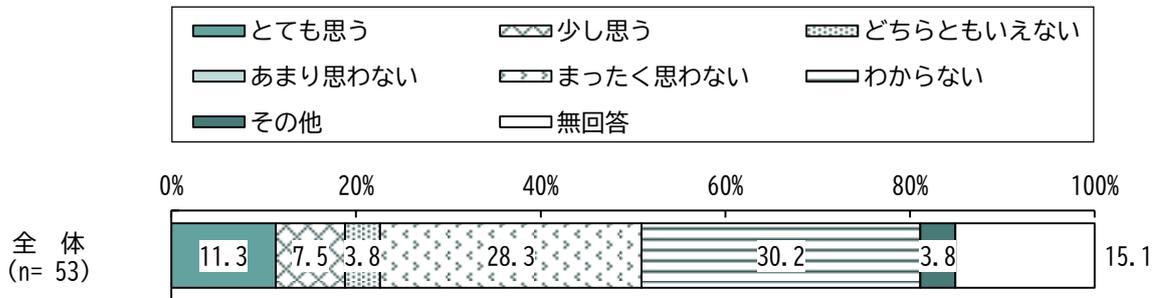


(4) 退院して地域で生活することへの希望

(問7で「5 病院に入院している」とお答えの方にお聞きします。)

問10-1 あなたは、現在入院している病院を退院して地域で生活したいと思いますか。(○は1つ)

「わからない」が30.2%と最も多く、次いで「まったく思わない」が28.3%、「とても思う」が11.3%などとなっています。障害種別は、nが少ないため割愛します。



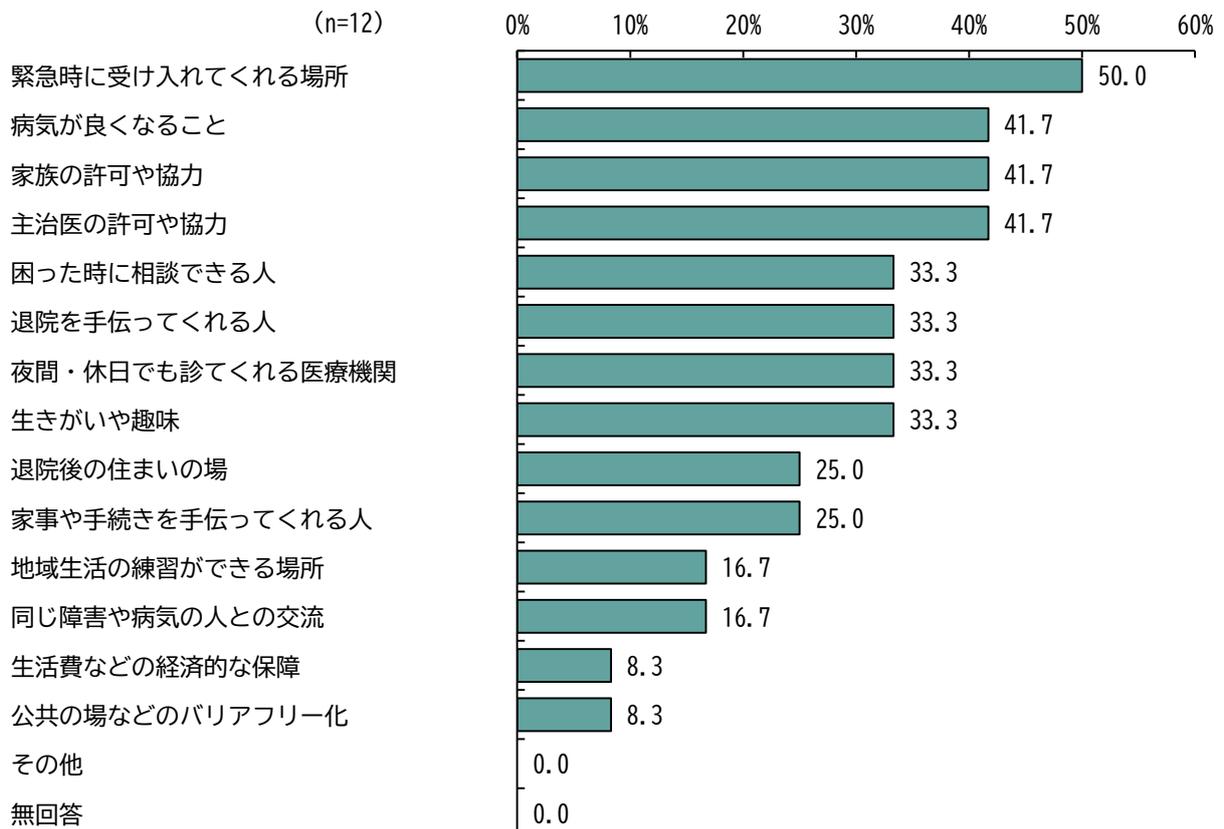
(5) 今後地域で生活していくために必要なこと

問10-2 問10-1で「1」～「3」とお答えの方(退院後地域での生活を望む方)にお聞きします。

あなたが今後地域で生活していくためには、どんなことが必要だと思いますか。

(○はいくつでも)

「緊急時に受け入れてくれる場所」が50.0%と最も多く、次いで「病気が良くなること」、「家族の許可や協力」、「主治医の許可や協力」が41.7%などとなっています。障害種別は、nが少ないため割愛します。

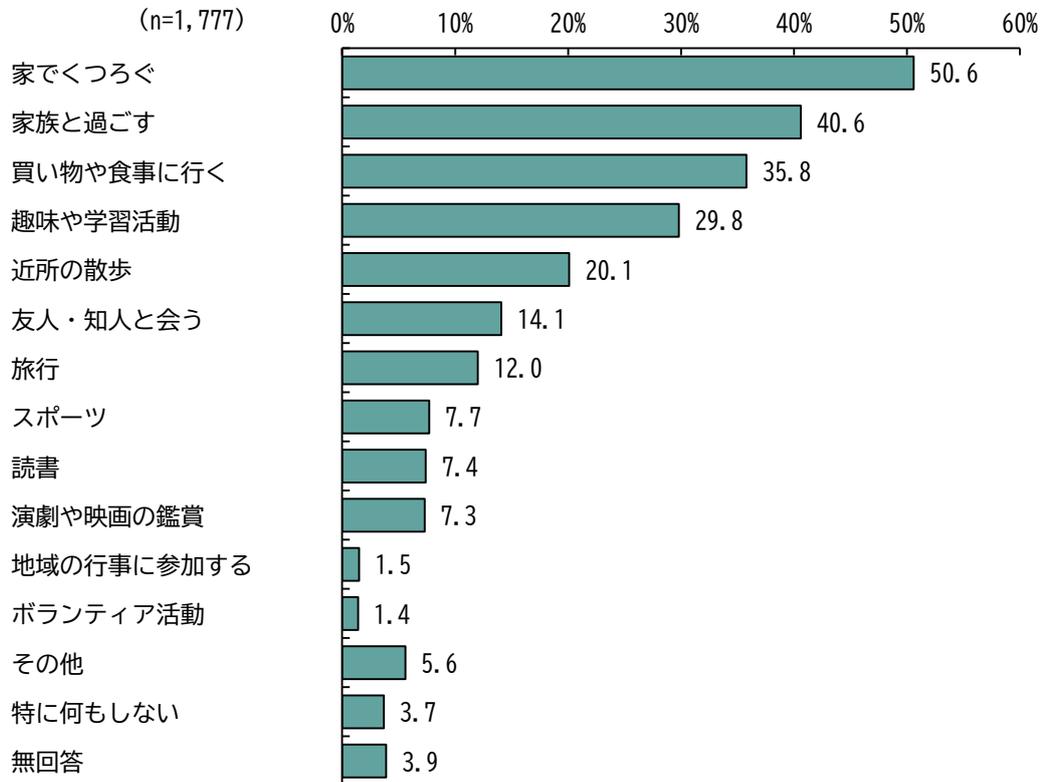


(6) 休日など時間があるときに希望する過ごし方

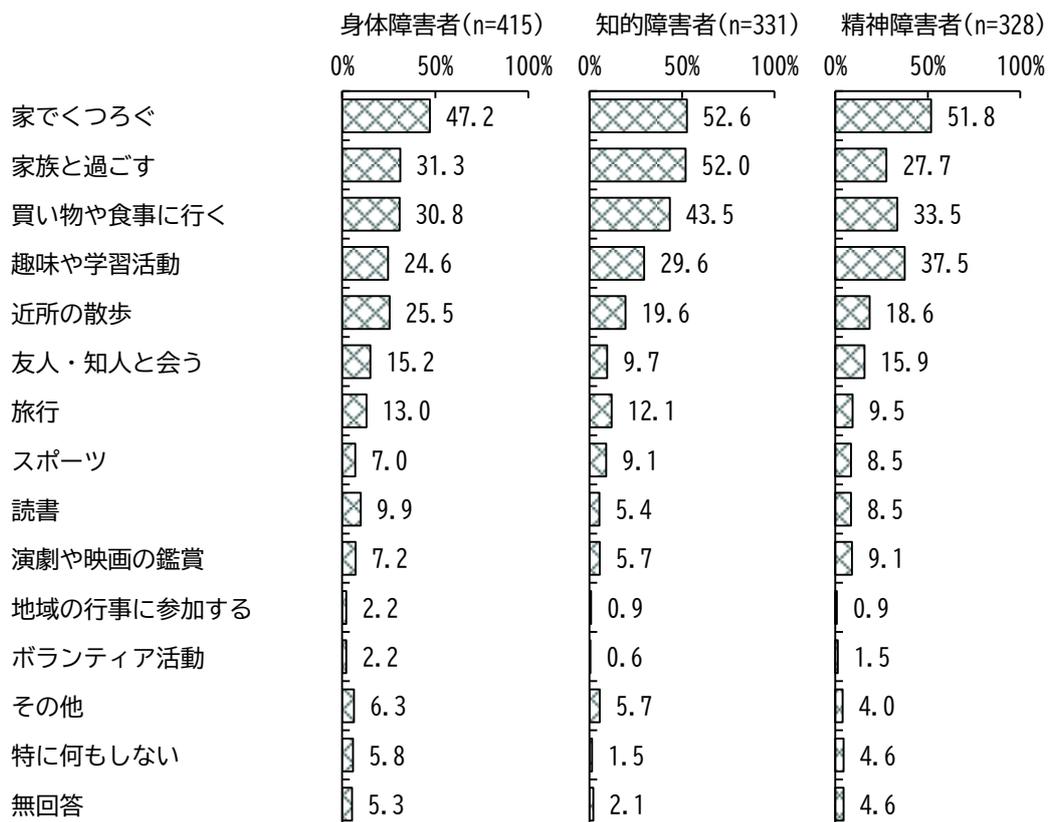
問11 あなたは、休日など時間があるとき、主にどのようにして過ごしたいですか。(〇は3つまで)

「家でくつろぐ」が50.6%と最も多く、次いで「家族と過ごす」が40.6%、「買い物や食事に行く」が35.8%などとなっています。

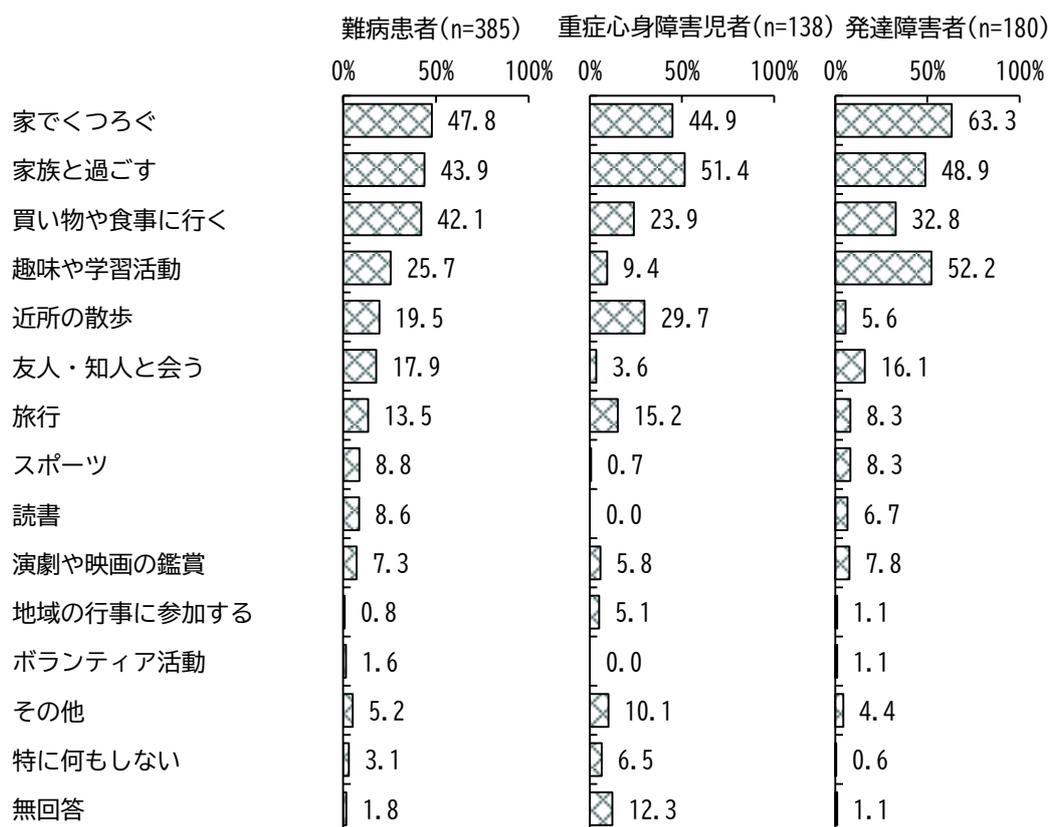
障害種別にみると、“重症心身障害児者”では「家族と過ごす」が最も多くなっています。



【障害種別】

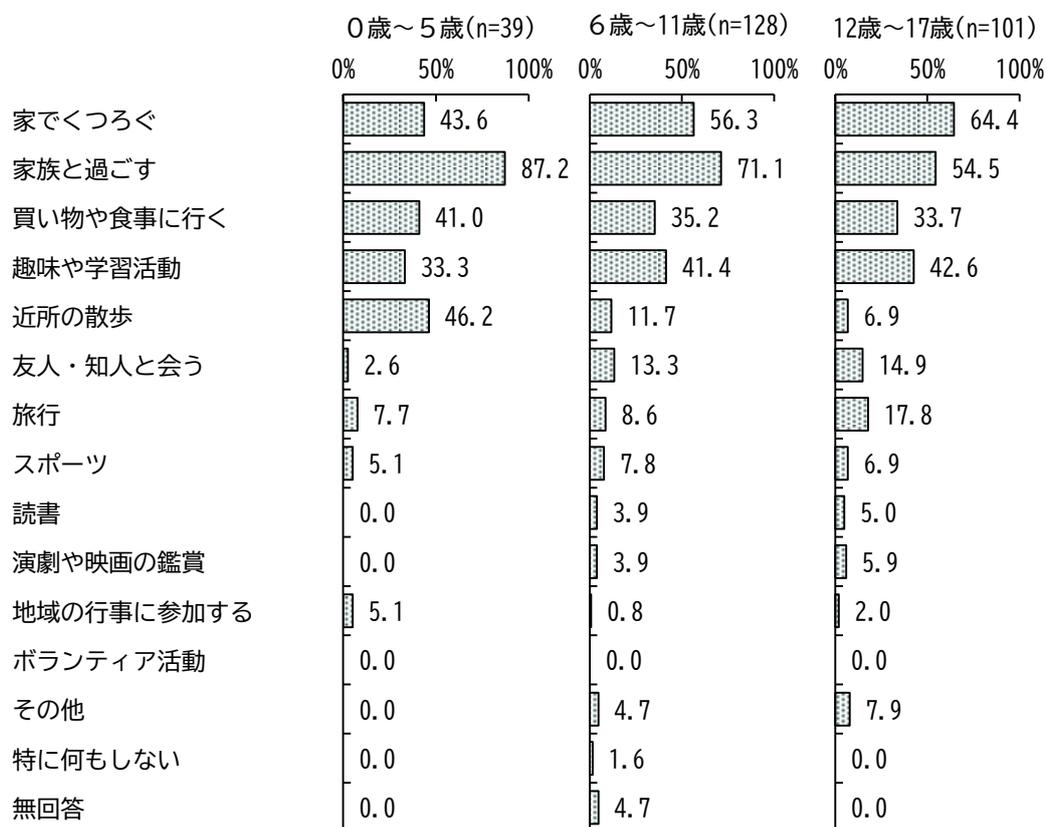


【障害種別】

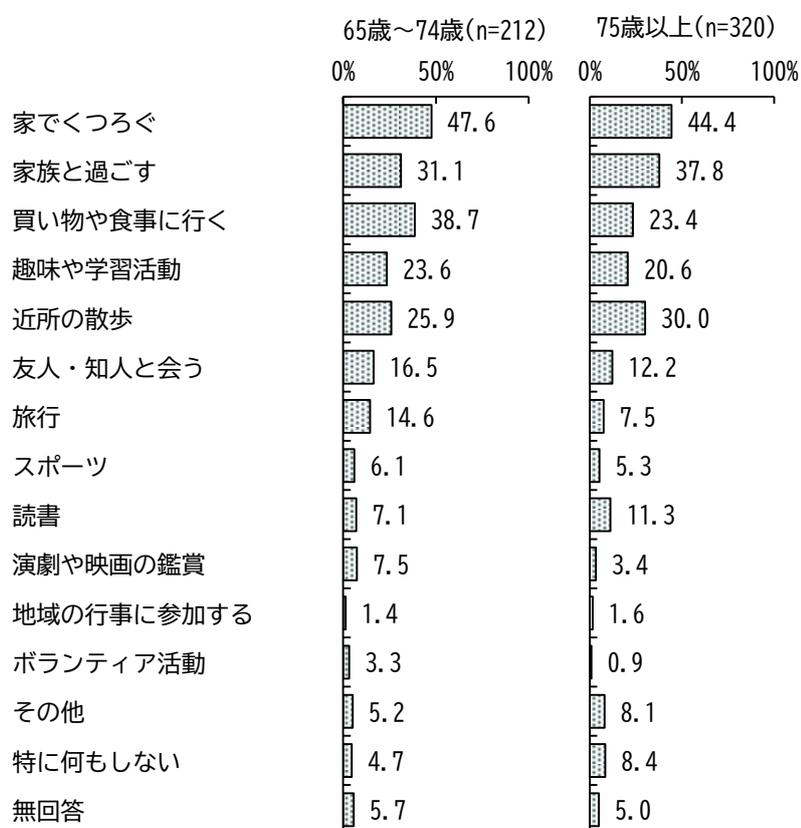
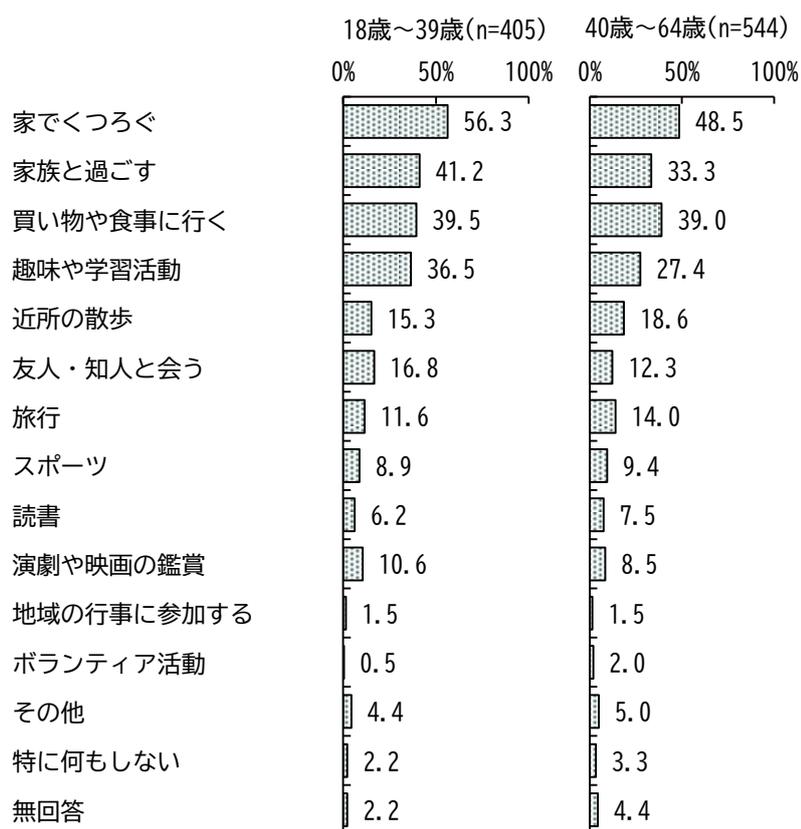


年齢別にみると、“0歳～5歳”、“6歳～11歳”では「家族と過ごす」が最も多くなっています。

【年齢別】



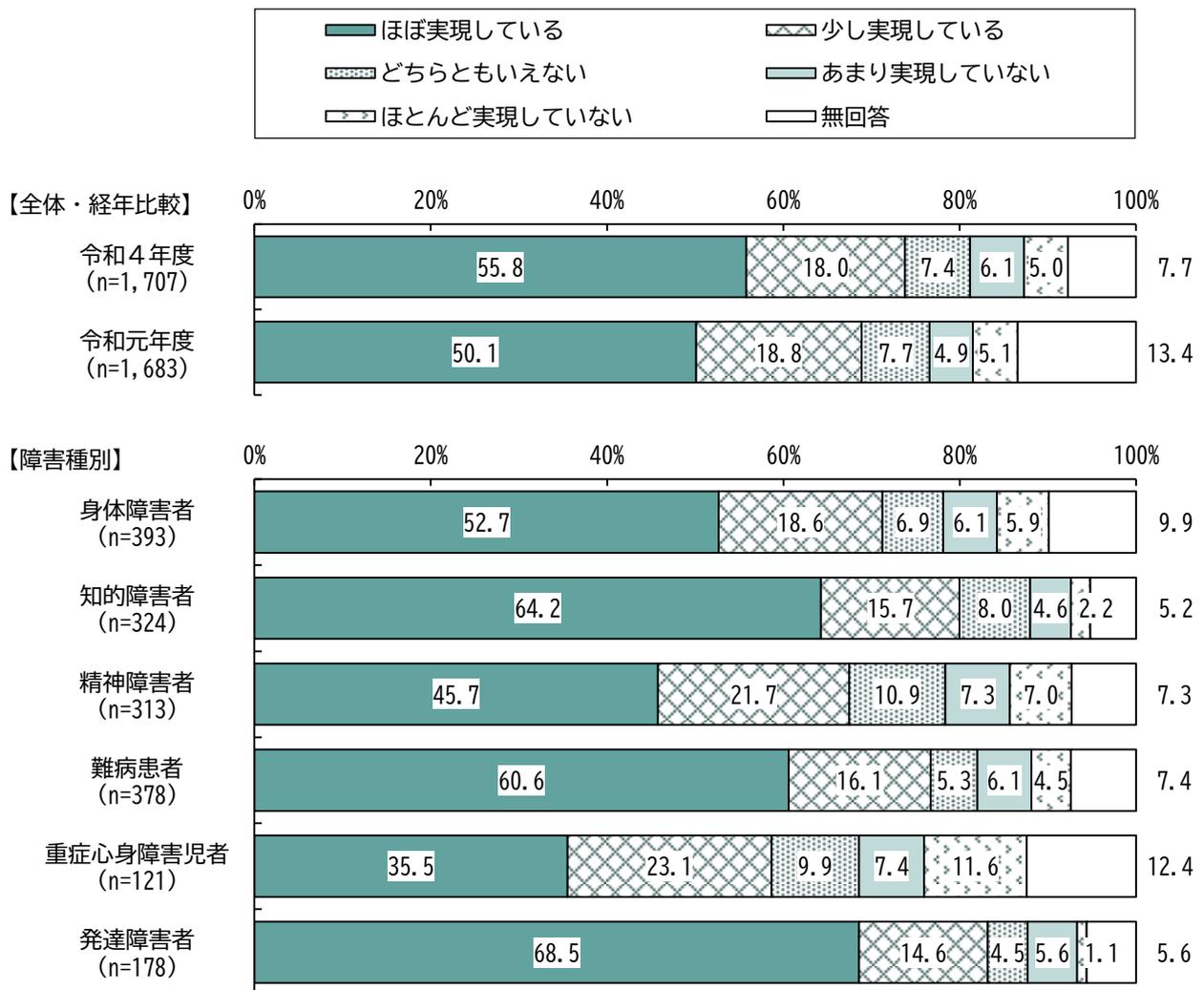
【年齢別】



(7) 希望する過ごし方の実現状況

問11-1 問11で○をつけたことについて、いまの生活ではどれくらい実現していると思いますか。
(○は1つ)

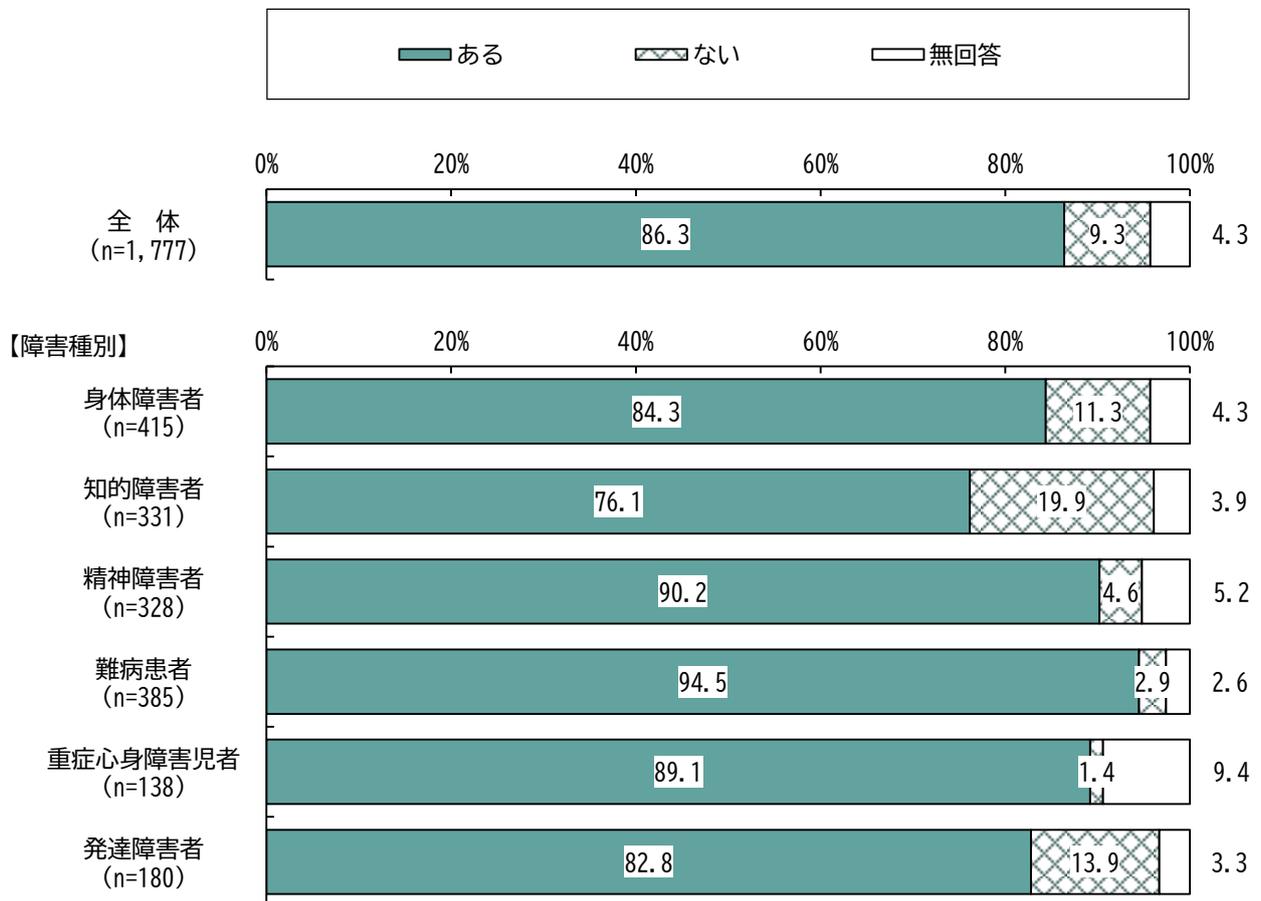
「ほぼ実現している」が55.8%と最も多く、次いで「少し実現している」が18.0%、「どちらともいえない」が7.4%などとなっています。



(8) かかりつけ医療機関の有無

問12 あなたは、継続的に治療を受けたり、健康や障害などについて相談したりする「かかりつけ医療機関」がありますか。(〇は1つ)

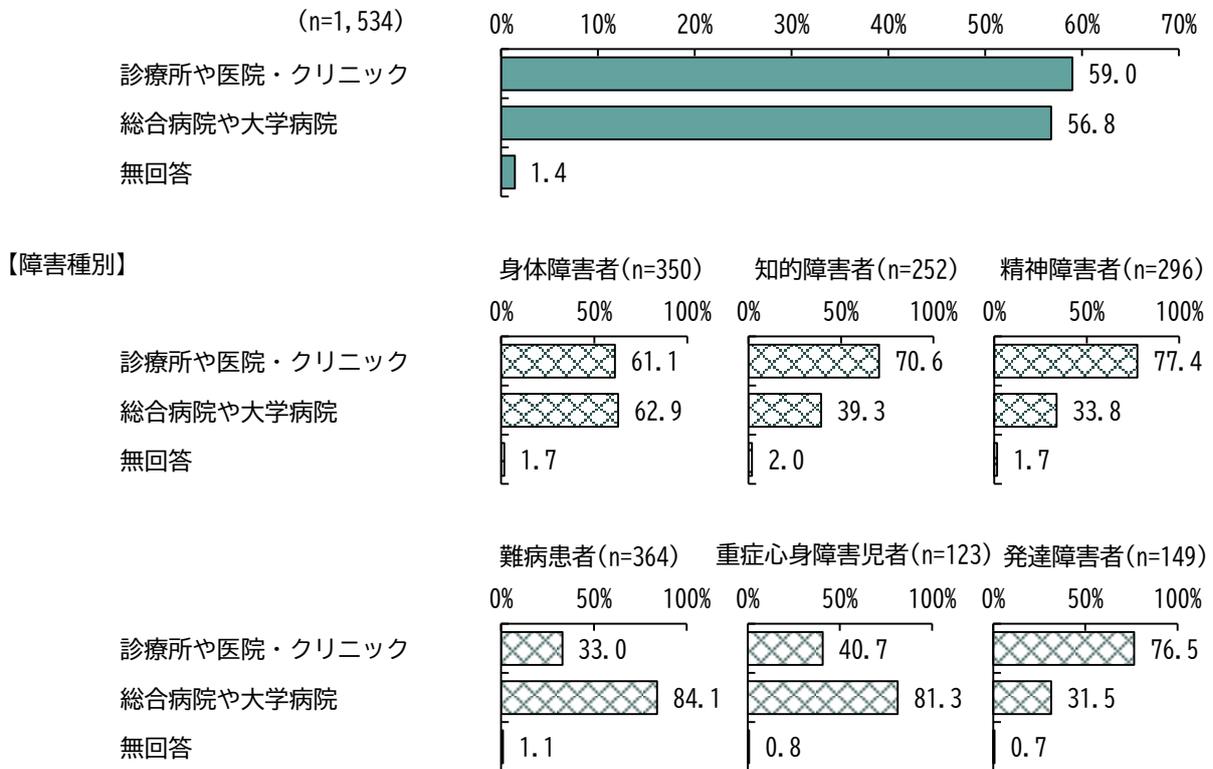
「ある」が86.3%、「ない」が9.3%となっています。



(9) かかりつけの医療機関・受診科

問12-1 問12で「1 ある」とお答えの方にお聞きします。どのような医療機関ですか。また受診科は何ですか。(〇はいくつでも)

「診療所や医院・クリニック」が59.0%、「総合病院や大学病院」が56.8%となっています。



<診療所や医院・クリニックの受診科>

	身体障害者 (n=350)		知的障害者 (n=252)		精神障害者 (n=296)		難病患者 (n=364)		重症心身障害児者 (n=123)		発達障害者 (n=149)	
	診療科	件	診療科	件	診療科	件	診療科	件	診療科	件	診療科	件
1位	内科	100	内科/精神科	48	精神科	103	内科	58	内科/小児科	13	小児科	34
2位	整形外科	19			心療内科	38	眼科	12			精神科	23
3位	循環器内科	12	小児科	27	内科	36	整形外科	8	歯科/耳鼻咽喉科	3	内科	8
4位	眼科	11	歯科	11	歯科	11	循環器内科	5			心療内科	6
5位	外科/脳神経外科	7	心療内科	6	整形外科	6	外科/消化器科	4	眼科/精神科/リハビリ科	2	歯科/皮膚科/耳鼻咽喉科	2

<総合病院や大学病院の受診科>

	身体障害者 (n=350)		知的障害者 (n=252)		精神障害者 (n=296)		難病患者 (n=364)		重症心身障害児者 (n=123)		発達障害者 (n=149)	
	診療科	件	診療科	件	診療科	件	診療科	件	診療科	件	診療科	件
1位	整形外科	36	精神科	42	精神科	59	内科	80	小児科	30	精神科	24
2位	内科	29	小児科	20	内科	7	消化器内科	40	神経内科	19	小児科	8
3位	循環器内科	23	内科	9	耳鼻咽喉科	5	神経内科	38	内科/整形外科	8	内科	4
4位	外科/眼科	20	整形外科/眼科	5	整形外科	4	脳神経内科	17			精神科	7
5位					眼科	3	循環器内科/リウマチ科	14				

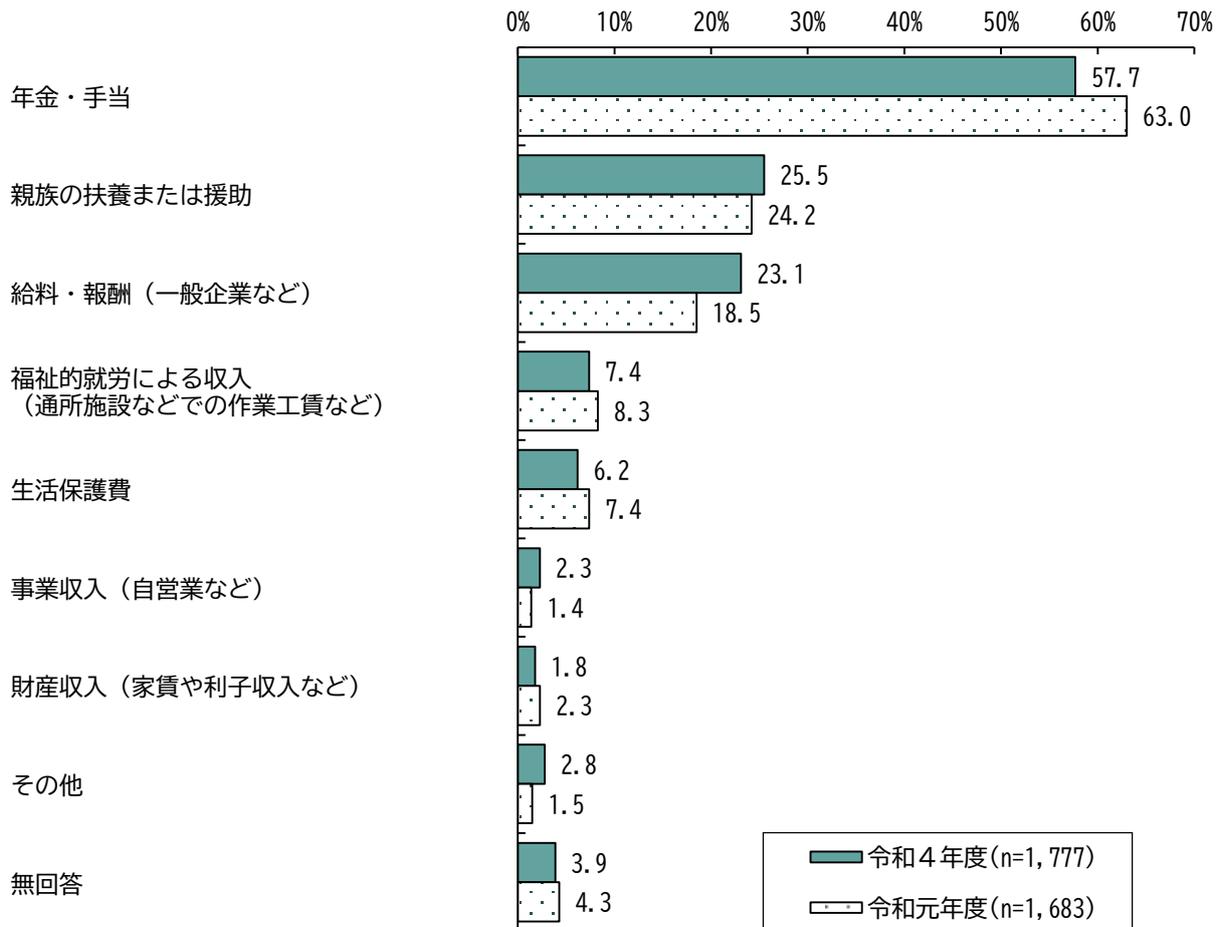
3 収入について

(1) 主な収入

問13 あなたが得ている主な収入は、次の中でどの収入ですか。(〇はいくつでも)

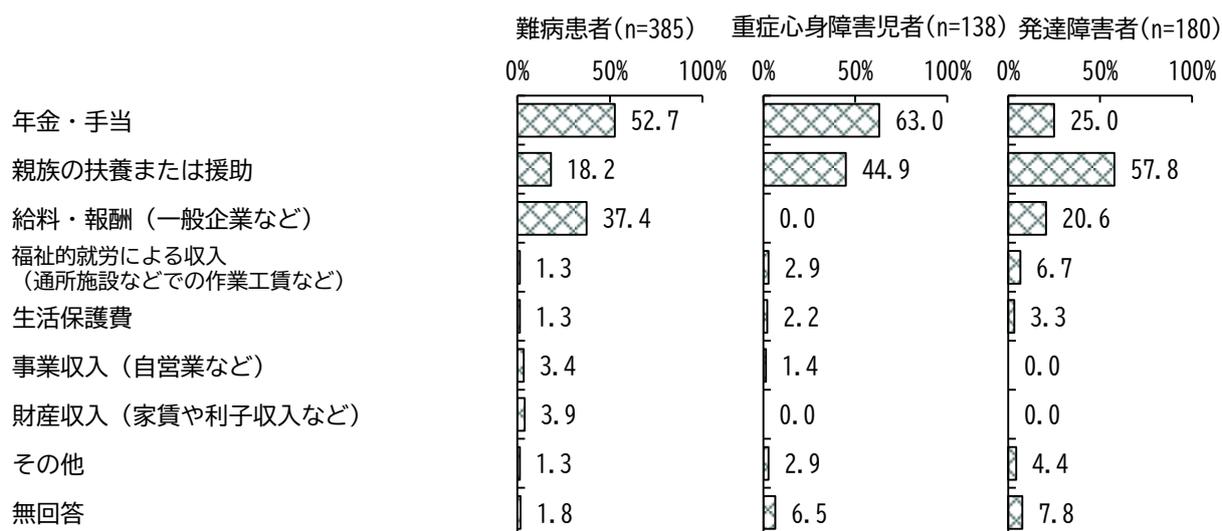
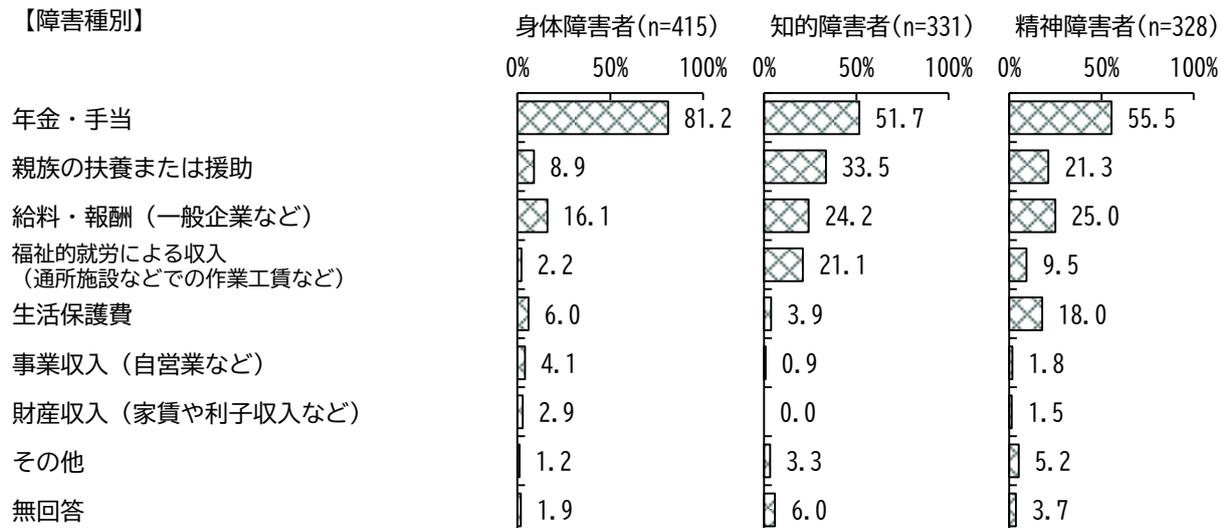
「年金・手当」が57.7%と最も多く、次いで「親族の扶養または援助」が25.5%、「給料・報酬（一般企業など）」が23.1%などとなっています。

【全体・経年比較】



障害種別にみると、“発達障害者”では「親族の扶養または援助」が最も多くなっています。

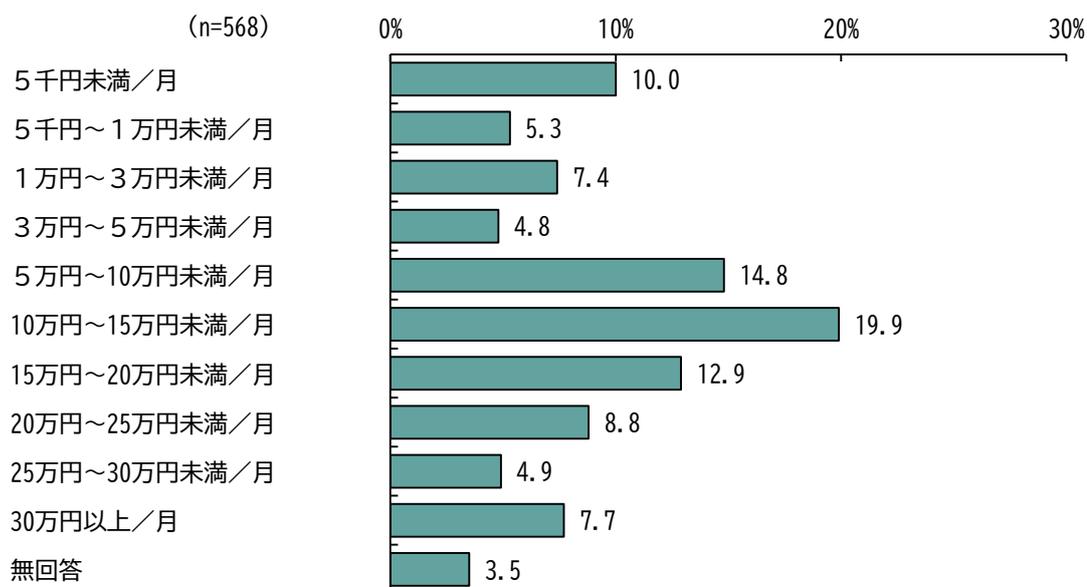
【障害種別】



(2) 働いて得ている1か月あたりの給料・報酬・事業収入・工賃

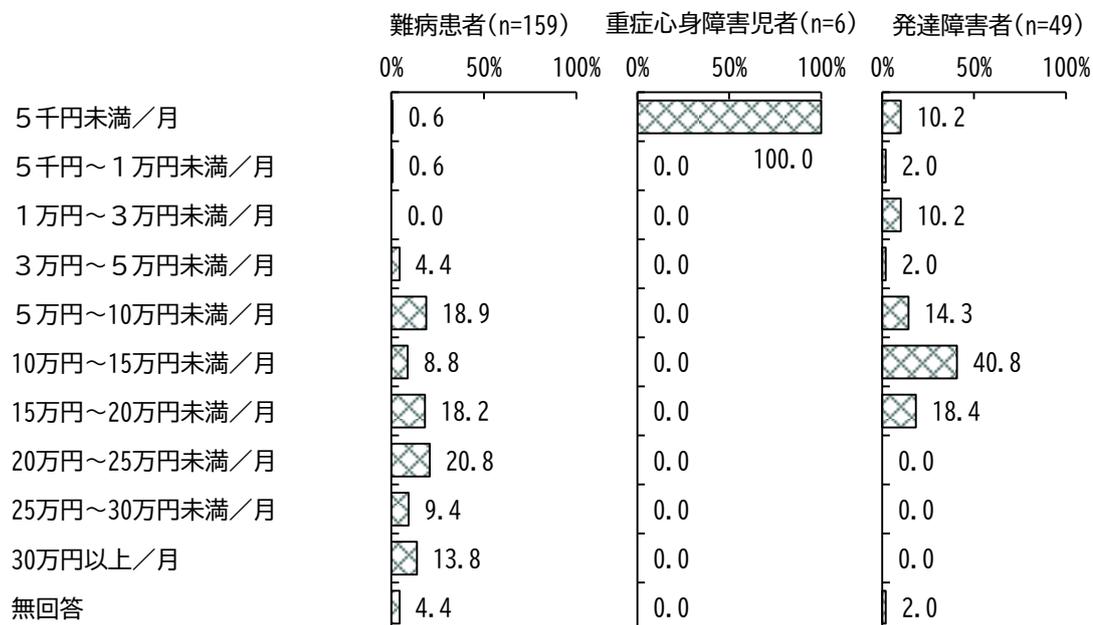
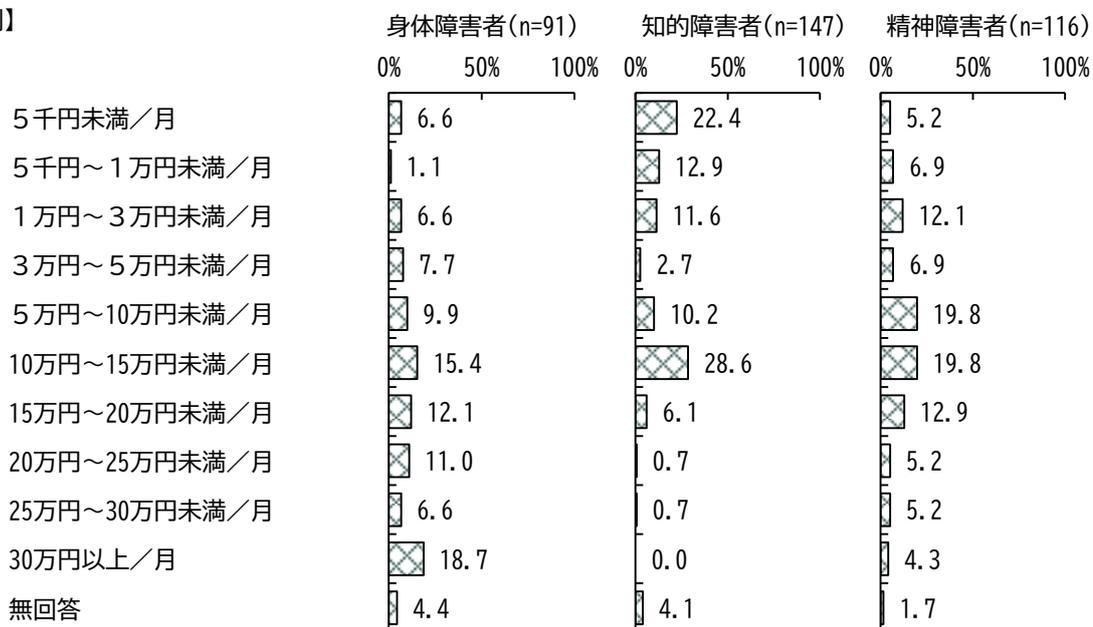
問13-1 問13で「1」～「3」とお答えの方（勤労による収入がある方）にお聞きします。
あなたが働いて得ている給料・報酬・事業収入・工賃は、1か月あたりどのくらいですか。
(○は1つ)

「10万円～15万円未満/月」が19.9%と最も多く、次いで「5万円～10万円未満/月」が14.8%、
「15万円～20万円未満/月」が12.9%などとなっています。



障害種別にみると、“身体障害者”では「30万円以上／月」が最も多くなっています。また、“難病患者”では「20万円～25万円未満／月」が最も多くなっています。また、“重症心身障害児者”では「5千円未満／月」が最も多くなっています。

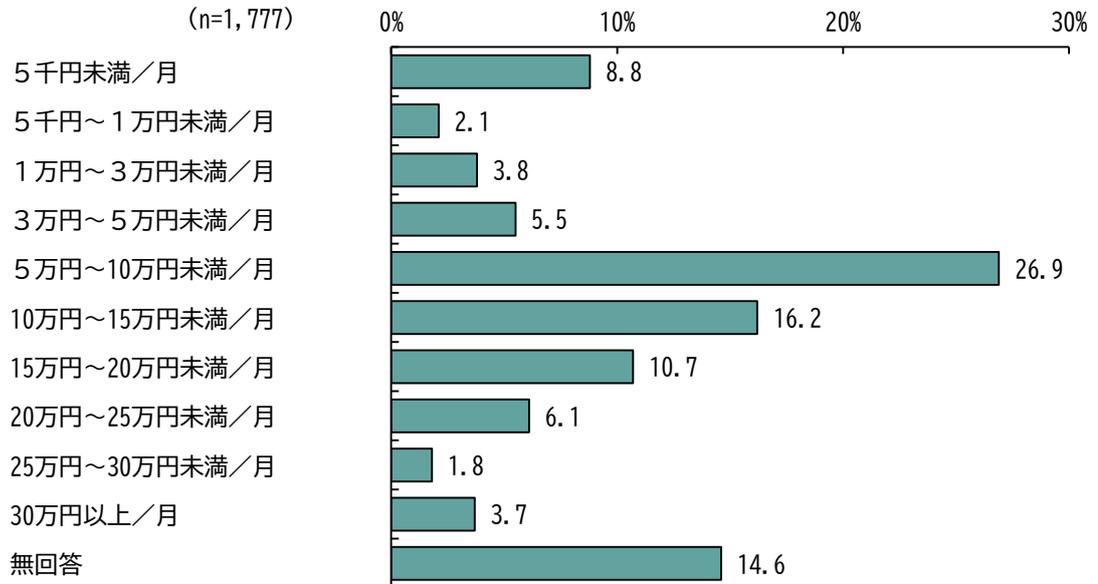
【障害種別】



(3) 年金・手当・生活保護費・親族からの援助なども含めた1か月あたりの全収入

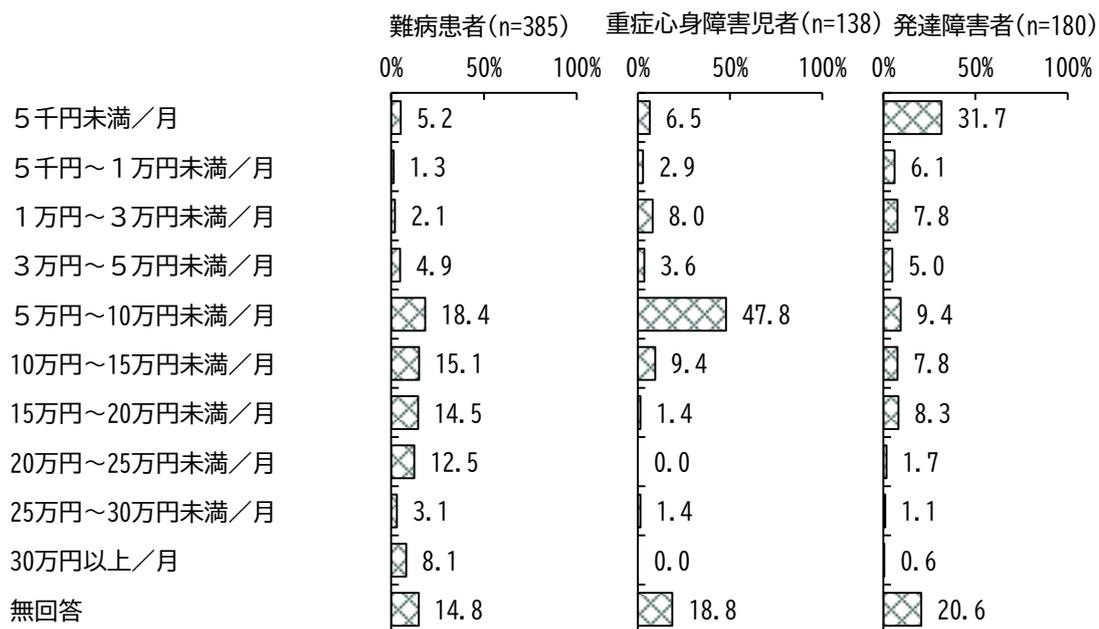
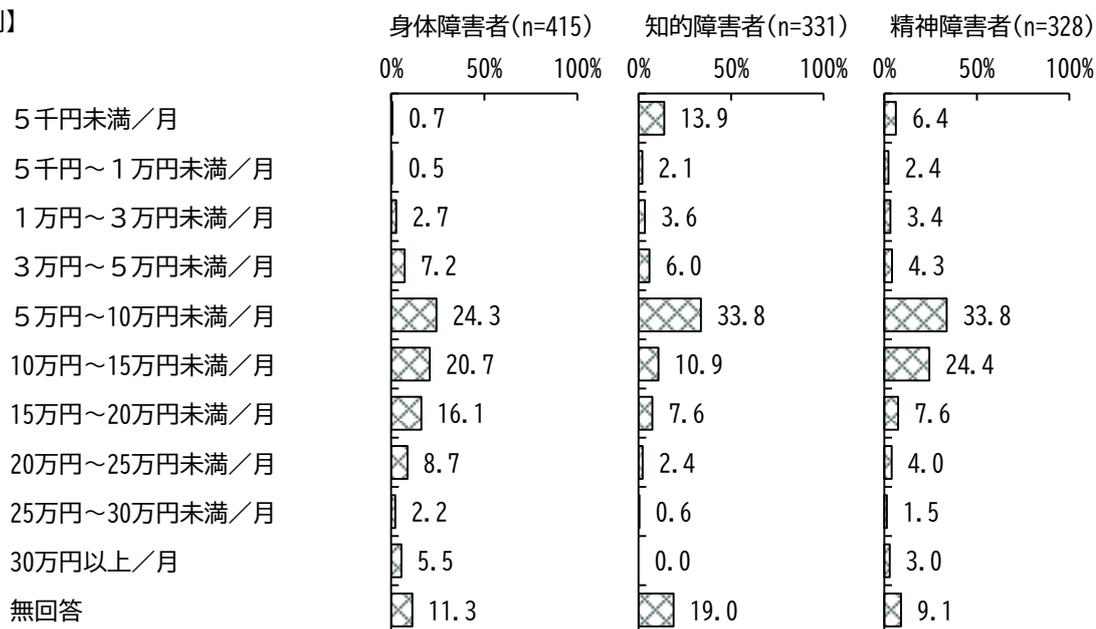
問14 年金・手当・生活保護費・親族からの援助なども含めたあなた一人の全収入は、1か月あたりのくらいですか。(〇は1つ)

「5万円～10万円未満/月」が26.9%と最も多く、次いで「10万円～15万円未満/月」が16.2%、「15万円～20万円未満/月」が10.7%などとなっています。



障害種別にみると、“発達障害者”では「5千円未満/月」が最も多くなっています。

【障害種別】

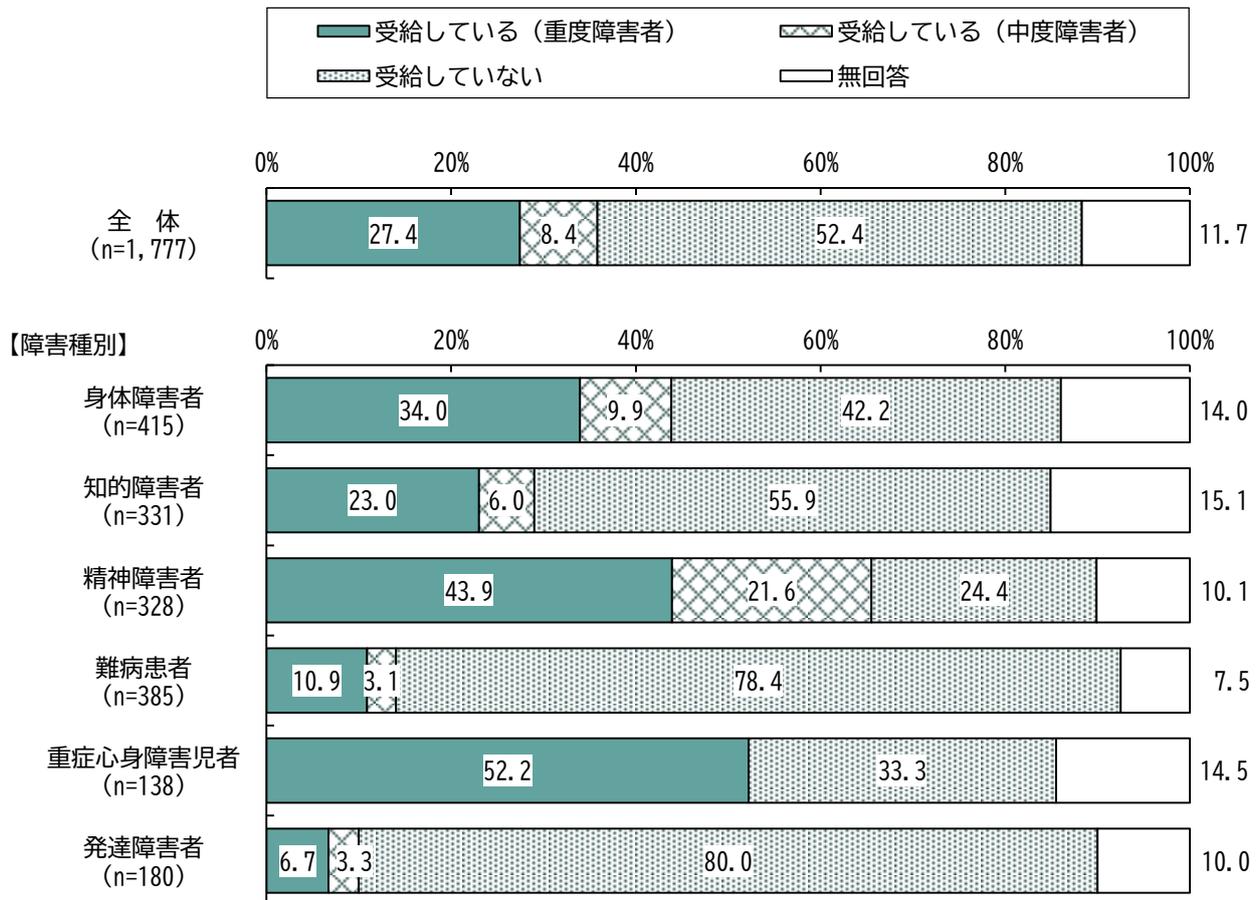


(4) 現在の市重度障害者等福祉手当の受給状況

問15 あなたは、現在、市重度障害者等福祉手当を受給していますか。(○は1つ)

「受給している（重度障害者）」が27.4%、「受給している（中度障害者）」が8.4%、「受給していない」が52.4%となっています。

障害種別にみると、“精神障害者”、“重症心身障害児者”では「受給している（重度障害者）」が最も多くなっています。

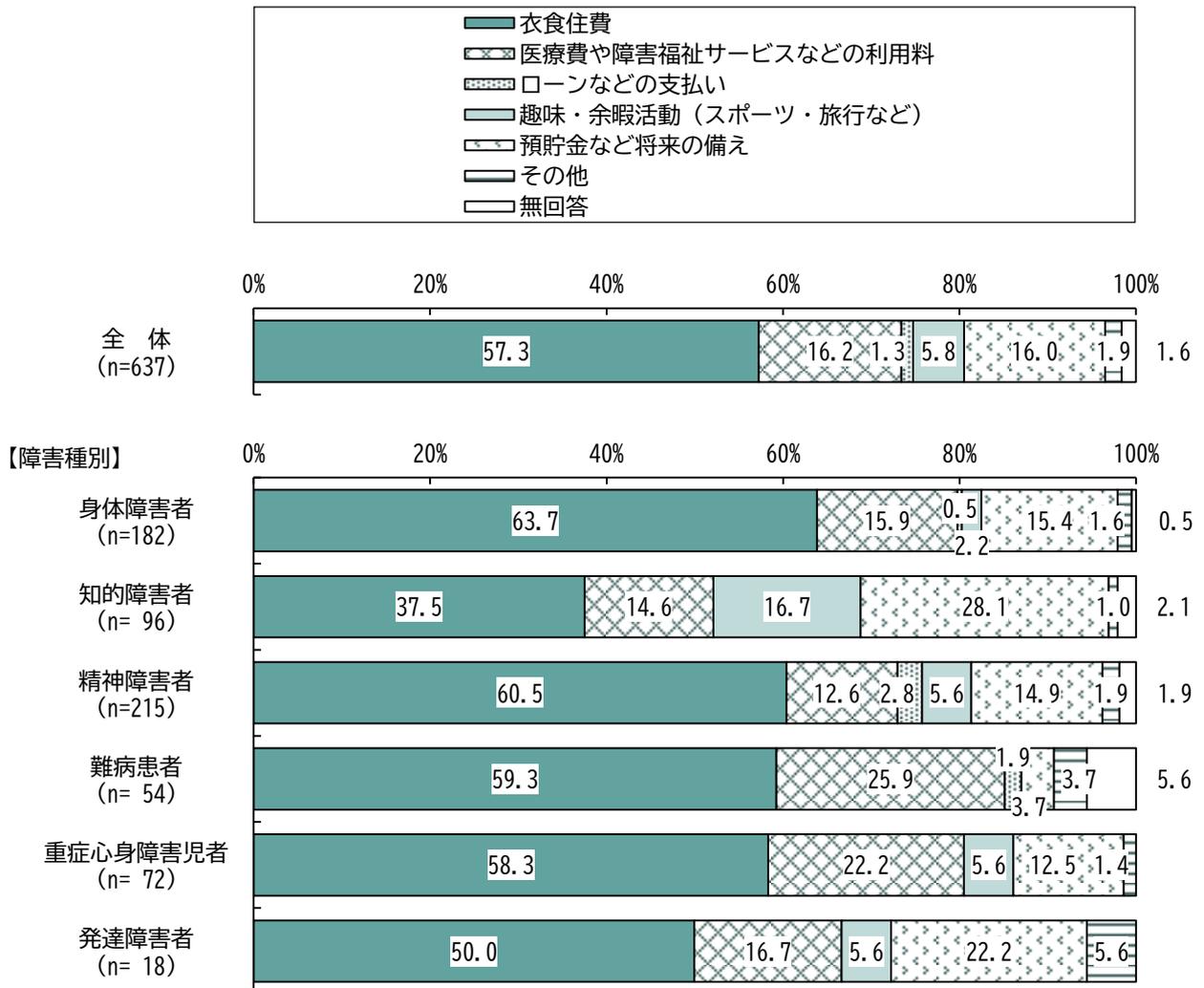


(5) 重度障害者等福祉手当の主な使い道

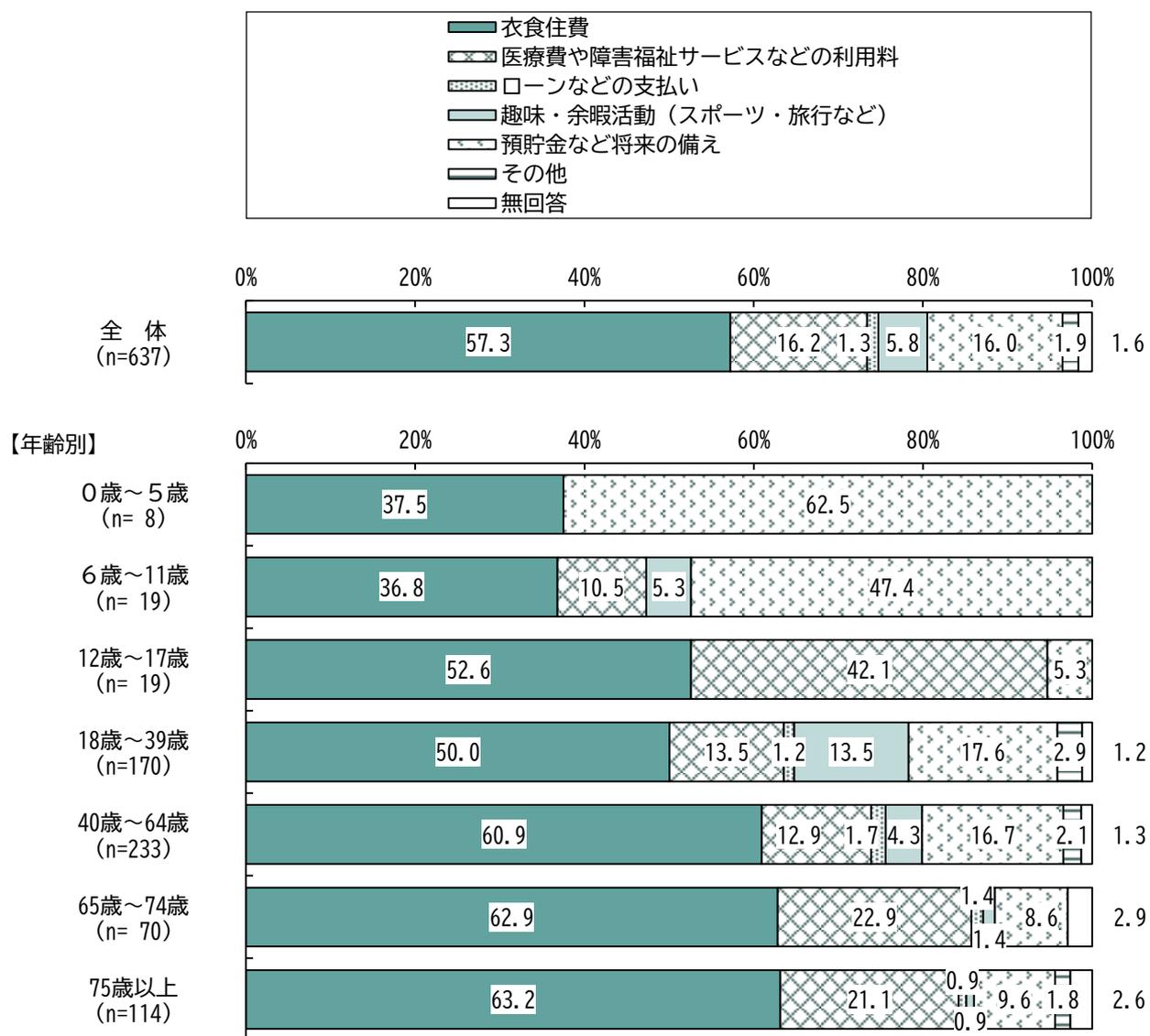
問15-1 問15で「1 受給している（重度障害者）」または「2 受給している（中度障害者）」とお答えの方にお聞きします。

重度障害者等福祉手当の主な使い道は何ですか。（○は1つ）

「衣食住費」が57.3%と最も多く、次いで「医療費や障害福祉サービスなどの利用料」が16.2%、「預貯金など将来の備え」が16.0%などとなっています。



年齢別にみると、“0歳～5歳”、“6歳～11歳”では「預貯金など将来の備え」が最も多くなっています。



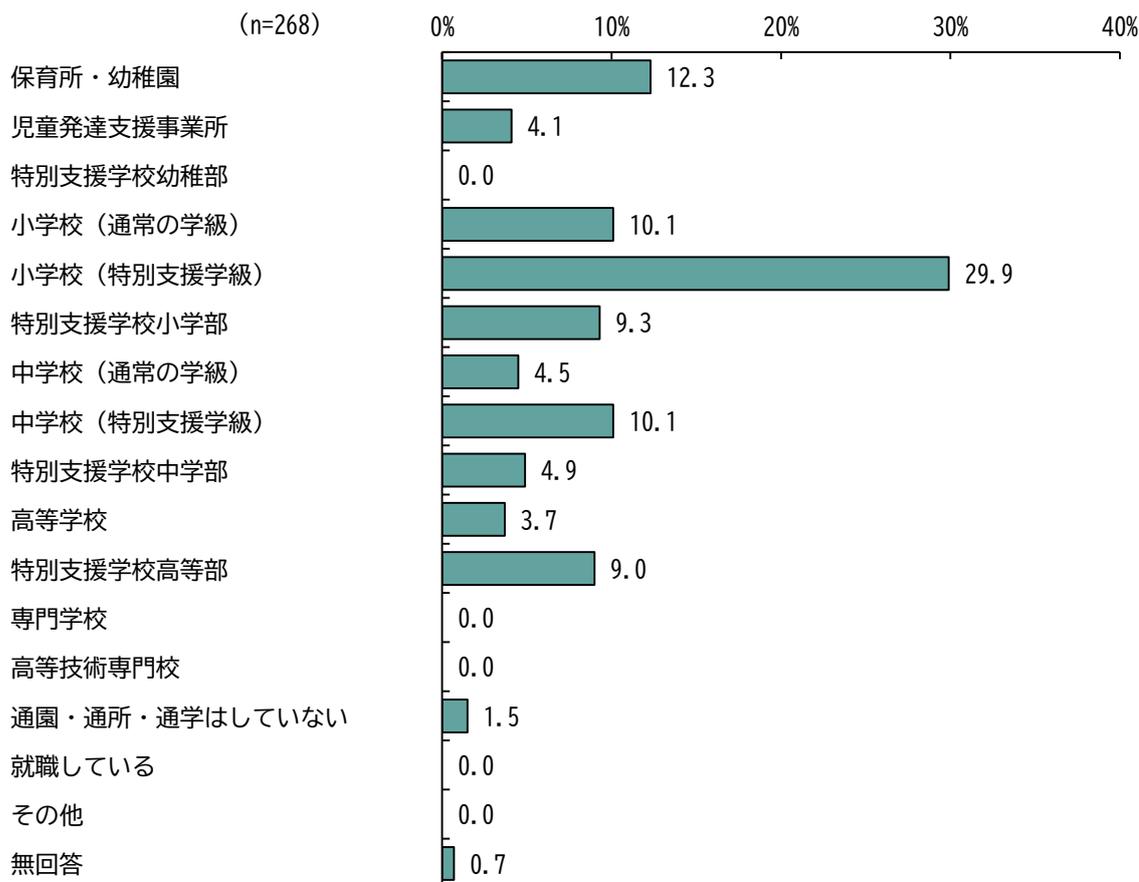
4 教育について

(1) 現在の通学・通園・通所

(18歳未満の方がお答えください。)

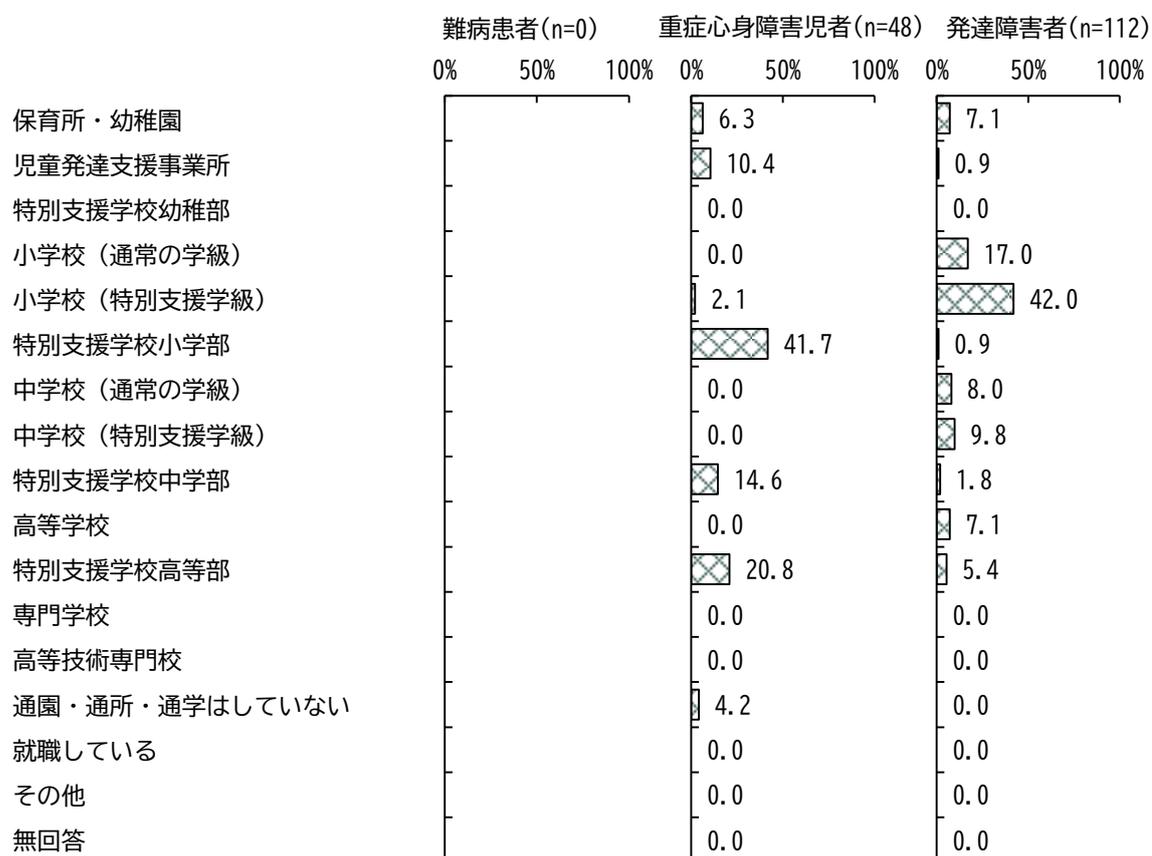
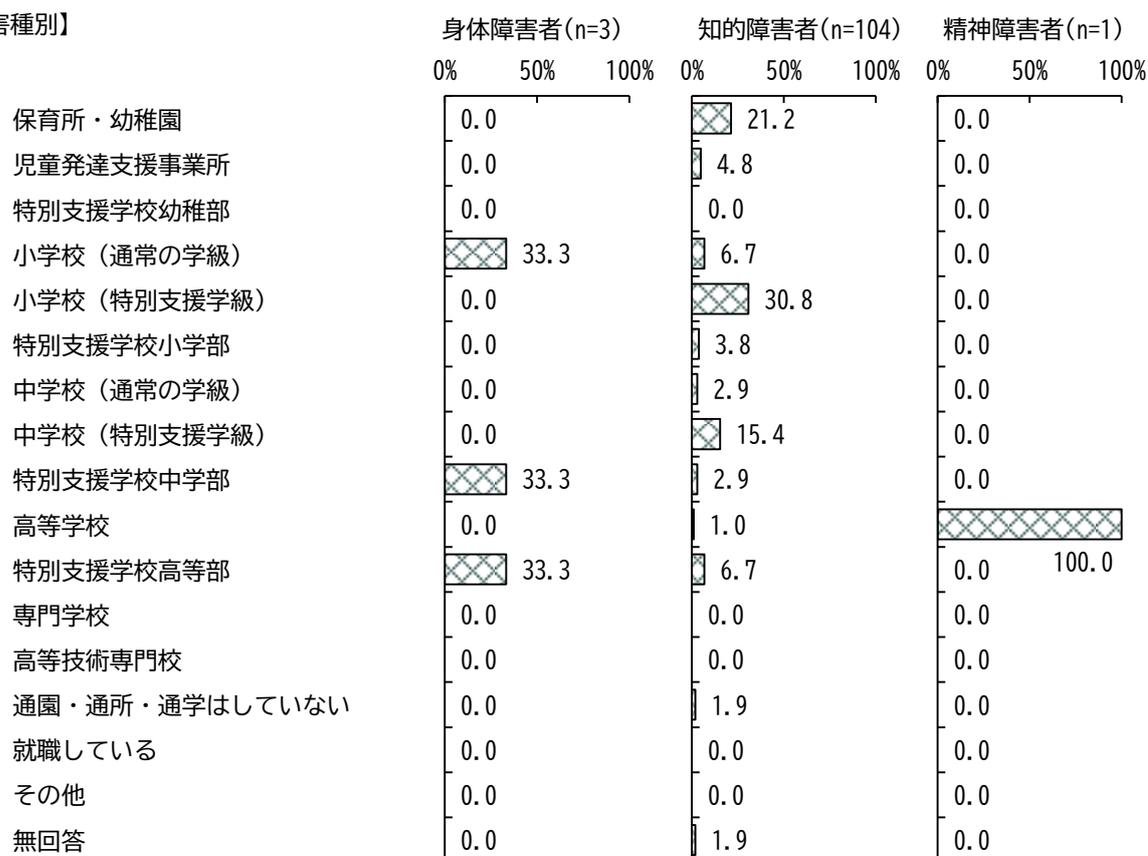
問16 あなたは、現在通学（通園・通所）していますか。（○は1つ）

「小学校（特別支援学級）」が29.9%と最も多く、次いで「保育所・幼稚園」が12.3%、「小学校（通常の学級）」、「中学校（特別支援学級）」が10.1%などとなっています。



障害種別にみると、“重症心身障害児者”では「特別支援学校小学部」が最も多くなっています。

【障害種別】



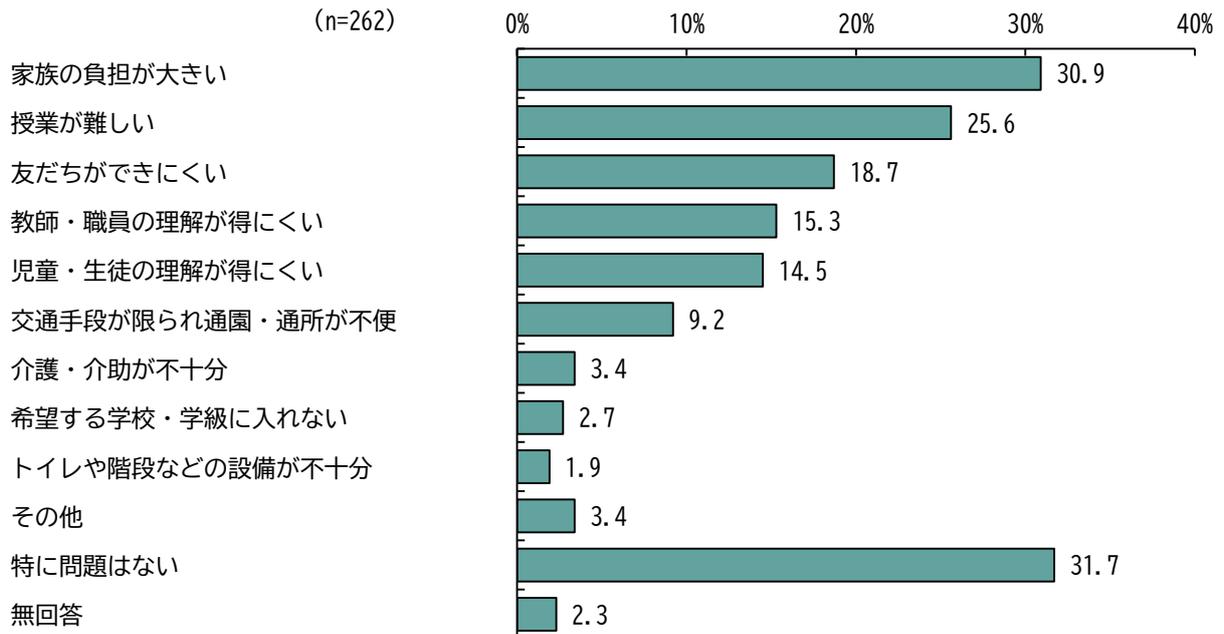
(2) 学校（学園）生活をするうえで困っていること

問16-1 問16で「1」～「13」のいずれかをお答えの方（現在通学（通園・通所）している方）にお聞きします。

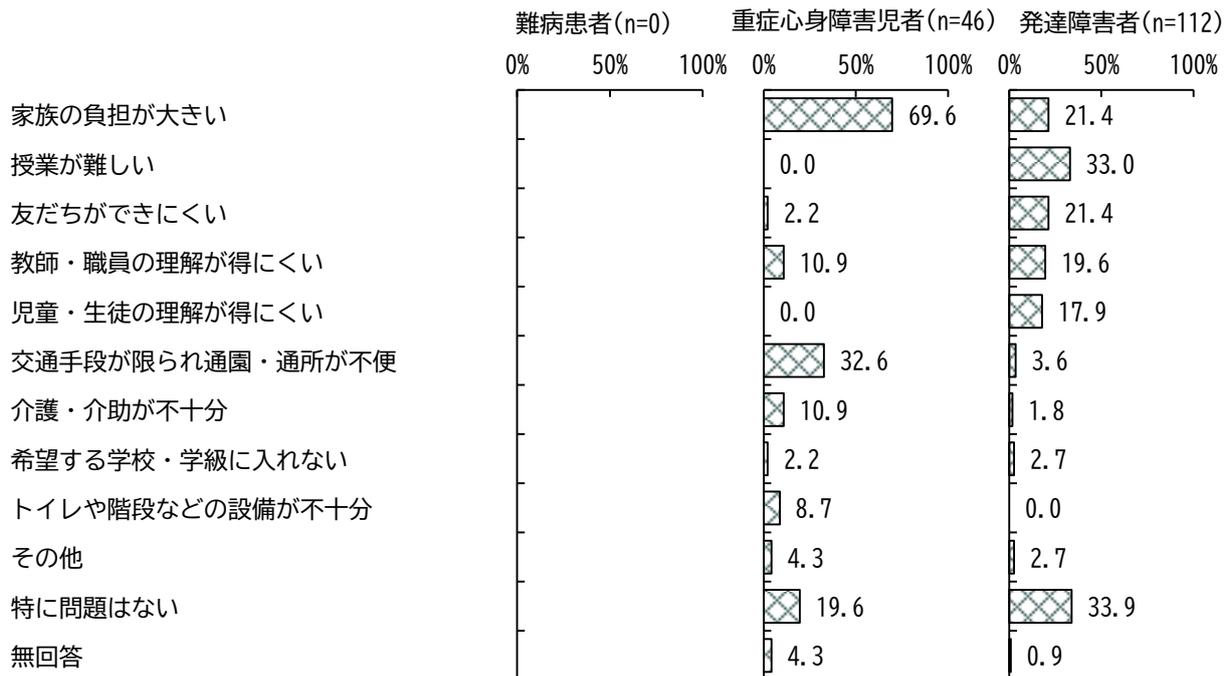
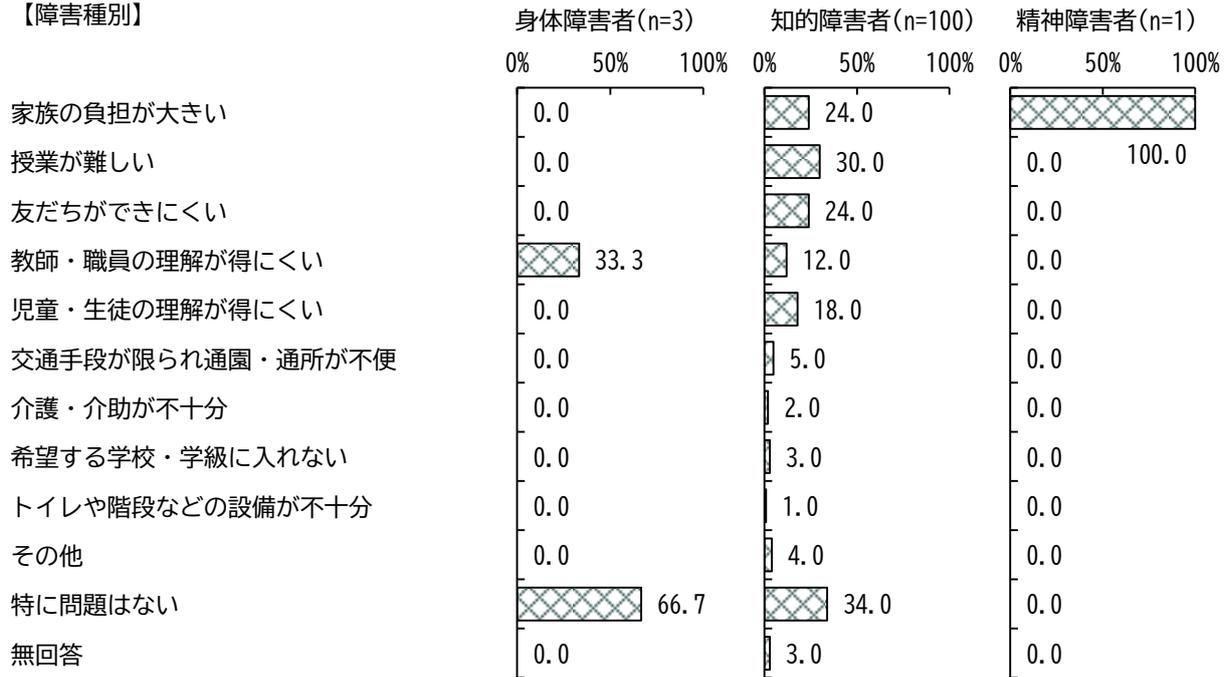
あなたが学校（学園）生活をするうえで、困っていることはありますか。

（主なものに1つだけ◎、その他のものに2つまで○）

「家族の負担が大きい」が30.9%と最も多く、次いで「授業が難しい」が25.6%、「友だちができてにくい」が18.7%などとなっています。また、「特に問題はない」が31.7%となっています。



【障害種別】

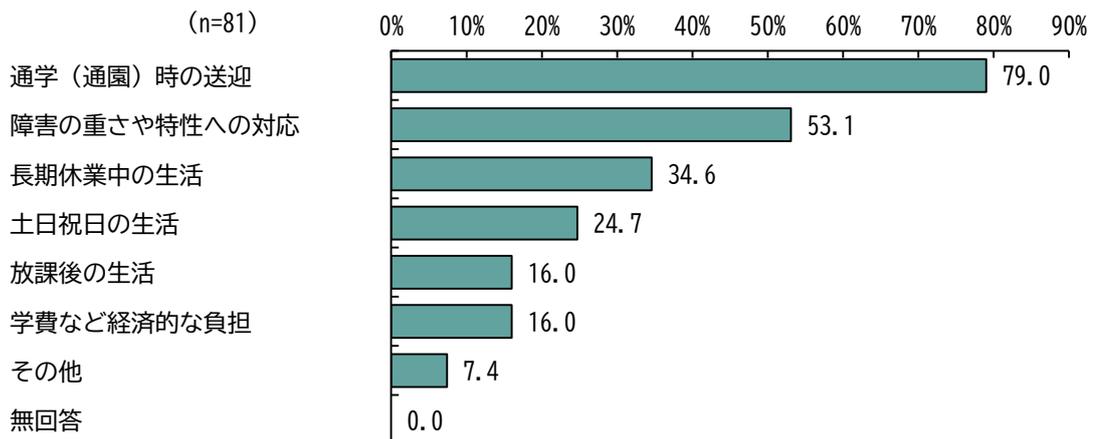


(3) 学校（学園）生活をするうえで家族が負担を感じていること

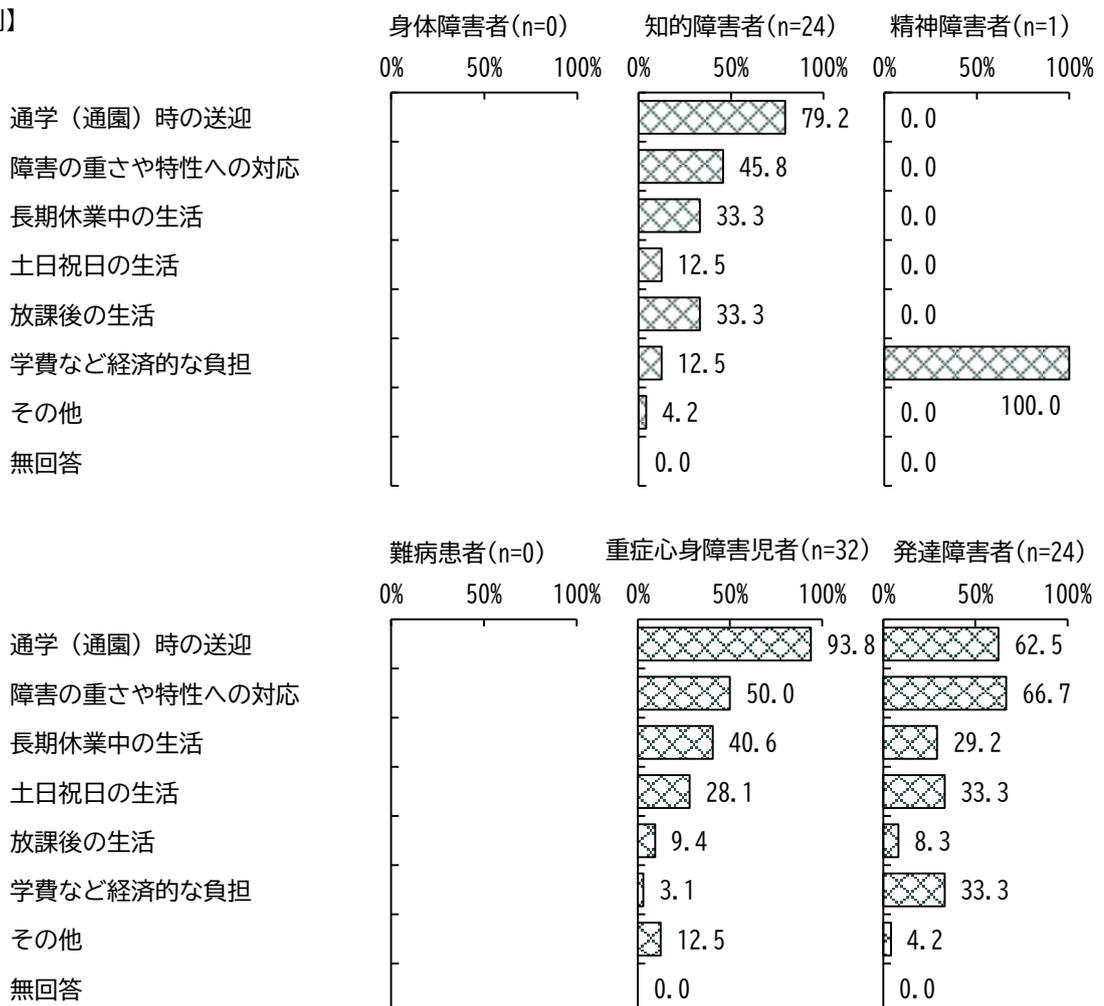
問16-2 問16-1で「1 家族の負担が大きい」に◎か○をつけた方にお聞きします。
 どのようなことに負担を感じていますか。（○は3つまで）

「通学（通園）時の送迎」が79.0%と最も多く、次いで「障害の重さや特性への対応」が53.1%、「長期休業中の生活」が34.6%などとなっています。

障害種別にみると、“発達障害者”では「障害の重さや特性への対応」が最も多くなっています。



【障害種別】



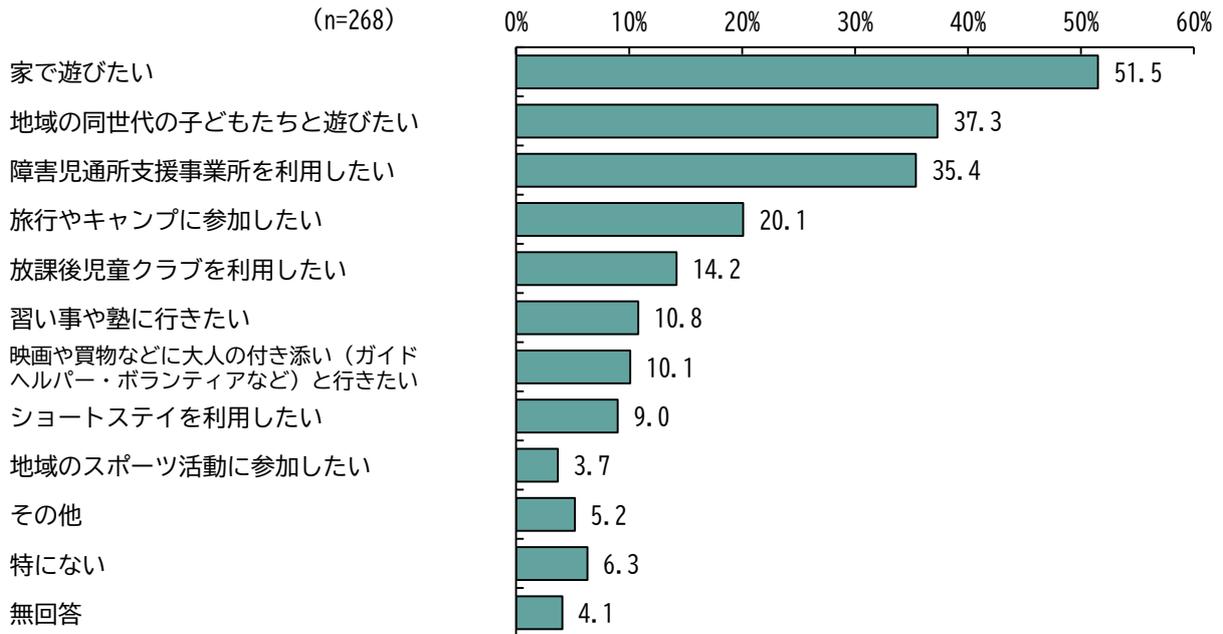
(4) 長期休業中や放課後の活動についての希望

(18歳未満の方がお答えください。)

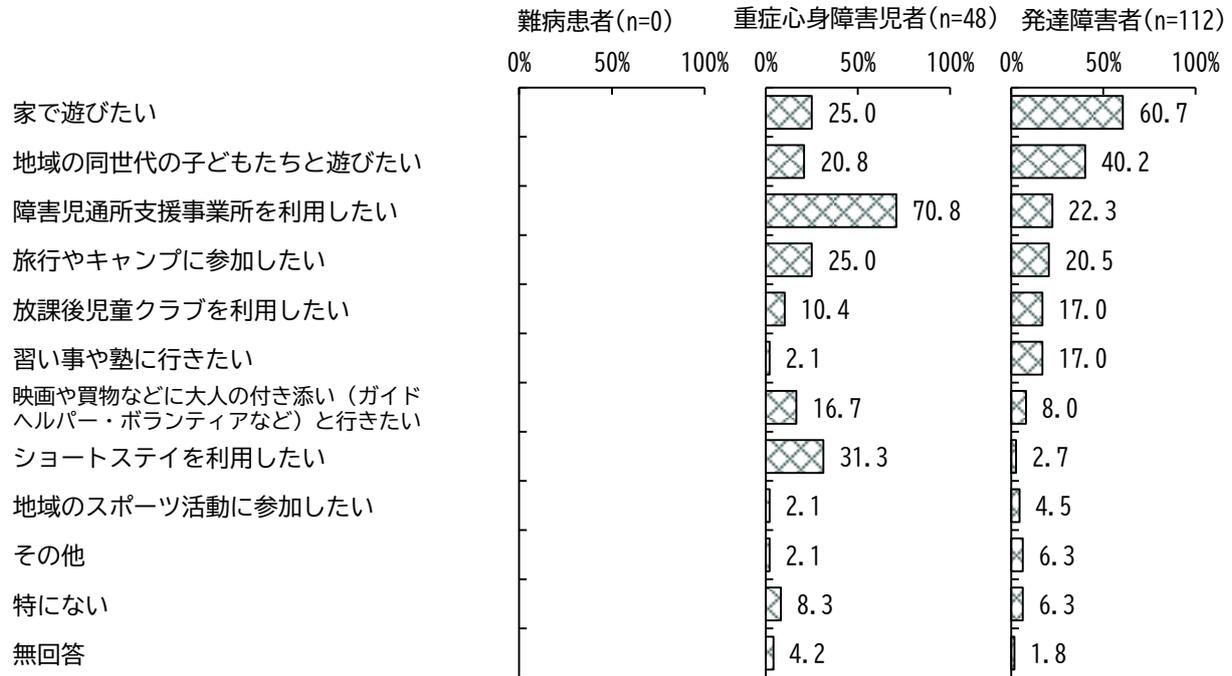
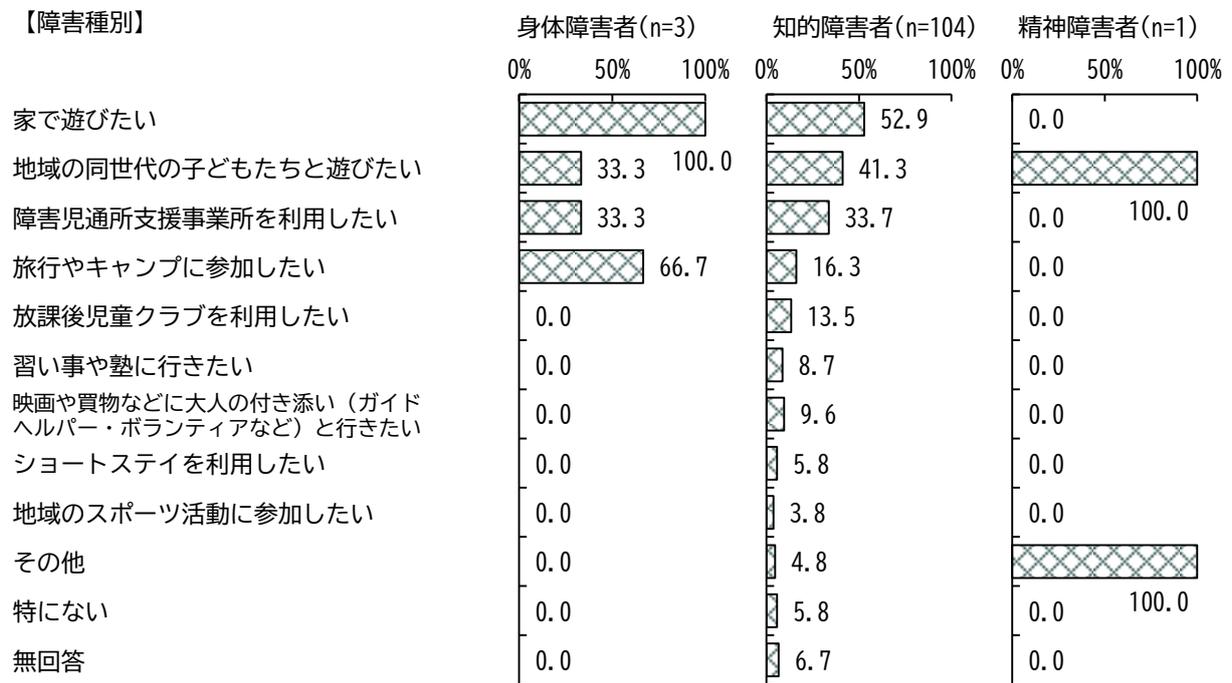
問17 あなたは、学校（学園）が休みの日や放課後の活動について、どのような希望がありますか。

(○は3つまで)

「家で遊びたい」が51.5%と最も多く、次いで「地域の同世代の子どもたちと遊びたい」が37.3%、「障害児通所支援事業所を利用したい」が35.4%などとなっています。



障害種別にみると、“重症心身障害児者”では「障害児通所支援事業所を利用したい」が最も多くなっています。

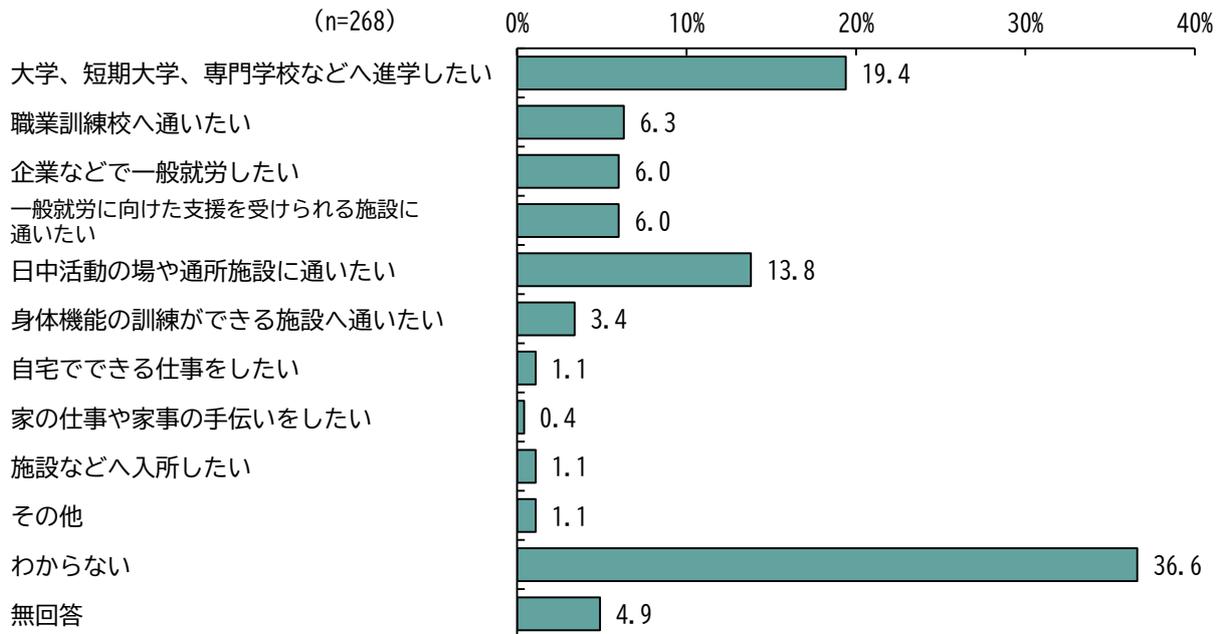


(5) 高等学校などを終了した後の進路希望

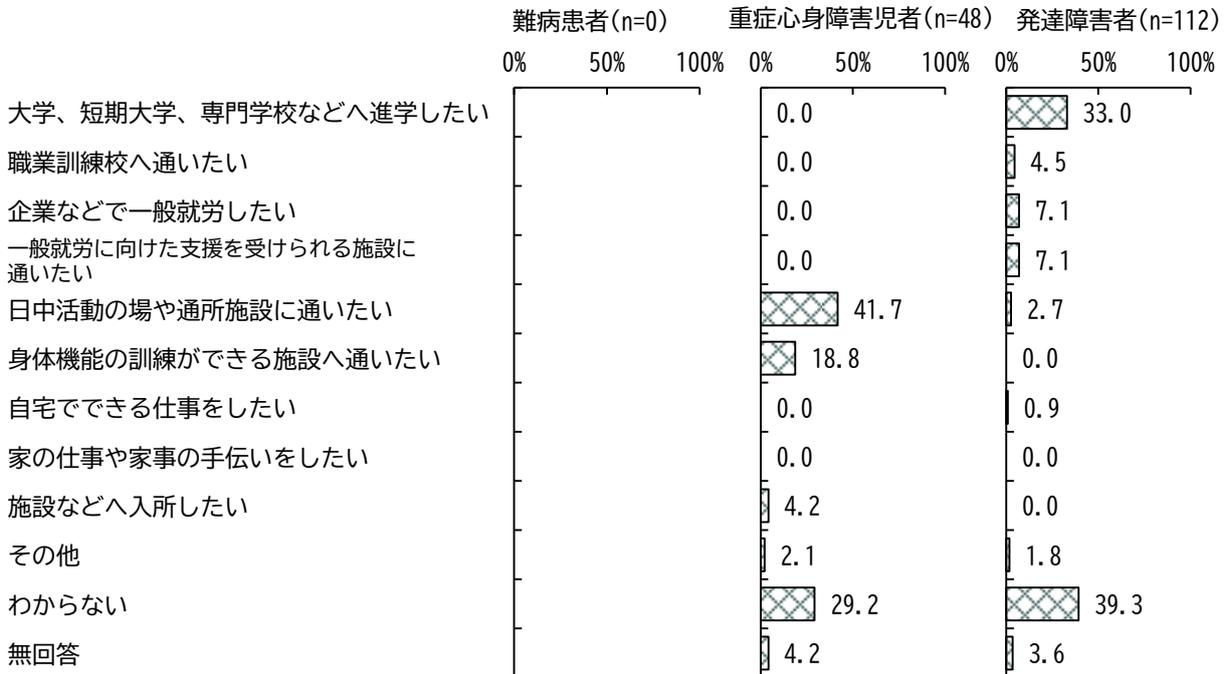
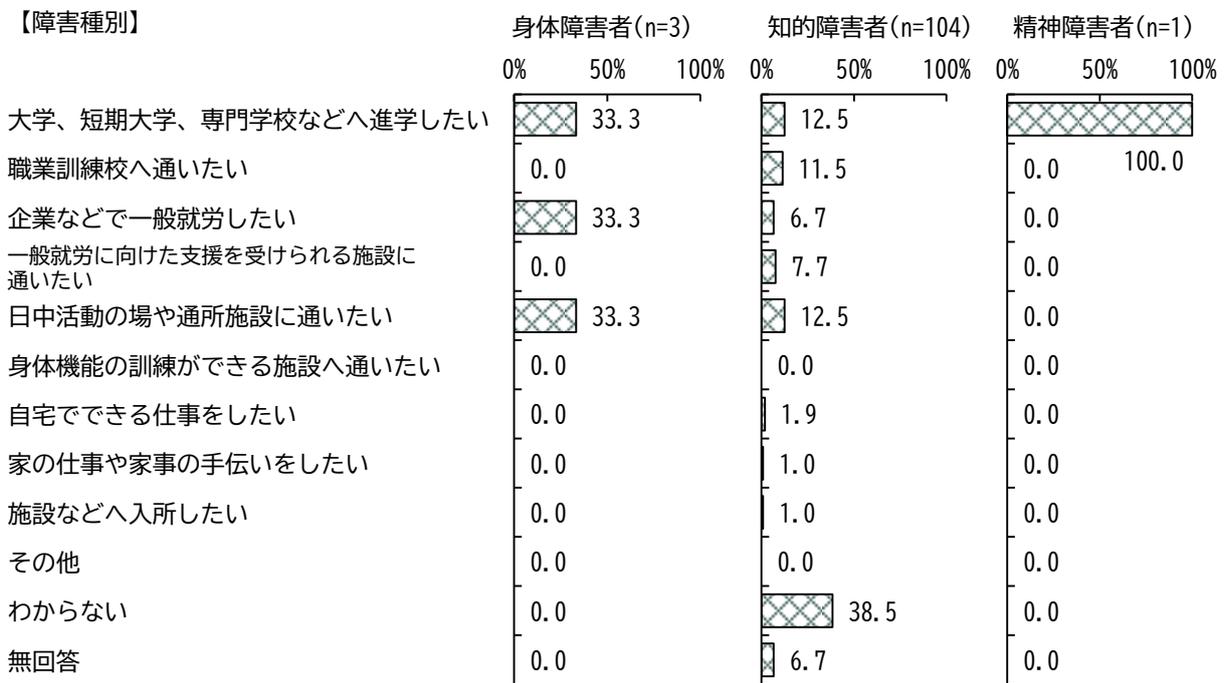
(18歳未満の方がお答えください。)

問18 あなたが高等学校などを修了した後の進路希望は次のどれですか。(○は1つ)

「わからない」が36.6%と最も多く、次いで「大学、短期大学、専門学校などへ進学したい」が19.4%、「日中活動の場や通所施設に通いたい」が13.8%などとなっています。



障害種別にみると、“重症心身障害児者”では「日中活動の場や通所施設に通いたい」が最も多くなっています。

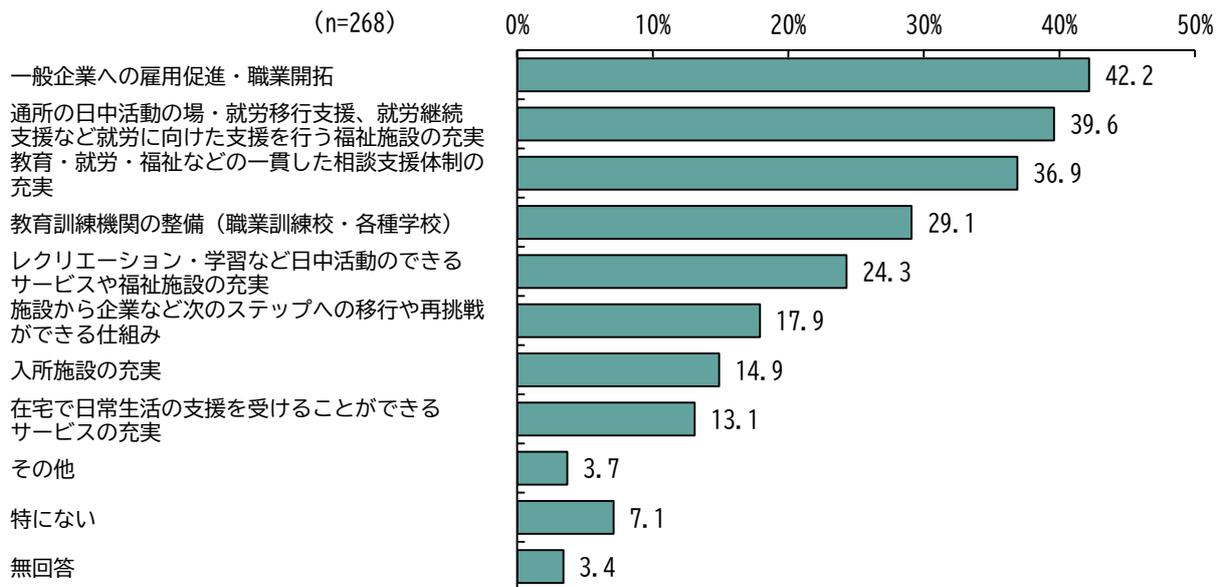


(6) 将来の進路のために希望すること

(18歳未満の方がお答えください。)

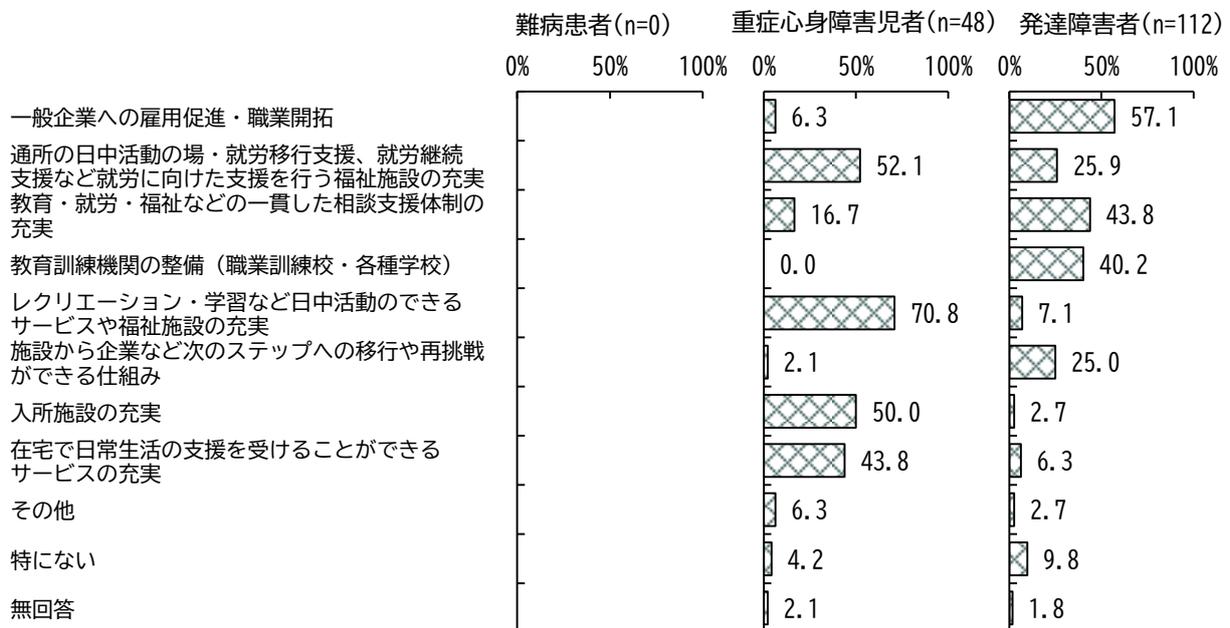
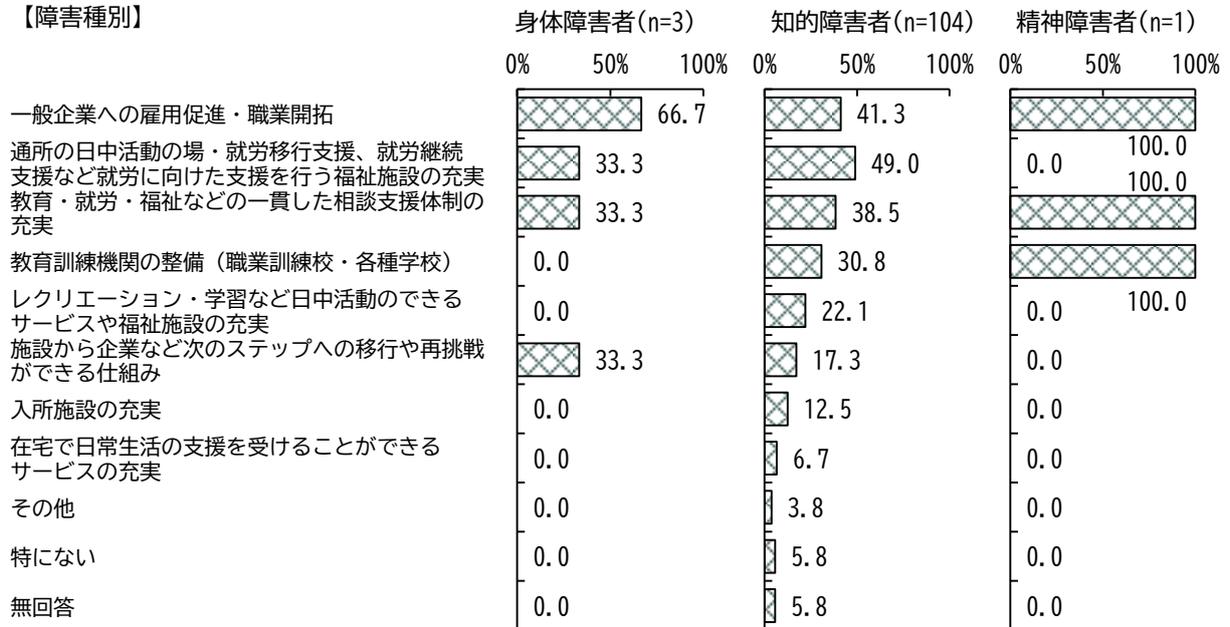
問19 学校教育終了後の進路のために、行政や社会に求めることは何ですか。(○は3つまで)

「一般企業への雇用促進・職業開拓」が42.2%と最も多く、次いで「通所の日中活動の場・就労移行支援、就労継続支援など就労に向けた支援を行う福祉施設の充実」が39.6%、「教育・就労・福祉などの一貫した相談支援体制の充実」が36.9%などとなっています。



障害種別にみると、“知的障害者”では「通所の日中活動の場・就労移行支援、就労継続支援など就労に向けた支援を行う福祉施設の充実」が最も多くなっています。また、“重症心身障害児者”では「レクリエーション・学習など日中活動のできるサービスや福祉施設の充実」が最も多くなっています。

【障害種別】

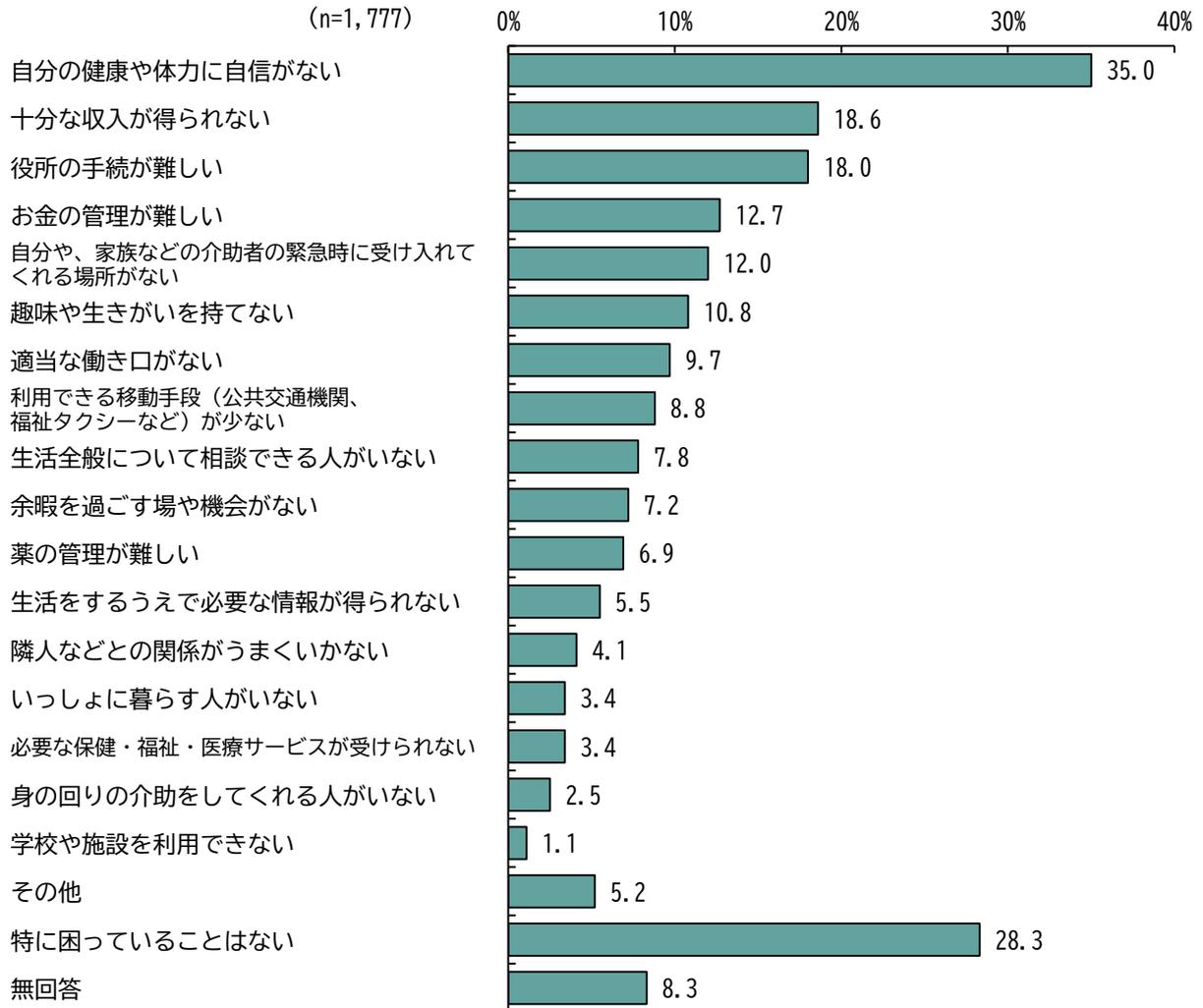


5 相談や福祉の情報について

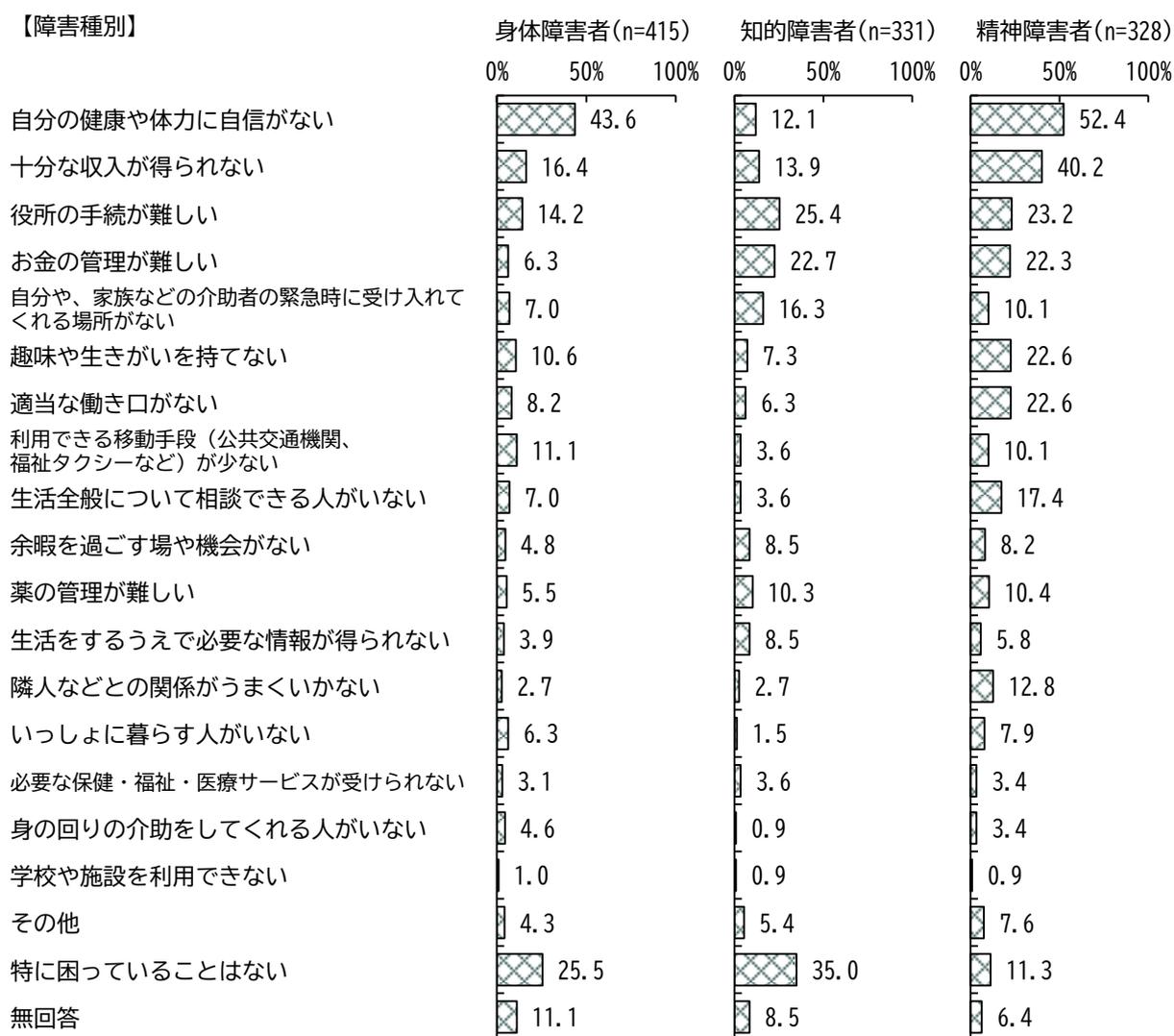
(1) いまの生活で困っていること

問20 あなたは、いまの生活で困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

「自分の健康や体力に自信がない」が35.0%と最も多く、次いで「十分な収入が得られない」が18.6%、「役所の手続きが難しい」が18.0%などとなっています。また、「特に困っていることはない」が28.3%となっています。

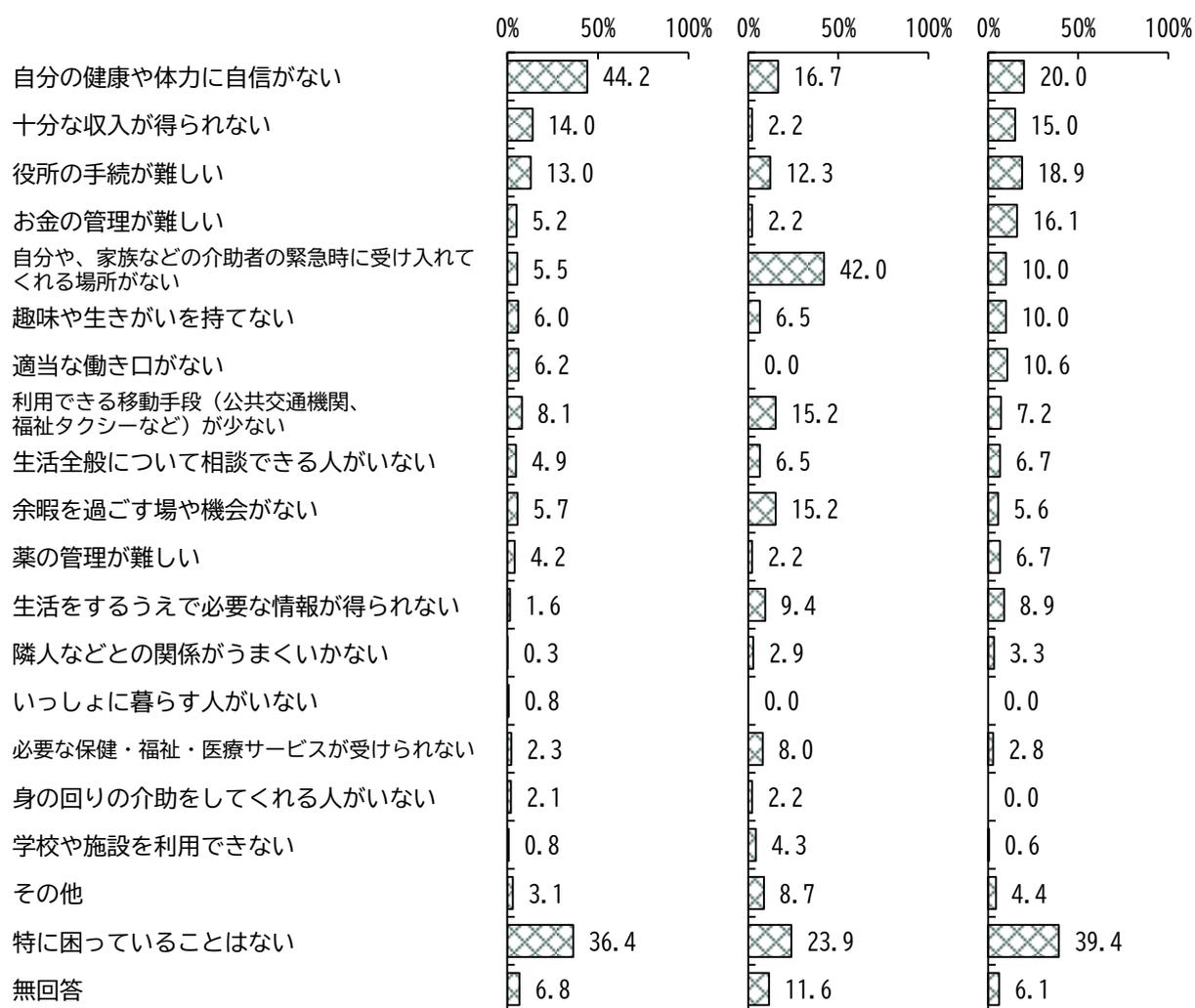


障害種別にみると、“重症心身障害児者”では「自分や、家族などの介助者の緊急時に受け入れてくれる場所がない」が最も多くなっています。



【障害種別】

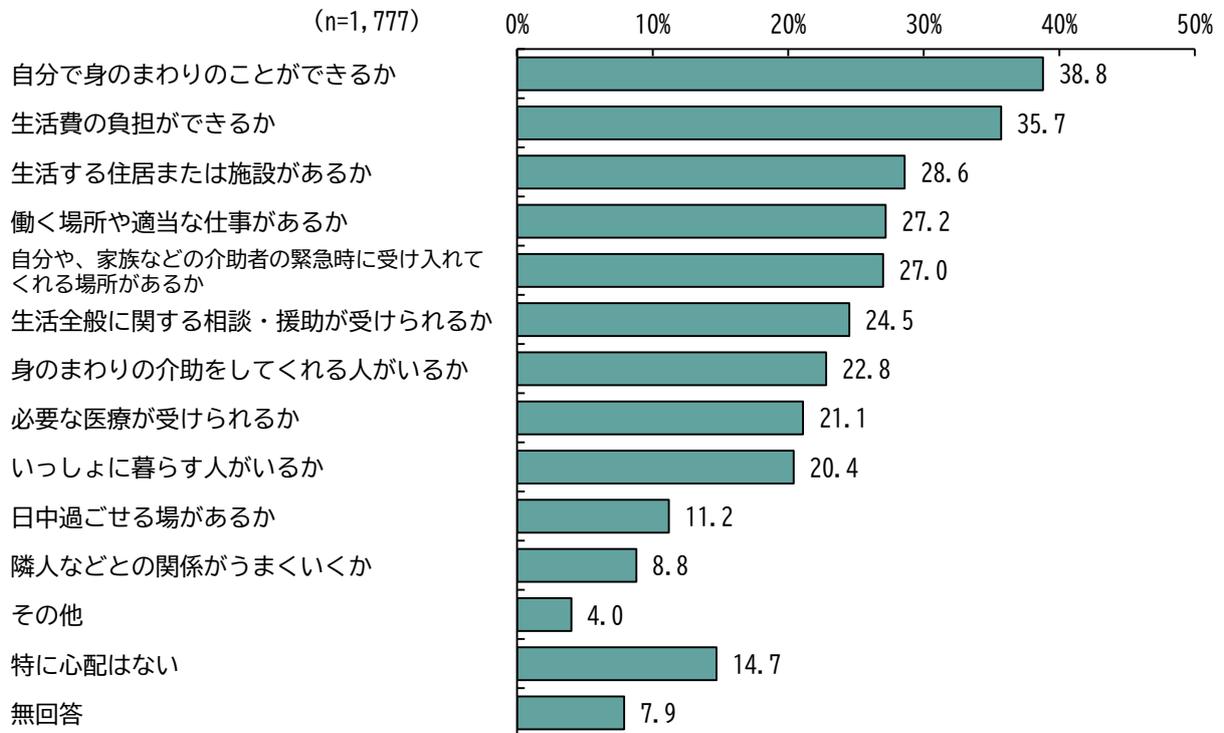
難病患者(n=385) 重症心身障害児者(n=138) 発達障害者(n=180)



(2) 将来の生活で心配なこと

問21 あなたは、将来の生活で心配なことはありますか。(〇はいくつでも)

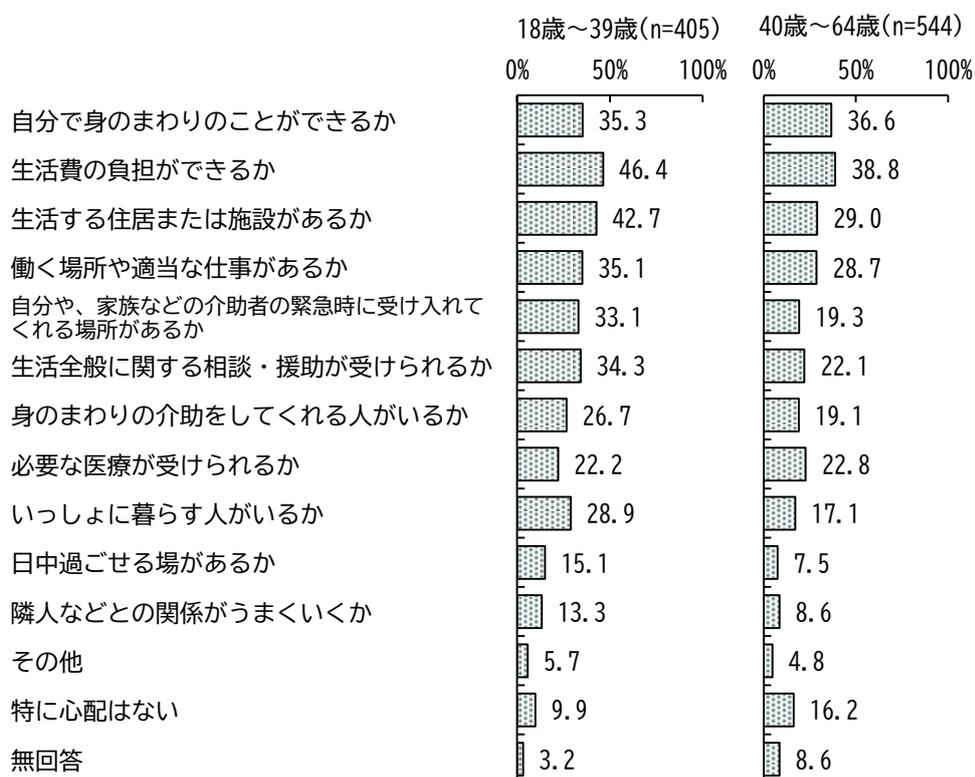
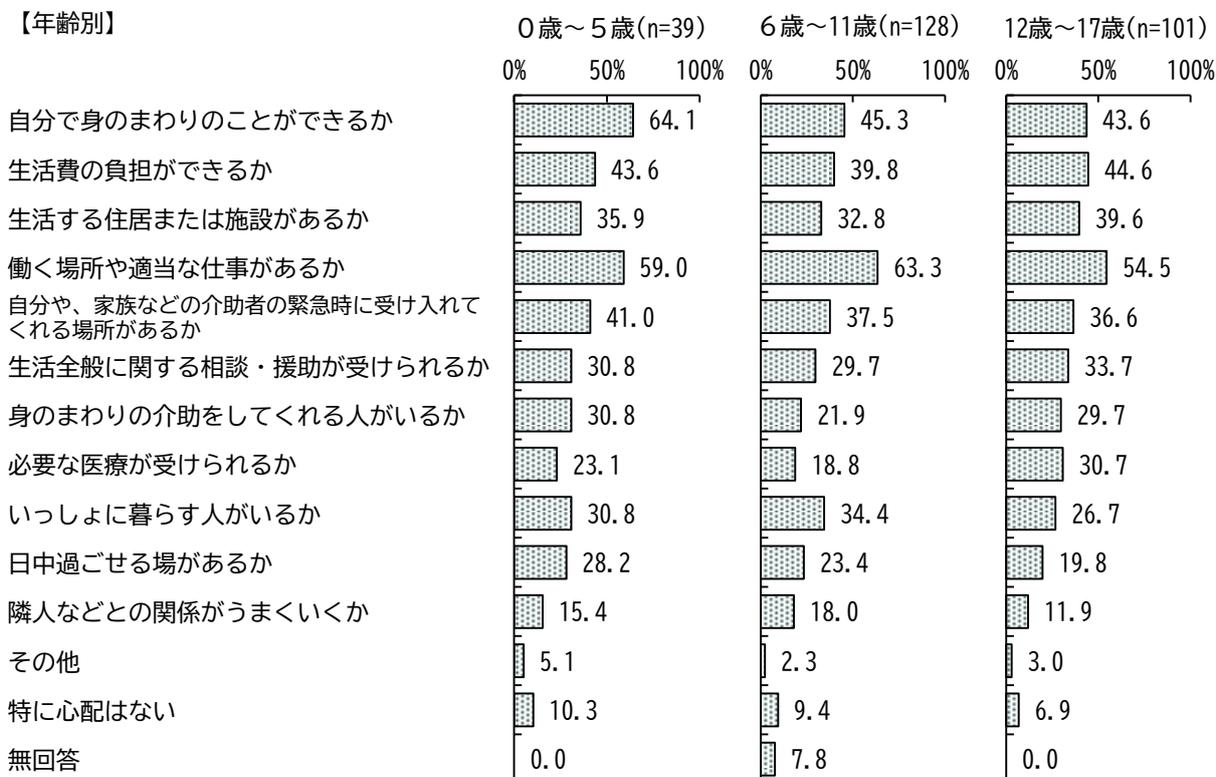
「自分で身のまわりのことができるか」が38.8%と最も多く、次いで「生活費の負担ができるか」が35.7%、「生活する住居または施設があるか」が28.6%などとなっています。



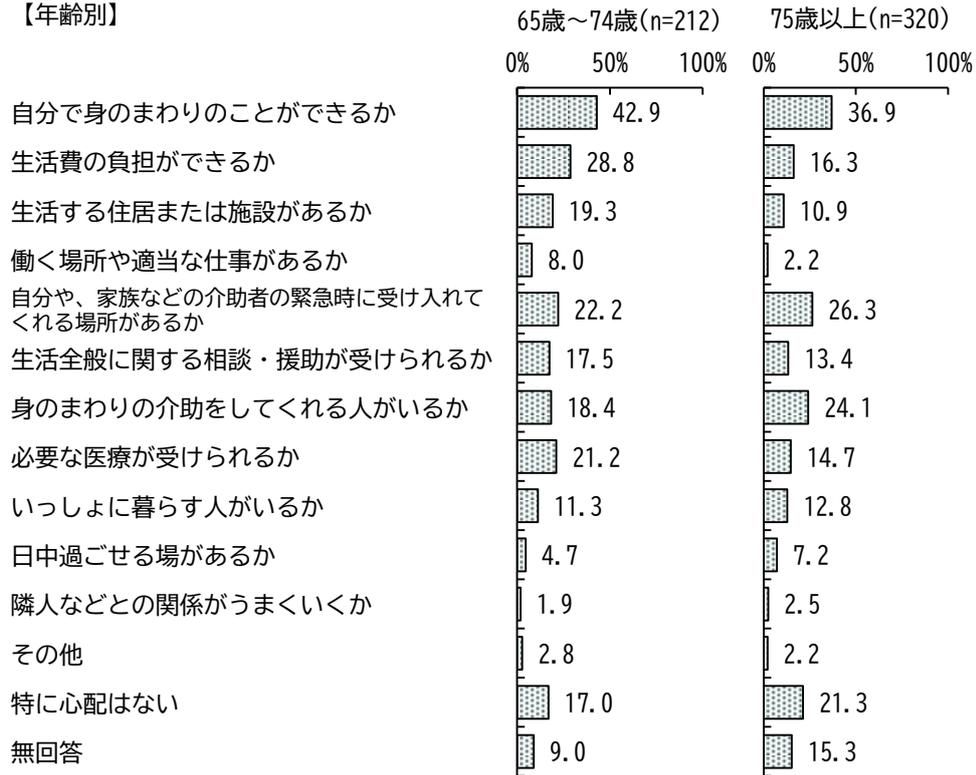
障害種別にみると、“精神障害者”では「生活費の負担ができるか」が最も多くなっています。また、“重症心身障害児者”では「自分や、家族などの介助者の緊急時に受け入れてくれる場所があるか」が最も多くなっています。また、“発達障害者”では「働く場所や適当な仕事があるか」が最も多くなっています。



年齢別にみると、“6歳～11歳”、“12歳～17歳”では「働く場所や適当な仕事があるか」が最も多くなっています。また、“18歳～39歳”、“40歳～64歳”では「生活費の負担ができるか」が最も多くなっています。



【年齢別】

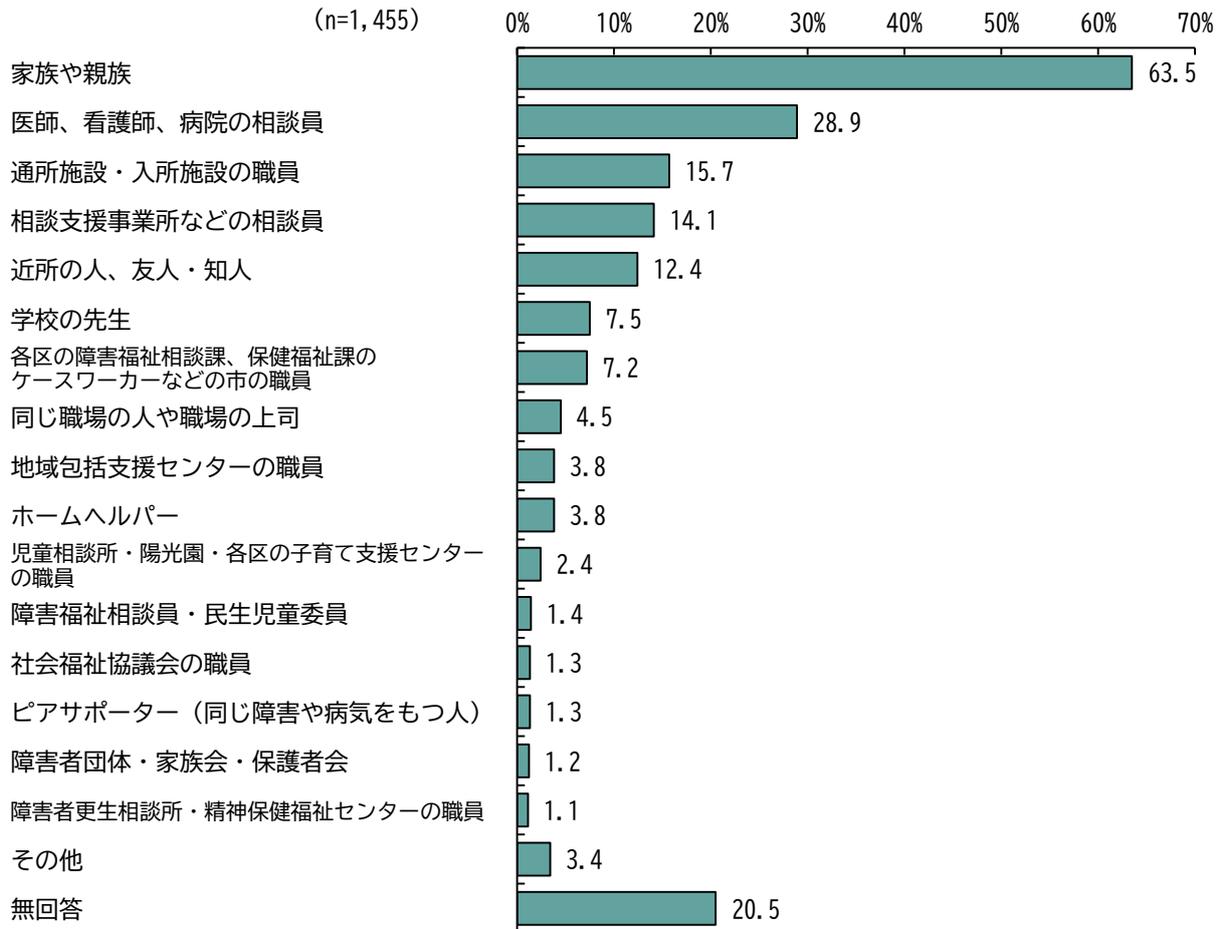


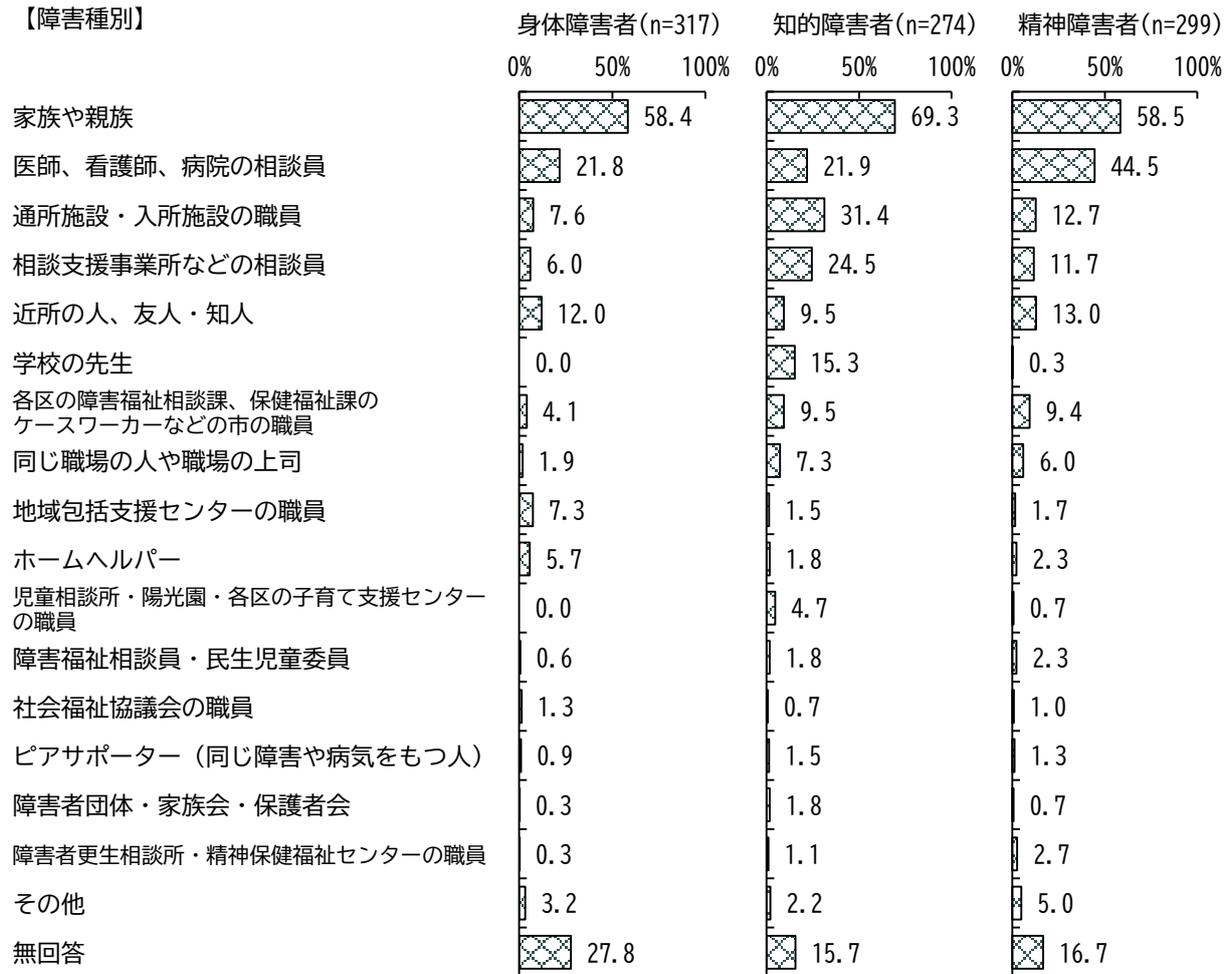
(3) 現在の困りごとや将来の心配の相談相手

問22 あなたは問20・問21のいま困っていることや将来の心配について、だれに相談していますか。また、だれに相談したいと考えていますか。(①②のそれぞれについて〇はいくつでも)

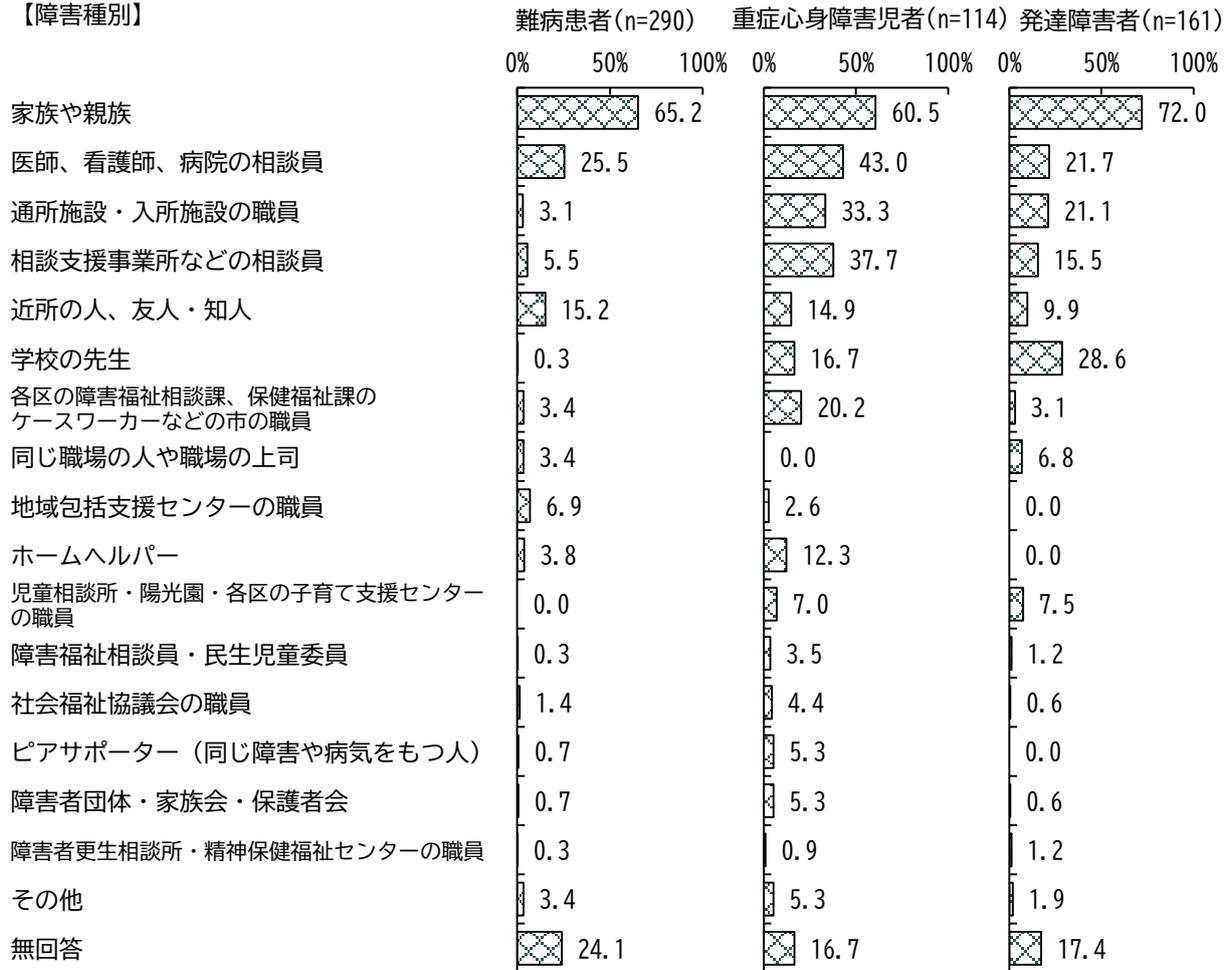
①相談している人

「家族や親族」が63.5%と最も多く、次いで「医師、看護師、病院の相談員」が28.9%、「通所施設・入所施設の職員」が15.7%などとなっています。



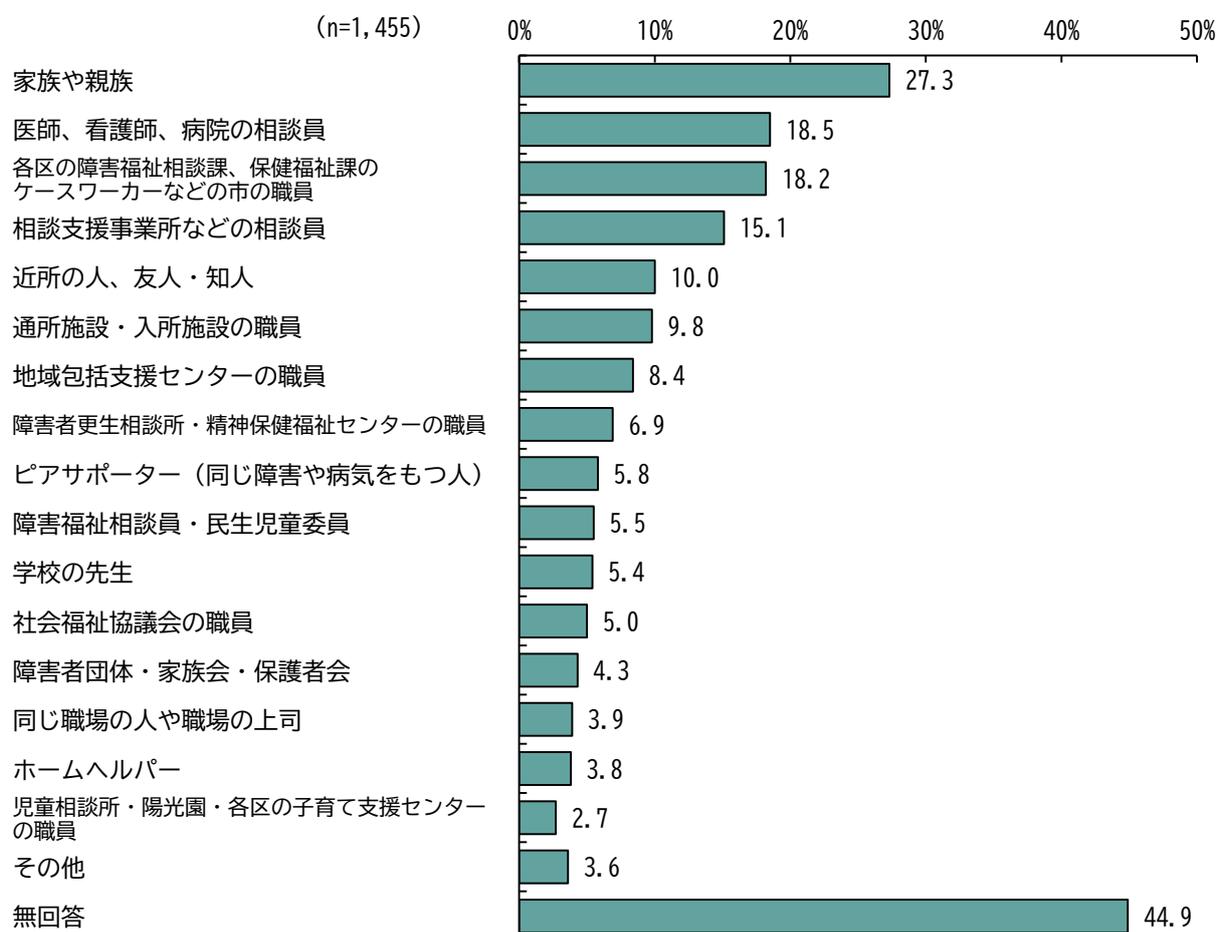


【障害種別】

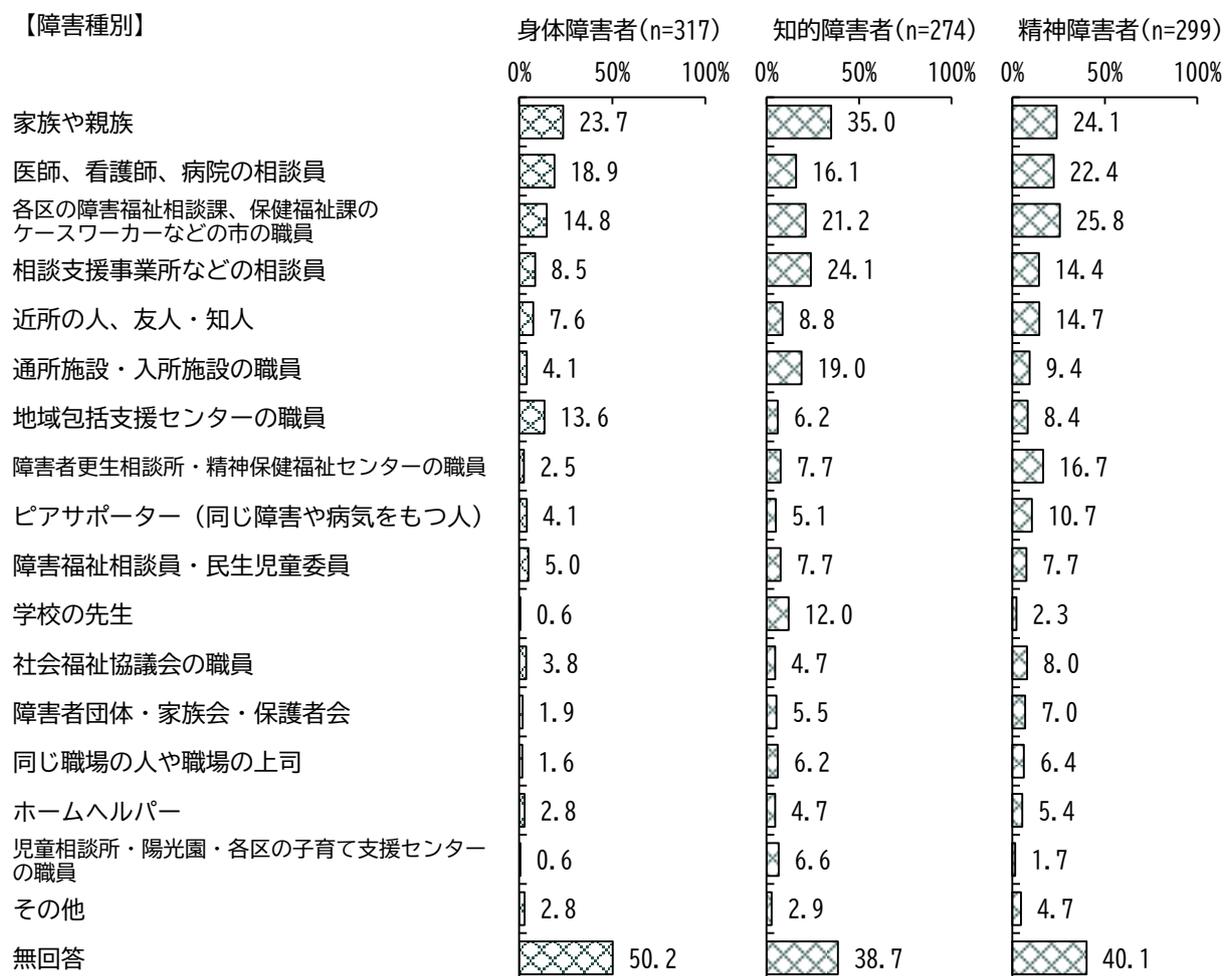


②相談したい人

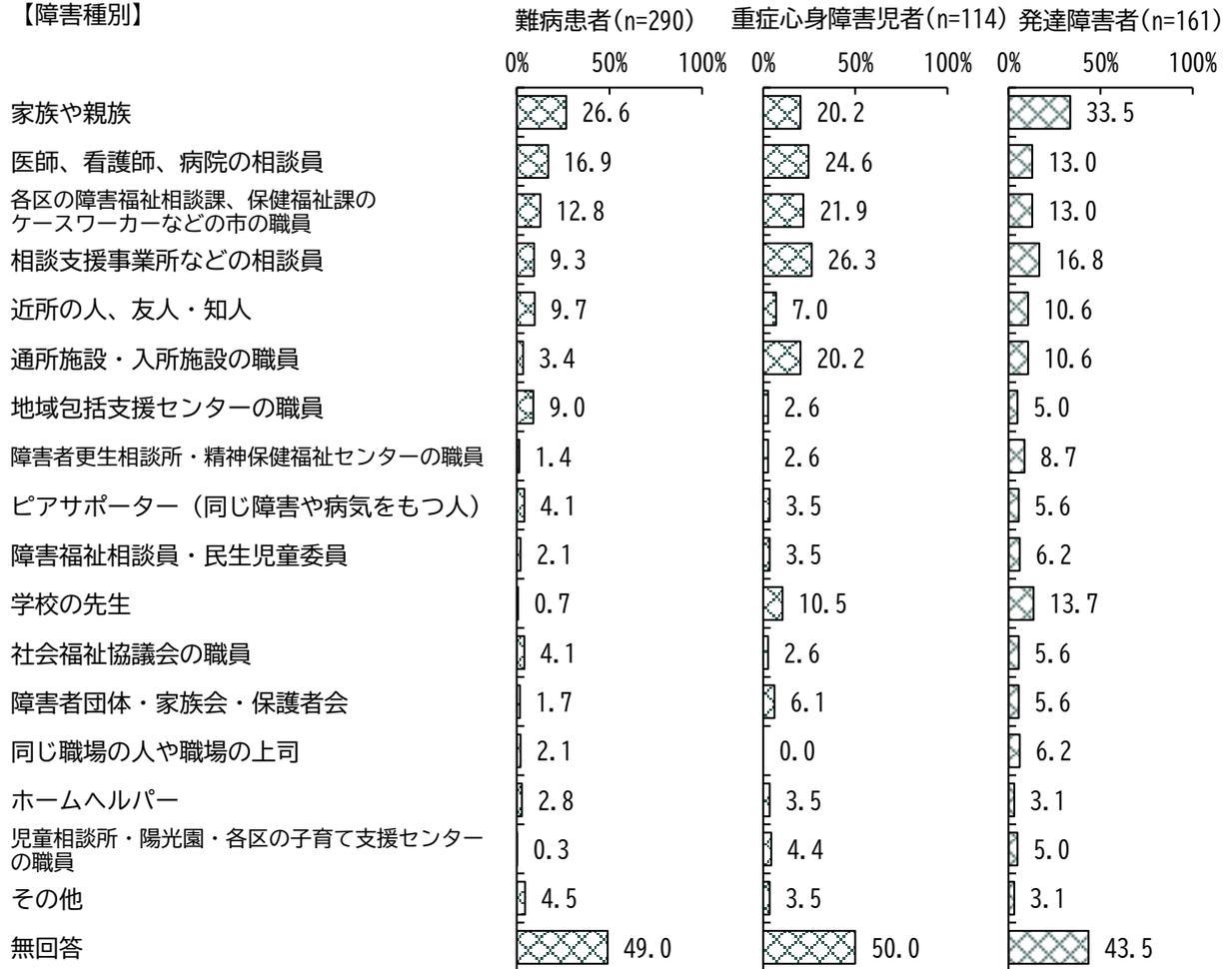
「家族や親族」が27.3%と最も多く、次いで「医師、看護師、病院の相談員」が18.5%、「各区の障害福祉相談課、保健福祉課のケースワーカーなどの市の職員」が18.2%などとなっています。



障害種別にみると、“精神障害者”では「各区の障害福祉相談課、保健福祉課のケースワーカーなどの市の職員」が最も多くなっています。また、“重症心身障害児者”では「相談支援事業所などの相談員」が最も多くなっています。



【障害種別】

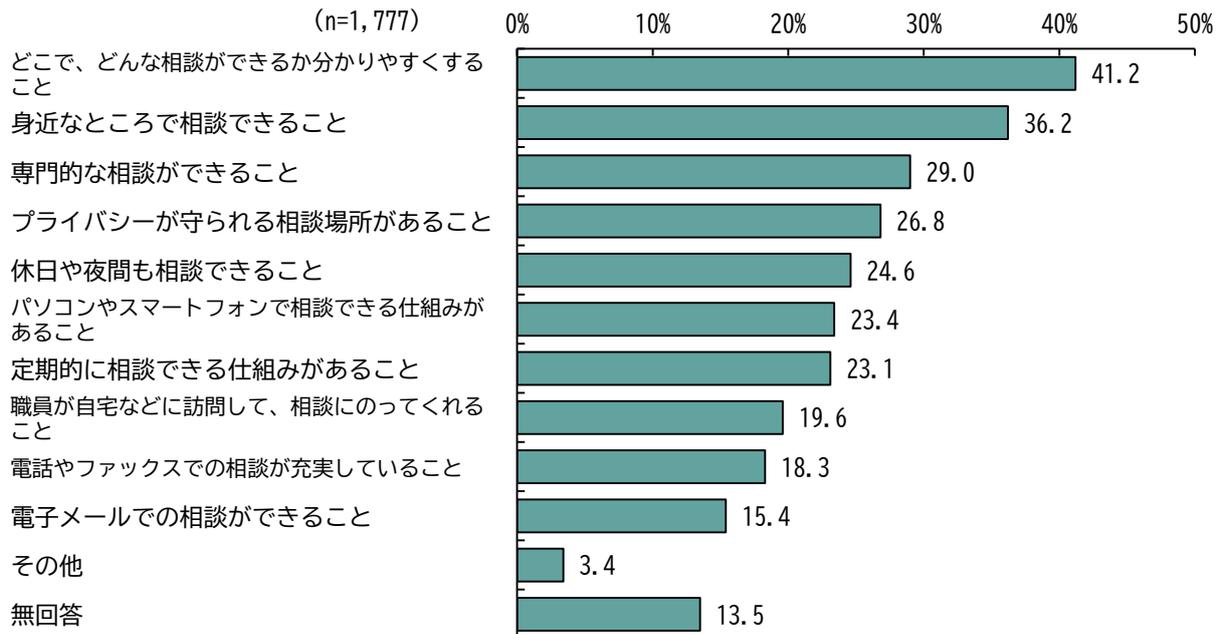


(4) 気軽に相談するために必要だと思うこと

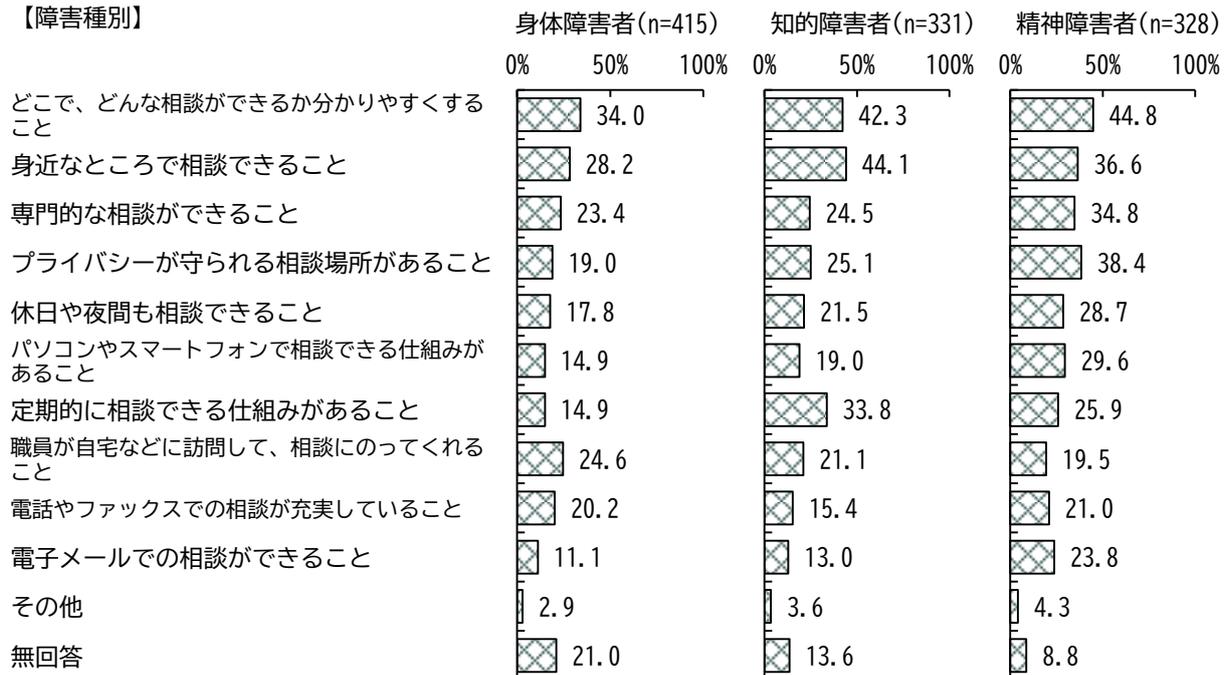
問23 あなたが、困ったときや悩んだときに気軽に相談するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「どこで、どんな相談ができるか分かりやすくすること」が41.2%と最も多く、次いで「身近なところで相談できること」が36.2%、「専門的な相談ができること」が29.0%などとなっています。

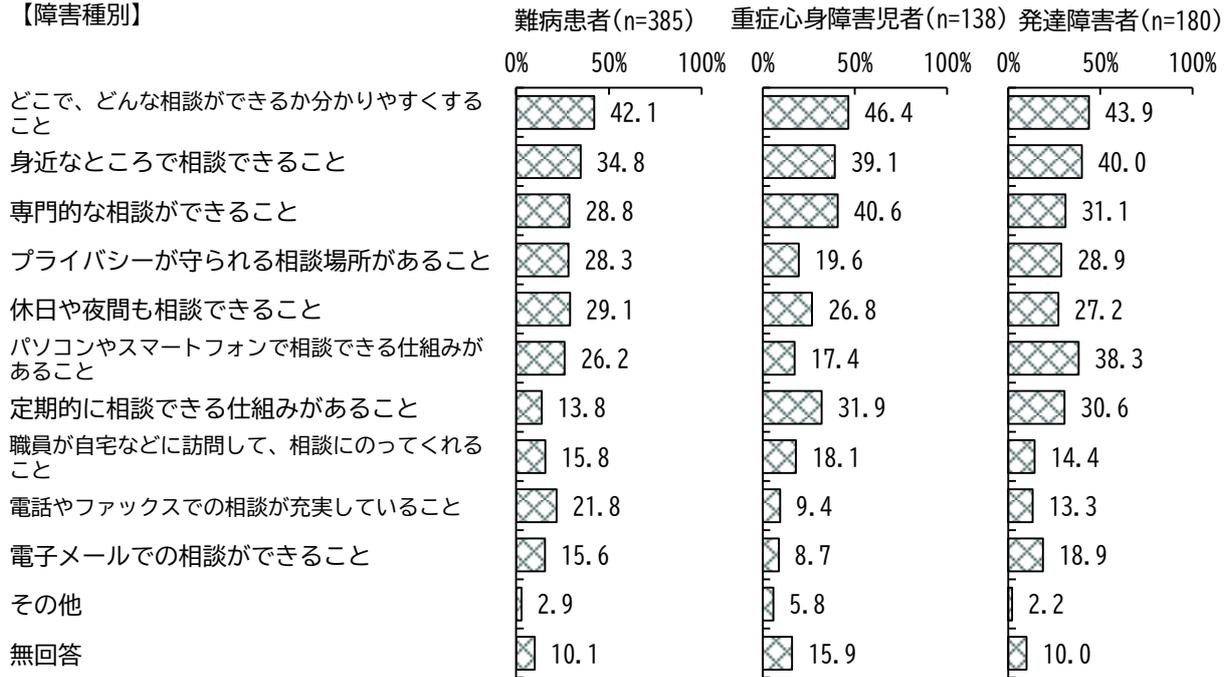
障害種別にみると、“知的障害者”では「身近なところで相談できること」が最も多くなっています。



【障害種別】

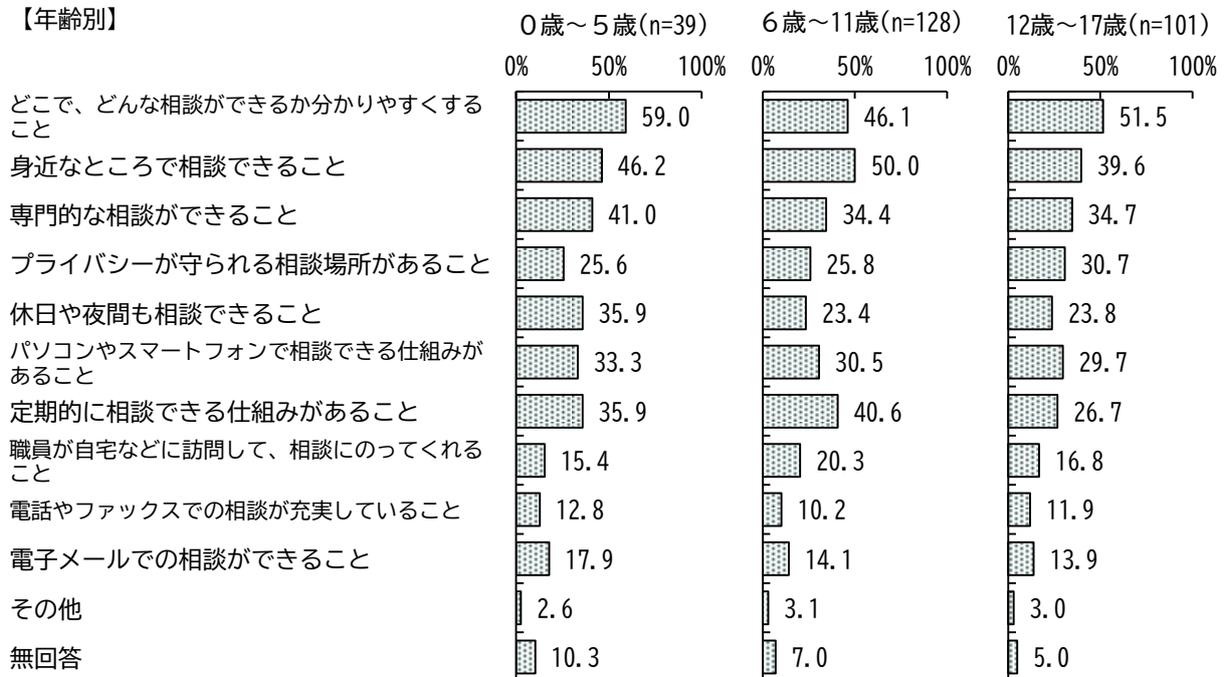


【障害種別】

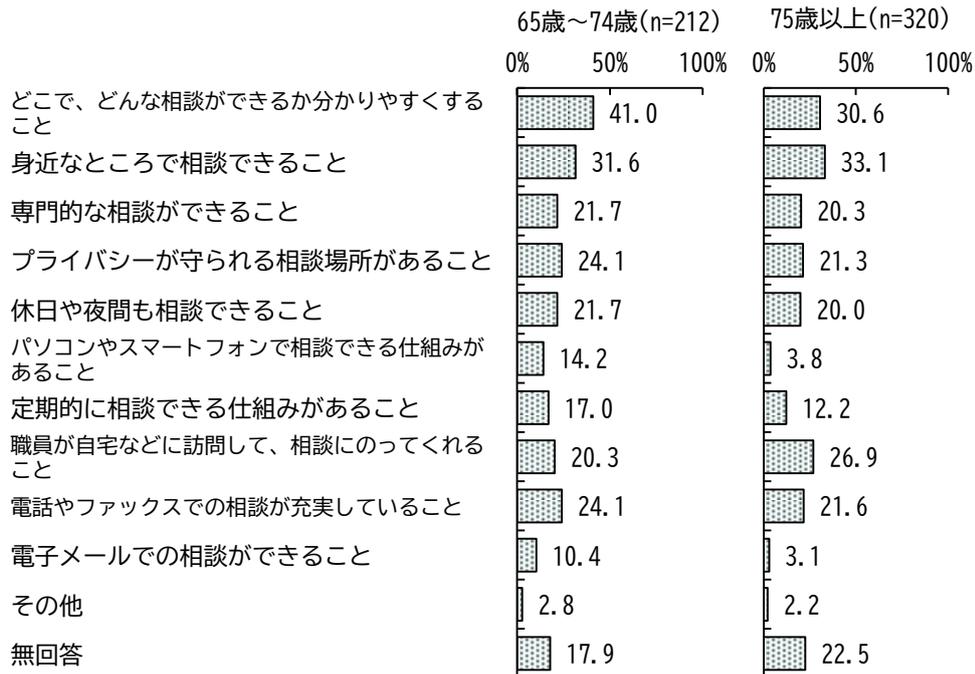
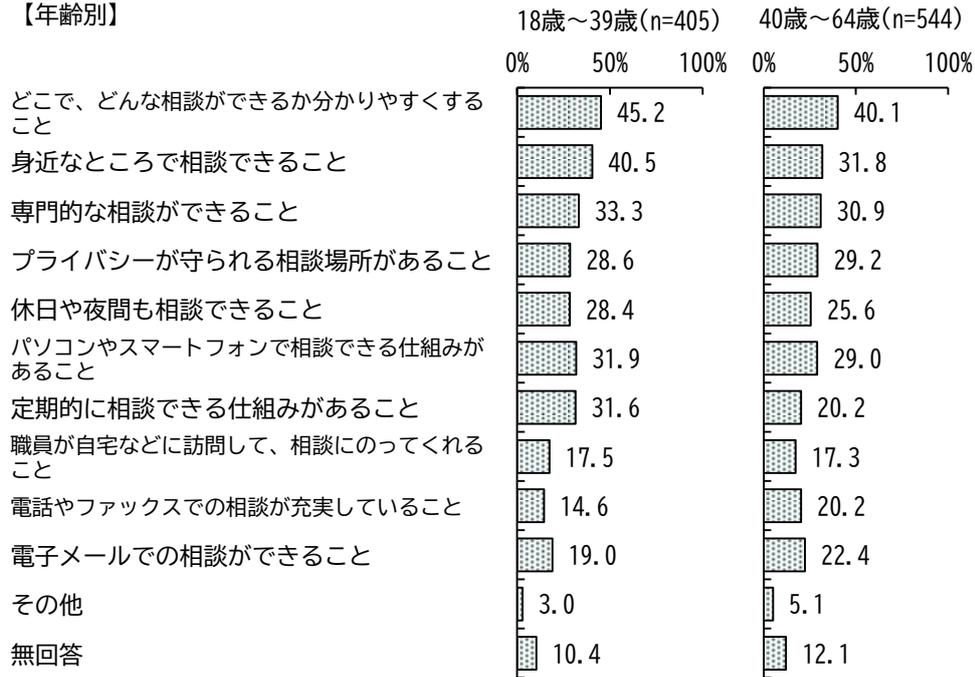


年齢別にみると、“6歳～11歳”、“75歳以上”では「身近なところで相談できること」が最も多くなっています。

【年齢別】



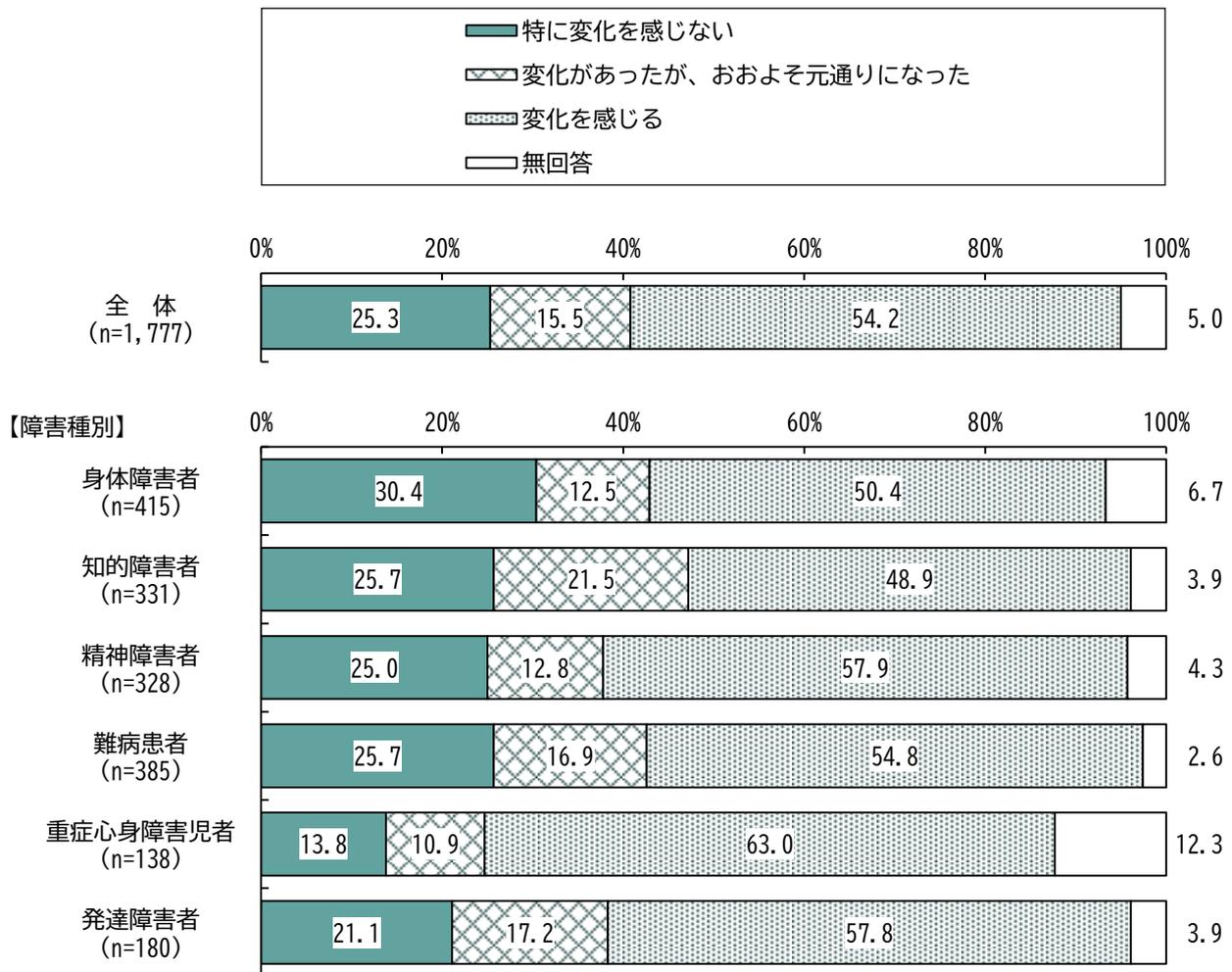
【年齢別】



(5) 新型コロナウイルス感染症の流行が発生する前からの変化

問24 あなたは、現在の生活におおよそ3年前(新型コロナウイルス感染症の流行が発生する前)から変化を感じますか。(○は1つ)

「特に変化を感じない」が25.3%、「変化があったが、おおよそ元通りになった」が15.5%、「変化を感じる」が54.2%となっています。



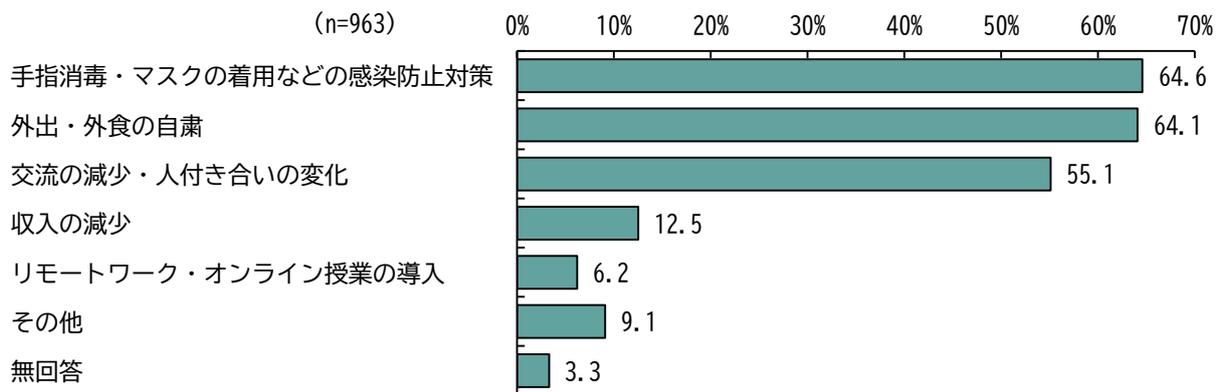
(6) 新型コロナウイルス感染症の流行によるストレス

(問24で「3 変化を感じる」とお答えの方にお聞きします。)

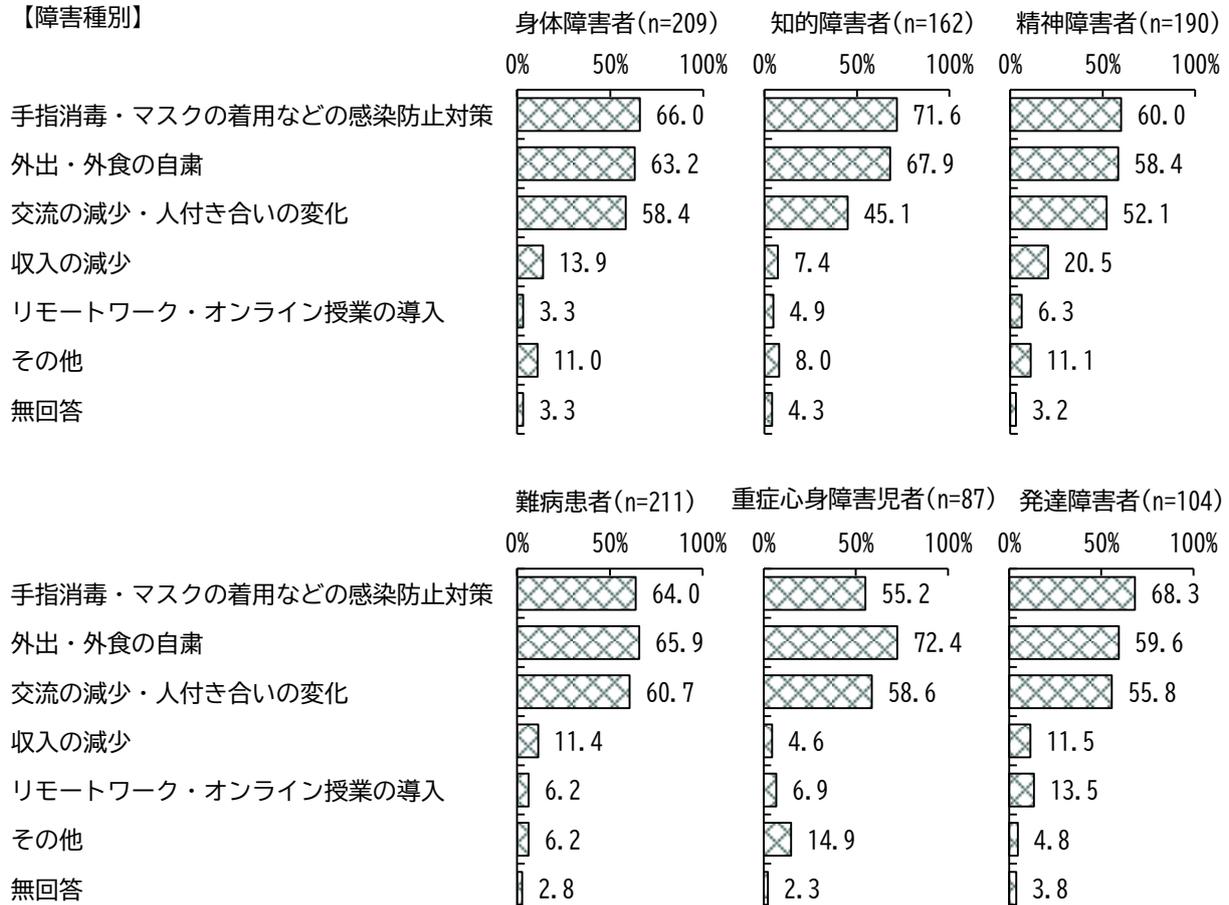
問24-1 新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけとした変化で、ストレスを感じるようになったことはありますか。(〇はいくつでも)

「手指消毒・マスクの着用などの感染防止対策」が64.6%と最も多く、次いで「外出・外食の自粛」が64.1%、「交流の減少・人付き合いの変化」が55.1%などとなっています。

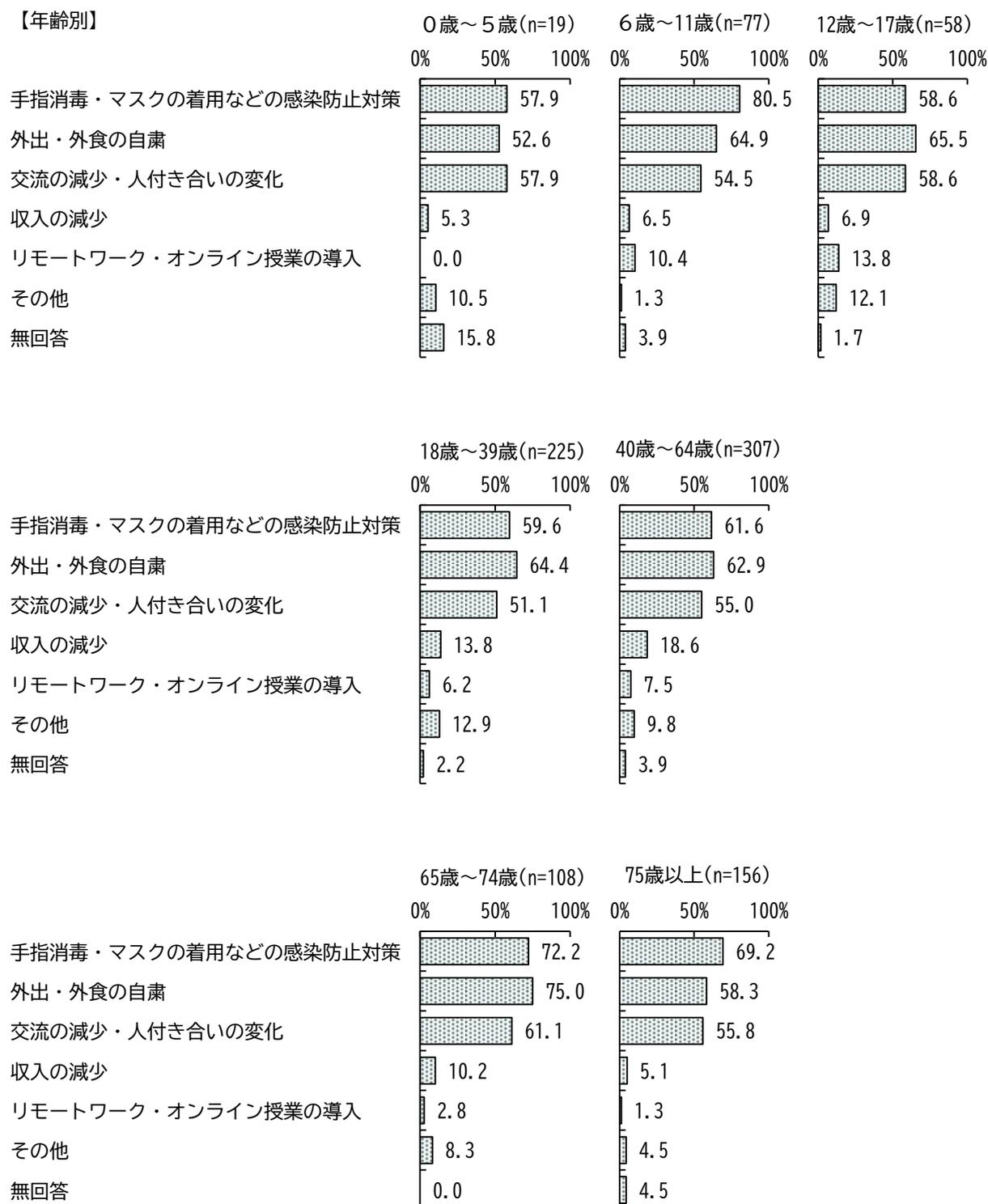
障害種別に見ると、“難病患者”、“重症心身障害児者”では「外出・外食の自粛」が最も多くなっています。



【障害種別】



年齢別にみると、“12歳～17歳”、“18歳～39歳”、“40歳～64歳”、“65歳～74歳”では「外出・外食の自粛」が最も多くなっています。

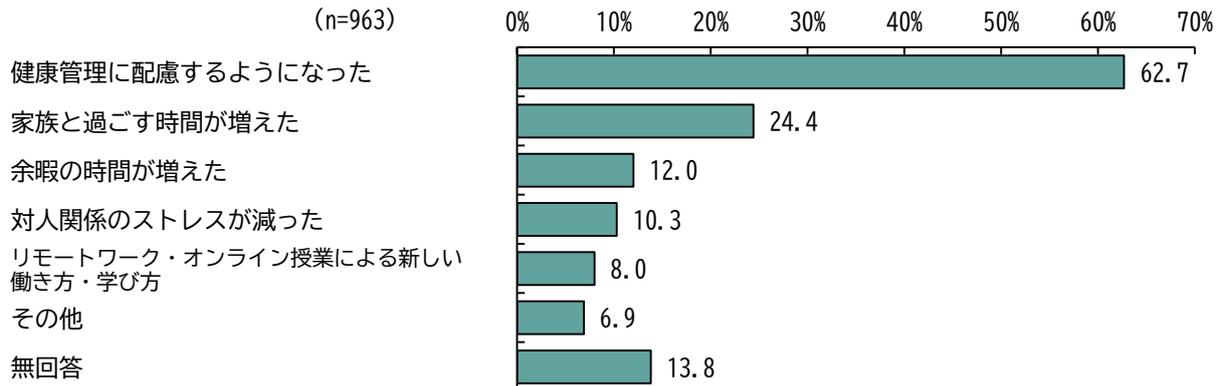


(7) 新型コロナウイルス感染症の流行による生活の改善

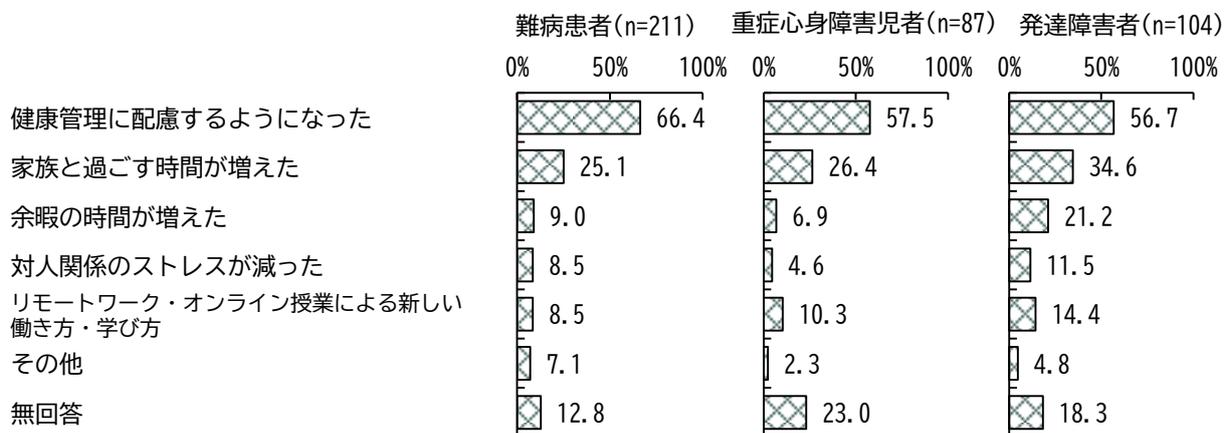
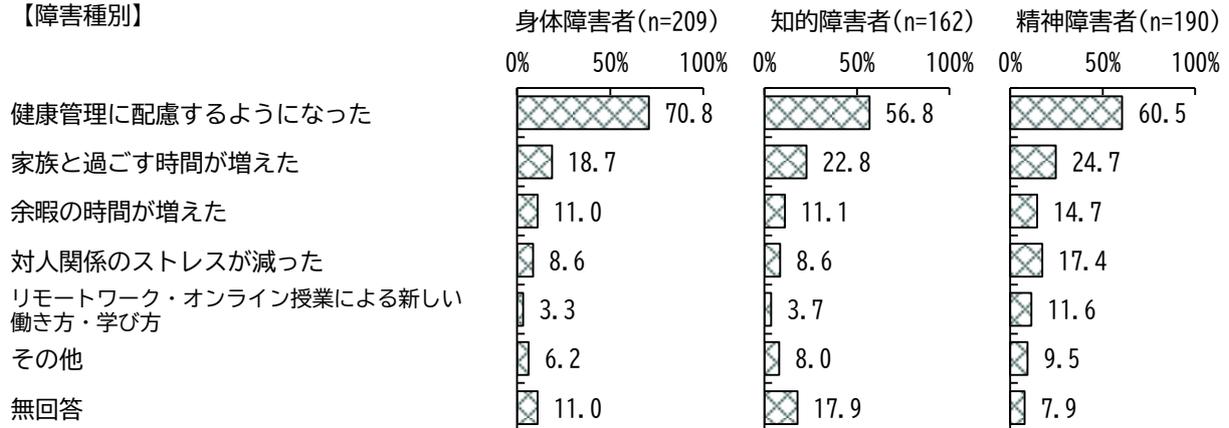
(問24で「3 変化を感じる」とお答えの方にお聞きします。)

問24-2 新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけとした変化で、生活の改善につながると感じたことはありますか。(〇はいくつでも)

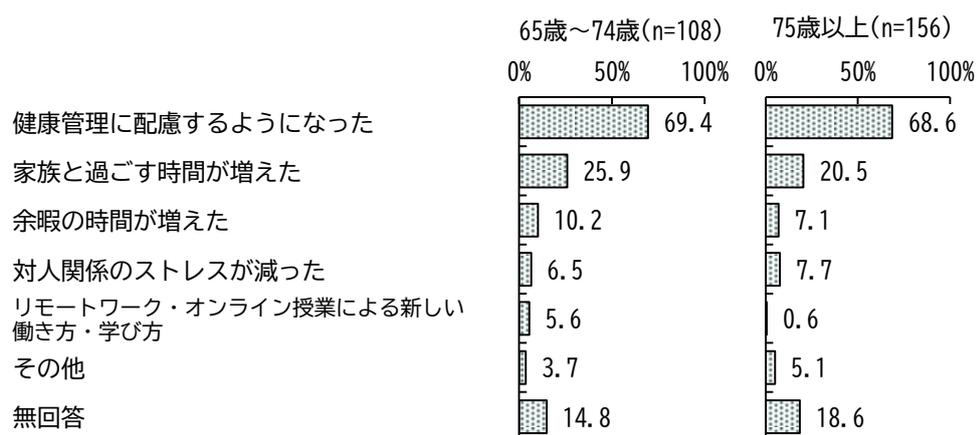
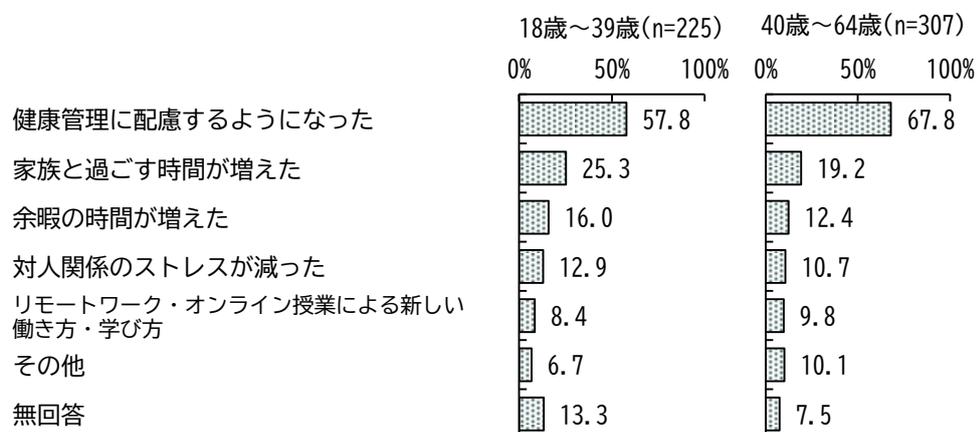
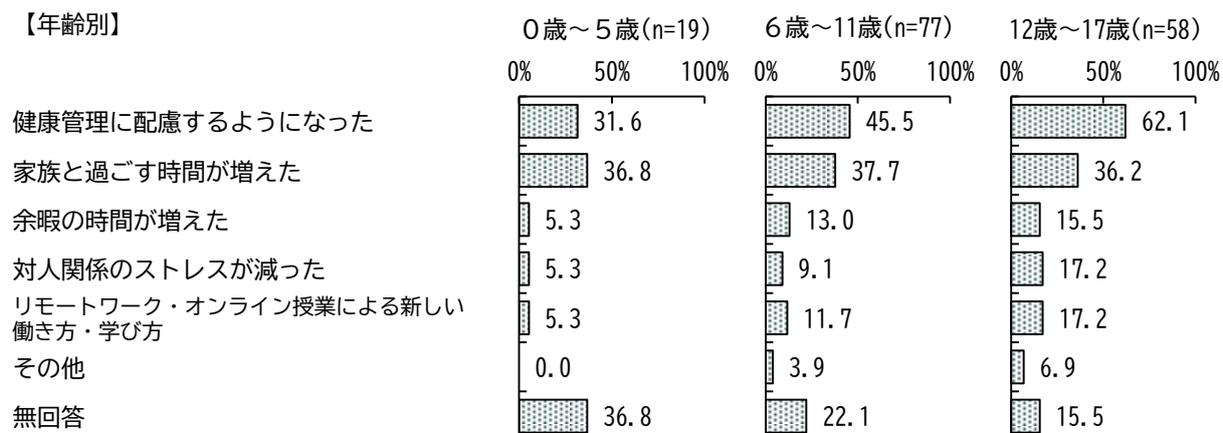
「健康管理に配慮するようになった」が62.7%と最も多く、次いで「家族と過ごす時間が増えた」が24.4%、「余暇の時間が増えた」が12.0%などとなっています。



【障害種別】



年齢別にみると、“0歳～5歳”では「家族と過ごす時間が増えた」が最も多くなっています。

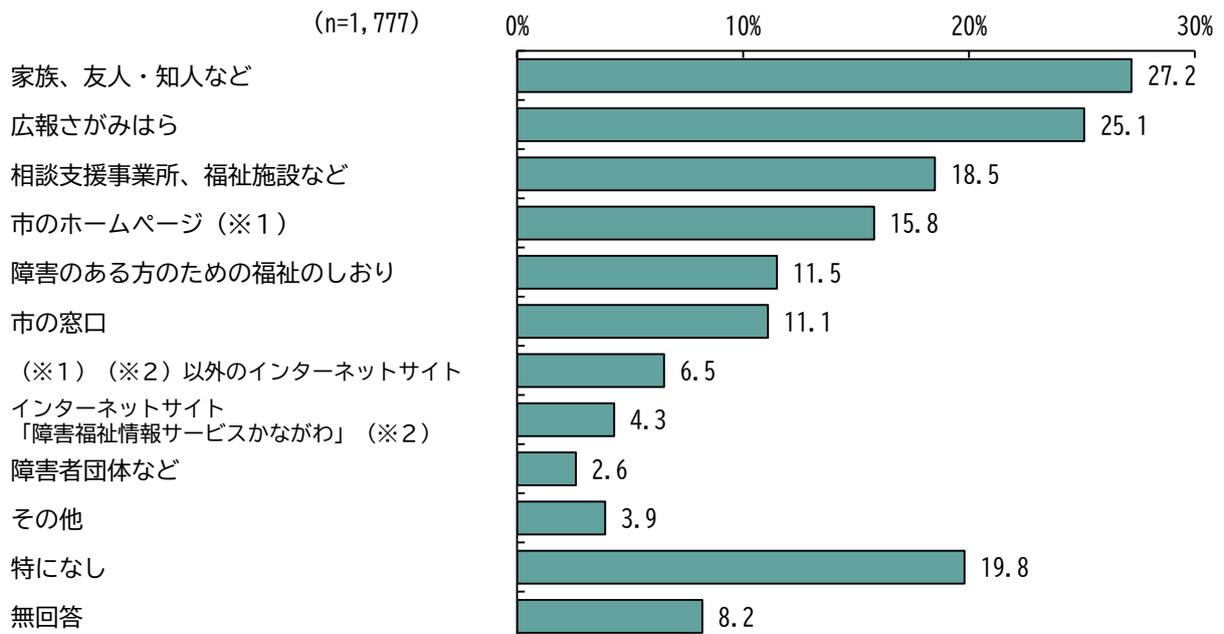


(8) 福祉サービスの情報の入手方法

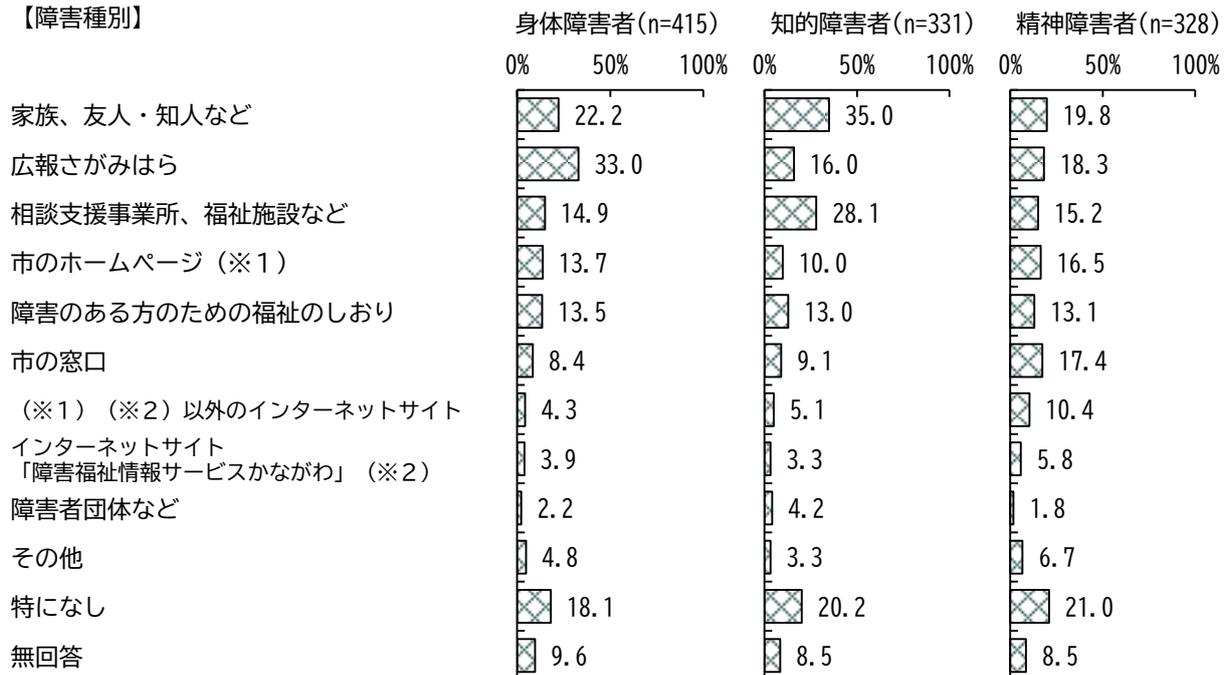
問25 あなたは、福祉サービスの情報を主にどこから入手しますか。(〇はいくつでも)

「家族、友人・知人など」が27.2%と最も多く、次いで「広報さがみはら」が25.1%、「相談支援事業所、福祉施設など」が18.5%などとなっています。また、「特になし」が19.8%となっています。

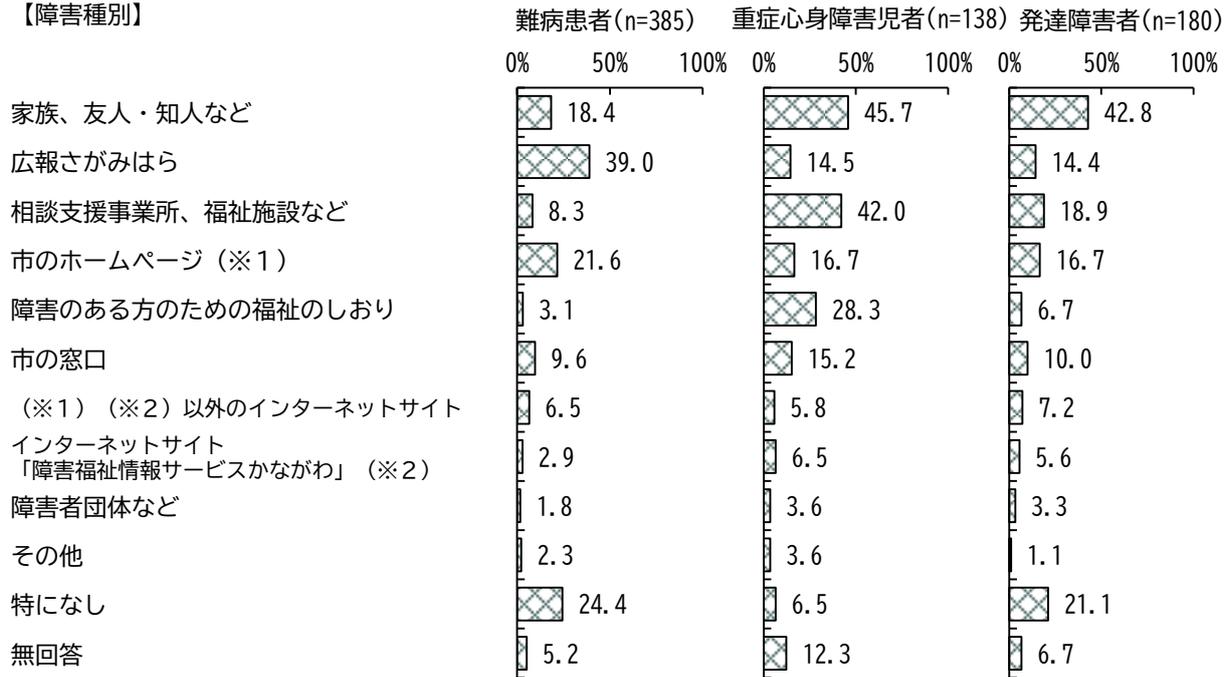
障害種別にみると、“身体障害者”、“難病患者”では「広報さがみはら」が最も多くなっています。



【障害種別】

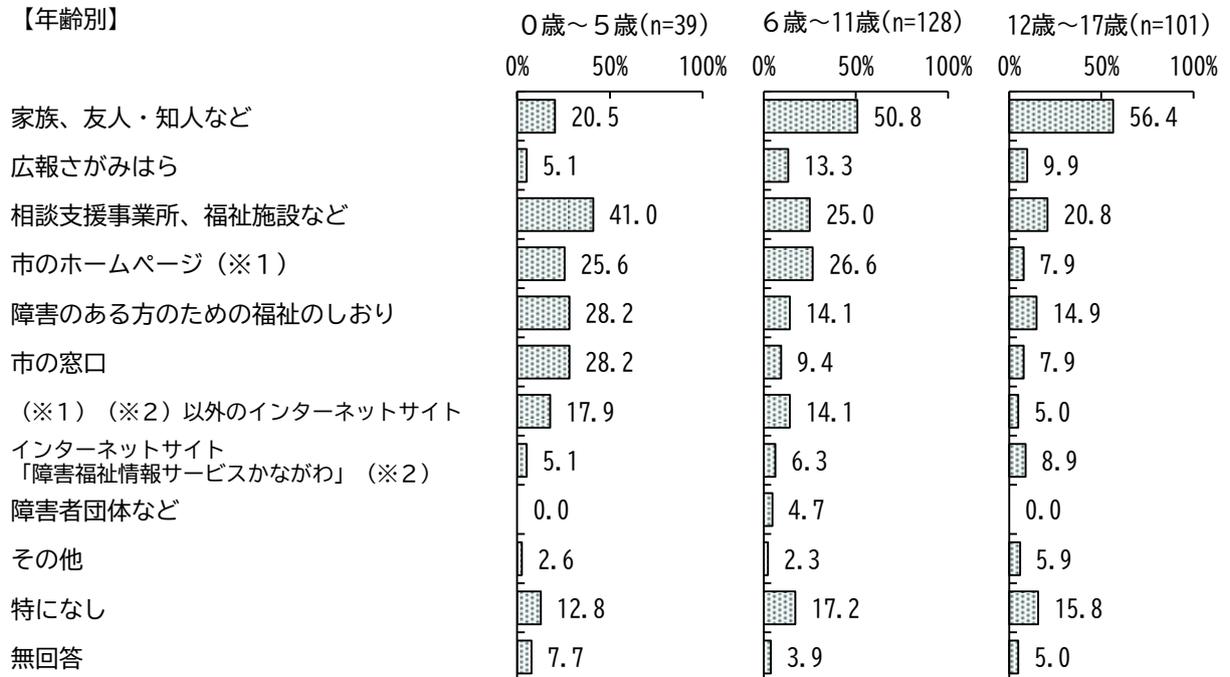


【障害種別】

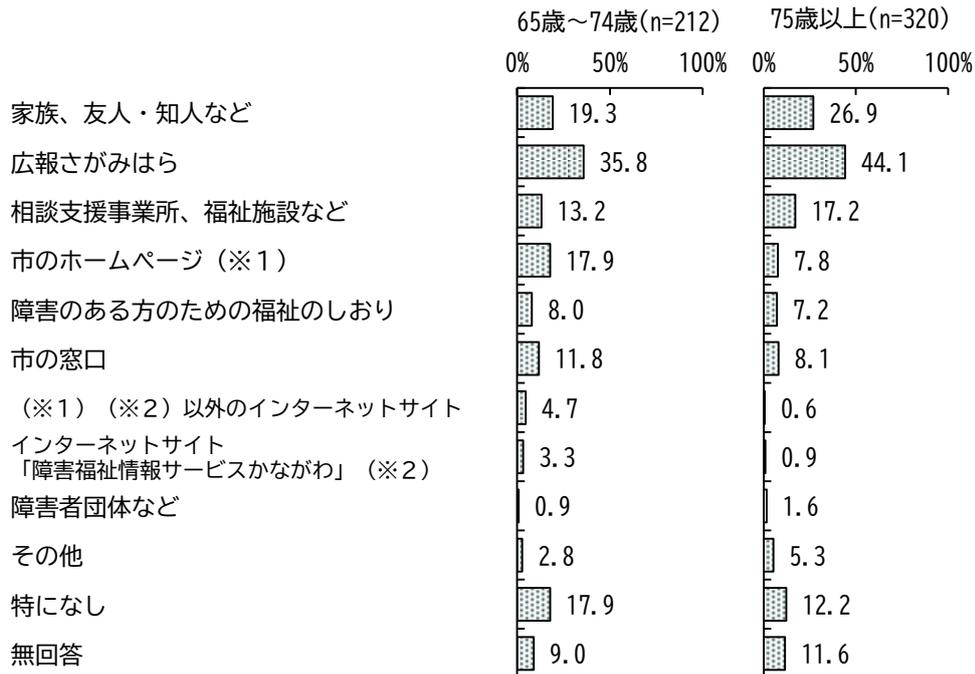
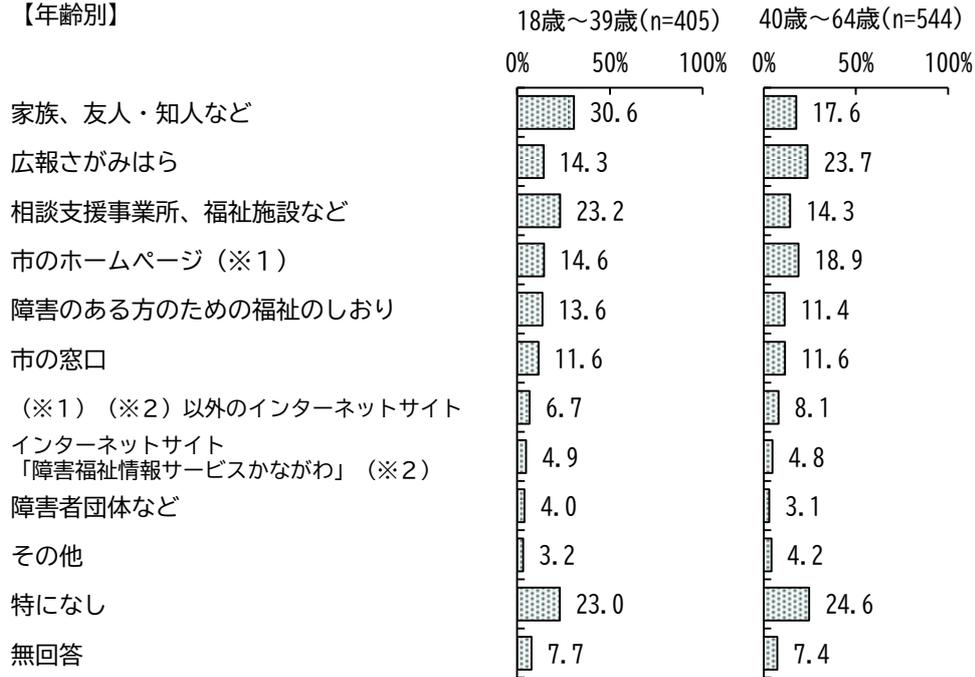


年齢別にみると、“0歳～5歳”では「相談支援事業所、福祉施設など」が最も多くなっています。また、“65歳～74歳”、“75歳以上”では「広報さがみはら」が最も多くなっています。

【年齢別】



【年齢別】

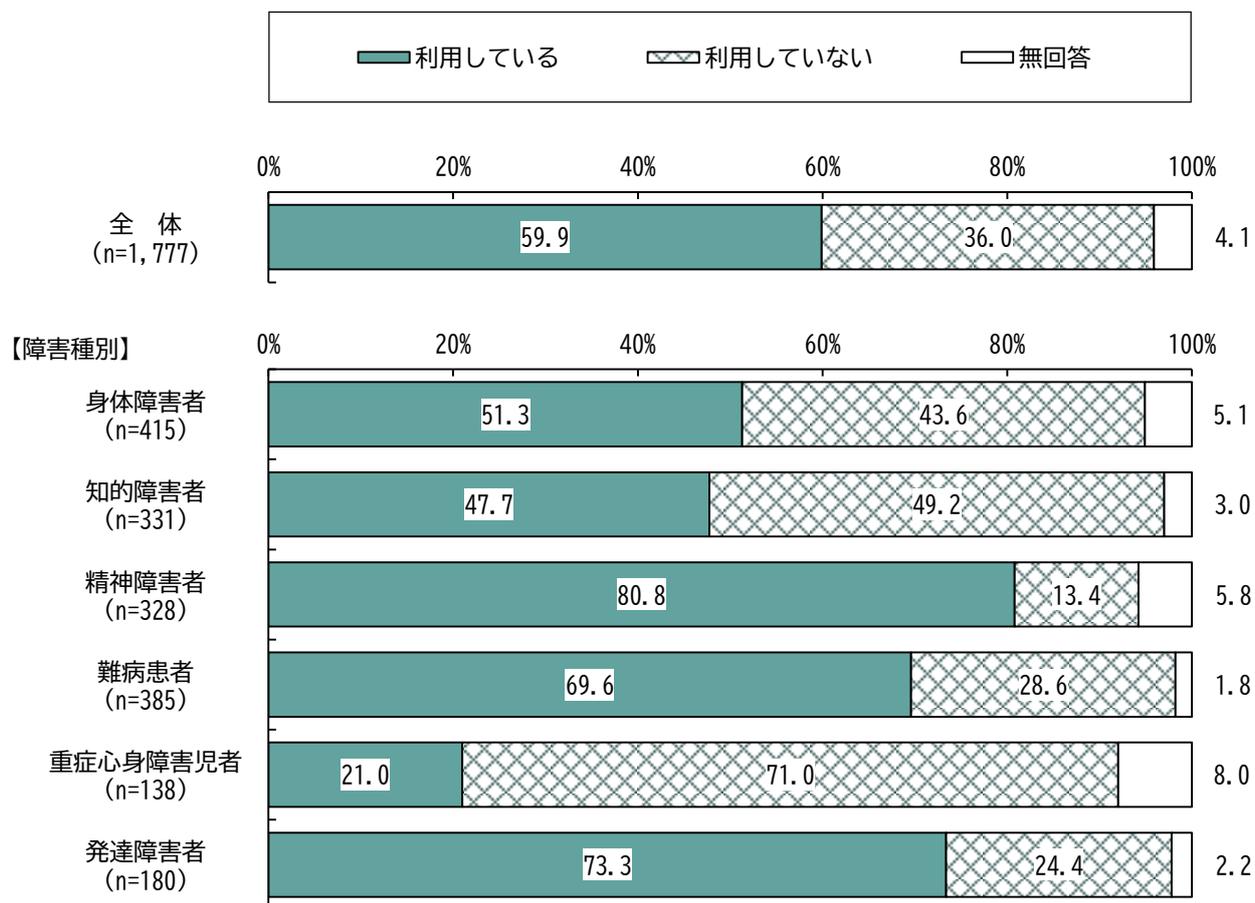


(9) パソコン・スマートフォン等の利用状況

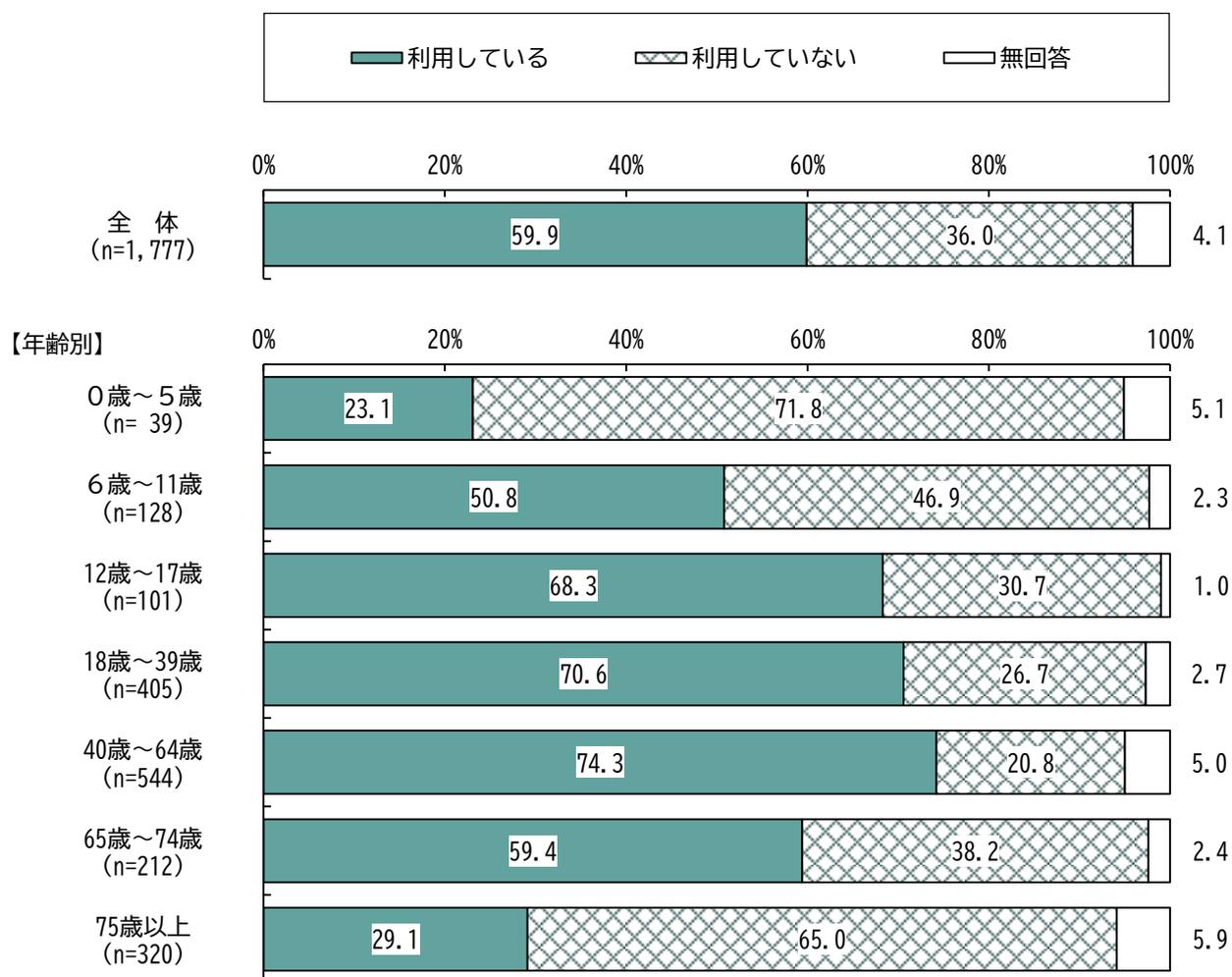
問26 あなたは、パソコンやスマートフォンなどを利用していますか。(〇は1つ)

「利用している」が59.9%、「利用していない」が36.0%となっています。

障害種別にみると、“知的障害者”、“重症心身障害児者”では「利用していない」のほうが多くなっています。



年齢別にみると、“0歳～5歳”、“75歳以上”では「利用していない」の割合が多くなっています。

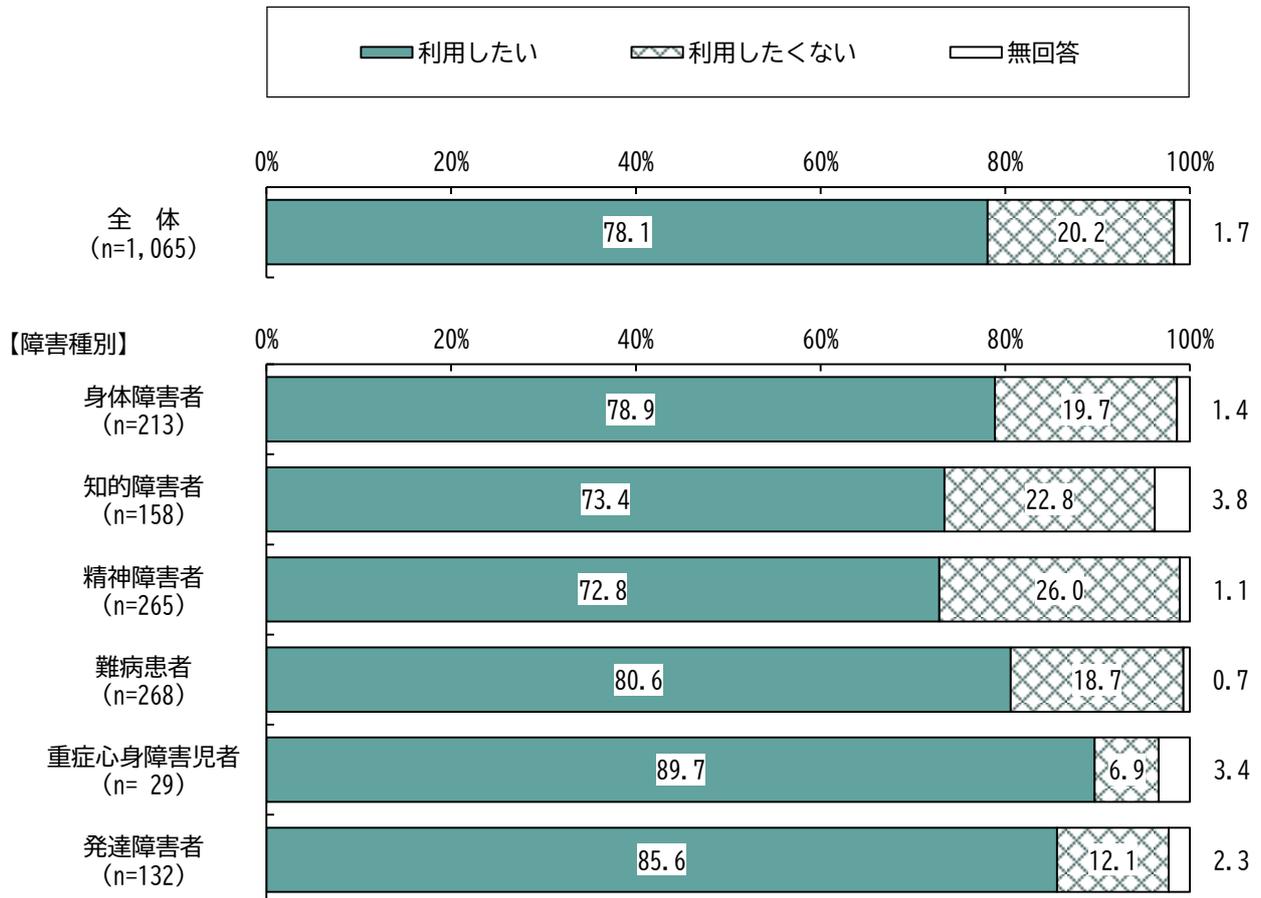


(10) パソコン・スマートフォン等での福祉サービスの申請や手続の希望

問26-1 問26で「1 利用している」とお答えの方にお聞きます。

あなたは、福祉サービスの申請や手続がパソコンやスマートフォンなどのできるようになったら利用したいですか。(○は1つ)

「利用したい」が78.1%、「利用したくない」が20.2%となっています。

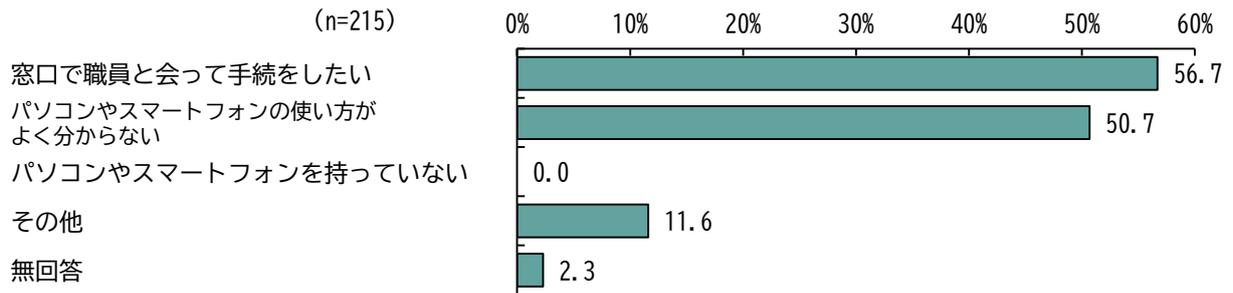


(11) パソコン・スマートフォン等での福祉サービスの申請や手続を希望しない理由

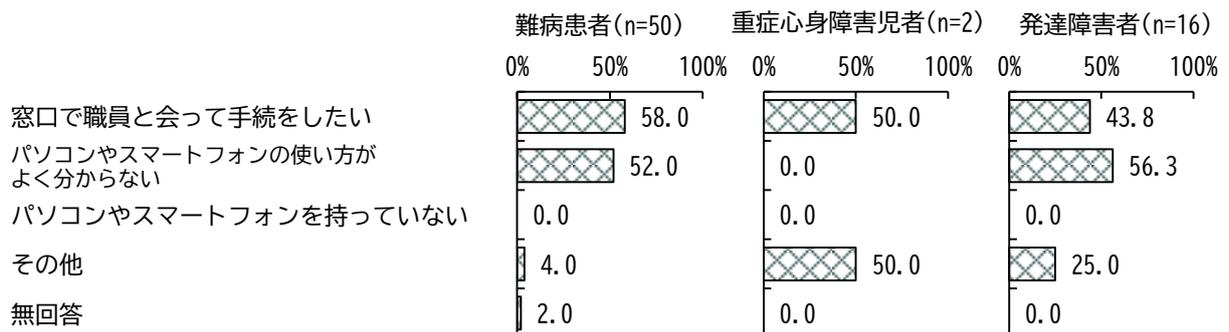
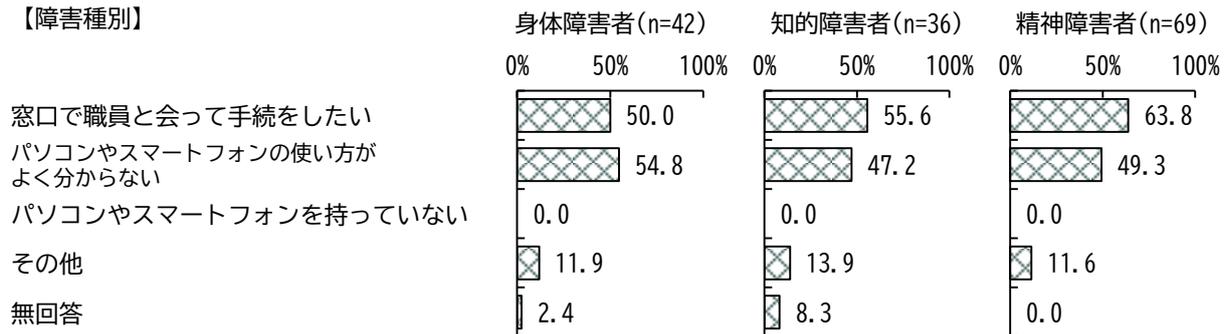
問26-2 問26-1で「2 利用したくない」とお答えの方にお聞きします。
 利用したくないと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「窓口で職員と会って手続をしたい」が56.7%と最も多く、次いで「パソコンやスマートフォンの使い方がよく分からない」が50.7%などとなっています。

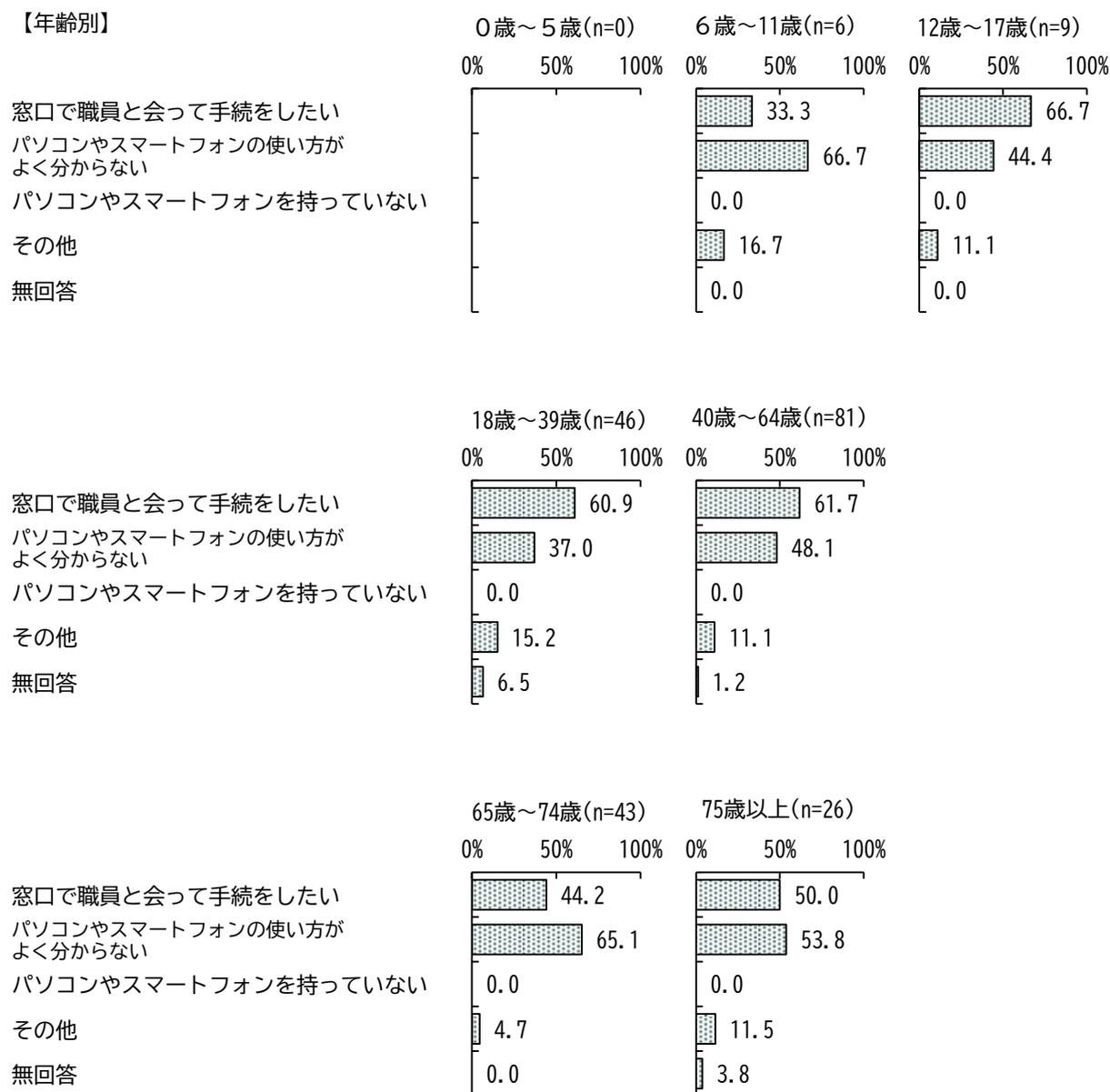
障害種別に見ると、“身体障害者”、“発達障害者”では「パソコンやスマートフォンの使い方がよく分からない」が最も多くなっています。



【障害種別】



年齢別にみると、“6歳～11歳”、“65歳～74歳”、“75歳以上”では「パソコンやスマートフォンの使い方がよく分からない」が最も多くなっています。



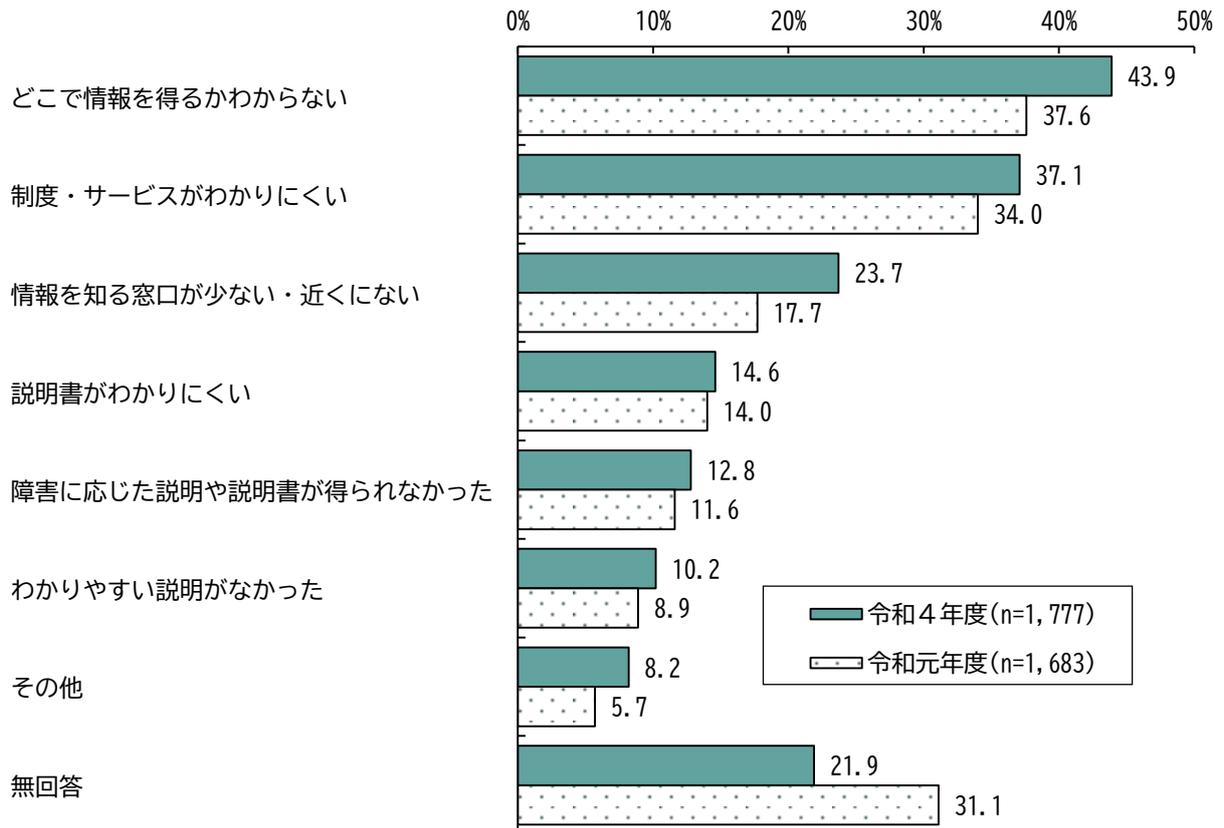
(12) 福祉サービスの情報を知るために困ったこと

問27 あなたは、これまでに福祉サービスの情報を知るために困ったことは何ですか。

(○はいくつでも)

「どこで情報を得るかわからない」が43.9%と最も多く、次いで「制度・サービスがわかりにくい」が37.1%、「情報を知る窓口が少ない・近くにない」が23.7%などとなっています。

【全体・経年比較】



障害種別にみると、“重症心身障害児者”では「制度・サービスがわかりにくい」が最も多くなっています。

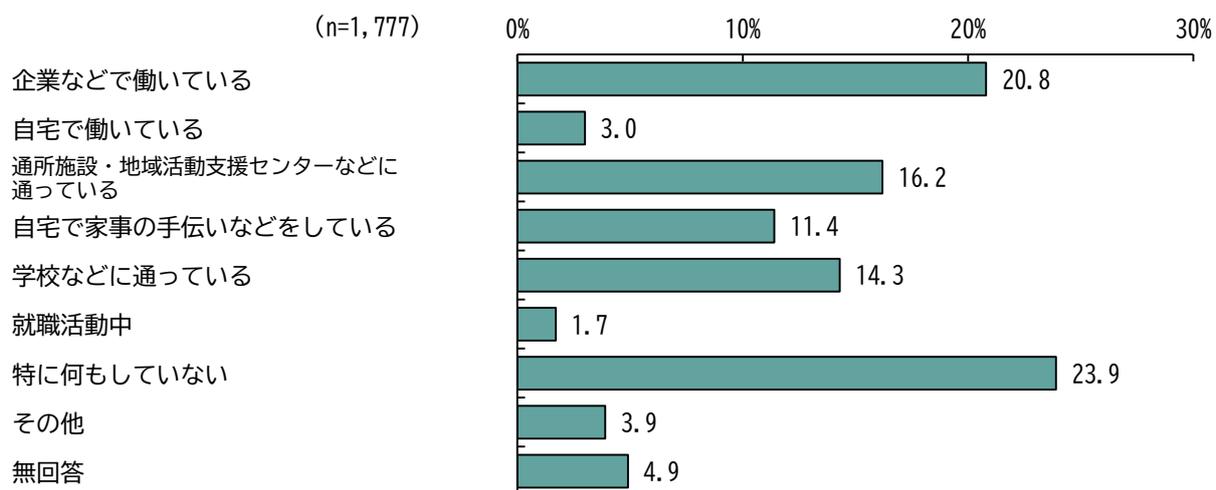


6 日中活動・就労について

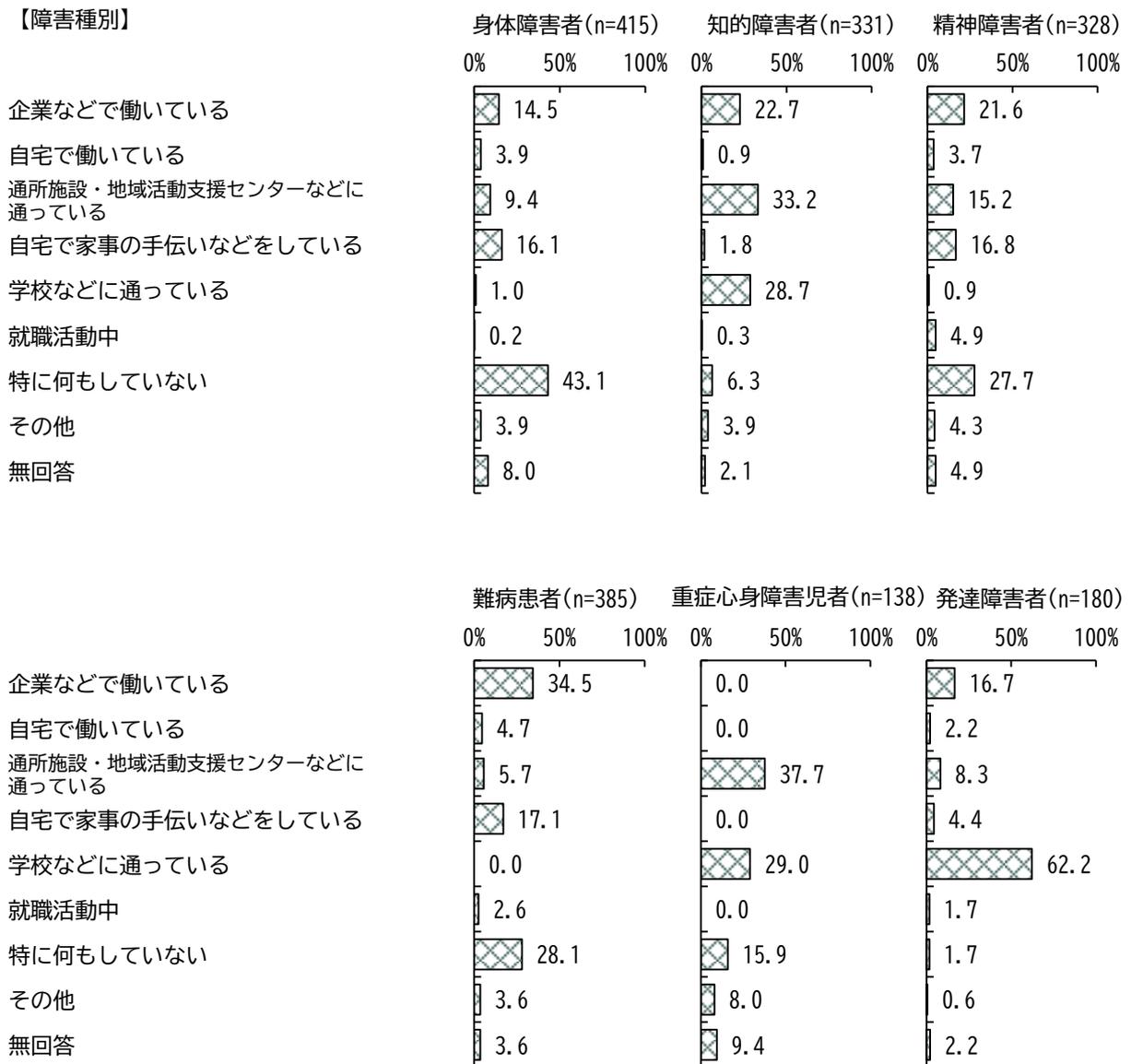
(1) 平日の日中の主な過ごし方

問28 あなたは平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)

「特に何もしていない」が23.9%と最も多く、次いで「企業などで働いている」が20.8%、「通所施設・地域活動支援センターなどに通っている」が16.2%などとなっています。



障害種別にみると、“知的障害者”、“重症心身障害児者”では「通所施設・地域活動支援センターなどに通っている」が最も多くなっています。また、“難病患者”では「企業などで働いている」が最も多くなっています。また、“発達障害者”では「学校などに通っている」が最も多くなっています。



(2) 障害があることで仕事をする上で不安や不満を感じること

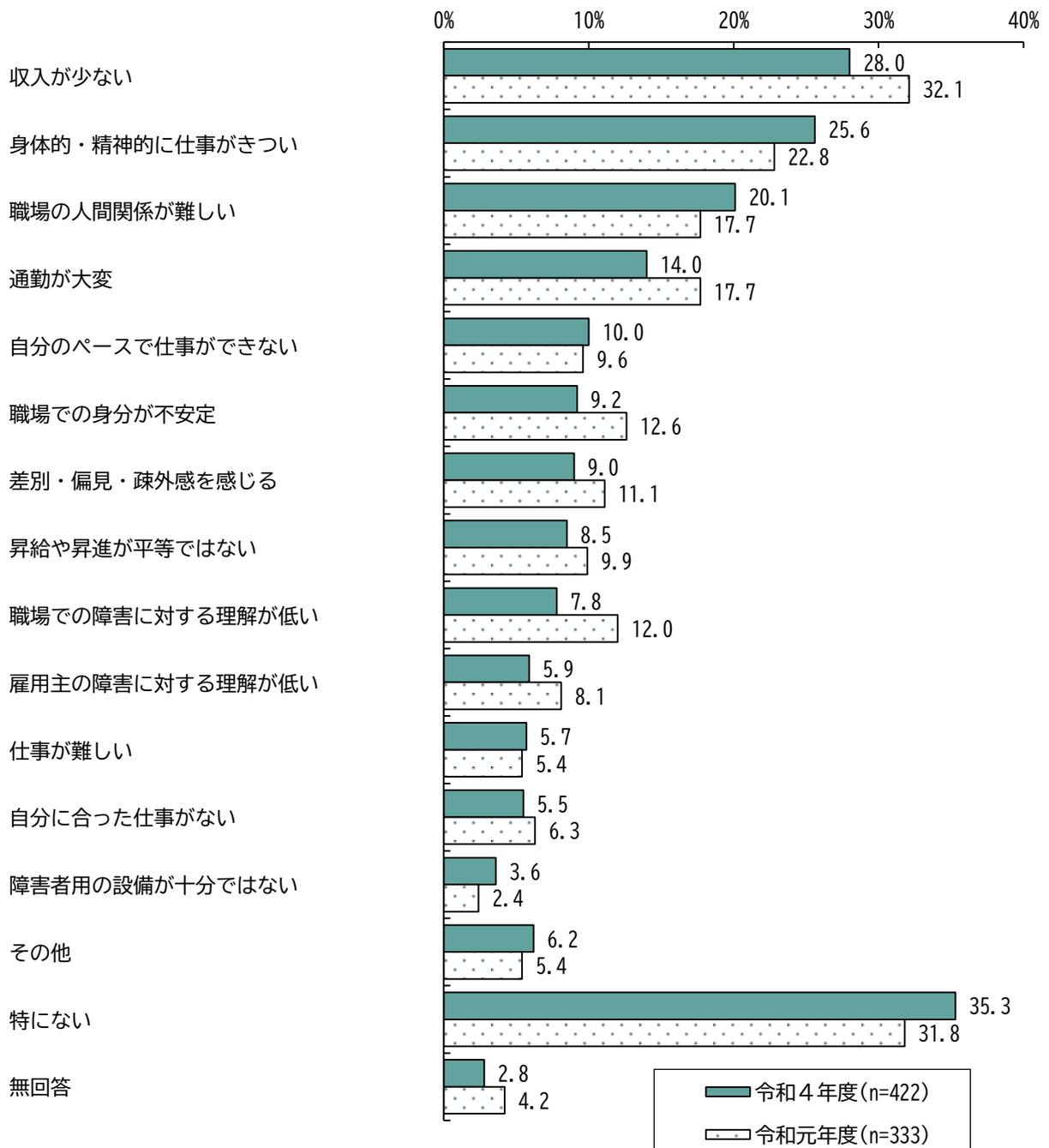
問28-1 問28で「1 企業などで働いている」または「2 自宅で働いている」とお答えの方にお聞きします。

あなたは障害があることで、仕事をする上で不安や不満を感じることはありますか。

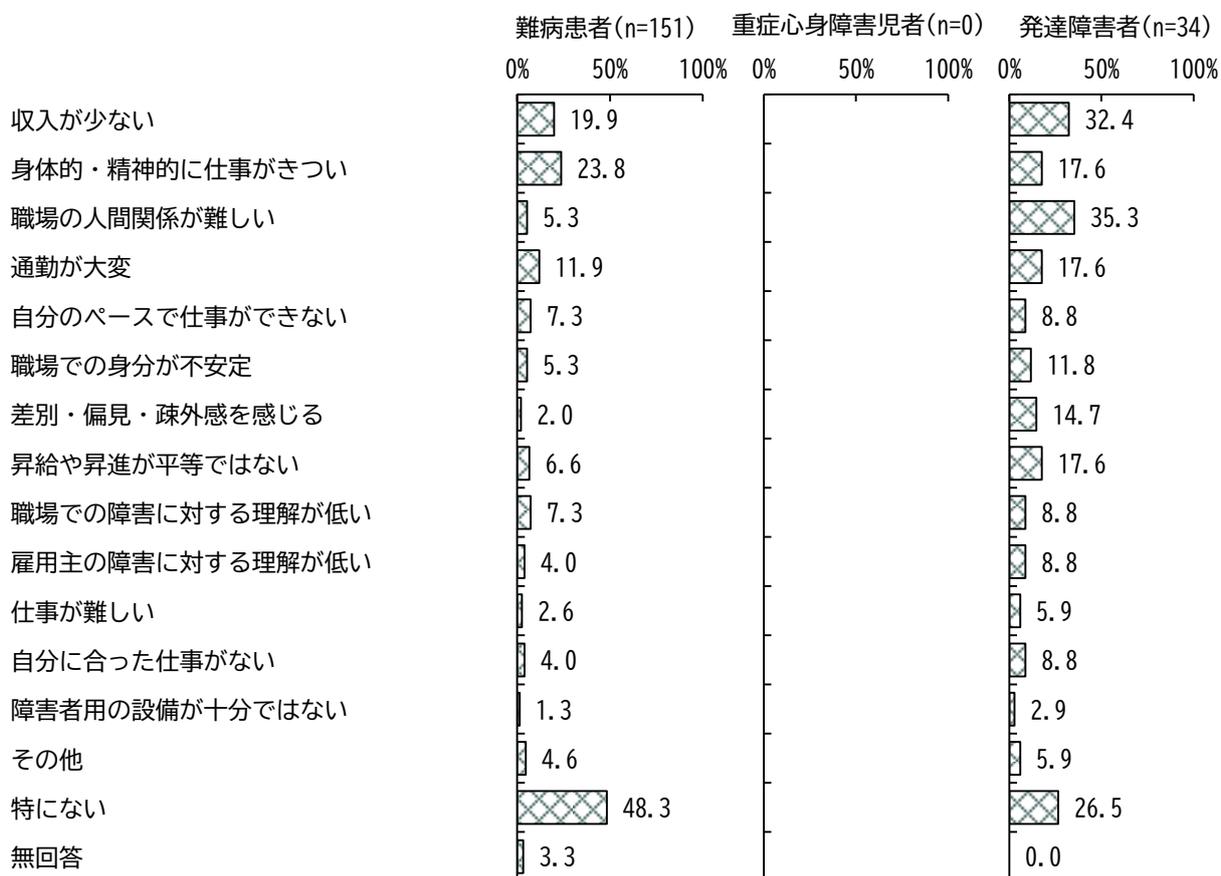
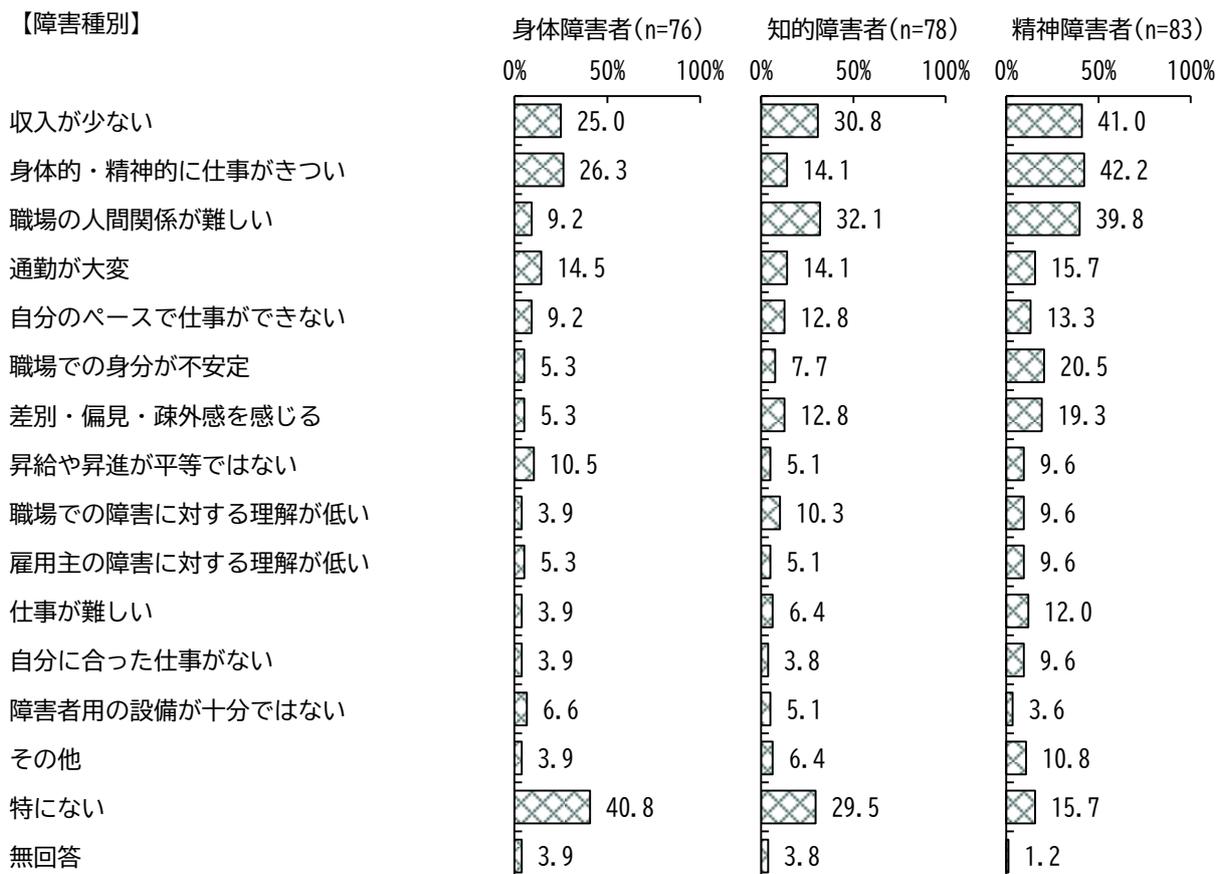
(○はいくつでも)

「収入が少ない」が28.0%と最も多く、次いで「身体的・精神的に仕事がきつい」が25.6%、「職場の人間関係が難しい」が20.1%などとなっています。また、「特にない」が35.3%となっています。

【全体・経年比較】



障害種別にみると、“知的障害者”、“発達障害者”では「職場の人間関係が難しい」が最も多くなっています。また、“精神障害者”では「身体的・精神的に仕事がつい」が最も多くなっています。

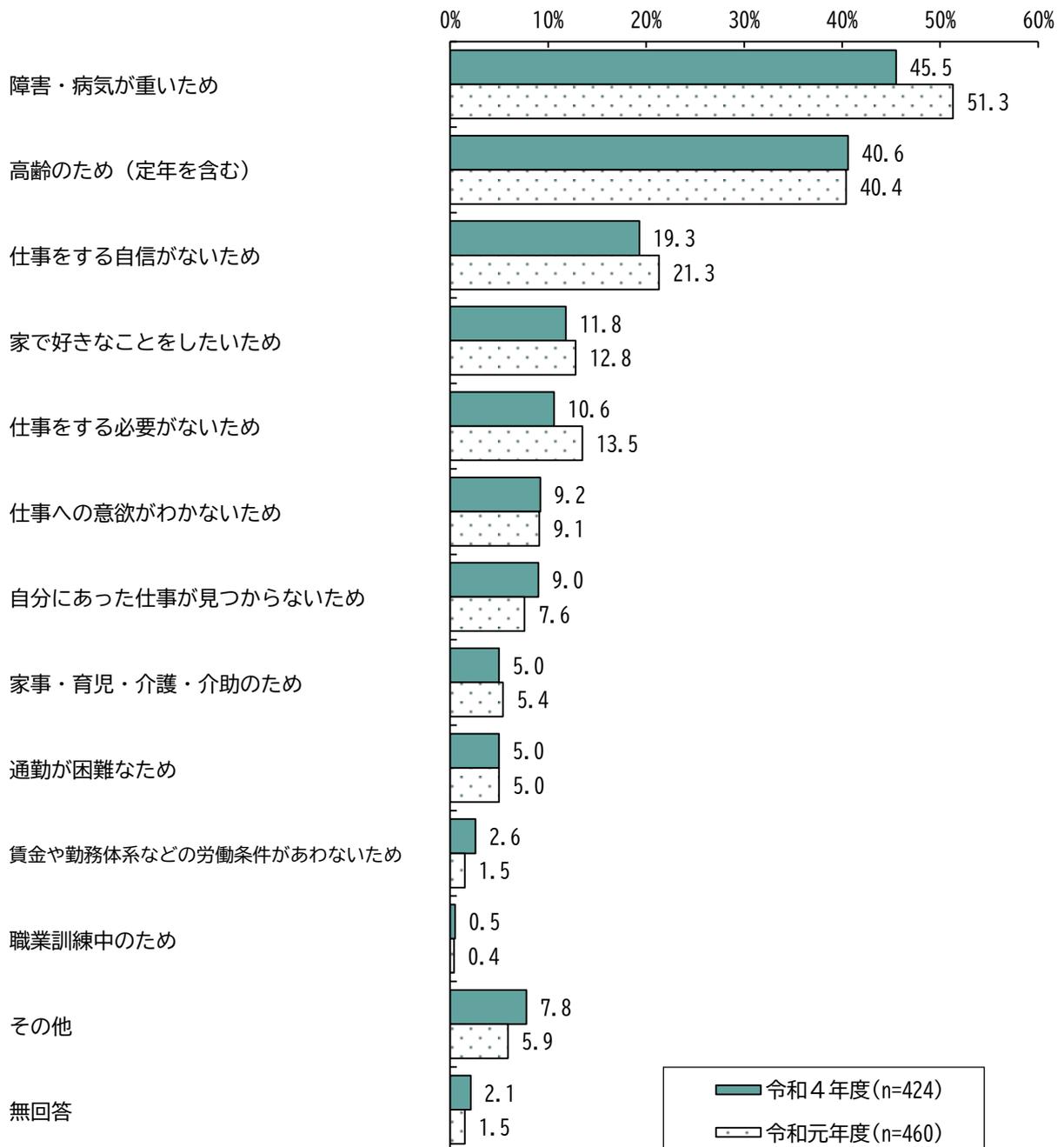


(3) 日中活動や就労等をしていない理由

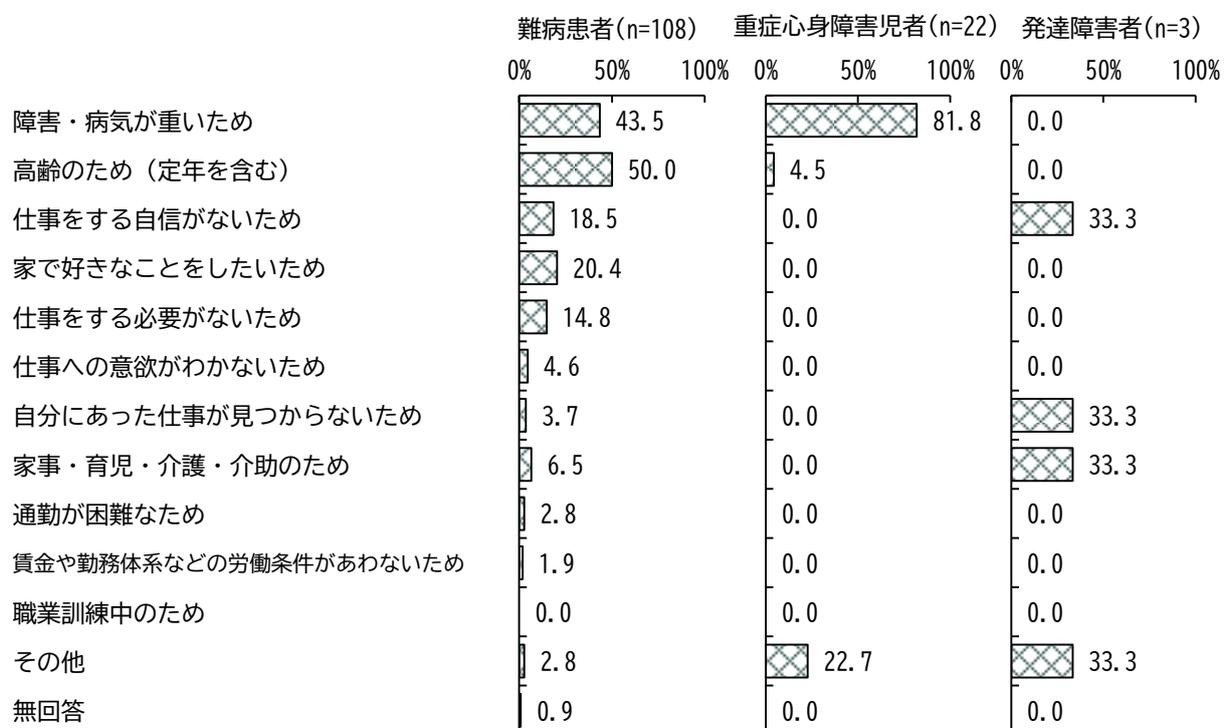
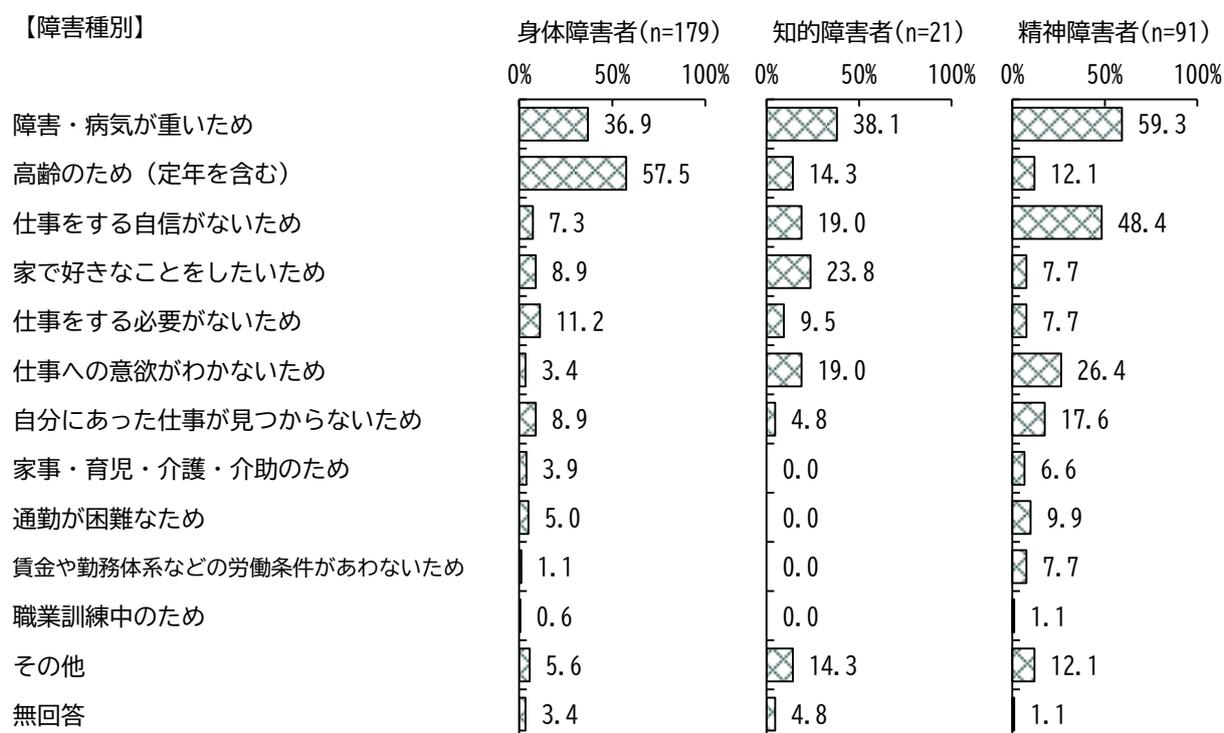
問28-2 問28で「7 特に何もしていない」とお答えの方にお聞きします。
 特に何もしていない理由はどれですか。(〇はいくつでも)

「障害・病気が重い」と45.5%と最も多く、次いで「高齢のため(定年を含む)」が40.6%、「仕事をする自信がない」と19.3%などとなっています。

【全体・経年比較】



障害種別にみると、“身体障害者”、“難病患者”では「高齢のため（定年を含む）」が最も多くなっています。

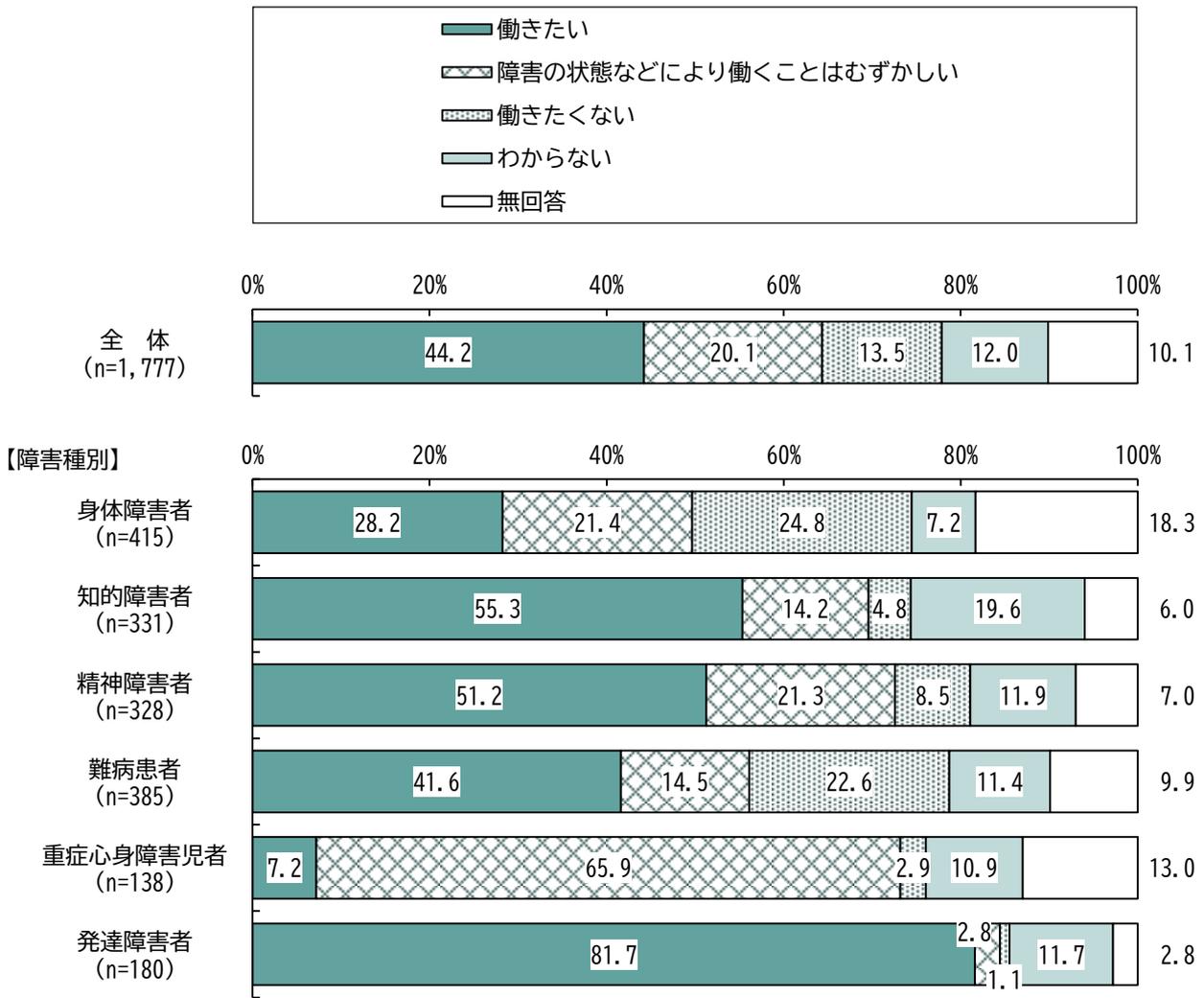


(4) 今後の就労希望

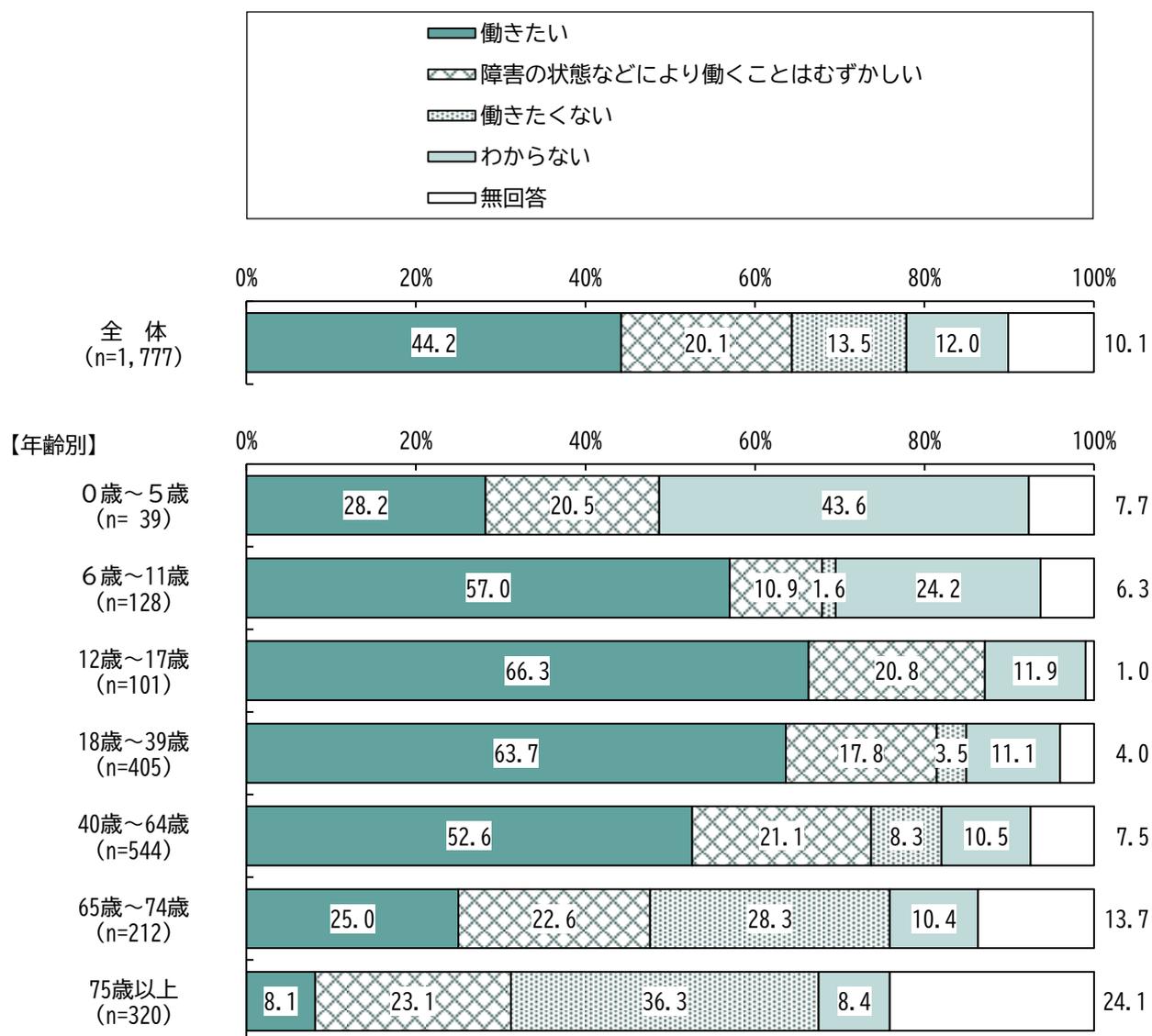
問29 あなたは今後（将来）、働きたいですか。（○は1つ）

「働きたい」が44.2%、「障害の状態などにより働くことはむずかしい」が20.1%、「働きたくない」が13.5%、「わからない」が12.0%となっています。

障害種別にみると、“重症心身障害児者”では「障害の状態などにより働くことはむずかしい」が最も多くなっています。



年齢別にみると、“0歳～5歳”では「わからない」が最も多くなっています。また、“65歳～74歳”、“75歳以上”では「働きたくない」が最も多くなっています。



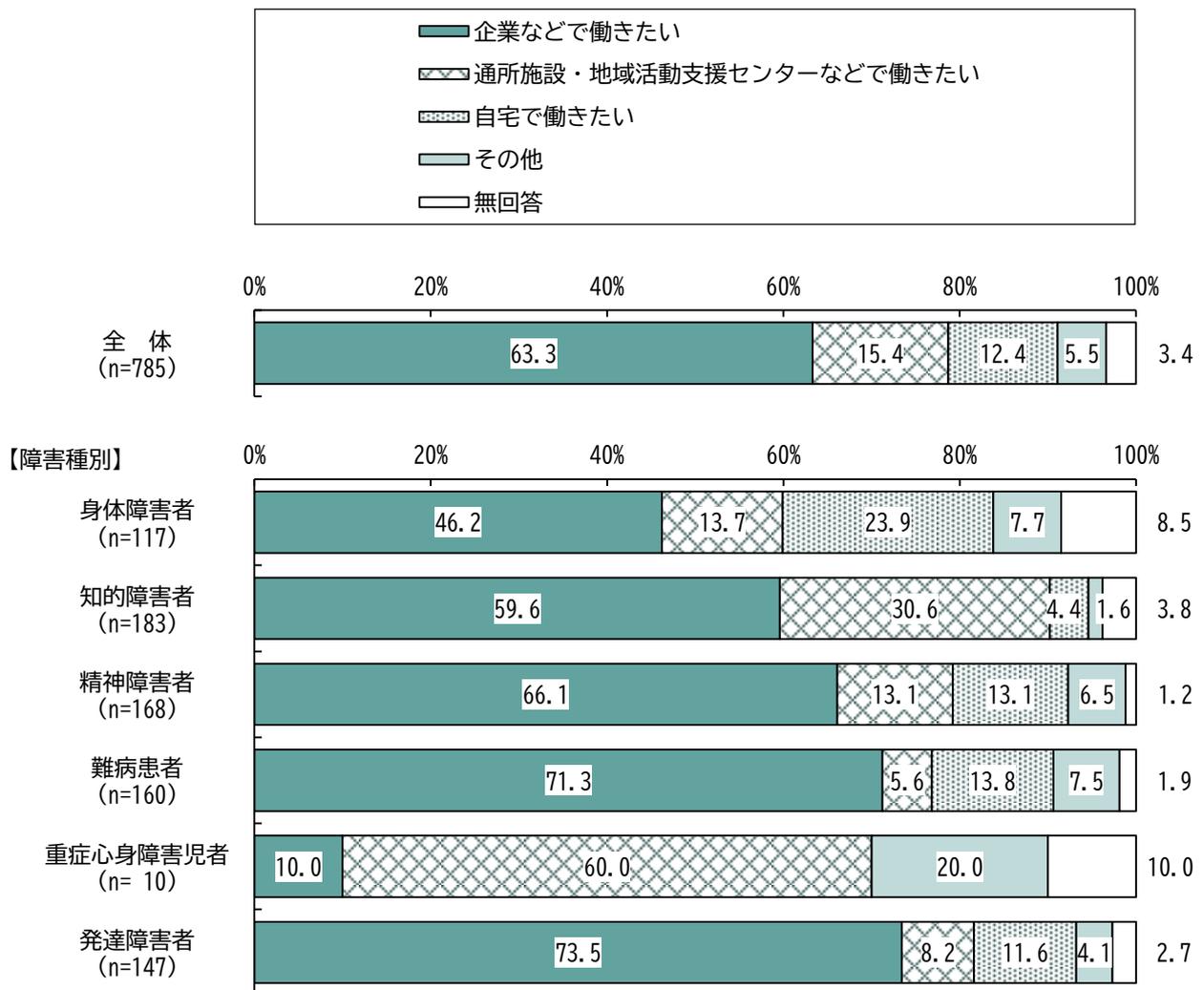
(5) 希望する勤務場所

(問29で「1 働きたい」とお答えの方にお聞きします。)

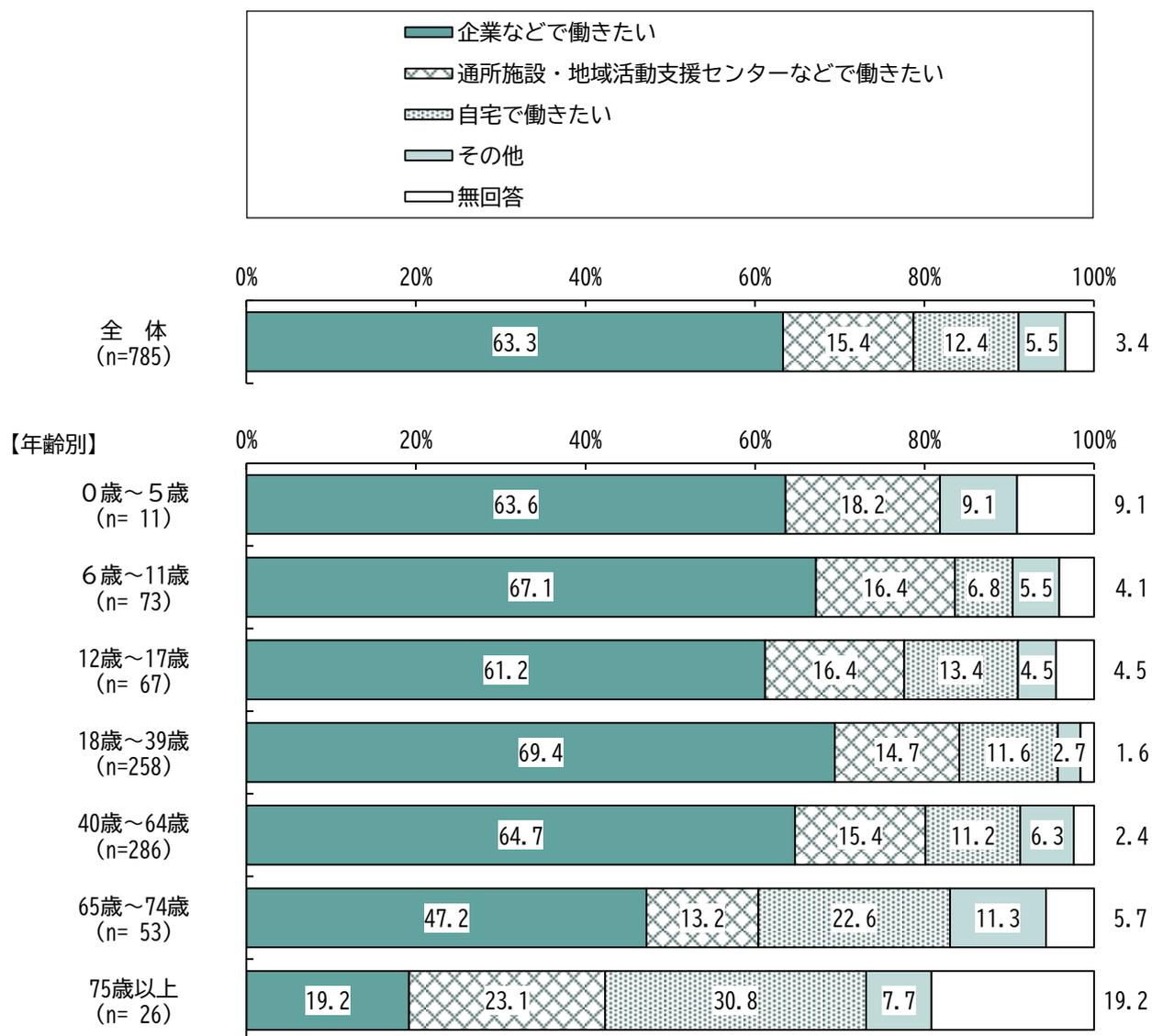
問29-1 あなたはどのようなところで働きたいですか。(○は1つ)

「企業などで働きたい」が63.3%、「通所施設・地域活動支援センターなどで働きたい」が15.4%、「自宅で働きたい」が12.4%などとなっています。

障害種別にみると、“重症心身障害児者”では「通所施設・地域活動支援センターなどで働きたい」が最も多くなっています。



年齢別にみると、“75歳以上”では「自宅で働きたい」が最も多くなっています。



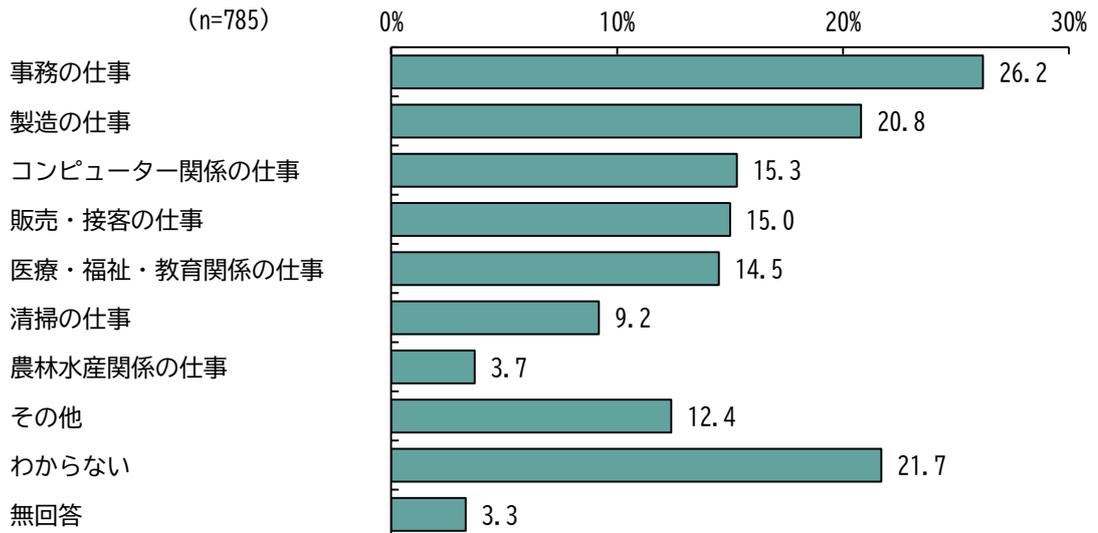
(6) 希望する職種

(問29で「1 働きたい」とお答えの方にお聞きします。)

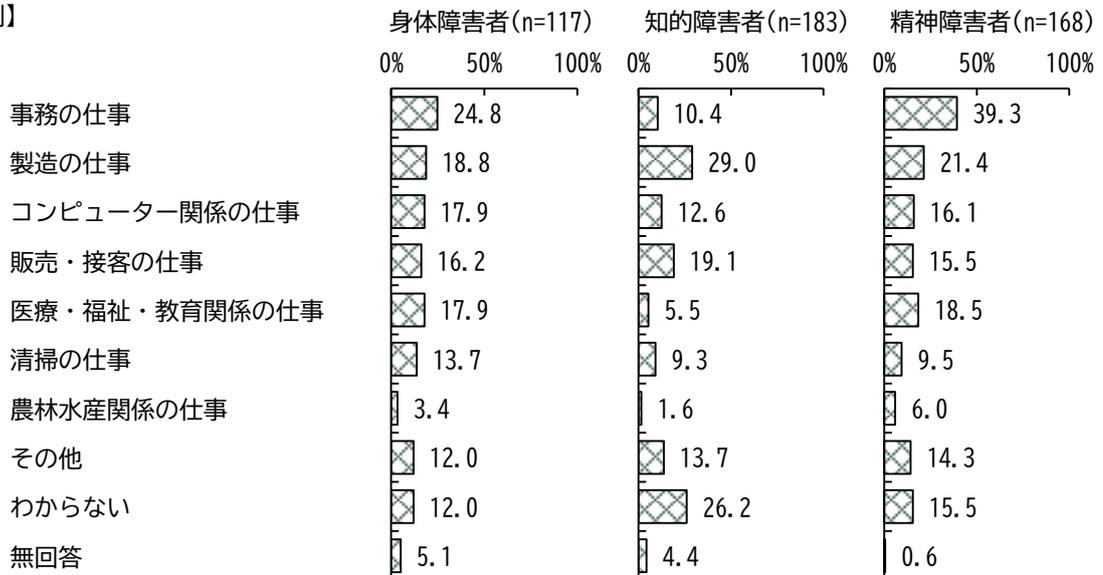
問29-2 あなたはどのような種類の仕事をしたいですか。(○はいくつでも)

「事務の仕事」が26.2%と最も多く、次いで「製造の仕事」が20.8%、「コンピューター関係の仕事」が15.3%などとなっています。また、「わからない」が21.7%となっています。

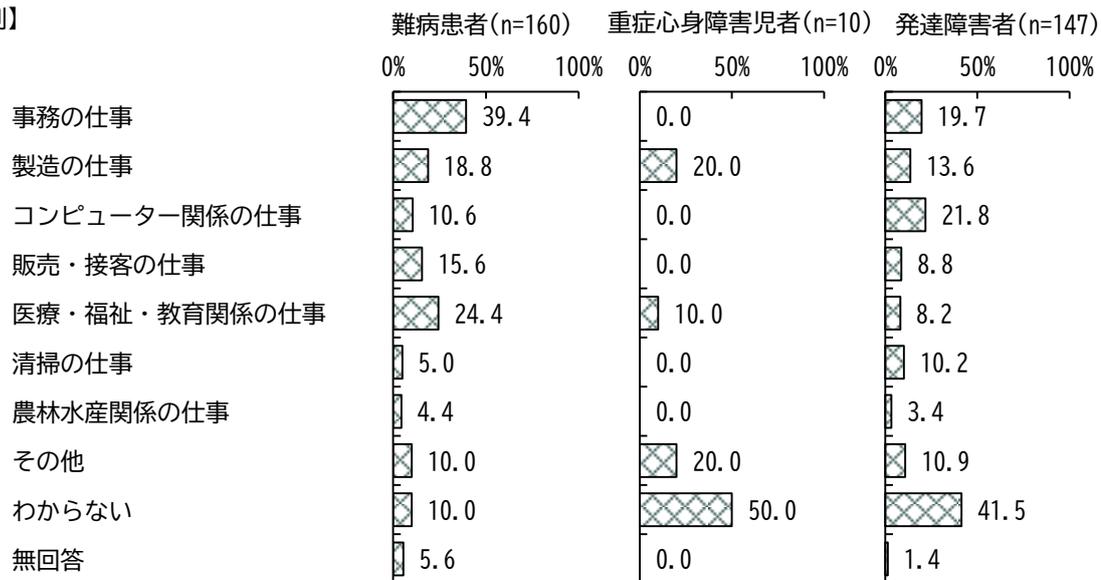
障害種別にみると、“知的障害者”では「製造の仕事」が最も多くなっています。



【障害種別】

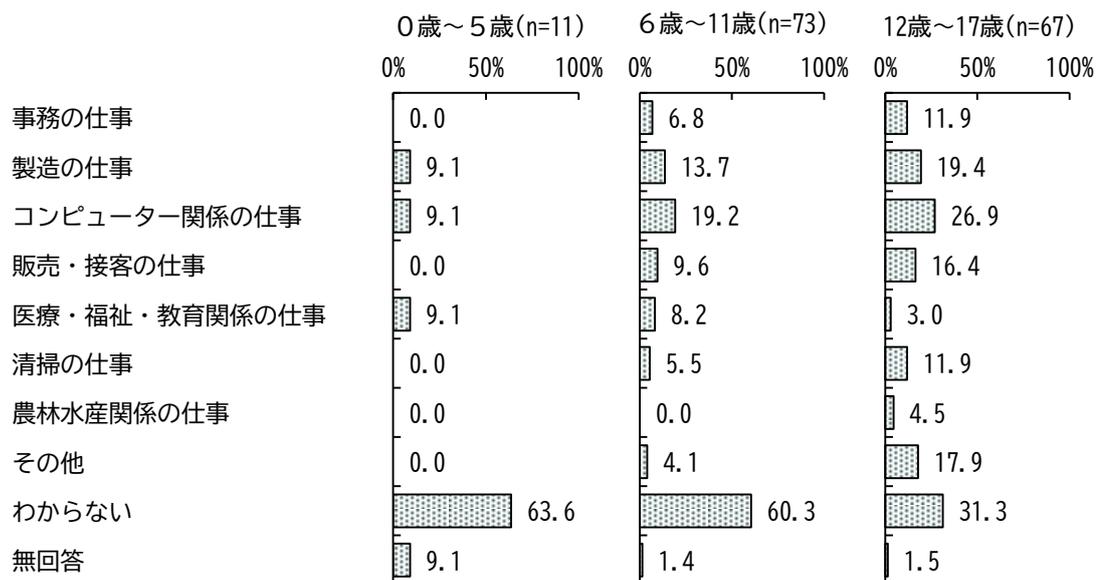


【障害種別】

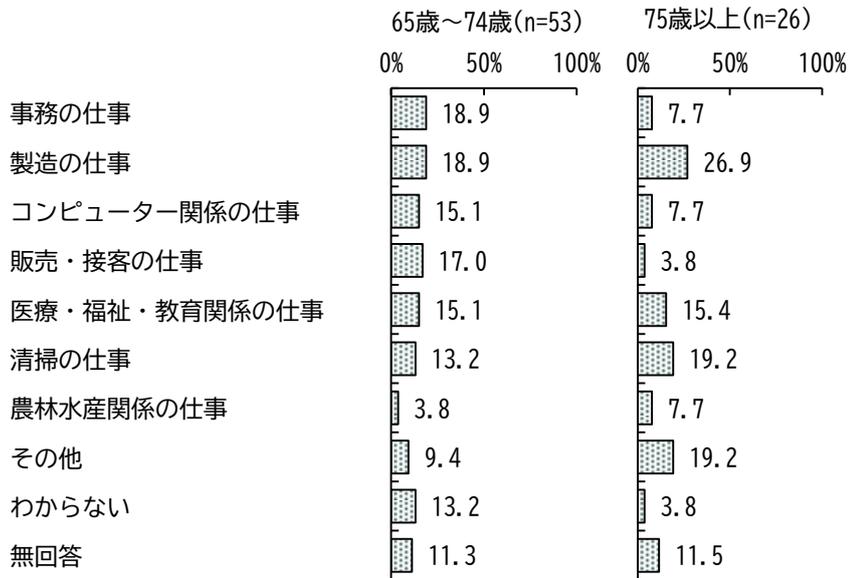
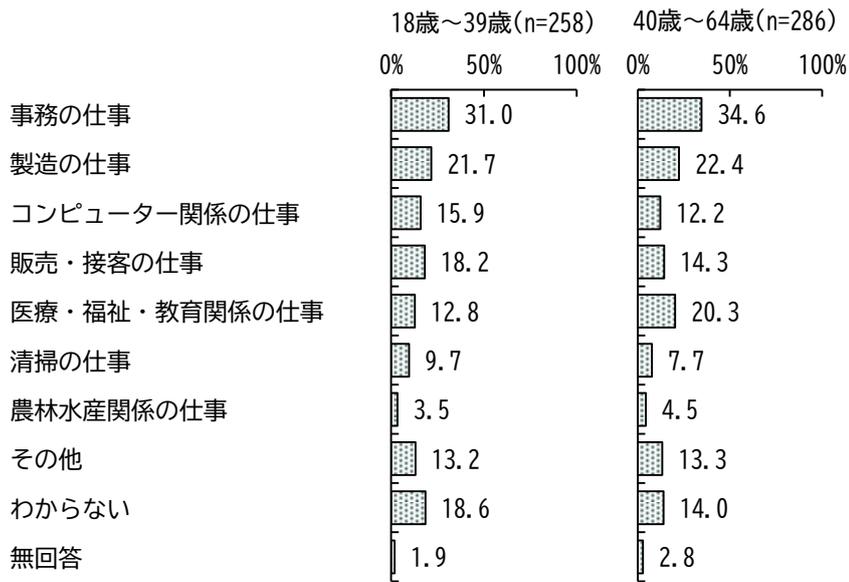


年齢別にみると、“75歳以上”では「製造の仕事」が最も多くなっています。

【年齢別】



【年齢別】



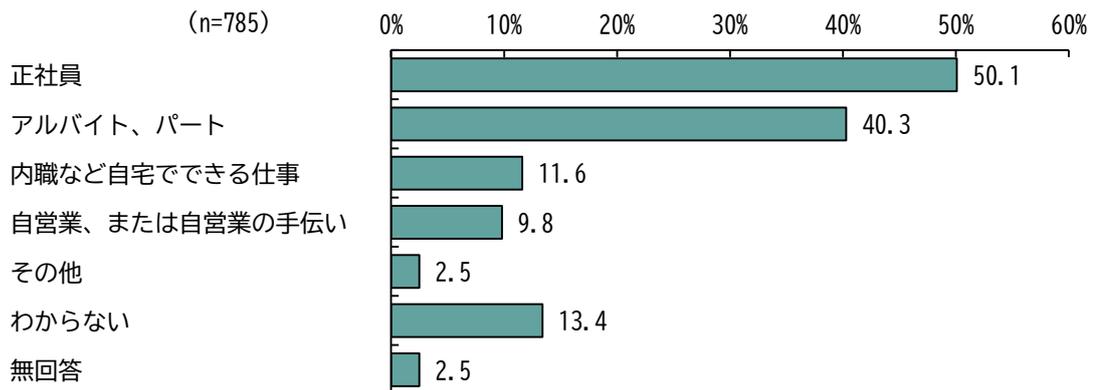
(7) 希望する勤務形態

(問29で「1 働きたい」とお答えの方にお聞きします。)

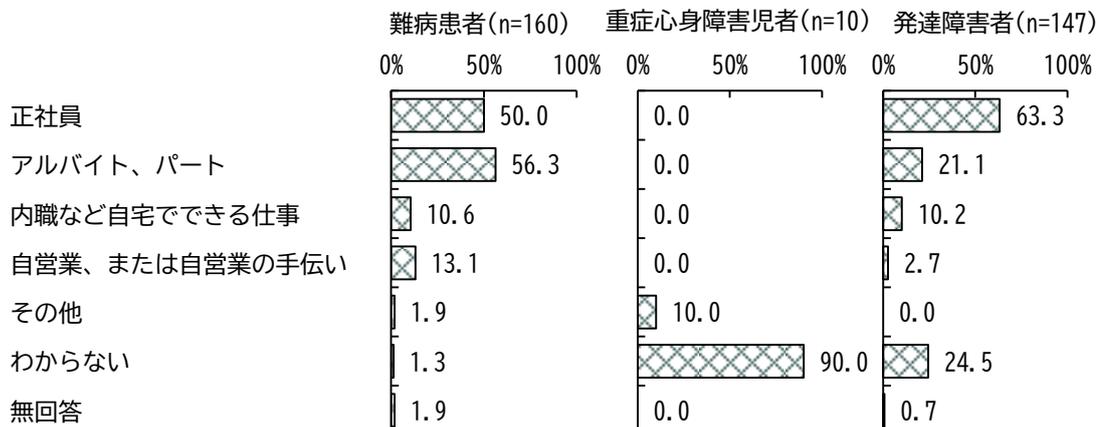
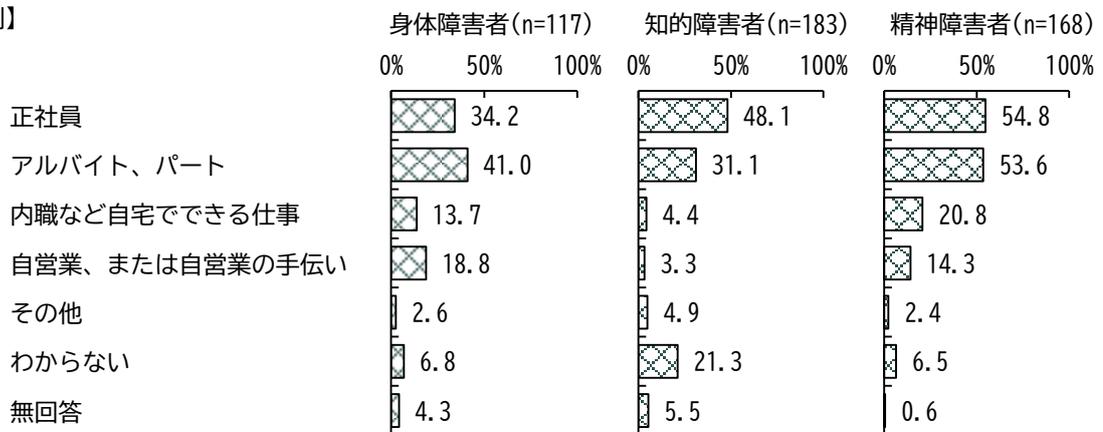
問29-3 あなたはどのように働きたいですか。(〇はいくつでも)

「正社員」が50.1%と最も多く、次いで「アルバイト、パート」が40.3%、「内職など自宅でできる仕事」が11.6%などとなっています。また、「わからない」が13.4%となっています。

障害種別にみると、“身体障害者”、“難病患者”では「アルバイト、パート」が最も多くなっています。

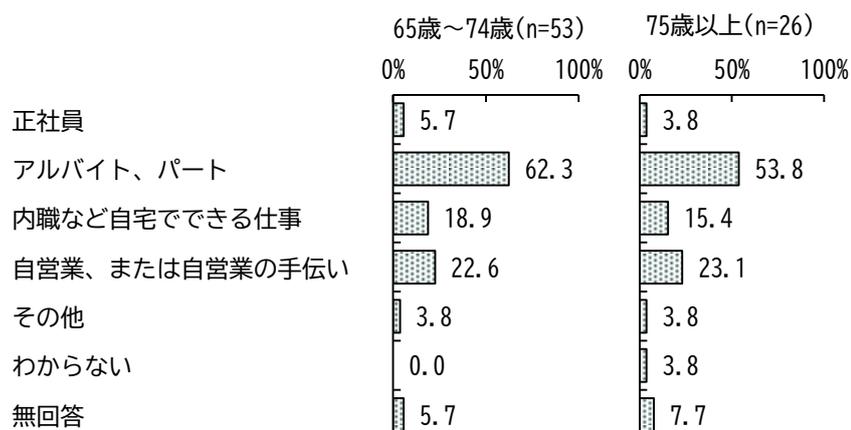
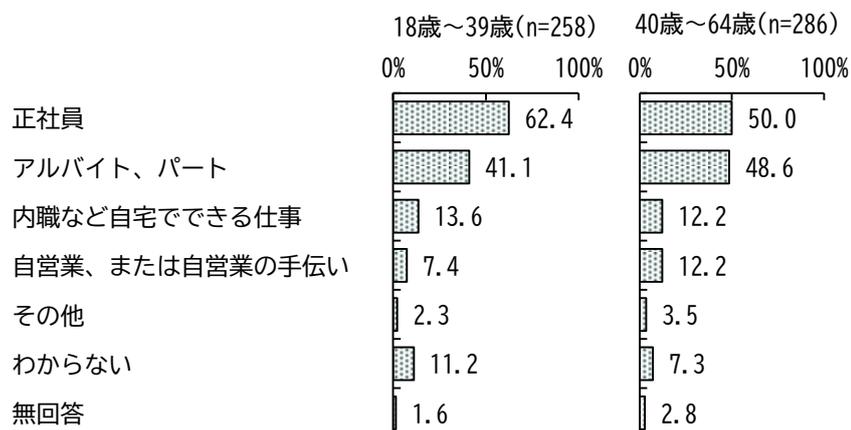
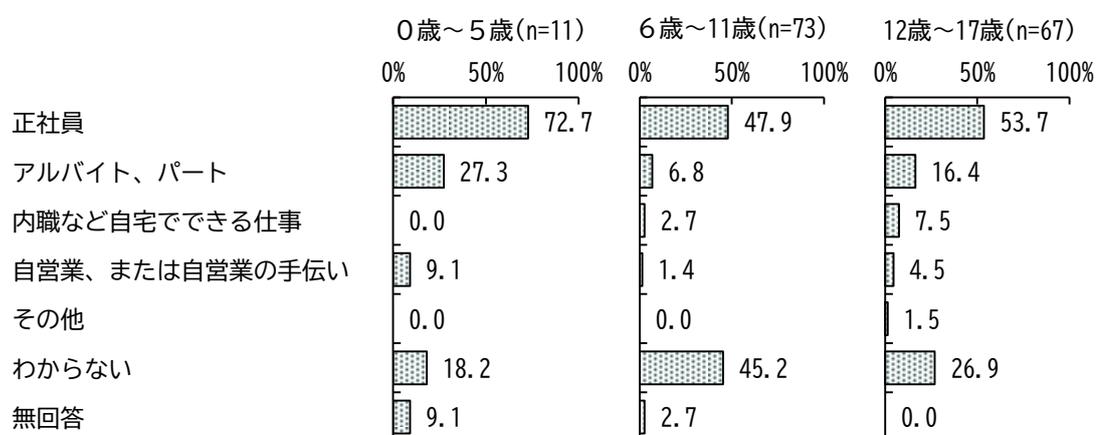


【障害種別】



年齢別にみると、“65歳～74歳”、“75歳以上”では「アルバイト、パート」が最も多くなっています。

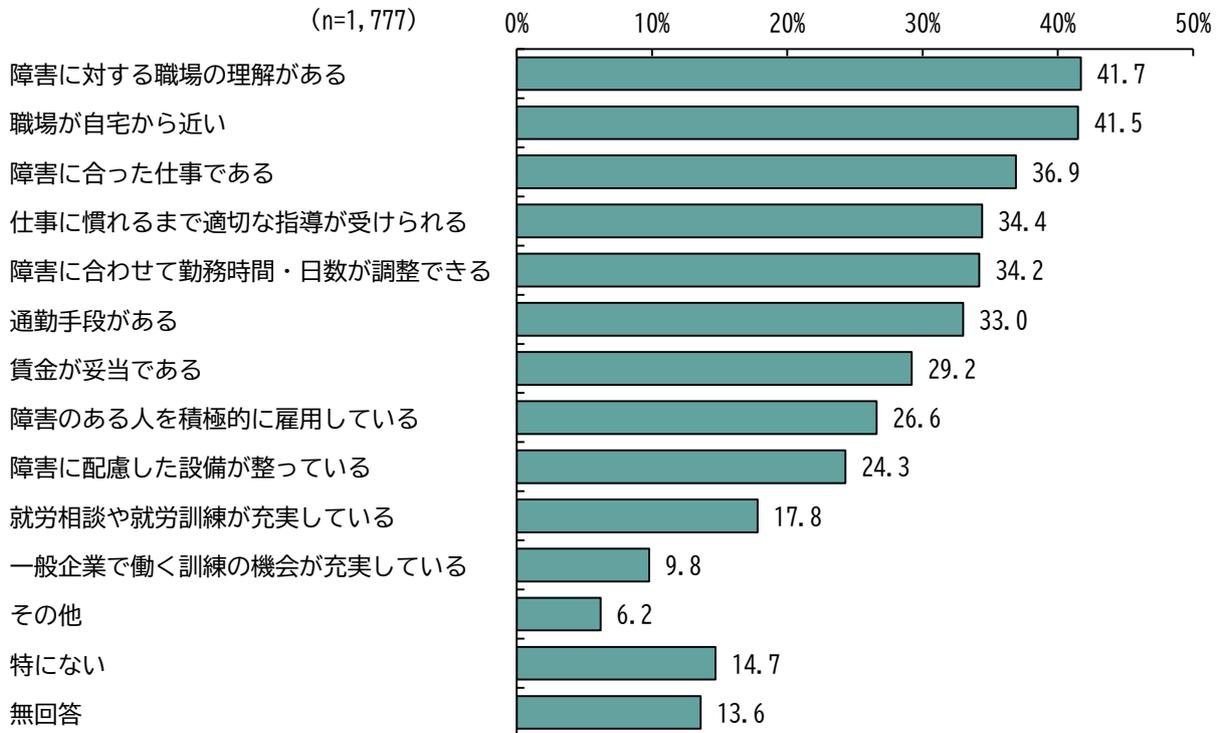
【年齢別】



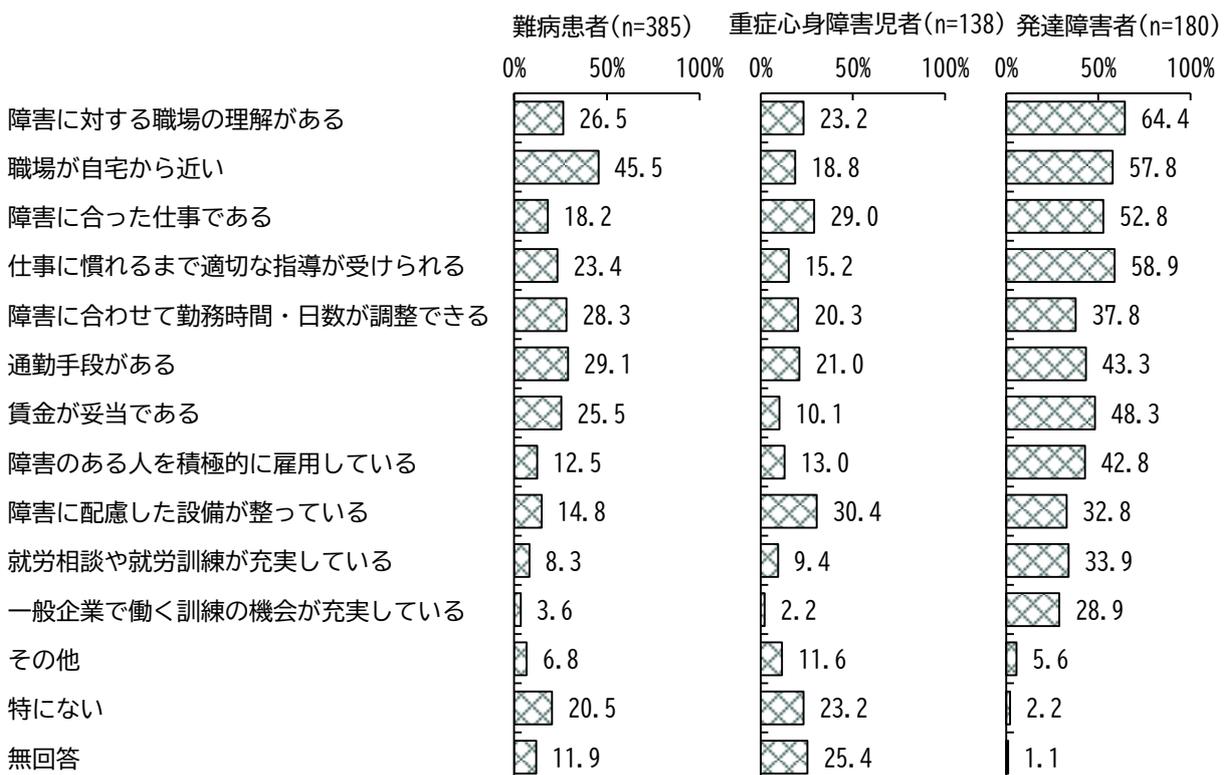
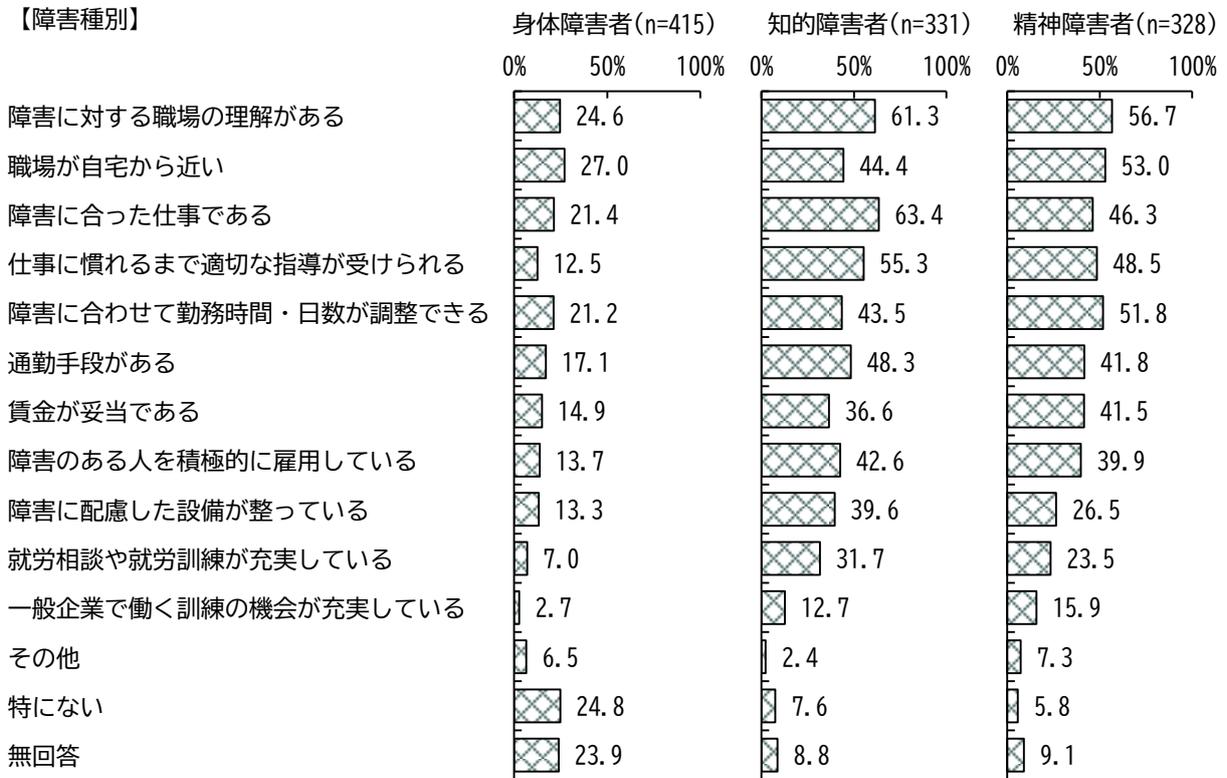
(8) 働く上で必要な条件

問30 あなたが働く上で、どのような条件が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

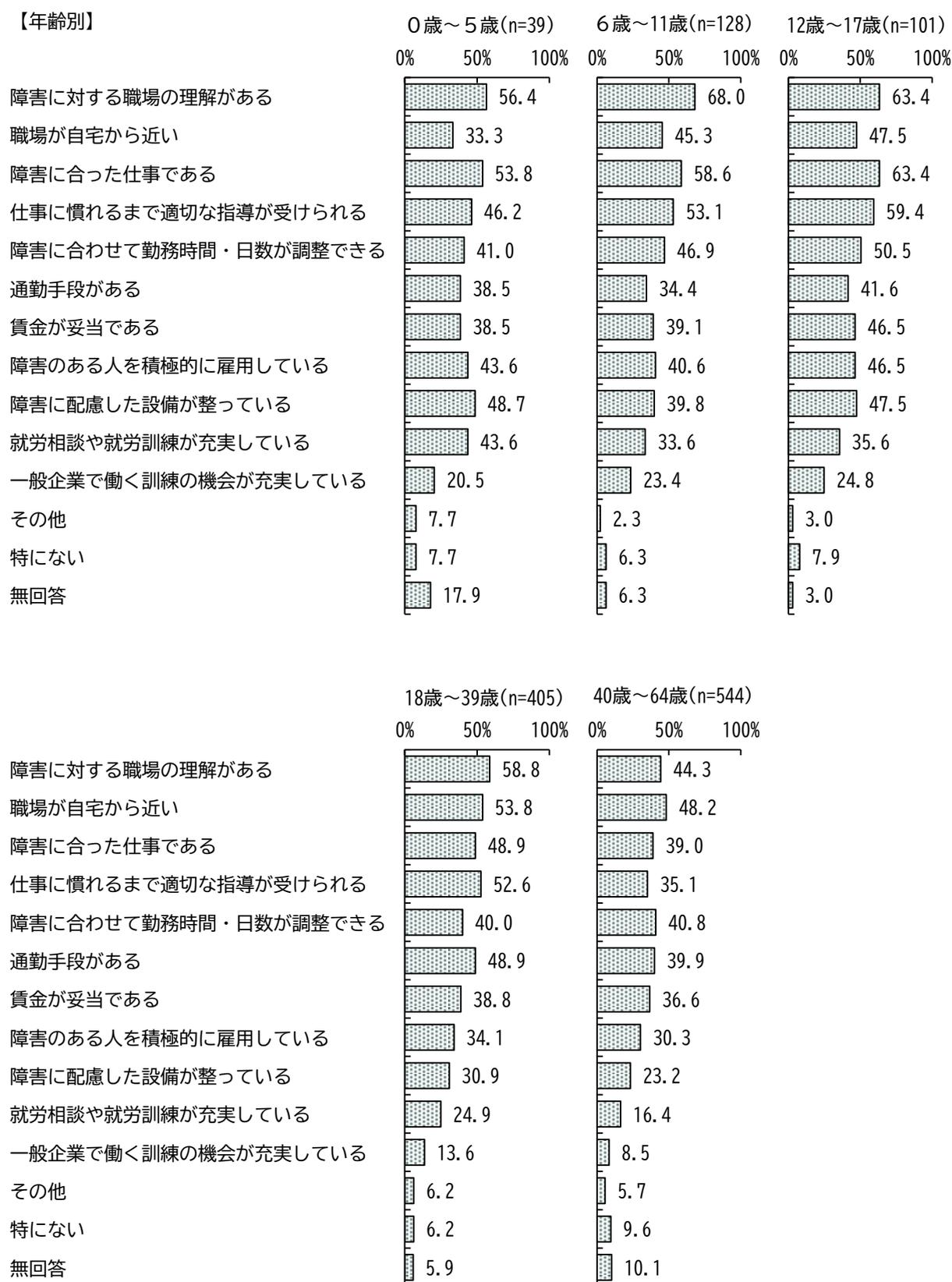
「障害に対する職場の理解がある」が41.7%と最も多く、次いで「職場が自宅から近い」が41.5%、「障害に合った仕事である」が36.9%などとなっています。

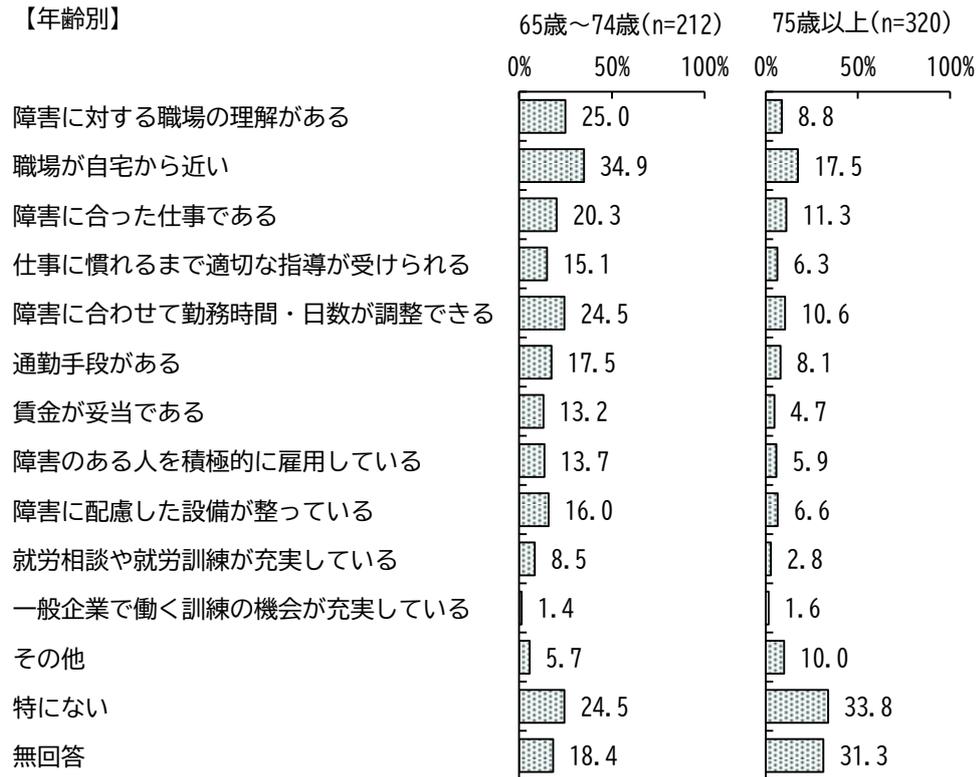


障害種別にみると、“身体障害者”、“難病患者”では「職場が自宅から近い」が最も多くなっています。また、“知的障害者”では「障害に合った仕事である」が最も多くなっています。また、“重症心身障害児者”では「障害に配慮した設備が整っている」が最も多くなっています。



年齢別にみると、“40歳～64歳”、“65歳～74歳”では「職場が自宅から近い」が最も多くなっています。





7 外出やバリアフリーについて

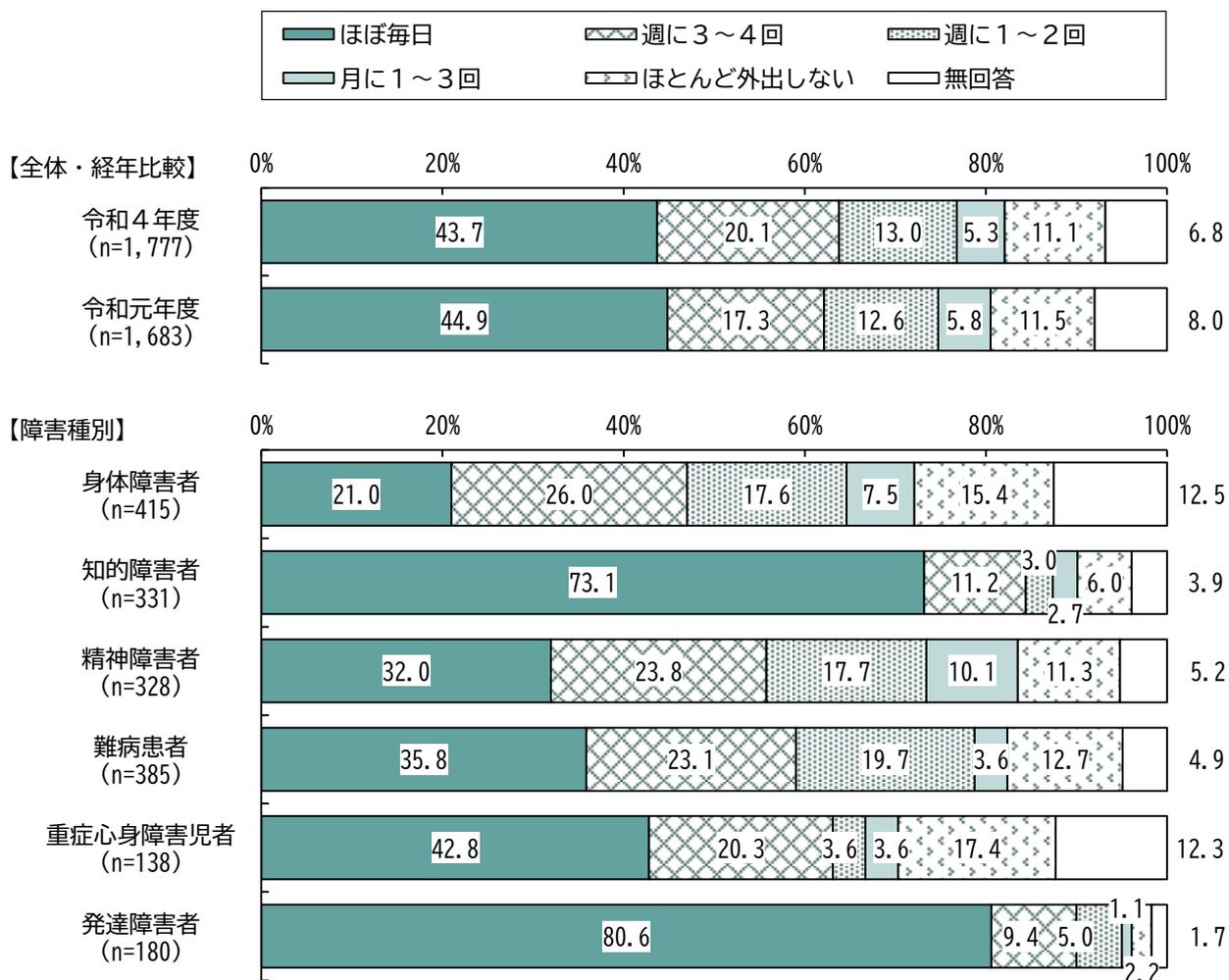
(1) 通院以外の外出の頻度

問31 あなたの外出の頻度（通勤・通学などを含む）はどれくらいですか。通院は含みません。

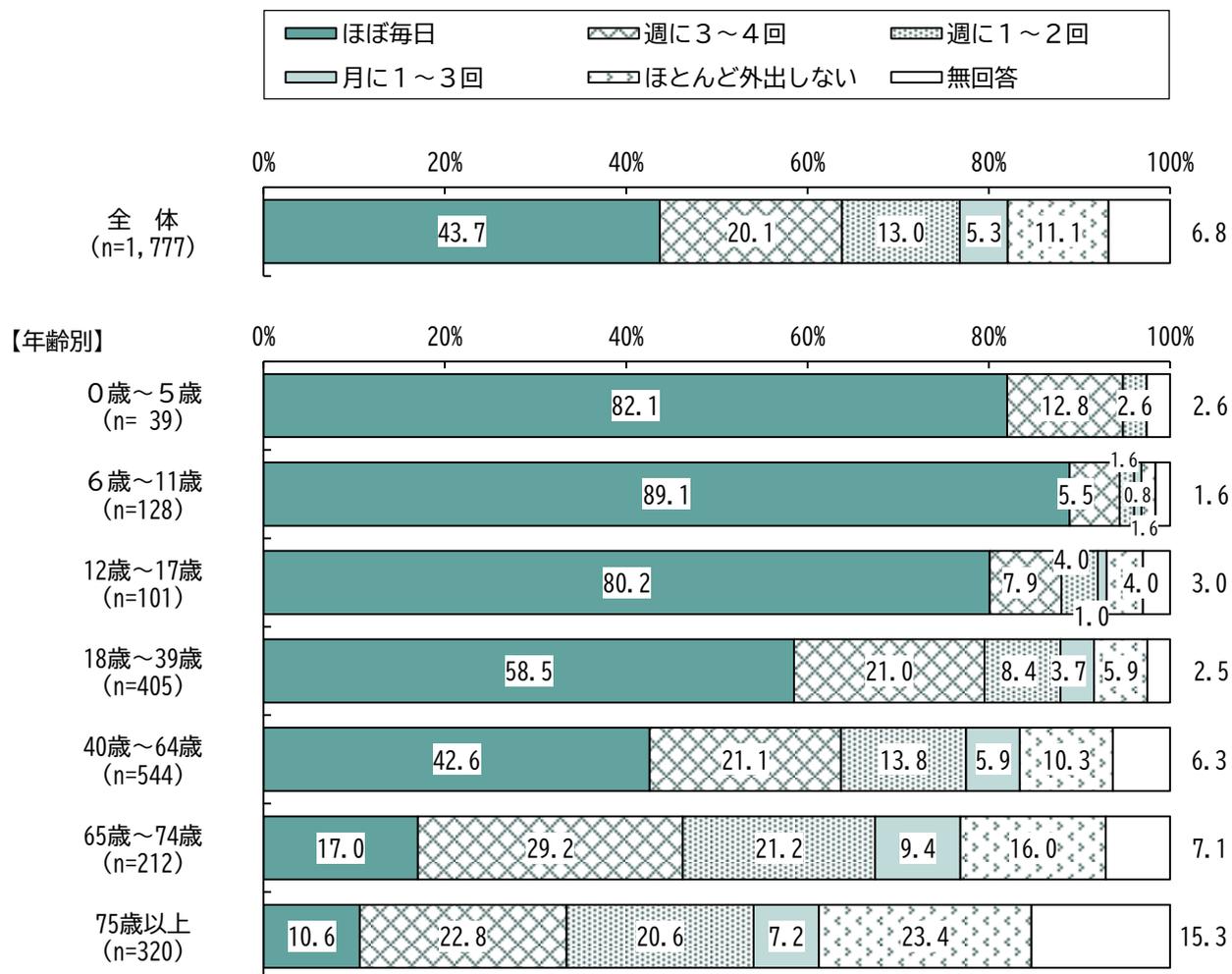
（○は1つ）

「ほぼ毎日」が43.7%と最も多く、次いで「週に3～4回」が20.1%、「週に1～2回」が13.0%などとなっています。

障害種別に見ると、“身体障害者”では「週に3～4回」が最も多くなっています。



年齢別にみると、“65歳～74歳”では「週に3～4回」が最も多くなっています。



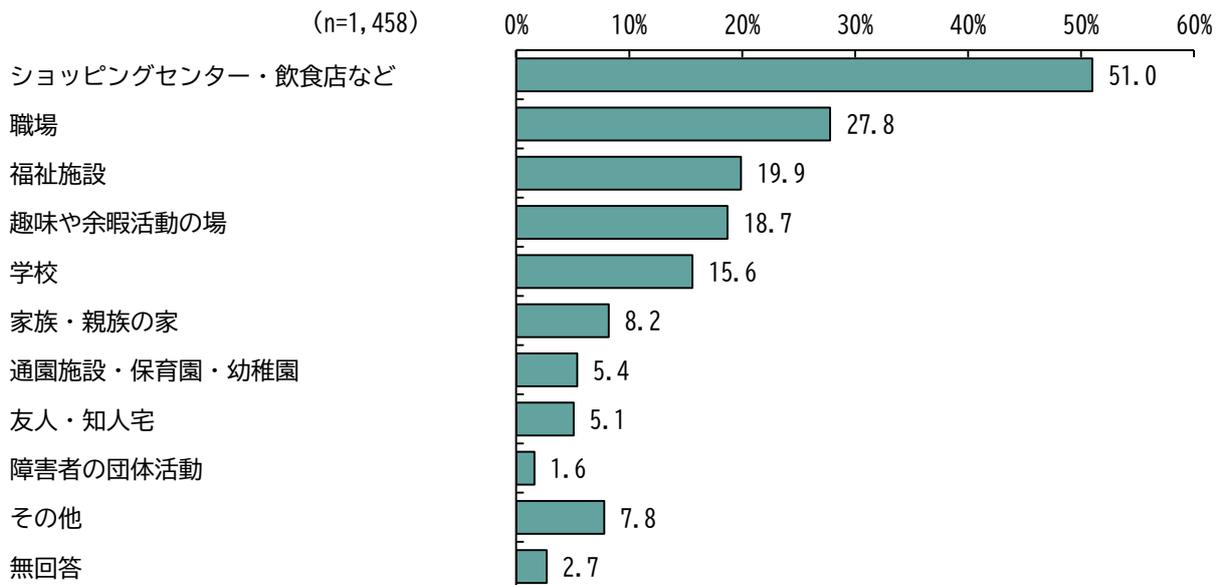
(2) 主な外出先

(問31で「1」～「4」とお答えの方(外出をしている方)にお聞きします。)

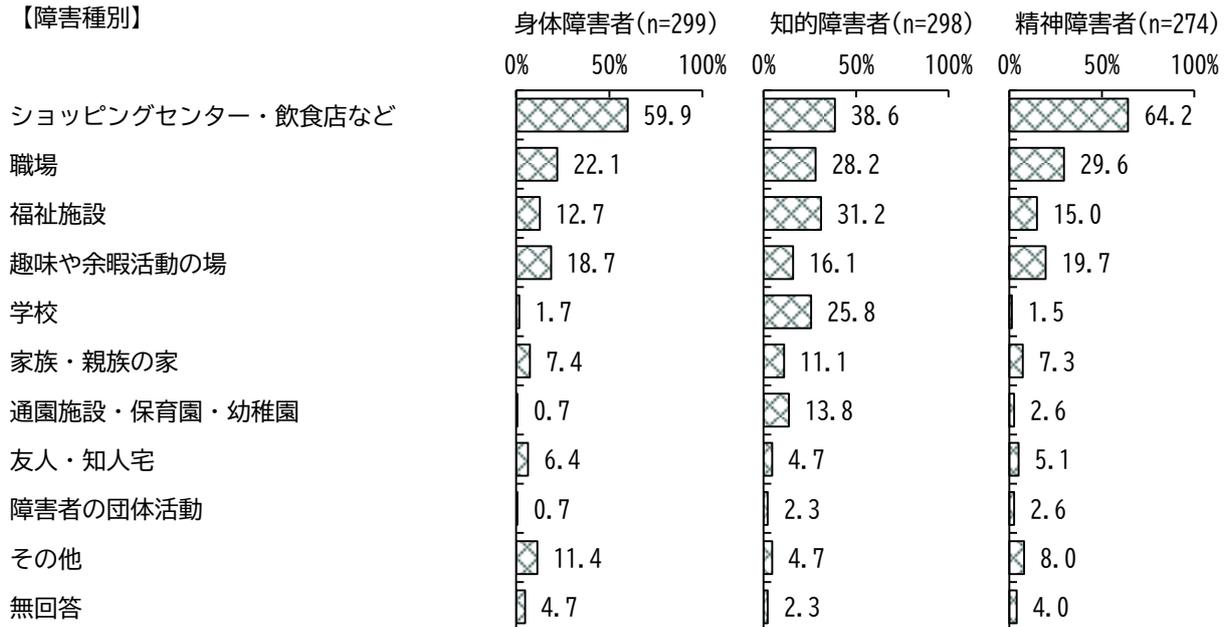
問31-1 主にどこに外出していますか。(○はいくつでも)

「ショッピングセンター・飲食店など」が51.0%と最も多く、次いで「職場」が27.8%、「福祉施設」が19.9%などとなっています。

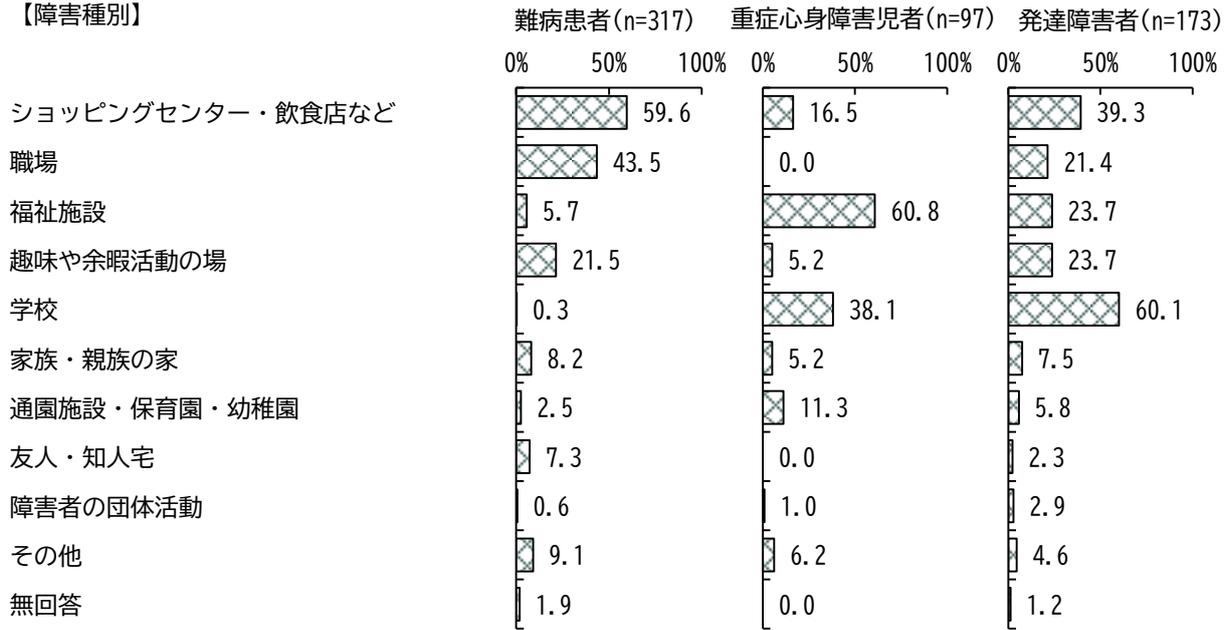
障害種別にみると、“重症心身障害児者”では「福祉施設」が最も多くなっています。また、“発達障害者”では「学校」が最も多くなっています。



【障害種別】

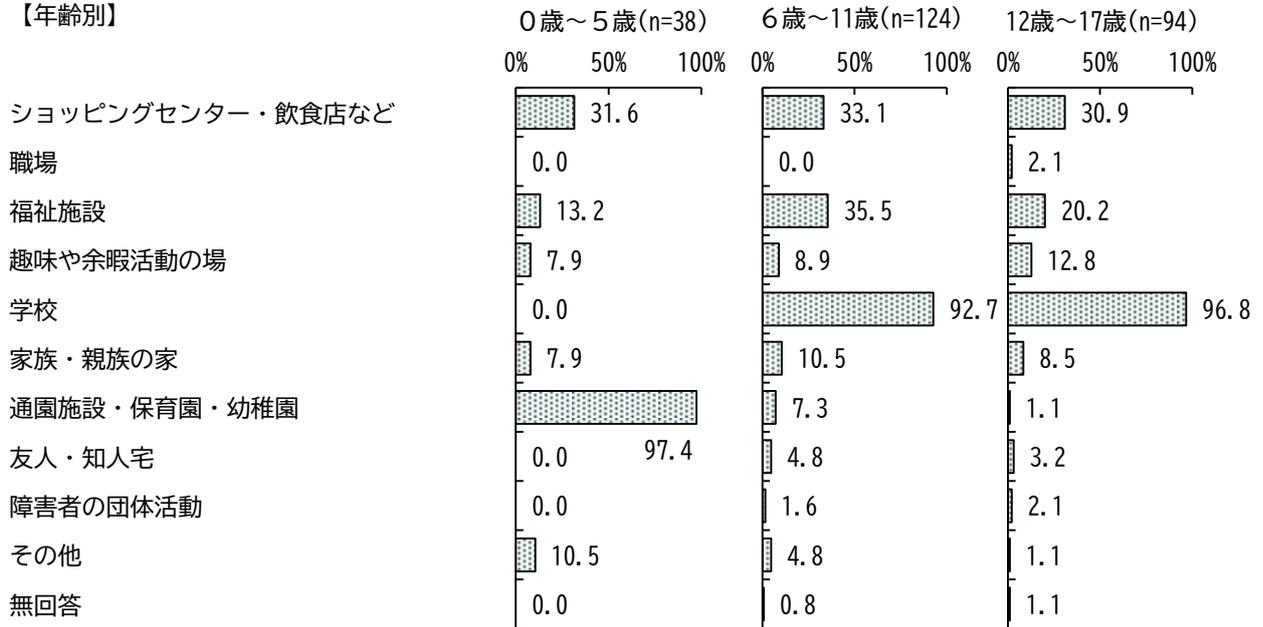


【障害種別】

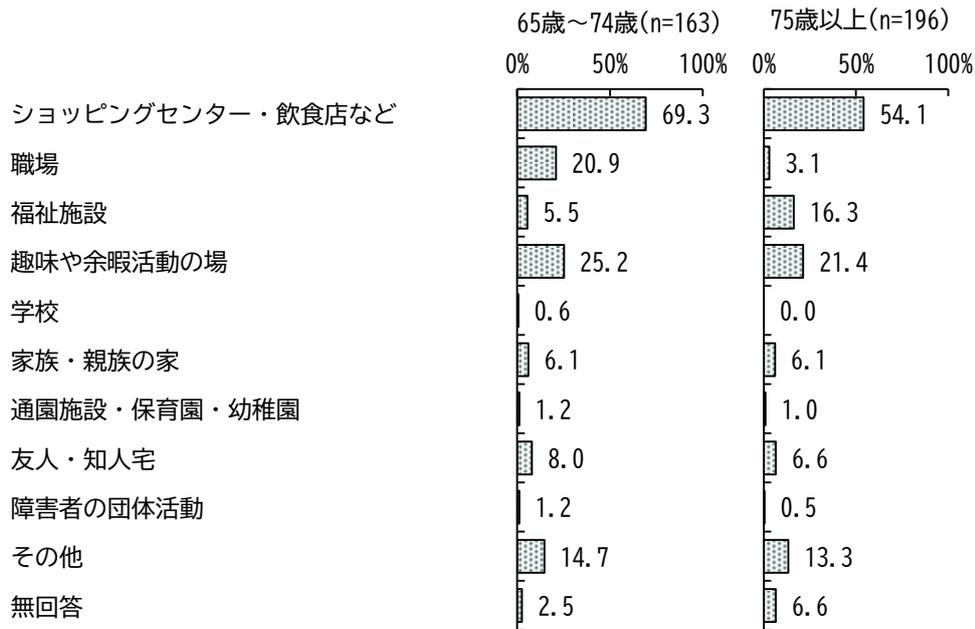
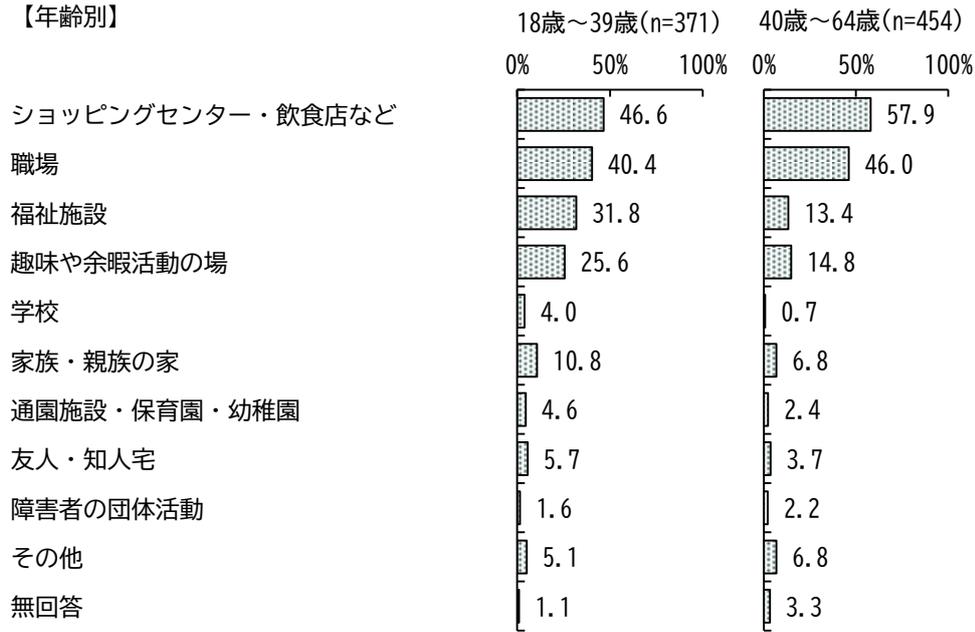


年齢別にみると、“0歳～5歳”では「通園施設・保育園・幼稚園」が最も多くなっています。また、“6歳～11歳”、“12歳～17歳”では「学校」が最も多くなっています。

【年齢別】



【年齢別】



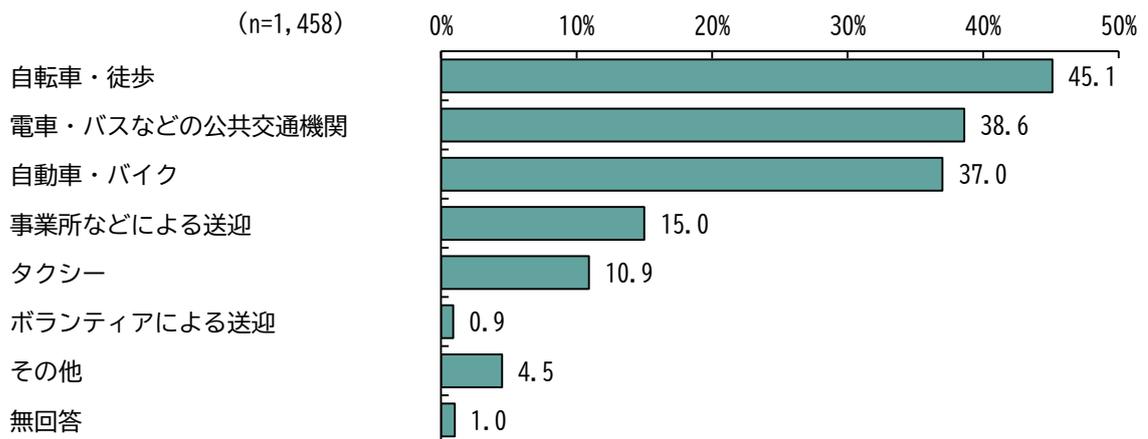
(3) 主な移動手段

(問31で「1」～「4」とお答えの方(外出をしている方)にお聞きします。)

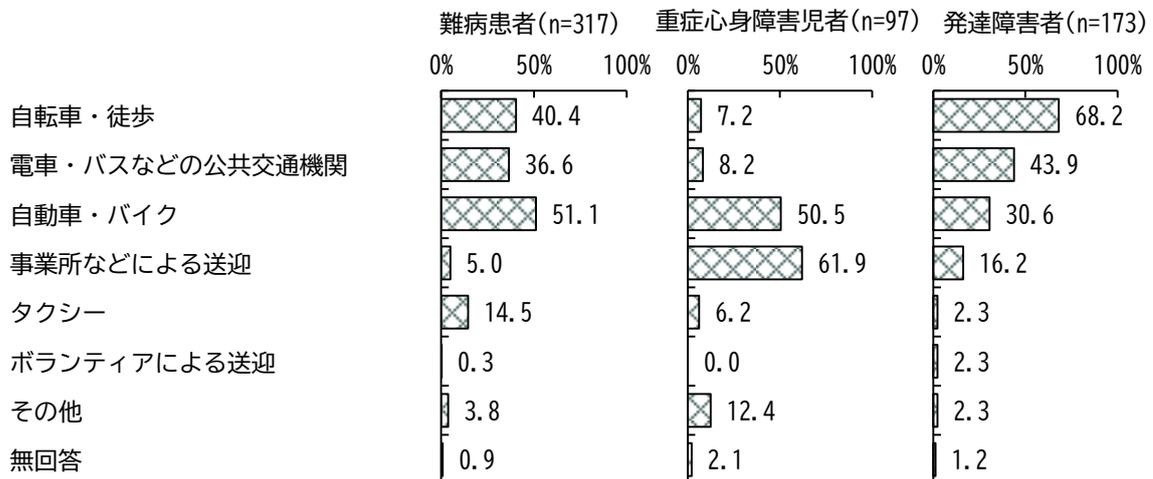
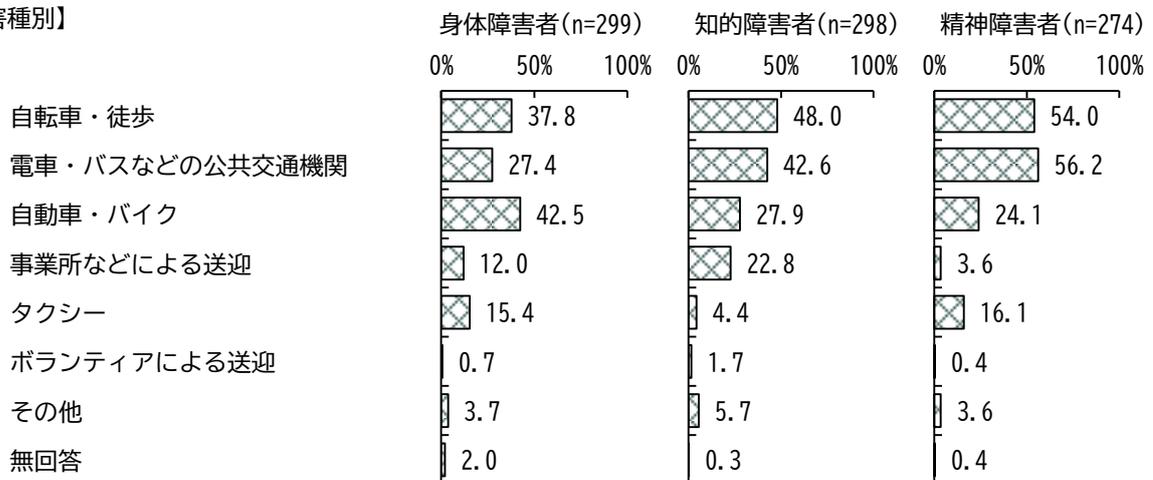
問31-2 主な移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

「自転車・徒歩」が45.1%と最も多く、次いで「電車・バスなどの公共交通機関」が38.6%、「自動車・バイク」が37.0%などとなっています。

障害種別にみると、“身体障害者”、“難病患者”では「自動車・バイク」が最も多くなっています。また、“精神障害者”では「電車・バスなどの公共交通機関」が最も多くなっています。また、“重症心身障害児者”では「事業所などによる送迎」が最も多くなっています。

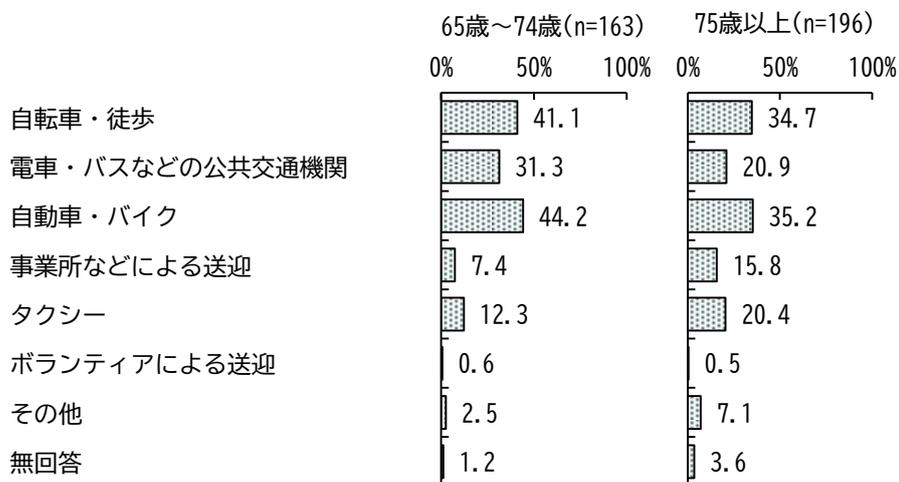
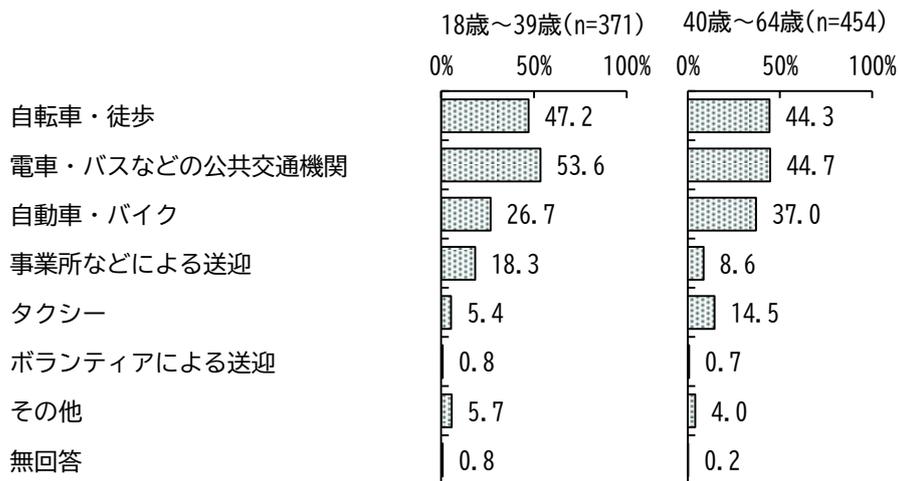
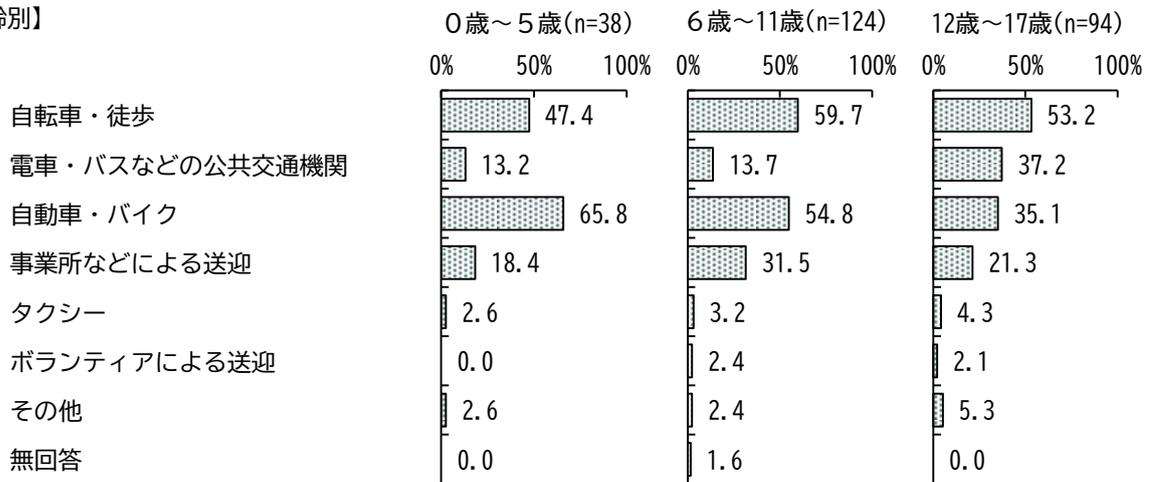


【障害種別】



年齢別にみると、“0歳～5歳”、“65歳～74歳”では「自動車・バイク」が最も多くなっています。また、“18歳～39歳”では「電車・バスなどの公共交通機関」が最も多くなっています。

【年齢別】



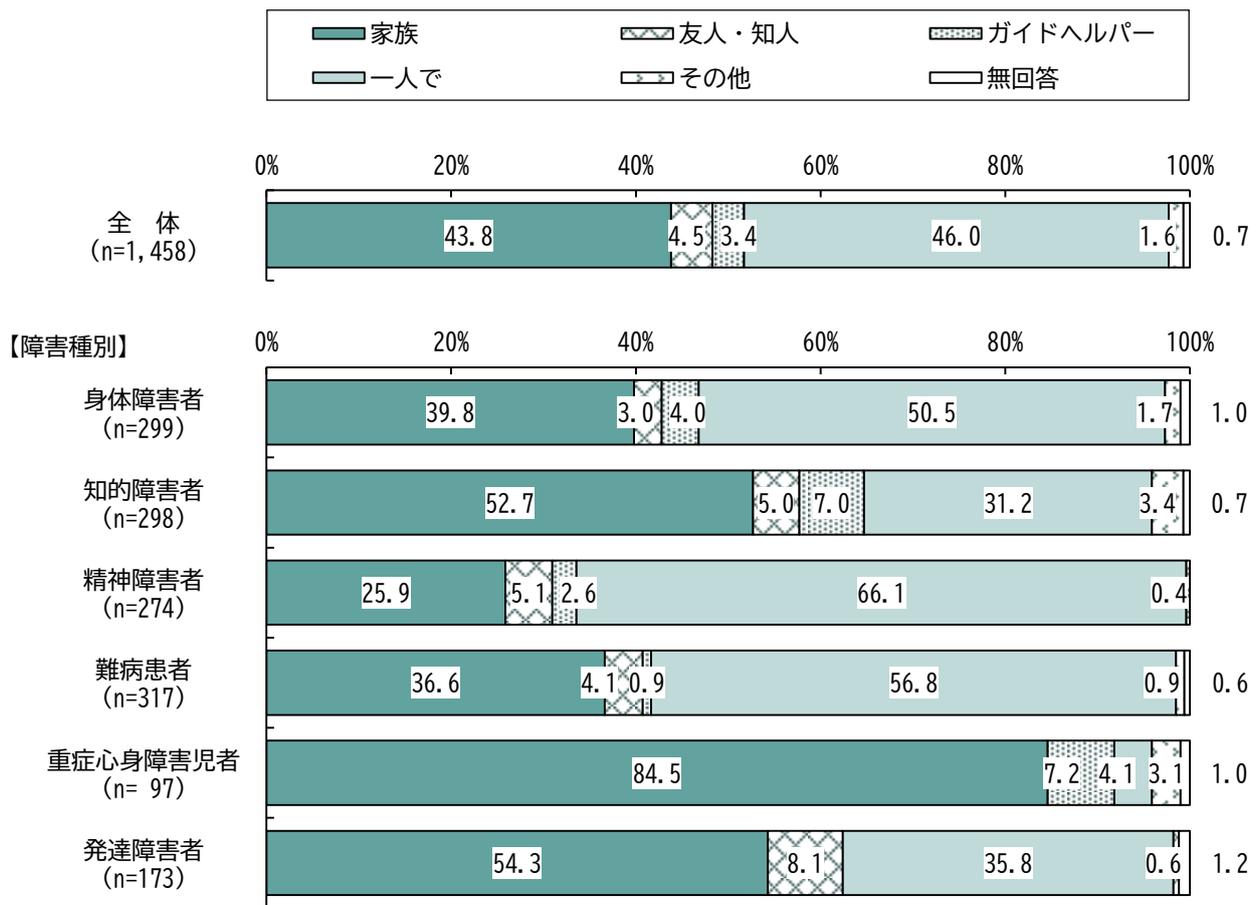
(4) 主に一緒に外出する人

(問31で「1」～「4」とお答えの方(外出をしている方)にお聞きします。)

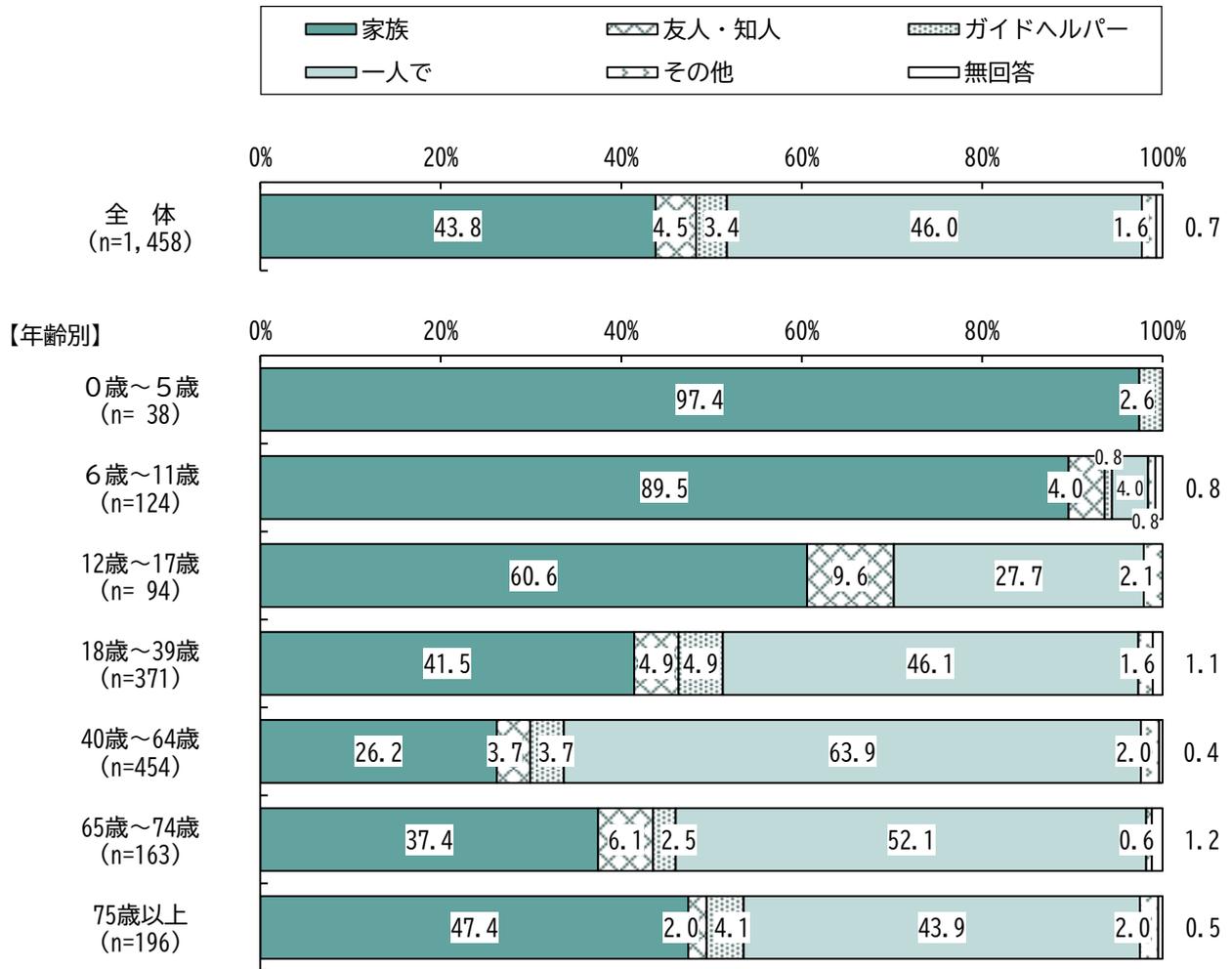
問31-3 外出は主にだれとしていますか。(○は1つ)

「家族」が43.8%、「友人・知人」が4.5%、「ガイドヘルパー」が3.4%、「一人で」が46.0%などとなっています。

障害種別にみると、「知的障害者」、「重症心身障害児者」、「発達障害者」では「家族」が最も多くなっています。



年齢別にみると、“0歳～5歳”、“6歳～11歳”、“12歳～17歳”、“75歳以上”では「家族」が最も多くなっています。

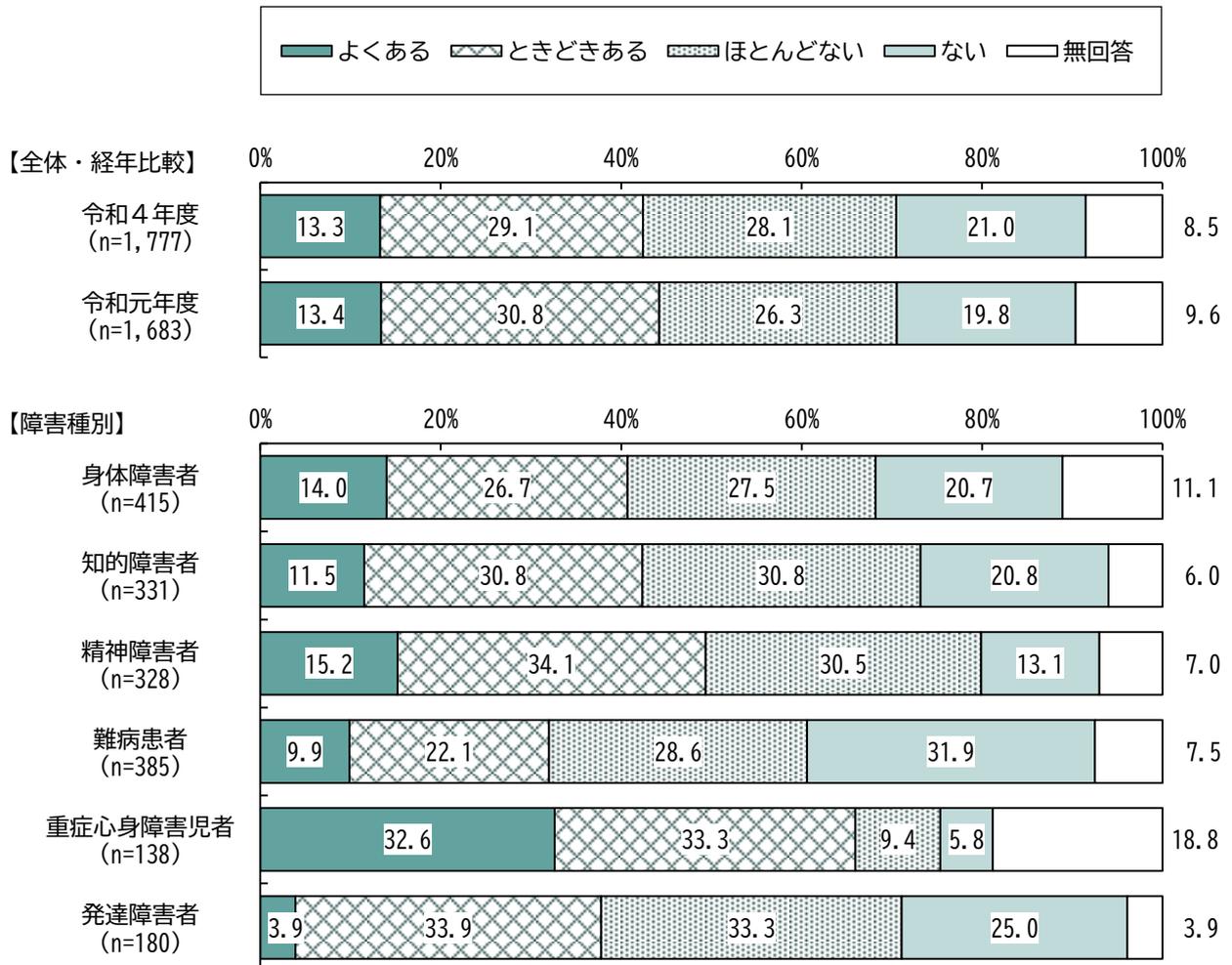


(5) 外出時の困りごとの有無

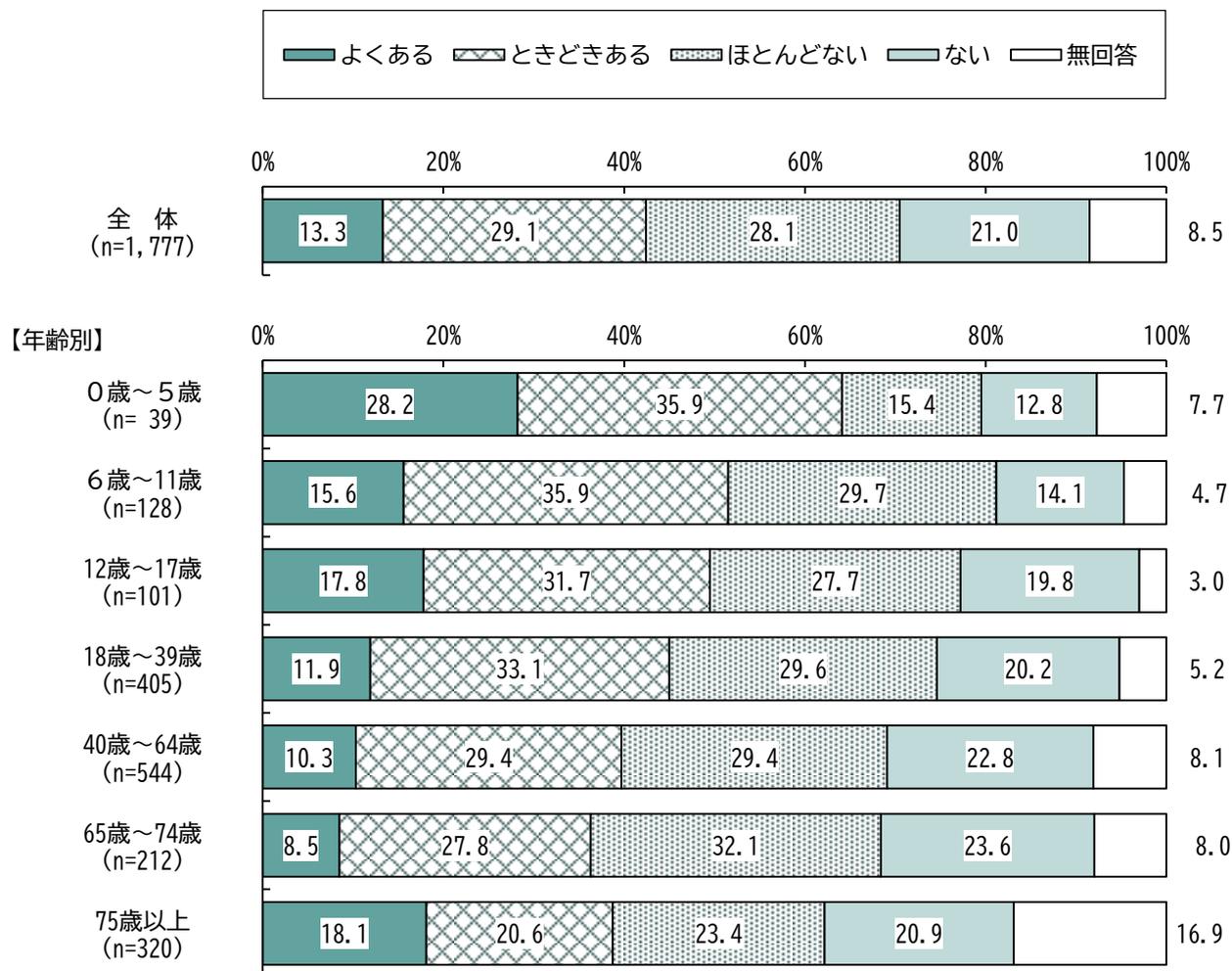
問32 外出したときに、困ったことはありますか。(○は1つ)

「よくある」が13.3%、「ときどきある」が29.1%、「ほとんどない」が28.1%、「ない」が21.0%となっています。

障害種別によると、「難病患者」では「ない」が最も多くなっています。



年齢別にみると、“65歳～74歳”、“75歳以上”では「ほとんどない」が最も多くなっています。

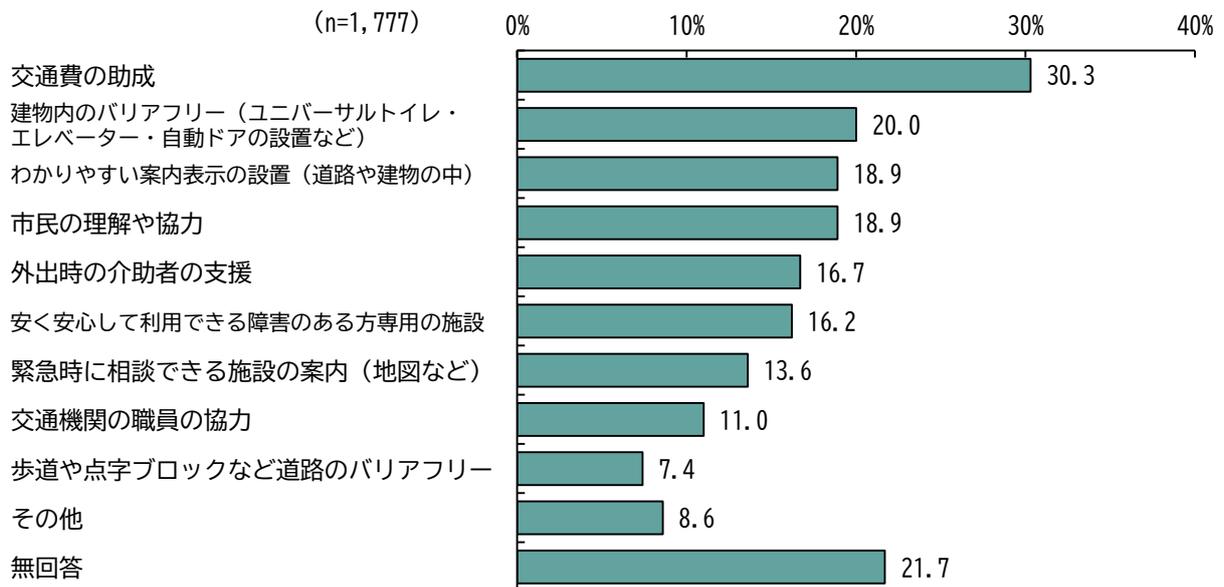


(6) 外出しやすくなるために希望すること

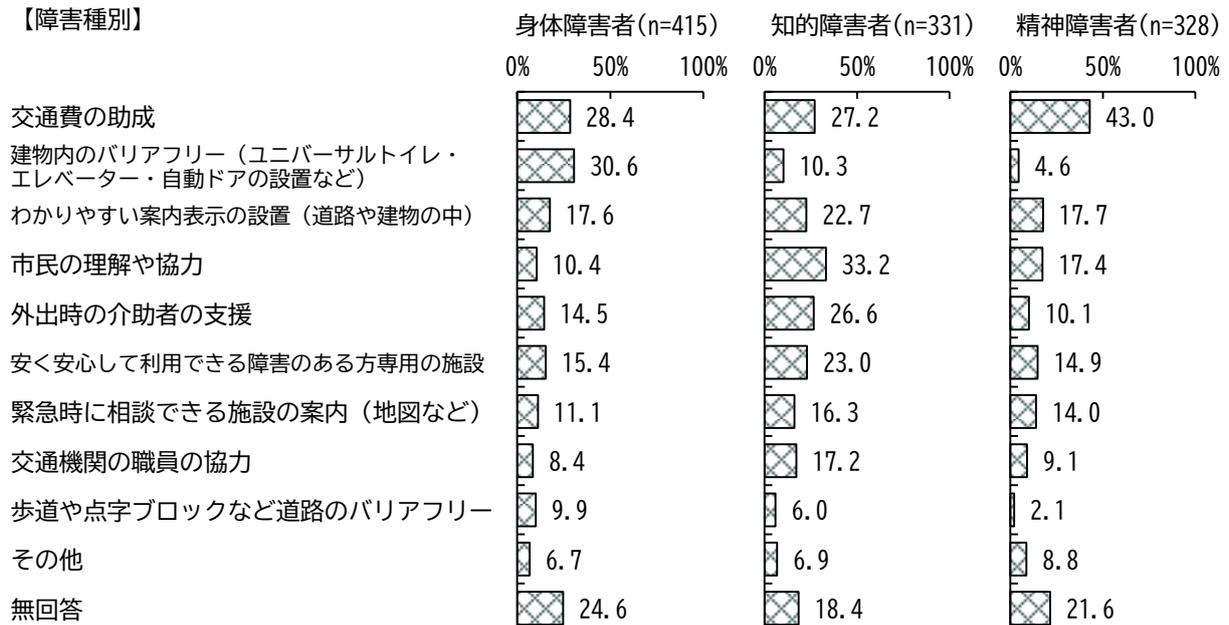
問33 あなたが外出しやすくなるために、希望するものは何ですか。(〇は5つまで)

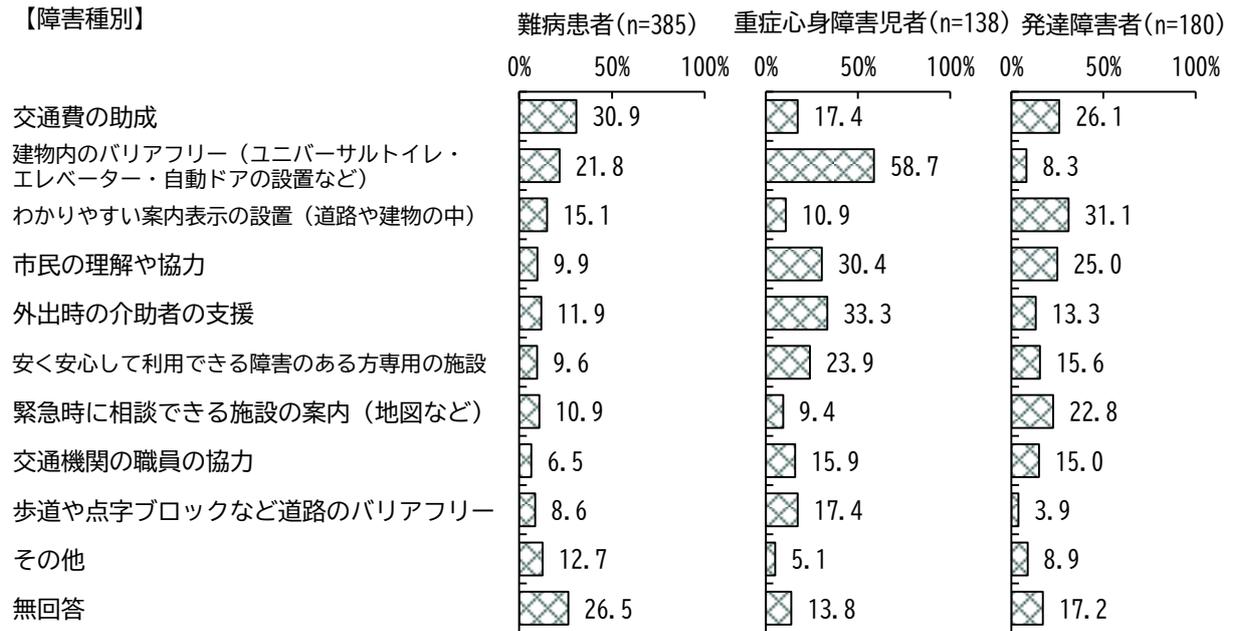
「交通費の助成」が30.3%と最も多く、次いで「建物内のバリアフリー（ユニバーサルトイレ・エレベーター・自動ドアの設置など）」が20.0%、「わかりやすい案内表示の設置（道路や建物の中）」、「市民の理解や協力」が18.9%などとなっています。

障害種別に見ると、“身体障害者”、“重症心身障害児者”では「建物内のバリアフリー（ユニバーサルトイレ・エレベーター・自動ドアの設置など）」が最も多くなっています。また、“知的障害者”では「市民の理解や協力」が最も多くなっています。また、“発達障害者”では「わかりやすい案内表示の設置（道路や建物の中）」が最も多くなっています。

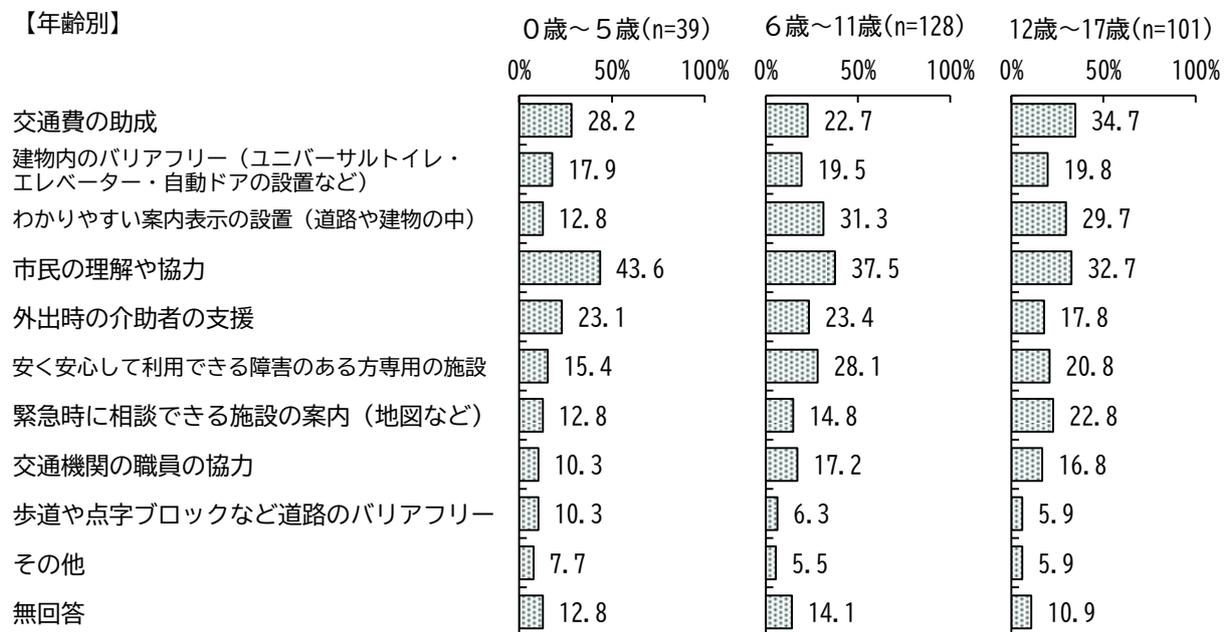


【障害種別】

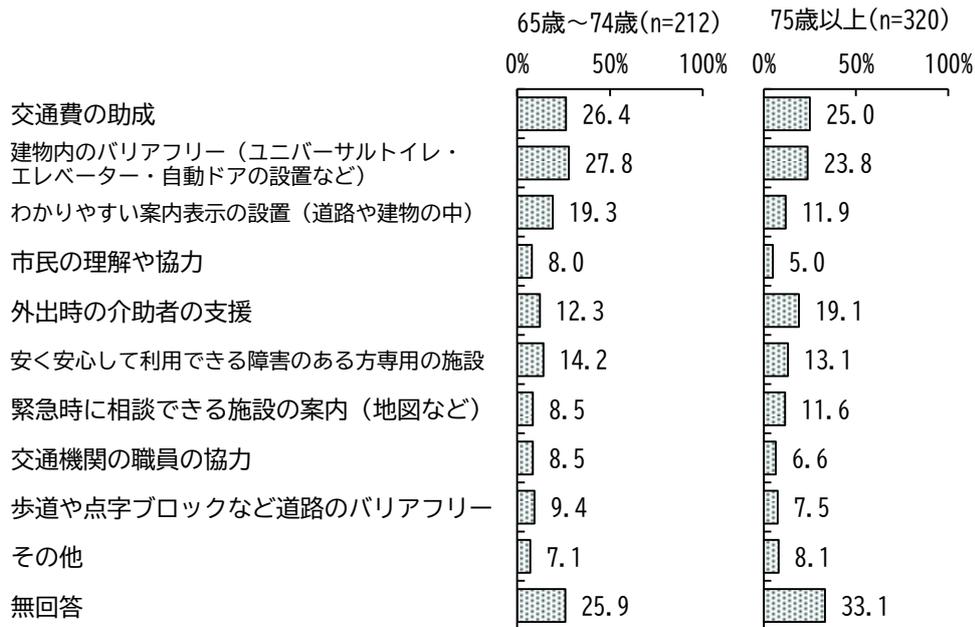
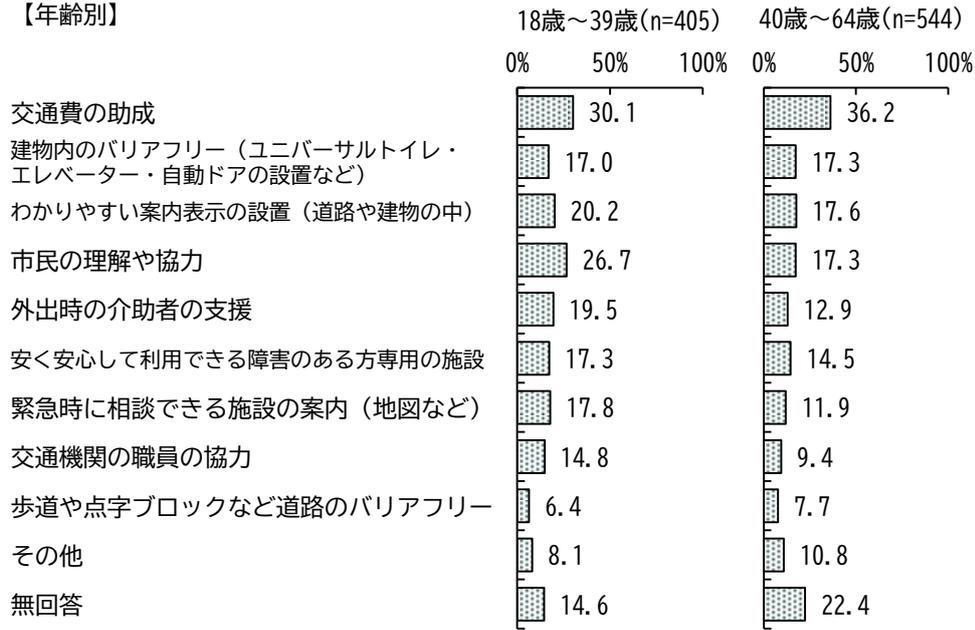




年齢別にみると、“0歳～5歳”、“6歳～11歳”では「市民の理解や協力」が最も多くなっています。また、“65歳～74歳”では「建物内のバリアフリー（ユニバーサルトイレ・エレベーター・自動ドアの設置など）」が最も多くなっています。



【年齢別】

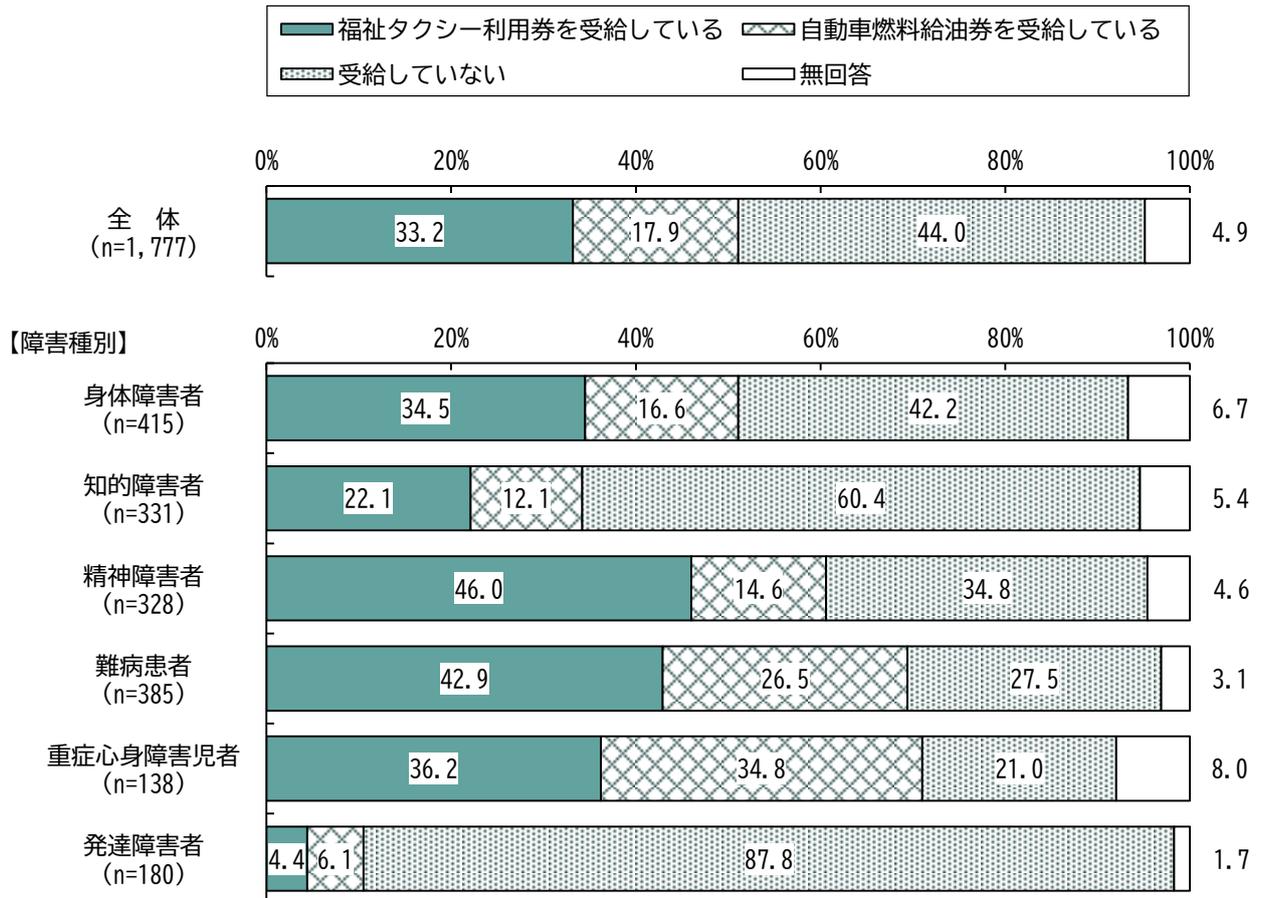


(7) 福祉タクシー利用券又は自動車燃料給油券の受給状況

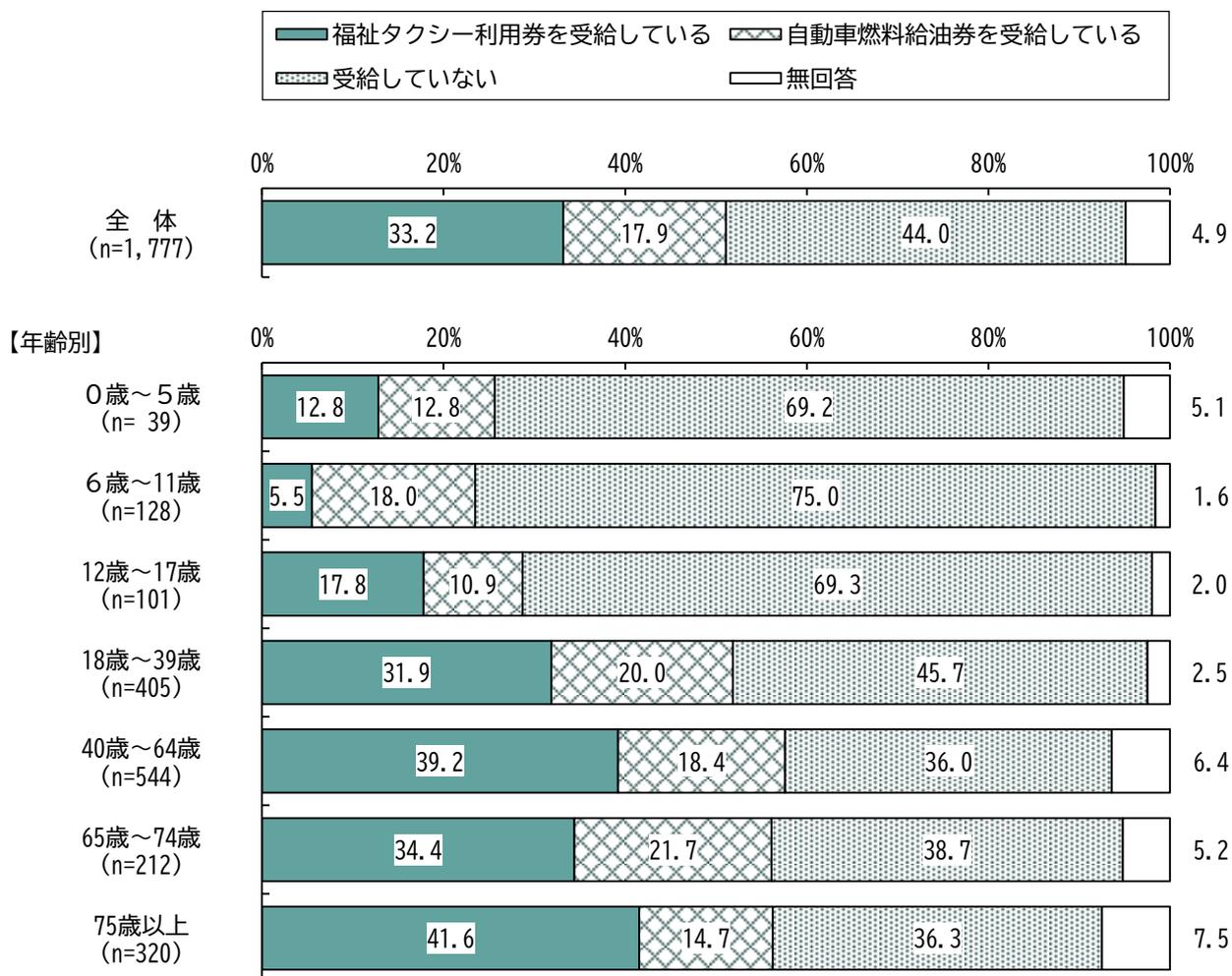
問34 あなたは、現在、福祉タクシー利用券又は自動車燃料給油券を受給していますか。(○は1つ)

「福祉タクシー利用券を受給している」が33.2%、「自動車燃料給油券を受給している」が17.9%、「受給していない」が44.0%となっています。

障害種別にみると、「精神障害者」、「難病患者」、「重症心身障害児者」では「福祉タクシー利用券を受給している」が最も多くなっています。



年齢別にみると、“40歳～64歳”、“75歳以上”では「福祉タクシー利用券を受給している」が最も多くなっています。

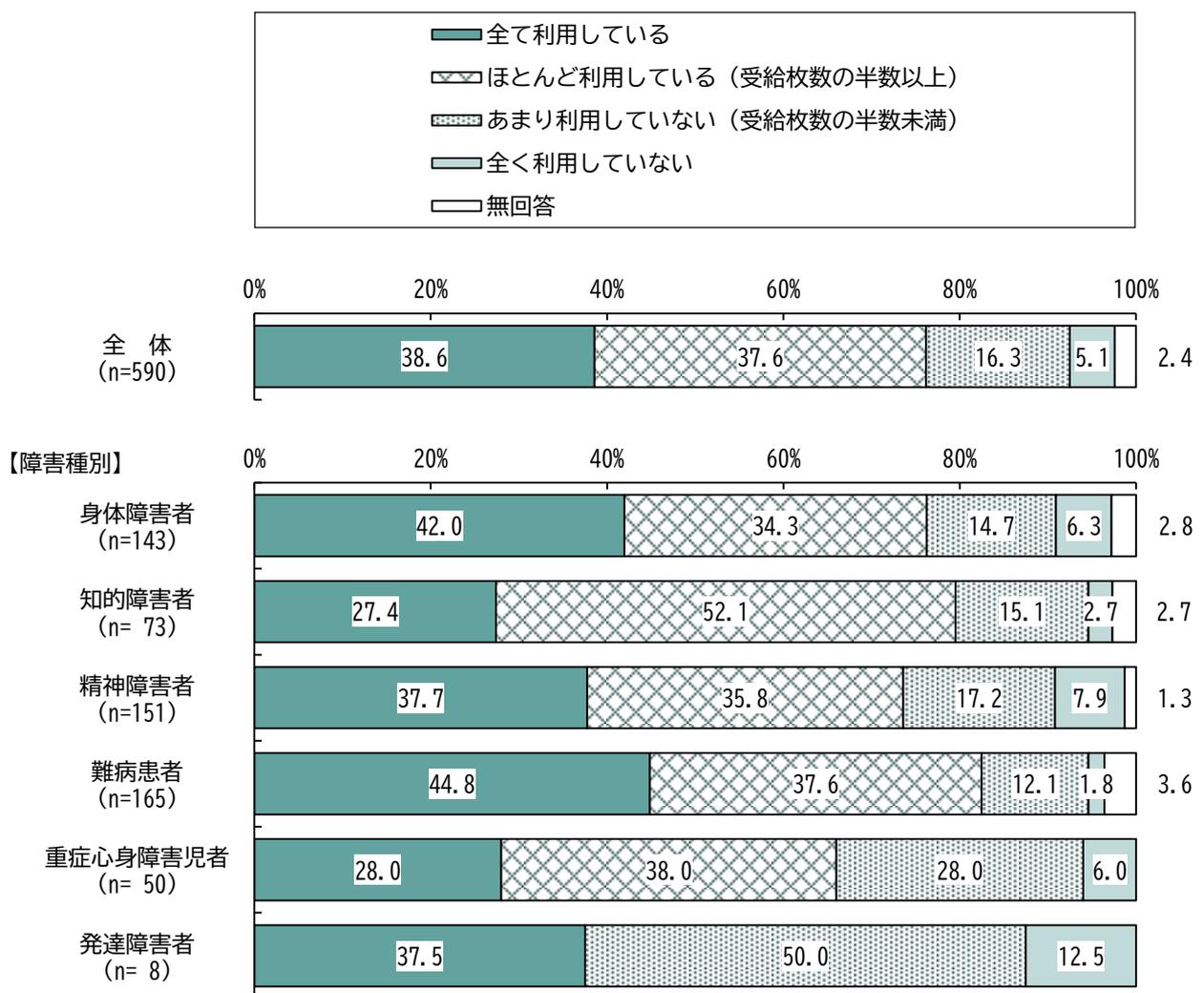


(8) 福祉タクシー利用券の利用

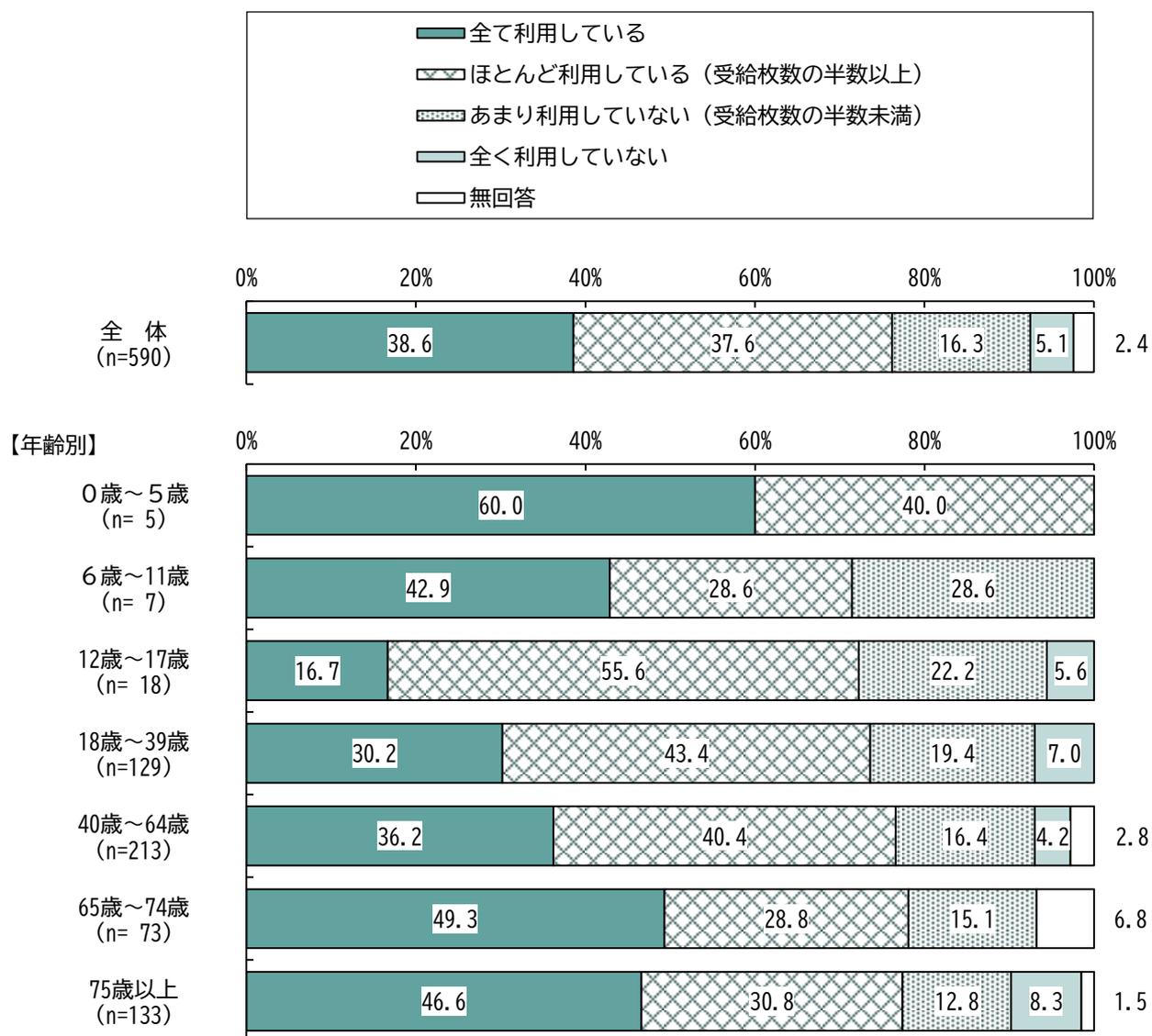
問34-1 問34で「1 福祉タクシー利用券を受給している」とお答えの方にお聞きます。
あなたは福祉タクシー利用券をどれくらい利用していますか。(〇は1つ)

「全て利用している」が38.6%、「ほとんど利用している(受給枚数の半数以上)」が37.6%、「あまり利用していない(受給枚数の半数未満)」が16.3%、「全く利用していない」が5.1%となっています。

障害種別にみると、“知的障害者”、“重症心身障害児者”では「ほとんど利用している(受給枚数の半数以上)」が最も多くなっています。また、“発達障害者”では「あまり利用していない(受給枚数の半数未満)」が最も多くなっています。



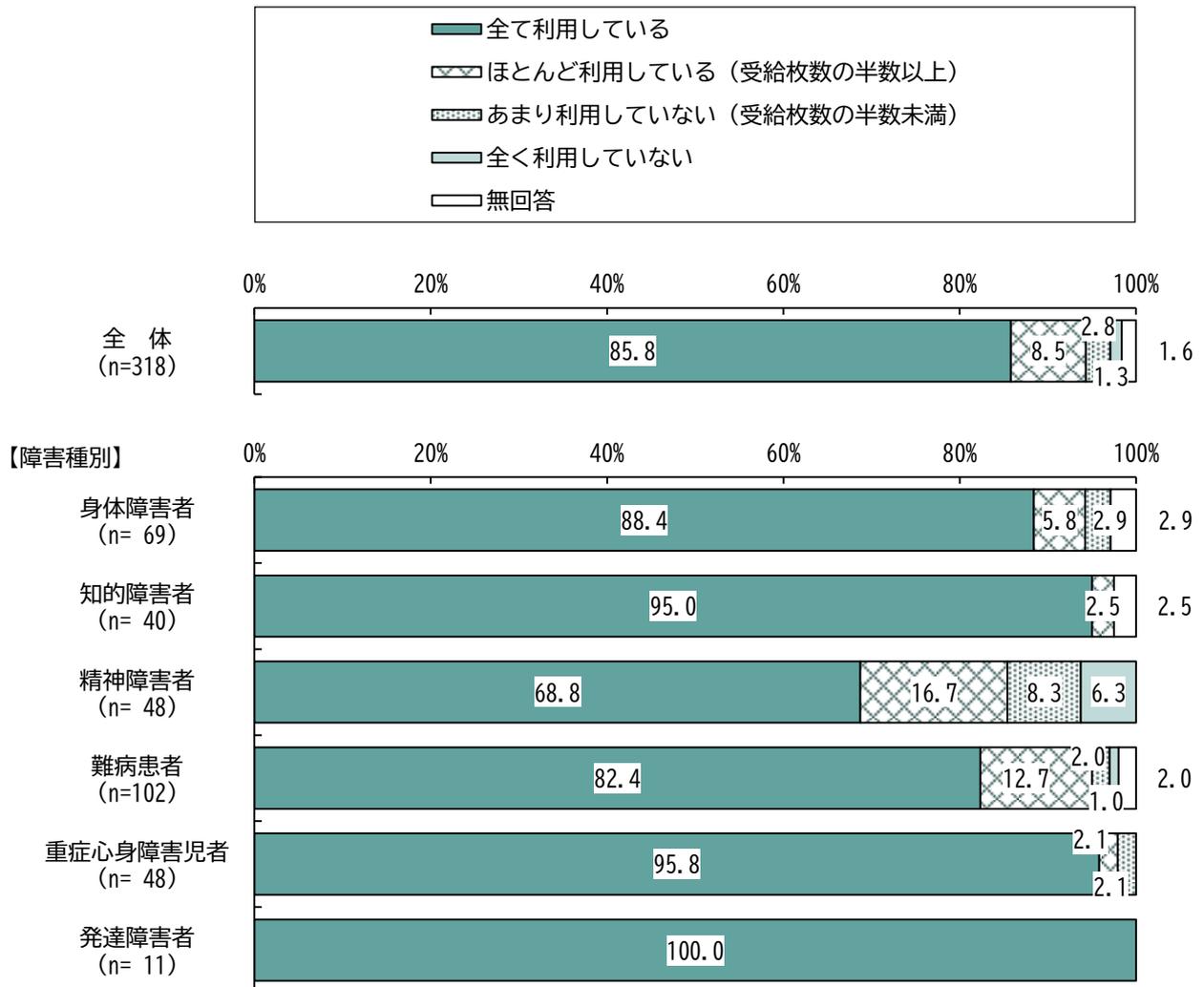
年齢別にみると、“12歳～17歳”、“18歳～39歳”、“40歳～64歳”では「ほとんど利用している（受給枚数の半数以上）」が最も多くなっています。



(9) 自動燃料給油券の利用

問34-2 問34で「2 自動燃料給油券を受給している」とお答えの方にお聞きします。
 あなたは自動車燃料給油券をどれくらい利用していますか。(〇は1つ)

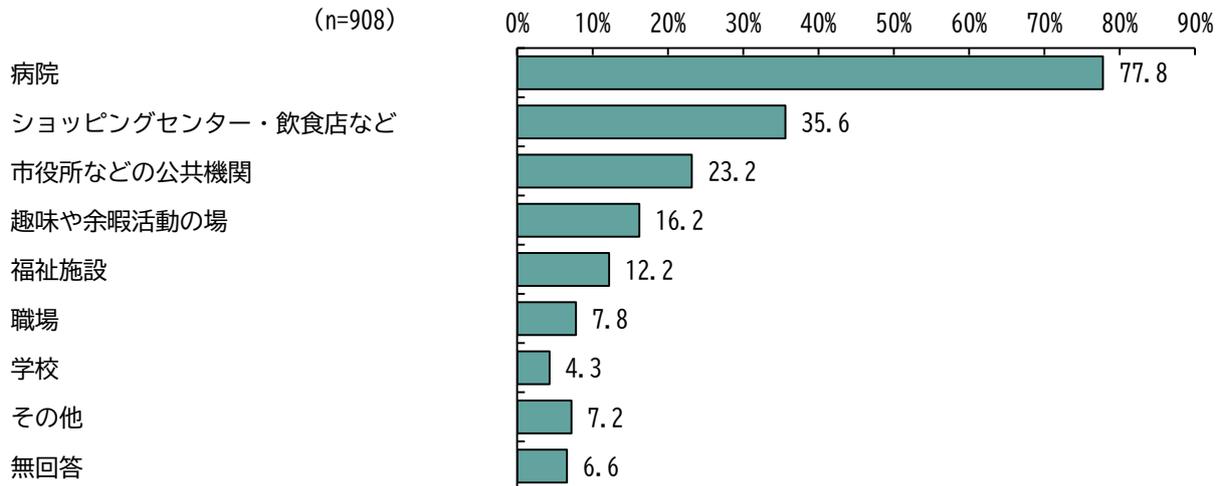
「全て利用している」が85.8%、「ほとんど利用している（受給枚数の半数以上）」が8.5%、「あまり利用していない（受給枚数の半数未満）」が2.8%、「全く利用していない」が1.3%となっています。



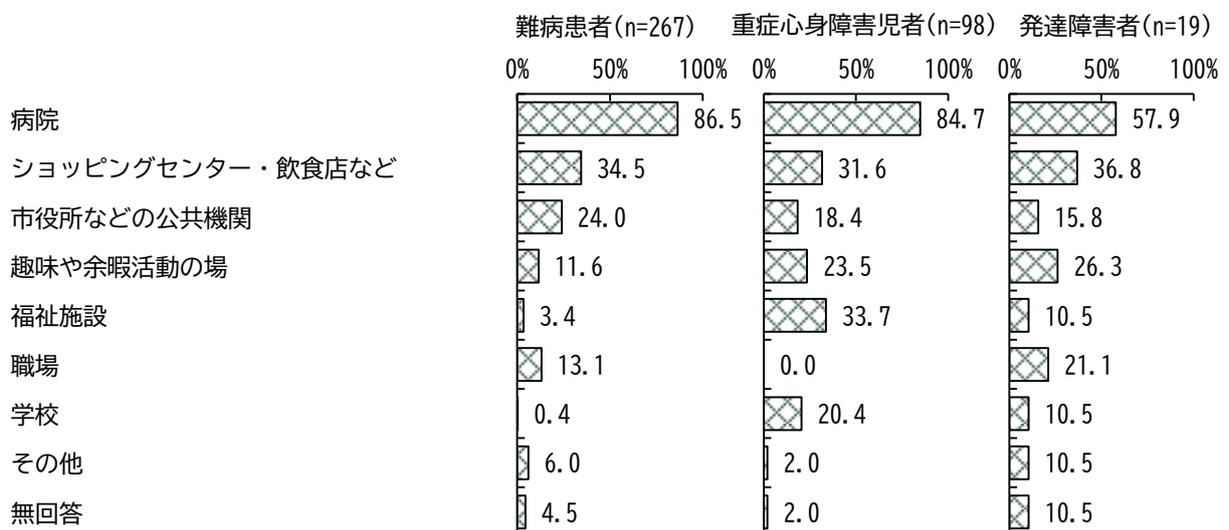
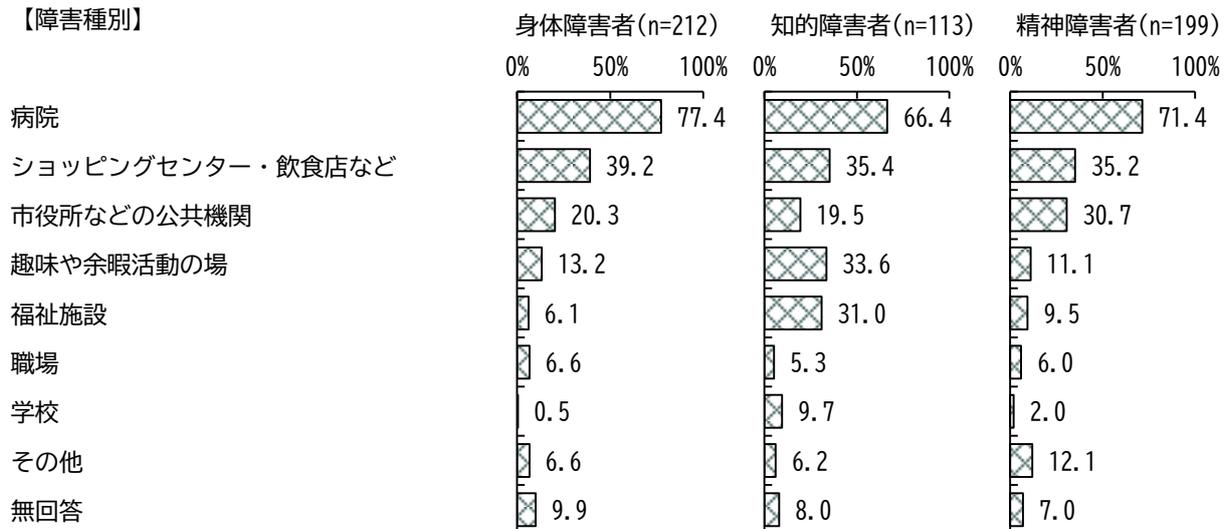
(10) 福祉タクシー利用券又は自動車燃料給油券を利用する際の行先

問34-3 問34で「1 福祉タクシー利用券を受給している」又は「2 自動燃料給油券を受給している」とお答えの方にお聞きます。福祉タクシー利用券又は自動車燃料給油券を利用する際の行先はどこですか。(〇はいくつでも)

「病院」が77.8%と最も多く、次いで「ショッピングセンター・飲食店など」が35.6%、「市役所などの公共機関」が23.2%などとなっています。



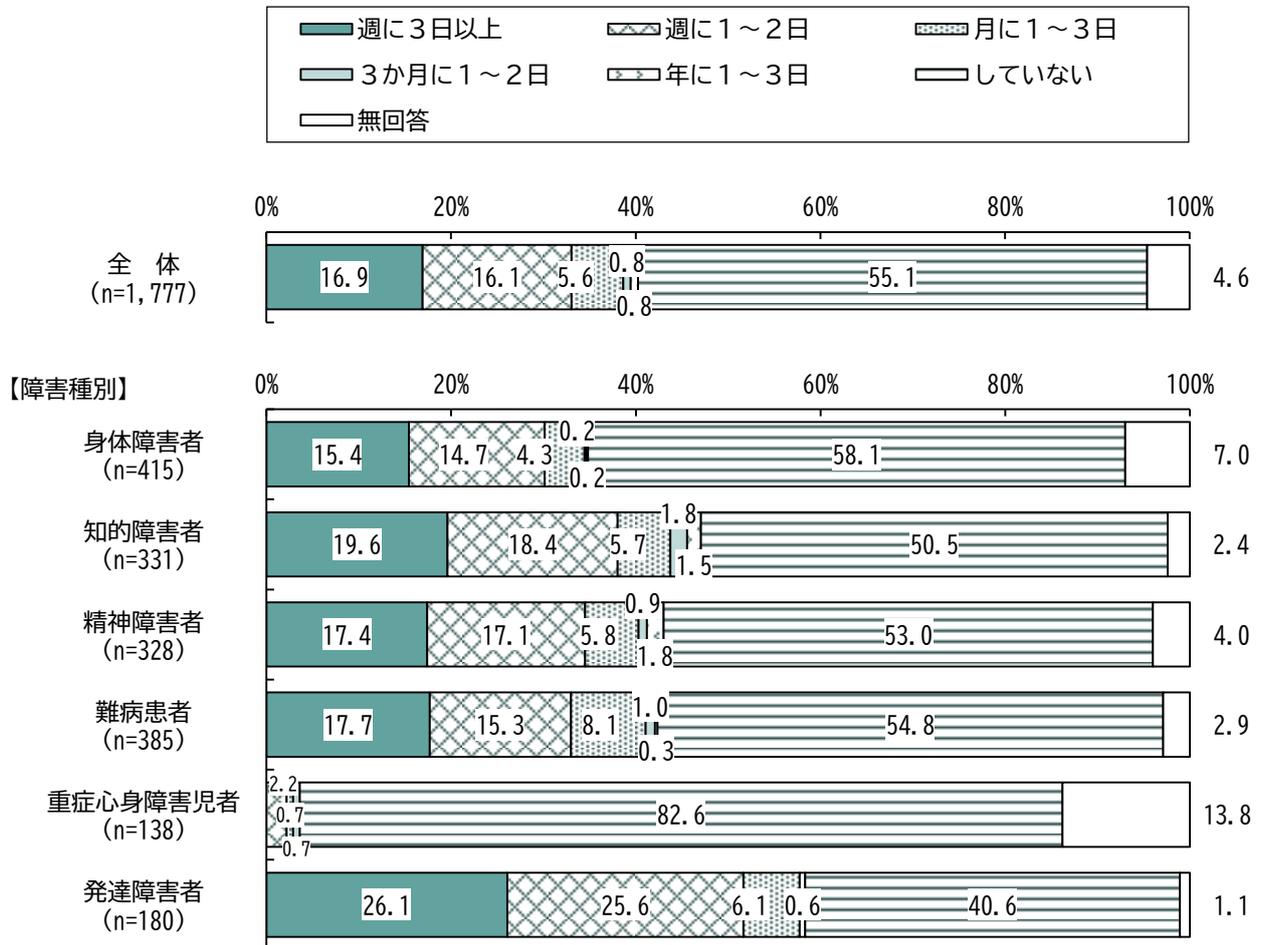
【障害種別】



(11) スポーツの実施頻度

問35 あなたはスポーツをしていますか。(○は1つ)

「していない」が55.1%と最も多く、次いで「週に3日以上」が16.9%、「週に1～2日」が16.1%などとなっています。

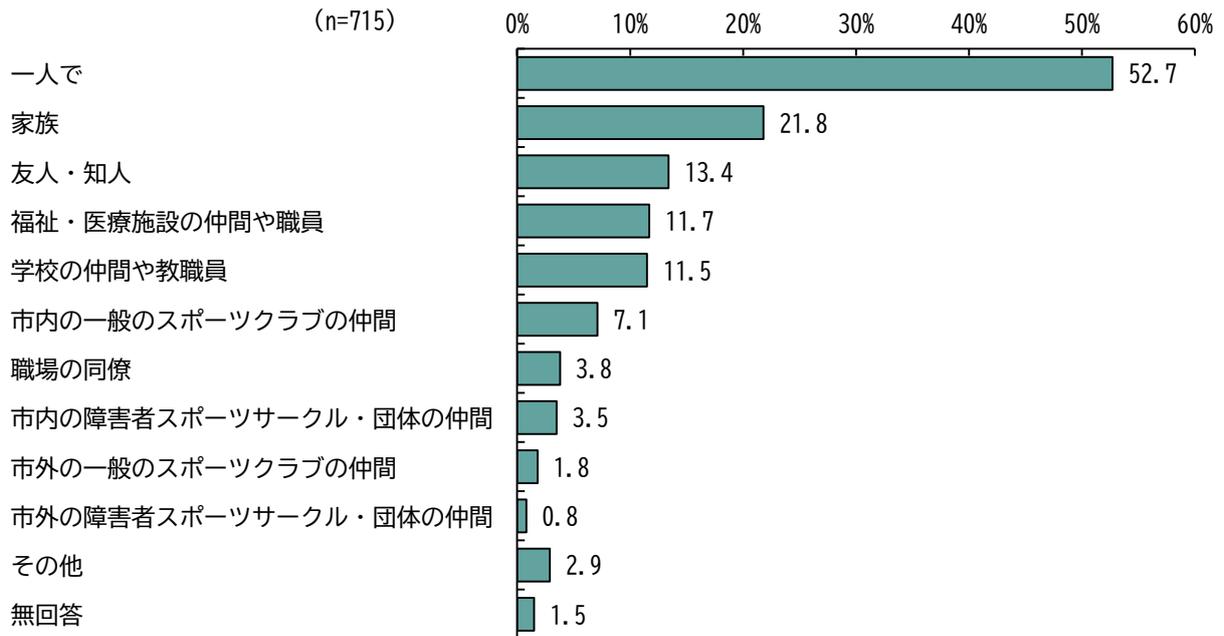


(12) 一緒にスポーツをする人

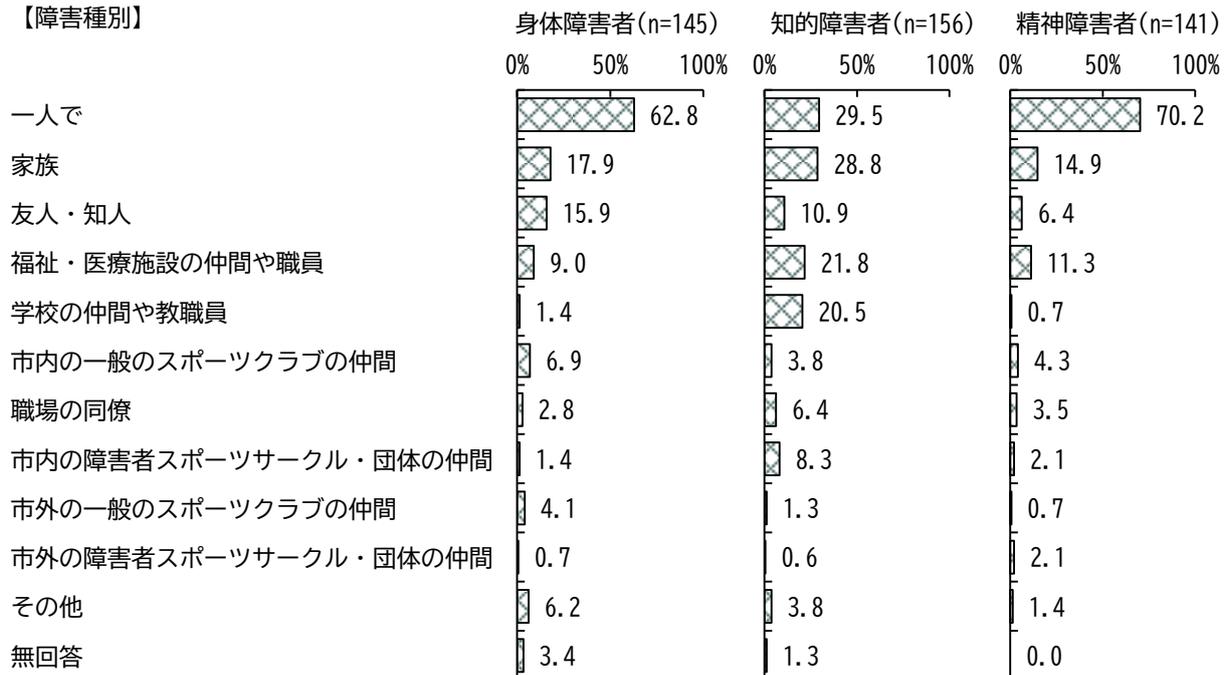
問35-1 問35で「1」～「5」とお答えの方（スポーツをしている方）にお聞きます。
 スポーツはだれとしていきますか。（〇はいくつでも）

「一人で」が52.7%と最も多く、次いで「家族」が21.8%、「友人・知人」が13.4%などとなっています。

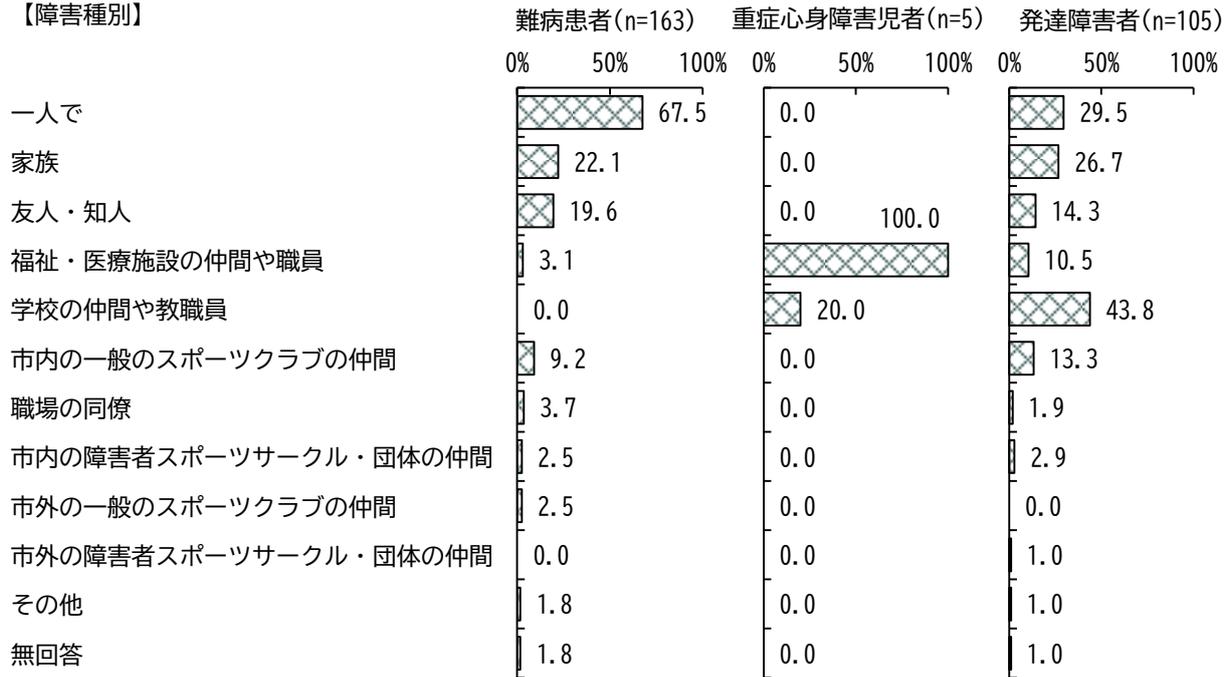
障害種別にみると、“重症心身障害児者”では「福祉・医療施設の仲間や職員」が最も多くなっています。また、“発達障害者”では「学校の仲間や教職員」が最も多くなっています。



【障害種別】

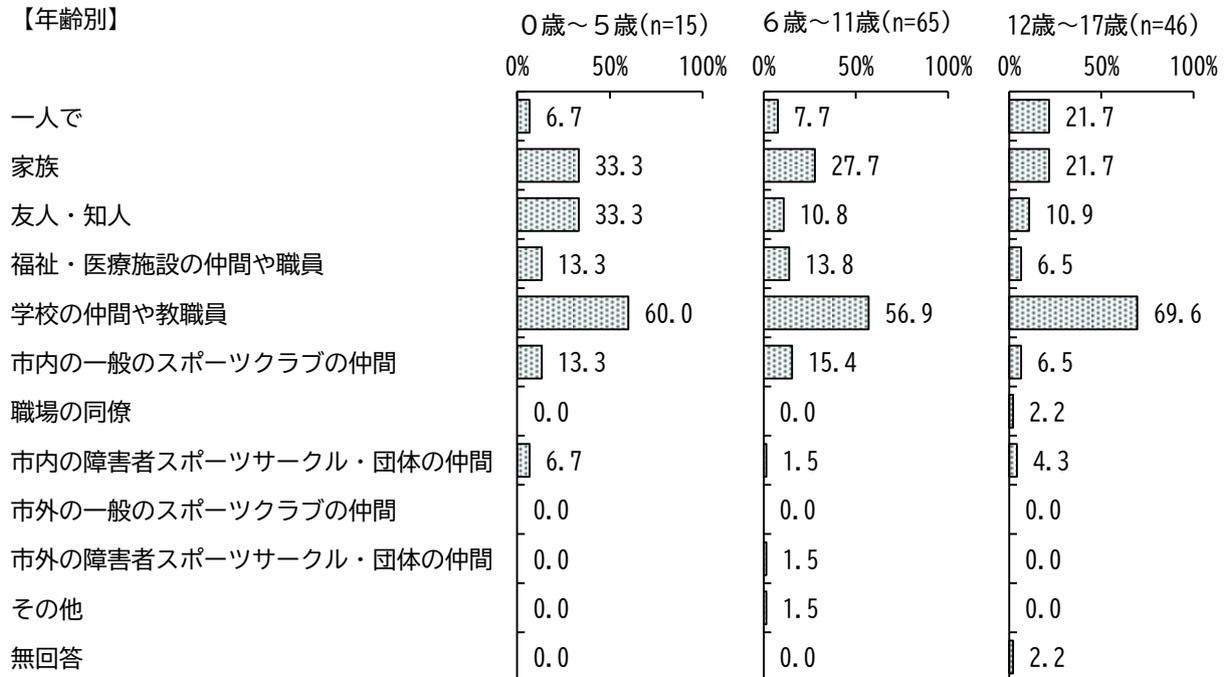


【障害種別】

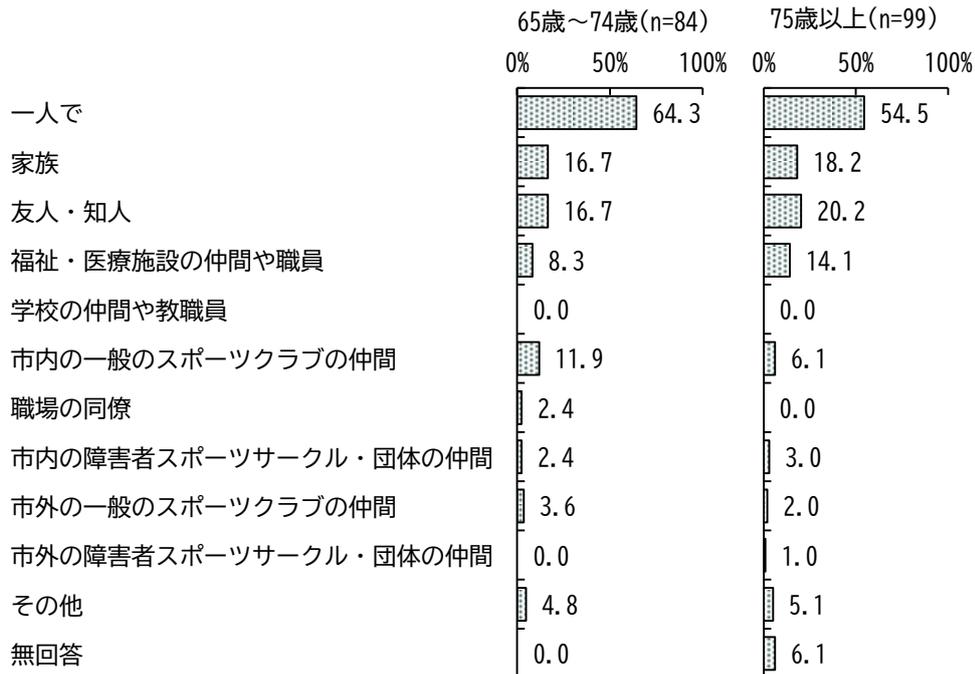
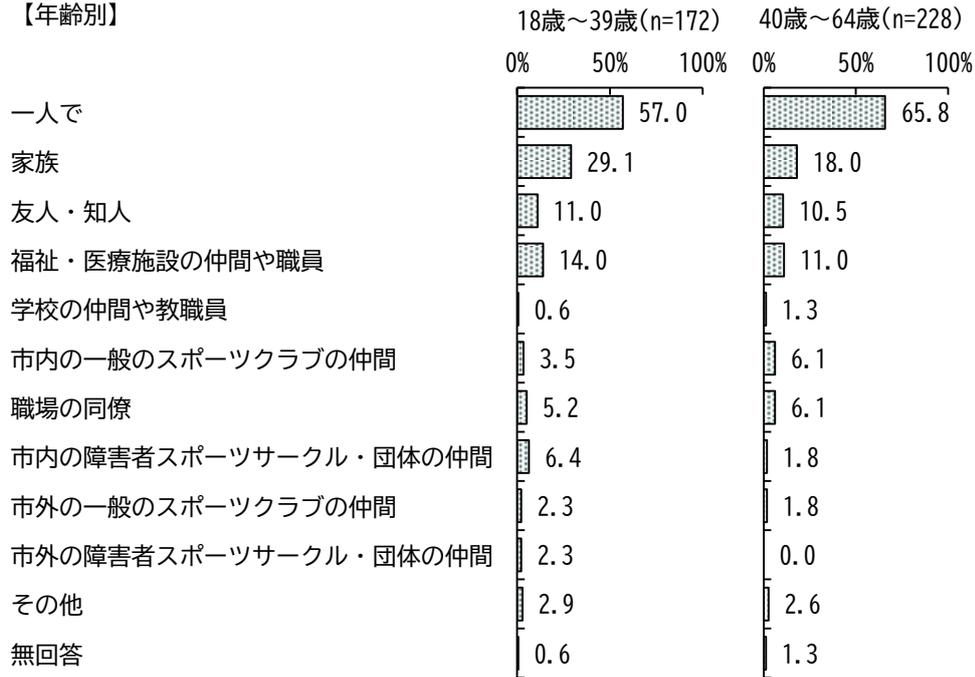


年齢別にみると、“0歳～5歳”、“6歳～11歳”、“12歳～17歳”では「学校の仲間や教職員」が最も多くなっています。

【年齢別】



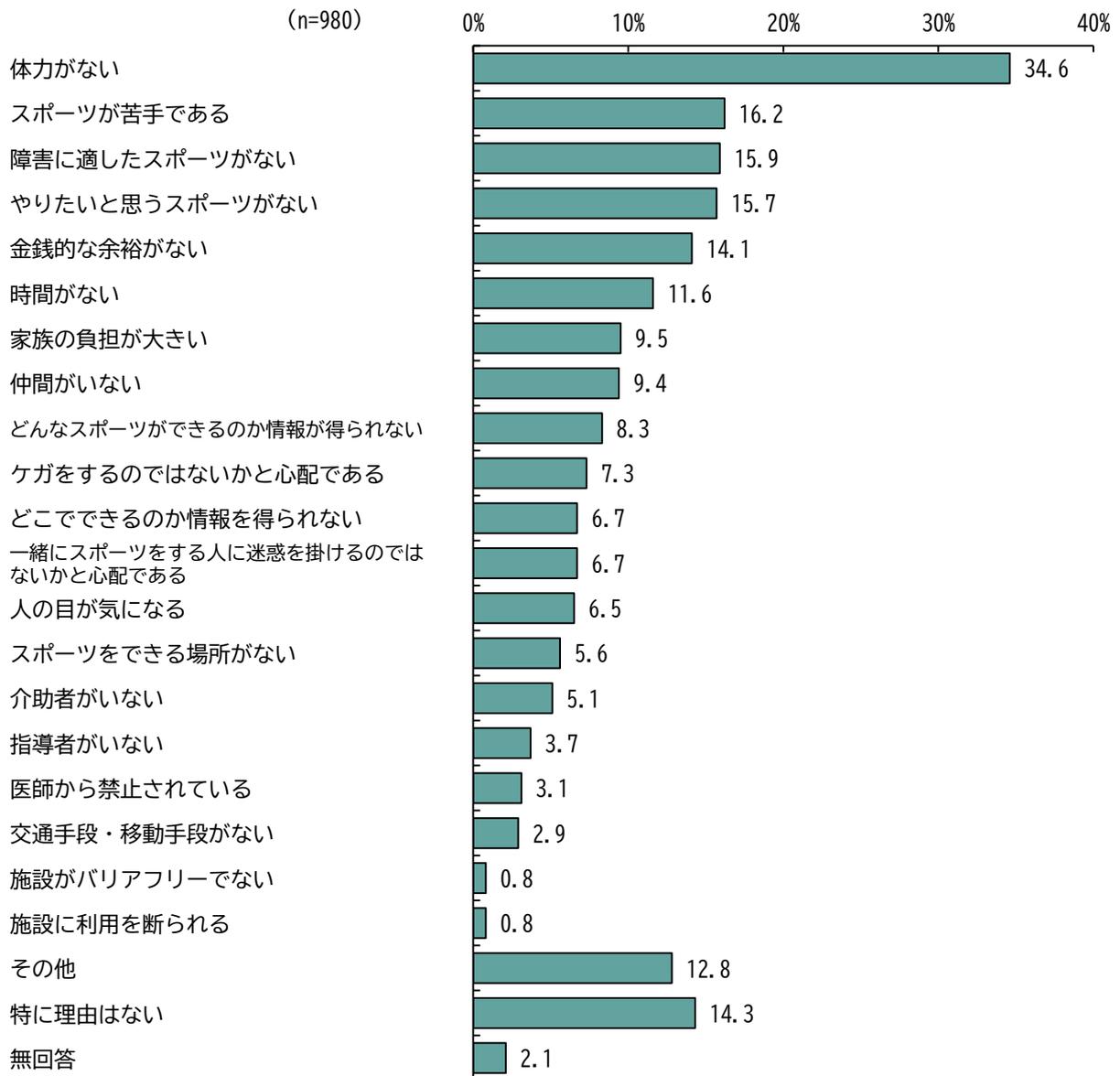
【年齢別】



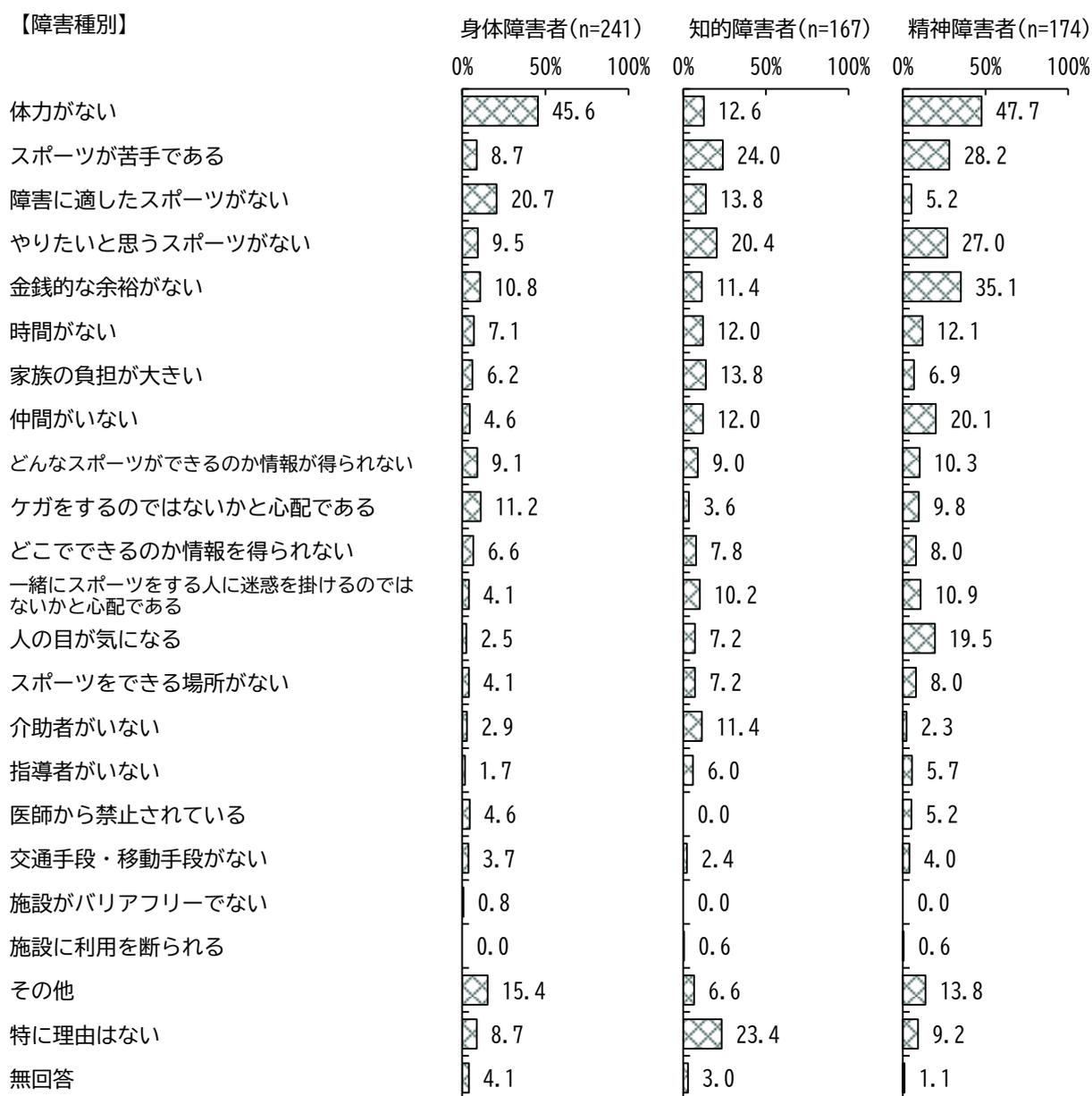
(13) スポーツをしていない理由

問35-2 問35で「6 していない」とお答えの方にお聞きします。
 スポーツをしていないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

「体力がない」が34.6%と最も多く、次いで「スポーツが苦手である」が16.2%、「障害に適したスポーツがない」が15.9%などとなっています。

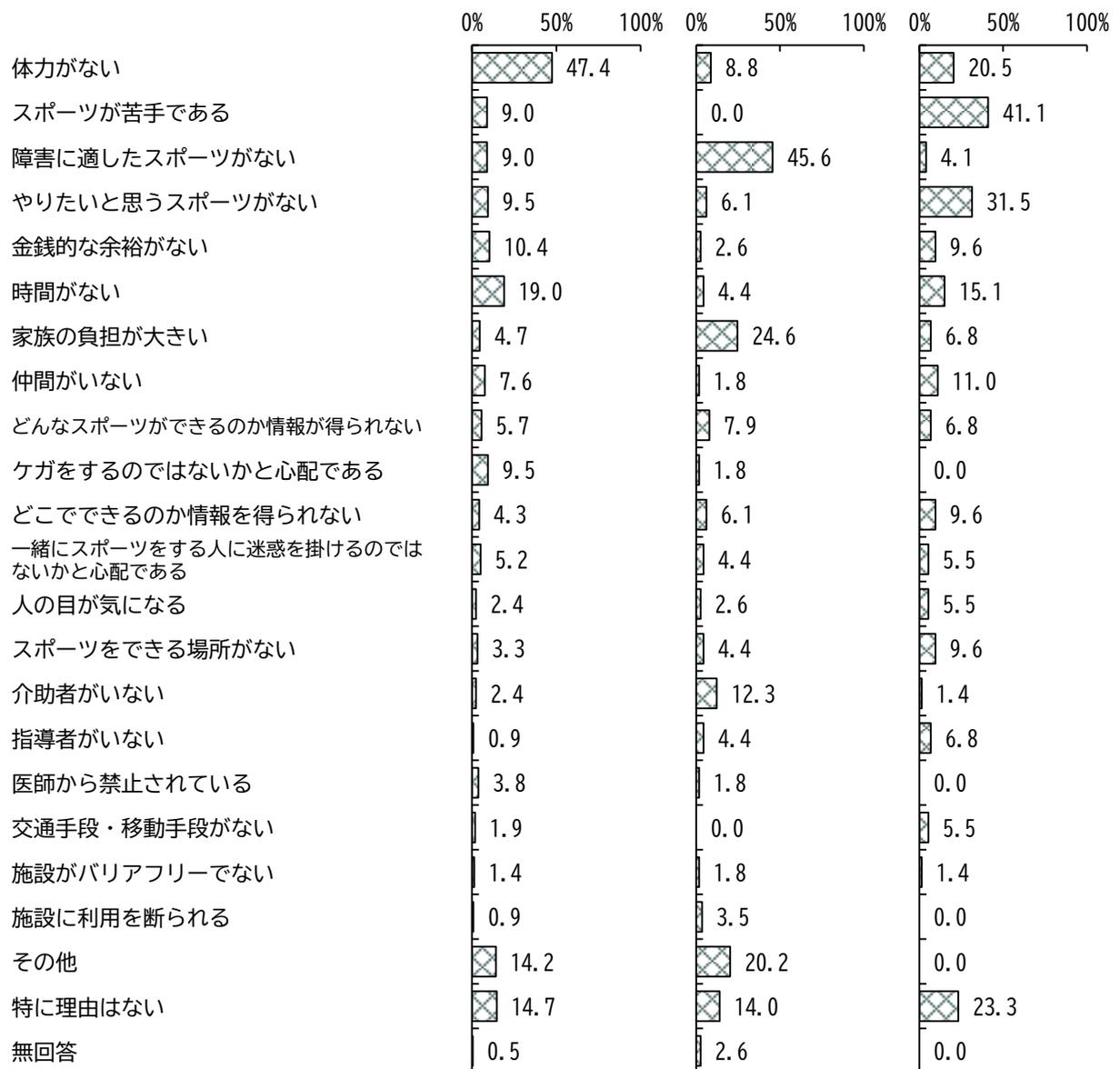


障害種別にみると、“重症心身障害児者”では「障害に適したスポーツがない」が最も多くなっています。また、“発達障害者”では「スポーツが苦手である」が最も多くなっています。

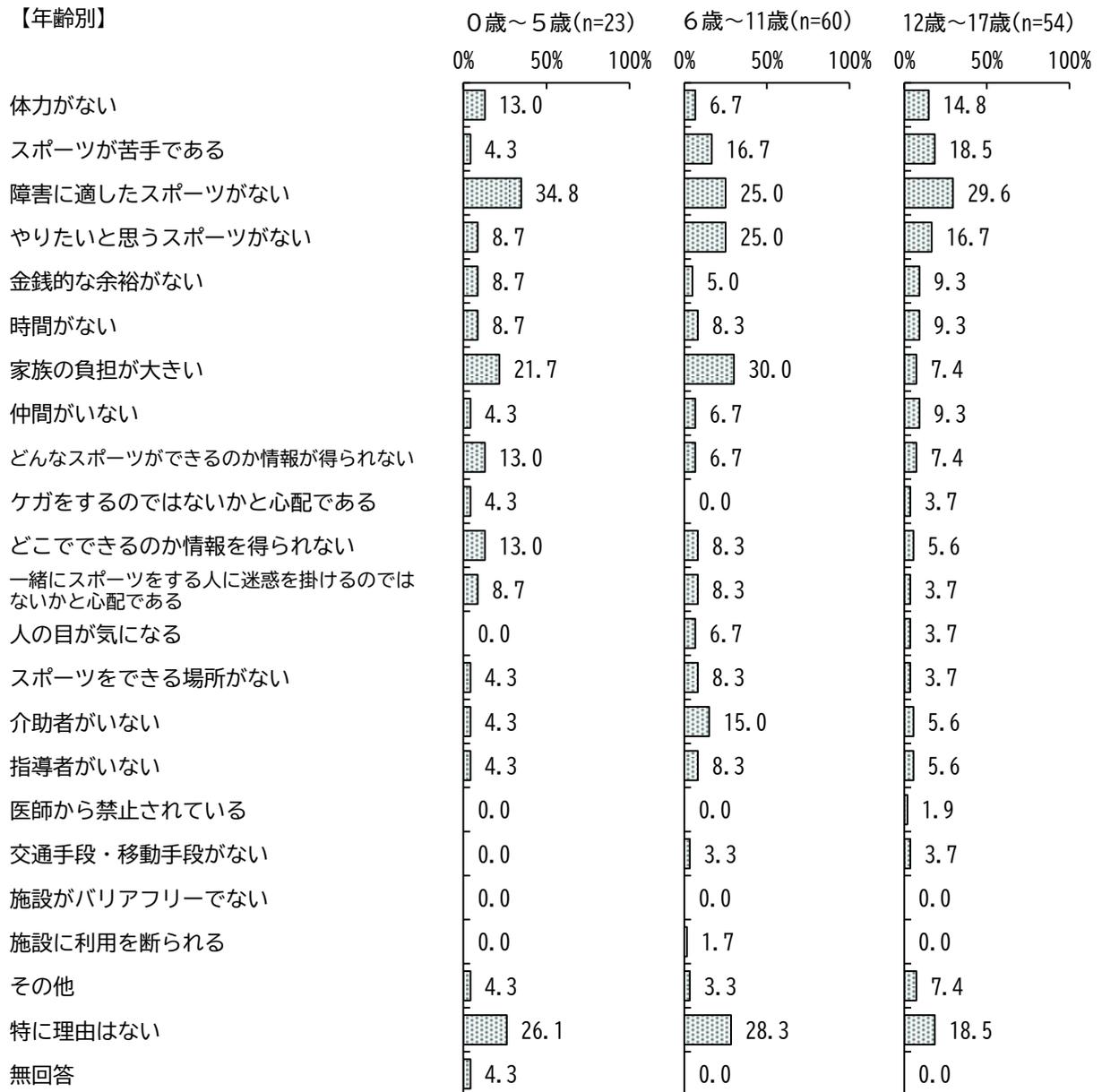


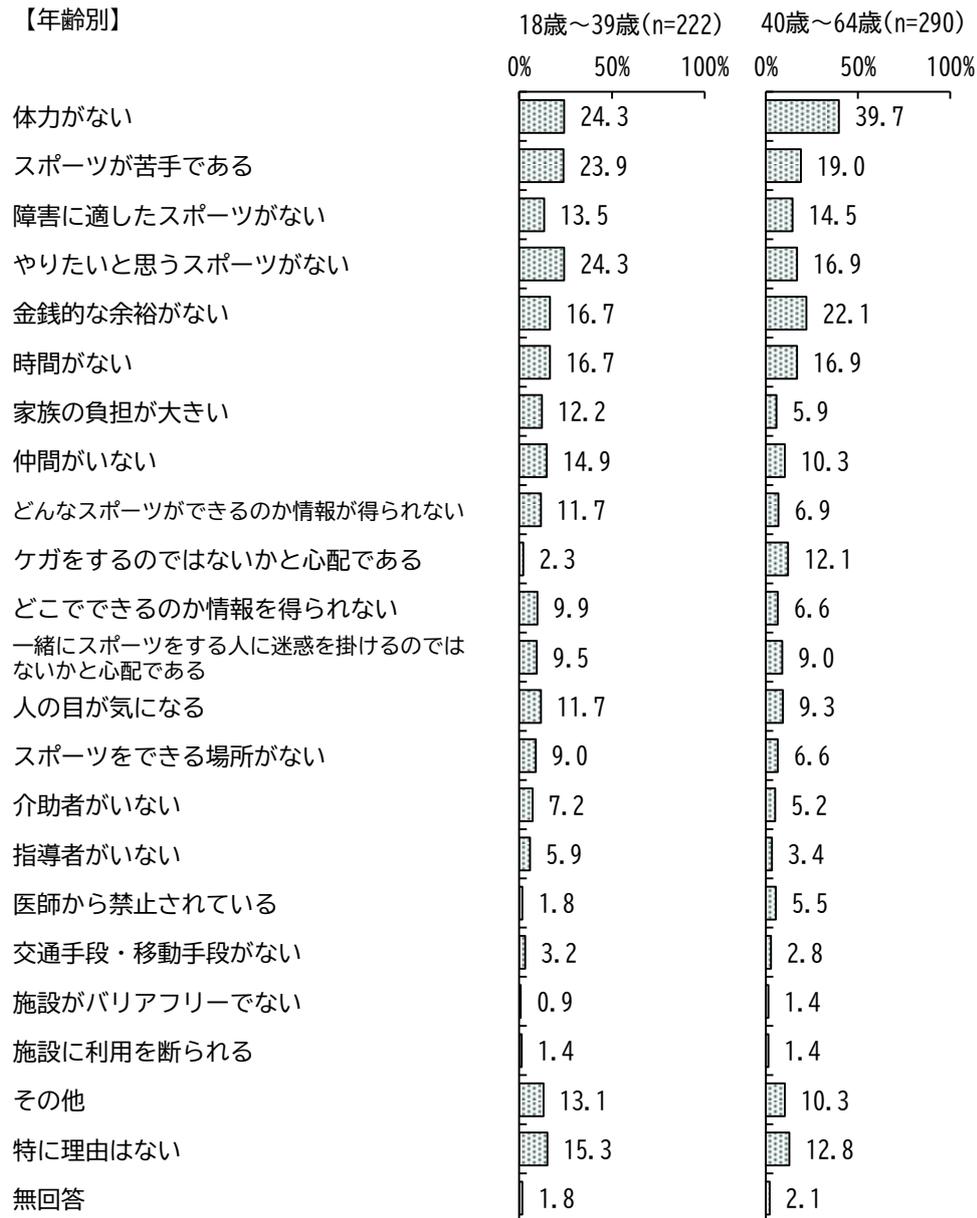
【障害種別】

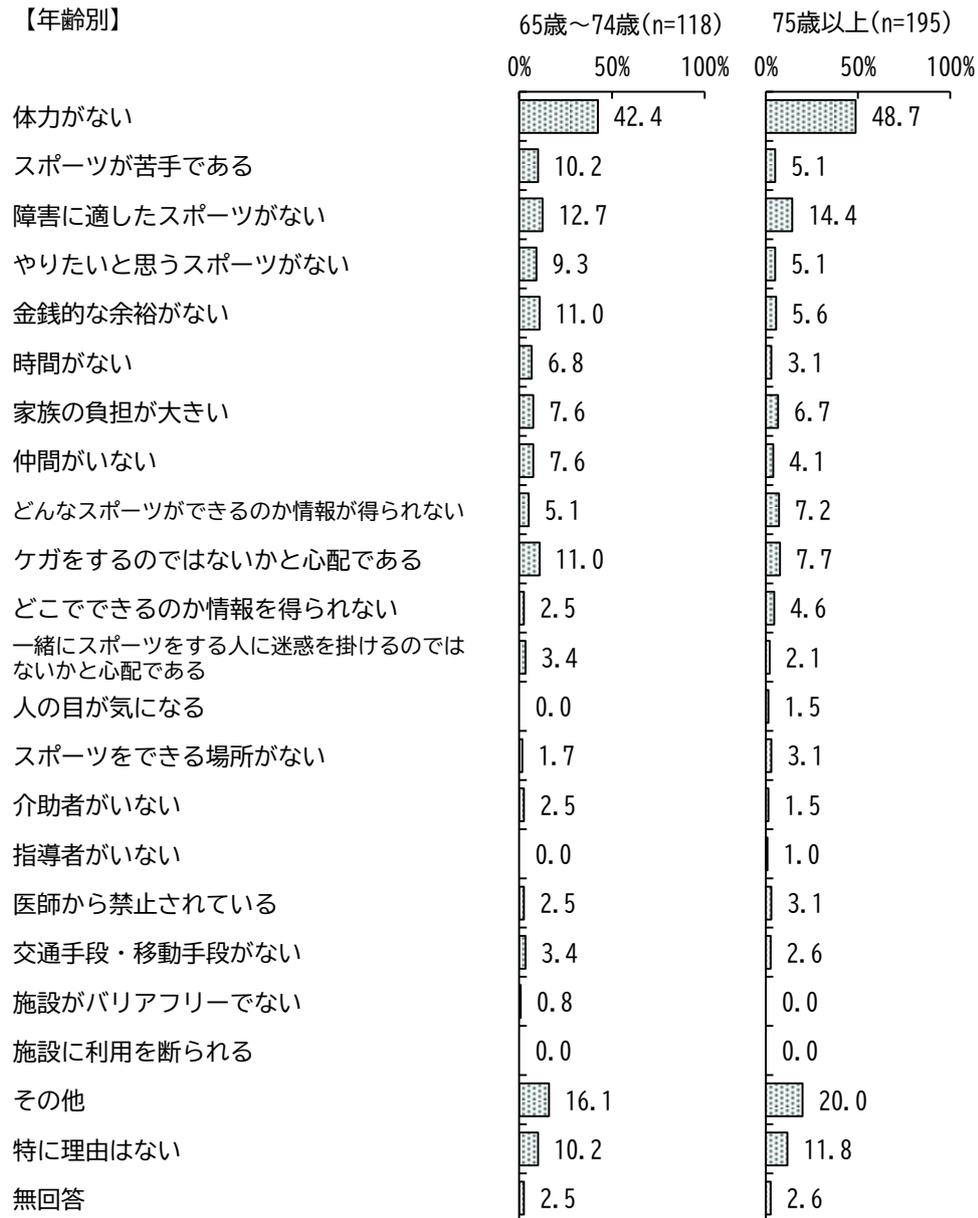
難病患者(n=211) 重症心身障害児者(n=114) 発達障害者(n=73)



年齢別にみると、“0歳～5歳”、“12歳～17歳”では「障害に適したスポーツがない」が最も多くなっています。また、“6歳～11歳”では「家族の負担が大きい」が最も多くなっています。





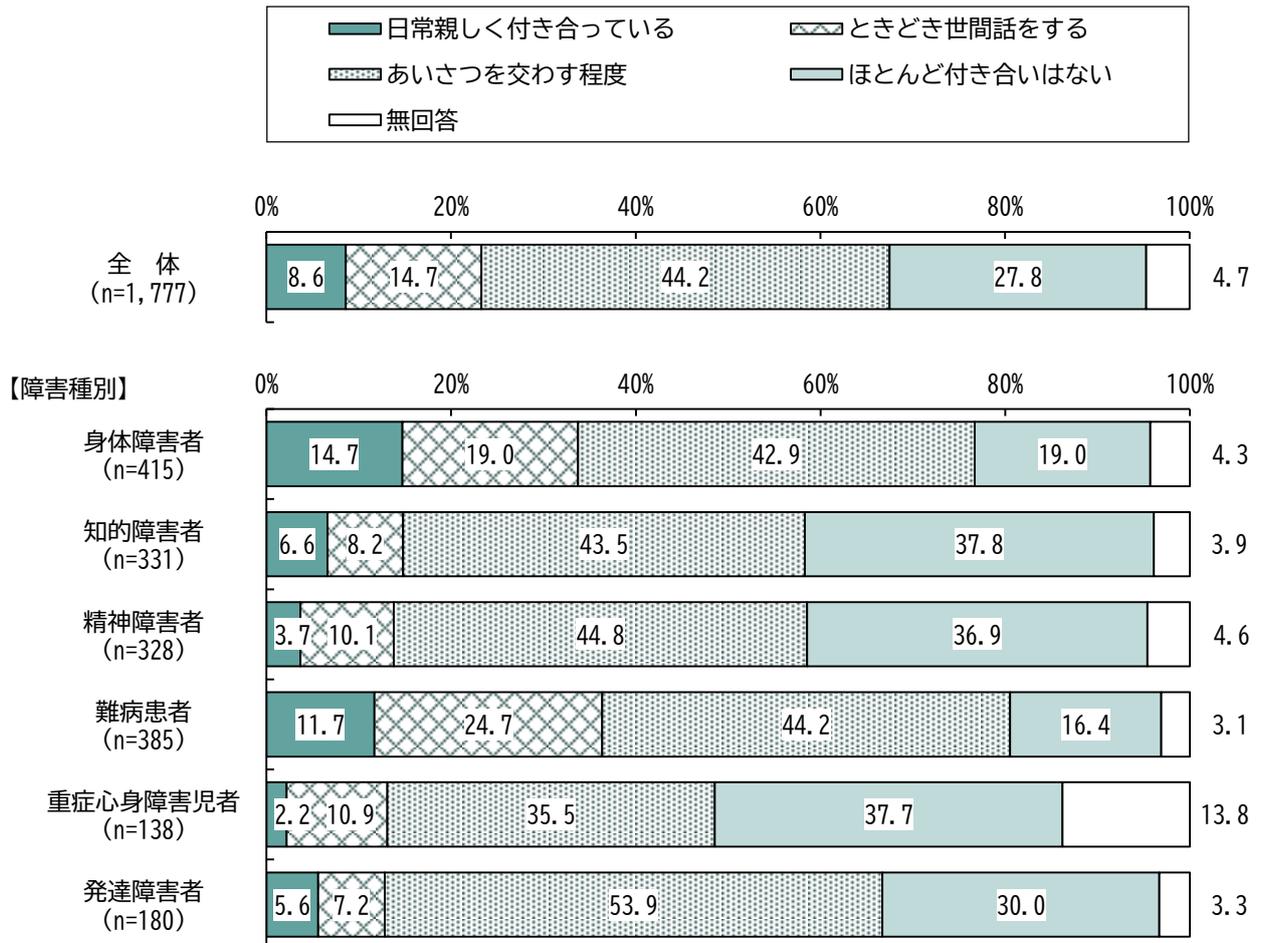


(14) 現在の近所づきあい

問36 あなたの現在の近所づきあいは次のどれに近いですか。(○は1つ)

「日常親しく付き合っている」が8.6%、「ときどき世間話をする」が14.7%、「あいさつを交わす程度」が44.2%、「ほとんど付き合いはない」が27.8%となっています。

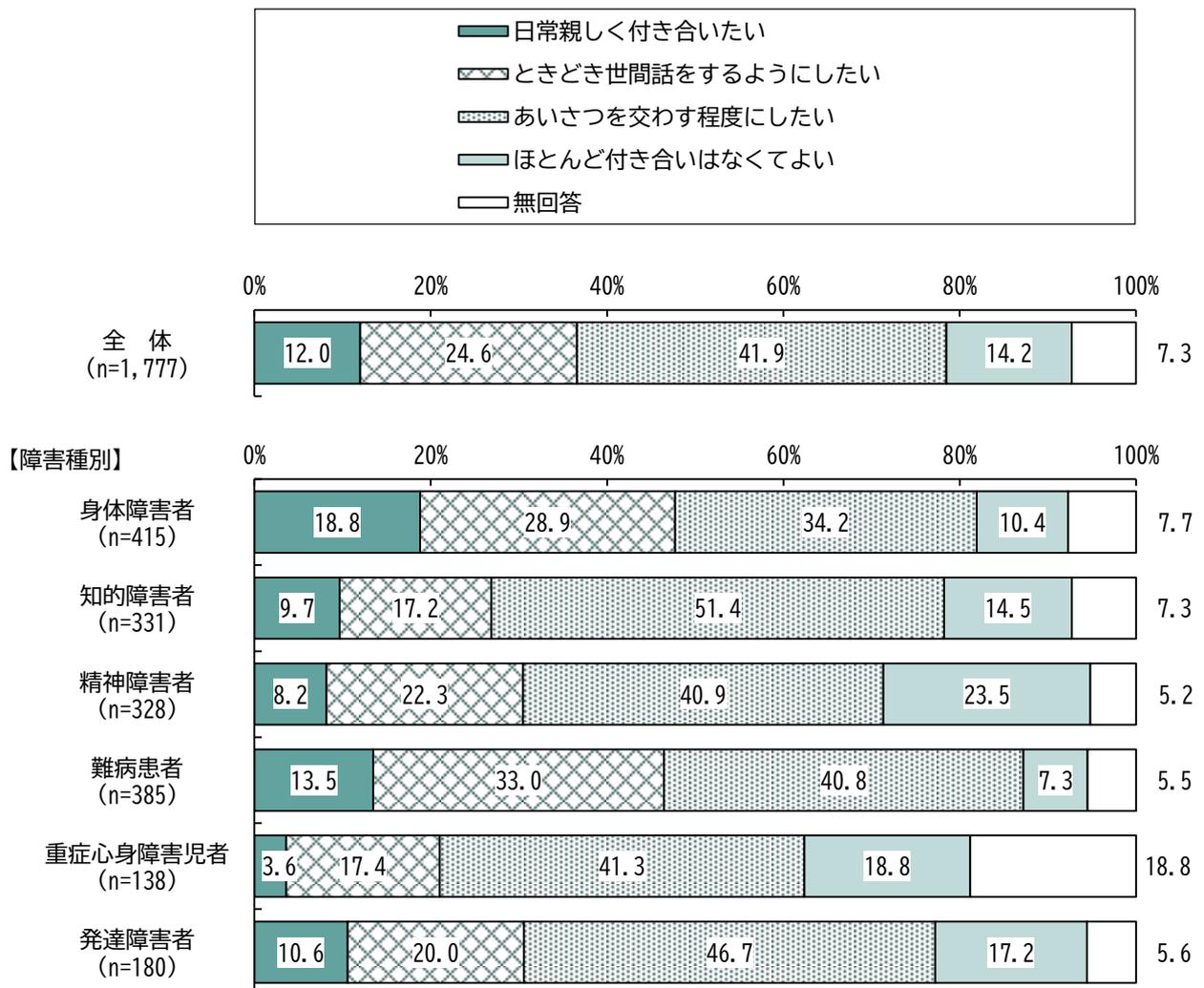
障害種別にみると、“重症心身障害児者”では「ほとんど付き合いはない」が最も多くなっています。



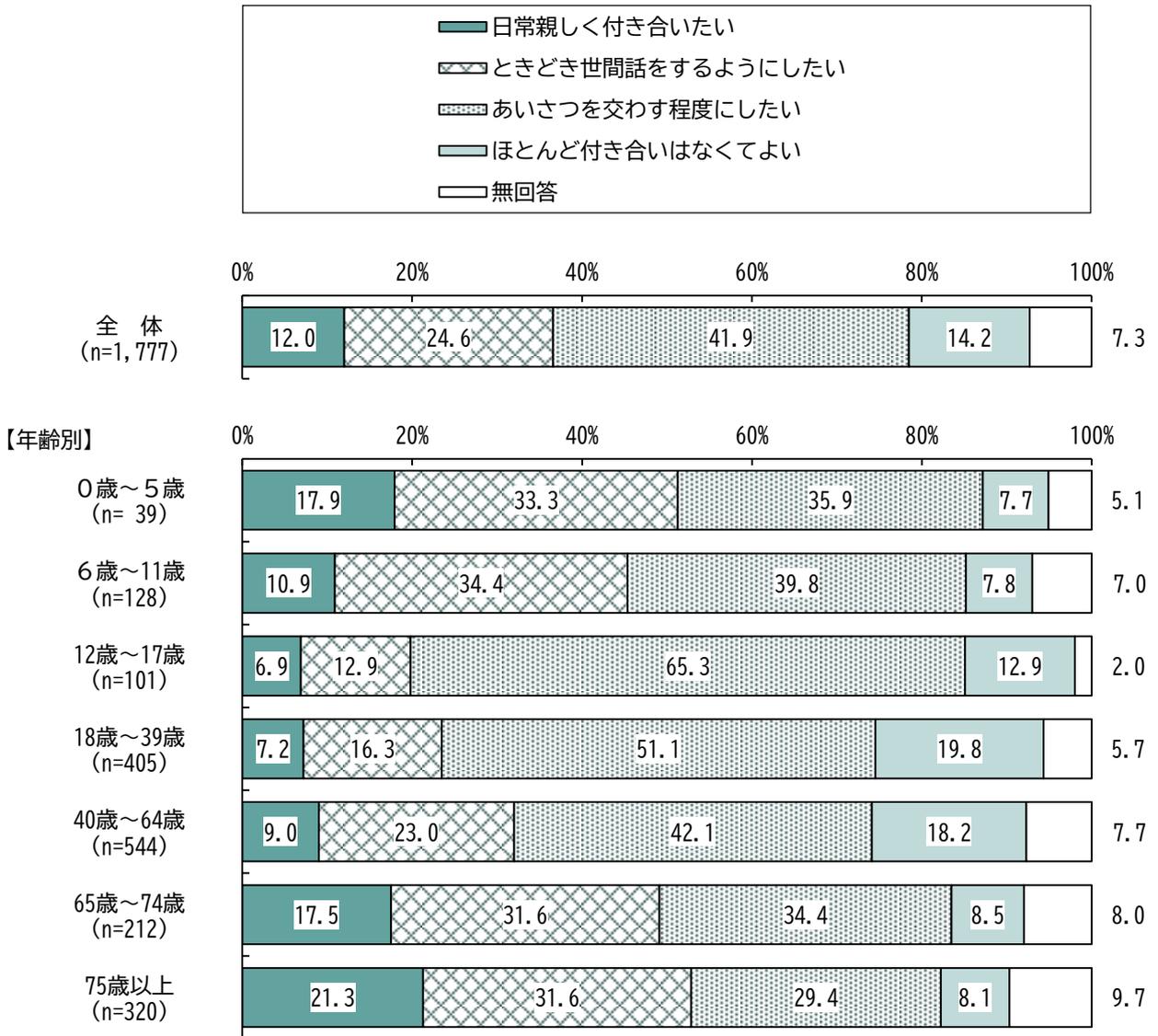
(15) 今後の近所づきあいの希望

問37 あなたは、今後の近所づきあいはどのようにしたいですか。(○は1つ)

「日常親しく付き合いたい」が12.0%、「ときどき世間話をするようにしたい」が24.6%、「あいさつを交わす程度にしたい」が41.9%、「ほとんど付き合いはなくてよい」が14.2%となっています。



年齢別にみると、“75歳以上”では「ときどき世間話をするようにしたい」が最も多くなっています。



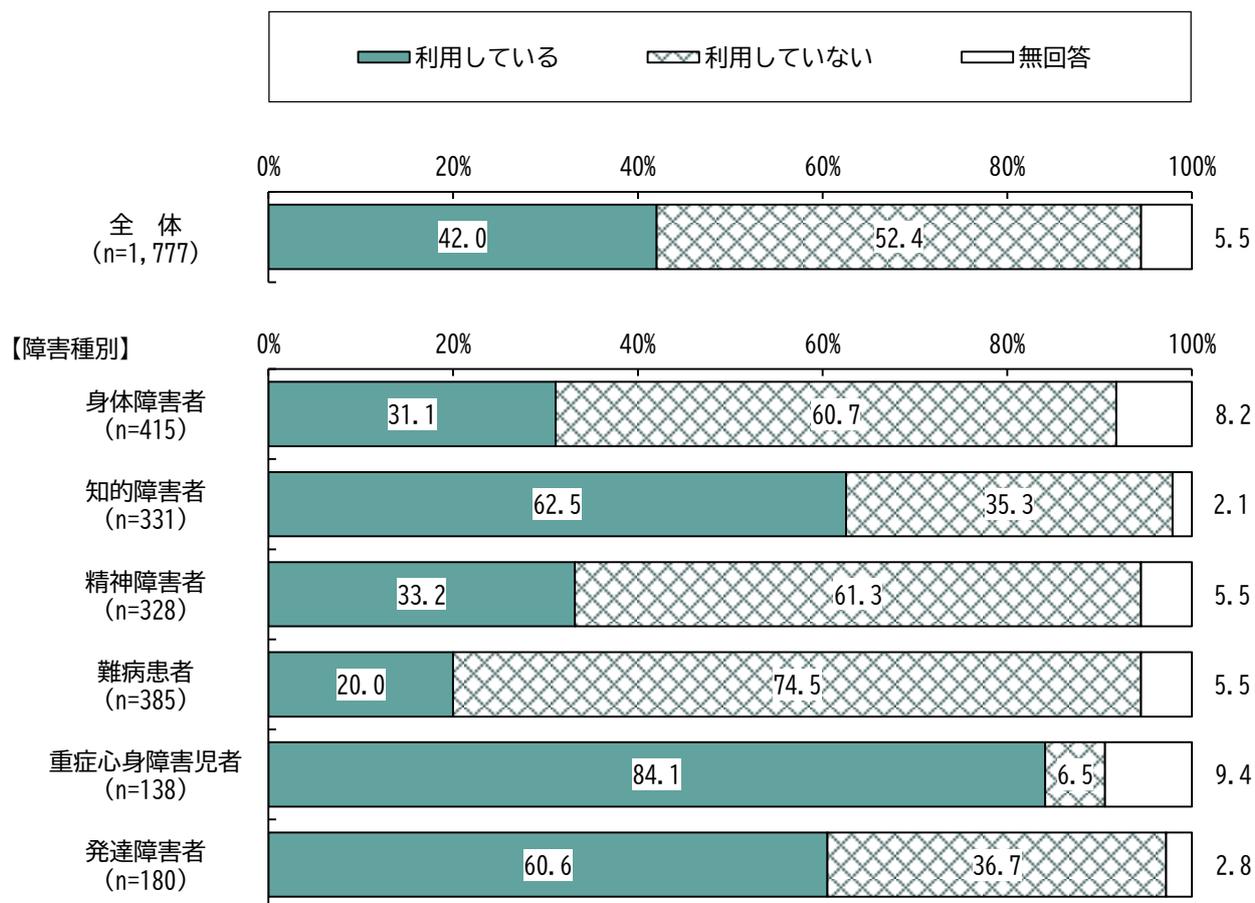
8 福祉サービスについて

(1) 福祉サービスの利用状況

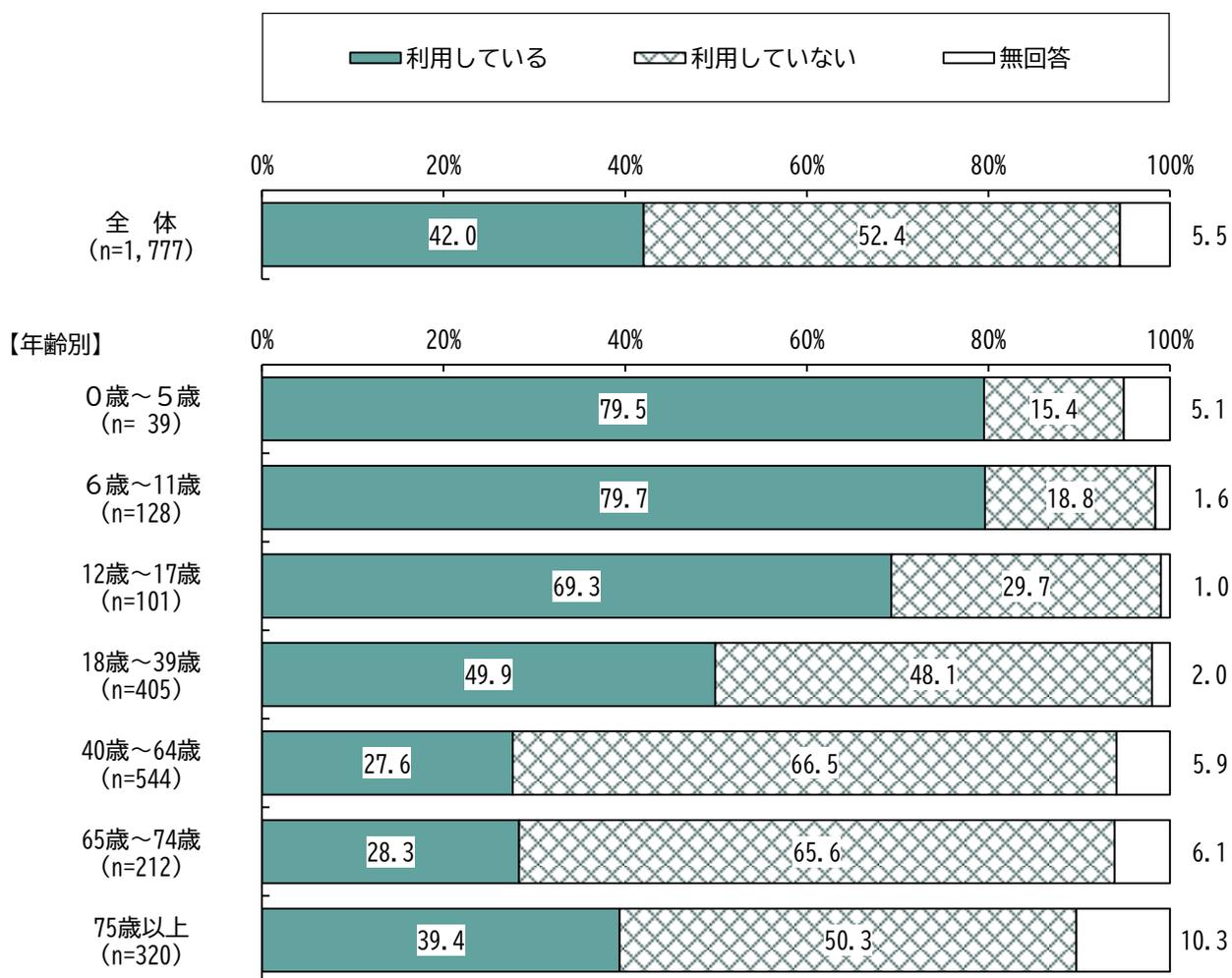
問38 あなたは、福祉サービスを利用していますか。(○は1つ)

「利用している」が42.0%、「利用していない」が52.4%となっています。

障害種別に見ると、“知的障害者”、“重症心身障害児者”、“発達障害者”では「利用している」の割合が多くなっています。



年齢別にみると、“0歳～5歳”、“6歳～11歳”、“12歳～17歳”、“18歳～39歳”では「利用している」の割合が多くなっています。

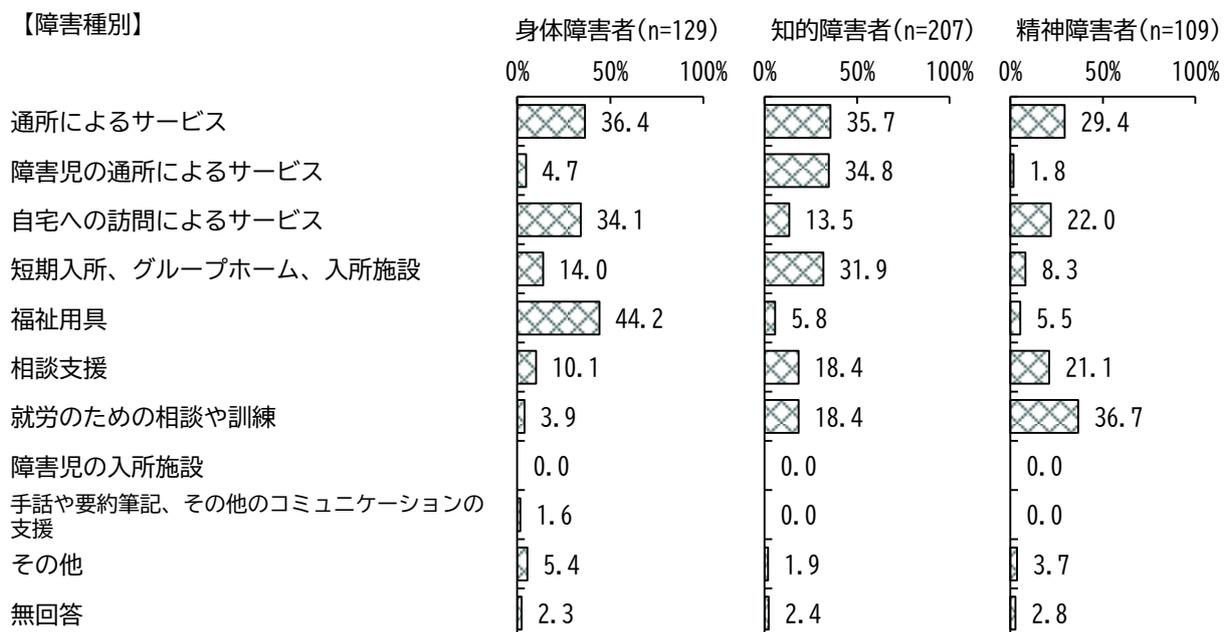
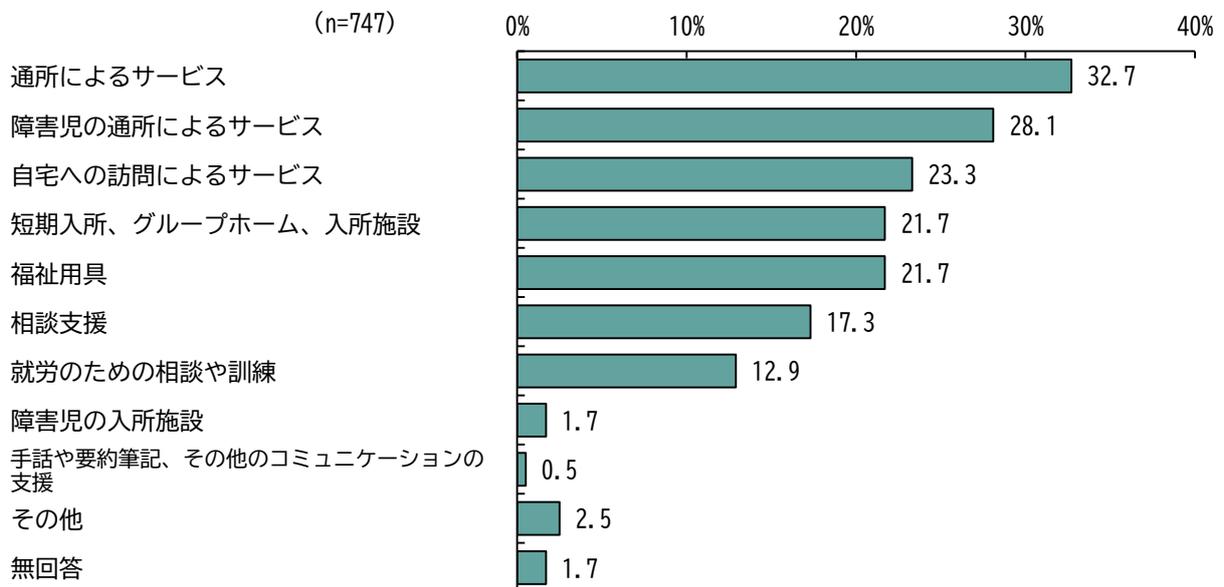


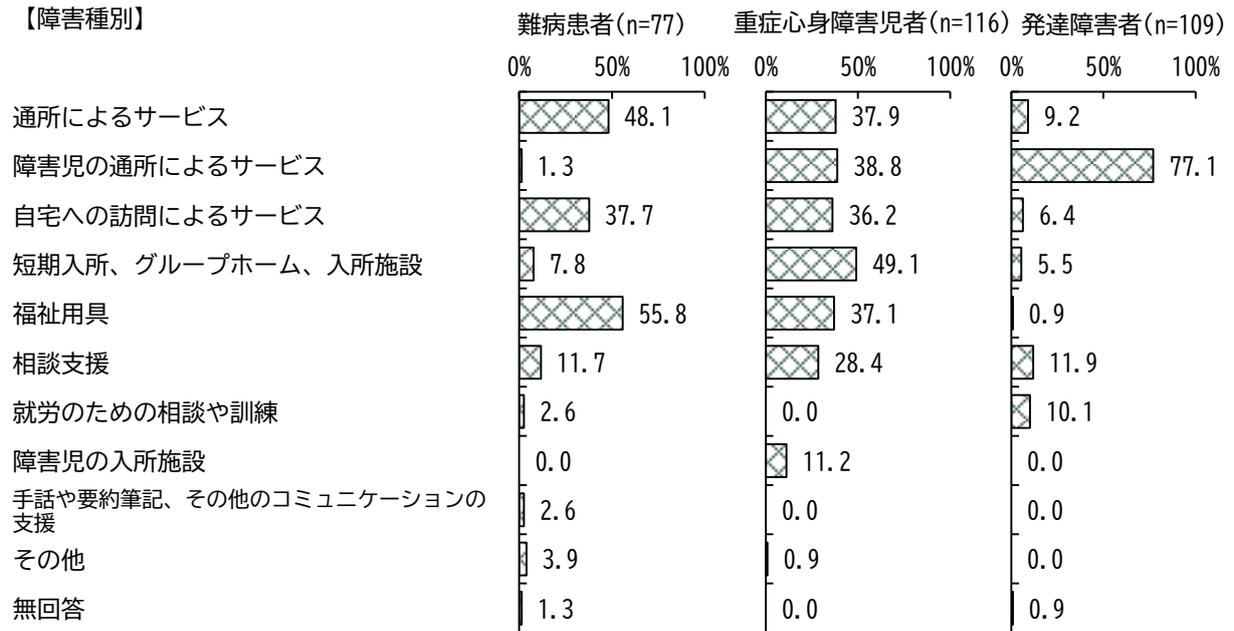
(2) 利用している福祉サービス

問38-1 問38で「1 利用している」とお答えの方にお聞きします。
 どんな福祉サービスを利用していますか。(〇はいくつでも)

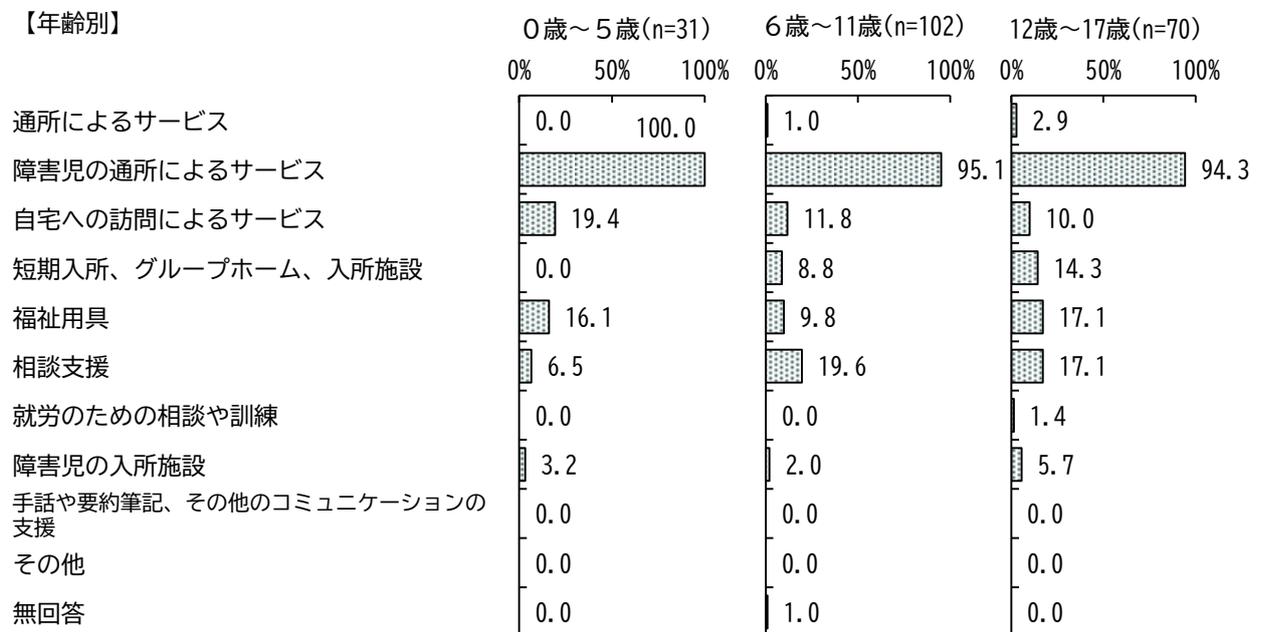
「通所によるサービス(生活介護、自立訓練、地域活動支援センターなど)」が32.7%と最も多く、次いで「障害児の通所によるサービス(児童発達支援、放課後等デイサービスなど)」が28.1%、「自宅への訪問によるサービス(身体介護や家事、移動や外出の援助(ガイドヘルプを含む)など)」が23.3%などとなっています。

障害種別に見ると、“身体障害者”、“難病患者”では「福祉用具」が最も多くなっています。また、“精神障害者”では「就労のための相談や訓練(就労移行支援、就労継続支援など)」が最も多くなっています。また、“重症心身障害児者”では「短期入所、グループホーム、入所施設」が最も多くなっています。また、“発達障害者”では「障害児の通所によるサービス(児童発達支援、放課後等デイサービスなど)」が最も多くなっています。

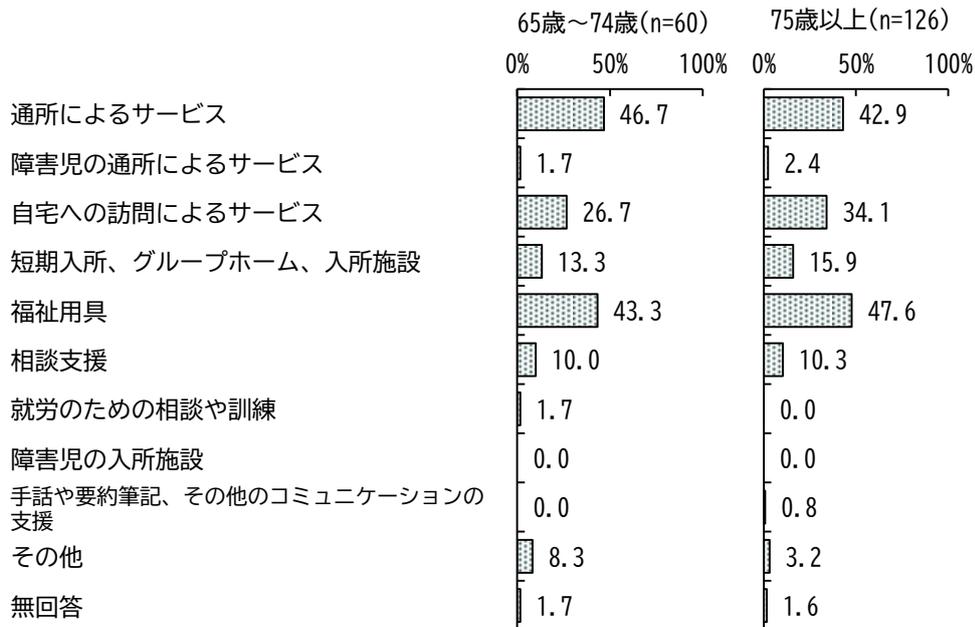
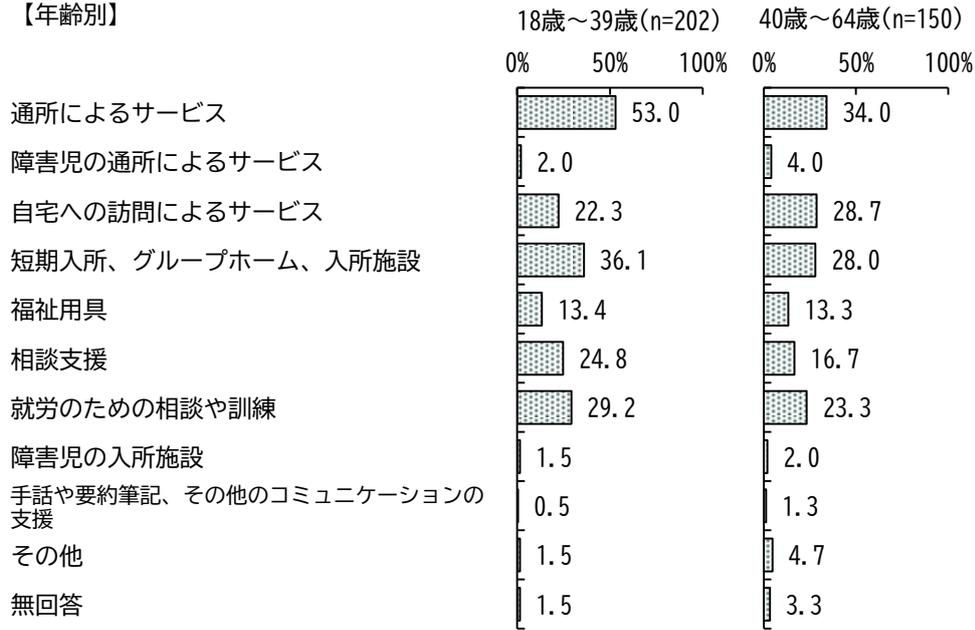




年齢別にみると、“0歳～5歳”、“6歳～11歳”、“12歳～17歳”では「障害児の通所によるサービス（児童発達支援、放課後等デイサービスなど）」が最も多くなっています。また、“75歳以上”では「福祉用具」が最も多くなっています。



【年齢別】

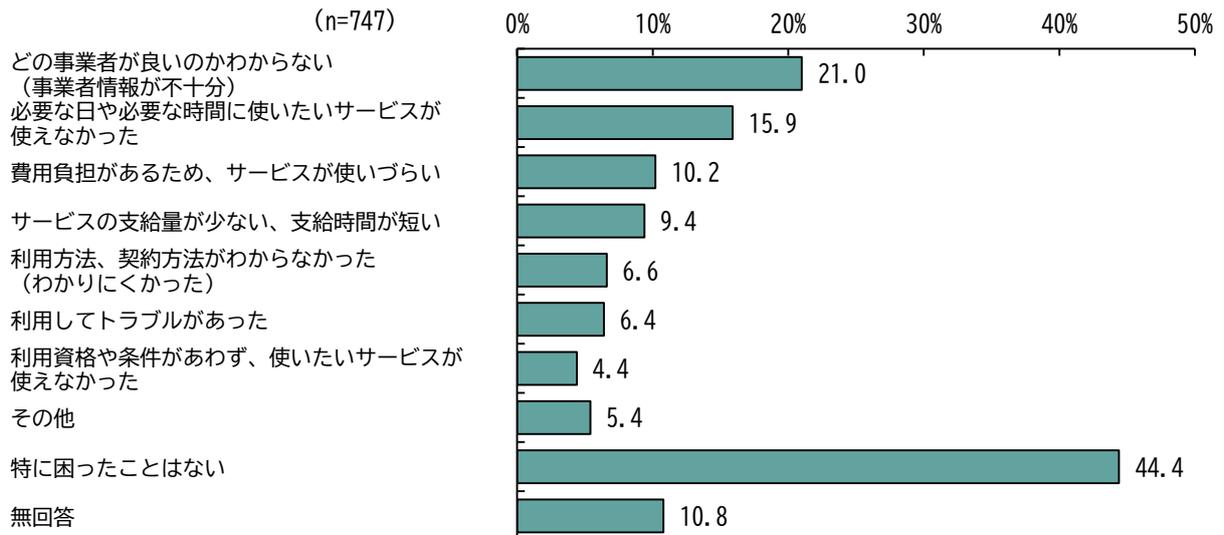


(3) 福祉サービスを利用するときに困ったこと

問38-2 問38で「1 利用している」とお答えの方にお聞きします。

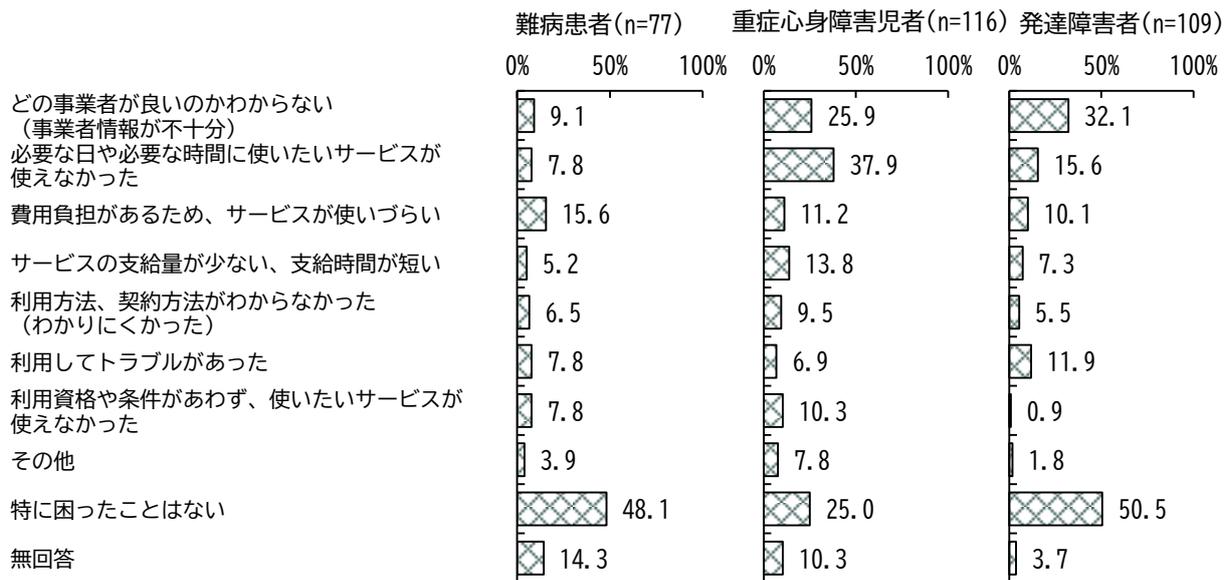
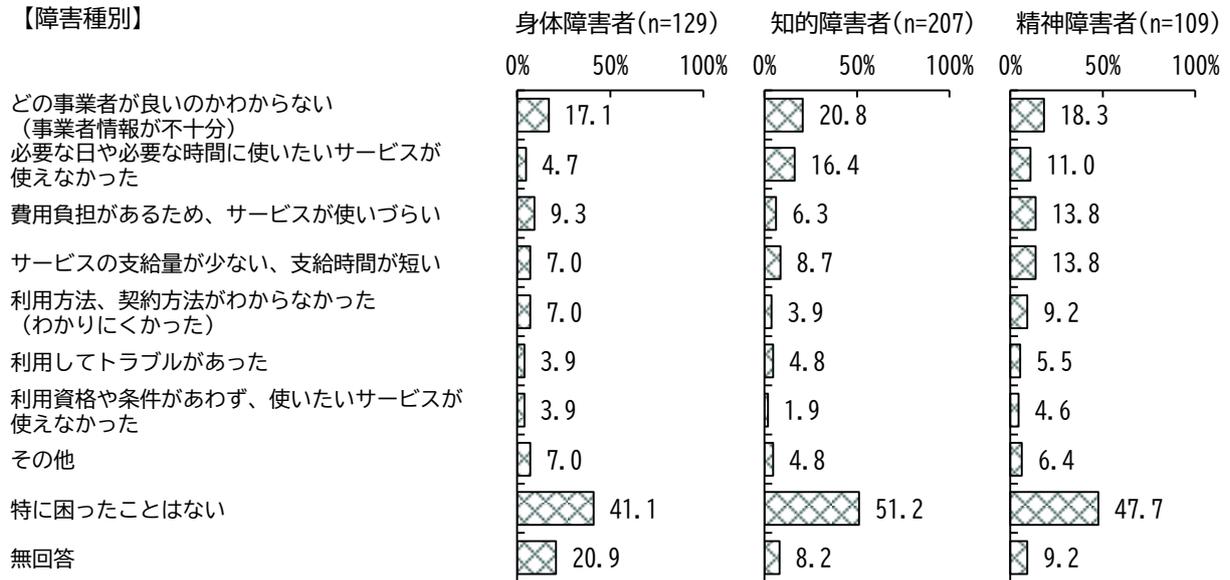
福祉サービスを利用するときに何か困ったことがありましたか。(〇はいくつでも)

「どの事業者が良いのかわからない(事業者情報が不十分)」が21.0%と最も多く、次いで「必要な日や必要な時間に使いたいサービスが使えなかった」が15.9%、「費用負担があるため、サービスが使いづらい」が10.2%などとなっています。また、「特に困ったことはない」が44.4%となっています。



障害種別にみると、“重症心身障害児者”では「必要な日や必要な時間に使いたいサービスが使えなかった」が最も多くなっています。

【障害種別】



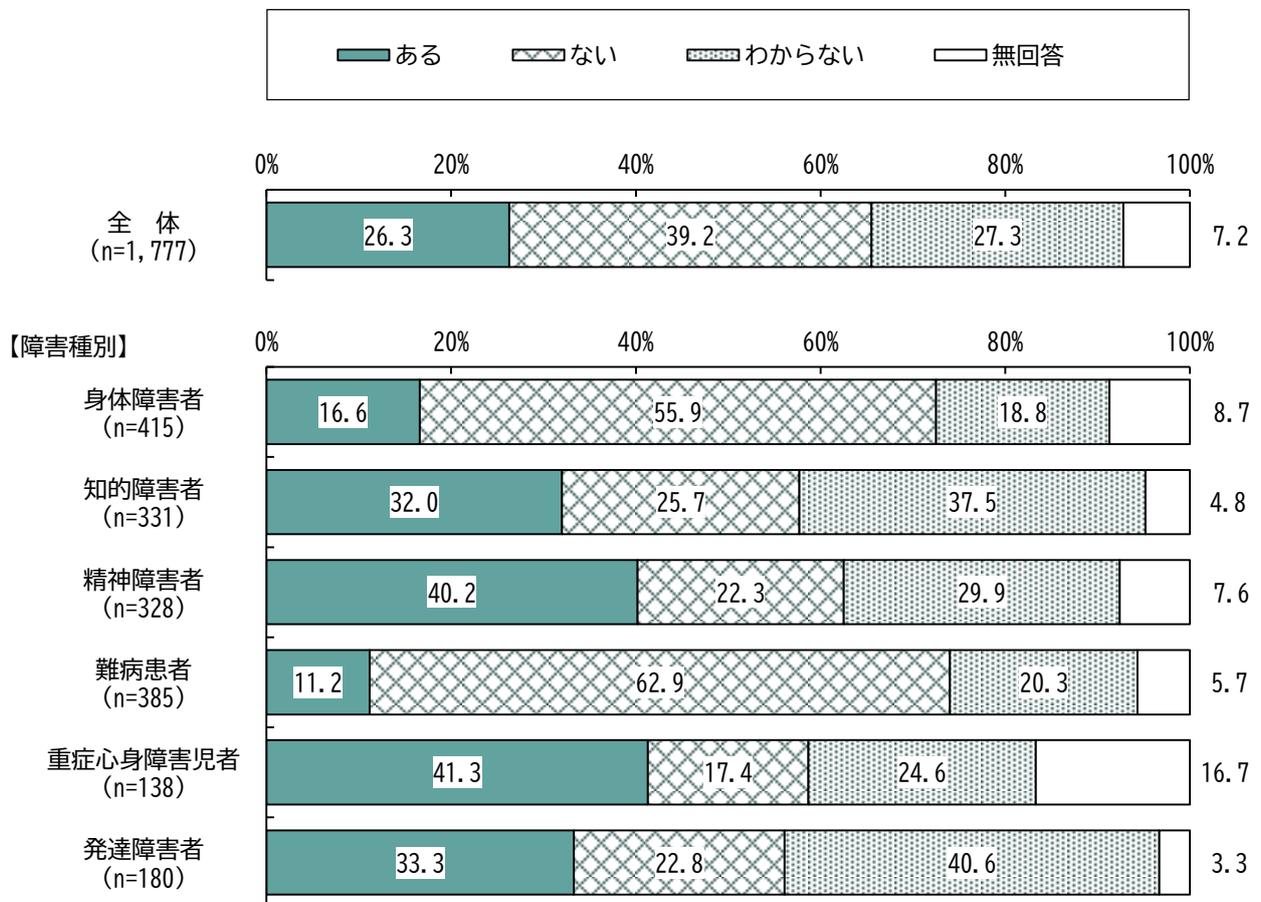
9 権利擁護について

(1) 障害があることを理由とした差別を受けた・差別されたと感じた経験の有無

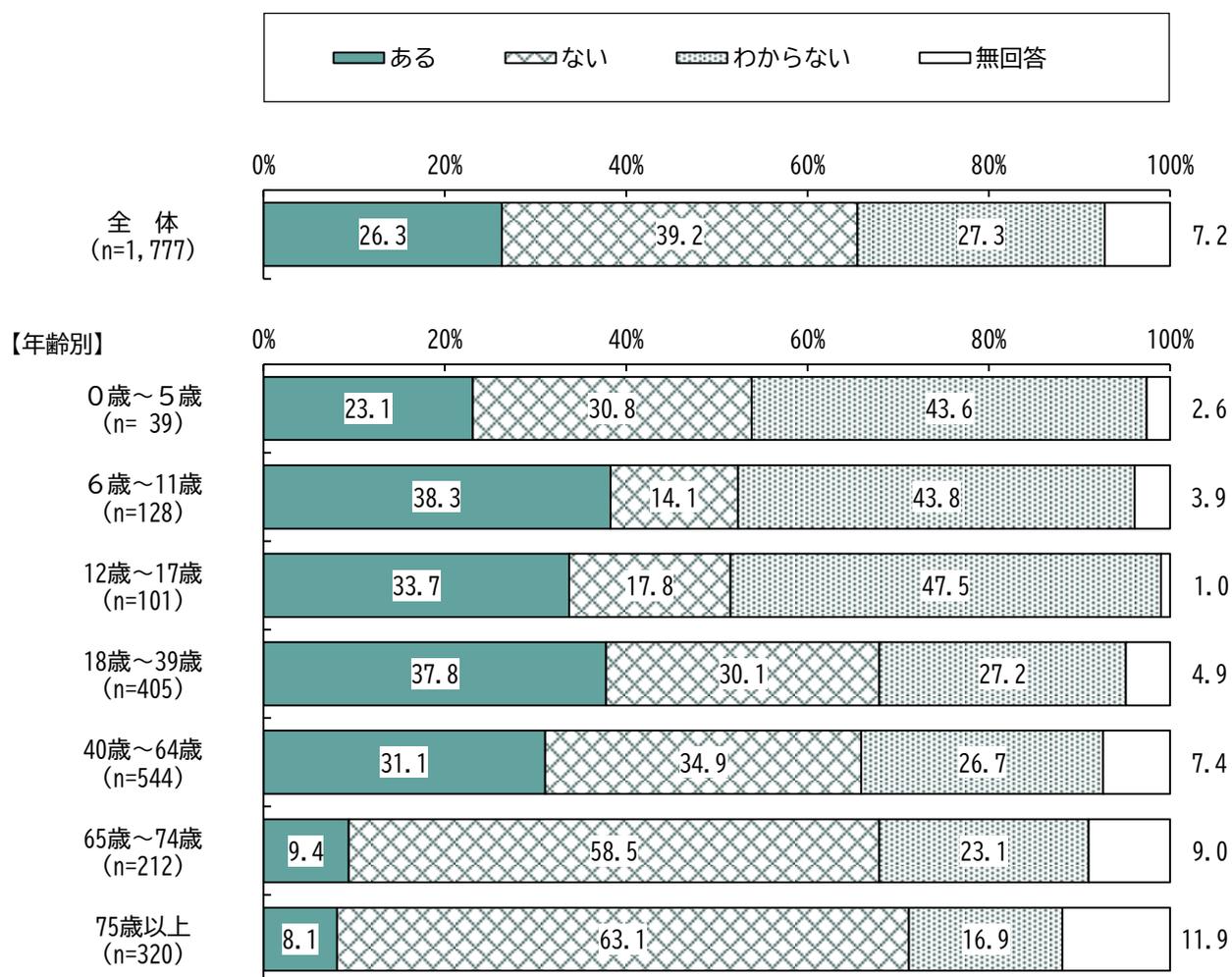
問39 あなたは、これまでに障害があることを理由に差別をされたことや差別されたと感じたことがありますか。(○は1つ)

「ある」が26.3%、「ない」が39.2%、「わからない」が27.3%となっています。

障害種別にみると、“知的障害者”、“発達障害者”では「わからない」が最も多くなっています。また、“精神障害者”、“重症心身障害児者”では「ある」が最も多くなっています。



年齢別にみると、“0歳～5歳”、“6歳～11歳”、“12歳～17歳”では「わからない」が最も多くなっています。また、“18歳～39歳”では「ある」が最も多くなっています。



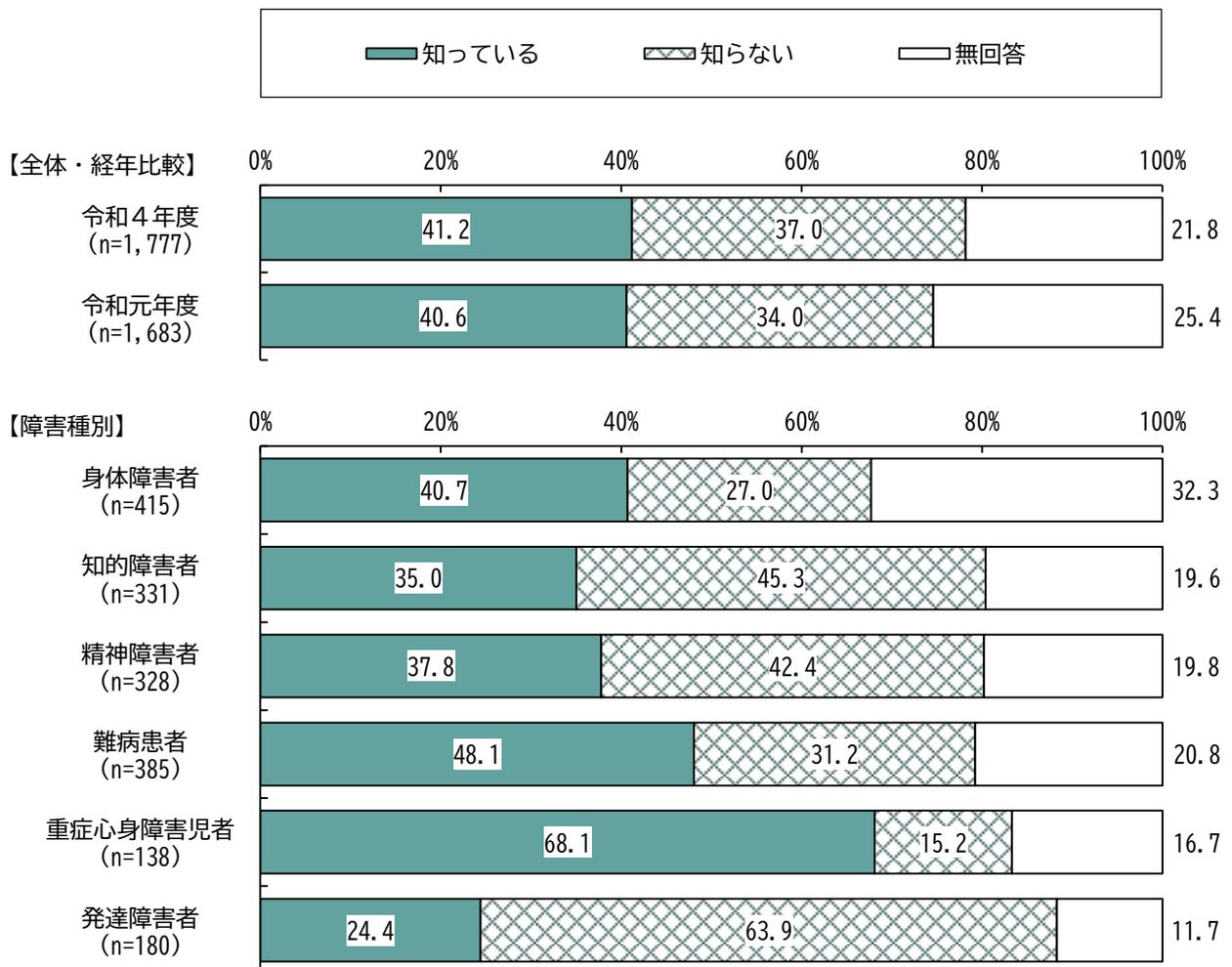
(2) 権利擁護に関する制度の認知度と今後の利用意向

問40 判断力が低下した方や、不当なあつかいをされた方の権利を守るために次のような制度がありますが、あなたはこれらについてどのように考えますか。(①②についてそれぞれ○は1つ)

①成年後見制度<認知度>

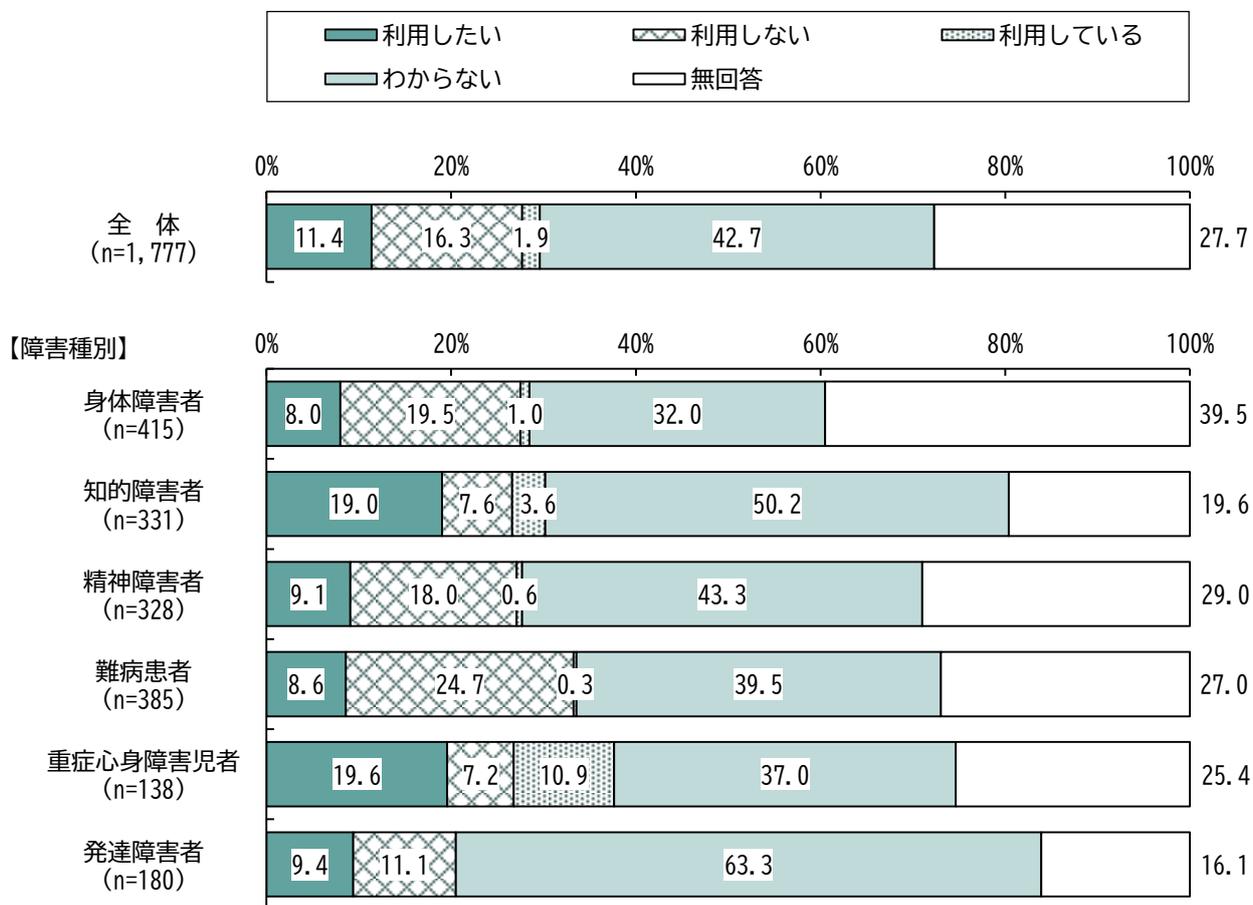
「知っている」が41.2%、「知らない」が37.0%となっています。

障害種別にみると、“知的障害者”、“精神障害者”、“発達障害者”では「知らない」の割合が多くなっています。



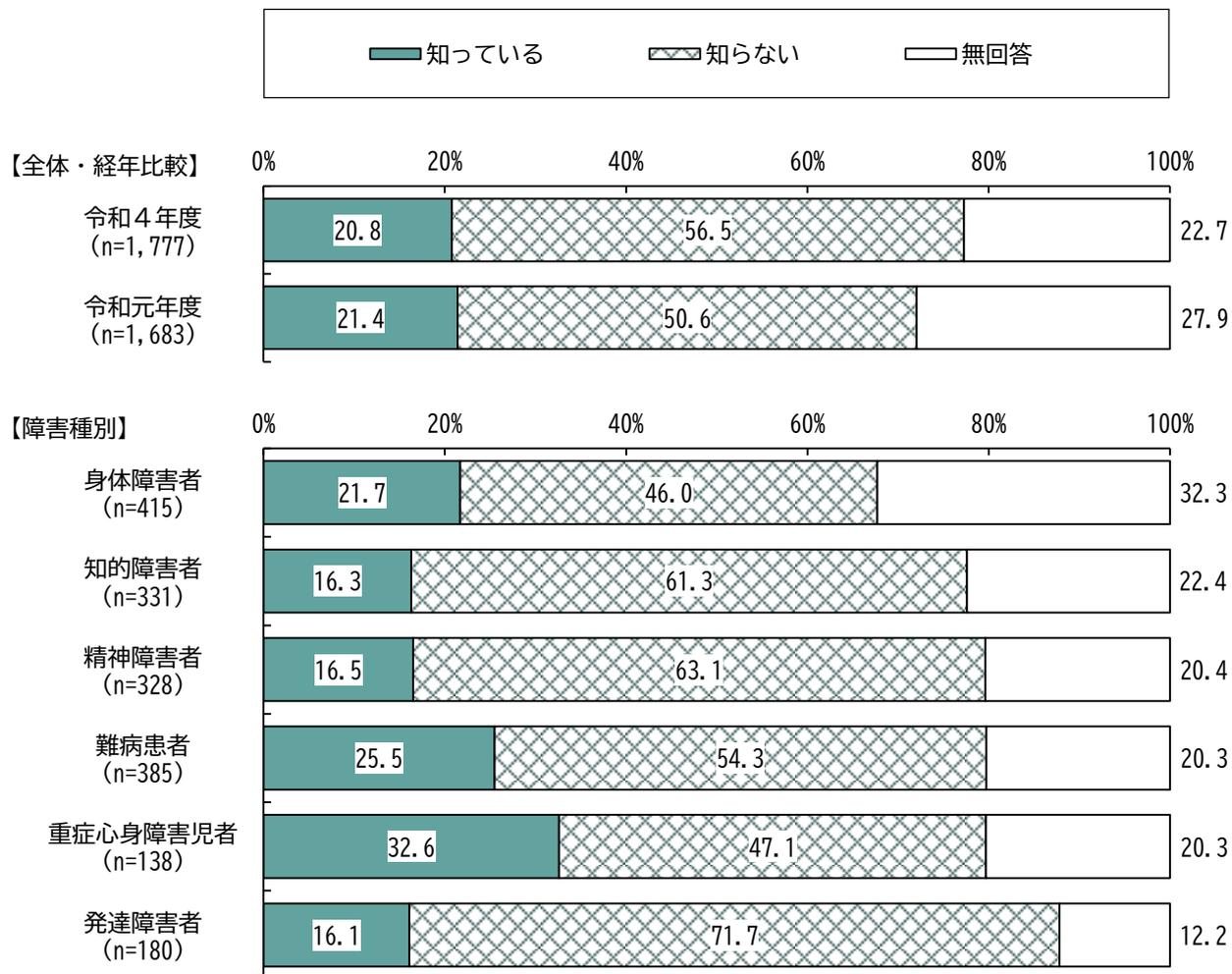
①成年後見制度<今後の利用意向>

「利用したい」が11.4%、「利用しない」が16.3%、「利用している」が1.9%、「わからない」が42.7%となっています。



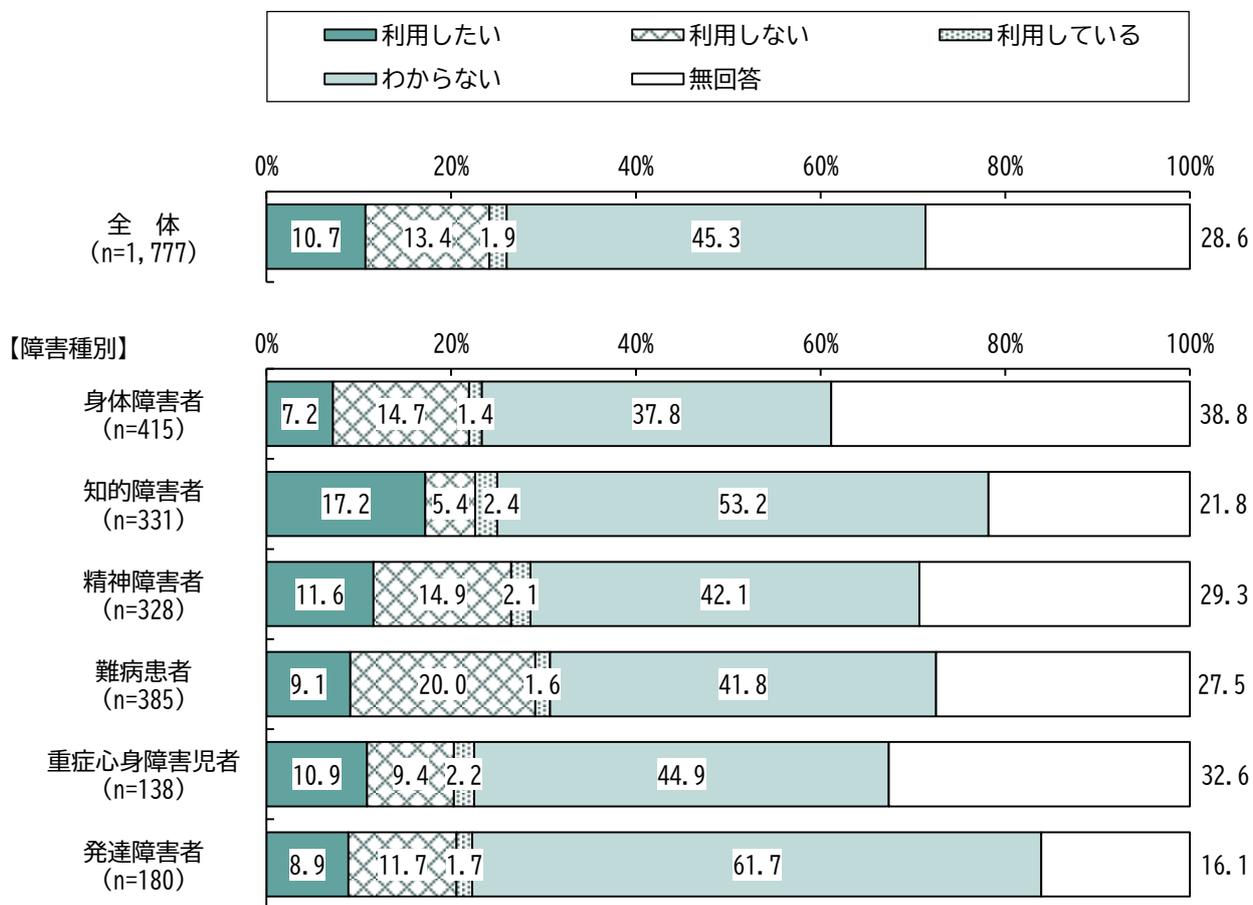
②日常生活自立支援事業<認知度>

「知っている」が20.8%、「知らない」が56.5%となっています。



②日常生活自立支援事業<今後の利用意向>

「利用したい」が10.7%、「利用しない」が13.4%、「利用している」が1.9%、「わからない」が45.3%となっています。



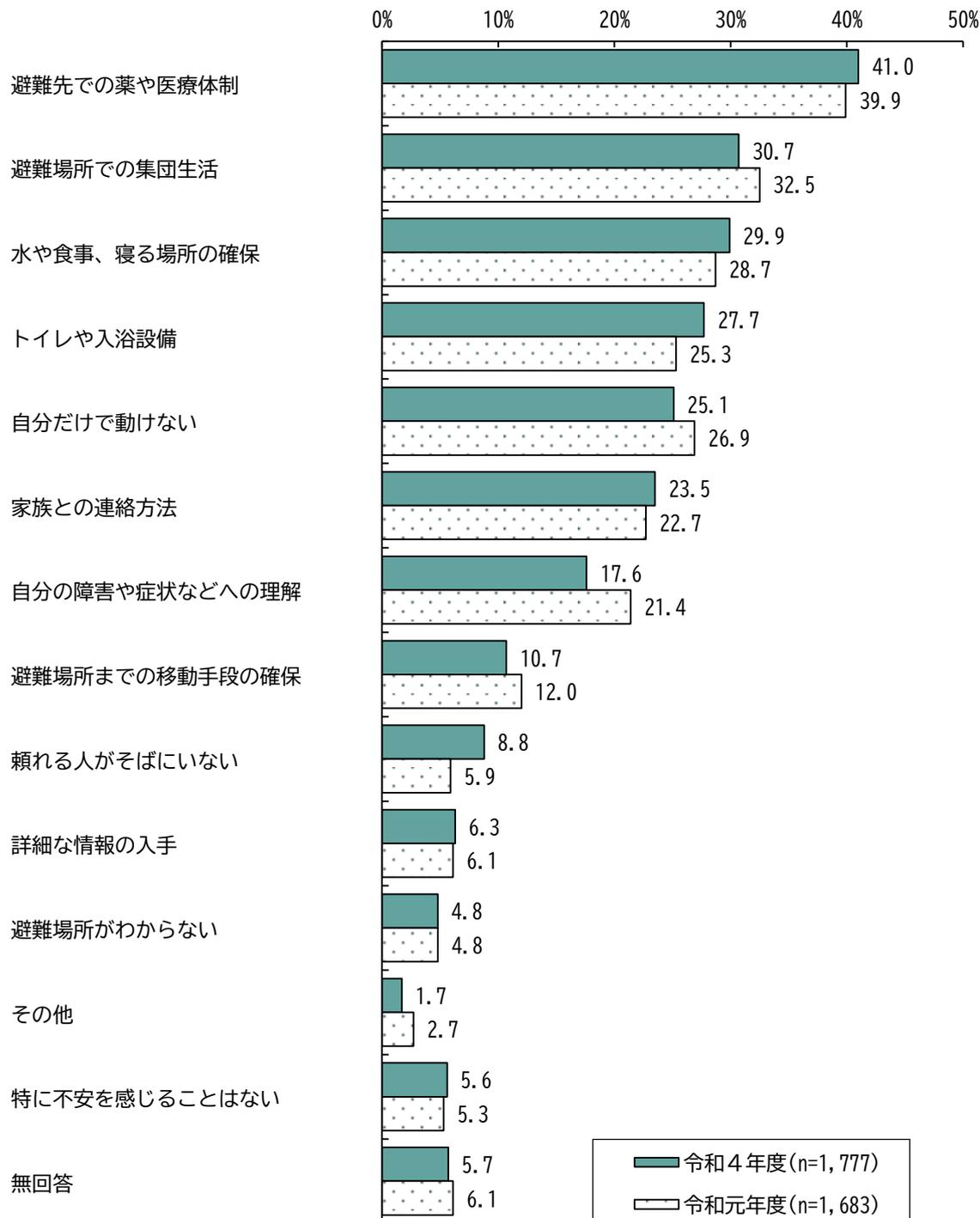
10 災害対策について

(1) 災害発生時の不安

問41 あなたは、災害が発生したとき、どのようなことに不安を感じますか。(〇は3つまで)

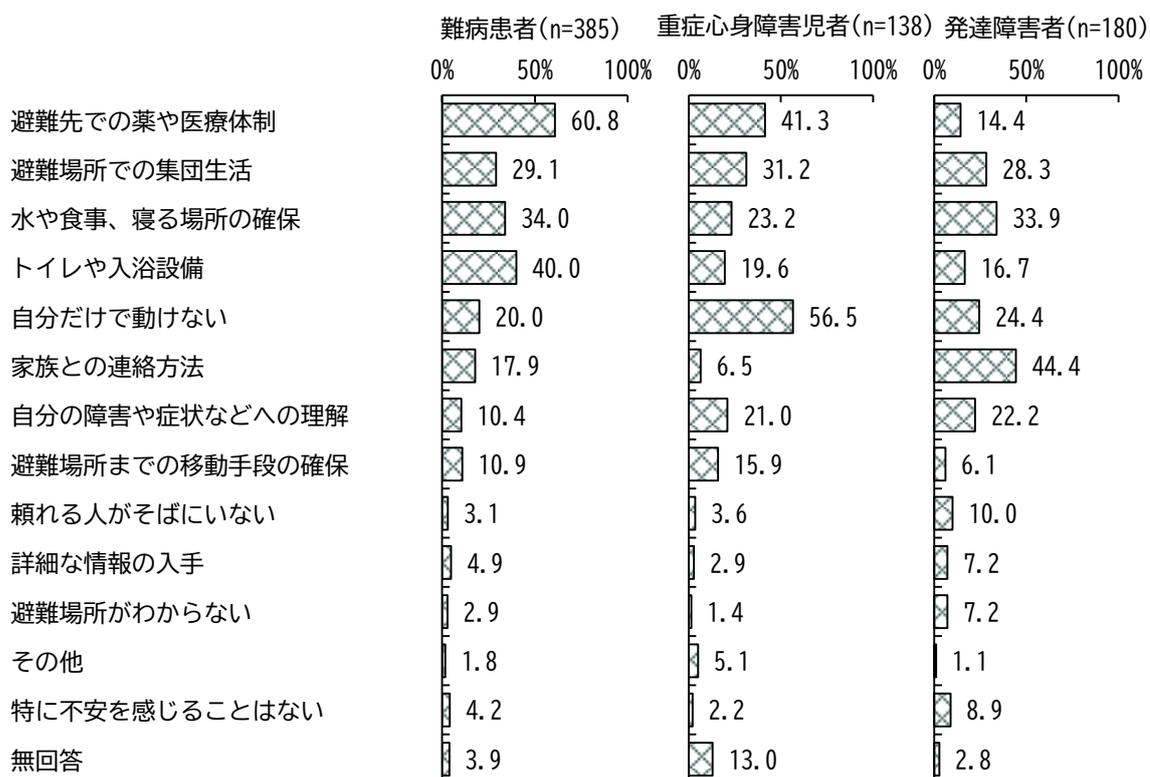
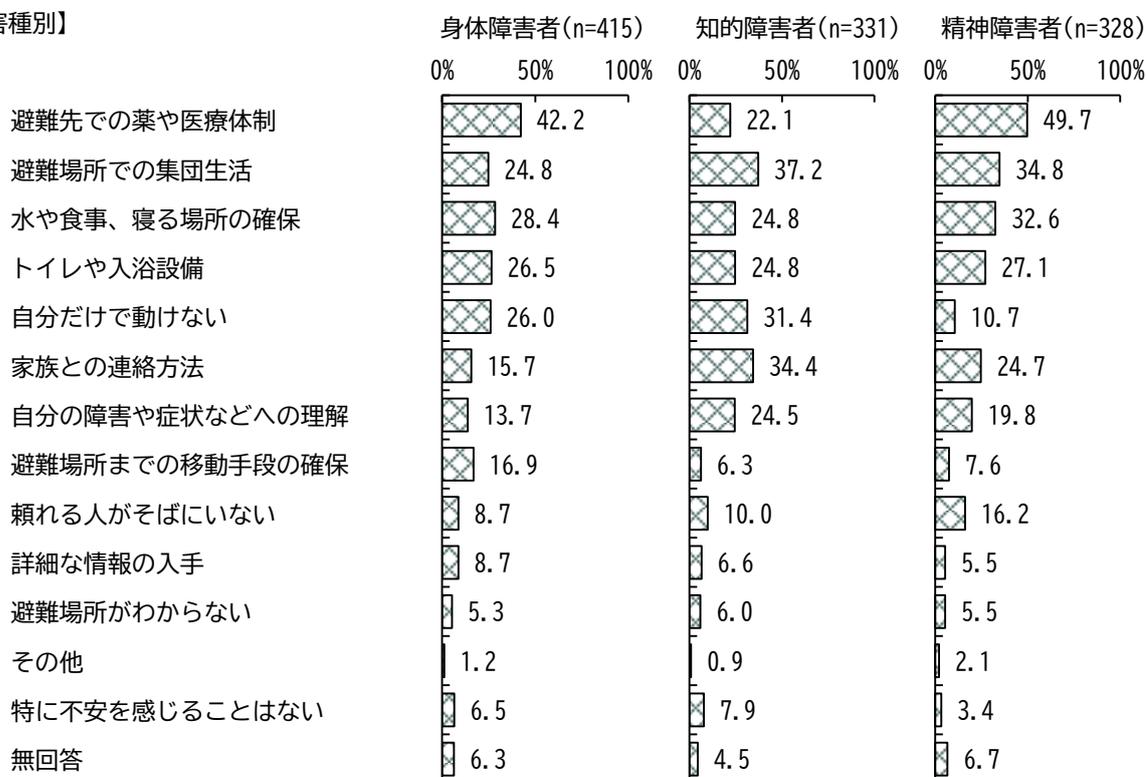
「避難先での薬や医療体制」が41.0%と最も多く、次いで「避難場所での集団生活」が30.7%、「水や食事、寝る場所の確保」が29.9%などとなっています。

【全体・経年比較】



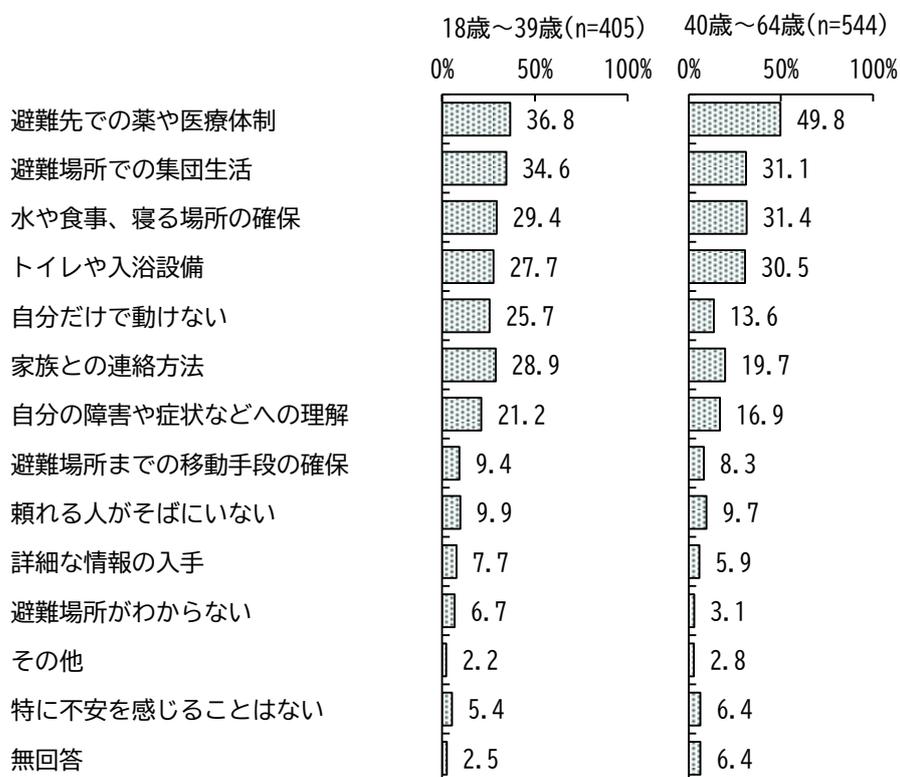
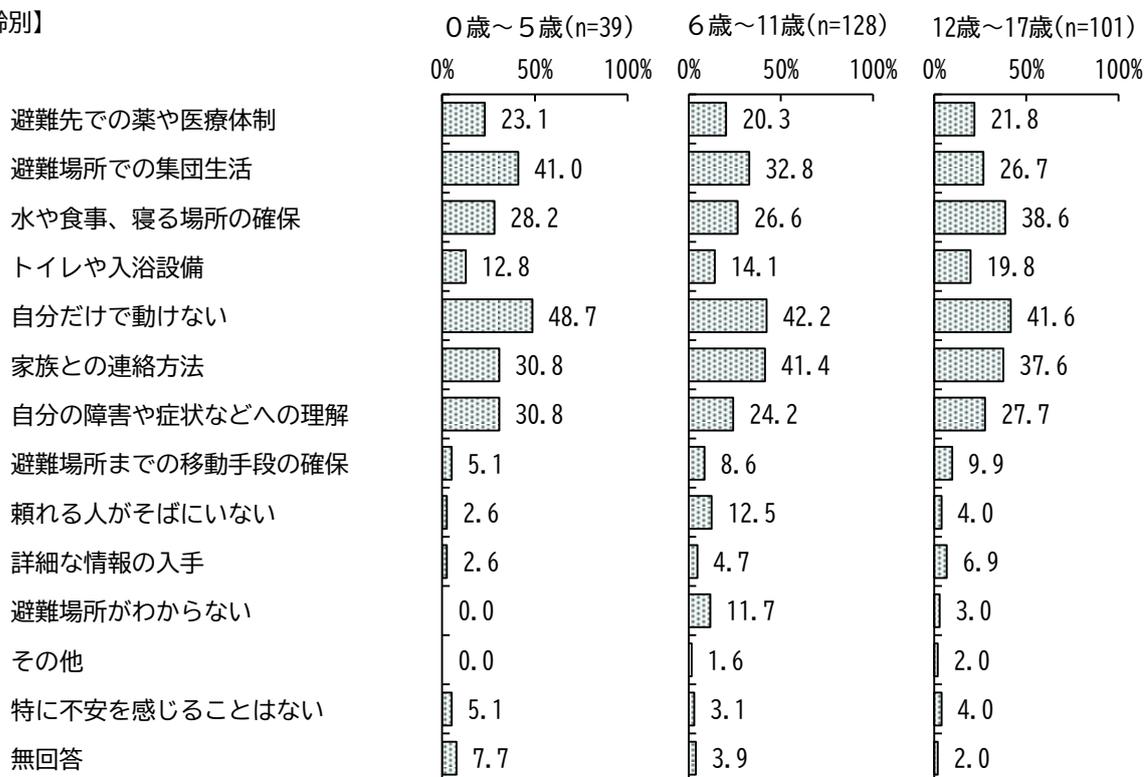
障害種別にみると、“知的障害者”では「避難場所での集団生活」が最も多くなっています。また、“重症心身障害児者”では「自分だけで動けない」が最も多くなっています。また、“発達障害者”では「家族との連絡方法」が最も多くなっています。

【障害種別】

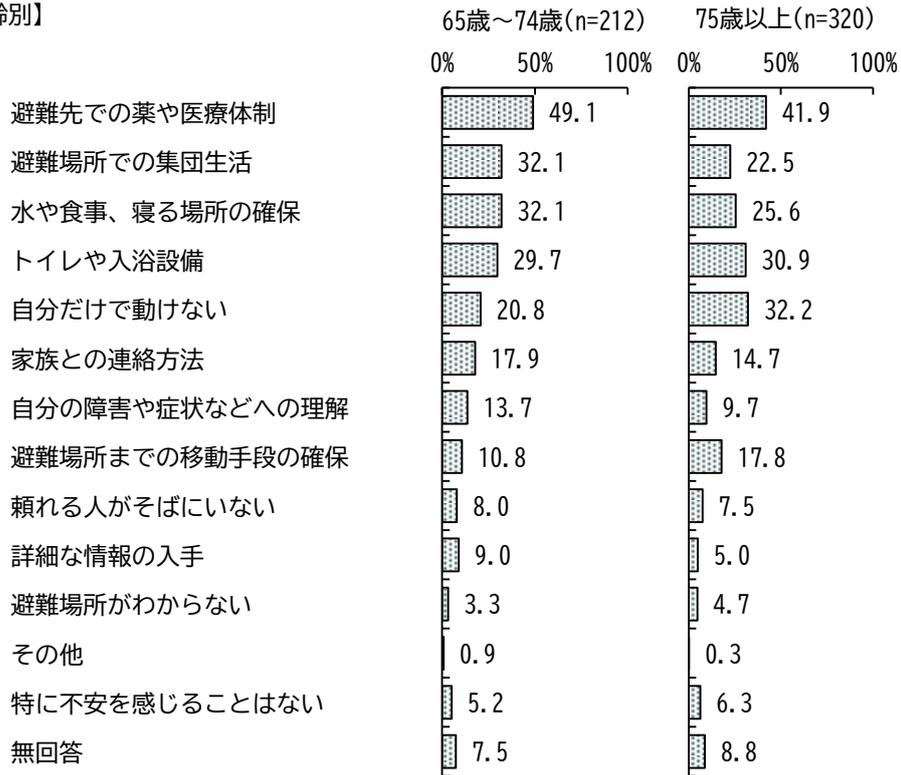


年齢別にみると、“0歳～5歳”、“12歳～17歳”では「自分だけで動けない」が最も多くなっています。

【年齢別】



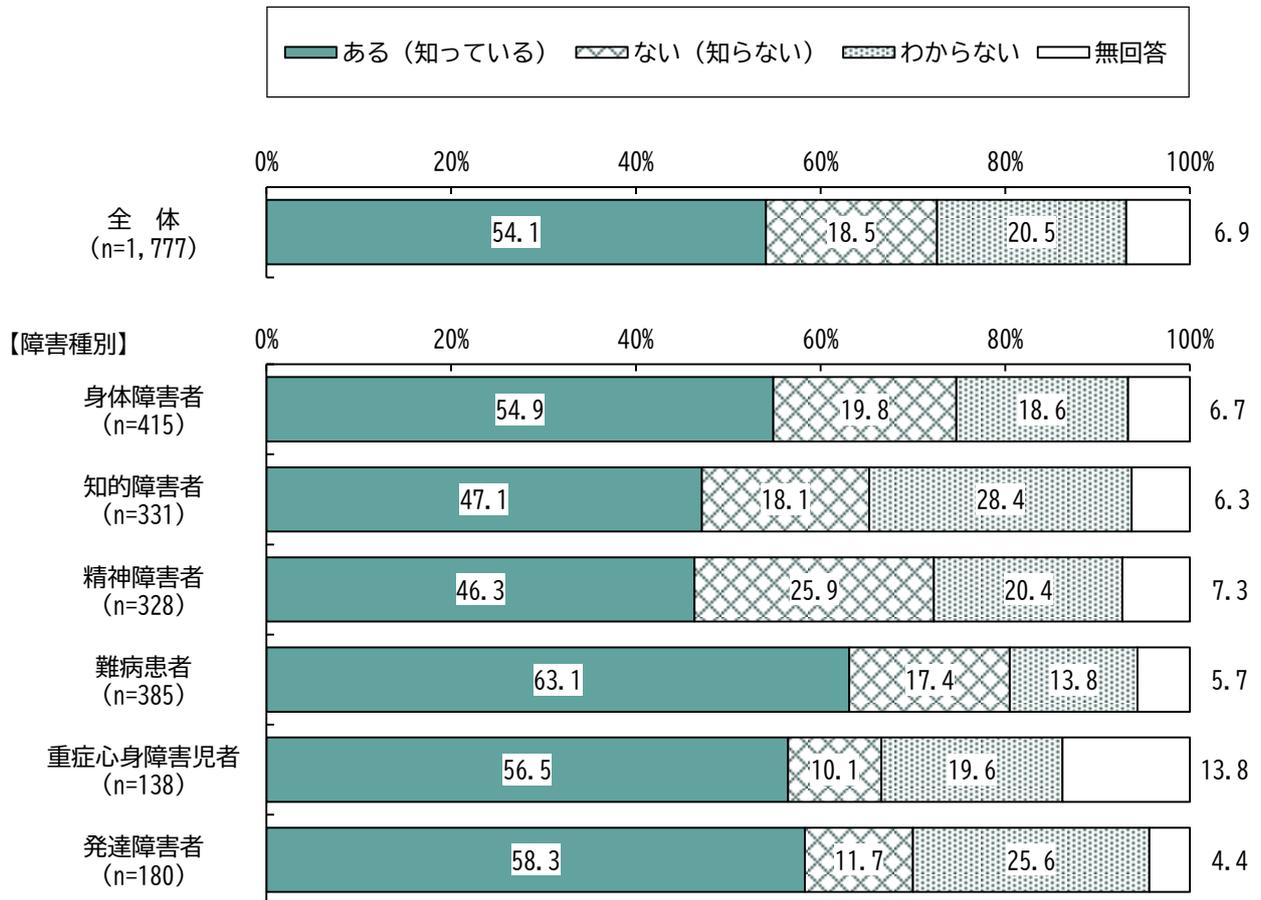
【年齢別】



(2) 災害発生時の自宅以外の避難場所の有無・避難場所の認知度

問42 あなたは、災害が発生したとき、自宅以外の避難場所がありますか。または、避難場所を知っていますか。(○は1つ)

「ある(知っている)」が54.1%、「ない(知らない)」が18.5%、「わからない」が20.5%となっています。

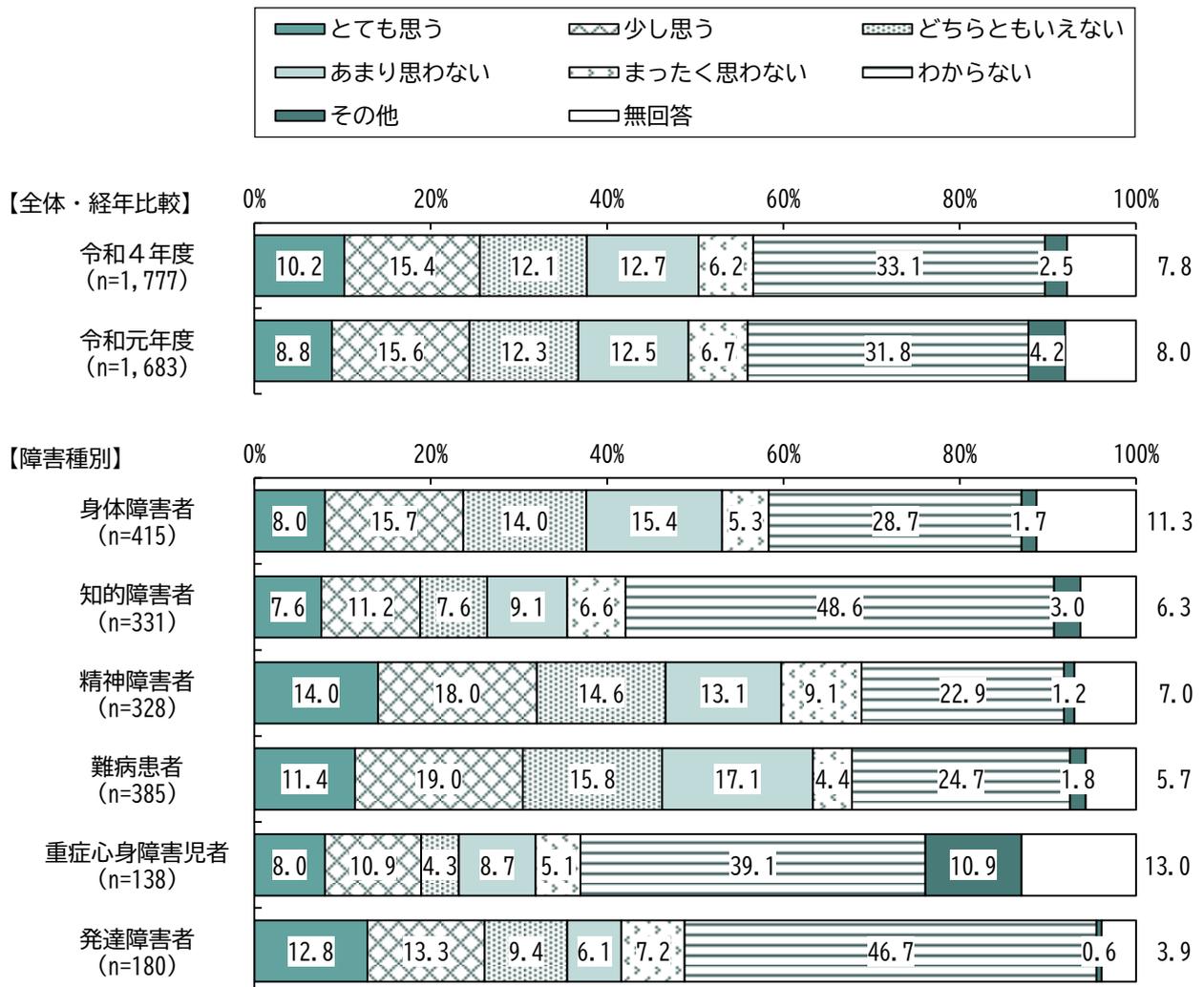


11 ピアサポート活動について

(1) 同じ障害や病気をもつ人への支援をしたいと思うか

問43 あなたは、あなた自身の障害や病気の経験を活かして、同じ障害や病気をもつ方への支援をしたいと思いますか。(○は1つ)

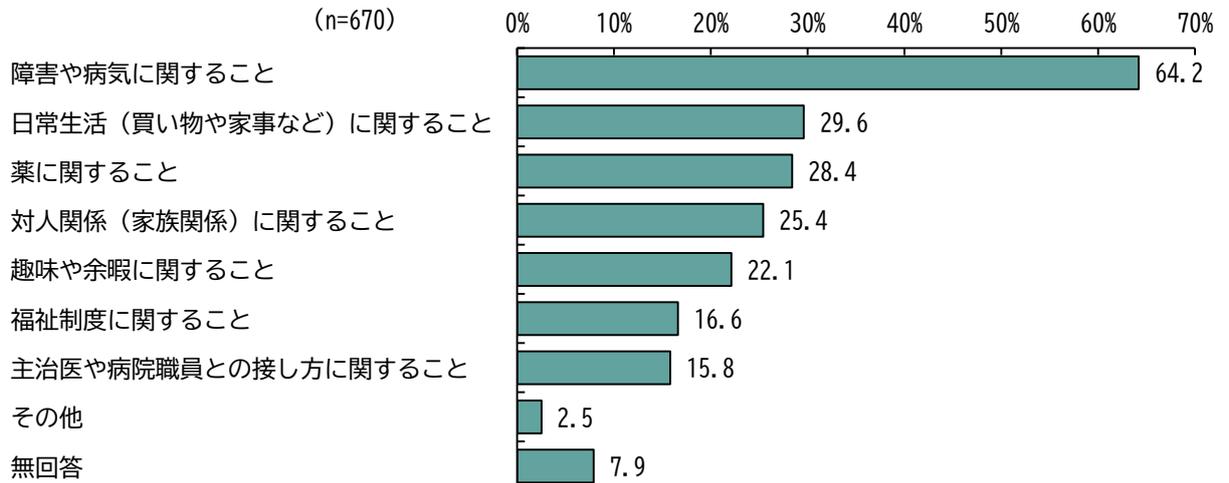
「わからない」が33.1%と最も多く、次いで「少し思う」が15.4%、「あまり思わない」が12.7%などとなっています。



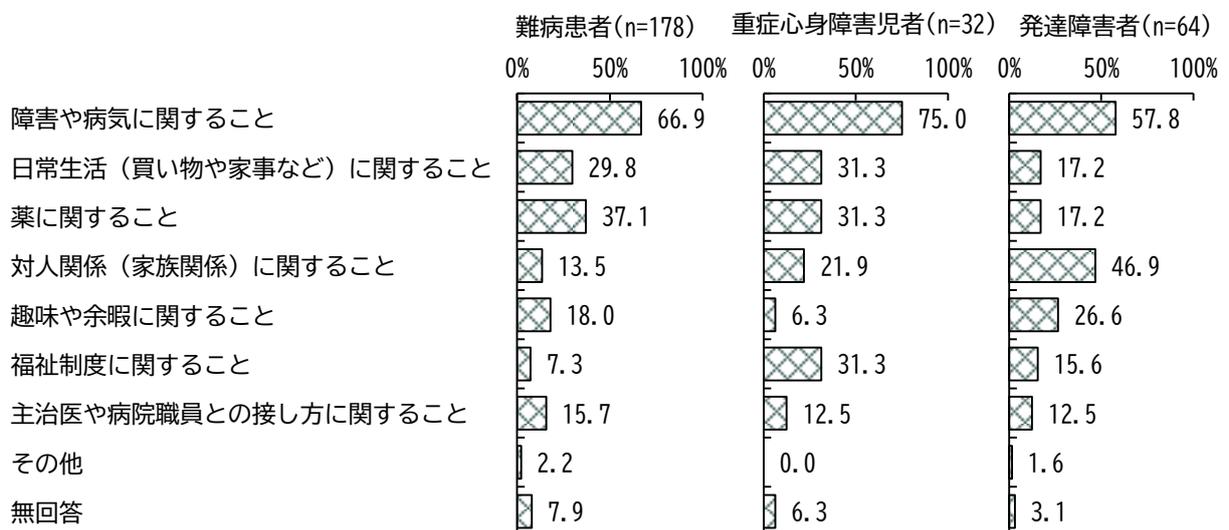
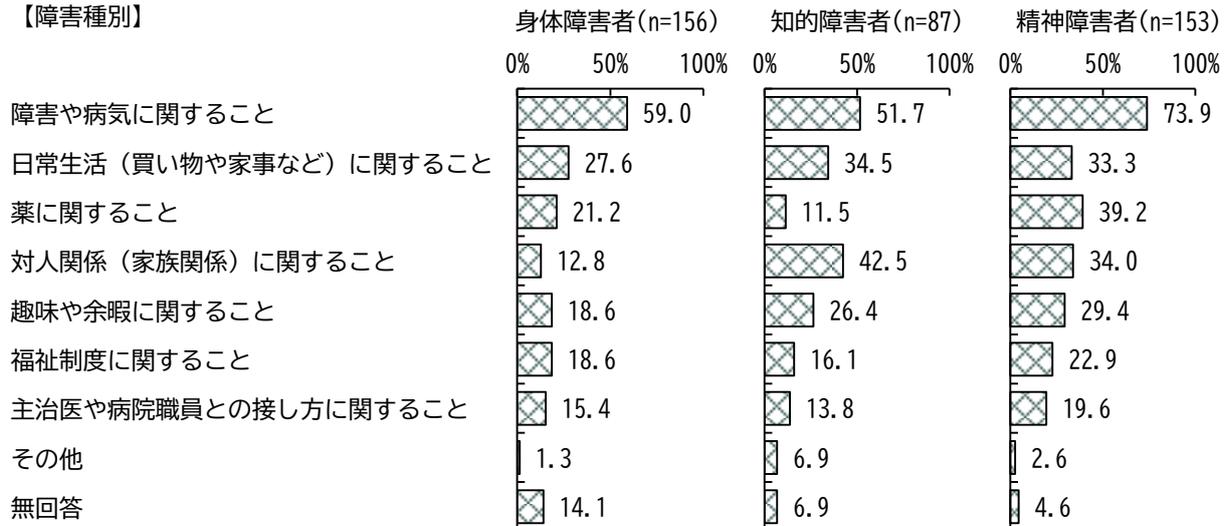
(2) 同じ障害や病気をもつ人へ支援する上で役立てたい経験

(問43で「1」～「3」とお答えの方(同じ障害や病気をもつ方への支援をしたいと思う方)にお聞きします。)
 問43-1 あなたは、同じ障害や病気をもつ方へ支援するにあたり、あなた自身のどのような経験を役立てたいと思いますか。(〇はいくつでも)

「障害や病気に関すること」が64.2%と最も多く、次いで「日常生活(買い物や家事など)に関すること」が29.6%、「薬に関すること」が28.4%などとなっています。



【障害種別】



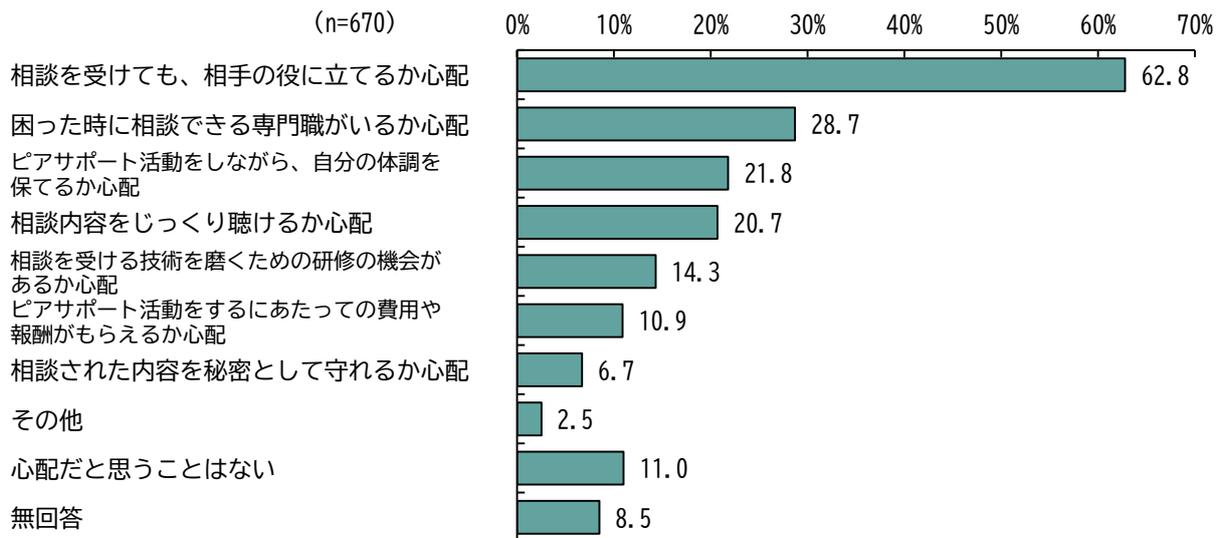
(3) 同じ障害や病気をもつ人へ支援する上で心配なこと

(問43で「1」～「3」とお答えの方(同じ障害や病気をもつ方への支援をしたいと思う方)にお聞きます。)

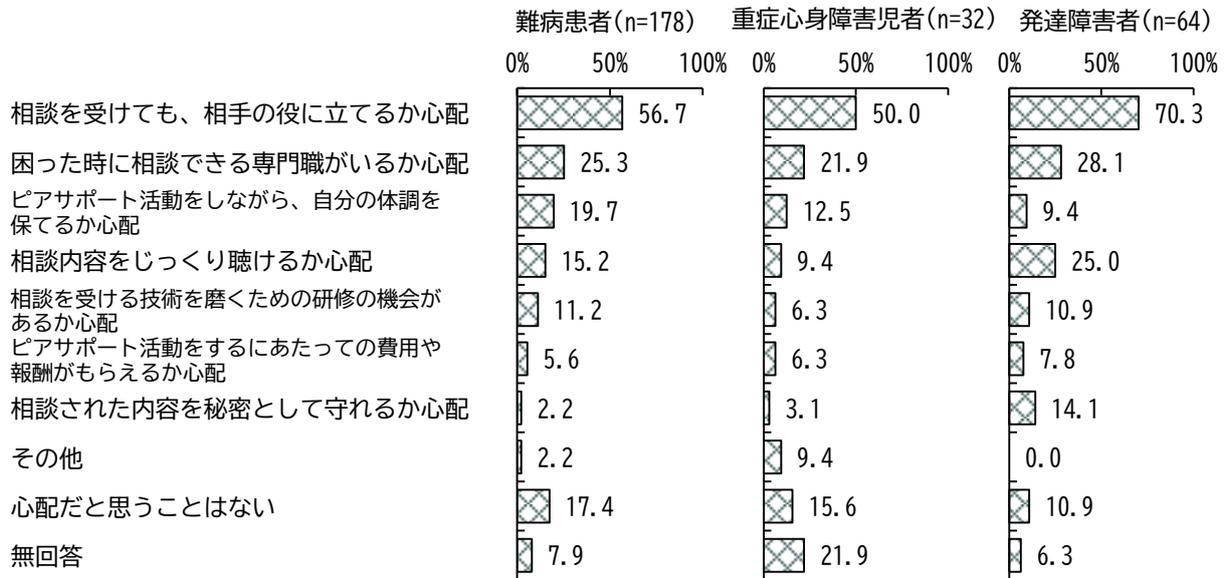
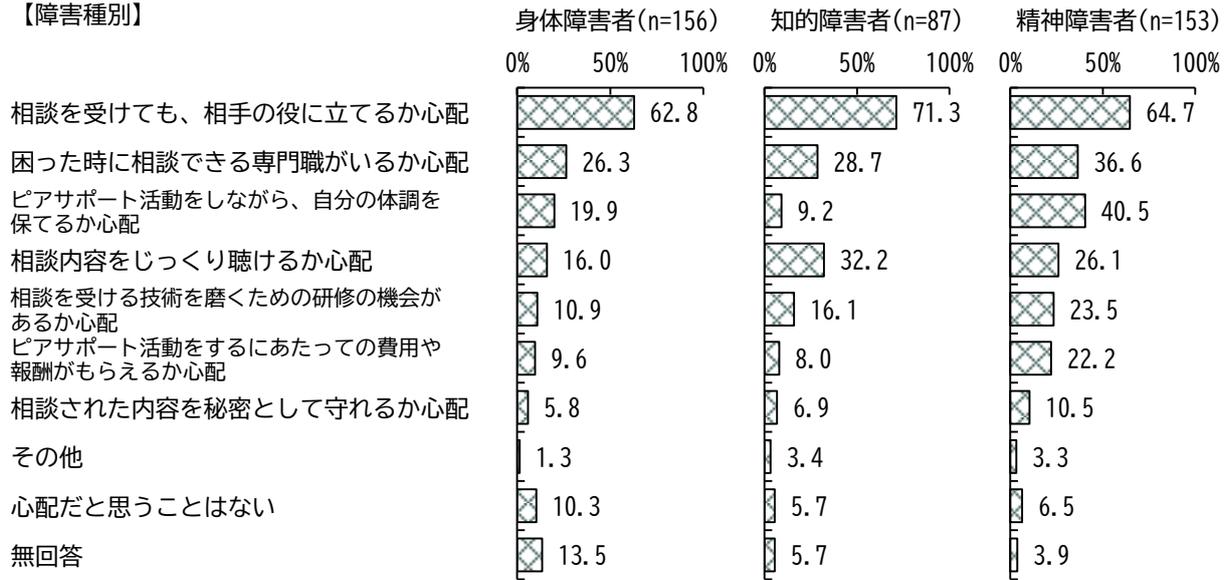
問43-2 あなたは、同じ障害や病気をもつ方へ支援するにあたり、心配だと思うことはありますか。

(○はいくつでも)

「相談を受けても、相手の役に立てるか心配」が62.8%と最も多く、次いで「困った時に相談できる専門職がいるか心配」が28.7%、「ピアサポート活動しながら、自分の体調を保てるか心配」が21.8%などとなっています。



【障害種別】



12 啓発について

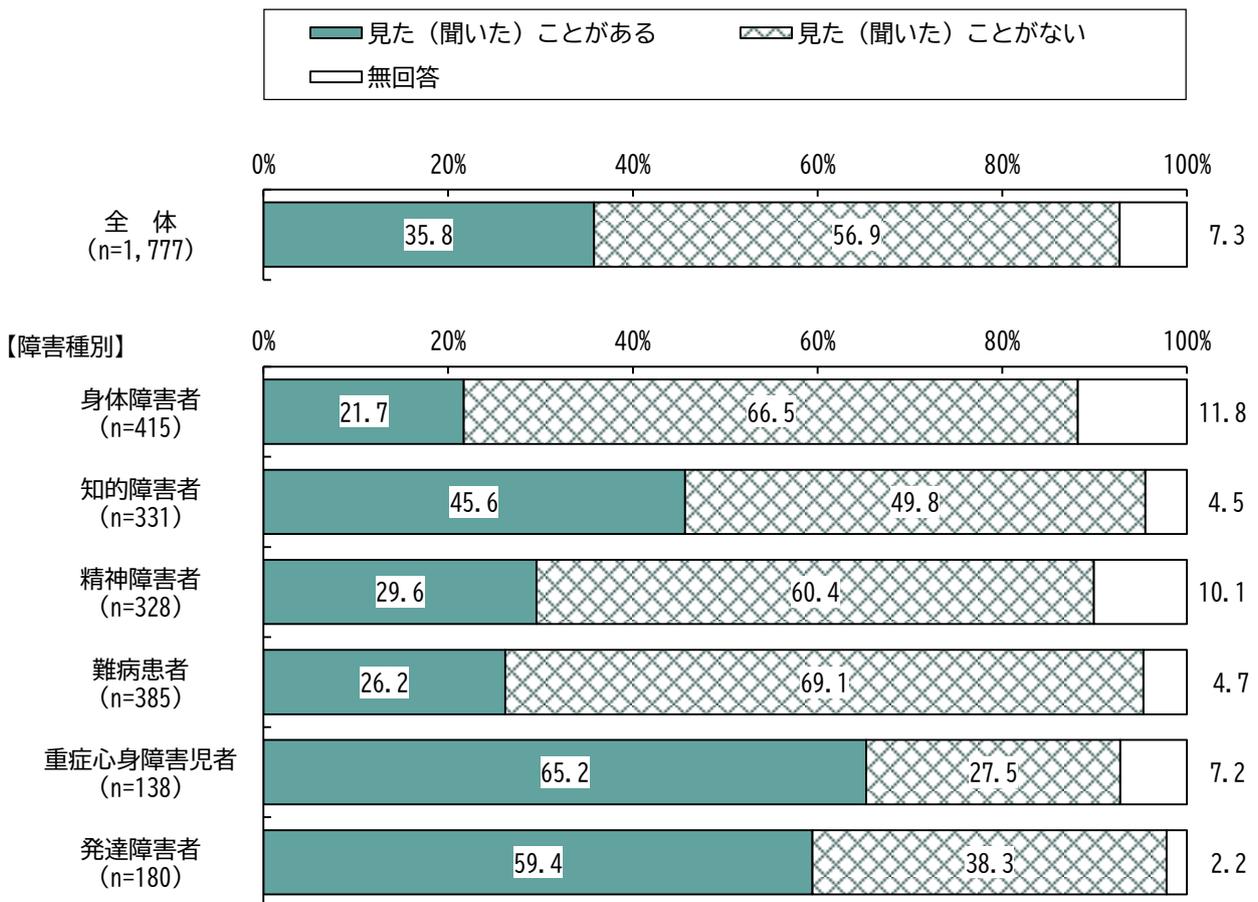
(1) 「共にささえあい 生きる社会」のキャッチフレーズやデザインの認知度

問44 相模原市では、障害の有無にかかわらずあらゆる人の尊厳が守られ、安全で安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、「共にささえあい 生きる社会」のキャッチフレーズのもと、様々な事業を行っています。あなたは、このキャッチフレーズを聞いたり、次のデザインを見たりしたことがありますか。(○は1つ)

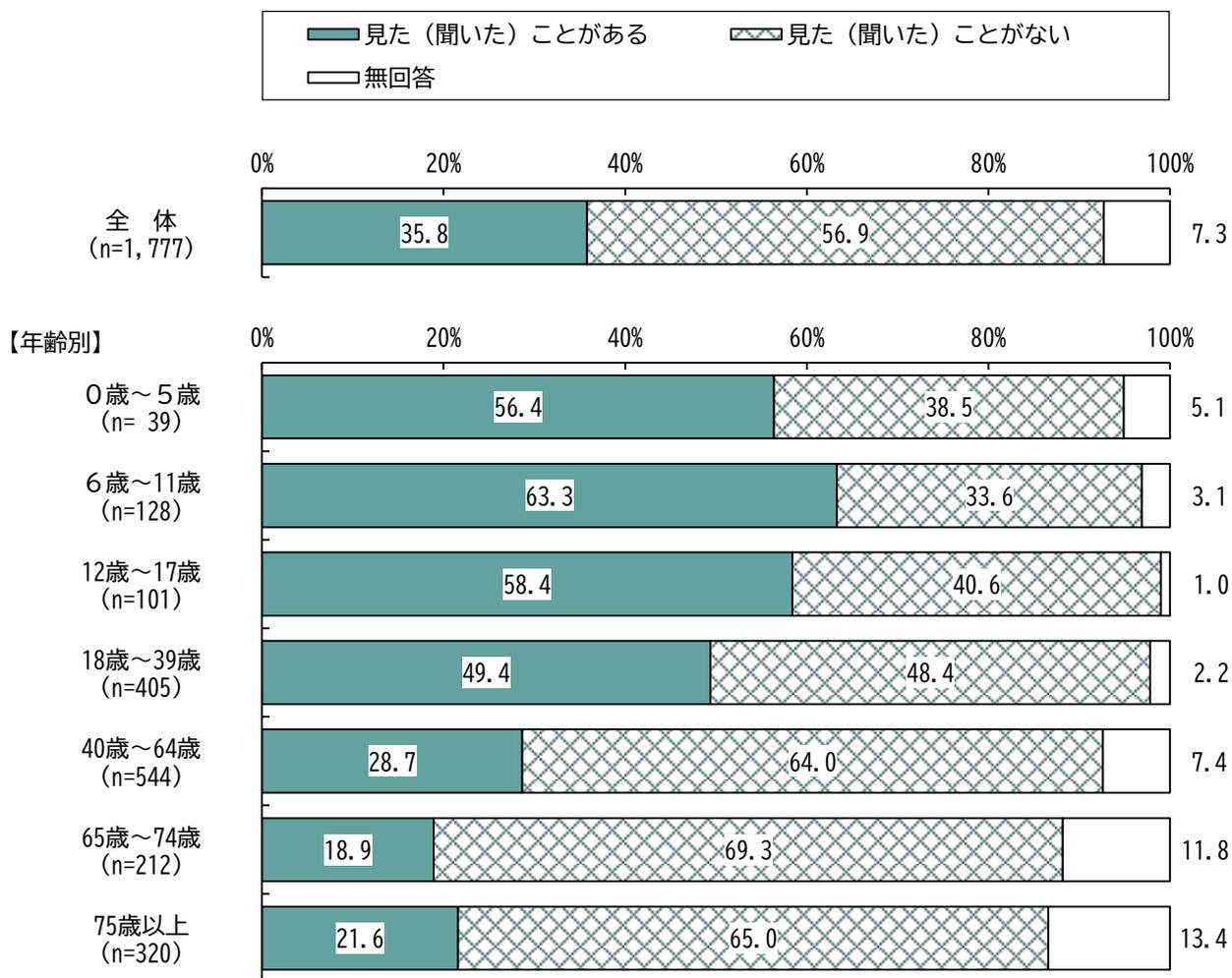


「見た（聞いた）ことがある」が35.8%、「見た（聞いた）ことがない」が56.9%となっています。

障害種別にみると、“重症心身障害児者”、“発達障害者”では「見た（聞いた）ことがある」の割合が多くなっています。



年齢別にみると、“0歳～5歳”、“6歳～11歳”、“12歳～17歳”、“18歳～39歳”では「見た（聞いた）ことがある」の割合が最も多くなっています。

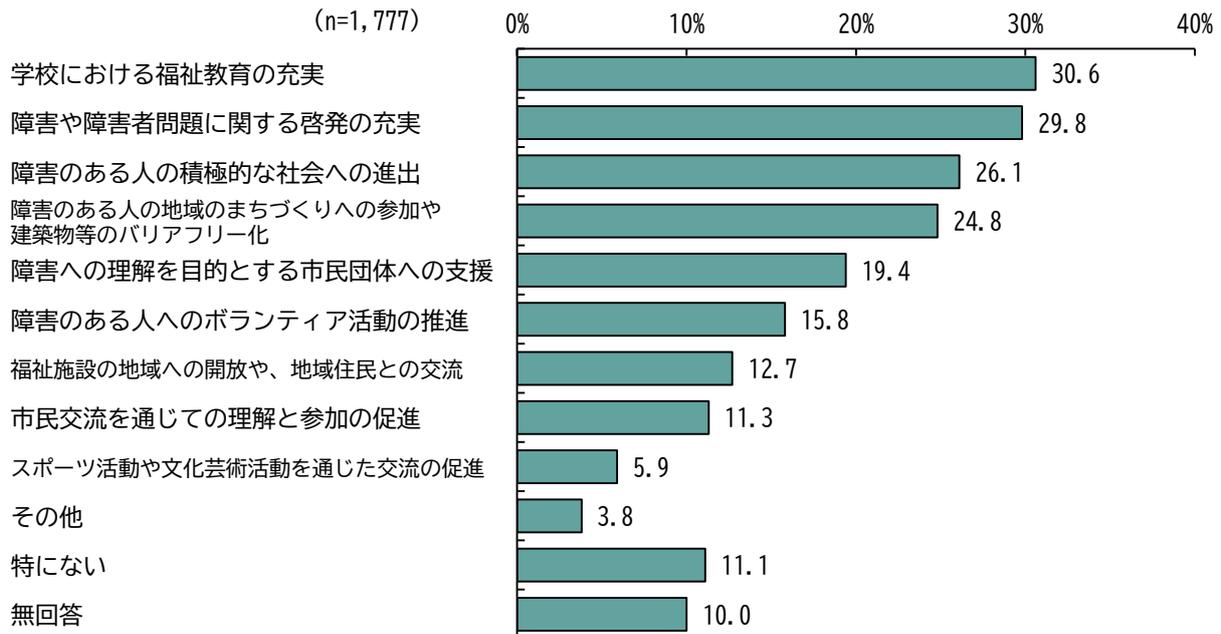


(2) 誰もが地域で生活できるよう地域の理解を進めるために力を入れるべきこと

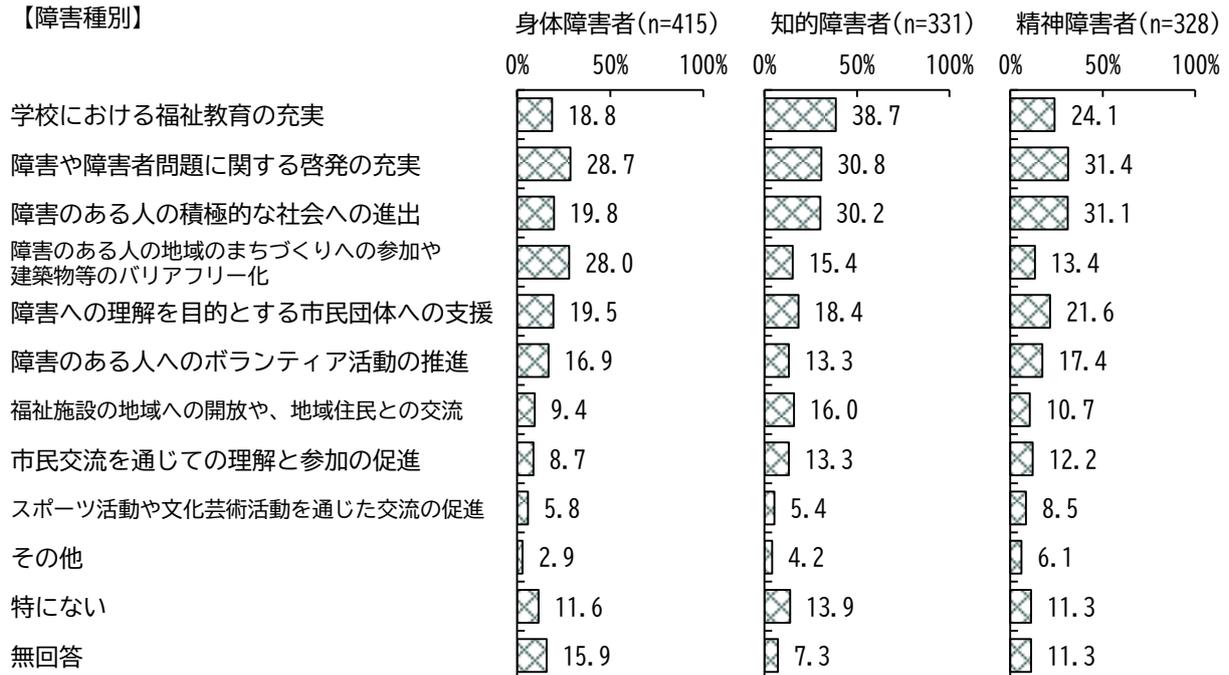
問45 あなたは、障害のある人もない人も共に地域で普通に生活できるように地域の理解を進めていくために、特に力を入れるべきことは何だと思いますか。(〇は3つまで)

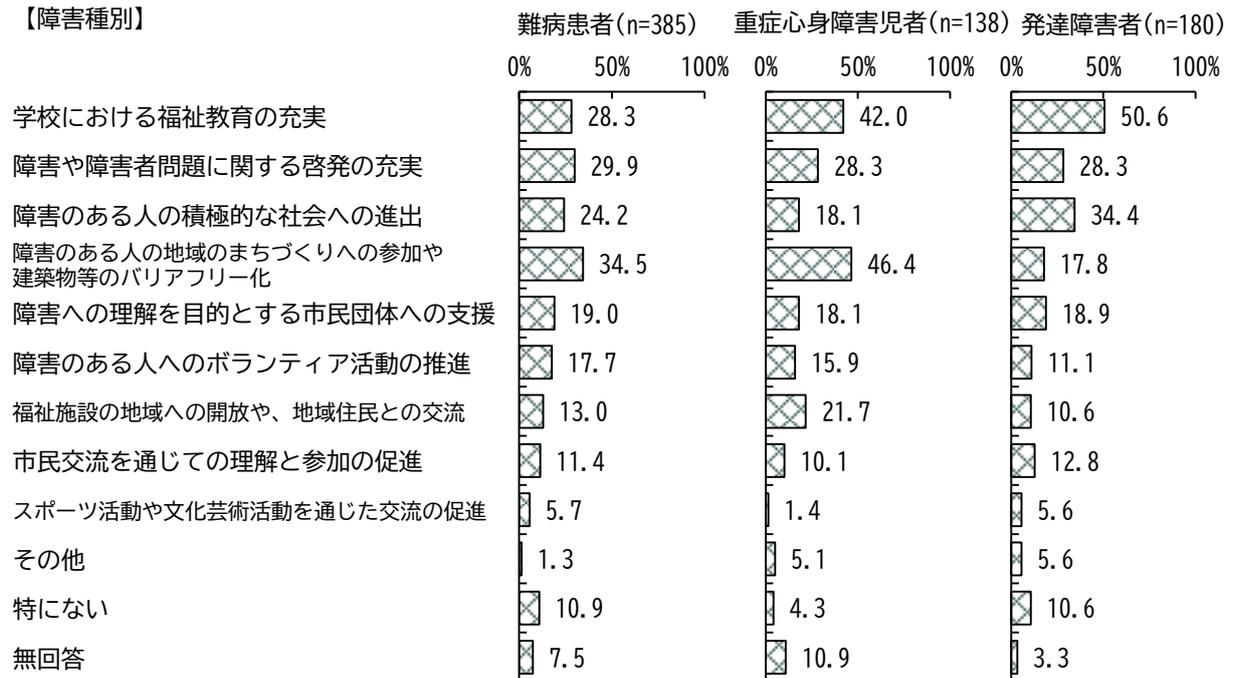
「学校における福祉教育の充実」が30.6%と最も多く、次いで「障害や障害者問題に関する啓発の充実」が29.8%、「障害のある人の積極的な社会への進出」が26.1%などとなっています。

障害種別にみると、“難病患者”、“重症心身障害児者”では「障害のある人の地域のまちづくりへの参加や建築物等のバリアフリー化」が最も多くなっています。

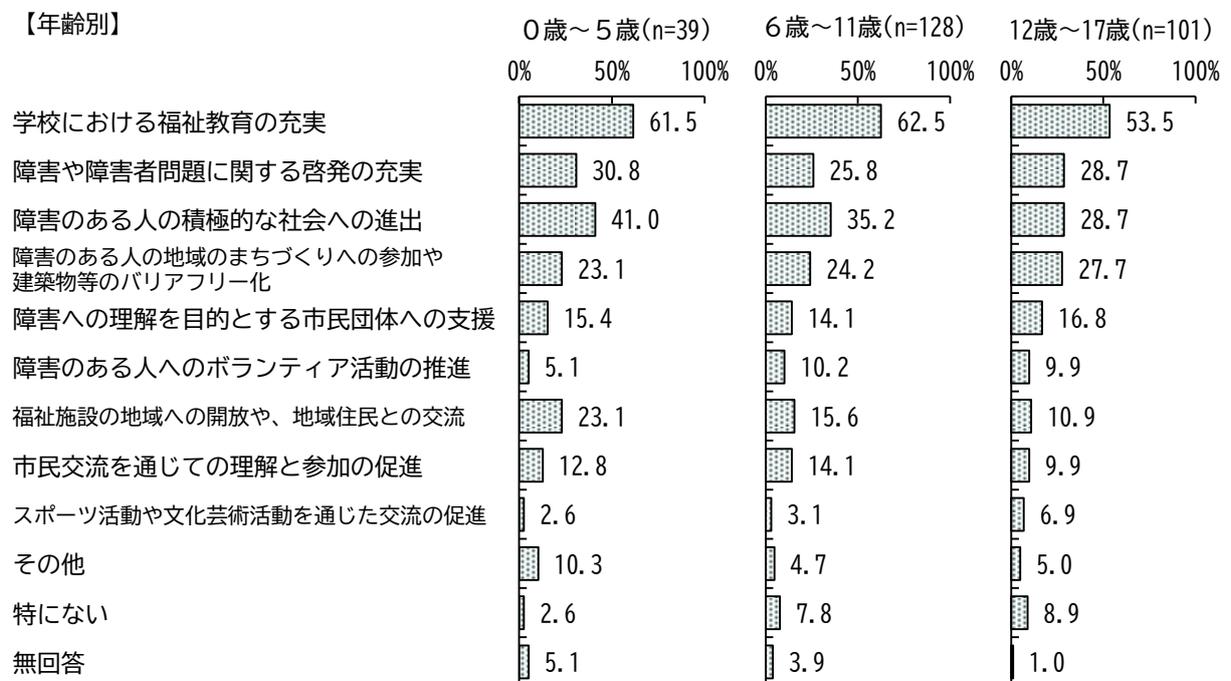


【障害種別】

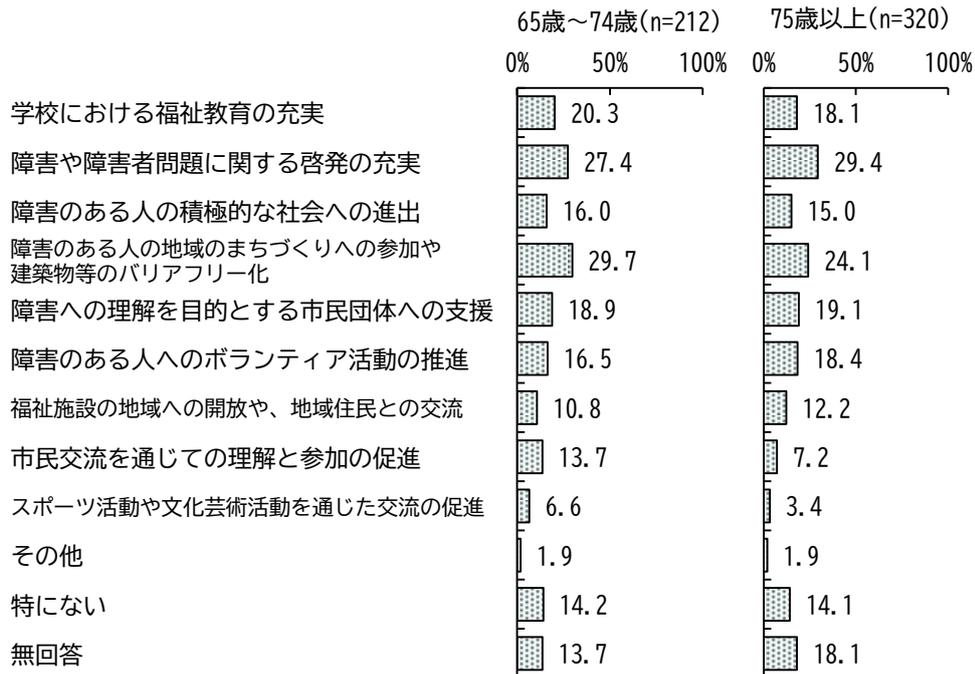
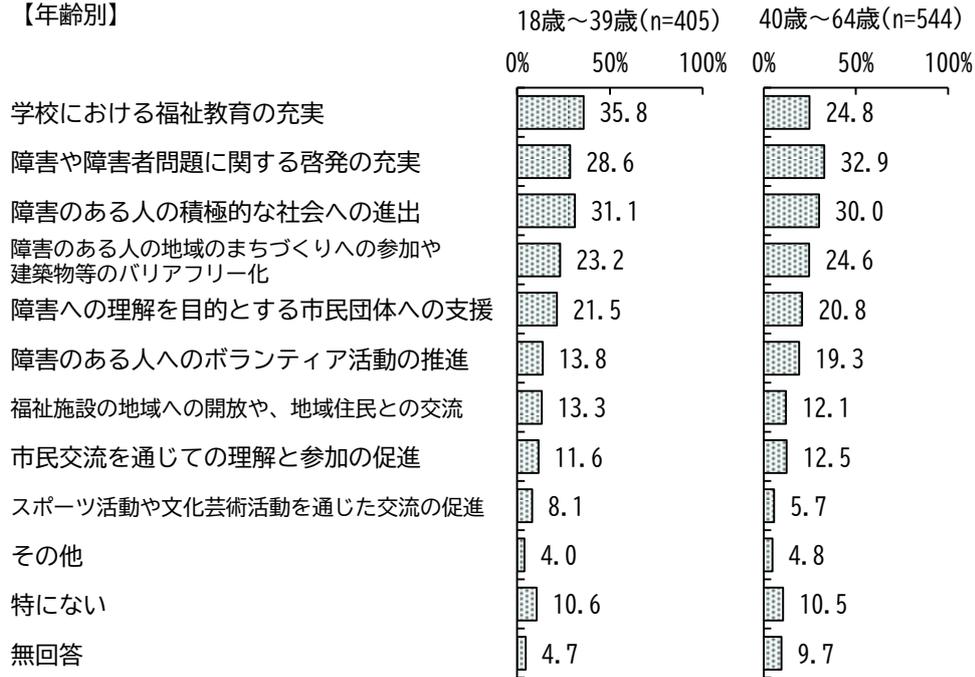




年齢別にみると、“40歳～64歳”、“75歳以上”では「障害や障害者問題に関する啓発の充実」が最も多くなっています。また、“65歳～74歳”では「障害のある人の地域のまちづくりへの参加や建築物等のバリアフリー化」が最も多くなっています。



【年齢別】

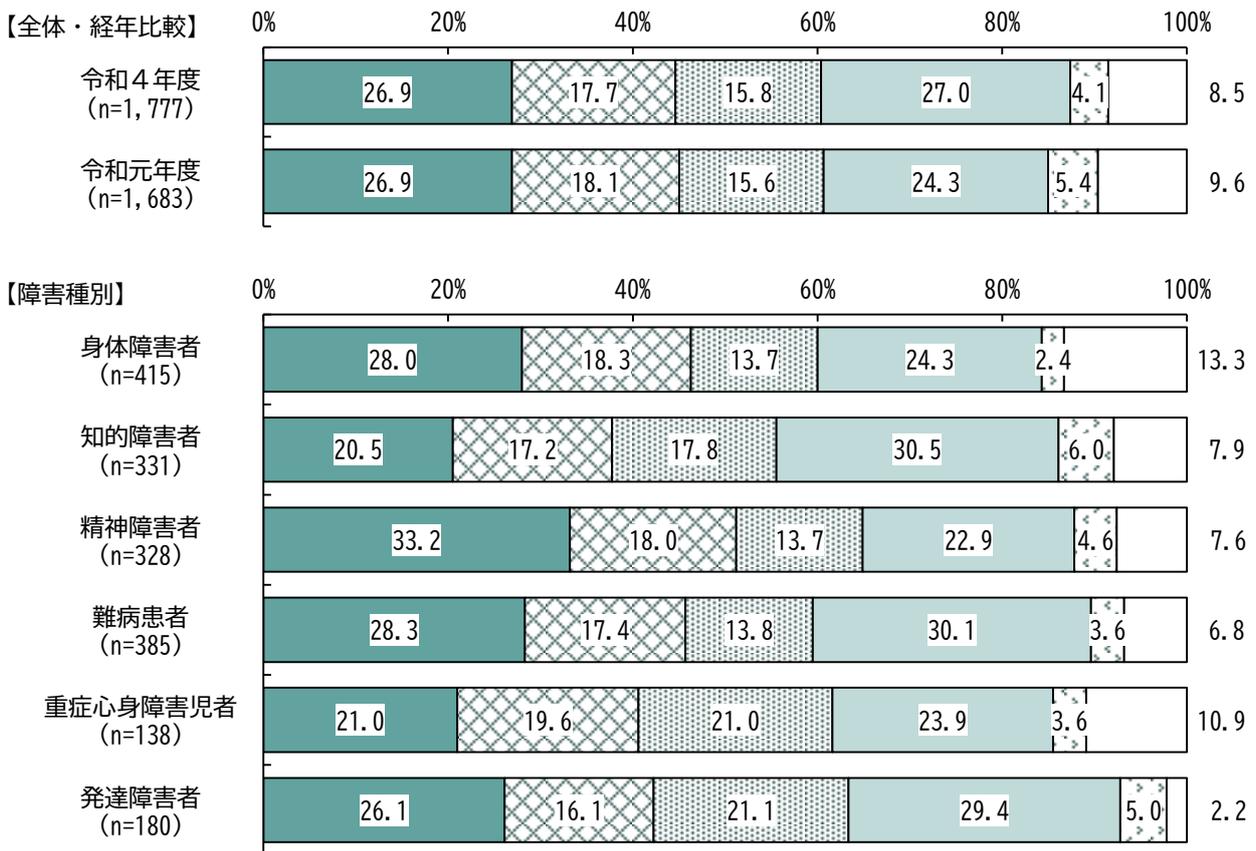
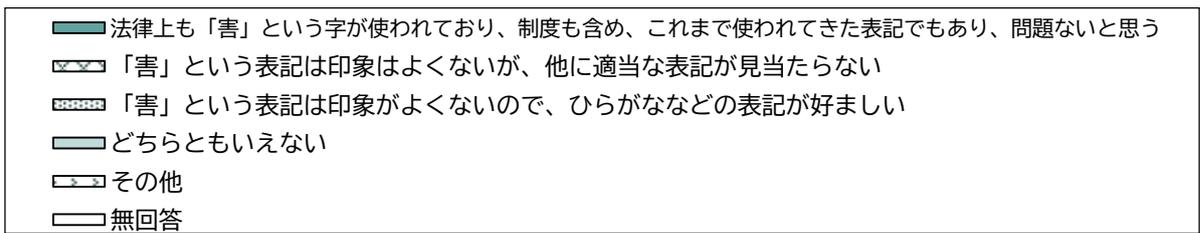


(3) 障害者の「害」という表記について

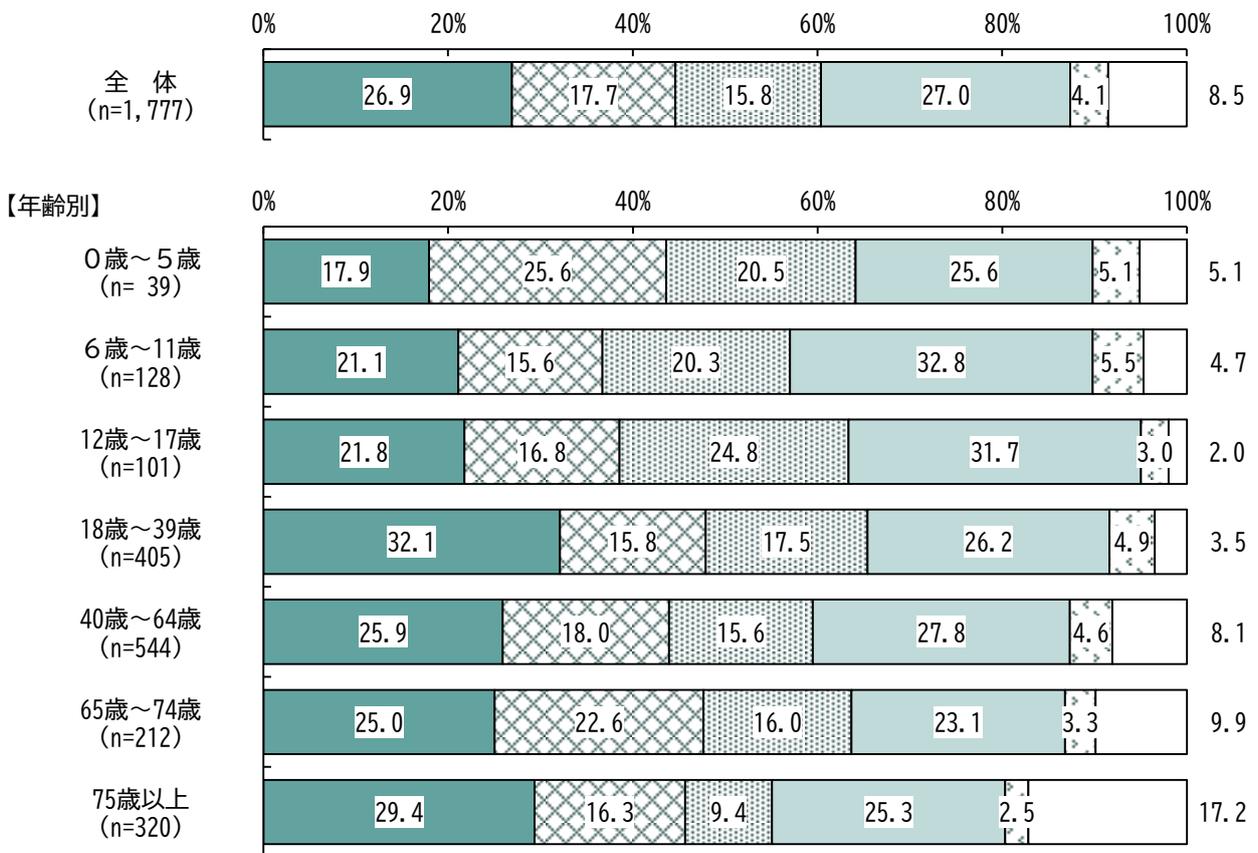
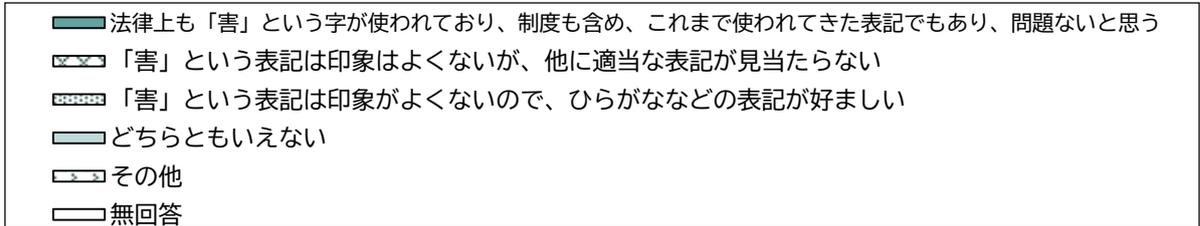
問46 障害者の「害」という表記について、あなたはどのようにお考えですか。(○は1つ)

「どちらともいえない」が27.0%と最も多く、次いで「法律上も「害」という字が使われており、制度も含め、これまで使われてきた表記でもあり、問題ないと思う」が26.9%、「害」という表記は印象はよくないが、他に適当な表記が見当たらない」が17.7%などとなっています。

障害種別にみると、“身体障害者”、“精神障害者”では「法律上も「害」という字が使われており、制度も含め、これまで使われてきた表記でもあり、問題ないと思う」が最も多くなっています。



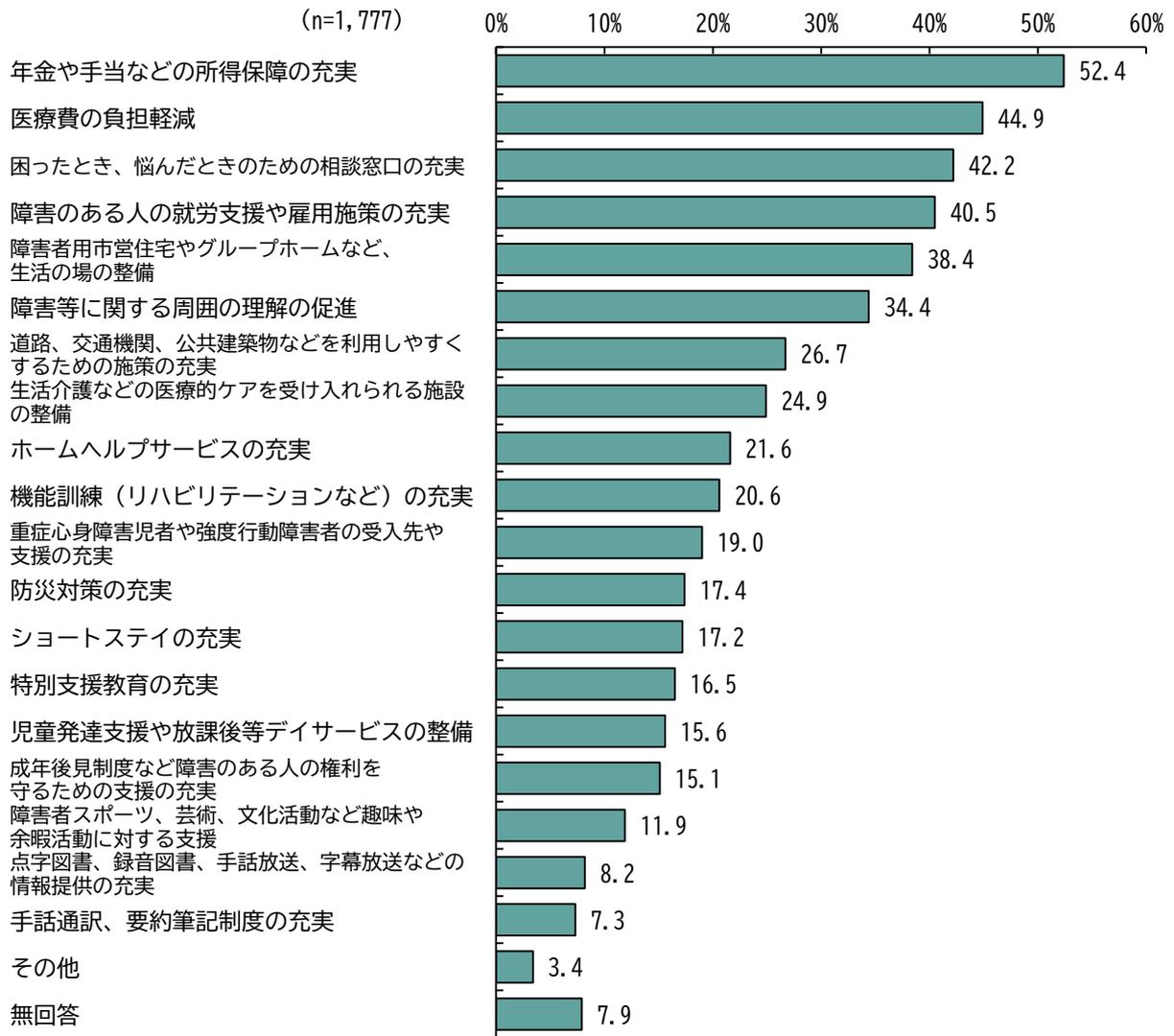
年齢別にみると、“18歳～39歳”、“65歳～74歳”、“75歳以上”では「法律上も「害」という字が使われており、制度も含め、これまで使われてきた表記でもあり、問題ないと思う」が最も多くなっています。



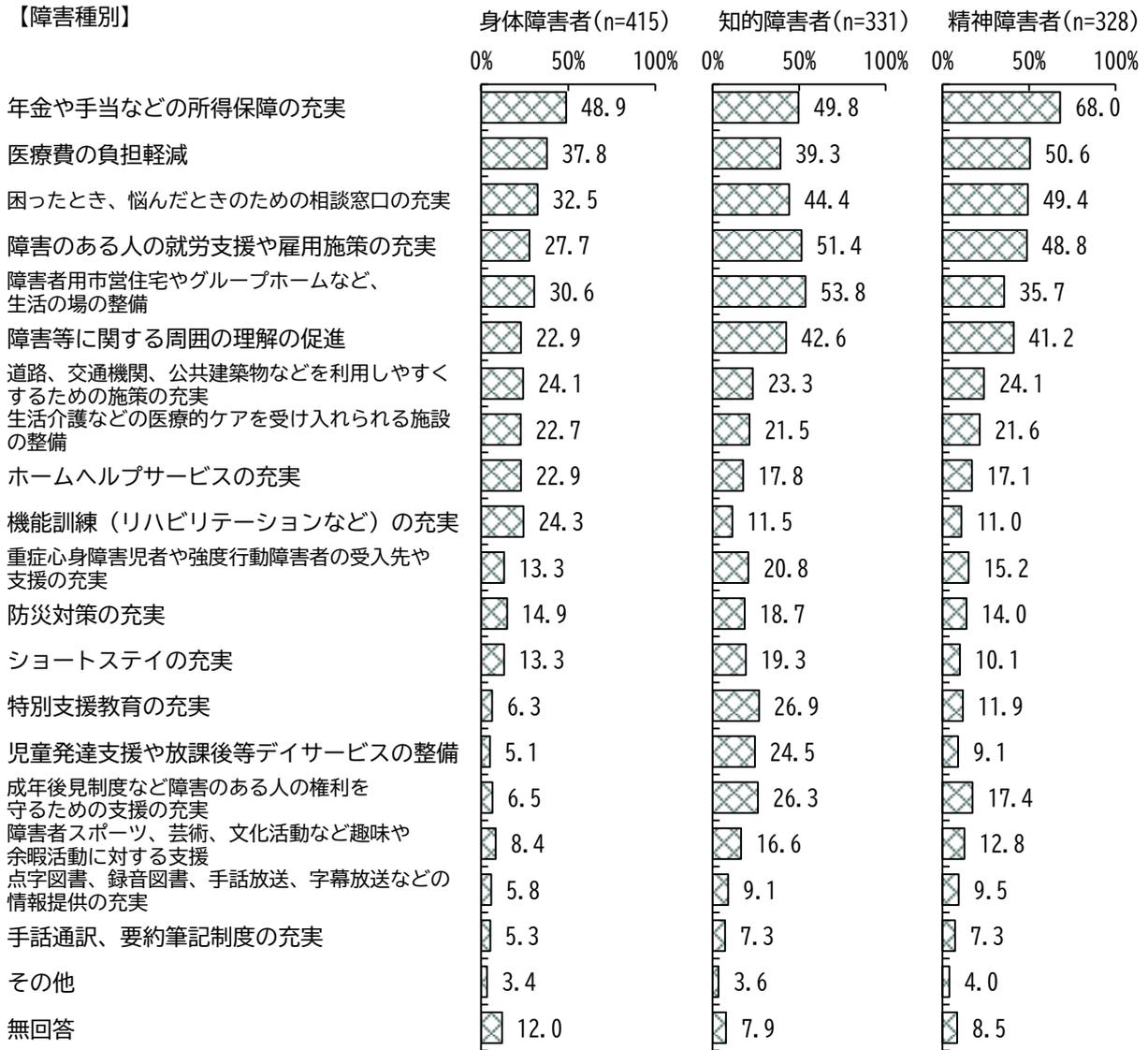
(4) 障害のある人が安心して生活するために望むこと

問47 あなたは、障害のある人が安心して生活するために望むことは何ですか。(〇はいくつでも)

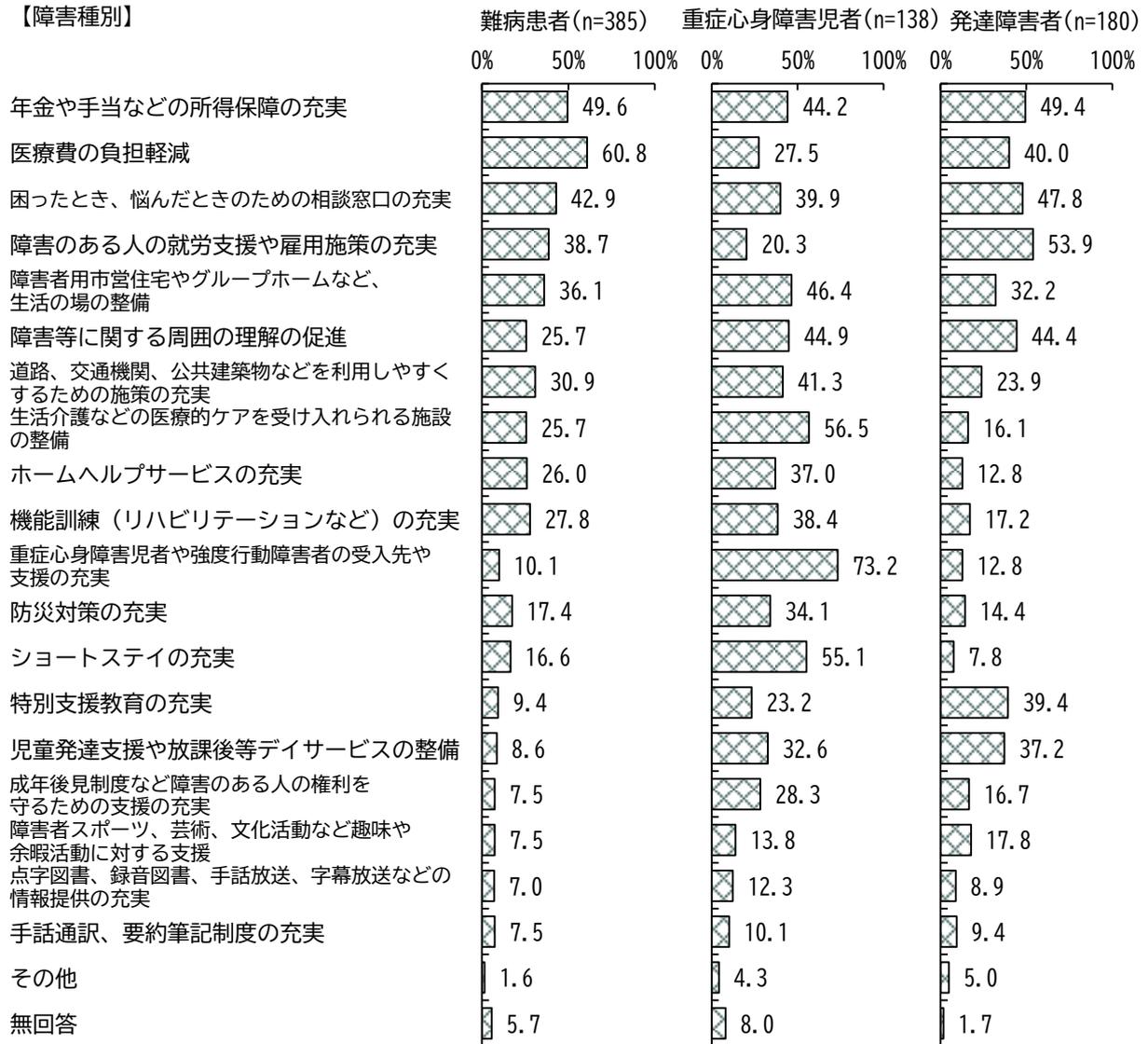
「年金や手当などの所得保障の充実」が52.4%と最も多く、次いで「医療費の負担軽減」が44.9%、「困ったとき、悩んだときのための相談窓口の充実」が42.2%などとなっています。



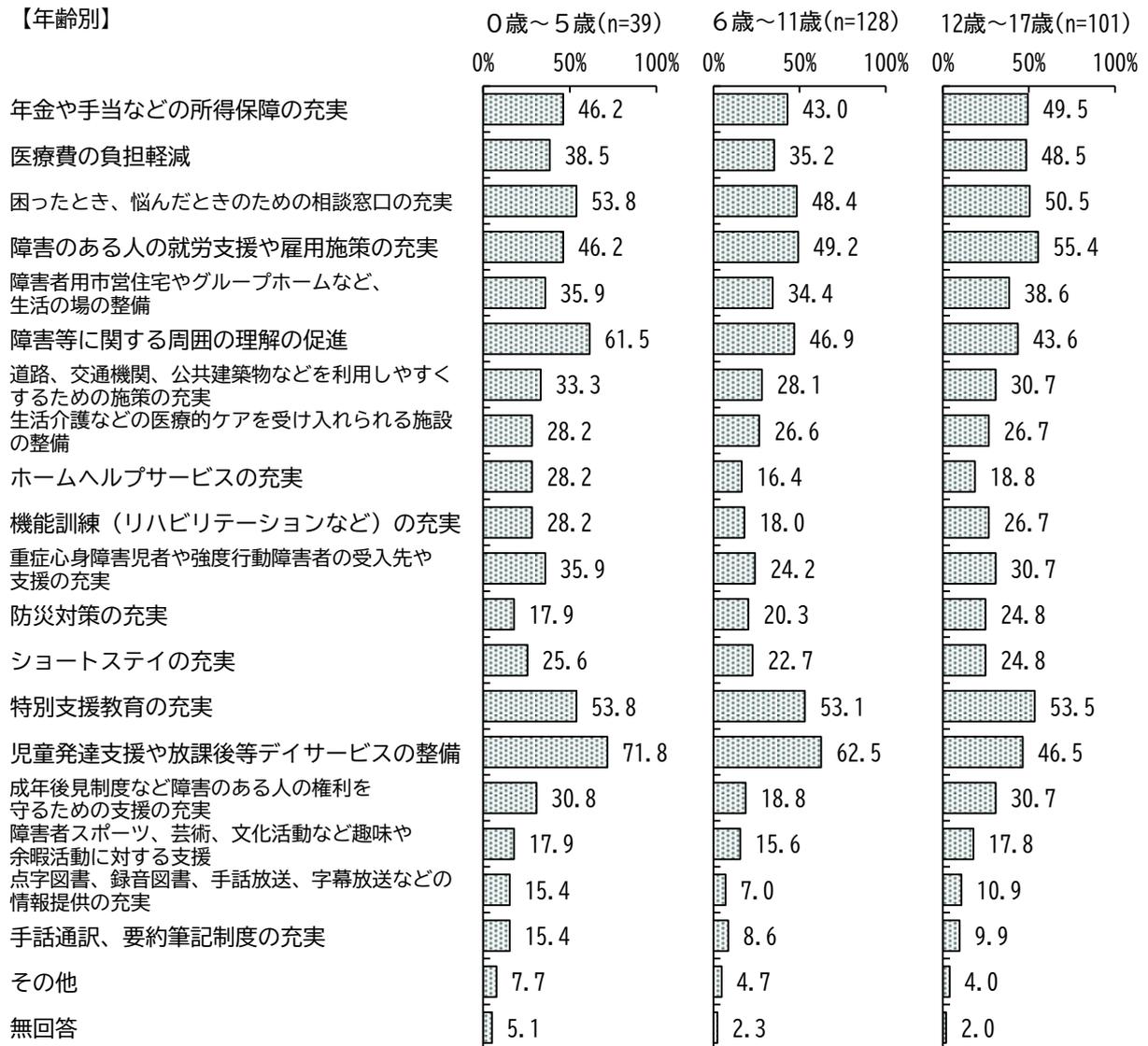
障害種別にみると、“知的障害者”では「障害者用市営住宅やグループホームなど、生活の場の整備」が最も多くなっています。また、“難病患者”では「医療費の負担軽減」が最も多くなっています。また、“重症心身障害児者”では「重症心身障害児者や強度行動障害者の受入先や支援の充実」が最も多くなっています。また、“発達障害者”では「障害のある人の就労支援や雇用施策の充実」が最も多くなっています。

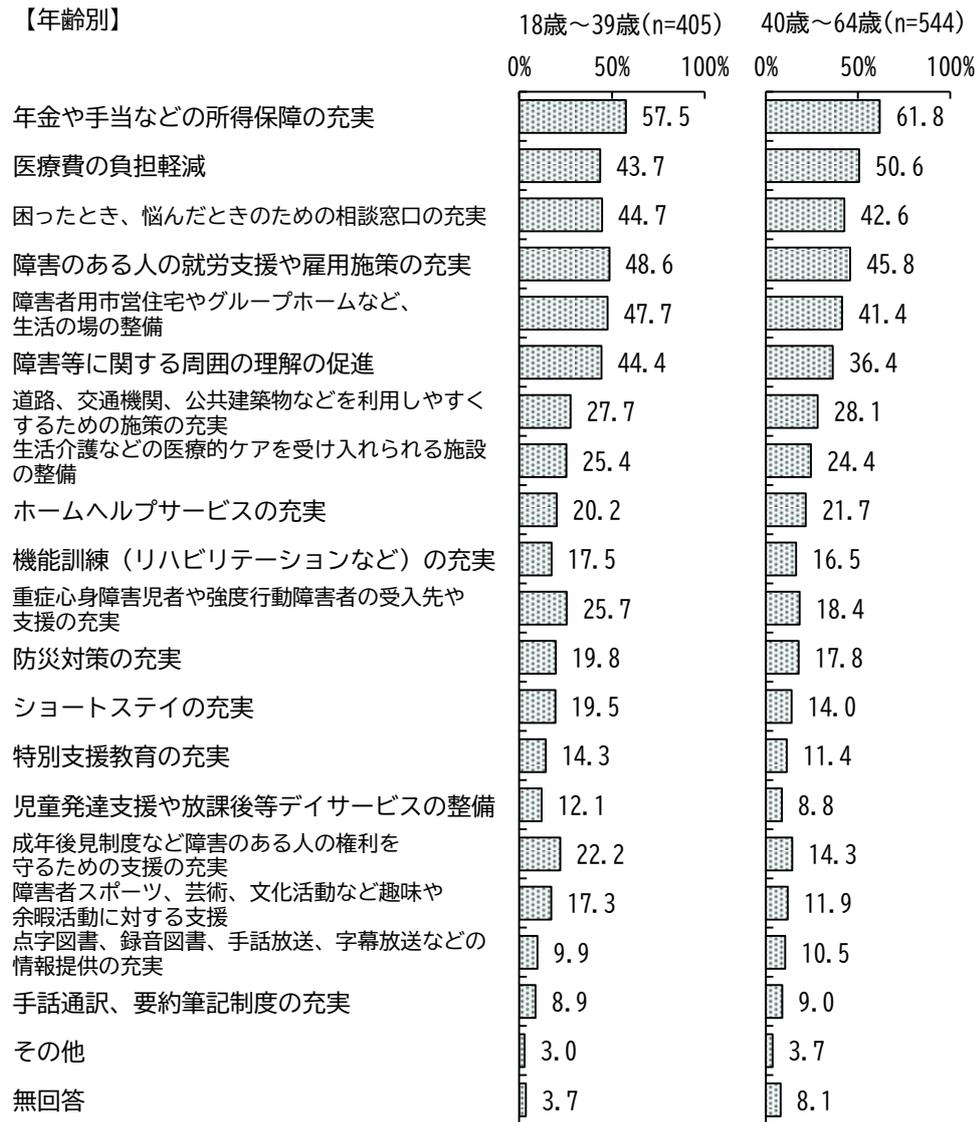


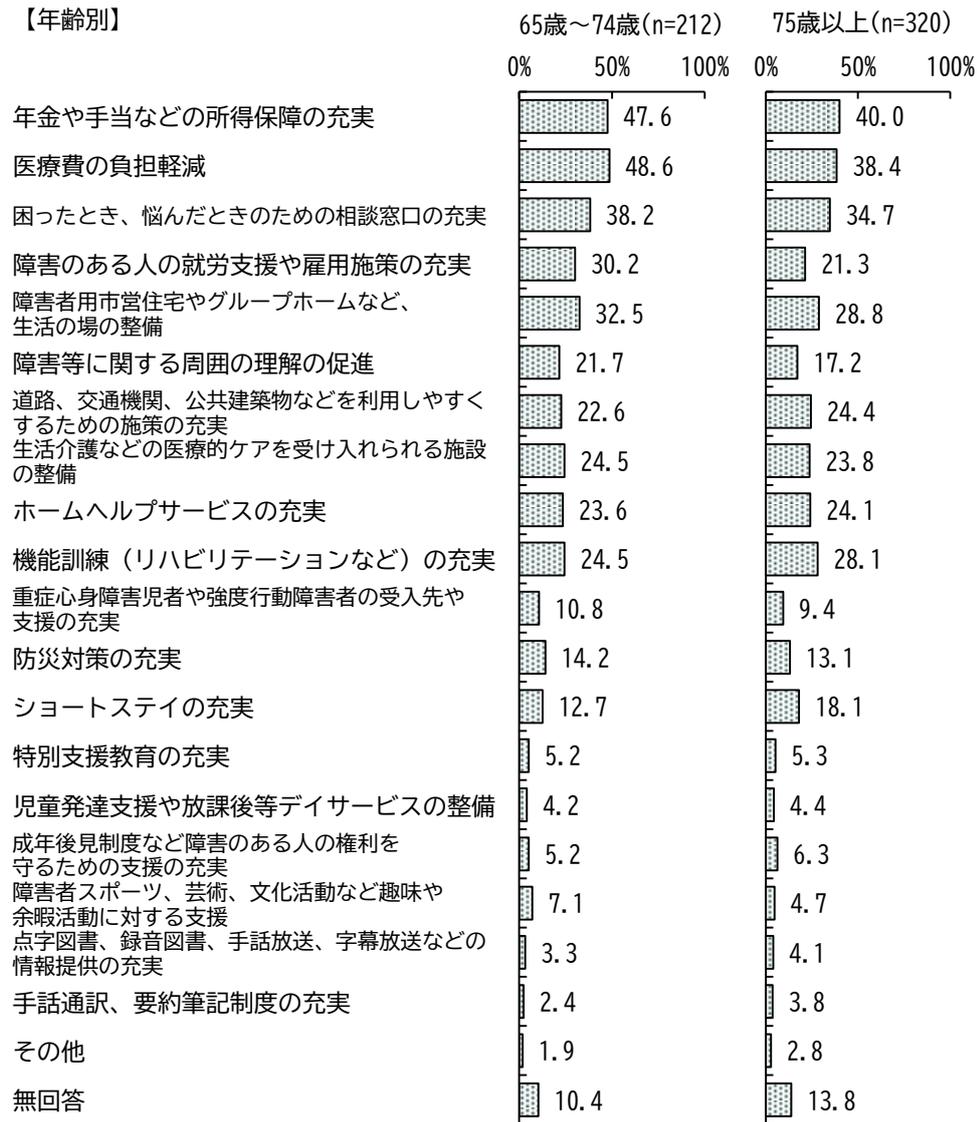
【障害種別】



年齢別にみると、“0歳～5歳”、“6歳～11歳”では「児童発達支援や放課後等デイサービスの整備」が最も多くなっています。また、“12歳～17歳”では「障害のある人の就労支援や雇用施策の充実」が最も多くなっています。また、“65歳～74歳”では「医療費の負担軽減」が最も多くなっています。







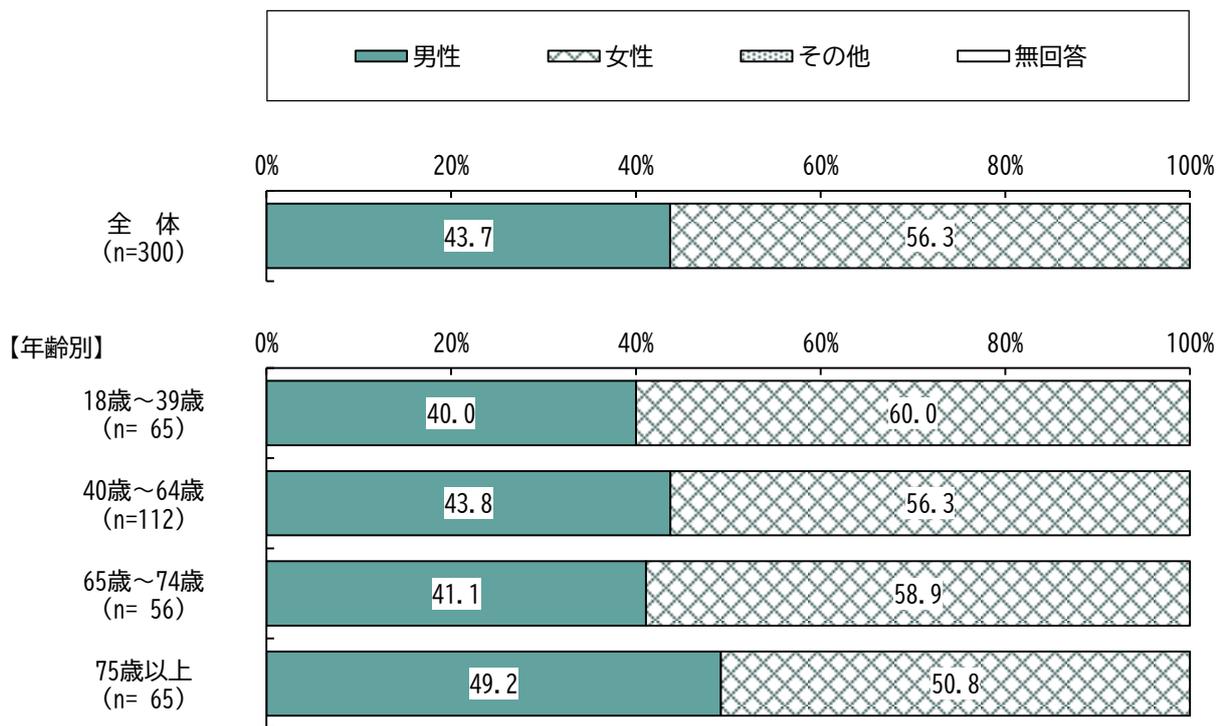
Ⅲ 市民アンケート調査の結果

1 回答者の属性

(1) 性別

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

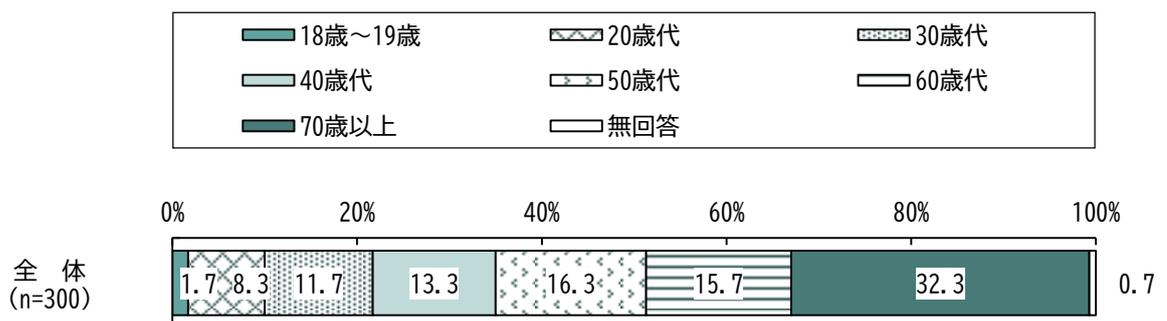
「男性」が43.7%、「女性」が56.3%となっています。



(2) 年齢

問2 あなたの年齢（令和4年12月1日現在）をお答えください。(数字を記入)

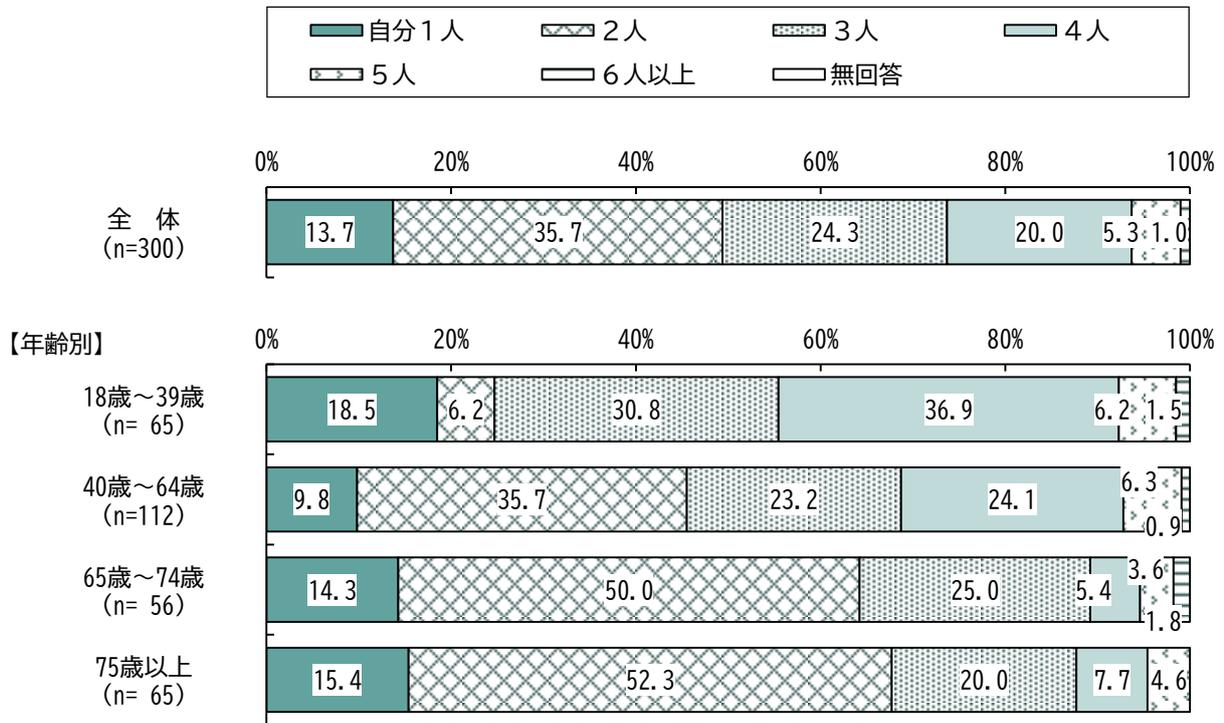
年齢（7区分）は、「70歳以上」が32.3%と最も多く、次いで「50歳代」が16.3%、「60歳代」が15.7%などとなっています。



(3) 一緒に住んでいる家族の人数

問3 あなたと一緒に住んでいる家族は、あなたを含めて何人ですか。ご自分を含めた家族の人数をお答えください。(〇は1つ)

「2人」が35.7%と最も多く、次いで「3人」が24.3%、「4人」が20.0%などとなっています。年齢別にみると、「18歳～39歳」では「4人」が最も多くなっています。

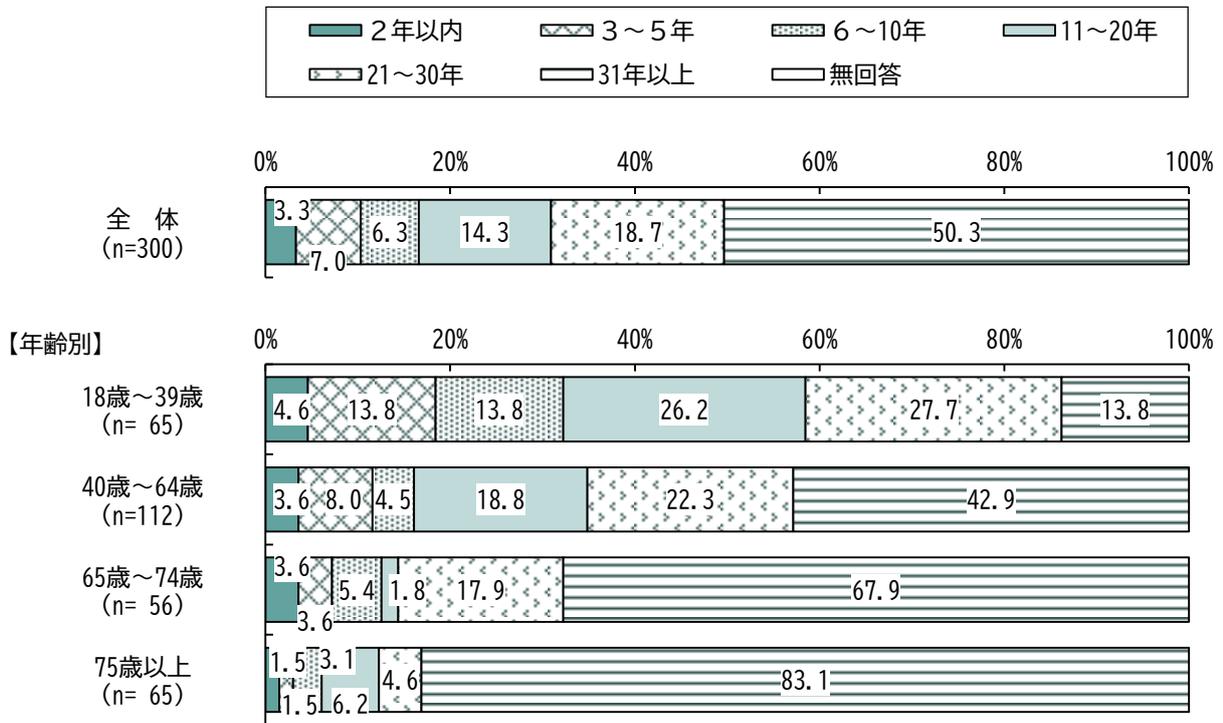


(4) 相模原市での居住年数

問4 あなたご自身、相模原市にお住まいになってから何年になりますか。(○は1つ)

「31年以上」が50.3%と最も多く、次いで「21~30年」が18.7%、「11~20年」が14.3%などとなっています。

年齢別にみると、「18歳~39歳」では「21~30年」が最も多くなっています。

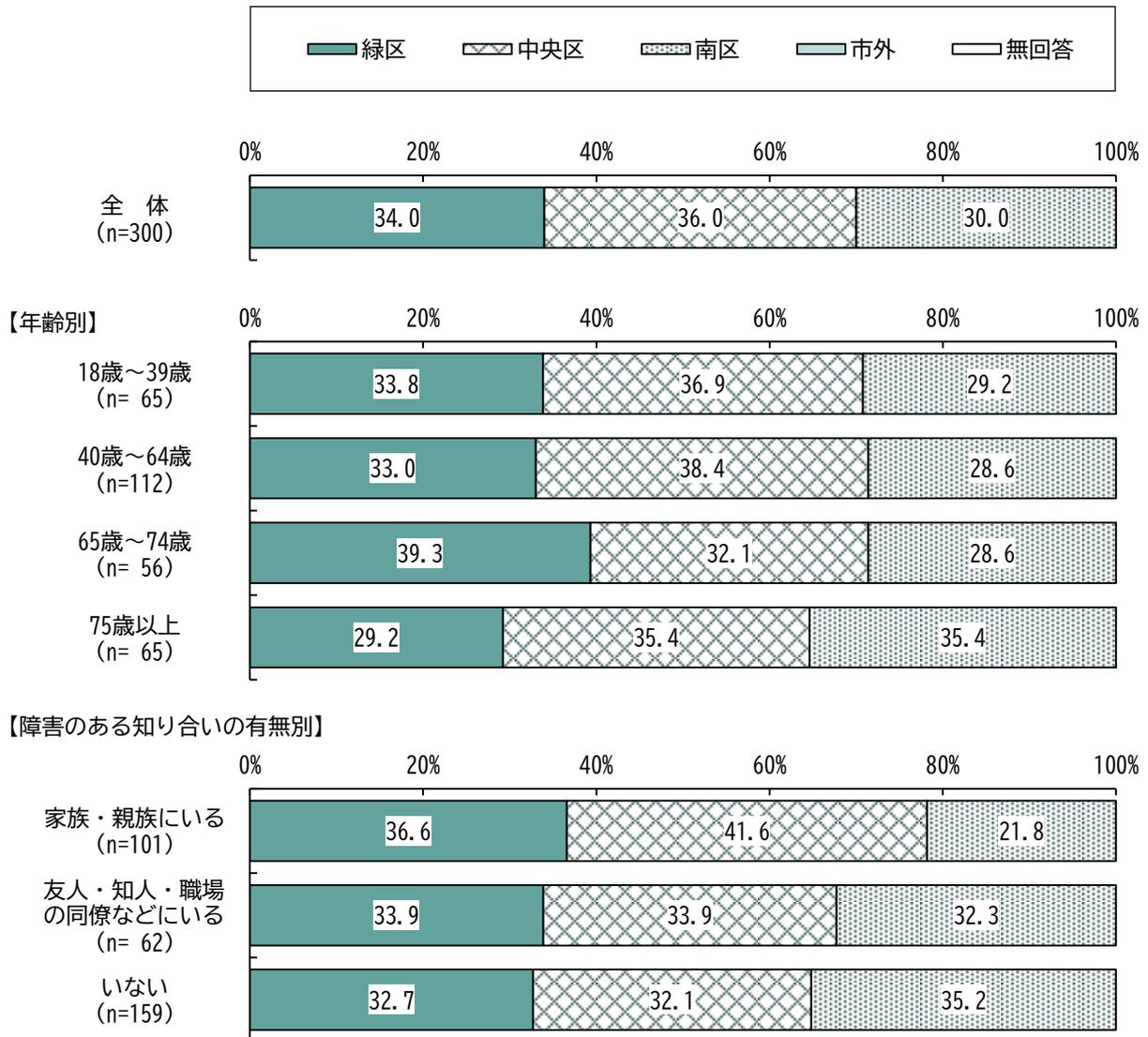


(5) 居住地区

問4-1 現在のお住まいの地区はどこですか。(○は1つ)

「緑区」が34.0%、「中央区」が36.0%、「南区」が30.0%、「市外」が0.0%となっています。
年齢別にみると、「65歳～74歳」では「緑区」が最も多くなっています。

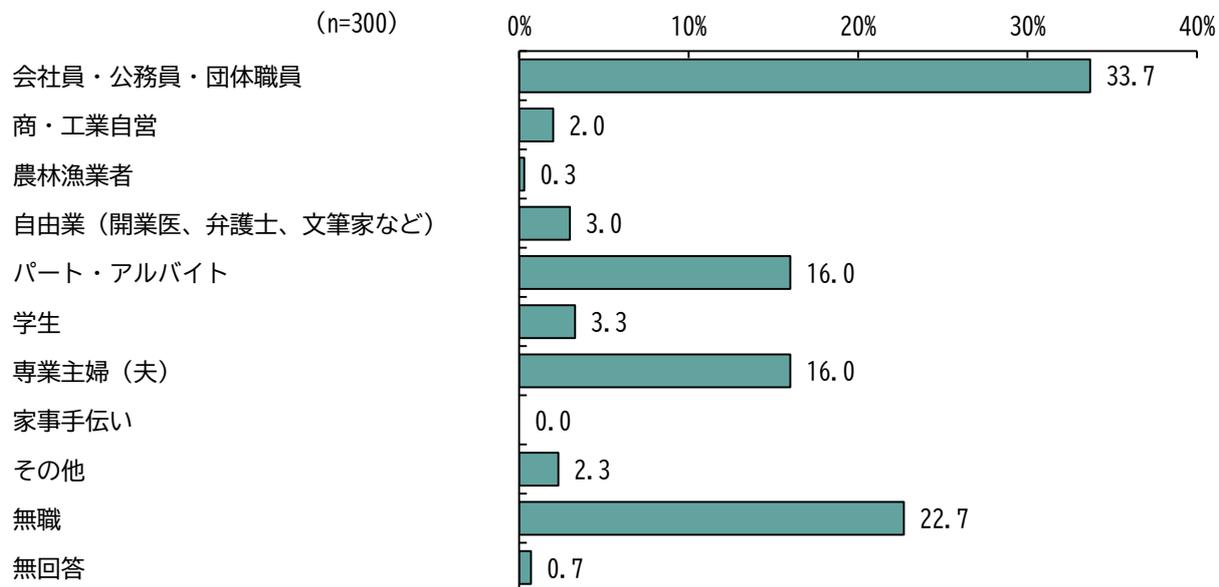
障害のある知り合いの有無別にみると、「いない」では「南区」が最も多くなっています。



(6) 現在の仕事

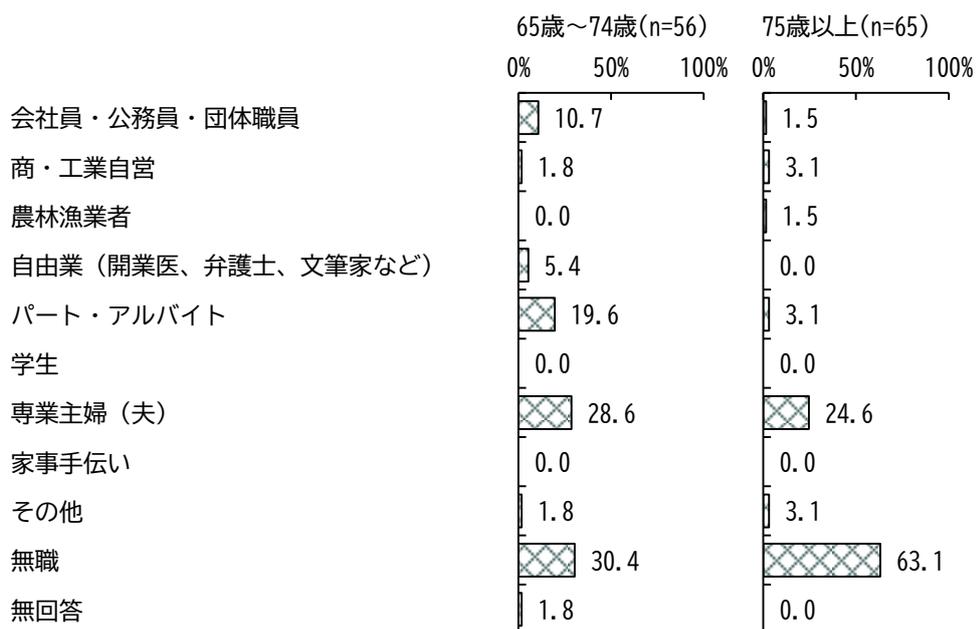
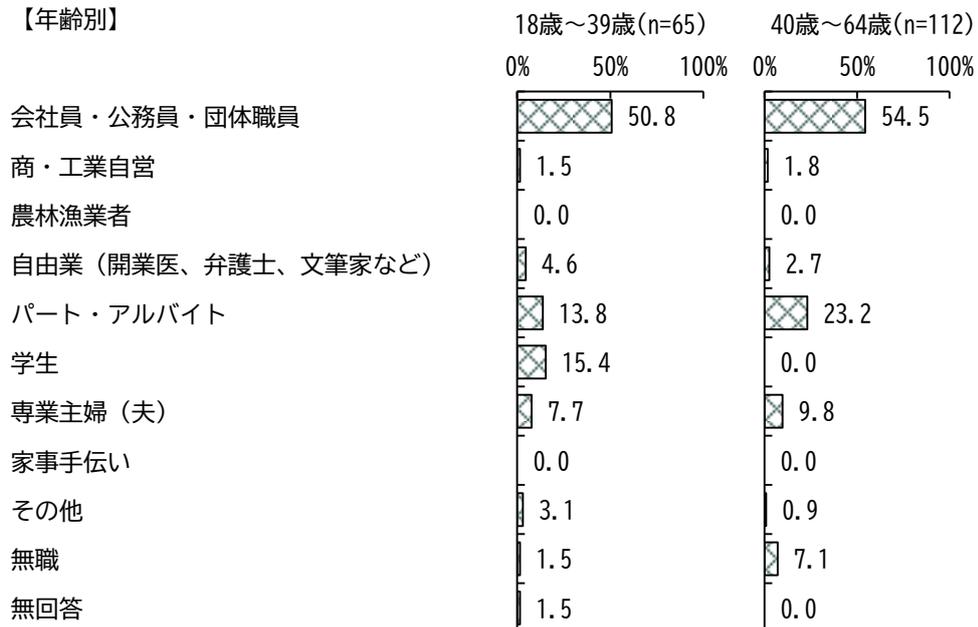
問5 現在のお仕事についておうかがいします。(○は1つ)

「会社員・公務員・団体職員」が33.7%と最も多く、次いで「無職」が22.7%、「パート・アルバイト」、「専業主婦（夫）」が16.0%などとなっています。



年齢別にみると、“65歳～74歳”、“75歳以上”では「無職」が最も多くなっています。

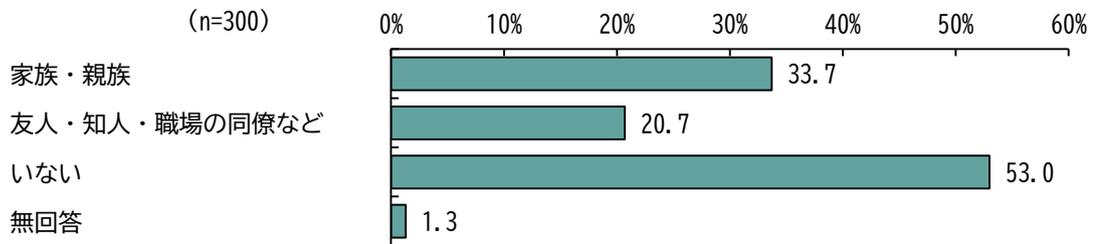
【年齢別】



(7) 障害のある知り合いの有無

問6 あなたは、身近に障害のある人はいますか。または、いましたか。(○はいくつでも)

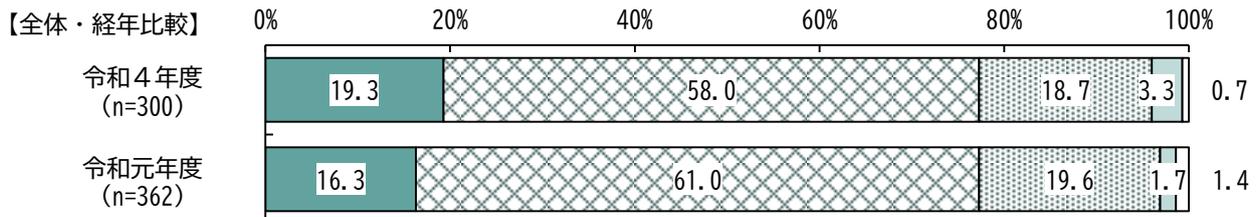
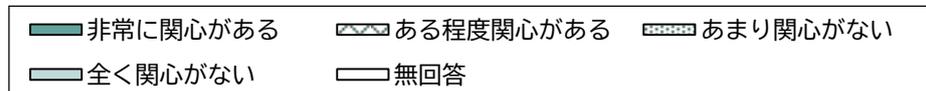
「いない」が53.0%と最も多く、次いで「家族・親族」が33.7%、「友人・知人・職場の同僚など」が20.7%となっています。



(8) 障害のある人たちへの関心

問7 あなたは、障害のある人たちに関心をお持ちですか。(○は1つ)

「非常に関心がある」が19.3%、「ある程度関心がある」が58.0%、「あまり関心がない」が18.7%、「全く関心がない」が3.3%となっています。

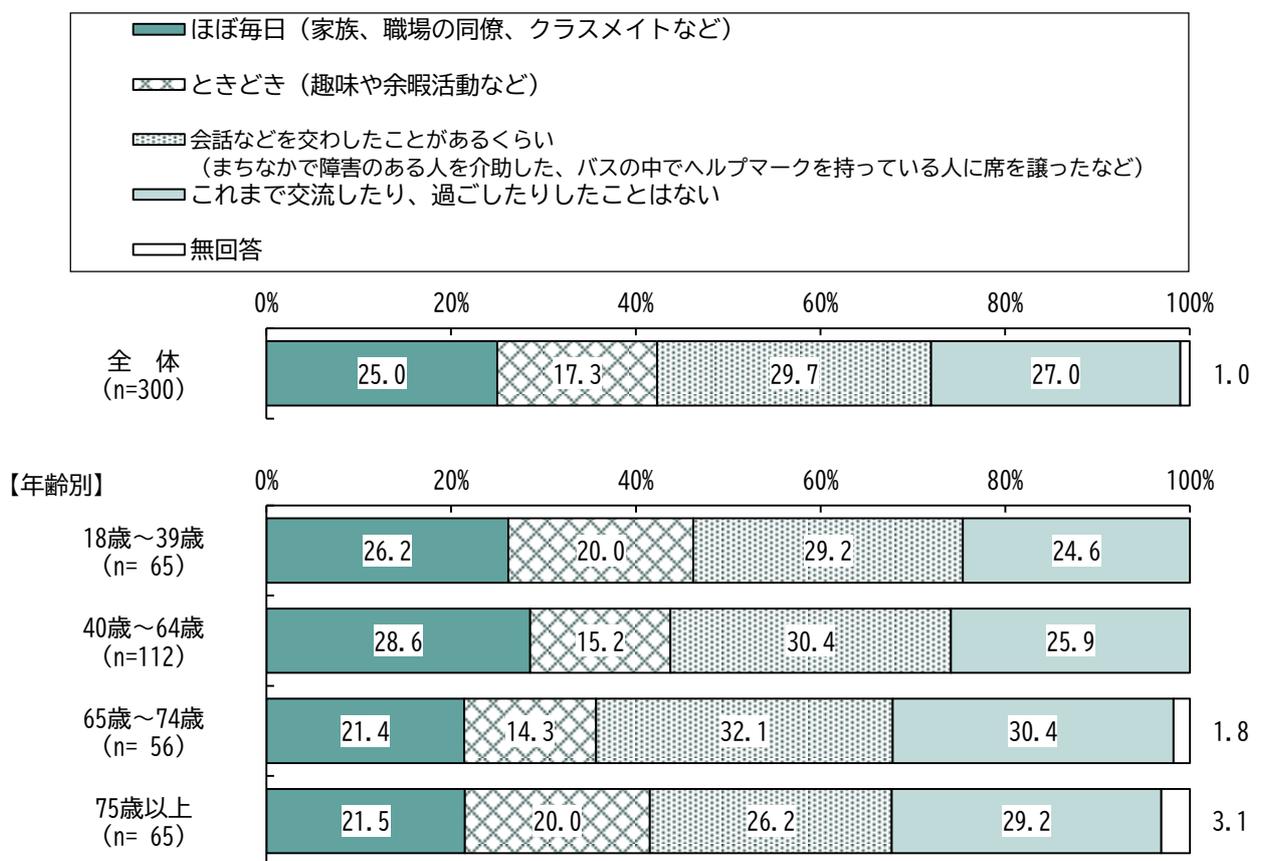


(9) 障害のある人との活動経験

問8 あなたは、障害のある人と交流したり、一緒に過ごしたりする機会がこれまでにどれくらいありましたか。(○は1つ)

「ほぼ毎日（家族、職場の同僚、クラスメイトなど）」が25.0%、「ときどき（趣味や余暇活動など）」が17.3%、「会話などを交わしたことがあるくらい（まちなかで障害のある人を介助した、バスの中でヘルプマークを持っている人に席を譲ったなど）」が29.7%、「これまで交流したり、過ごしたりしたことはない」が27.0%となっています。

年齢別にみると、“75歳以上”では「これまで交流したり、過ごしたりしたことはない」が最も多くなっています。



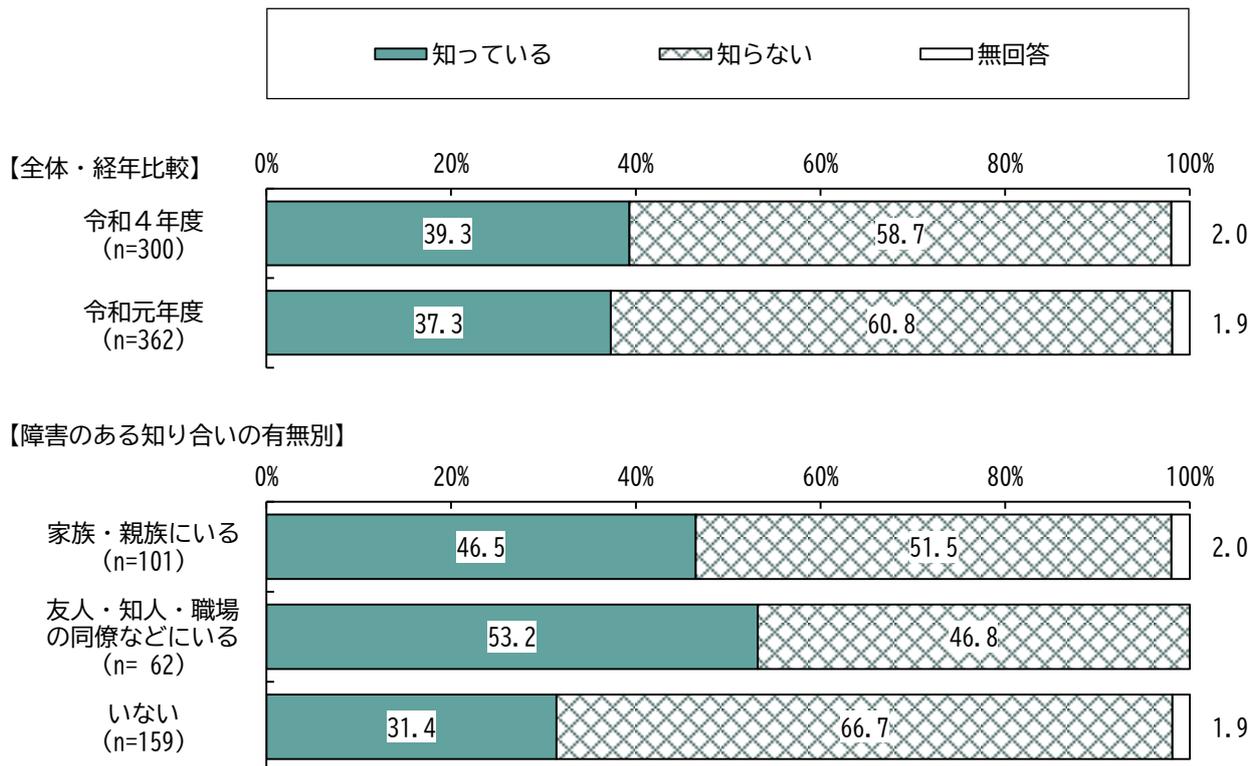
2 障害のある人に対する理解について

(1) 障害者虐待防止法の認知度

問9 あなたは、障害者虐待防止法について知っていますか。(○は1つ)

「知っている」が39.3%、「知らない」が58.7%となっています。

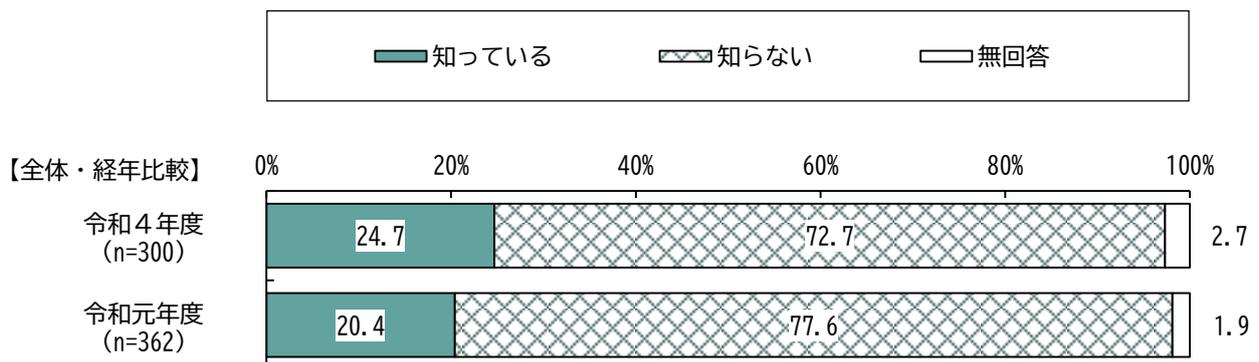
障害のある知り合いの有無別にみると、“友人・知人・職場の同僚などにいる”では「知っている」の割合が最も多くなっています。



(2) 障害者差別解消法の認知度

問10 あなたは、障害者差別解消法について知っていますか。(○は1つ)

「知っている」が24.7%、「知らない」が72.7%となっています。



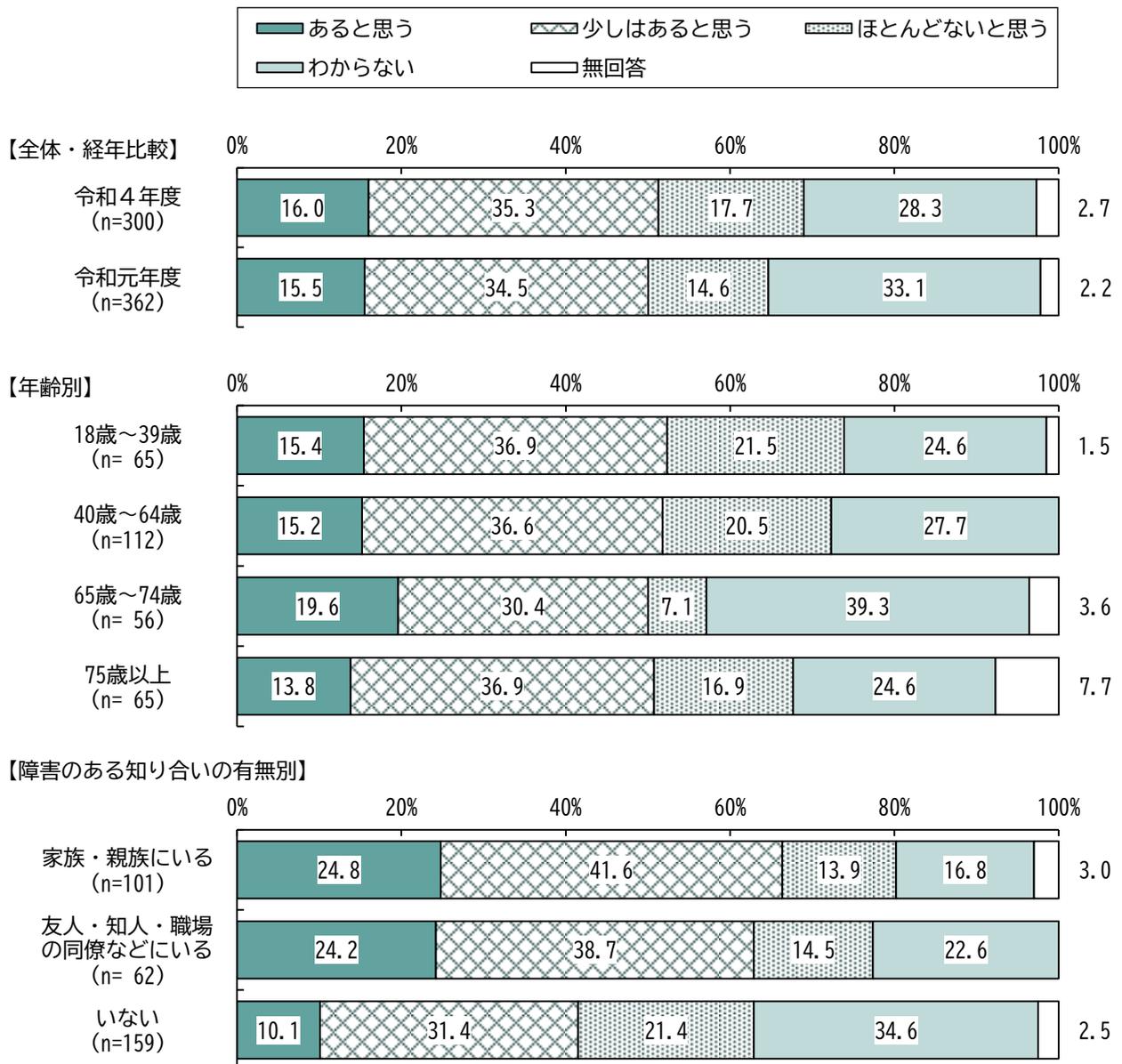
(3) 相模原市内での障害を理由とする差別や偏見の有無

問11 あなたは、相模原市内では障害のある人に対し、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。(〇は1つ)

「あると思う」が16.0%、「少しはあると思う」が35.3%、「ほとんどないと思う」が17.7%、「わからない」が28.3%となっています。

年齢別にみると、“65歳～74歳”では「わからない」が最も多くなっています。

障害のある知り合いの有無別にみると、“いない”では「わからない」が最も多くなっています。



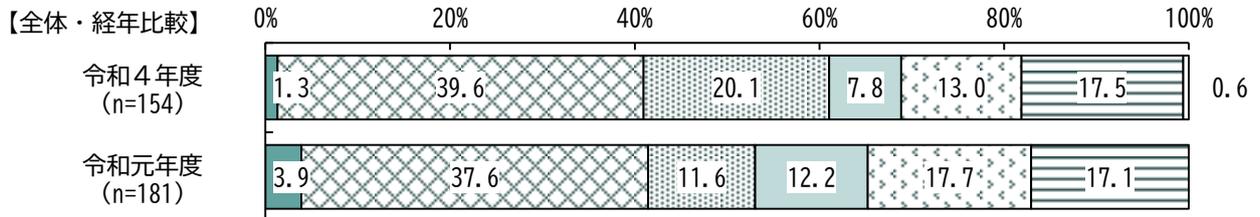
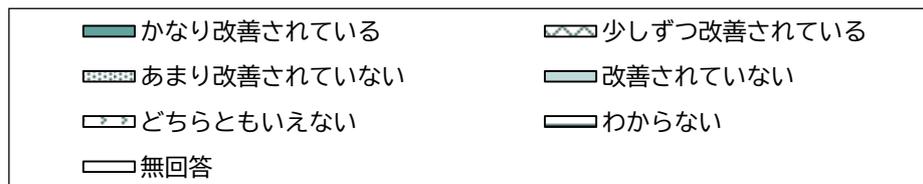
(4) 障害のある人に対する差別や偏見の改善状況

問11で「1 あると思う」「2 少しはあると思う」とお答えの方にお聞きします。

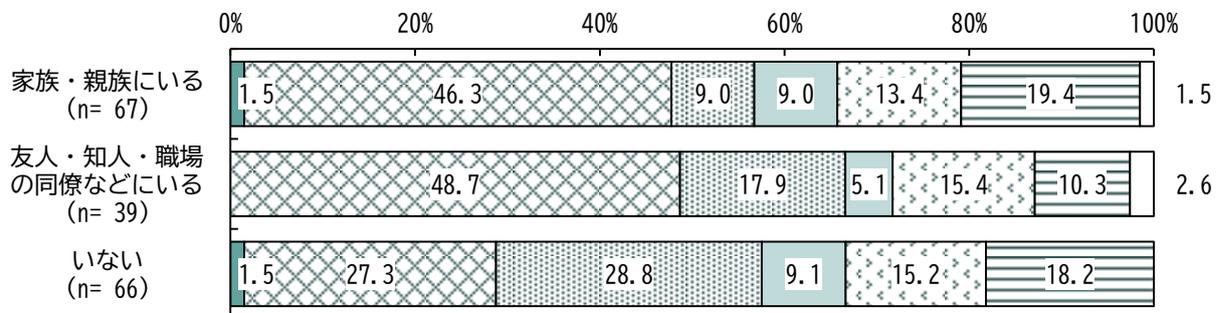
問11-1 障害のある人に対する差別や偏見は改善されていると思いますか。(○は1つ)

「少しずつ改善されている」が39.6%と最も多く、次いで「あまり改善されていない」が20.1%、「わからない」が17.5%などとなっています。

障害のある知り合いの有無別にみると、“いない”では「あまり改善されていない」が最も多くなっています。



【障害のある知り合いの有無別】



(5) 普段の生活の中での障害のある人への対応や理解の状況

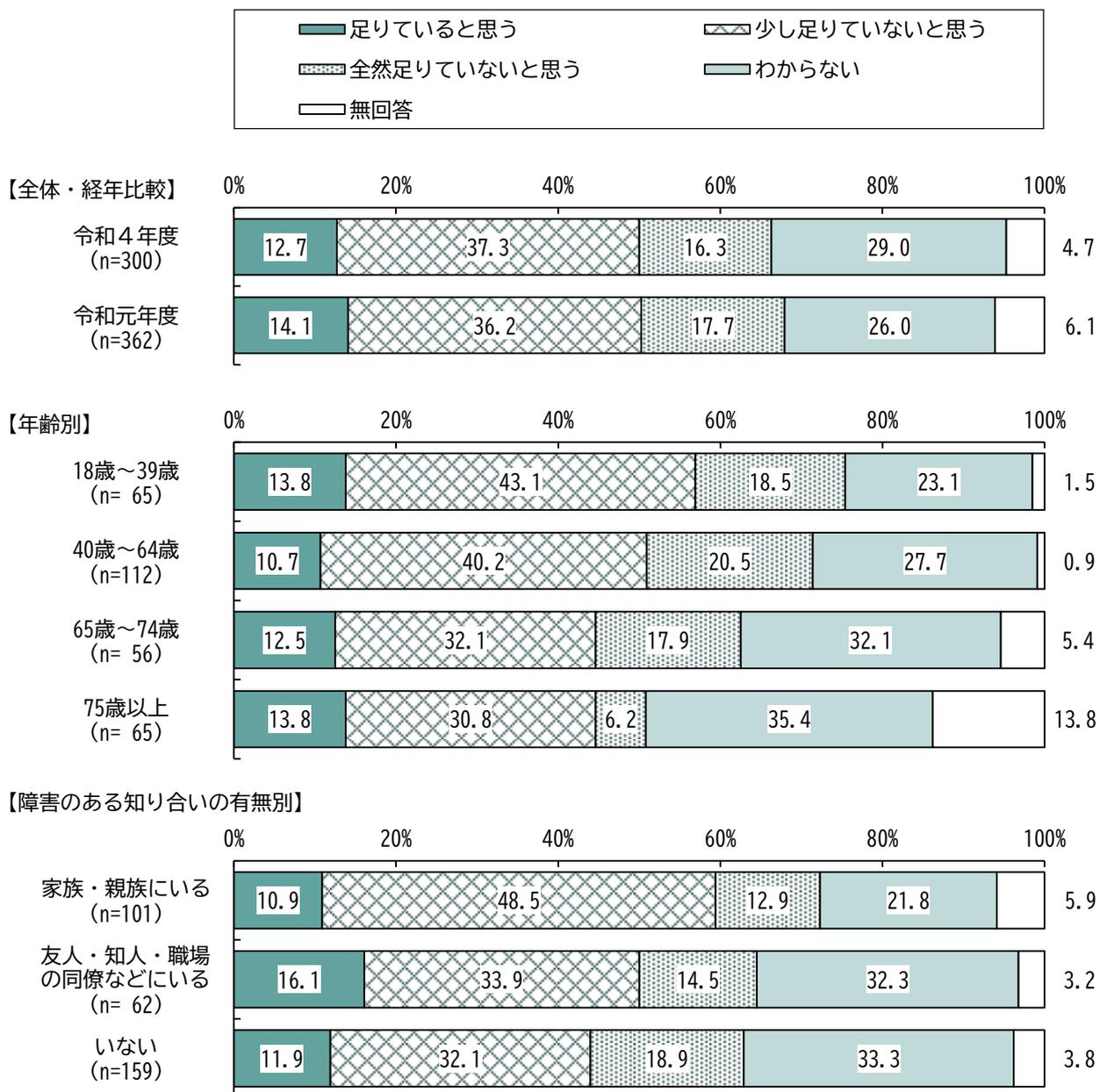
問12 あなたは、普段の生活の中で、障害のある人への対応や理解が足りていると思いますか。

(○は1つ)

「足りていると思う」が12.7%、「少し足りていないと思う」が37.3%、「全然足りていないと思う」が16.3%、「わからない」が29.0%となっています。

年齢別にみると、“75歳以上”では「わからない」が最も多くなっています。

障害のある知り合いの有無別にみると、“いない”では「わからない」が最も多くなっています。



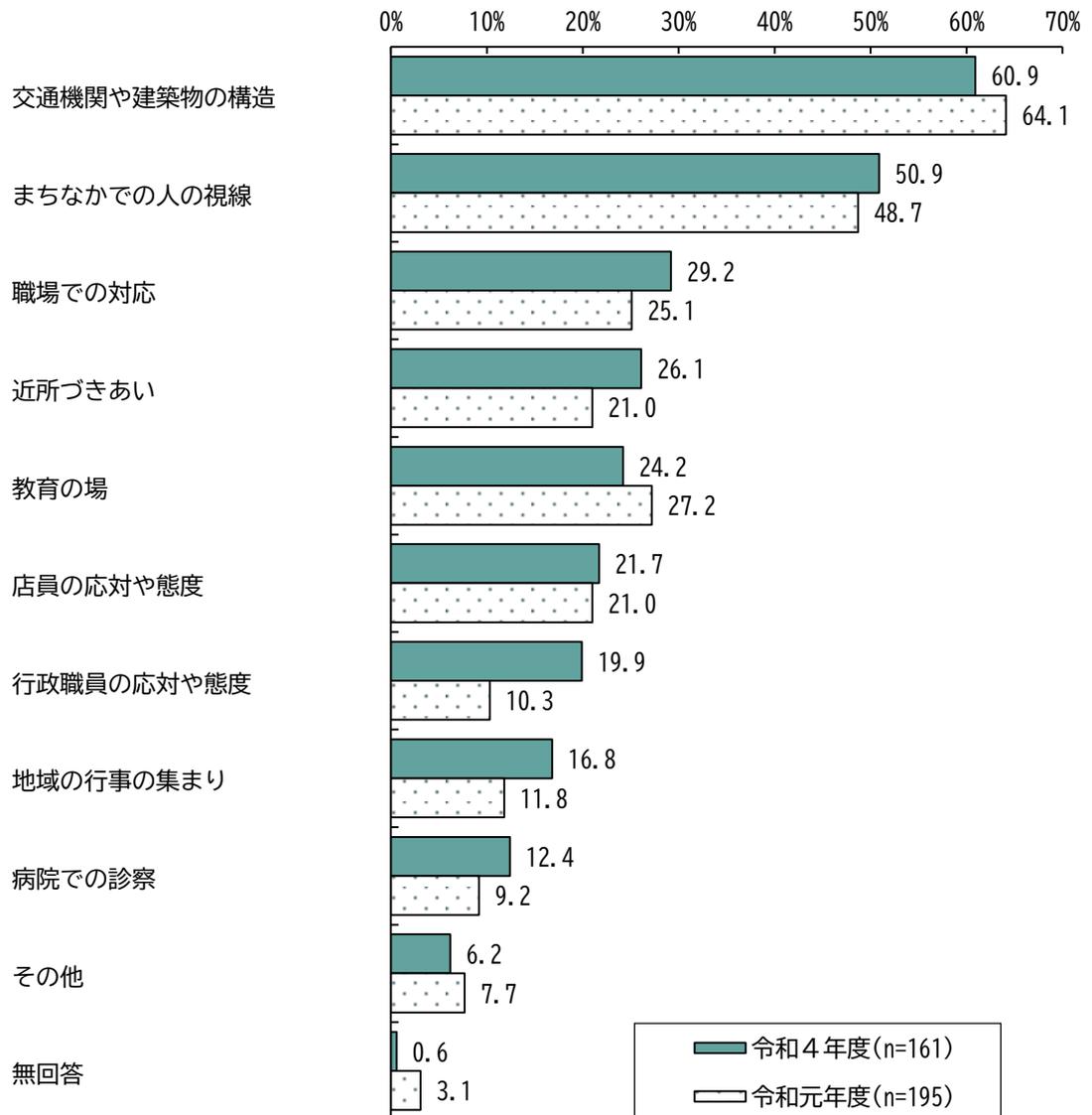
(6) 障害のある人への対応や理解が足りていない状況

問12で「2 少し足りていないと思う」「3 全然足りていないと思う」とお答えの方にお聞きします。

問12-1 それはどんな場合ですか。(〇はいくつでも)

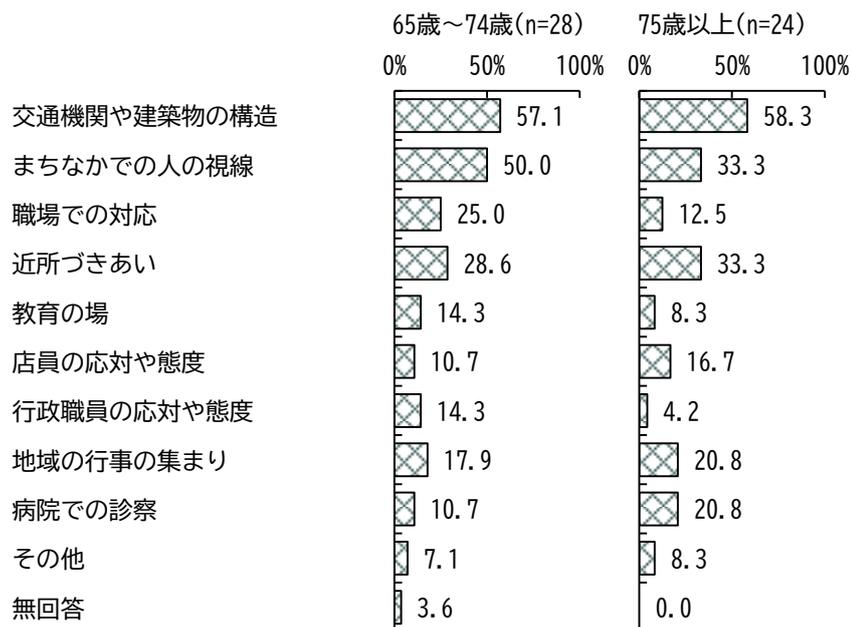
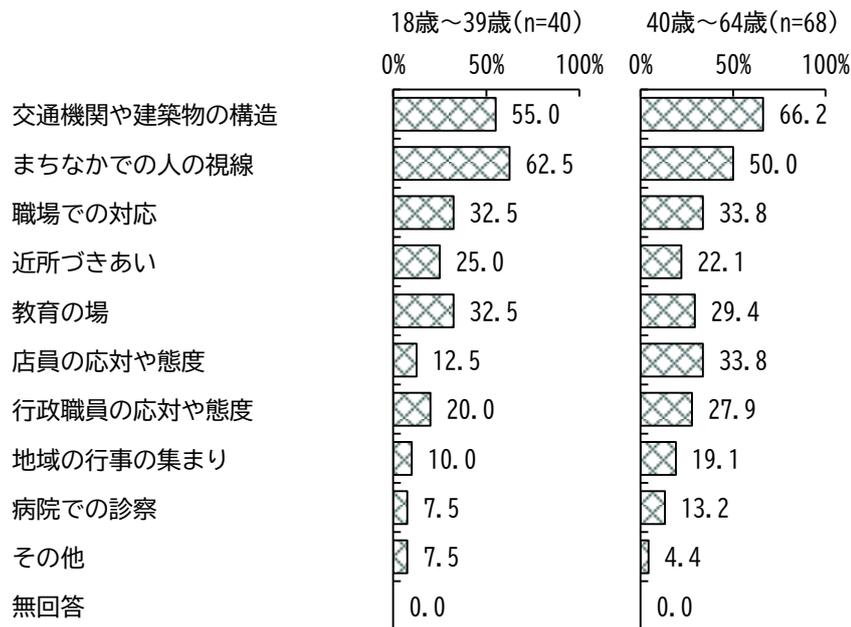
「交通機関や建築物の構造」が60.9%と最も多く、次いで「まちなかでの人の視線」が50.9%、「職場での対応」が29.2%などとなっています。

【全体・経年比較】



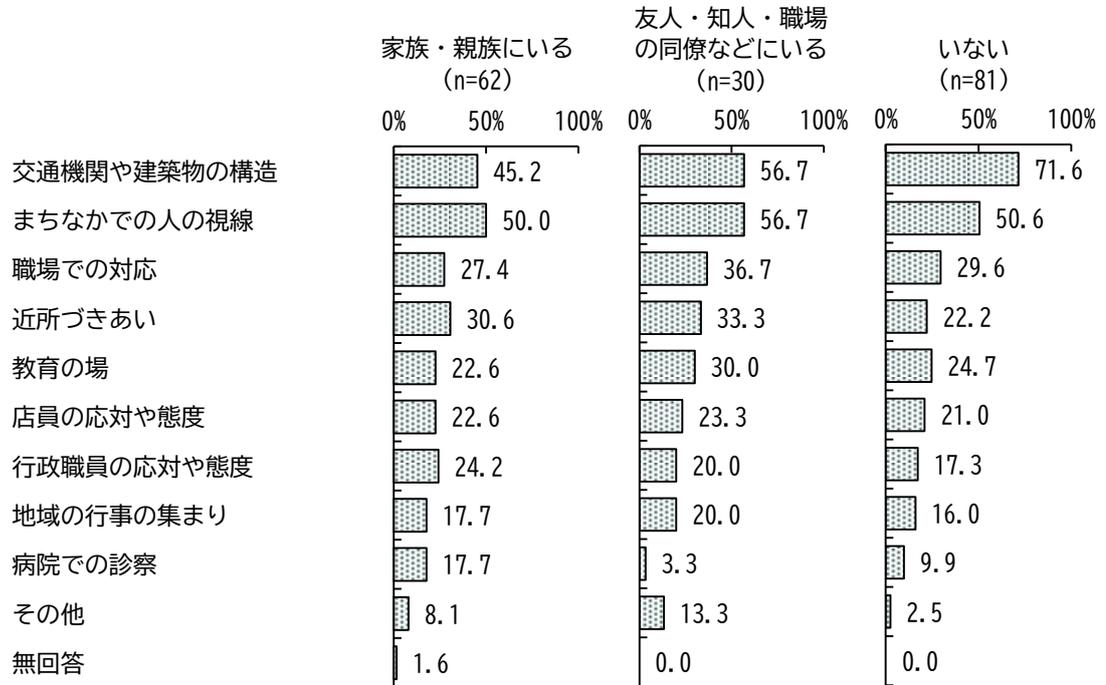
年齢別にみると、“18歳～39歳”では「まちなかでの人の視線」が最も多くなっています。

【年齢別】



障害のある知り合いの有無別にみると、“家族・親族にいる”では「まちなかでの人の視線」が最も多くなっています。

【障害のある知り合いの有無別】

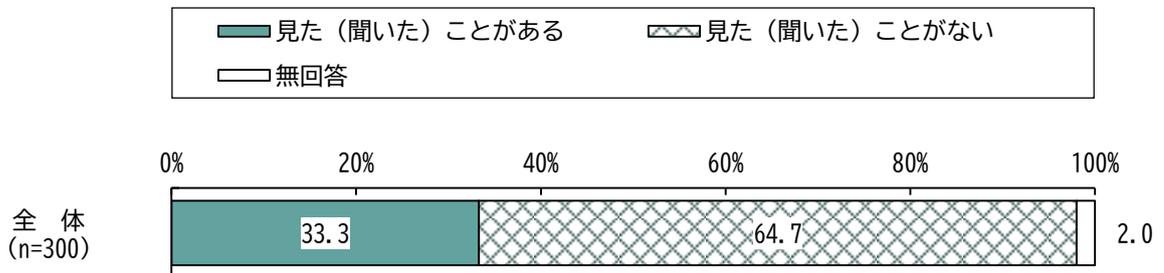


(7)「共にささえあい 生きる社会」のキャッチフレーズやデザインの認知度

問13 相模原市では、障害の有無にかかわらずあらゆる人の尊厳が守られ、安全で安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、「共にささえあい 生きる社会」のキャッチフレーズのもと、様々な事業を行っています。あなたは、このキャッチフレーズを聞いたり、次のデザインを見たりしたことがありますか。(○は1つ)



「見た（聞いた）ことがある」が33.3%、「見た（聞いた）ことがない」が64.7%となっています。



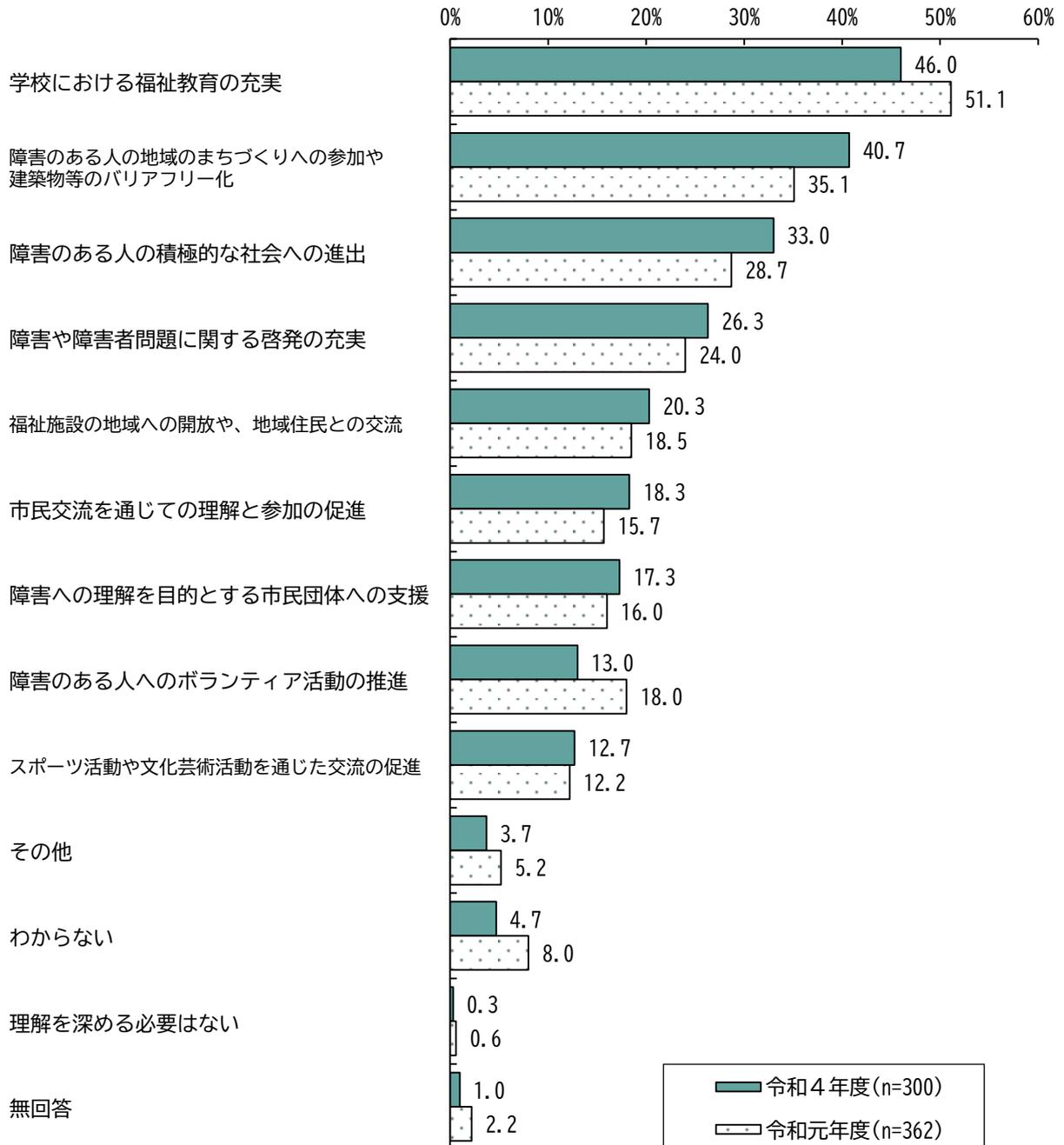
(8) 障害のある人への市民の理解を深めるために必要なこと

問14 あなたは、障害のある人への市民の理解を深めるためには、何が重要だと思いますか。

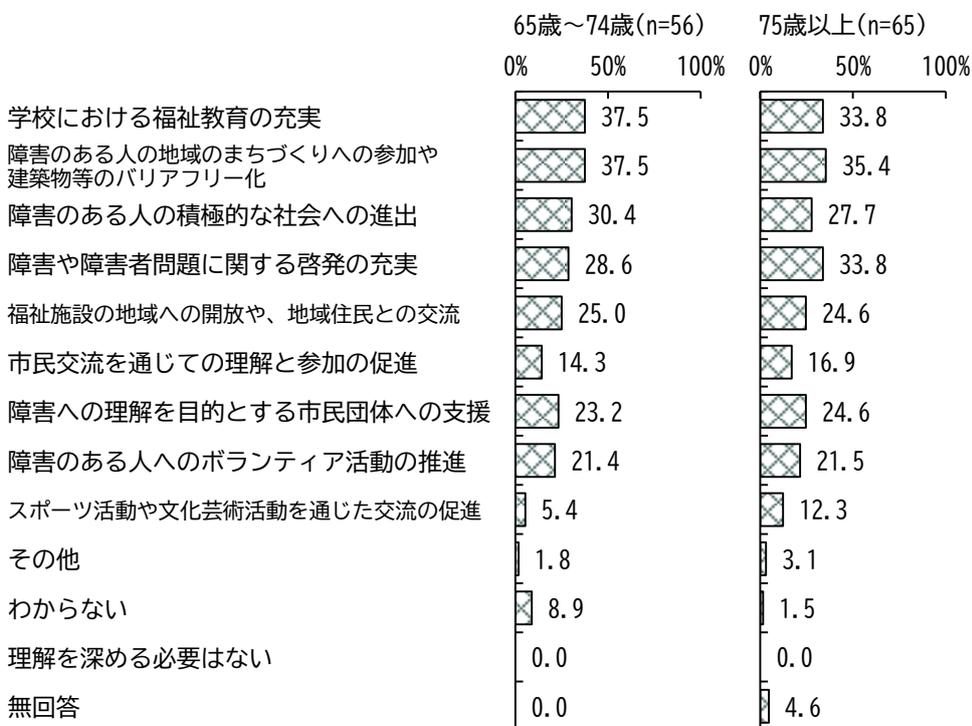
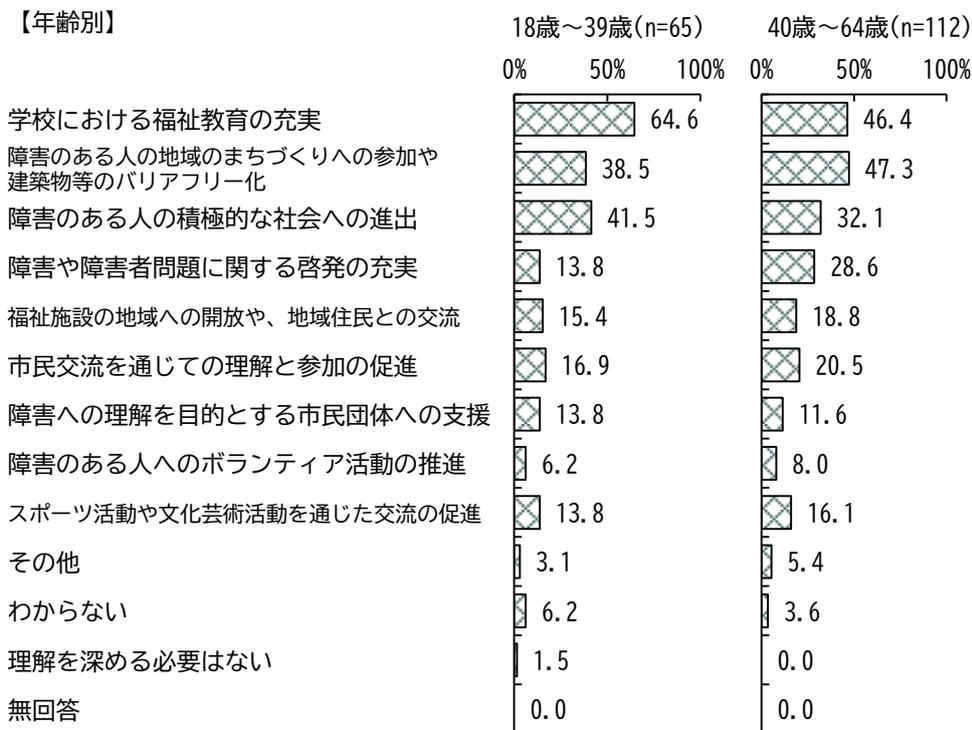
(○は3つまで)

「学校における福祉教育の充実」が46.0%と最も多く、次いで「障害のある人の地域のまちづくりへの参加や建築物等のバリアフリー化」が40.7%、「障害のある人の積極的な社会への進出」が33.0%などとなっています。

【全体・経年比較】



年齢別にみると、“75歳以上”では「障害のある人の地域のまちづくりへの参加や建築物等のバリアフリー化」が最も多くなっています。

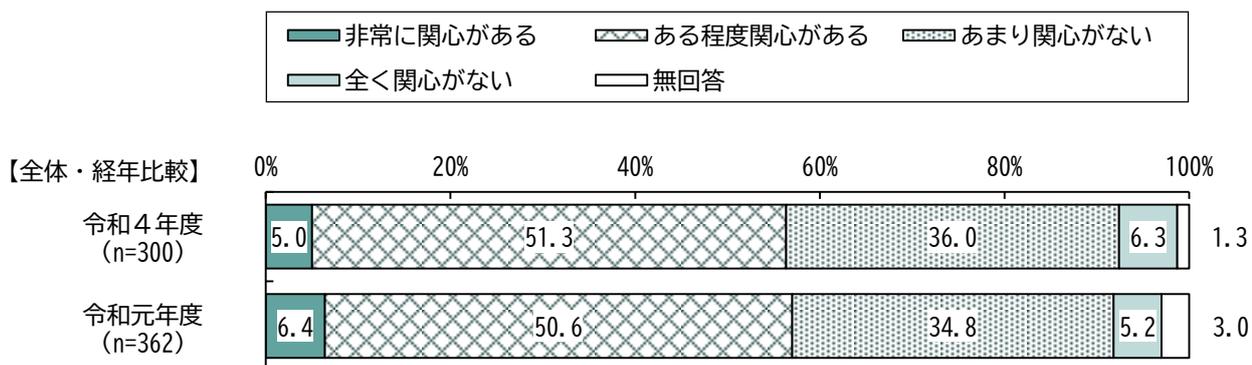


3 障害のある人への支援・ボランティアなどについて

(1) 福祉に関するボランティア活動への関心の有無

問15 あなたは、障害のある人に対するボランティア活動に関心がありますか。(○は1つ)

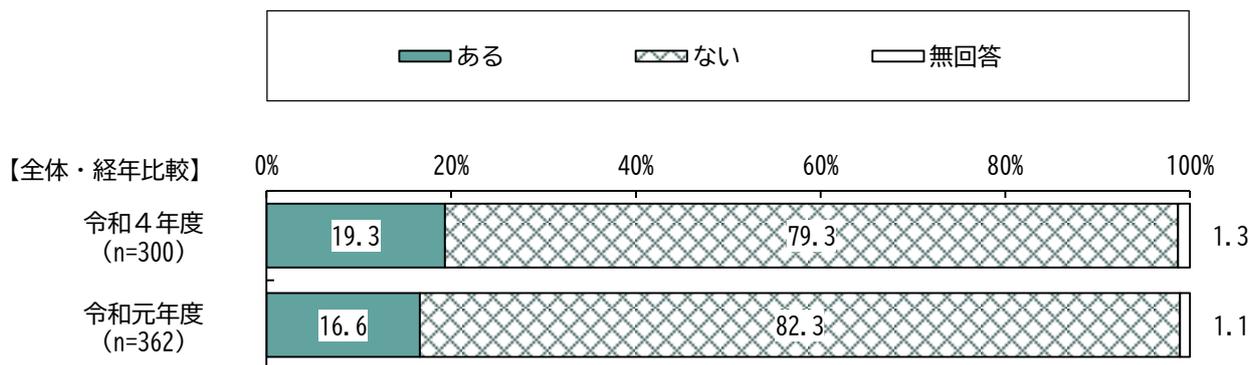
「非常に関心がある」が5.0%、「ある程度関心がある」が51.3%、「あまり関心がない」が36.0%、「全く関心がない」が6.3%となっています。



(2) 福祉に関するボランティア活動経験の有無

問16 あなたは、障害のある人に対するボランティア活動をしたことがありますか。(○は1つ)

「ある」が19.3%、「ない」が79.3%となっています。



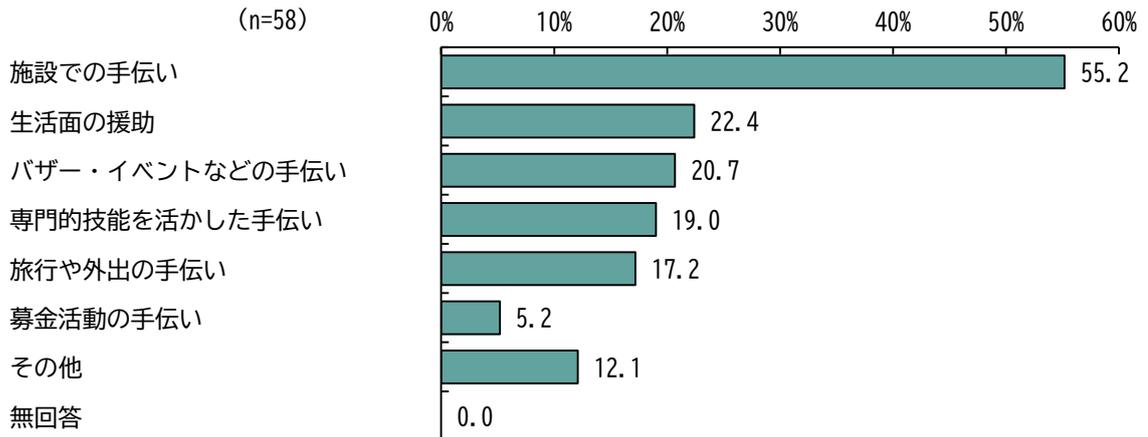
(3) 福祉に関するボランティア活動の内容

問16で「1 ある」とお答えの方にお聞きします。

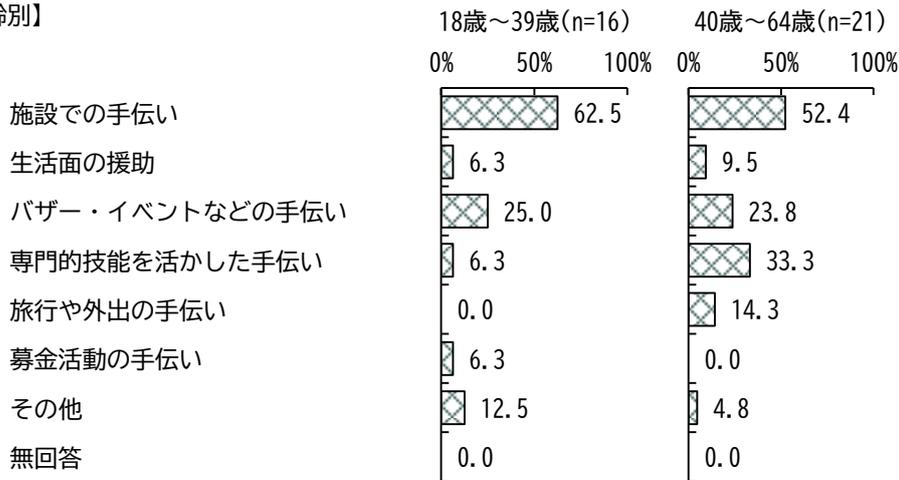
問16-1 それは、どのような活動ですか。(〇はいくつでも)

「施設での手伝い」が55.2%と最も多く、次いで「生活面の援助」が22.4%、「バザー・イベントなどの手伝い」が20.7%などとなっています。

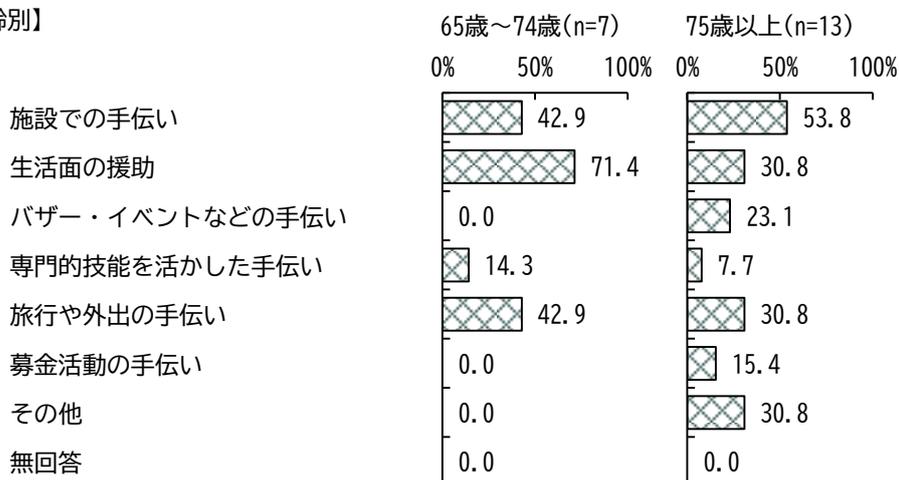
年齢別にみると、“65歳～74歳”では「生活面の援助」が最も多くなっています。



【年齢別】



【年齢別】



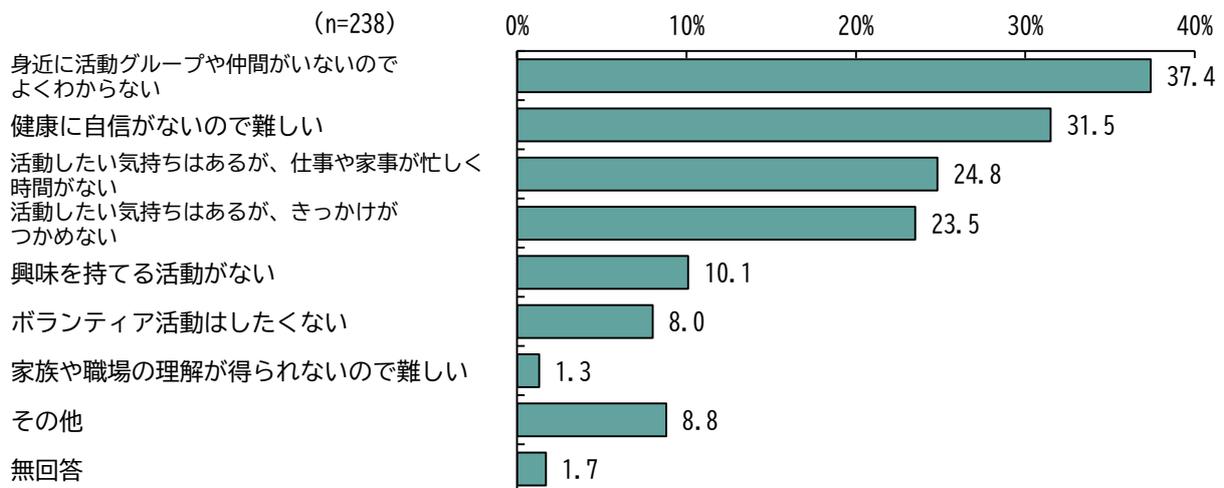
(4) 福祉に関するボランティア活動についての考え

問16で「2 ない」とお答えの方にお聞きします。

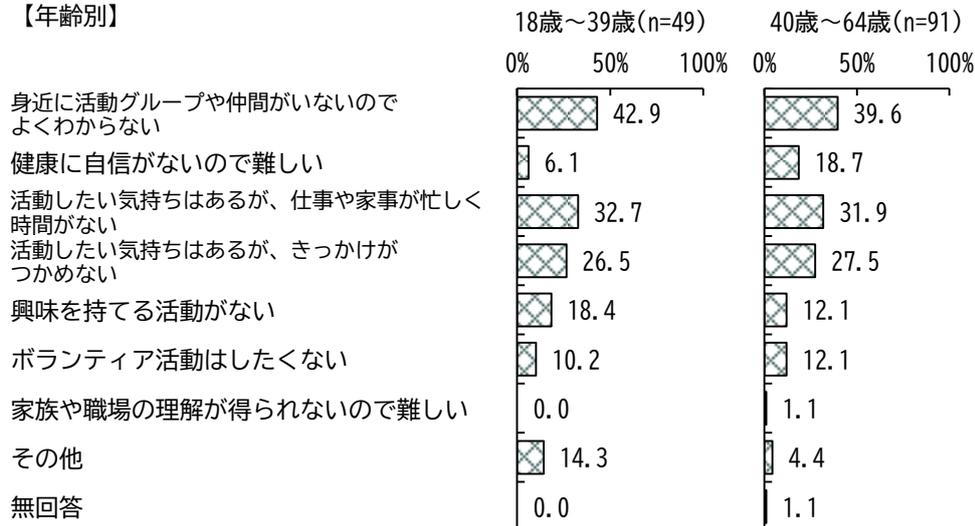
問16-2 ボランティア活動について、どのようにお考えですか。(〇はいくつでも)

「身近に活動グループや仲間がないのでよくわからない」が37.4%と最も多く、次いで「健康に自信がないので難しい」が31.5%、「活動したい気持ちはあるが、仕事や家事が忙しく時間が足りない」が24.8%などとなっています。

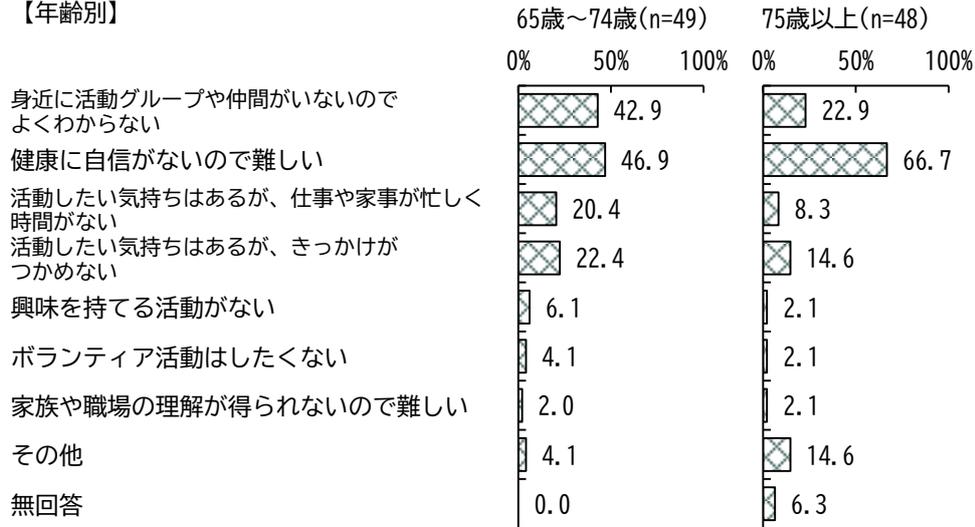
年齢別にみると、“65歳～74歳”、“75歳以上”では「健康に自信がないので難しい」が最も多くなっています。



【年齢別】

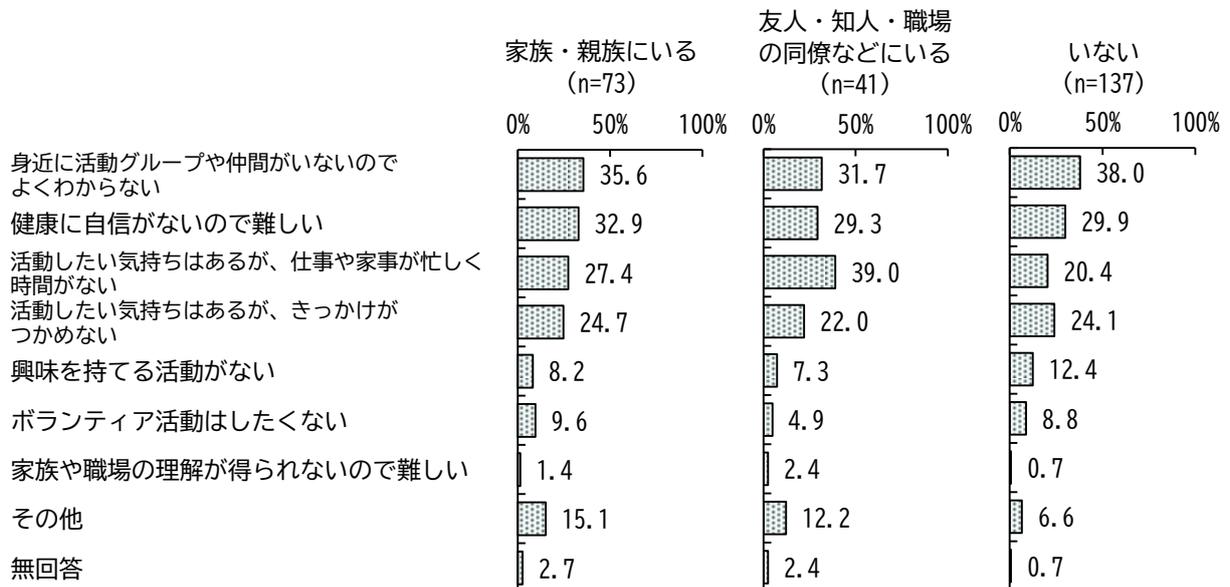


【年齢別】



障害のある知り合いの有無別にみると、“友人・知人・職場の同僚などにいる”では「活動したい気持ちはあるが、仕事や家事が忙しく時間がない」が最も多くなっています。

【障害のある知り合いの有無別】

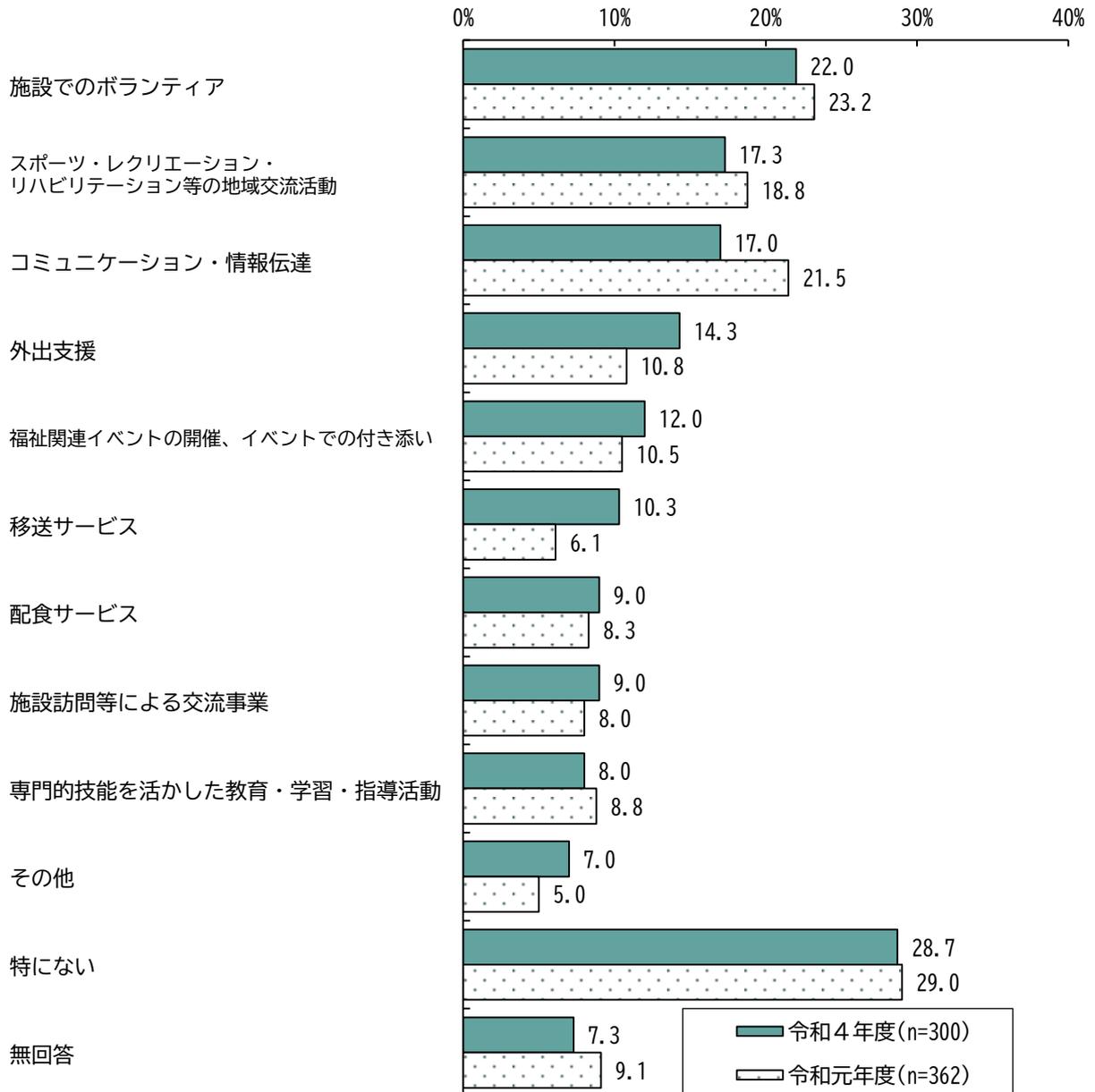


(5) 障害のある人にしてみたい支援や活動

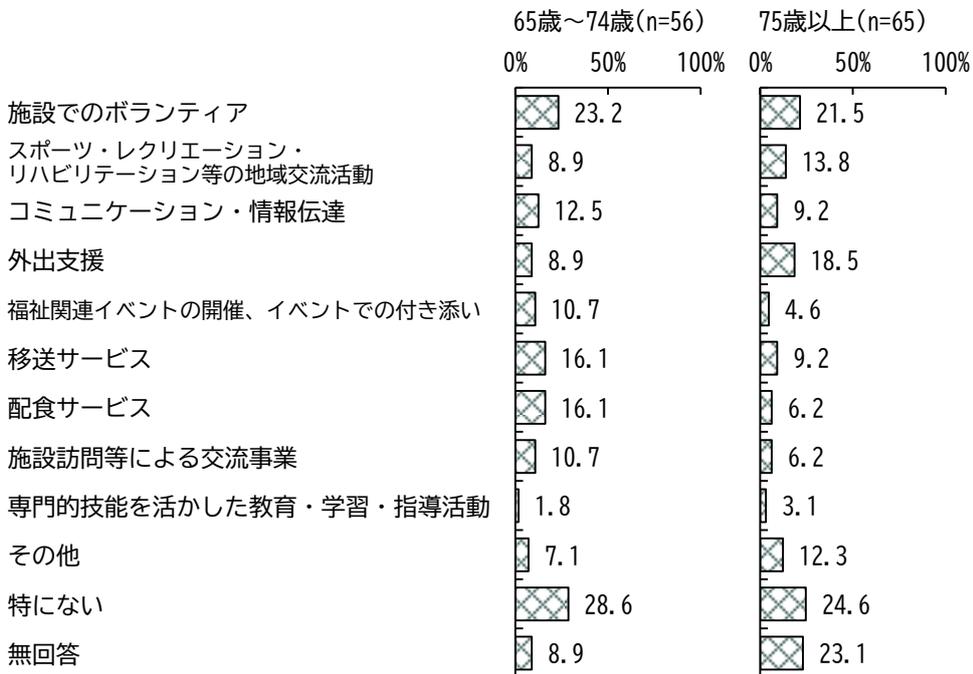
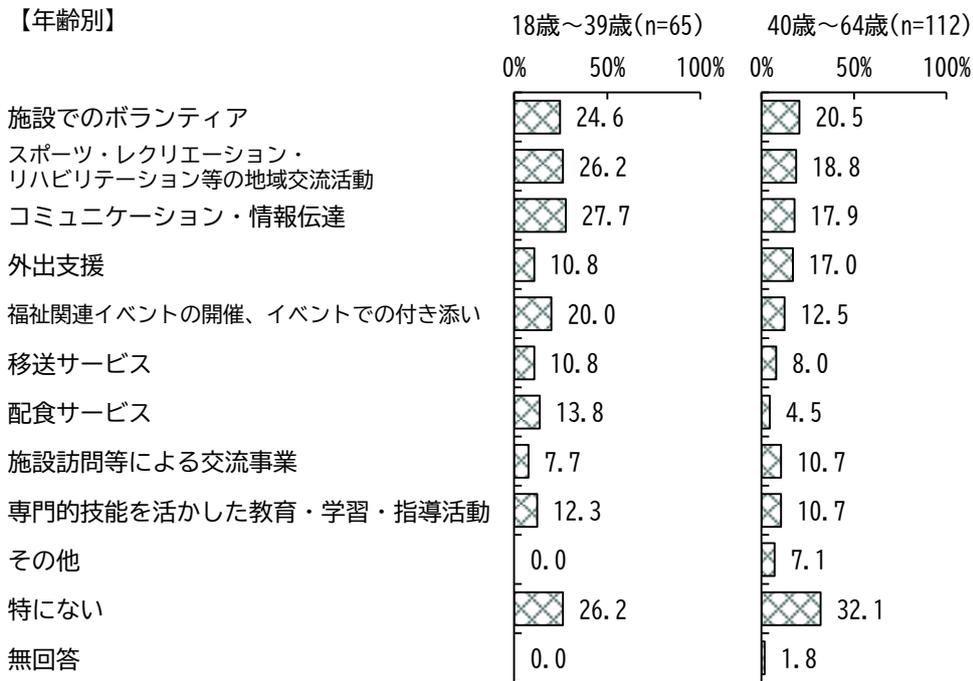
問17 あなたは、障害のある人にどんな支援や活動をしてみたいですか。(〇は3つまで)

「施設でのボランティア（話し相手、講師、介助や援助、行事の手伝いなど）」が22.0%と最も多く、次いで「スポーツ・レクリエーション・リハビリテーション等の地域交流活動」が17.3%、「コミュニケーション・情報伝達（手話・筆談・朗読など）」が17.0%などとなっています。また、「特にない」が28.7%となっています。

【全体・経年比較】



年齢別にみると、“18歳～39歳”では「コミュニケーション・情報伝達（手話・筆談・朗読など）」が最も多くなっています。



4 障害のある人の就労・教育などについて

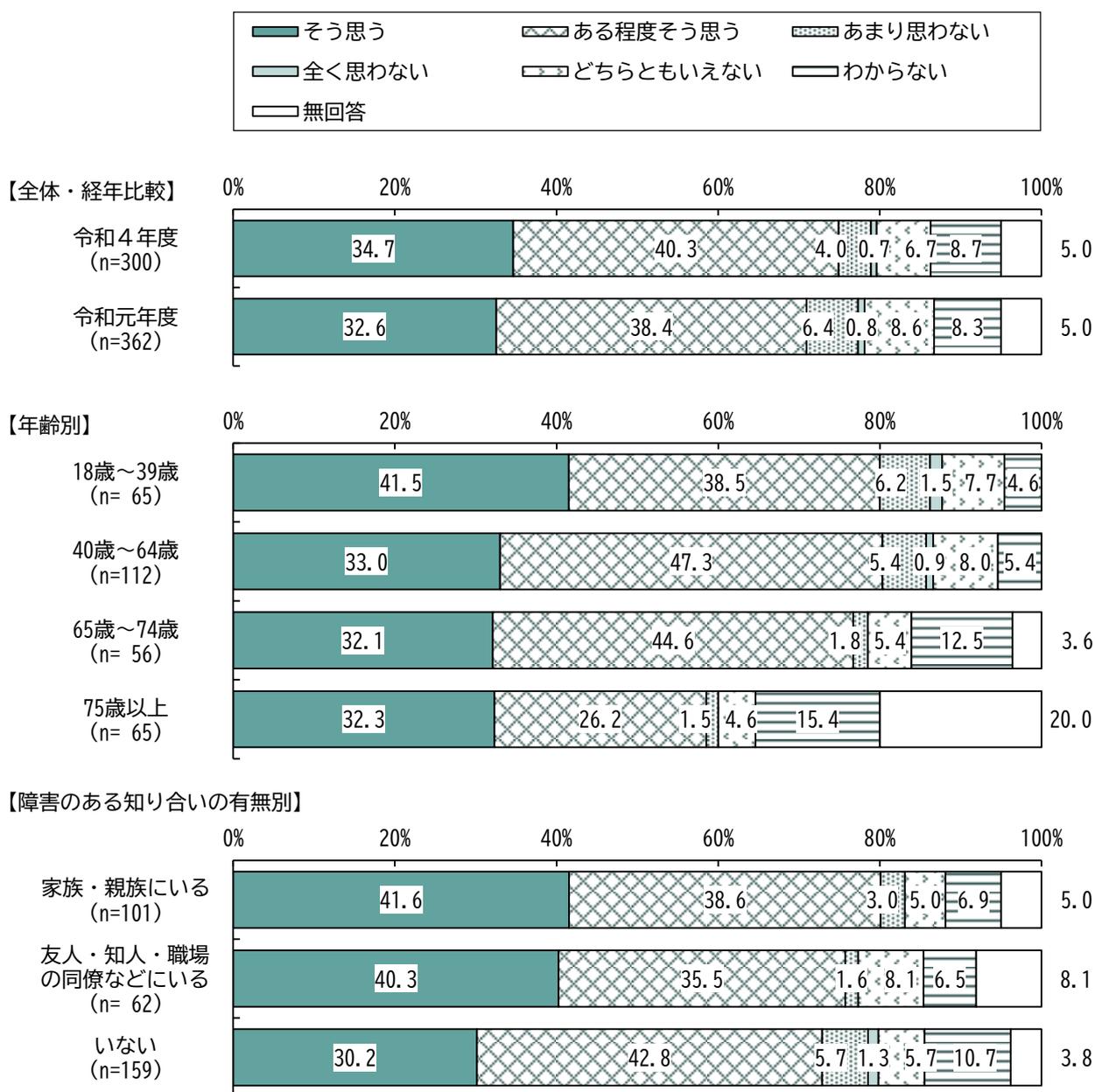
(1) 障害のある人の雇用を進めることについての考え

問18 あなたは、障害のある人が職場の同僚などとして、より雇用が進む必要があると思いますか。
(○は1つ)

「ある程度そう思う」が40.3%と最も多く、次いで「そう思う」が34.7%、「わからない」が8.7%などとなっています。

年齢別にみると、“18歳～39歳”、“75歳以上”では「そう思う」が最も多くなっています。

障害のある知り合いの有無別にみると、“家族・親族にいる”、“友人・知人・職場の同僚などにいる”では「そう思う」が最も多くなっています。

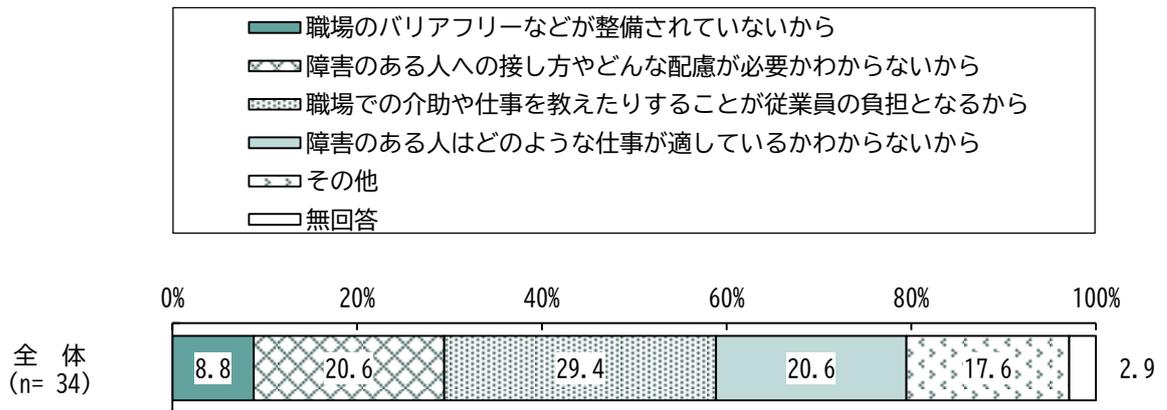


(2) 障害のある人の雇用を進める必要がないと思う理由

問18で「3 あまり思わない」「4 全く思わない」「5 どちらともいえない」とお答えの方にお聞きします。

問18-1 なぜそう思いますか。(○は1つ)

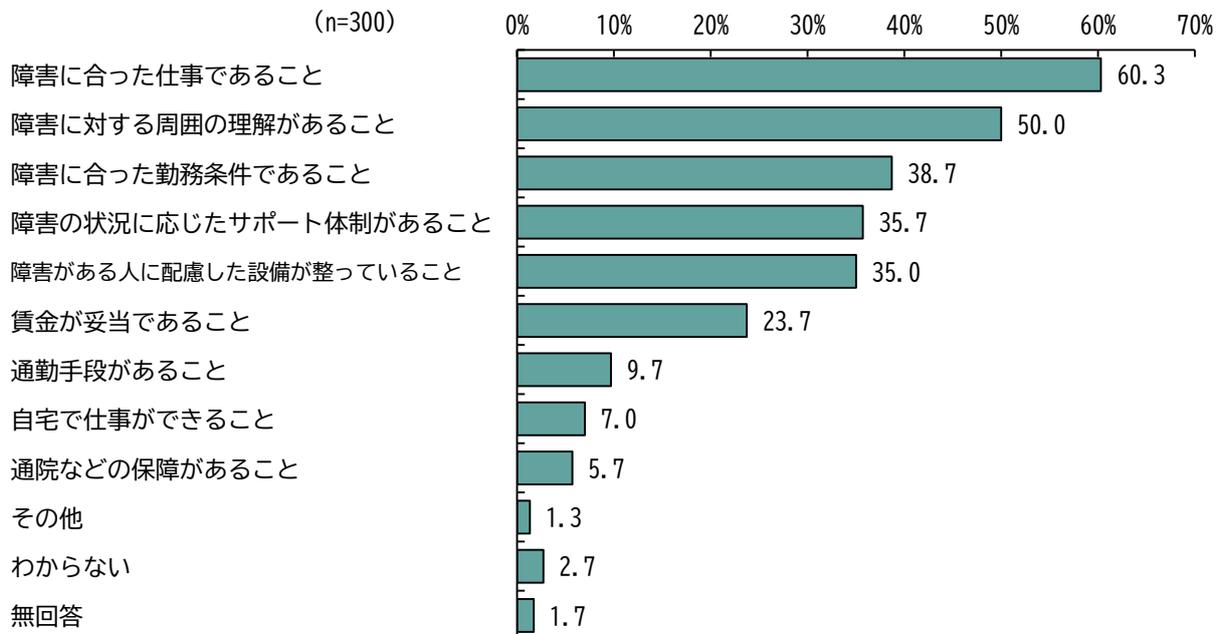
「職場での介助や仕事を教えたりすることが従業員の負担となるから」が29.4%と最も多く、次いで「障害のある人への接し方やどんな配慮が必要かわからないから」、「障害のある人はどのような仕事が適しているかわからないから」が20.6%、「職場のバリアフリーなどが整備されていないから」が8.8%などとなっています。



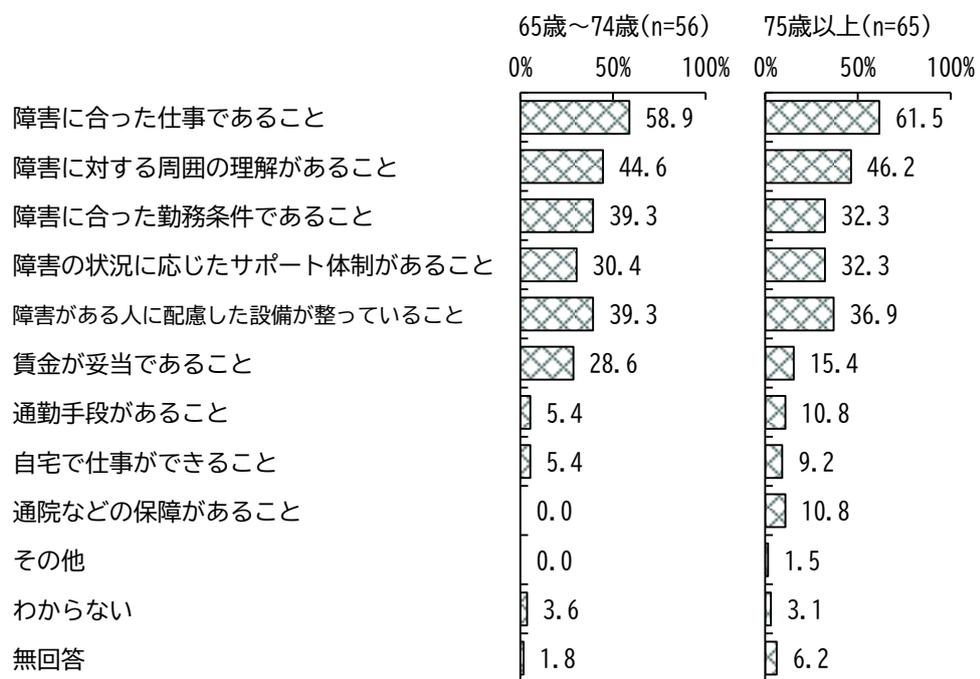
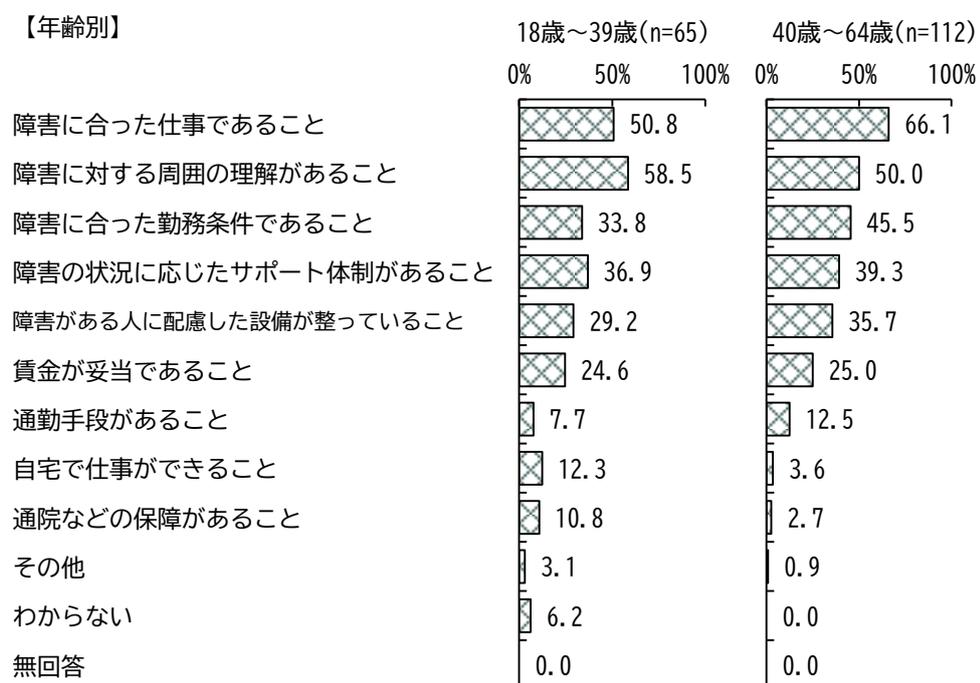
(3) 障害のある人が働くために必要だと思う条件

問19 現在、障害のある人への就労支援施策が推進されています。あなたは、障害のある人が働くために、どのような条件が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「障害に合った仕事であること」が60.3%と最も多く、次いで「障害に対する周囲の理解があること」が50.0%、「障害に合った勤務条件であること」が38.7%などとなっています。



年齢別にみると、“18歳～39歳”では「障害に対する周囲の理解があること」が最も多くなっています。

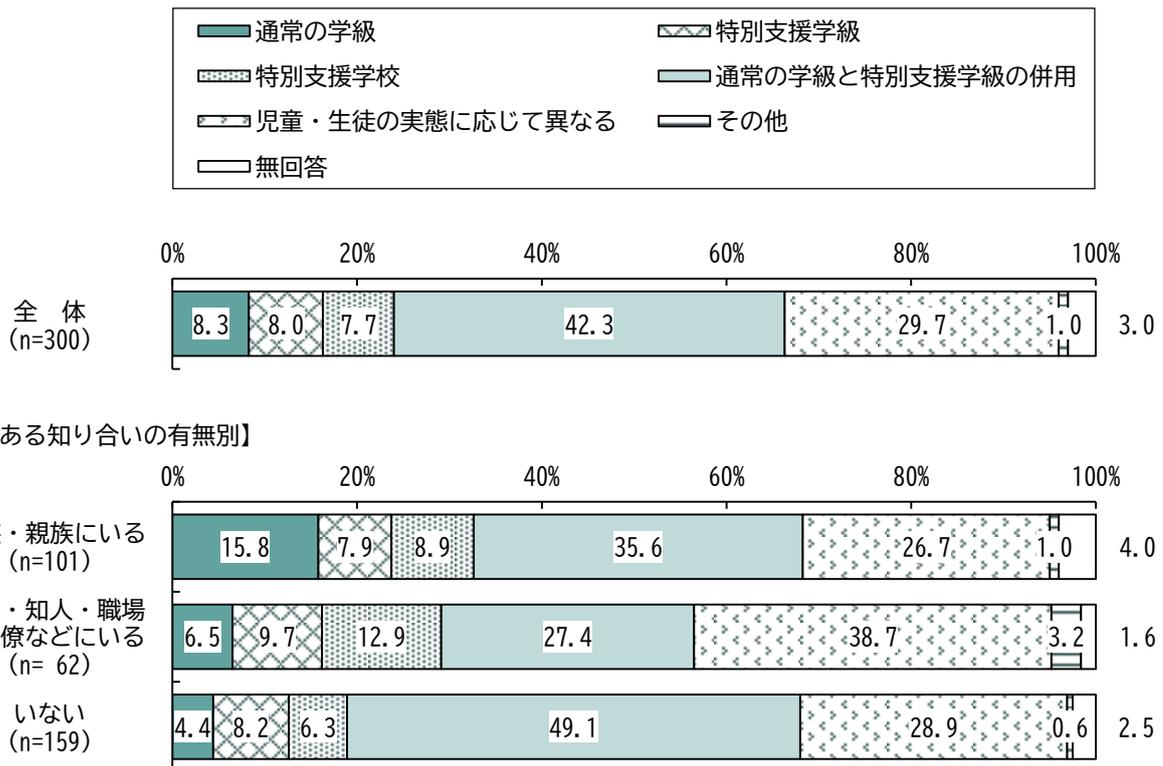


(4) 障害のある児童・生徒の就学環境の整備

問20 あなたは、障害のある児童・生徒の教育環境は、以下のどの学級、学校で整備されるのが良いと思いますか。(○は1つ)

「通常の学級と特別支援学級の併用」が42.3%と最も多く、次いで「児童・生徒の実態に応じて異なる」が29.7%、「通常の学級」が8.3%などとなっています。

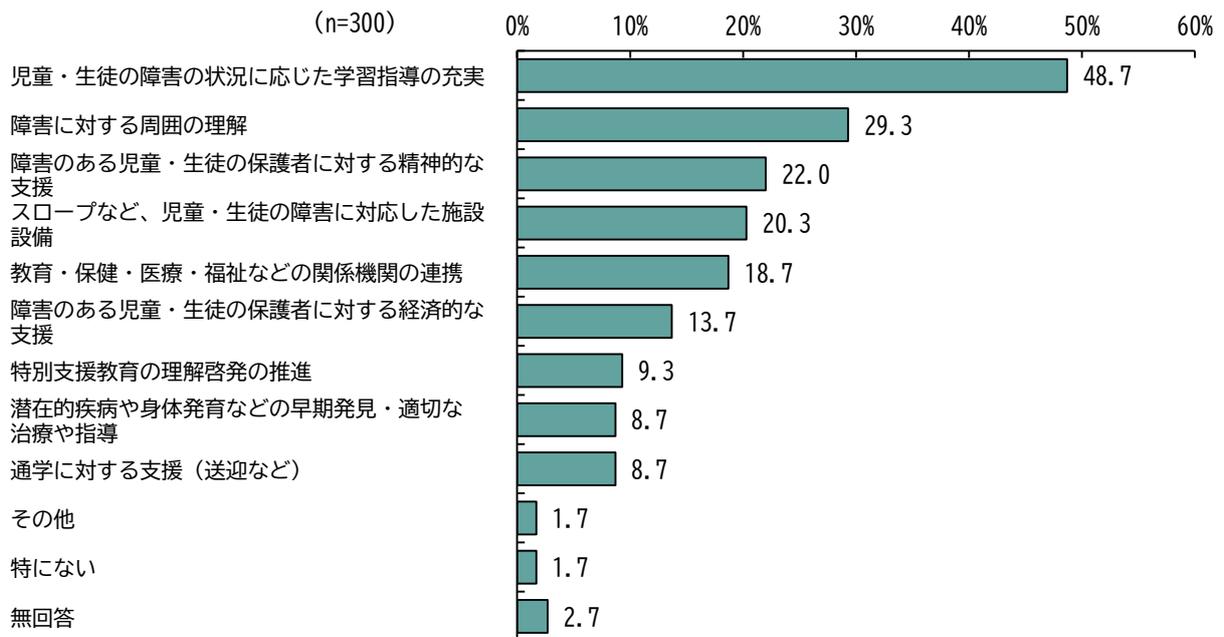
障害のある知り合いの有無別にみると、“友人・知人・職場の同僚などにいる”では「児童・生徒の実態に応じて異なる」が最も多くなっています。



(5) 障害のある児童・生徒の就学環境の整備について必要だと思うこと

問21 あなたは、障害のある児童・生徒の教育に関し、どのようなことが必要であると思いますか。
(○は2つまで)

「児童・生徒の障害の状況に応じた学習指導の充実」が48.7%と最も多く、次いで「障害に対する周囲の理解」が29.3%、「障害のある児童・生徒の保護者に対する精神的な支援」が22.0%などとなっています。

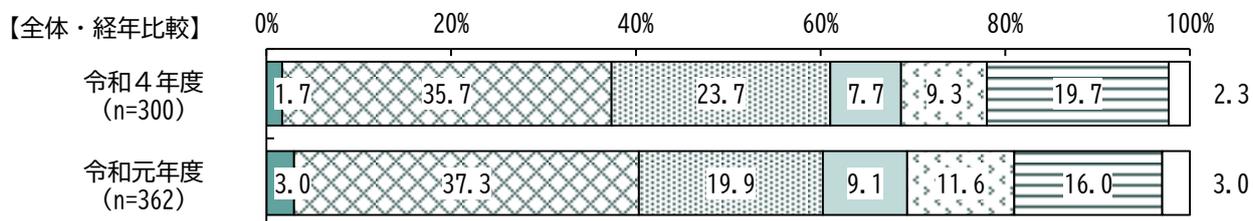
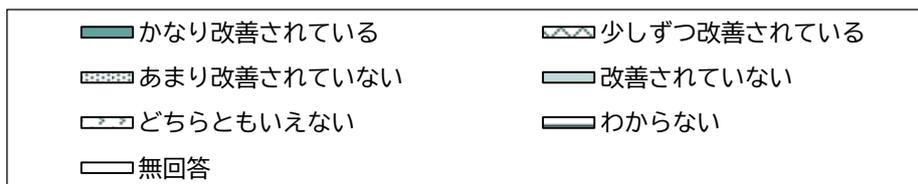


5 福祉のまちづくりについて

(1) まちの環境が障害のある人が外出しやすく改善されているか

問22 まちの環境は、障害のある人が外出しやすく改善されていると思いますか。(○は1つ)

「少しずつ改善されている」が35.7%と最も多く、次いで「あまり改善されていない」が23.7%、「わからない」が19.7%などとなっています。

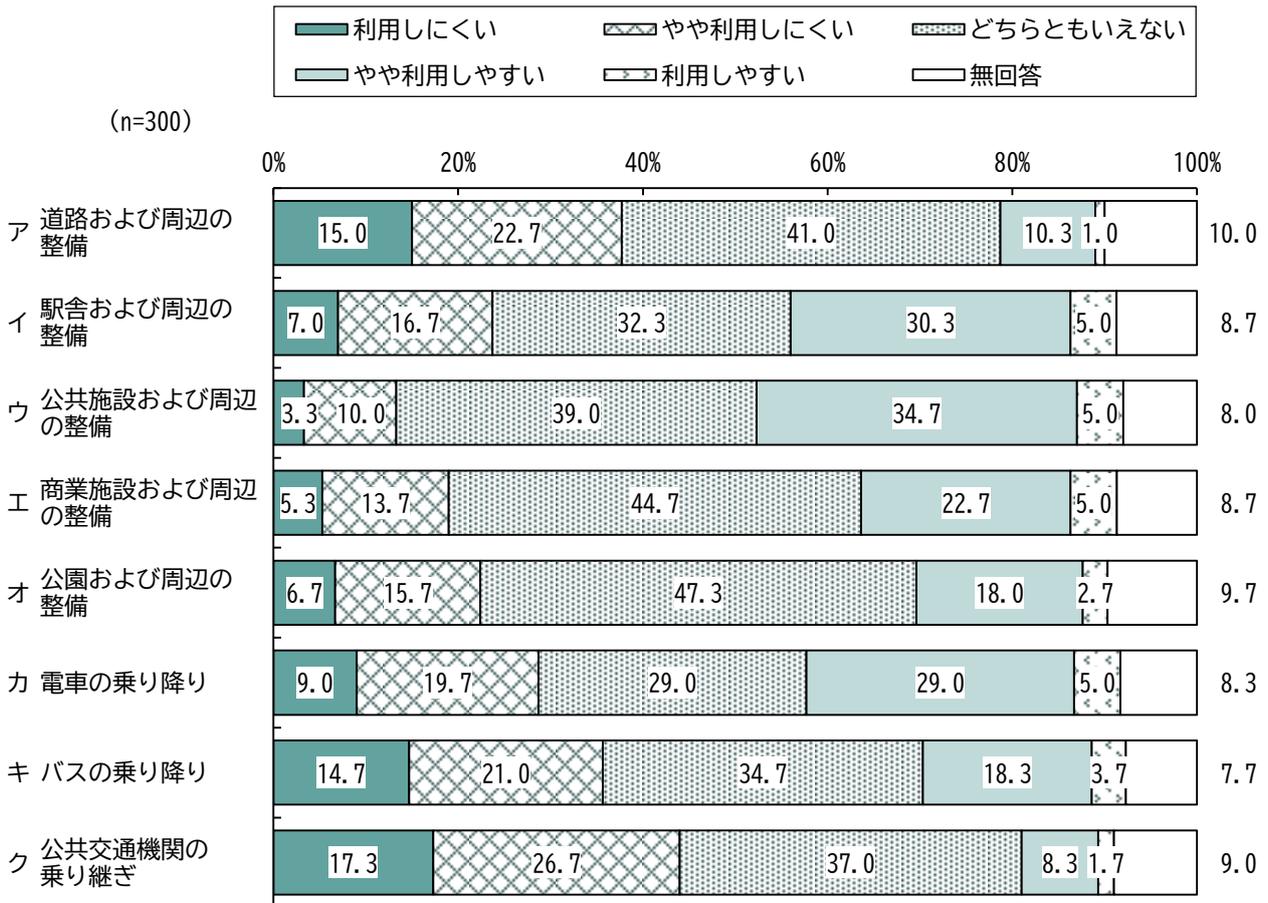


(2) 障害のある人にとっての施設などの利用しやすさ

問23 あなたは、障害のある人にとって次の施設などは使い勝手が良いと思いますか。

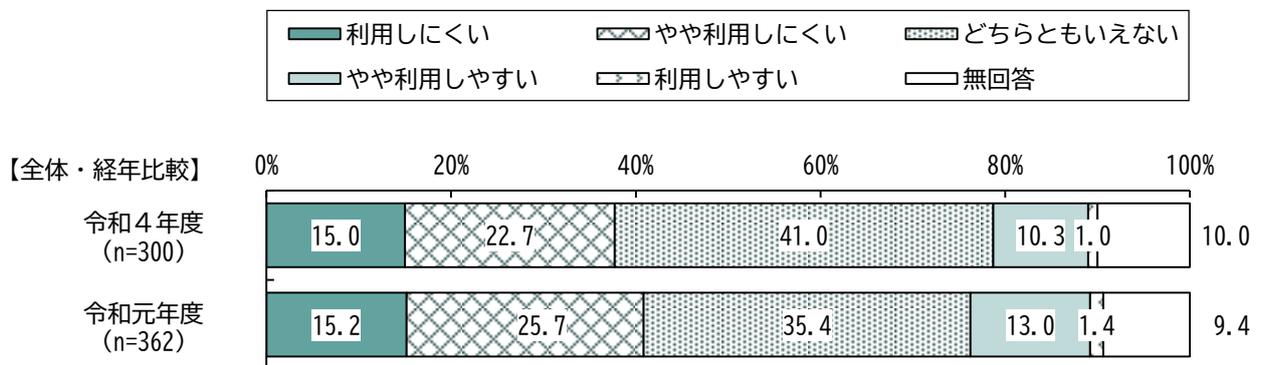
(ア～クの各項目それぞれ1つに○)

「利用しにくい」と「やや利用しにくい」を合わせた『利用しにくい』は、“公共交通機関の乗り継ぎ”で最も多くなっています。「利用しやすい」と「やや利用しやすい」を合わせた『利用しやすい』は“公共施設および周辺の整備”で最も多くなっています。



ア 道路および周辺の整備

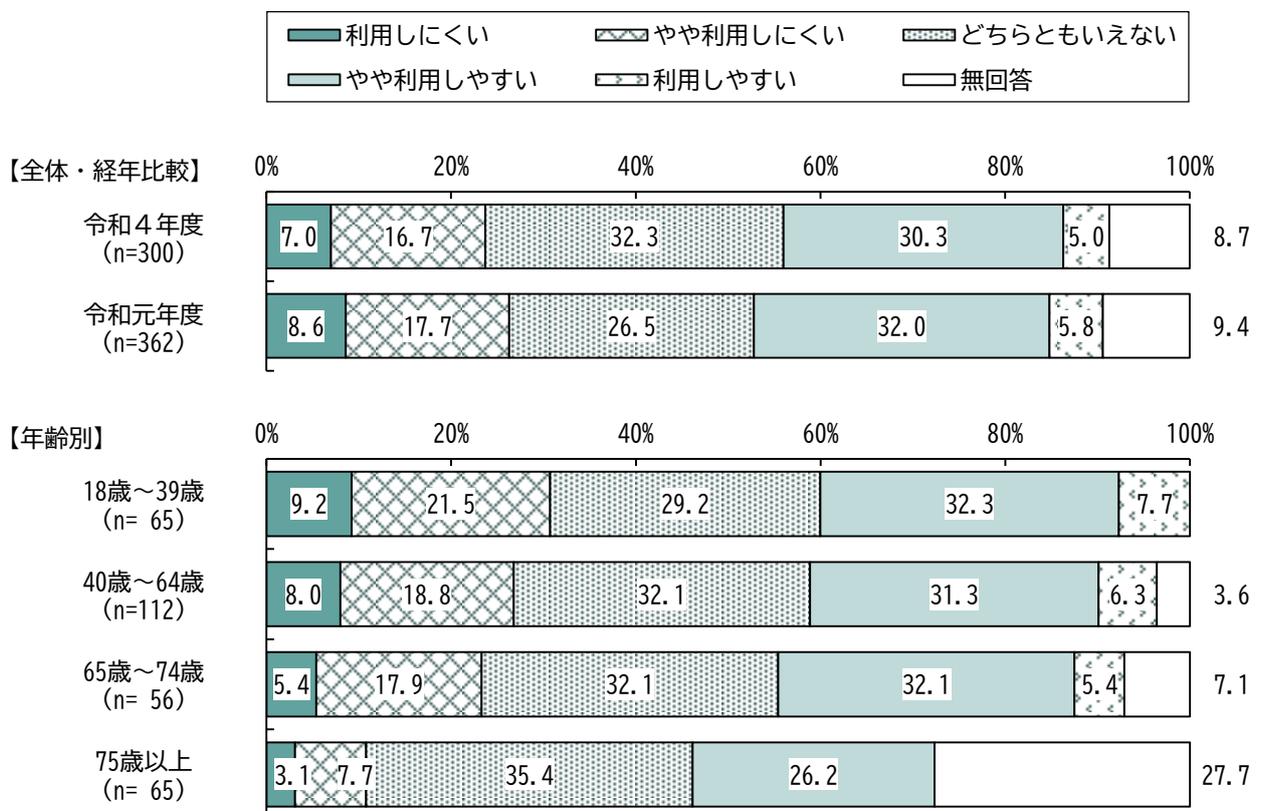
「どちらともいえない」が41.0%と最も多く、次いで「やや利用しにくい」が22.7%、「利用しにくい」が15.0%などとなっています。



イ 駅舎および周辺の整備

「どちらともいえない」が32.3%と最も多く、次いで「やや利用しやすい」が30.3%、「やや利用しにくい」が16.7%などとなっています。

年齢別にみると、「18歳～39歳」では「やや利用しやすい」が最も多くなっています。

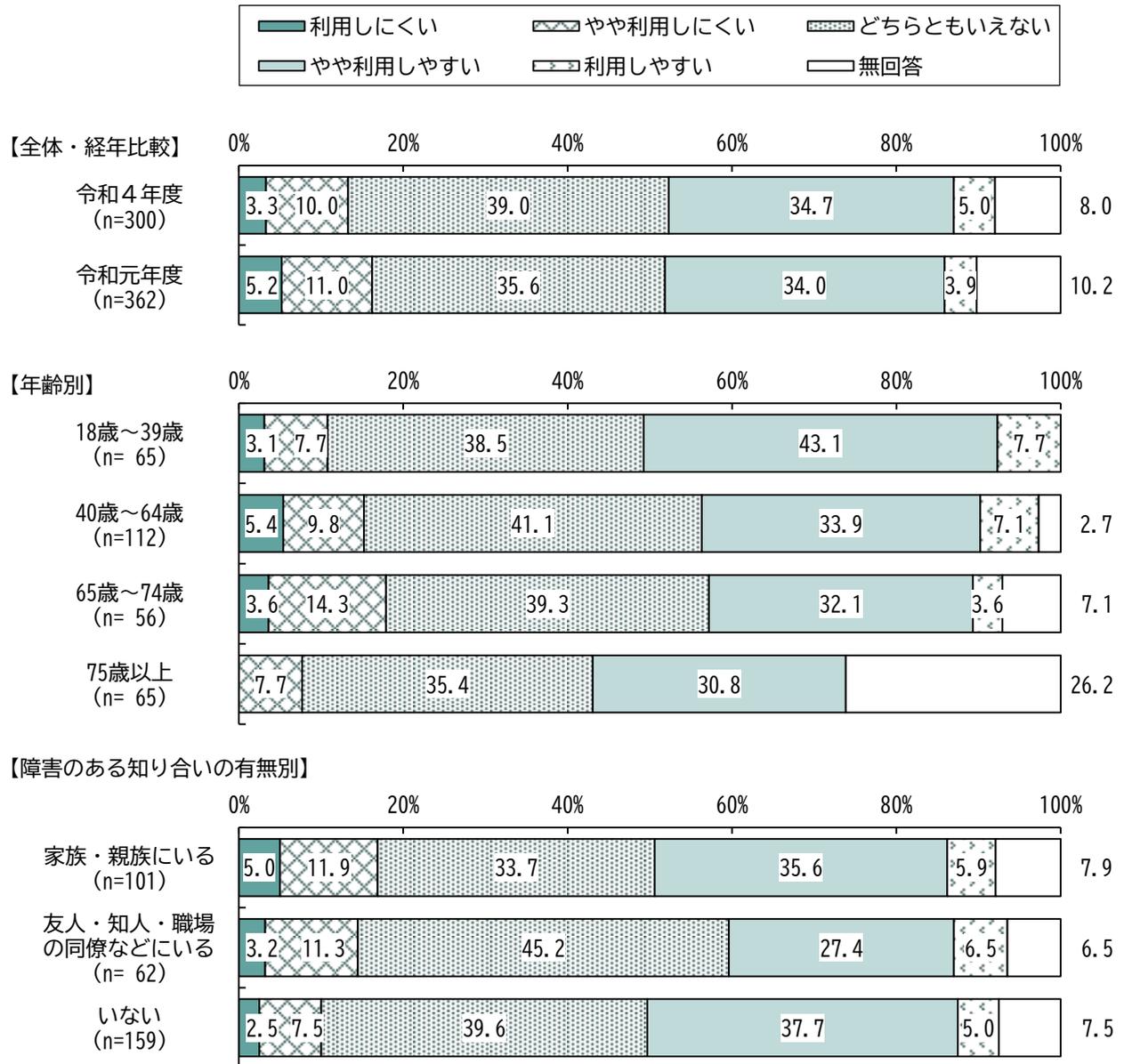


ウ 公共施設および周辺の整備

「どちらともいえない」が39.0%と最も多く、次いで「やや利用しやすい」が34.7%、「やや利用しにくい」が10.0%などとなっています。

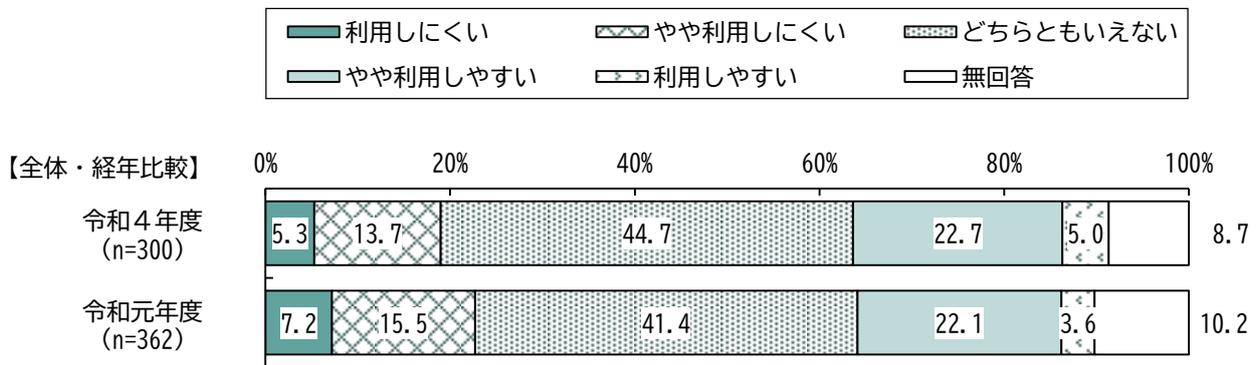
年齢別にみると、“18歳～39歳”では「やや利用しやすい」が最も多くなっています。

障害のある知り合いの有無別にみると、“家族・親族にいる”では「やや利用しやすい」が最も多くなっています。



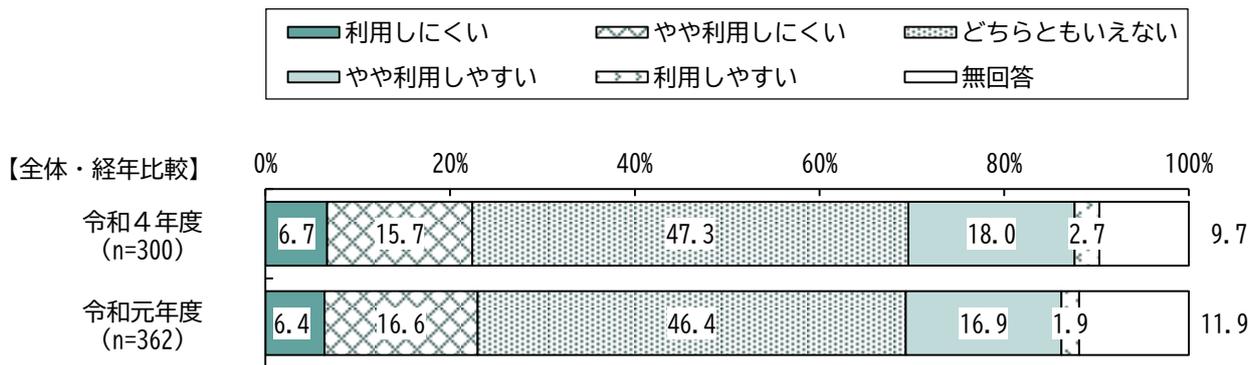
エ 商業施設および周辺の整備

「どちらともいえない」が44.7%と最も多く、次いで「やや利用しやすい」が22.7%、「やや利用しにくい」が13.7%などとなっています。



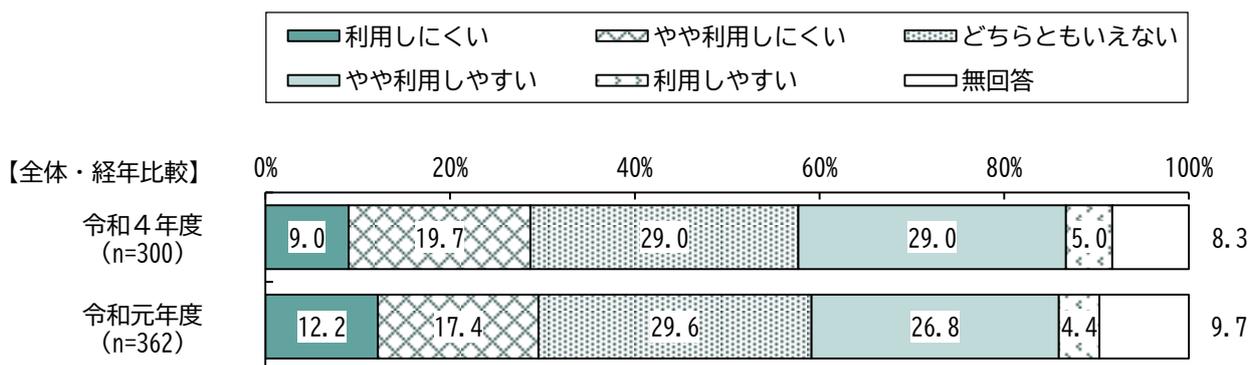
オ 公園および周辺の整備

「どちらともいえない」が47.3%と最も多く、次いで「やや利用しやすい」が18.0%、「やや利用しにくい」が15.7%などとなっています。



カ 電車の乗り降り

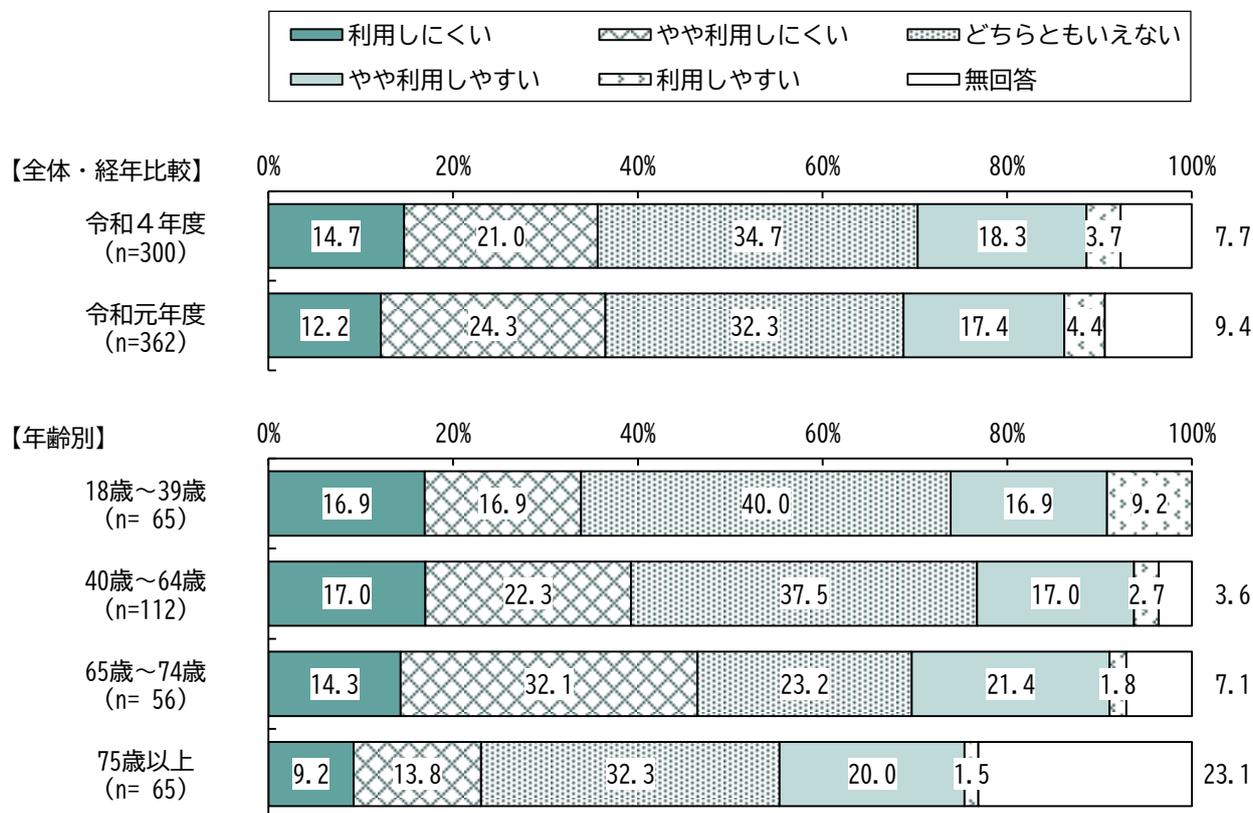
「どちらともいえない」、「やや利用しやすい」が29.0%と最も多く、次いで「やや利用しにくい」が19.7%、「利用しにくい」が9.0%などとなっています。



キ バスの乗り降り

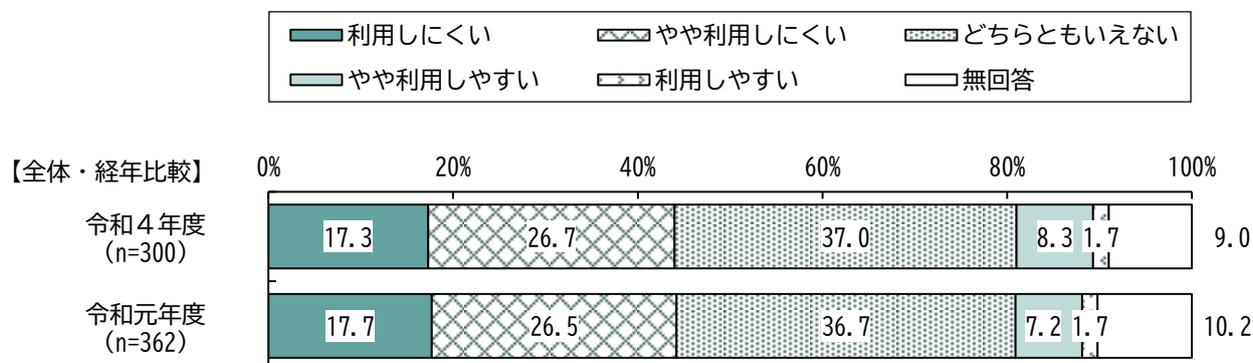
「どちらともいえない」が34.7%と最も多く、次いで「やや利用しにくい」が21.0%、「やや利用しやすい」が18.3%などとなっています。

年齢別にみると、“65歳～74歳”では「やや利用しにくい」が最も多くなっています。



ク 公共交通機関の乗り継ぎ

「どちらともいえない」が37.0%と最も多く、次いで「やや利用しにくい」が26.7%、「利用しにくい」が17.3%などとなっています。



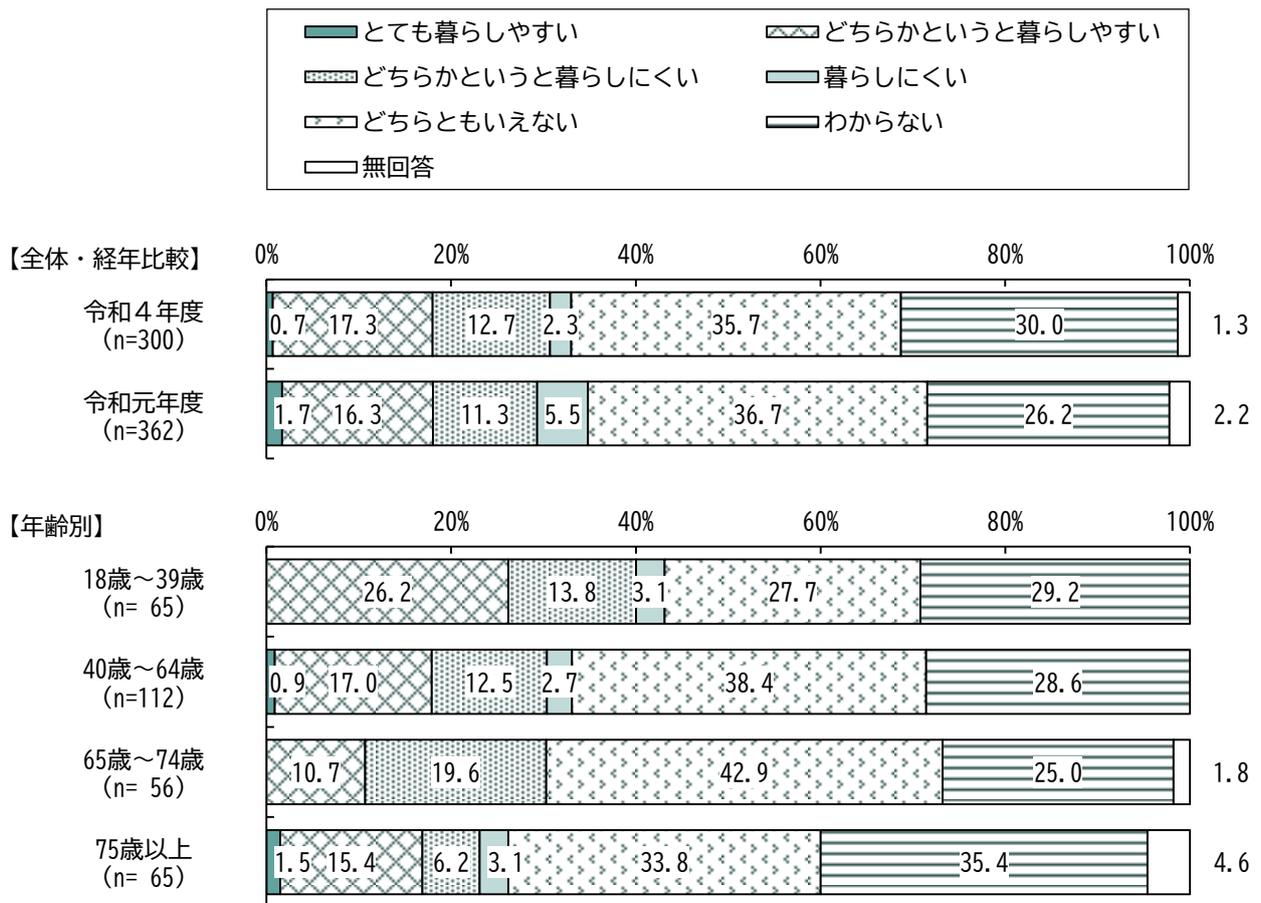
6 相模原市の障害者施策について

(1) 相模原市は障害のある人にとって暮らしやすいまちだと思うか

問24 あなたは、相模原市は障害のある人にとって暮らしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

「どちらともいえない」が35.7%と最も多く、次いで「わからない」が30.0%、「どちらかという暮らしやすい」が17.3%などとなっています。

年齢別にみると、「18歳～39歳」、「75歳以上」では「わからない」が最も多くなっています。

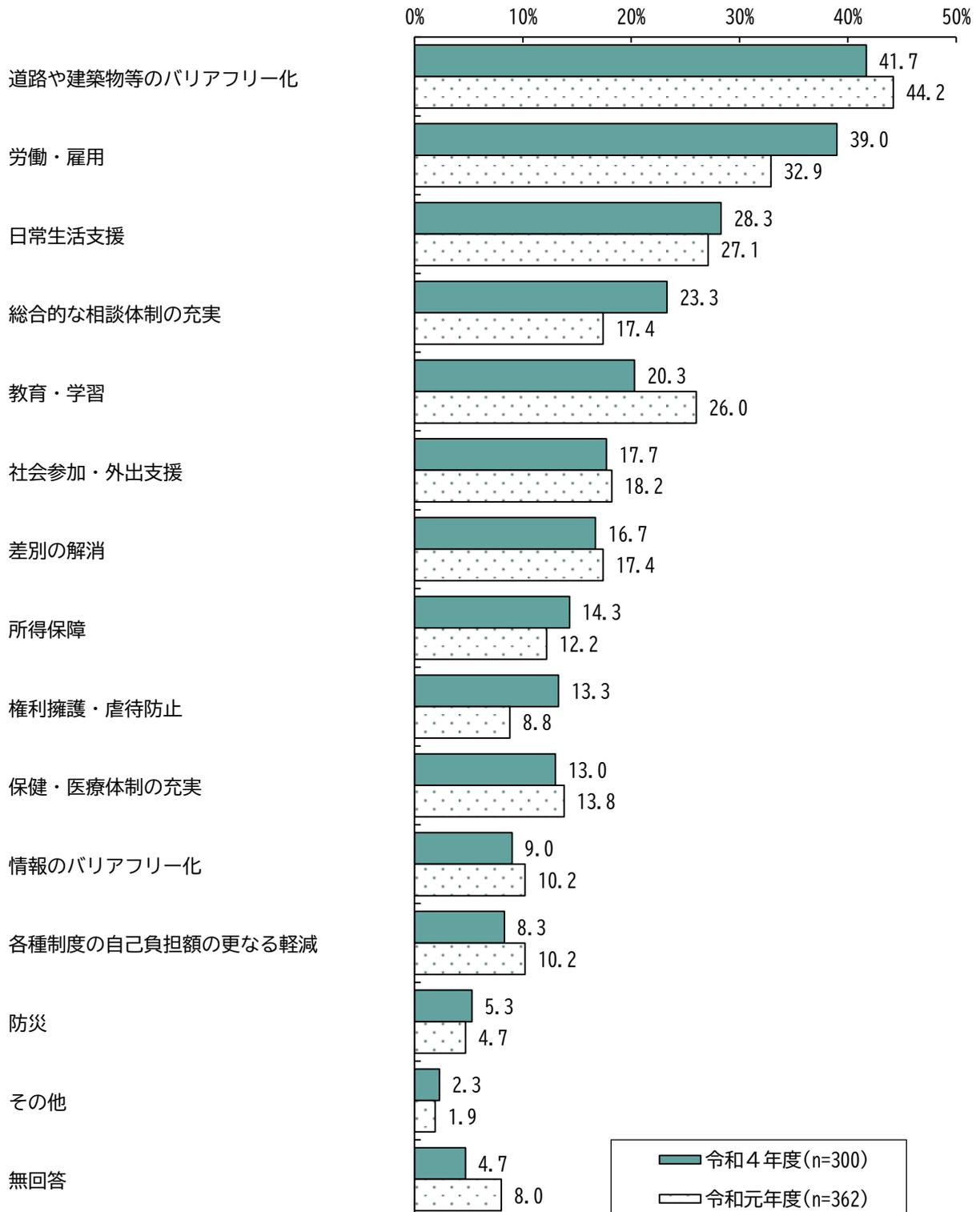


(2) 障害のある人にとって暮らしやすいまちになるために重点的に取り組むべき分野

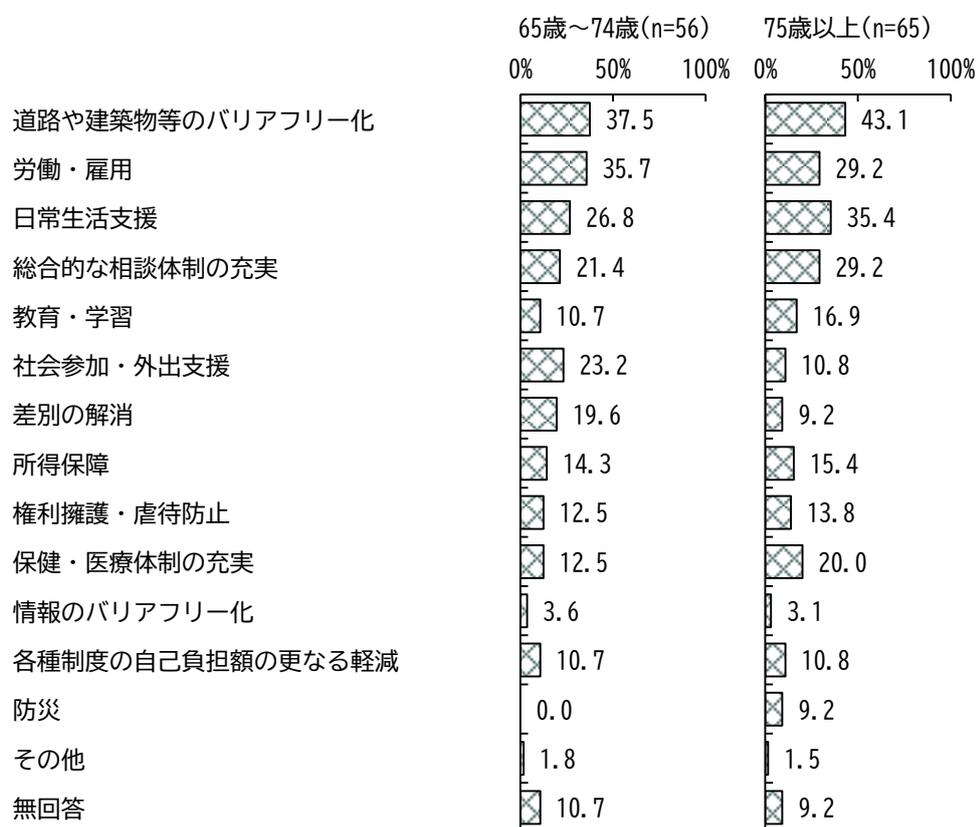
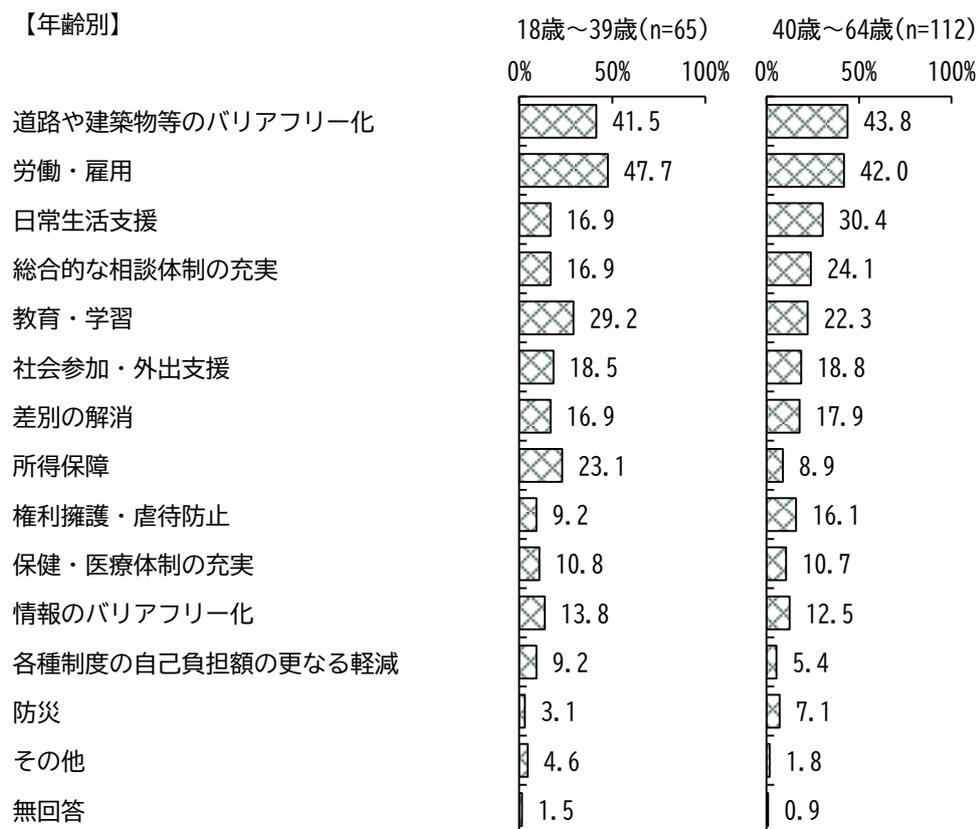
問25 相模原市が障害のある人にとって暮らしやすいまちになるには、次のうちどの分野に重点的に取り組むことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「道路や建築物等のバリアフリー化」が41.7%と最も多く、次いで「労働・雇用」が39.0%、「日常生活支援」が28.3%などとなっています。

【全体・経年比較】

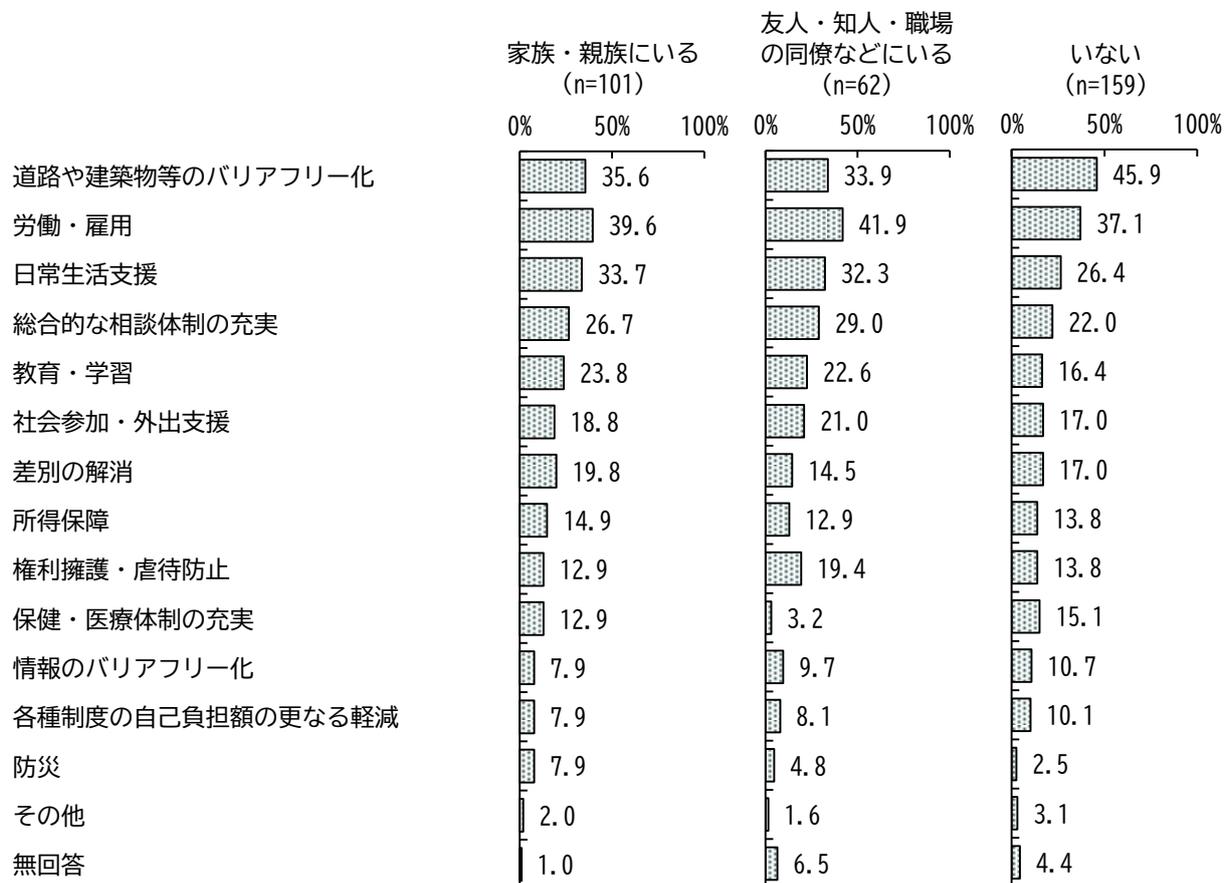


年齢別にみると、“18歳～39歳”では「労働・雇用」が最も多くなっています。



障害のある知り合いの有無別にみると、“家族・親族にいる”、“友人・知人・職場の同僚などにいる”では「労働・雇用」が最も多くなっています。

【障害のある知り合いの有無別】

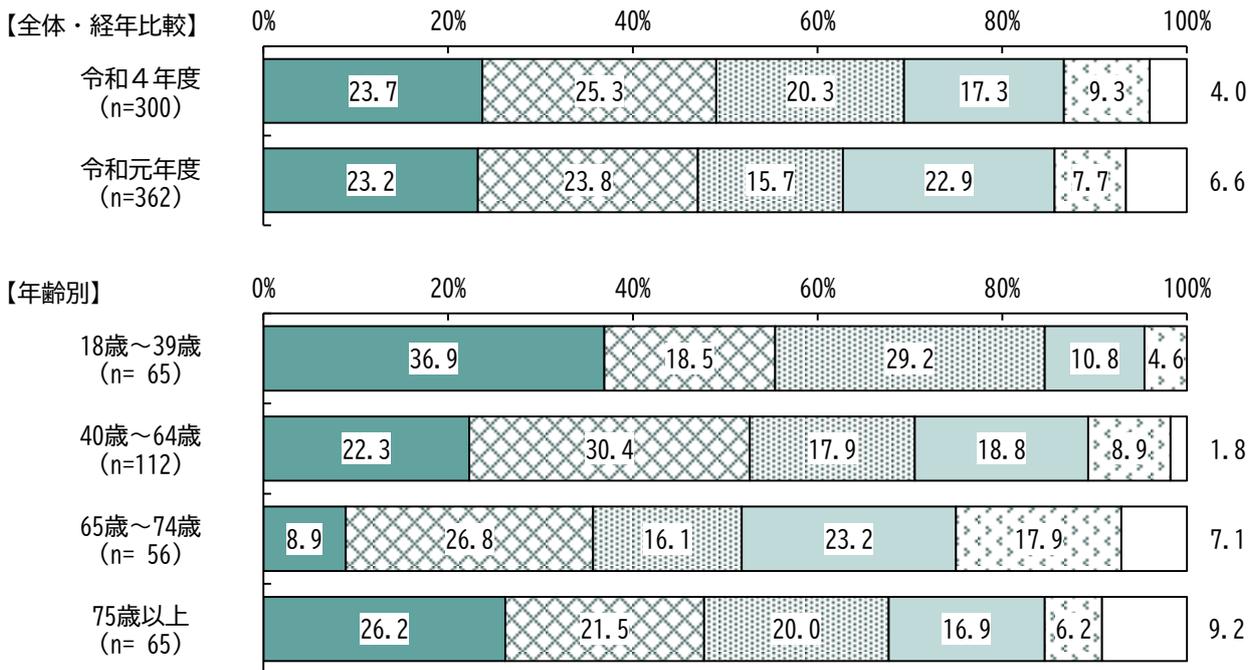
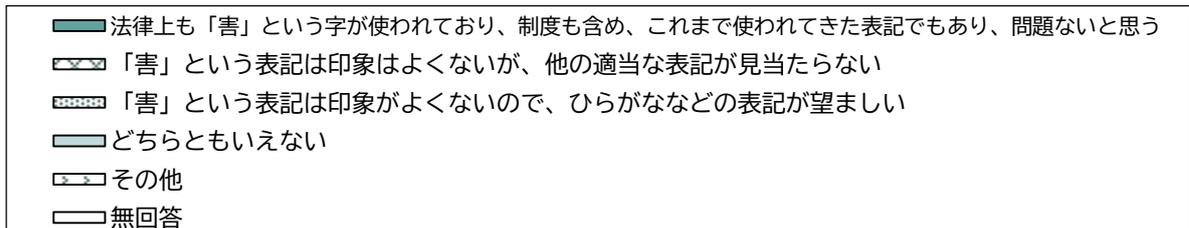


(3) 障害者の「害」という表記についての考え

問26 障害者の「害」という表記について、あなたはどのようにお考えですか。(○は1つ)

「害」という表記は印象はよくないが、他の適当な表記が見当たらない」が25.3%と最も多く、次いで「法律上も「害」という字が使われており、制度も含め、これまで使われてきた表記でもあり、問題ないと思う」が23.7%、「害」という表記は印象がよくないので、ひらがななどの表記が望ましい」が20.3%などとなっています。

年齢別にみると、“18歳～39歳”、“75歳以上”では「法律上も「害」という字が使われており、制度も含め、これまで使われてきた表記でもあり、問題ないと思う」が最も多くなっています。



IV 自由意見

1 障害のある人

問48 現在、あなたが相模原市に要望したいことなどを自由に書いてください。

相模原市に要望したいことなどを自由に記述してもらったところ、561人から626件の意見が寄せられました。

障害種別と記述内容により分類して整理し、相模原市に要望したいことや数が多かったご意見など主なものを掲載しました。

なお、記述原文の趣旨を損なわないよう配慮しながら、文章を読みやすく改めた場合があるほか、記述が長文にわたるもののうち、相模原市に要望したいことについて抜粋して示した場合があります。

(1) 身体障害者 (106件)

①福祉サービスに関すること

- 燃料給油券などの援助を増やしてほしい。(他2件)
- 生活用具給付券の上限をあげてほしい。(他1件)
- タクシー利用などでかかる移動料金の負担軽減をしてほしい。(他1件)
- 手話を学べる場所を増やしてほしい。
- 障害者が1人でも参加しているグループ活動に対して無料あるいは減額していただける施設を設定してもらいたい。
- 手帳を持っていても働かなければならない人を助けてくれる福祉を望む。
- 自立のために医療器具を実費で購入しているため負担してほしい。
- 障害年金を全員に支給してほしい。
- オムツの支給基準の見直しをしてほしい。
- 本人だけでなく介護している家族にもタクシー券を使えるようにしてほしい。

②施設・グループホームに関すること

- 低価格で入れる施設や入りたい時にすぐ入れる施設を増やしてほしい。(他1件)
- 施設の質の向上。
- 人手不足解消・研修の実施。
- 施設入所中であってもサービスを受けられるようにしてほしい。
- 様々な病気に対応した施設の普及を望む。

③公共交通機関、道路整備に関すること

- バスや電車などの料金を割引してほしい。(他2件)
- 福祉車両の復活。(他1件)
- バスの運行を増やしてほしい。
- 近場を通るコミュニティバスがほしい。
- 移動手段を充実させてほしい。
- 車いすでバスに乗る時、時間がかかるので短縮できるように開発してほしい。
- 車いす用のバス停を増やしてほしい。
- 街灯を増やし障害者送迎専用スペースがほしい。
- 福祉タクシーを使用する際、乗る時や降りる時に簡単なサポートをしてほしい。

④医療に関すること

- 医療機関及び、保健所職員の質の向上。
- もっと身近に専門病院が増えることを望む。

⑤バリアフリーに関すること

- タクシー乗場や歩道などのバリアフリー化をすすめてほしい。(他6件)
- 歩きやすいよう道路整備をしてほしい。(他2件)
- 街灯・点字ブロック整備の充実。
- 信号機が見えづらい所があるので、音声付きの信号機があると分かりやすい。

⑥相談体制に関すること

- すぐに相談が出来る窓口や電話相談の窓口を増やしてほしい。(他2件)
- 要介護認定を受けた人のガイドブックや手びきは、無料郵送にしてほしい。
- 障害者に対する経過的・長期的な相談体制を望む。

⑦将来の不安に関すること

- 将来の生活費が不安。年金はあてにならない。
- 年齢を重ね状態が悪い方へ進んでいるのに認められないことがでてくる気がして不安である。

⑧教育、療育、学校に関すること

- 障害者や老人が保育園に送迎しなければならない場合に入園ポイントを検討してほしい。

⑨福祉施策に関すること

- 補聴器購入において柔軟な対応をしてほしい。(他1件)
- 補助金のアップ。(他1件)
- 福祉の充実を望む。生活に負担がない様にしてほしい。
- 自営業者の障害年金の受給格差をなくしてほしい。
- 医療保険や介護保険料が高額すぎる。

⑩経済的な問題に関すること

- 数年後の生活に対する不安を抱いている。
- ひとり親家庭への支援を充実させてほしい。シングルファザーへの支援がない。
- 経済的に困らないようにしてほしい。

⑪就労に関すること

- 障害者に対する職の斡旋。ケーススタディ事例をもっとオープンにしてほしい。
- 職場まで毎日通うことができない人の為に、送迎していただきたい。

⑫書類や手続きに関すること

- 手帳交付をわかりやすくしてほしい。
- 申請や手続きなどを完全にオンラインで行えるようにしてほしい。

⑬情報提供に関すること

- 文書だけでなく映像や音声による情報も多くしてほしい。映像での公報を望む。
- 福祉のしおりの最新版があったら個々に連絡していただきたい。

⑭スポーツ施設、イベント施設に関すること

- 利用しやすい場所に体育館をつくってほしい。(他1件)
- 趣味のスポーツ、体操、運動ができる場所を増やしてほしい。

⑮災害に関すること

⑯理解、啓発に関すること

- ヘルプマークへの理解者が少ない。
- 地域共生社会において安心して生活ができる体制づくり。

⑰その他

- すべての人が住みやすい地域社会になってほしい。(他5件)
- 職員の質の向上。(他1件)
- 視覚障害者にこういったアンケートは、字がこまかくて答えるのに大変である。(他1件)
- 市営駐車場に長時間停車しても無料にしてほしい。
- 宿泊補助の再開を望む。
- 障害者支援のはずのケースワーカー等が本人の考えを聞かず家族が打ち合わせで変わるのはどうかと思う。
- 駅から店や通院に向かうまでの途中で休む場所やつかまって歩けるようにしてほしい。
- 障害者利用者優先駐車スペースを一般の人が利用していて駐車できないことが多い。他の自治体でも活用している駐車表示票みたいな物があるいい。

(2) 知的障害者 (114件)

①福祉サービスに関すること

- 医療費の収入制限についてなくしてほしい。
- サービスを受けるのに時間がかかる。
- ごみ収集を戸別収集にしてほしい。
- 放課後等デイサービスの利用で施設まで送迎してほしい。
- 軽度の障がい者に対しての手当の充実。

②施設・グループホームに関すること

- 様々な病気・障害に対応した施設の普及を望む。(他3件)
- 知的や自閉症と肢体不自由の人が一緒にグループホームなのを別にしてほしい。
- 女性用のグループホームを増やしてほしい。
- 障害者用施設、生活の場の民営化の推進。
- 障害者及びその家族が誰にも遠慮することなく集えるような場や会を複数運営してほしい。
- 放課後等デイサービスを増やしてほしい。
- 支援事業所の拡充と事業所職員の増員、職員の待遇改善を望む。

③公共交通機関、道路整備に関すること

- コミュニティバスが出てほしい。
- 交通手段を今よりもっと良くしてほしい。
- 電車、交通機関の割引を本人だけでも利用できるような仕組みづくりにしてほしい。

④医療に関すること

- 突然の受診にも対応できる場所を増やしてほしい。
- 20才以上の医療機関の充実と専門の医療機関があること。

⑤バリアフリーに関すること

⑥相談体制に関すること

- どんな事でも相談できる窓口があれば安心できると思う。(他2件)
- 相談窓口には職員だけではなく心理士との個別相談ができる機会を増やしてほしい。
- 緊急で相談したい時、市役所やキーステーションが空いていない時間にLINEか電話で相談ができるようにしてほしい。

⑦将来の不安に関すること

- 子どもが将来きちんと生活を送っていけるか心配である。(他3件)

⑧教育、療育、学校に関すること

- 介助員を増やすようにしていただきたい。(他4件)
- 障害のある子の中・高校卒業期まで継続してサポートする体制を望む。(他2件)
- 教育施設を充実させてほしい。(他1件)
- 進路や将来の情報、相談場所等を積極的に市から提供することを強く要望する。(他1件)
- 生活介護や就労施設の利用時間を長くしてほしい。
- 放課後等デイサービスの土日・祝日の開所時間の延長。
- 市立の支援学校を早急に建設していただきたい。
- 特別支援学校から小学校の支援級に入ると、障害のレベルに差がある。
- 教育現場での障害に対する理解を進めてほしい。
- 障害者更生相談所の名称変更していただきたい。
- 個別指導塾代金が高いので助成してほしい。
- 特別支援学級の職員の知識や経験の向上を望む。

⑨福祉施策に関すること

- 給付金がほしい。
- 障害年金の期限を無期限または老齢基礎年金受給開始までとしてほしい。
- 手当の充実。
- 親の所得でサービス料金が変わるのはおかしい。
- 各種支給額について、物価などのインフレ等に応じた適正な金額の設定してほしい。

⑩経済的な問題に関すること

- 障害の等級にかかわらず同じ支援・援助をしてほしい。(他1件)
- 今後の生活費や費用が心配である。

⑪就労に関すること

- 就労・雇用の拡充。(他2件)
- 給料をあげてほしい。事業で支払うのが難しいのであれば、市が支援してほしい。(他1件)

⑫書類や手続きに関すること

- 申請をする際、手助けしてもらえると福祉に繋がれる思う。
- 手続きを待っている期間が長くとても不安を感じる。

⑬情報提供に関すること

- 障害者向けの分かりやすい情報ページなどがあってほしい。(他2件)
- サービス一覧表のようなものを紙で送ってほしい。
- 継続したサポートが受けられる様に橋渡し役を望む。
- 受給者証や療育手帳の位置づけがよくわからない。わかりやすく書面で説明してほしい。
- 相談員が付いていないが、どうしたら付けられるのか。

⑭スポーツ施設、イベント施設に関すること

- 横浜市にあるラポールのような施設をつくってほしい。
- 障害のある子供が楽しめるスポーツ施設や運動療育をもっと増やしていただきたい。
- 誰でも参加できるスポーツとクリエイティブなサークルがほしい。

⑮災害に関すること

- 障害者情報を市に登録しておき、定期的に連絡をくれ、災害時の安否確認をしてほしい。
- 災害時の避難施設の開示などをして災害時に生活する環境設定など教えてほしい。

⑯理解、啓発に関すること

- 障害に対する理解の促進。(他2件)
- キャッチフレーズを少なくとも公共施設には大きく表示してほしい。
- 生きやすく、安心して生活出来る様になってほしい。
- 相模原市は目に見えない障害者への理解が圧倒的に少ないと感じる。

⑰その他

- アンケートの内容がむずかしい。もっと簡単にしてほしい。(他8件)
- 将来、障害を持っている人たちが住みやすくなることを望む。(他1件)
- 歩きスマホ、自転車のスピードなどのスピードが凄く歩いていて怖く感じる。
- 相武台下は、エレベーターもエスカレーターもないのに階段が急すぎて、踏み外さないか不安なので改善してほしい。
- 幅広い移動支援の充実を望む。
- 子供向けの図書館などがほしい。
- アンケートの時期が悪い。12月の一番忙しい時期に届いてから提出まで10日程度で提出しなければならないのは厳しい。
- 困った人のために活動してほしい。
- 障害者本人だけでなく、障害者本人を支える家族や兄弟へのサポートがほしい。
- パソコンを使って感情を絵で伝えられるようなアプリ開発してほしい。
- 学校、福祉支援、家庭が同じ方向を向いて子どもの成長を見守れるようになってほしい。
- 家族の介護が難しい人間を保護して生活の世話を助けてくれる場所がほしい。

(3) 精神障害者 (144件)

①福祉サービスに関すること

- 交通費の助成や無料化。(他4件)
- タクシー券の枚数を多くしてほしい。(他3件)
- インフルエンザの予防接種費用が高いので補助してほしい。(他1件)
- 日常的なサポートを無料で受けられるようにしてほしい。
- 市重度障害者等福祉手当は、これからも継続して支給していただきたい。
- 障害の等級にかかわらず障害者年金が受け取れるようにしてほしい。
- 燃料費助成を使えるガソリンスタンドが少なすぎる。
- 福祉タクシー利用券や精神障害福祉手当、医療証はなくさないでほしい。
- 同じ障害をもつ人同士が話せる機会がほしい。
- 障害のため安定的に企業に勤められないので金銭的補助を充実してほしい。
- 福祉タクシー利用券の制度は廃止しないでほしい。
- 福祉サービスの充実。

②施設・グループホームに関すること

- グループホームを増やしてほしい。(他1件)
- グループホームが増えるよう、市に経済的な助成をしていただきたい。
- 低賃金で一人暮らしをできるような施設をたくさん建ててほしい。

③公共交通機関、道路整備に関すること

- 交通の便を良くしてほしい。(他3件)
- 津久井縦貫道をはやく整備してほしい。
- 歩道や信号などの安全性を確認し改善してほしい。

④医療に関すること

- 専門の病院・クリニックが少ない。
- 病院関係者の障害に対する意識改革を望む。
- 突然の体調変化にも対応してくれる病院がほしい。
- 医療の質の向上を望む。

⑤バリアフリーに関すること

⑥相談体制に関すること

- ケースワーカーの質の向上。(他1件)
- 生活相談支援の充実を望む。
- 相談窓口職員の対応の統一化。
- 気軽に相談できる機関がほしい。
- ケースワーカーは正規職員にしてほしい。

⑦将来の不安に関すること

- 年齢で介護施設に入れないことに心配している。
- 将来、生活保護が受けられるか心配である。
- これから年をとり孤立してしまうことが不安。
- 就労が難しいので、このままの生活がきびしいと感じている。

⑧教育、療育、学校に関すること

- 障害を持つ親の子どもの入園ハードルを低くしてほしい。小学校のPTAや校外活動を会費制にして外部に委託にすることを強く望む。

⑨福祉施策に関すること

- もっと手厚く保障してほしい。(他4件)
- 医療費の助成はこれからも続けてほしい。
- 市重度障害者等福祉手当は廃止しないでいただきたい。
- 生活保護費をあげてほしい。
- 精神障害2級に対する医療費補助を抑制し、抑制した分は他の事業に回してほしい。
- 交通機関に乗れるようになるためのリハビリできる仕組みをつくってほしい。
- ヘルプマークを無料配布ではなく申請や医療機関等で手続きをしてから受け取りできるようにしてほしい。
- ひきこもりの人も障害認定をしてほしい。
- どのような支援制度があるのか分かりにくいので改善していただきたい。

⑩経済的な問題に関すること

- 経済的な負担を減らしてもらいたい。(他8件)
- 物価高で生活保護費だけでは生活が成り立たなくなっている。(他1件)

⑪就労に関すること

- 働く場所がほしい。(他6件)
- 仕事を紹介してほしい。(他3件)
- 時給を一般就労の最低賃金まで上げてもらいたい。(他1件)
- 障害者雇用の短時間勤務を希望によって働く時間を伸ばせるようにしてほしい。
- 非正規雇用に対する勤務条件の改善を望む。
- 離職を余儀なくされた人のサポートしてほしい。

⑫書類や手続きに関すること

- 手続きの簡素化。(他1件)
- 役所以外の場所でも手続きが行えるようにしてほしい。
- 申請・手続きを窓口で教えてもらえるので助かっている。
- 各種申請に時間がすごくかかる。
- 手続きをスマホ等で済ませたい。
- 無駄な書類のやりとりをへらしてほしい。

⑬情報提供に関すること

- 情報を入手しやすい環境に整えていただきたい。(他2件)
- 自分が受けることのできる支援を郵送やメールで教えてほしい。
- アンケート調査に新しい情報を入れてほしい。

⑭スポーツ施設、イベント施設に関すること

⑮災害に関すること

⑯理解、啓発に関すること

- 障害のある人に対する理解を深めるための取組をすすめていただきたい。(他6件)
- 相談窓口などで専門的な相談ができるようにし、病院と連携をとり障害の事を本人に伝えるようにしてほしい。

⑰その他

- 市職員の対応の改善。(他4件)
- 障害者を大切にする市になってほしい。(他2件)
- 自分の病気に対する勉強会を増やしてほしい。
- 「カミング」をもっと広くて大きい場所に移転してほしい。
- 様々な人が利用できる場所を地域に整備してほしい。
- 路上喫煙者に対する対策をしてほしい。
- ネットやスマホなどを無料で使用できるようにしてほしい。
- 身近な場所に映画館があるといい。
- 仕事をしている人のために窓口を土曜日もあけてほしい。
- ピアサポート・ピアカウンセリングワークショップを開催してほしい。
- ヘルプマークを以前の素材のものに戻してほしい。
- 障害者同士が交流できる場を増やしてほしい。

(4) 難病患者 (99件)

①福祉サービスに関すること

- タクシー券を増やしてほしい。(他3件)
- 介護サービスの充実。(他1件)
- バス利用でも交通費の補助をしてほしい。(他1件)
- 受給者証の更新を簡素化してほしい。
- 補聴器は両耳使用で助成してもらいたい。
- 自動車燃料給油券はガソリン相場に応じて金額を決めてほしい。

②施設・グループホームに関すること

- 施設の充実・拡充をしていただきたい。(他2件)
- 要支援・要介護にかかわらず施設を利用できるようにしてほしい。
- 施設の人員不足の改善や職員に学習の場などを設けてもらいたい。

③公共交通機関、道路整備に関すること

- 移動手段を充実させてほしい。(他2件)
- タクシーの運行時間を増やしてほしい。(他1件)
- コミュニティバスなどを検討していただきたい。(他1件)
- 駅などの階段にテープを貼ってほしい。

④医療に関すること

- 市民病院を建ててほしい。

⑤バリアフリーに関すること

- 歩道がせまいので整備してほしい。(他1件)

⑥相談体制に関すること

- 気軽に相談できる場所が身近にほしい。(他1件)
- 障害者一人に専門の相談者一人ほしい。
- 生活相談の充実。

⑦将来の不安に関すること

- 収入が低く生活するのでやっとならぬ、この先何かあった時の為の貯蓄ができず毎日不安である。

⑧教育、療育、学校に関すること

- 教職員が障害の特性についてあまり理解していないと感じるので、市の方でも教職員への指導を考えてほしい。
- 病児保育の充実。

⑨福祉施策に関すること

- 税金や年金などを減額してほしい。(他3件)
- 子育て支援が薄い。(他1件)
- 医療費の負担軽減を望む。(他1件)
- リハビリ費用は健康保険ではなく介護保険にしてほしい。
- 介護保険制度の認定に時間がかかりすぎる。
- 通院時の交通費は無料にしてほしい。
- 指定難病でも障害者手帳をもらいたい。
- 低賃金、低所得者向けの住宅に入居できるように支援してほしい。
- 割引や補助金などの支援をしてほしい。
- 給付金を増やしてほしい。
- 介護費用を安くしてほしい。

⑩経済的な問題に関すること

⑪就労に関すること

- 就労支援。(他1件)
- 難病を持つ人の受入先企業の拡充を望む。

⑫書類や手続きに関すること

- 全ての手続きが1つの場所で済むようにしていただきたい。
- 各種手続きがパソコンなどで音声案内をいのできるようにしてほしい。
- 手続きを簡素化してほしい。

⑬情報提供に関すること

- 適切な情報を得られるよう環境を整えてほしい。
- ホームページをもっと使いやすくしてほしい。

⑭スポーツ施設、イベント施設に関すること

- 障害者のための施設をつくり市独自で将棋や数学検定などで段あるいは級をつくってほしい。

⑮災害に関すること

⑯理解、啓発に関すること

- ヘルプマークの認知度向上。
- 小中高などで博愛精神授業を義務化したらどうか。学校教育の中で福祉社会を支える人間を形成していただきたい。

⑰その他

- 障害者家族に対する支援の充実。(他1件)
- 公共機関の優先席は老人・妊婦・難病者・障害者以外座ってはいけないとした方がいい。
- 障害者と表記するとき対象者が分からないので何の障害かを示すようにしてほしい。
- 青陵高校は解体しないのであれば地域に解放して、グループ活動の場にする等してほしい。
- デジタル化に対応した高齢者への研修。
- 市営住宅を増やしてほしい。
- 孤立しない様な場所を増やしてほしい。
- ウェルネスさがみはら駐車場のエレベーターホールまでの案内が分かりづらい。
- 弟が身体障害2級と認定されているが、市からの支援がないため、支援してほしい。
- 米軍の跡地に公園やレストラン街を建設してほしい。
- 障害者も健常者も誰もが優しく安心して募らせる社会である事を相模原から発進してほしい。
- 病院等などの優先駐車場に駐車することを認めてもらいたい。
- 窓口に集音マイク等の設置をしていただきたい。
- 街を綺麗に清掃・整備してほしい。

(5) 重度心身障害児者 (102件)

①福祉サービスに関すること

- 学校や施設までの送迎バスの復活させてほしい。(他4件)
- 福祉サービスの充実と支援者の充実。
- 障害者家族への支援も充実させてほしい。
- 障害者手当を増やしてほしい。
- 家庭に訪問でレクリエーションを行なってくれる仕組みがあるといい。
- 日常生活用具給付のおむつ給付の基準を変えてほしい。
- 訪問入浴を小児も受けられるようにしてほしい。
- P T の訓練が少ないので近くにあってほしい。

- 特別児童扶養手当が支給停止になっている場合、国に収入条件の撤廃を働きかけてほしい。
- 生活にかかわる福祉器具等の助成額を増やしてほしい。
- 施設や事業所の大多数が中央に集中しており移動が負担となっているので配慮していただきたい。

②施設・グループホームに関すること

- 施設・グループホームを増やしてほしい。(他13件)
- 施設入所中でも家にいる時と同じように出かけられるよう支援してほしい。
- 施設職員の待遇改善と研修を実施してほしい。
- 機能訓練を受けられる場所が少ないので増やしてほしい。
- 入所・入居後の支援の充実。
- 医療的ケアの研修を受けた介護職員が増えてほしい。
- 施設に入所していてもサービスを利用できるようにしてほしい。

③公共交通機関、道路整備に関すること

④医療に関すること

- 受け入れ体制が整っている病院を増やしてほしい。(他3件)
- 医療的ケアを行える医療従事者の育成と支援。
- 個人の病院駐車場にも車椅子スペースがほしい。

⑤バリアフリーに関すること

- 歩道の幅が狭い場所や傾斜が急な場所があるので整備してほしい。(他2件)
- 施設のバリアフリー化を進めてほしい。

⑥相談体制に関すること

- トータルで相談できるところがほしい。

⑦将来の不安に関すること

- 年とともに先の不安も大きくなる。

⑧教育、療育、学校に関すること

- 放課後デイサービスの開所時間を長くしてほしい。
- 少人数学級に伴う教教員の確保に力を入れてほしい。

⑨福祉施策に関すること

- 手当を増やしてほしい。(他1件)
- 日常生活にかかる用品の補助をしてほしい。

⑩経済的な問題に関すること

- 所得制限の撤廃。
- 住宅や車両購入などの金銭的な部分の相談に乗ってもらえない。

⑪就労に関すること

- 障害を持つ子どもの親がもっと働けるよう支援してほしい。(他1件)
- 卒業後の就職支援をしてほしい。

⑫書類や手続きに関すること

- 手続きや手続きに必要な書類を分かりやすくしてほしい。(他2件)
- 手当の振り込み先を世帯主でなくても受け取れるようにしてほしい。
- 福祉関係の手続きをまちづくりセンターでも行えるようにしてほしい。

⑬情報提供に関すること

- もっと市の方から情報発信やサポートなどしてほしい。(他1件)
- 市重度障害者等福祉手当について初めて知ったが、受給資格や手続きを教えてください。
- 障害だと判断されたとき、専門の人に話を聞ける機会がほしい。

⑭スポーツ施設、イベント施設に関すること

- 施設の充実を望む。

⑮災害に関すること

- 災害時に必要と思われる物品購入の補助をしてほしい。

⑯理解、啓発に関すること

- 障害に対する理解の促進。(他4件)
- すべての市民が互いを思いやる心を持つための施策の充実。
- 啓発活動の充実。

⑰その他

- 一人ひとり障害に応じたケアを行ってほしい。(他2件)
- 障害者トイレに大人のオムツ交換できる大型の台がほしい。
- アンケート書く時にどのレベルの障害者が明確にアンケートを書かせた方がいい。
- 選挙の投票を代理可能なシステムにしてほしい。
- 障害を持つ子の親同士、繋がる機会がほしい。
- 市営、県営住宅の入居者をくじ引きで決めるのはやめてほしい。
- 障害の子どもがいても安心してまた子どもを産めるような支援をしてほしい。
- このアンケートでは障害を持つ本人やその家族の意見を拾い切れなと感じる。
- 障害を持つ子供にも明るい未来がつけられるよう制度の見直しをしてほしい。
- 現在、市から受けている支援がそのまま継続してほしい。

(6) 発達障害者 (61件)

①福祉サービスに関すること

- タクシー券など少額でもいいので支給してほしい。

②施設・グループホームに関すること

- 施設の質の向上。
- 小学校、中学校、高等学校の人が利用できる施設を増やしてほしい。

③公共交通機関、道路整備に関すること

- バス・電車の本数、乗り場を増やしてほしい。

④医療に関すること

- 療育手帳の診断書は精神科医限定にしないでほしい。
- 小児精神科をもっと増してほしい。
- 児童発達支援センターを増やしてほしい。

⑤バリアフリーに関すること

⑥相談体制に関すること

- 専門的な相談場所がほしい。(他1件)
- 障害のある人が将来、安心して暮らせるように相談や支援が受けられるようにしてほしい。

⑦将来の不安に関すること

- 親が亡くなった後や病気になった時に住む場所やお金の事を心配している。(他1件)

⑧教育、療育、学校に関すること

- どこへ通っても同じ教育・支援を受けられることを望む。(他1件)
- 土曜、日曜、祝日なども受け入れてほしい。(他1件)
- インクルーシブ教育を実践してほしい。(他1件)
- スポーツ療育への支援。(他1件)
- サポート体制を充実させてほしい。
- 放課後等デイサービスの学童の拡大もしくは受給者証を上げてほしい。
- 施設を訪問し、内情を知ってから補助金を出すシステムをとってほしい。
- 軽度の場合、中学校後の進学が私立の進学になるため、公立での支援を充実させてもらい。
- 学校全体で支援を明確にし統一してほしい。
- 市の教育行政としての調査及び手当を要望する。
- 支援級でも一人で登下校をさせてほしい。
- 障害者も含めた市民が自由に参加できる芸術活動や行事などの企画をしてほしい。

⑨福祉施策に関すること

- 所得にかかわらず手当を充実させてほしい。(他3件)
- 医療費助成をもっと手厚くしてほしい。
- 障害者向けの補助金支援を充実させてほしい。
- 障害の重さにかかわらず支援をしてほしい。
- 相続をするときの税金対策を考えてほしい。

⑩経済的な問題に関すること

⑪就労に関すること

- 就労支援の充実。(他1件)
- 賃金をあげてほしい。(他1件)
- 就労している障害者のための相談所が身近にほしい。
- 正社員雇用が少ない。

⑫書類や手続きに関すること

- 手続きなどで担当課を分けずに、トータルでサポートしてほしい。
- 窓口職員の対応が優しいと助かる。
- 手続きをわかりやすくしてほしい。

⑬情報提供に関すること

- 福祉の情報などをたくさん教えてほしい。

⑭スポーツ施設、イベント施設に関すること

- 障害者が通えるスポーツ教室や習い事等を増やしてほしい。

⑮災害に関すること

⑯理解、啓発に関すること

- 障害を理解し配慮できる社会を望む。(他2件)

⑰その他

- 等級関係なく仲間づくりが出来る場所がほしい。
- このようなアンケートはやめてほしい。時間の無駄で報酬がない。
- こういうアンケートや聞き取りを求められることが多いので一元化し、各機関、施設や事業所にも共有できる様に許可制にすれば良いと思う。
- 公園の遊具はどんな子どもでも遊びやすいものを設置してほしい。

2 市民

問27 最後に、市の障害のある人への福祉施策について、ご意見やご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

相模原市に要望したいことなどを自由に記述してもらったところ、83人から94件の意見が寄せられました。

記述内容により分類して整理し、原則として原文のまま掲載しました。

なお、記述原文の趣旨を損なわないよう配慮しながら、文章を読みやすく改めた場合があるほか、記述が長文にわたるもののうち、相模原市に要望したいことについて抜粋して示した場合があります。

①福祉サービスに関すること

②施設・グループホームに関すること

③公共交通機関、道路整備に関すること

- 歩道整備や点字ブロックの補修をすすめてほしい。(他2件)
- 市が運営するバスなどがほしい。

④医療に関すること

- 発達障害の相談窓口や専門の医療機関を増やしてほしい。

⑤バリアフリーに関すること

- 歩道のバリアフリー化をもっと進めてほしい。(他2件)
- 駅のバリアフリー化が進んでおらず、健常者でもベビーカーでの利用時はハードルを感じた。

⑥教育、療育、学校に関すること

- 幼少期からの医療面・教育・早期療育の充実により本人の良さを伸ばしてほしい。
- 小さな頃からの教育が大事だと思う。
- 人材不足の改善。
- 不登校や登校しぶりの生徒の学習支援についても対策していただきたい。
- 幼稚園、保育園の頃からのインクルーシブ教育をもっと進めてほしい。
- 教育体制を整備してほしい。

⑦福祉施策に関すること

- もっと障害のある人への支援等を充実させてほしい。(他1件)
- 予算の使い道を考えてほしい。
- 雑貨や食料品を配送にして保護者やヘルパーなどの負担軽減をしてほしい。
- ガイドヘルパーの派遣を取り入れてほしい。

⑧経済的な問題に関すること

⑨就労に関すること

- 労働・雇用の充実、施設側の理解を進めてほしい。(他2件)
- ハンディキャップを抱えた人が自立して生きていける体制づくりが大切だと思う。
- 就労の支援体制についての情報が分かりづらい。

⑩情報提供に関すること

- 軽度の障害は自分で調べないと、どのような補助が受けられるのか分からない。
- 障害者の家族が相談に行った場合、その家族に合った事例を話してほしい。
- 福祉施策の情報を分かりやすく開示し、気軽に相談できるようにしてほしい。

⑪災害に関すること

- 台風等で避難指示が出されても、避難する際の移動手段がないので検討してほしい。

⑫理解、啓発に関すること

- 啓発活動を進めてほしい。(他4件)
- 障害のある無しに関わらず交流し、理解を深める必要があると思う。(他3件)

⑬地域の支え合い、協力に関すること

- 困っていそうな人がいたら手を差し伸べ、声をかけるなどの育成が必要だと思う。(他3件)
- ボランティアを通して手伝いをしたいが手段がわからない。
- 福祉や障害、ボランティアについて話し合う機会を設けてほしい。
- 人々の意識の向上が必要だと考える。
- ボランティアには有償支援者制度も必要である。

⑭その他に関すること

- 安心して暮らすことのできる街づくりをしてほしい（他1件）。
- 「障害」にも色々あるのでどのような障害に対しての質問か明確にしてほしい。（他1件）
- アンケート結果の公表、どのように生かすのか明確にしてほしい。（他1件）
- 障害者の方も介助されている家族の方も外出して、気分転換ができるようすすめてほしい。
- 1人1人に合った対応をする事が重要だと思う。
- 安心して利用できるサービス体制・システムを求める。
- 福祉が厚いというコンセプトをもっとアピールすべき。
- 職員の対応を改善してほしい。
- この様なアンケートは、障害者の方がいらっしゃる家族の方が良いのではないか。
- 街角にちょっとしたイスが置いてあれば大変助かる。コロナで撤去され、大変残念だ。
- 行政・役所の言葉は、老若男女誰でも直感で理解できる言葉に改めることを提案する。
- 「害」の漢字について質問しているが、この漢字が使われた経緯を明確に示すべきである。
- 障害のある方々との接触する機会があまりないように思う。
- 様々な障害を持ちながらも、その人らしく地域で生活できる環境を整えてほしい。
- アンケートをスマホのみでなくPCからも回答できるようにしてほしい。

V ヒアリング調査の結果

1 障害等の理解・啓発について

- 失語症は見た目ではわかりにくい障害である。世間の認知度が低く、理解が進んでいないと感じる。頭では言葉を理解している人が多いが、意思の発信が課題になっている人が多い。失語症の理解が進むよう活動していく。
- 障害のある子どもを連れて、美容室などのお店に行く時に躊躇することがある。障害児に理解があることを示すステッカーのようなものを作成して、普及させて欲しい。
- 車いす利用者には色々な症状の人が居り、一般の人に理解して欲しい。
- 一般市民への失語症の理解促進、当事者への対応等を広報誌等通じて、広く一般市民への理解促進の広報をお願いしたい。
- 一般市民の障がいへの理解は未だ未だ不十分であると考えます。特に、差別に対する認識が足りないし、合理的配慮の提供についての普及が未だ未だである。市は仮称「相模原市人権尊重まちづくり条例」の制定をしてその中に障がい者差別解消問題を含めると言っているが次の3点から人権条例とは別に独立したものとして制定していただきたい。①差別解消推進条例では合理的配慮を提供する場面について具体的例示を示す必要がある。②周知啓発、市の責務、差別の事後対策等幅広い事項を盛り込む必要がある。③市民に市の差別解消推進に取り組む姿勢を示す意味でも独立したものとすべきと考えます。
- 障がい者への理解をより深めていく啓発をお願いしたい。
- 精神障害を持つ方々について、地域社会に対して理解を深められる機会を増やしてほしい（例）広報に載せる。
- 認知症高齢者の理解促進のための「認知症サポーターキャラバン」。受講されたサポーターはオレンジリングを取得。同じような仕組みにより小中高生や地域市民団体、商店街組合など幅広く障がい特性理解や差別のない共生社会の促進を促す。

2 権利擁護について

- 視覚障害者への情報伝達は個人の選択により点字・拡大文字・音声（録音CDなど）・メール等で行うことの徹底。
- これは権利侵害なのではないか、虐待の可能性があるのでないか、と感じたり見たり聞いた時に、気軽に相談できるところがあると良い。通報はハードルが高く、なかなかしづらかったりもするので、相談しやすい環境を整えることで早期対応につながると思う。

3 相談支援について

- 専任で相談支援に職員をあてたいと思うが、1人の職員の担う負担が増加しており、難しい。
- 相談支援体制の強化とアウトリーチ（訪問支援）が重要。
- 地域包括支援センターの支援対象が高齢者だけではなく、将来的には障害者や子どもなども支援していくことになると思う。地区単位で種別を超えた意見交換ができる場が必要と感じる。
- 福祉相談員の研修を行なって欲しいとの意見もありました。
- 公民館や駅の近くなど福祉の窓口や福祉サービスを熟知したコーディネーターを置くなどもっと相談しやすくして欲しい。
- 市主催によるピアサポート研修会の実施。
- 聴覚障害者は情報障害者ともいわれているほど、情報が届きにくい。その為、聴こえなくなってもどこに相談したらよいのかも分からず、家に閉じこもってしまう傾向がある。当市には相談窓口があるが、全て健聴者が対応している。ろう者は健聴者との文化も違うし、日本語と手話との文法も違うため、意思疎通には問題が多々ある。にも、かかわらず専門相談員がおらず、文化の違う相談員が対応している。難聴者や中途失聴難聴者は文化の違いはないが、突然、音の無い世界に放り込まれ、メンタル面でのフォローが必要なピアカウンセリング制度についても、制度はあるが、実際に利用されていないのが現実。
- 相談支援事業所がなかなか機能しない事例を聞いています。各専門員さんの担当人数が非常に多く、対応しきれない場合が多いようです。また、セルフの計画相談の方もまだまだいらっしやいます。
- 生活全般の困りごとを相談できる窓口を作ってほしい。「松ヶ丘」の相談窓口は敷居が高く、些細な相談事をしにくい。
- 市内特別支援学校の進路担当の先生方から、高等部卒業後のサービス利用について、計画相談を受けてくれる相談支援事業所が不足しているという課題があると伺った。どこの相談支援事業所もこれ以上受けられない状況とのこと。これを各事業所の努力不足とするのか、計画相談事業の構造的な問題か、市の相談支援体制の問題か、人材不足の問題か、相談員の専従・兼務の問題か、相談支援事業の経済的問題か、いずれにしても何等かの対応が必要と思う。
- 現状の「計画相談事業」は形骸化しており、介護保険における「居宅支援事業」の内容と同等レベルにするためには研修の充実と報酬の見直しを検討する必要がある。
- 相談支援の件数が多すぎ新たに受け入れるのは困難。もっと相談事業所を増やす必要があるのでは。
- 今の報酬では人件費が低すぎる。受診の支援も必要があっても事業所やホームでは人が出せず相談事業所が行っている。ボランティア的な仕事が多い。
- 電話対応も多く、時間が取られている。
- 報酬に見合った制度運営ができるような工夫。例）市営事業や事業団の活用。

4 福祉・保健・医療サービスについて

- 神奈川県が「失語症者向け意思疎通支援者」派遣事業が始まった。相模原市にも2名派遣される予定である。
- 手話通訳者コーディネーターがいない。手話通訳者コーディネーターの配置して欲しい。
- 聴覚障害者が夜中に緊急搬送された際など、手話通訳者の派遣ができない。手話通訳者派遣の24時間対応を行って欲しい。
- 手話通訳者の派遣の用途が限られている。相模原市主催のイベントや契約行為のみ手話通訳者の派遣が可能となっているが、自己啓発のための研修や交流会などの場への派遣も認めて欲しい。横浜市や川崎市は認められている。
- 障害のある子どもが高等学校を卒業すると親の生活は激変する。卒業後は午後3時頃に子どもが帰ってくるようになり、親の仕事に専念しにくい状況となる。仕事を探すにしても勤務できる時間が短いため見つからない。生活介護（就労継続支援）及び放課後等デイサービスの通所時間の延長を希望する。
- 障害者入所施設は、人材確保に苦慮している。求人を出しても応募がない状況。
- 高等部卒業後の医療的ケアを必要とする方の日中活動場所がなかなか見つからない。ひとつの事業所の責任で全てを対応することは無理と考え、日中活動事業所で訪問看護が使用できるなど、行政が協力・予算化して看護師の派遣を要請するなどの対応が必要ではないか。
- 地域生活支援拠点等について、市全体で面的整備として整備されている。地域生活支援拠点等について、市全体で面的整備として整備されているが、本市の規模を考えると、区ごとに拠点を整備するなどの検討が必要ではないか。
- 生活介護のサービスは需要が増えている。
- 受入人数を増やすために今よりも広い新しい拠点を検討しているが、テナントの入居審査などは法人の経営状況もシビアに見られ厳しい。家賃の補助などの制度を検討して欲しい。
- 生活介護と放課後等デイサービスの2種類のサービスを提供している法人になるが、生活介護の決算は毎月赤字になる。重症心身障害児の移送では、ハイエース1台で3人しか移送できない。ドライバーも添乗する看護師など人手も必要となる。生活介護で急遽予定がキャンセルが入ると、1人分の空きが出来てしまい、その分の報酬が減ってしまうため、事業所の財政を圧迫される。日額ではなく、月額で報酬を支払うような考え方も検討して欲しい。
- 障害手帳3・4級の方、足に不自由がある方にはタクシー券を下さい。
- 失語症の方は重症者から軽症者と幅広く市内に存在しており、現在重症に対する支援策が、他の視覚障害、聴覚障害等に比較して支援策が少ない。
- 日常生活用具について障害者が望んでいない追加の予算が確保できなければ給付対象品目が追加できない運営の改善（予算内での弾力的な運営、要望する新たな品目がいつまでたっても給付対象にならないよりも給付対象に加え予算が不足すれば翌年度に優先的に給付すればよい）。
- 健康福祉課での対応が以前より事務的なのでもう少し親身になって欲しい。
- 療育手帳BにもAと同じように医療費助成をお願いしたい。

- 自閉症の人たちは幼少期から学齢期、成人期、老年期と一生に亘り支援が必要です。幼少期からその人の特徴、教育、治療等その人のこれまでの育成歴、教育歴、治療歴、福祉サービス利用歴等がわかる「カルテ」を作成し、関係部門でその情報を共有し、生涯にわたる支援システムを構築願いたい。
- 福祉・保健・医療の更なる連携システム。制度のはざまにいる子、支援が必要なのになかなか受けられない家族、独立している家庭、母子家庭の住まいや経済支援。これから声をかけて手を差し伸べる必要性のある方達が幸せを感じながら暮らせる相模原。
- これも市内特別支援学校の進路担当の先生方からの情報として、高等部卒業後の医療的ケアが必要な方の日中活動場所がなかなか見つからないとのこと。主な原因は看護師の確保等の人的な問題が多い様子。医療的ケアの方の支援は、究極の個別支援と考えれば、1事業所の責任で全てを対応すること自体に無理があると考え、日中活動事業所で訪問看護が使用できるようにするとか、行政が協力、予算化して看護師の派遣を要請するとかが必要ではないか。

5 教育・育成について

- 学校などの場での障害についての教育は進んでいると思う。
- 統計などのデータはないが、支援教育を受けた子の社会進出率は高いと感じる。
- 福祉人材の確保が課題。技能実習生など外国籍の方の雇用も行っているが、求人には苦慮している。人材確保については、法人単位での対応では他県、他自治体との格差は広がるばかり。市をあげての人材確保策が必要と感じる。
- 視覚障害者への情報提供保障を聴覚障害者なみにしてほしい。(障害者総合支援法において都道府県・市町村の「任意事業」に留められている「点訳・朗読奉仕員等養成研修」事業を「必須事業」に改めることを国へ強く要望して欲しい。現在点訳・音訳作業はボランティアに全面的に依存されているが、報酬も仕事に合ったものを保証するのが現況では筋ではないでしょうか。このままの状況ではサービスの質の低下や縮小がされることを危惧)
- 2040年を見据え、今後の更なる求人難に対応するための1つとして「外国人雇用」は必須。現状の各法人単位での対応では他県、他地域との格差は広がるばかりである。市をあげての送り出し機関との連携や高齢者分野だけでなく、障がい者分野の実績(現状は施設系のみ受入可能)の拡大は急務と考える。
- 人材育成、福祉の仕事未経験でも安心してお仕事が始められるような研修システム。福祉の仕事の魅力をアピールして、福祉のお仕事を始める人を増やしましょう。

6 就労について

- 交通の便利なところから大企業が撤退したり、郊外へ移ったり障害者の通勤が大変になったりしている。
- 障害者雇用している企業と連携をとって欲しい。
- 相模原市の視覚障害者の雇用はゼロかそれに近いと聞いており、視覚障害者の率先雇用推進を強く要望。
- 障がい者を受け入れる就労先が少ない。
- 事業所における作業工賃改善のための、「障害者優先調達推進法」に基づき、行政が物品やサービスを調達する際、障害者就労施設等から優先的・積極的に購入することとされているが、その実績については、相模原市は全国の政令指定都市の中では下位となっている。自主製品の市庁舎内での販売会を調整していただいたりしていることは評価しているが、今後とも行政が率先して範を示していただきたい。
- 就労定着のために企業訪問などを行っているが、一番大事な初期の時期（6か月間）は報酬がない。企業訪問も交通費は事業所が負担しています。何とかしてほしいです。
- 工賃向上や企業就労にむけた具体的な取組みを示し、具現化すべき。例）市からの優先発注アップと窓口設置、ナカボツの拡充と現体制見直しなど。

7 生活環境について

- 聴覚障害者向けの情報提供施設（部署）がない。聴覚障害者向けの情報施設（部署）を設置して欲しい。藤沢市にはある。
- 移動について困っている。福祉タクシー利用助成や自動車燃料費助成の制度があることは承知しているが、コミュニティバスを導入するなど、移動に関するサービスを充実して欲しい。
- 安全な歩道がない為外出しにくい。
- 側溝の穴や壊れている所が多い為転倒が事故につながる。
- 「地域生活支援拠点」の取り組みと緊急時対応機関の取り組みは同様の課題です。虐待を気軽に相談できることも重要です。現実として窓口課では大変困難なようにお見受けします。

8 防犯・防災について

- 福祉避難所のマニュアルが整備されていない。福祉避難所の具体的な展開方法、手法等を検討すべき。
- 「福祉避難所」のマニュアル整備と具体的展開、手法等の検討。また、「障がい分野」「高齢分野」「児童、保育」等の縦割りでない防災計画。例えば「3区」もしくは「22区域」ごとの地区割での福祉防災計画。

9 余暇活動・文化活動について

- 障がい者向けの余暇、文化的な活動ができる環境を増やして欲しい。
- 優先予約できない一部市の財源について早く解放してほしい（テニスコート）。
- コロナ禍における余暇活動、文化活動が制限される中、障害ある児童生徒が活動できる取り組みの再開や充実していくことを期待している。
- 市や福祉バスの利用についてももう少し使いやすいものにして欲しい。
- 人材確保のための具体的な取り組みの実施。例）面接会や学生の見学会実施など。

10 その他

- 令和4年11月に日本失語症協会から厚生労働大臣に要望書を提出した。内容は、失語症者の身体障害者手帳制度の是正や、「失語症」の呼称変更など。障害者手帳の等級改訂を検討して欲しい。重度の方は、2級になるように検討して欲しい。
- 障害当事者の参画が不足している。障害者自立支援協議会全体会等にもっと障害当事者が参画すべきだと考える。
- 福祉の事業所や関係する職務に就いている方々の教育活動（これは高齢者部門でも同様と思います）。
- 保護者が働ける環境づくり、急な預かり場所の必要性、子供の移動手段の確保。生活介護（就労継続支援）及び放課後等デイサービスの通所時間の延長や、「日中短期サービス」を子供の通所している事業所がしてくれない場合、他事業所へ通うことができる工夫を検討してほしい。肢体不自由は日中一時もない。移動サービスを今より安く使用できる仕組みも検討してほしい。

VI 調査結果のまとめ

1 障害等の理解・啓発について

市民アンケートの結果では、「非常に興味がある」が19.3%、「ある程度興味がある」が58.0%、「あまり興味がない」が18.7%、「全く興味がない」が3.3%となっています。「非常に興味がある」と「ある程度興味がある」を合わせた『興味がある（計）』が77.3%で、令和元年度と同様の傾向となっています。

相模原市内での障害を理由とする差別や偏見の有無は、「あると思う」が16.0%、「少しはあると思う」が35.3%、「ほとんどないと思う」が17.7%、「わからない」が28.3%となっており、「あると思う」と「少しはあると思う」を合わせた『あると思う（計）』は51.3%となっています。また、普段の生活の中での障害のある人への対応や理解の状況は、「足りていると思う」が12.7%、「少し足りていないと思う」が37.3%、「全然足りていないと思う」が16.3%、「わからない」が29.0%となっており、「少し足りていないと思う」と「全然足りていないと思う」を合わせた『足りていないと思う（計）』は53.6%となっています。具体的に障害のある人への対応や理解が足りていない状況は、「交通機関や建築物の構造」が60.9%と最も多く、次いで「まちなかでの人の視線」が50.9%、「職場での対応」が29.2%などとなっています。

障害のある人への市民の理解を深めるために必要なことは、「学校における福祉教育の充実」が46.0%と最も多く、次いで「障害のある人の地域のまちづくりへの参加や建築物等のバリアフリー化」が40.7%、「障害のある人の積極的な社会への進出」が33.0%などとなっています。

2 権利擁護について

障害のある人へのアンケートの結果では、成年後見制度の認知度は「知っている」が41.2%、「知らない」が37.0%となっており、令和元年度と同様の傾向となっています。

また、日常生活自立支援事業の認知度は「知っている」が20.8%、「知らない」が56.5%となっており、令和元年度と同様の傾向となっています。

成年後見制度の今後の利用意向は「利用したい」が11.4%、「利用しない」が16.3%、「利用している」が1.9%、「わからない」が42.7%となっており、また、日常生活自立支援事業の今後の利用意向は「利用したい」が10.7%、「利用しない」が13.4%、「利用している」が1.9%、「わからない」が45.3%で、いずれも「利用したい」は約1割となっています。

3 相談支援について

障害のある人へのアンケートの結果では、現在の困りごとや将来の心配の相談相手は「家族や親族」が63.5%と最も多く、次いで「医師、看護師、病院の相談員」が28.9%、「通所施設・入所施設の職員」が15.7%となっており、また、相談したい人は「家族や親族」が27.3%と最も多く、次いで「医師、看護師、病院の相談員」が18.5%、「各区の障害福祉相談課、保健福祉課のケースワーカーなどの市の職員」が18.2%などとなっています。

いまの生活で困っていることは、「自分の健康や体力に自信がない」が35.0%と最も多く、次いで「十分な収入が得られない」が18.6%、「役所の手続きが難しい」が18.0%などとなっており、重症心身障害児者では「自分や、家族などの介助者の緊急時に受け入れてくれる場所がない」が最も多くなっています。また、将来の生活で心配なことは、「自分で身のまわりのことができるか」が38.8%と最も多く、次いで「生活費の負担ができるか」が35.7%、「生活する住居または施設があるか」が28.6%などとなっており、精神障害者では「生活費の負担ができるか」、重症心身障害児者では「自分や、家族などの介助者の緊急時に受け入れてくれる場所があるか」、発達障害者では「働く場所や適当な仕事があるか」が最も多くなっています。

気軽に相談するために必要だと思うことは、「どこで、どんな相談ができるか分かりやすくすること」が41.2%と最も多く、次いで「身近なところで相談できること」が36.2%、「専門的な相談ができること」が29.0%などとなっており、知的障害者では「身近なところで相談できること」が最も多くなっています。

ピアサポート活動について、同じ障害や病気をもつ人への支援をしたいと思うかは、「とても思う」と「少し思う」を合わせた『支援をしたい（計）』が25.6%となっている一方で、支援する上で心配なことは「相談を受けても、相手の役に立てるか心配」が62.8%と最も多く、次いで「困った時に相談できる専門職がいるか心配」が28.7%、「ピアサポート活動をしながら、自分の体調を保てるか心配」が21.8%などとなっています。

4 福祉・保健・医療サービスについて

障害のある人へのアンケートの結果では、福祉サービスを利用するときに困ったことは、「どの事業者が良いのかわからない（事業者情報が不十分）」が21.0%と最も多く、次いで「必要な日や必要な時間に使いたいサービスが使えなかった」が15.9%、「費用負担があるため、サービスが使いづらい」が10.2%などとなっています。

かかりつけ医療機関の有無は、「ある」が86.3%、「ない」が9.3%となっており、特に難病患者で「ある」が94.5%と高くなっています。また、全体では「診療所や医院・クリニック」が59.0%、「総合病院や大学病院」が56.8%となっており、「診療所や医院・クリニック」は精神障害者が77.4%、発達障害者が76.5%、知的障害者が70.6%と7割を超え、「総合病院や大学病院」は難病患者が84.1%、重症心身障害児者が81.3%と8割を超えています。

5 教育・育成について

障害のある人へのアンケートの結果では、学校（学園）生活をするうえで困っていることは「家族の負担が大きい」が30.9%と最も多く、次いで「授業が難しい」が25.6%、「友だちができていない」が18.7%などとなっています。

学校（学園）生活をするうえで家族が負担を感じていることは、「通学（通園）時の送迎」が79.0%と最も多く、次いで「障害の重さや特性への対応」が53.1%、「長期休業中の生活」が34.6%などとなり、発達障害者では「障害の重さや特性への対応」が最も多くなっています。

長期休業中や放課後の活動についての希望は、「家で遊びたい」が51.5%と最も多く、次いで「地域の同世代の子どもたちと遊びたい」が37.3%、「障害児通所支援事業所を利用したい」が35.4%などとなり、重症心身障害児者では「障害児通所支援事業所を利用したい」が最も多くなっています。

市民アンケートの結果では、障害のある児童・生徒の就学環境の整備について必要だと思うことは、「児童・生徒の障害の状況に応じた学習指導の充実」が48.7%と最も多く、次いで「障害に対する周囲の理解」が29.3%、「障害のある児童・生徒の保護者に対する精神的な支援」が22.0%などとなっています。

6 就労について

障害のある人へのアンケートの結果では、障害があることで仕事をする上で不安や不満を感じることは、「収入が少ない」が28.0%と最も多く、次いで「身体的・精神的に仕事がきつい」が25.6%、「職場の人間関係が難しい」が20.1%などとなり、令和元年度の順位と同様の傾向となっています。

今後の就労希望は、「働きたい」が44.2%、「障害の状態などにより働くことはむずかしい」が20.1%、「働きたくない」が13.5%などとなり、「働きたい」は12歳～17歳で66.3%、18歳～39歳で63.7%と高くなっています。また、希望する勤務場所は「企業などで働きたい」が63.3%、希望する職種は「事務の仕事」が26.2%、希望する勤務形態は「正社員」が50.1%と最も多くなっています。

働く上で必要な条件は、「障害に対する職場の理解がある」が41.7%と最も多く、次いで「職場が自宅から近い」が41.5%、「障害に合った仕事である」が36.9%などとなっています。

7 生活環境について

障害のある人へのアンケートの結果では、通院以外の外出の頻度は、「ほぼ毎日」が43.7%と最も多くなっています。

外出時の困りごとの有無は、「よくある」が13.3%、「ときどきある」が29.1%、「ほとんどない」が28.1%、「ない」が21.0%となっており、「よくある」と「ときどきある」を合わせた『ある(計)』が42.4%で、令和元年度と同様の傾向となっています。

外出しやすくなるために希望することは、「交通費の助成」が30.3%と最も多く、次いで「建物内のバリアフリー(ユニバーサルトイレ・エレベーター・自動ドアの設置など)」が20.0%、「わかりやすい案内表示の設置(道路や建物の中)」、「市民の理解や協力」が18.9%などとなっており、身体障害者、重症心身障害児者では「建物内のバリアフリー(ユニバーサルトイレ・エレベーター・自動ドアの設置など)」が、知的障害者では「市民の理解や協力」が、発達障害者では「わかりやすい案内表示の設置(道路や建物の中)」が最も多くなっています。

8 防犯・防災について

障害のある人へのアンケートの結果では、災害発生時の不安は、「避難先での薬や医療体制」が41.0%と最も多く、次いで「避難場所での集団生活」が30.7%、「水や食事、寝る場所の確保」が29.9%などとなっており、令和元年度の順位と同様の傾向となっています。また、知的障害者では「避難場所での集団生活」が、重症心身障害児者では「自分だけで動けない」が、発達障害者では「家族との連絡方法」が最も多くなっています。

災害発生時の自宅以外の避難場所の有無・避難場所の認知度は、「ある(知っている)」が54.1%、「ない(知らない)」が18.5%、「わからない」が20.5%となっており、「ある(知っている)」は難病患者で63.1%と高くなっています。

9 余暇活動・文化活動について

障害のある人へのアンケートの結果では、スポーツの実施頻度は、「していない」が55.1%と最も多く、次いで「週に3日以上」が16.9%、「週に1～2日」が16.1%などとなっています。

スポーツをしていない理由は、「体力がない」が34.6%と最も多く、次いで「スポーツが苦手である」が16.2%、「障害に適したスポーツがない」が15.9%などとなっており、重症心身障害児者では「障害に適したスポーツがない」が、発達障害者では「スポーツが苦手である」が最も多くなっています。

10 新型コロナウイルス感染症について

障害のある人へのアンケートの結果では、新型コロナウイルス感染症の流行が発生する前からの変化は、「特に変化を感じない」が25.3%、「変化があったが、おおよそ元通りになった」が15.5%、「変化を感じる」が54.2%となっています。

また、新型コロナウイルス感染症の流行によるストレスは、「手指消毒・マスクの着用などの感染防止対策」が64.6%と最も多く、次いで「外出・外食の自粛」が64.1%、「交流の減少・人付き合いの変化」が55.1%などとなっており、難病患者、重症心身障害児者では「外出・外食の自粛」が最も多くなっています。

新型コロナウイルス感染症の流行による生活の改善は、「健康管理に配慮するようになった」が62.7%と最も多くなっており、0歳～5歳では「家族と過ごす時間が増えた」が最も多くなっています。

11 その他

障害のある人へのアンケートの結果では、現在の近所づきあいは、「日常親しく付き合っている」が8.6%、「ときどき世間話をする」が14.7%、「あいさつを交わす程度」が44.2%、「ほとんど付き合いはない」が27.8%となっており、重症心身障害児者では「ほとんど付き合いはない」が最も多くなっています。

一方、今後の近所づきあいの希望は、「日常親しく付き合いたい」が12.0%、「ときどき世間話をするようにしたい」が24.6%、「あいさつを交わす程度にしたい」が41.9%、「ほとんど付き合いはなくてよい」が14.2%となっており、75歳以上では「ときどき世間話をするようにしたい」が最も多くなっています。

市民アンケートの結果では、障害のある人との活動経験は、「ほぼ毎日（家族、職場の同僚、クラスメイトなど）」が25.0%、「ときどき（趣味や余暇活動など）」が17.3%、「会話などを交わしたことがあるくらい（まちなかで障害のある人を介助した、バスの中でヘルプマークを持っている人に席を譲ったなど）」が29.7%、「これまで交流したり、過ごしたりしたことはない」が27.0%となっており、75歳以上では「これまで交流したり、過ごしたりしたことはない」が最も多くなっています。

(参考) 調査票

さがみはらししょうがいふくしけいかくとうさくてい ちょうさ 相模原市障 害福祉計画等策定のためのアンケート調査

きょうりょく ねが
ご協 力のお願い

しみん みな ひころ しせい たい きょうりょく あつ れいもう
市民の皆さまにおかれましては、日頃から市政に対しご協 力をいただき厚くお礼申し
あ
上げます。

さがみはらし れいわ ねんど しょうがいふくしけいかくとう しょうがいふくし とう ていきょうたいせい かくほ
相模原市では、令和5年度に障 害福祉計画等（障 害福祉サービス等の提 供体制の確保
とう そうごうてき けいかくてき はか けいかくとう さくてい よてい ちょうさ けいかく
等を総合的かつ計画的に図るための計画等）の策定を予定しています。この調査は、計画の
さくてい あ みな せいかつ ようす しょうがいふくし りょうじょうきょう き
策定に当たり、皆さまの生活の様子や、障 害福祉サービスへの利用 状 況 などをお聞かせ
いただくために実施するものです。

ちょうさ あ しな い す しんたいしょうがいしゃてちょう りょういくてちょう せいしんしょうがいしゃほけん
調査に当たっては、市内にお住まいの「身体障 害者手帳・療 育手帳・精神障 害者保健
ふくしてちょう とくていりょうひ していなんびょう いりょうじゅきゅうしゃしょう も かた てちょうとう
福祉手帳・特定医療費（指定難 病）医療受 給者証」のいずれかをお持ちの方、手帳等を
も しめん かた なか む さくいちゅうしゅつ えら かた きょうりょく ねが
お持ちでない市民の方の中から無作為 抽 出 で選ばせていただいた方にご協 力をお願い
しております（令和4年11月24日時点）。

ちょうさけっか とうけいてき しより ちょうさ もくてきがい しよう
調査結果はすべて統計的に処理するもので、この調査の目的以外に使用することはあり
ません。

いそが たいへんきょうしゅく ちょうさ しゅし じゅうぶん りかい きょうりょく
お忙しいところ大変 恐 縮 ですが、調査の趣旨を充分ご理解いただき、ご協 力くだ
さいますようお願い申し上げます。

れいわ ねん がつ
令和4年12月

さがみはらしちょう もとむら けんたろう
相模原市長 本村 賢太郎

どうふう へんしんようふうとう かいとう か い ちょうさひょう い
同封の「返信用封筒」に、回答を書き入れたこの調査票を入れて、

れいわ ねん がつ にち すい
令和4年12月28日（水）までに 郵便ポストに投函してください。

きって は ひつよう
切手を貼る必要はありません。

- 本調査はインターネットでも回答可能です。インターネット
で回答可能な方については、右記のコードを読み込んでいた
だき、インターネットの回答用ページからご回答をお願いいた
たします。



（インターネットでご回答いただいた場合は、この調査票は破棄してください）

- この調査票には、名前を書く必要はありません。
- 調査票についてご不明な点は、下記お問合せ先までご連絡ください。

お問い合わせ先（土曜・日曜・祝日を除く、午前8時30分から午後5時15分まで）

さがみはらし けんこうふくしきょく ちいきほうかつ すいしんぶ ちいきほうかつ すいしんぶ
相模原市 健康福祉局 地域包括ケア推進部 地域包括ケア推進課

てん わ
電 話 042 (769) 9222 (直通) F A X 042 (759) 4395

e-mail houkatsucare@city.sagamihara.kanagawa.jp

とい 問6 あなたの介護保険制度における要介護度は何ですか。(○は1つ)

1 要支援1	3 要介護1	5 要介護3	7 要介護5
2 要支援2	4 要介護2	6 要介護4	8 認定を受けていない

とい 問6-1 問6で「1(要支援1)~7(要介護5)」とお答えの方にお聞きします。
あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。(○は1つだけ)

- 1 利用している
- 2 利用していない

とい 問6-2 問6-1で「1 利用している」とお答えの方にお聞きします。
利用している介護保険サービスはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

[分類：自宅に訪問]	[分類：施設に泊まる・暮らす]
1 訪問介護(ホームヘルプサービス)	12 短期入所生活介護(ショートステイ)
2 訪問入浴介護	13 短期入所療養介護
3 訪問看護	14 介護老人福祉施設
4 訪問リハビリテーション	15 介護老人保健施設
5 夜間対応型訪問介護	16 介護療養型医療施設
6 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	17 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム等)
7 居宅療養管理指導	18 介護医療院
[分類：施設に通う]	19 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
8 通所介護(デイサービス)	20 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
9 通所リハビリテーション	21 地域密着型特定施設入居者生活介護
10 地域密着型通所介護	[分類：訪問・通い・泊りの組み合わせ]
11 認知症対応型通所介護	22 小規模多機能型居宅介護
	23 看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)
	[分類：福祉用具を使う]
	24 福祉用具貸与
	25 特定福祉用具販売

とい 問7 あなたは、いまでどこで生活せいかつしていますか。(○は1つ)

- 1 自分じぶんまたは家族かぞくの持ち家も いえ
- 2 民間みんかんの賃貸住宅ちんたいじゅうたく・借家しゃくや・借間しゃくま・アパート
- 3 県営けんえい・市営住宅しえいじゅうたく、公社こうしゃ・公団こうだんの賃貸住宅ちんたいじゅうたく
- 4 社宅しゃたく・公務員住宅こうむいんじゅうたく等などの貸与住宅たいよじゅうたく
- 5 病院びょういんに入院にゅういんしている ⇒問8へ
- 6 グループホーム ⇒問8へ
- 7 その他た ()

とい 問7-1 問7で「1」～「4」または「7」とお答えの方こた (病院かた、グループホームびょういん以外いがいで生活せいかつしている方かた) にお聞きします。

あなたは、いまだれと生活せいかつしていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--|--|
| 1 ひとり <small>ひとり</small> で暮 <small>く</small> らしている | 6 子 <small>こ</small> (未成年 <small>みせいねん</small>) |
| 2 配偶者 <small>はいぐうしゃ</small> | 7 孫 <small>まご</small> |
| 3 親 <small>おや</small> | 8 兄弟 <small>きょうだい</small> ・姉妹 <small>しまい</small> |
| 4 配偶者の親 <small>はいぐうしゃ おや</small> | 9 友人 <small>ゆうじん</small> ・知人 <small>ちじん</small> |
| 5 子 <small>こ</small> (成人 <small>せいじん</small>) | 10 その他 <small>た</small> () |

【ここからはすべての方にお聞きします】

問8 あなたを主に介護・介助している人はどなたですか。(○は3つまで)

また、その人が「1 父」、「2 母」、「3 配偶者」の場合は、()内に年齢を記入してください。

1 父 (年齢は 歳)	6 近所の人、友人・知人
2 母 (年齢は 歳)	7 ホームヘルパー
3 配偶者 (年齢は 歳)	8 ボランティア
4 子	9 その他 ()
5 その他の親族	10 介護や介助は必要ではない ⇒問9へ

【問8-1から問8-3までは、問8で「1」～「9」とお答えの方(あなたを介護・介助している人がいる方)にお聞きします。】

問8-1 あなたが受けている介護・介助についてどう感じていますか。(○は1つ)

1 十分である	3 やや不足している	5 わからない
2 ほぼ十分である	4 不足している	

問8-2 受けている介護・介助はどのようなことですか。(○はいくつでも)

1 食事をする	10 外出	19 洗濯
2 寝返り、起き上がり	11 車の乗り降り	20 お金の管理
3 いすや車いすへの移動	12 電車・路線バスなどの利用	21 買い物
4 洗面	13 階段・段差ののりこえ	22 電話をかけること
5 家の中の移動	14 通園・通学・通所	23 手紙を書くこと
6 着替え	15 通勤	24 文章を読むこと
7 補装具の着脱	16 通院	25 会話や意思の伝達
8 トイレ	17 食事の準備、あとかたづけ	26 パソコンの利用
9 入浴	18 掃除	27 その他 ()

とい おも かいご かいじょ ひと じょうたい
問8-3 主な介護・介助している人の状態はいかがですか。(○は1つ)

- 1 健康である
- 2 病気ではないが疲れがみ
- 3 病気がちであるが、とくに介護・介助に支障はない
- 4 病気があり、療養中などで介護・介助に支障がある
- 5 高齢により、介護・介助に支障がある

こんご く かた
今後の暮らし方について

とい 9 あなたは、これから次の中でどのような生活を希望しますか。(○は2つまで)

		せい かつ ば 生活の場	きぼう 希望するもの 2つまでに○
生活したい 地域で	①	ひとり ちいき せいかつ 一人で地域で生活したい	1
	②	じたく おや しんぞく せいかつ 自宅で親や親族などと生活したい	2
	③	ふうふ こいびと せいかつ 夫婦や恋人、パートナーなどと生活したい	3
	④	グループホームで生活したい	4
生活したい 施設で	⑤	にゅうしょせつ せいかつ 入所施設で生活したい	5
	⑥	ろうじん こうらいしゃ しせつ はい せいかつ 老人ホームなどの高齢者の施設に入って生活したい	6
	⑦	びょういん にゅういん にゅういん けいぞく 病院に入院したい・入院を継続したい	7

とい 9-1 **問9で「② 自宅で親や親族などと生活したい」とお答えの方にお聞きします。**
 将来、親や親族が病気などで一緒に生活できなくなったときは、次の中の
 どのような生活を希望しますか。(○は2つまで)

		せい かつ ば 生活の場	きぼう 希望するもの 2つまでに○
生活したい 地域で	①	ひとり ちいき せいかつ 一人で地域で生活したい	1
	②	ふうふ こいびと せいかつ 夫婦や恋人、パートナーなどと生活したい	2
	③	グループホームで生活したい	3
生活したい 施設で	④	にゅうしょせつ せいかつ 入所施設で生活したい	4
	⑤	ろうじん こうらいしゃ しせつ はい せいかつ 老人ホームなどの高齢者の施設に入って生活したい	5
	⑥	びょういん にゅういん にゅういん けいぞく 病院に入院したい・入院を継続したい	6

【問10から問10-2までは、現在病院に入院している方にお聞きします。】

問10 あなたは、病院に入院してどのくらいの期間が経過していますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 3か月未満 | 6 5年～10年未満 |
| 2 3か月～6か月未満 | 7 10年～15年未満 |
| 3 6か月～1年未満 | 8 15年～20年未満 |
| 4 1年～3年未満 | 9 20年～30年未満 |
| 5 3年～5年未満 | 10 30年以上 |

問10-1 あなたは、現在入院している病院を退院して地域で生活したいと思いませんか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1 とても思う | 5 まったく思わない |
| 2 少し思う | 6 わからない |
| 3 どちらともいえない | 7 その他 () |
| 4 あまり思わない | |

問10-2 問10-1で「1」～「3」とお答えの方(退院後地域での生活を望む方)にお聞きします。

あなたが今後地域で生活していくためには、どんなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 病気が良くなること | 9 生活費などの経済的な保障 |
| 2 家族の許可や協力 | 10 緊急時に受け入れてくれる場所 |
| 3 主治医の許可や協力 | 11 夜間・休日でも診てくれる医療機関 |
| 4 退院後の住まいの場 | 12 同じ障害や病気の人との交流 |
| 5 困った時に相談できる人 | 13 生きがいや趣味 |
| 6 退院を手伝ってくれる人 | 14 公共の場などのバリアフリー化 |
| 7 地域生活の練習ができる場所 | 15 その他 |
| 8 家事や手続きを手伝ってくれる人 | () |

【ここからはすべての方にお聞きします】

問11 あなたは、休日など時間があるとき、主にどのようにして過ごしたいですか。

(○は3つまで)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 趣味や学習活動 | 8 読書 |
| 2 スポーツ | 9 旅行 |
| 3 ボランティア活動 | 10 家でくつろぐ |
| 4 家族と過ごす | 11 地域の行事に参加する |
| 5 友人・知人と会う | 12 近所の散歩 |
| 6 演劇や映画の鑑賞 | 13 その他 () |
| 7 買い物や食事に行く | 14 特に何もしない |

問11-1 問11で○をつけたことについて、いまの生活ではどれくらい実現していると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 ほぼ実現している | 4 あまり実現していない |
| 2 少し実現している | 5 ほとんど実現していない |
| 3 どちらともいえない | |

問12 あなたは、継続的に治療を受けたり、健康や障害などについて相談したりする「かかりつけ医療機関」がありますか。(○は1つ)

- | | |
|------|------------|
| 1 ある | 2 ない ⇒問13へ |
|------|------------|

問12-1 問12で「1 ある」とお答えの方にお聞きします。

どのような医療機関ですか。また受診科は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|------------------------|
| 1 診療所や医院・クリニック (受診科:) |
| 2 総合病院や大学病院 (受診科:) |

問14 年金・手当・生活保護費・親族からの援助なども含めたあなた一人の全収入は、1か月あたりどのくらいですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 5千円未満/月 | 6 10万円～15万円未満/月 |
| 2 5千円～1万円未満/月 | 7 15万円～20万円未満/月 |
| 3 1万円～3万円未満/月 | 8 20万円～25万円未満/月 |
| 4 3万円～5万円未満/月 | 9 25万円～30万円未満/月 |
| 5 5万円～10万円未満/月 | 10 30万円以上/月 |

問15 あなたは、現在、市重度障害者等福祉手当を受給していますか。(○は1つ)

※市重度障害者等福祉手当…月額5千円(中度障害者は月額3千円)を9月と3月に定期的に支給しているものです。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 受給している(重度障害者) | 3 受給していない ⇒問16へ |
| 2 受給している(中度障害者) | |

問15-1 問15で「1 受給している(重度障害者)」または「2 受給している(中度障害者)」とお答えの方にお聞きします。

重度障害者等福祉手当の主な使い道は何ですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 衣食住費 | 4 趣味・余暇活動(スポーツ・旅行など) |
| 2 医療費や障害福祉サービスなどの利用料 | 5 預貯金など将来の備え |
| 3 ローンなどの支払い | 6 その他 () |

【問16～問19は、18歳未満の方がお答えください。18歳以上の方は問20へ進んでく

ださい】

教育について

問16 あなたは、現在通学（通園・通所）していますか。（○は1つ）

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 保育所・幼稚園 | 9 特別支援学校中学部 |
| 2 児童発達支援事業所 | 10 高等学校 |
| 3 特別支援学校幼稚部 | 11 特別支援学校高等部 |
| 4 小学校（通常の学級） | 12 専門学校 |
| 5 小学校（特別支援学級） | 13 高等技術専門学校 |
| 6 特別支援学校小学部 | 14 通園・通所・通学はしていない |
| 7 中学校（通常の学級） | 15 就職している |
| 8 中学校（特別支援学級） | 16 その他（ ） |

⇒問20へ

問16-1 問16で「1」～「13」のいずれかをお答えの方（現在通学（通園・通所）している方）にお聞きします。

あなたが学校（学園）生活をするうえで、困っていることはありますか。
（主なものに1つだけ◎、その他のものに2つまで○）

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 家族の負担が大きい | 6 友だちができてにくい |
| 2 交通手段が限られ通園・通所が不便 | 7 教師・職員の理解が得にくい |
| 3 授業が難しい | 8 児童・生徒の理解が得にくい |
| 4 トイレや階段などの設備が不十分 | 9 希望する学校・学級に入れない |
| 5 介護・介助が不十分 | 10 その他（ ） |
| | 11 特に問題はない |

問16-2 問16-1で「1 家族の負担が大きい」に◎か○をつけた方にお聞きします。

どのようなことに負担を感じていますか。（○は3つまで）

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 通学（通園）時の送迎 | 5 放課後の生活 |
| 2 障害の重さや特性への対応 | 6 学費など経済的な負担 |
| 3 長期休業中の生活 | 7 その他（ ） |
| 4 土日祝日の生活 | |

とい 問17 あなたは、^{がっこう}学校（^{がくえん}学園）が^{やす}休みの日や^ひ放課後の^{かつどう}活動について、^{きぼう}どのような希望がありますか。（○は3つまで）

- | | |
|----|---|
| 1 | ^{ちいき} 地域の ^{どうせだい} 同世代の ^こ 子どもたちと ^{あそ} 遊びたい |
| 2 | ^{ほうかご} 放課後 ^{りよう} 児童クラブを ^{りよう} 利用したい |
| 3 | ^{しょうがい} 障害児 ^{しよしえん} 通所 ^{じぎょう} 支援事業所を ^{りよう} 利用したい |
| 4 | ^{えいが} 映画や ^{かいもの} 買物などに ^{おとな} 大人の ^{つき} 付き添い（ ^{ガイドヘルパー} ・ ^{ボランティア} など）と ^い 行きたい |
| 5 | ^{いえ} 家で ^{あそ} 遊びたい |
| 6 | ^{なら} 習い事や ^{じゆく} 塾に ^い 行きたい |
| 7 | ^{ちいき} 地域の ^{かつどう} スポーツ活動に ^{さんか} 参加したい |
| 8 | ^{りょこう} 旅行や ^{さんか} キャンプに ^{さんか} 参加したい |
| 9 | ^{りよう} ショートステイを ^{りよう} 利用したい |
| 10 | その他（ ） |
| 11 | ^{とく} 特にない |

とい 問18 あなたが^{こうとうがっこう}高等学校などを^{しゅうりょう}修了した^{あと}後の^{しんろきぼう}進路希望は次のどれですか。（○は1つ）

- | | |
|----|--|
| 1 | ^{だいがく} 大学、 ^{たんきだいがく} 短期大学、 ^{せんもんがっこう} 専門学校などへ ^{しんがく} 進学したい |
| 2 | ^{しよきぎょう} 職業 ^{くんれんこう} 訓練校へ ^{かよ} 通いたい |
| 3 | ^{きぎょう} 企業などで ^{いっばんしゅうろう} 一般就労したい |
| 4 | ^{いっばんしゅうろう} 一般就労に向けた ^む 支援を受けられる ^{しえん} 施設に ^う 通いたい |
| 5 | ^{にっちゅうかつどう} 日中活動の ^ば 場や ^{つうしよしせつ} 通所施設に ^{かよ} 通いたい |
| 6 | ^{しんたいきのう} 身体機能の ^{くんれん} 訓練ができる ^{しせつ} 施設へ ^{かよ} 通いたい |
| 7 | ^{じたく} 自宅でできる ^{しごと} 仕事をしたい |
| 8 | ^{いえ} 家の ^{しごと} 仕事や ^{かじ} 家事の ^{てつた} 手伝いをしたい |
| 9 | ^{しせつ} 施設などへ ^{にゅうしよ} 入所したい |
| 10 | その他（ ） |
| 11 | わからない |

とい 問19 がっこうきょういくしゅうりょうご しんろ ぎょうせい しゃかい もと なん 学校教育終了後の進路のために、行政や社会に求めることは何ですか。

(○は3つまで)

- 1 いっぱんきぎょう こようそくしん しょくぎょうかいたく
一般企業への雇用促進・職業開拓
- 2 きょういくくねんきかん せいび しょくぎょうくねんこう かくしゅがっこう
教育訓練機関の整備（職業訓練校・各種学校）
- 3 つうしょ にちちゅうかつどう ば しゅうろらいこうしえん しゅうろうけいぞくしえん しゅうろう む しえん おこな
通所の日中活動の場・就労移行支援、就労継続支援など就労に向けた支援を行
う福祉施設の充実
- 4 かくしゅう にちちゅうかつどう ふくししせつ じゅうじつ
レクリエーション・学習など日中活動のできるサービスや福祉施設の充実
- 5 にゅうしょしせつ じゅうじつ
入所施設の充実
- 6 ざいたく にちじょうせいかつ しえん う じゅうじつ
在宅で日常生活の支援を受けることができるサービスの充実
- 7 きょういく しゅうろう ふくし いっかん そうだんしえんたいせい じゅうじつ
教育・就労・福祉などの一貫した相談支援体制の充実
- 8 しせつ きぎょう つぎ いこう さいちようせん しく
施設から企業など次のステップへの移行や再挑戦ができる仕組み
- 9 その他()
- 10 とく
特にない

【ここからはすべての方にお聞きします】

相談や福祉の情報について

問20 あなたは、いまの生活で困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

- 1 身の回りの介助をしてくれる人がいない
- 2 生活全般について相談できる人がいない
- 3 いっしょに暮らす人がいない
- 4 利用できる移動手段(公共交通機関、福祉タクシーなど)が少ない
- 5 学校や施設を利用できない
- 6 適当な働き口がない
- 7 十分な収入が得られない
- 8 趣味や生きがいを持ってない
- 9 生活をするうえで必要な情報が得られない
- 10 自分の健康や体力に自信がない
- 11 必要な保健・福祉・医療サービスが受けられない
- 12 自分や、家族などの介助者の緊急時に受け入れてくれる場所がない
- 13 隣人などとの関係がうまくいかない
- 14 余暇を過ごす場や機会がない
- 15 薬の管理が難しい
- 16 お金の管理が難しい
- 17 役所の手続きが難しい
- 18 その他()
- 19 特に困っていることはない

問21 あなたは、将来の生活で心配なことはありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|------------------------------------|
| 1 生活する住居または施設があるか | 7 日中過ごせる場があるか |
| 2 いっしょに暮らす人がいるか | 8 生活費の負担ができるか |
| 3 身のまわりの介助をしてくれる人がいるか | 9 必要な医療が受けられるか |
| 4 自分で身のまわりのことができるか | 10 自分や、家族などの介助者の緊急時に受け入れてくれる場所があるか |
| 5 生活全般に関する相談・援助が受けられるか | 11 隣人などとの関係がうまくいくか |
| 6 働く場所や適当な仕事があるか | 12 その他() |
| | 13 特に心配はない |

問22 あなたは問20・問21のいま困っていることや将来の心配について、だれに相談していますか。また、だれに相談したいと考えていますか。
 (①②のそれぞれについて〇はいくつでも)

	①相談 している人	②相談 したい人
(1) 家族や親族	1	1
(2) 近所の人、友人・知人	2	2
(3) 医師、看護師、病院の相談員	3	3
(4) 相談支援事業所などの相談員	4	4
(5) 学校の先生	5	5
(6) 通所施設・入所施設の職員	6	6
(7) 各区の障害福祉相談課、保健福祉課のケースワーカー などの市の職員	7	7
(8) 児童相談所・陽光園・各区の子育て支援センターの職員	8	8
(9) 障害者更生相談所・精神保健福祉センターの職員	9	9
(10) 社会福祉協議会の職員	10	10
(11) 地域包括支援センターの職員	11	11
(12) 同じ職場の人や職場の上司	12	12
(13) 障害福祉相談員・民生児童委員	13	13
(14) ホームヘルパー	14	14
(15) ピアサポーター（同じ障害や病気をもつ人）	15	15
(16) 障害者団体・家族会・保護者会	16	16
(17) その他（ ）	17	17

問23 あなたが、困ったときや悩んだときに気軽に相談するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 電話やファックスでの相談が充実していること
- 2 電子メールでの相談ができること
- 3 職員が自宅などに訪問して、相談にのってくれること
- 4 休日や夜間も相談できること
- 5 専門的な相談ができること
- 6 どこで、どんな相談ができるか分かりやすくすること
- 7 身近なところで相談できること
- 8 プライバシーが守られる相談場所があること
- 9 定期的に相談できる仕組みがあること
- 10 パソコンやスマートフォンで相談できる仕組みがあること
- 11 その他 ()

問24 あなたは、現在の生活におおよそ3年前(新型コロナウイルス感染症の流行が発生する前)から変化を感じますか。(〇は1つ)

- 1 特に変化を感じない
- 2 変化があったが、おおよそ元通りになった
- 3 変化を感じる

【問24-1から問24-2までは、問24で「3 変化を感じる」とお答えの方にお聞きします。】

問24-1 新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけとした変化で、ストレスを感じるようになったことはありますか。(〇はいくつでも)

- 1 手指消毒・マスクの着用などの感染防止対策
- 2 外出・外食の自粛
- 3 交流の減少・人付き合いの変化
- 4 リモートワーク・オンライン授業の導入
- 5 収入の減少
- 6 その他 ()

とい 問24-2 ^{しんがた}新型コロナウイルス^{かんせんしょう}感染症の^{りゅうこう}流行を^{へんか}きっかけとした^{せいかつ}変化で、^{かいぜん}生活の改善に
^{かん}つながると感じたことはありますか。(〇はいくつでも)

- 1 ^{けんこうかんり}健康管理に^{はいりょ}配慮するようになった
- 2 ^{かぞく}家族と^す過ごす^{じかん}時間が増えた
- 3 ^{たいじんかんけい}対人関係の^へストレスが減った
- 4 ^{じゅぎょう}リモートワーク・オンライン授業による^{あた}新しい^{はたら}働き方・^{かた}学び方^{まな}
- 5 ^{よか}余暇の^{じかん}時間が増えた
- 6 ^たその他 ()

とい 問25 あなたは、^{ふくし}福祉サービスの^{じょうほう}情報を^{おも}主にどこから^{にゅうしゆ}入手しますか。
(〇はいくつでも)

- 1 ^{こうほう}広報さがみはら
- 2 ^し市のホームページ
- 3 ^{しょうがいふくしじょうほう}インターネットサイト「障害福祉情報サービスかながわ」
- 4 「2」「3」以外の^{いがい}インターネットサイト
- 5 ^{しょうがい}障害のある^{かた}方のための^{ふくし}福祉のしおり
- 6 ^し市の^{まどぐち}窓口
- 7 ^{そうだんしえんじぎょうしょ}相談支援事業所、^{ふくししせつ}福祉施設など
- 8 ^{しょうがいしゃだんたい}障害者団体など
- 9 ^{かぞく}家族、^{ゆうじん}友人・^{ちじん}知人など
- 10 ^たその他 ()
- 11 ^{とく}特になし

問26 あなたは、パソコンやスマートフォンなどを利用してありますか。(○は1つ)

1 利用している

2 利用していない

問26-1 問26で「1 利用している」とお答えの方にお聞きします。

あなたは、福祉サービスの申請や手続きがパソコンやスマートフォンなどでできるようになったら利用したいですか。(○は1つ)

1 利用したい

2 利用したくない

問26-2 問26-1で「2 利用したくない」とお答えの方にお聞きします。

利用したくないと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 パソコンやスマートフォンを持っていない

2 パソコンやスマートフォンの使い方がよく分からない

3 窓口で職員と会って手続きをしたい

4 その他 ()

問27 あなたは、これまでに福祉サービスの情報を知るために困ったことは何ですか。

(○はいくつでも)

1 情報を知る窓口が少ない・近くにない

2 どこで情報を得るかわからない

3 説明書がわかりにくい

4 わかりやすい説明がなかった

5 障害に応じた説明や説明書が得られなかった

6 制度・サービスがわかりにくい

7 その他 ()

日中活動・就労（はたらくこと）について

問28 あなたは平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（○は1つ）

- 1 企業などで働いている
- 2 自宅で働いている
- 3 通所施設・地域活動支援センターなどに通っている
- 4 自宅で家事の手伝いなどをしている
- 5 学校などに通っている
- 6 就職活動中
- 7 特に何もしていない
- 8 その他（ ）

問28-1 問28で「1 企業などで働いている」または「2 自宅で働いている」とお答えの方にお聞きします。

あなたは障害があることで、仕事をする上で不安や不満を感じることはありますか。（○はいくつでも）

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 身体的・精神的に仕事がつい | 9 差別・偏見・疎外感を感じる |
| 2 収入が少ない | 10 職場の人間関係が難しい |
| 3 通勤が大変 | 11 自分のペースで仕事ができない |
| 4 仕事が難しい | 12 雇用主の障害に対する理解が低い |
| 5 自分に合った仕事がない | 13 職場での障害に対する理解が低い |
| 6 職場での身分が不安定 | 14 その他 |
| 7 昇給や昇進が平等ではない | （ ） |
| 8 障害者用の設備が十分ではない | 15 特にない |

問28-2 問28で「7 特に何もしていない」とお答えの方にお聞きします。

特に何もしていない理由はどれですか。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 障害・病気が重いため | 7 賃金や勤務体系などの労働条件が |
| 2 家事・育児・介護・介助のため | あわないため |
| 3 高齢のため（定年を含む） | 8 家で好きなことをしたいため |
| 4 通勤が困難なため | 9 仕事への意欲がわからないため |
| 5 職業訓練中のため | 10 仕事をする自信がないため |
| 6 自分にあった仕事が見つからないため | 11 仕事をする必要がないため |
| | 12 その他（ ） |

【ここからは、^{げんざい}現在、^{はたら}働いている方も^{かた}働いていない方も^{かた}お答えください。(すべての方がお答えください。)]

問29 あなたは今後(将来)、^{はたら}働きたいですか。(○は1つ)

- 1 ^{はたら}働きたい
- 2 ^{しょうがい}障害の^{しょうたい}状態などにより^{はたら}働くことはむずかしい ⇒問30へ
- 3 ^{はたら}働きたくない ⇒問30へ
- 4 わからない ⇒問30へ

→【問29-1から問29-3までは、問29で「1 ^{はたら}働きたい」とお答えの方にお聞きします。】

問29-1 あなたはどのようなところで^{はたら}働きたいですか。(○は1つ)

- 1 ^{きぎょう}企業などで^{はたら}働きたい
- 2 ^{つうしょ}通所施設・^{ちいき}地域活動支援センターなどで^{はたら}働きたい
- 3 ^{じたく}自宅で^{はたら}働きたい
- 4 その他()

問29-2 あなたはどのような種類の仕事をしたいですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--|---|
| 1 ^{じむ} 事務の仕事 | 6 ^{いりょう} 医療・ ^{ふくし} 福祉・ ^{きょういく} 教育関係の仕事 |
| 2 ^{はんばい} 販売・ ^{せつきやく} 接客の仕事 | 7 ^{せいそう} 清掃の仕事 |
| 3 ^{せいぞう} 製造の仕事 | 8 その他() |
| 4 ^{のうりんすいさん} 農林水産関係の仕事 | 9 わからない |
| 5 ^{コンピューター} コンピューター関係の仕事 | |

問29-3 あなたはどのように^{はたら}働きたいですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|---|
| 1 ^{せいしゃいん} 正社員 | 4 ^{ないしょく} 内職など自宅 ^{じたく} でできる仕事 |
| 2 アルバイト、パート | 5 その他() |
| 3 ^{じえいぎょう} 自営業、または ^{じえいぎょう} 自営業の手伝い | 6 わからない |

げんざい はたら かた はたら かた こた かた
【ここからは、現在、働いている方も働いていない方もお答えください。(すべての方がお
こた
答えください。)]

とい
問30 あなたが働く上で、どのような条件が必要だと思えますか。(〇はいくつでも)

- 1 職場が自宅から近い
しよくば じたく ちか
- 2 通勤手段がある
つうきんしゆだん
- 3 障害のある人を積極的に雇用している
しょうがい ひと せっきよくてき こよう
- 4 障害に合った仕事である
しょうがい あ しごと
- 5 障害に合わせて勤務時間・日数が調整できる
しょうがい あ きんむじかん にっすう ちようせい
- 6 障害に配慮した設備が整っている
しょうがい はいりよ せつび ととの
- 7 賃金が妥当である
ちんぎん だとう
- 8 障害に対する職場の理解がある
しょうがい たい しよくば りかい
- 9 仕事に慣れるまで適切な指導が受けられる
しごと な てきせつ しどう う
- 10 就労相談や就労訓練が充実している
しゅうろうそうだん しゅうろうくねん じゅうじつ
- 11 一般企業で働く訓練の機会が充実している
いっばんきぎょう はたら くんれん きかい じゅうじつ
- 12 その他 ()
た
- 13 特にな
とく

外出やバリアフリーについて

問31 あなたの外出の頻度（通勤・通学などを含む）はどれくらいですか。通院は含みません。（○は1つ）

- | | | |
|----------|----------|-------------------|
| 1 ほぼ毎日 | 3 週に1～2回 | 5 ほとんど外出しない ⇒問32へ |
| 2 週に3～4回 | 4 月に1～3回 | |

【問31-1から問31-3までは、問31で「1」～「4」とお答えの方（外出をしている方）にお聞きします。】

問31-1 主にどこに外出していますか。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1 通園施設・保育園・幼稚園 | 6 友人・知人宅 |
| 2 学校 | 7 家族・親族の家 |
| 3 福祉施設 | 8 障害者の団体活動 |
| 4 職場 | 9 趣味や余暇活動の場 |
| 5 ショッピングセンター・飲食店など | 10 その他（ ） |

問31-2 主な移動手段は何ですか。（○はいくつでも）

- | |
|------------------|
| 1 電車・バスなどの公共交通機関 |
| 2 タクシー |
| 3 自動車・バイク |
| 4 自転車・徒歩 |
| 5 ボランティアによる送迎 |
| 6 事業所などによる送迎 |
| 7 その他（ ） |

問31-3 外出は主にだれとしていきますか。（○は1つ）

- | |
|-----------|
| 1 家族 |
| 2 友人・知人 |
| 3 ガイドヘルパー |
| 4 一人で |
| 5 その他（ ） |

【ここからはすべての方にお聞きします】

問32 外出したときに、困ったことはありますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------|----------|
| 1 よくある | 3 ほとんどない |
| 2 ときどきある | 4 ない |

問33 あなたが外出しやすくなるために、希望するものは何ですか。(〇は5つまで)

- | |
|---|
| 1 外出時の介助者の支援 |
| 2 歩道や点字ブロックなど道路のバリアフリー |
| 3 建物内のバリアフリー (ユニバーサルトイレ・エレベーター・自動ドアの設置など) |
| 4 わかりやすい案内表示の設置 (道路や建物の中) |
| 5 緊急時に相談できる施設の案内 (地図など) |
| 6 交通機関の職員の協力 |
| 7 交通費の助成 |
| 8 市民の理解や協力 |
| 9 安く安心して利用できる障害のある方専用の施設 |
| 10 その他 () |

問34 あなたは、現在、福祉タクシー利用券又は自動車燃料給油券を受給していますか。

(〇は1つ)

- | |
|----------------------------------|
| 1 福祉タクシー利用券を受給している ⇒問34-1、問34-3へ |
| 2 自動車燃料給油券を受給している ⇒問34-2、問34-3へ |
| 3 受給していない ⇒問35へ |

【福祉タクシー利用券】1月当たり500円×6枚のタクシーの利用に使うことのできる券を交付しているものです。

【自動車燃料給油券】1月当たり1,000円×1枚又は2枚の自動車燃料の給油に使うことのできる券を交付しているものです。

とい 問34-1 とい 問34で「1 福祉タクシー利用券を受給している」とお答えの方にお聞き
します。

あなたは福祉タクシー利用券をどれくらい利用していますか。(○は1つ)

- 1 全て利用している
- 2 ほとんど利用している(受給枚数の半数以上)
- 3 あまり利用していない(受給枚数の半数未満)
- 4 全く利用していない

とい 問34-2 とい 問34で「2 自動車燃料給油券を受給している」とお答えの方にお聞き
ます。

あなたは自動車燃料給油券をどれくらい利用していますか。(○は1つ)

- 1 全て利用している
- 2 ほとんど利用している(受給枚数の半数以上)
- 3 あまり利用していない(受給枚数の半数未満)
- 4 全く利用していない

とい 問34-3 とい 問34で「1 福祉タクシー利用券を受給している」又は「2 自動車燃料
給油券を受給している」とお答えの方にお聞きします。

福祉タクシー利用券又は自動車燃料給油券を利用する際の行先はどこで
か。(○はいくつでも)

- 1 病院
- 2 学校
- 3 福祉施設
- 4 職場
- 5 ショッピングセンター・飲食店など
- 6 市役所などの公共機関
- 7 趣味や余暇活動の場
- 8 その他 ()

問35 あなたはスポーツをしていますか。(○は1つ)

※「スポーツ」にはウォーキングやラジオ体操を含みます。

- | | |
|----------|-----------------|
| 1 週に3日以上 | 4 3か月に1～2日 |
| 2 週に1～2日 | 5 年に1～3日 |
| 3 月に1～3日 | 6 していない ⇒問35-2へ |

問35-1 問35で「1」～「5」とお答えの方(スポーツをしている方)にお聞きします。

スポーツはだれとしてしていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1 一人で | 7 市内の一般のスポーツクラブの仲間 |
| 2 家族 | 8 市内の障害者スポーツサークル・団体の仲間 |
| 3 友人・知人 | 9 市外の一般のスポーツクラブの仲間 |
| 4 職場の同僚 | 10 市外の障害者スポーツサークル・団体の仲間 |
| 5 福祉・医療施設の仲間や職員 | 11 その他() |
| 6 学校の仲間や教職員 | |

問35-2 問35で「6 していない」とお答えの方にお聞きします。

スポーツをしていないのはなぜですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|-----------------------------------|
| 1 交通手段・移動手段がない | 12 時間がない |
| 2 スポーツをできる場所がない | 13 体力がない |
| 3 施設がバリアフリーでない | 14 医師から禁止されている |
| 4 施設に利用を断られる | 15 障害に適したスポーツがない |
| 5 どこでできるのか情報を得られない | 16 やりたいと思うスポーツがない |
| 6 どんなスポーツができるのか情報が得られない | 17 スポーツが苦手である |
| 7 指導者がいない | 18 ケガをするのではないかと心配である |
| 8 介助者がいない | 19 人の目が気になる |
| 9 仲間がいない | 20 一緒にスポーツをする人に迷惑を掛けるのではないかと心配である |
| 10 家族の負担が大きい | 21 その他() |
| 11 金銭的な余裕がない | 22 特に理由はない |

【ここからはすべての方にお聞きします】

とい 問36 あなたの現在の近所づきあいは次のどれに近いですか。(○は1つ)

- 1 日常親しく付き合っている
- 2 ときどき世間話をする
- 3 あいさつを交わす程度
- 4 ほとんど付き合いはない

とい 問37 あなたは、今後の近所づきあいはどのようにしたいですか。(○は1つ)

- 1 日常親しく付き合いたい
- 2 ときどき世間話をするようにしたい
- 3 あいさつを交わす程度にしたい
- 4 ほとんど付き合いはなくてよい

福祉サービスについて

問38 あなたは、福祉サービスを利用していますか。(〇は1つ)

1 利用している

2 利用していない ⇒問39へ

問38-1 どんな福祉サービスを利用していますか。(〇はいくつでも)

- 1 自宅への訪問によるサービス（身体介護や家事、移動や外出の援助（ガイドヘルプを含む）など）
- 2 通所によるサービス（生活介護、自立訓練、地域活動支援センターなど）
- 3 障害児の通所によるサービス（児童発達支援、放課後等デイサービスなど）
- 4 就労のための相談や訓練（就労移行支援、就労継続支援など）
- 5 短期入所、グループホーム、入所施設
- 6 障害児の入所施設
- 7 相談支援（地域での生活や福祉サービスを利用するときの援助など）
- 8 手話や要約筆記、その他のコミュニケーションの支援
- 9 福祉用具
- 10 その他（

問38-2 問38で「1 利用している」とお答えの方にお聞きします。

福祉サービスを利用するとき何か困ったことがありましたか。

(〇はいくつでも)

- 1 必要な日や必要な時間に使いたいサービスが使えなかった
- 2 利用資格や条件があわず、使いたいサービスが使えなかった
- 3 サービスの支給量が少ない、支給時間が短い
- 4 どの事業者が良いのかわからない（事業者情報が不十分）
- 5 利用方法、契約方法がわからなかった（わかりにくかった）
- 6 利用してトラブルがあった
- 7 費用負担があるため、サービスが使いづらい
- 8 特に困ったことはない
- 9 その他（

ピアサポート活動^{かつどう}について

※^{しょうがい びょうき}障害や病^{かた}気のある^{みづか}方が、自^{たいけん}らの体^{もと}験に基^{ほか}づいて、他^{おな}の同^{しょうがい びょうき}じ障害や病^{かた}気のある^{そうだん}方の相^お談^{もんだい}に^{かいけつ}対^{しえん}して、問^{かつどう}題^{かつどう}の解^お決^{もんだい}を^{かいけつ}支^{しえん}援^{おも}することを「ピアサポ^{かつどう}ート活^{かつどう}動^{かつどう}」^おとい^おいます。

問43 ^おあなたは、あなた自^{じしん}身の障^{しょうがい}害^{びょうき}や病^{けいけん}気^いの経^{おな}験^{しょうがい}を^{びょうき}活^{かた}かして、同^{しょうがい}じ障^{びょうき}害^{かた}や病^{かた}気^{かた}をも^{かた}つ方^{かた}への^{しえん}支^{おも}援^{おも}を^{おも}したい^{おも}と思^{おも}いますか。(○は1つ)

- | | |
|---|---|
| 1 とても ^{おも} 思う | 5 まったく ^{おも} 思 ^{おも} わない |
| 2 少し ^{すこ} 思 ^{おも} う | 6 わか ^{おも} ら ^{おも} ない |
| 3 どち ^{おも} らとも ^{おも} い ^{おも} え ^{おも} ない | 7 そ ^{おも} の ^{おも} 他 ^{おも} () |
| 4 あま ^{おも} り思 ^{おも} わ ^{おも} ない | |

→【問43-1と問43-2は、問43で「1」～「3」とお答^{こた}え^{かた}の方^{おな}（同^{しょうがい}じ障^{びょうき}害^{かた}や病^{かた}気^{かた}をも^{かた}つ方^{かた}への^{しえん}支^{おも}援^{おも}を^{おも}したい^{おも}と思^{おも}う方^{おも}）にお聞^きき^きし^きま^きす。】

問43-1 ^おあなたは、同^{おな}じ障^{しょうがい}害^{びょうき}や病^{かた}気^{しえん}をも^{じしん}つ方^{じしん}へ^{じしん}支^{じしん}援^{じしん}する^{じしん}にあ^{じしん}たり、あ^{じしん}なた自^{じしん}身の^{じしん}ど^{じしん}の^{じしん}よ^{じしん}う^{じしん}な^{じしん}経^{けいけん}験^{やくだ}を^{おも}役^{おも}立^{おも}て^{おも}たい^{おも}と思^{おも}いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|--|
| 1 障 ^{しょうがい} 害 ^{びょうき} や病 ^{かん} 気 ^{かん} に ^{かん} 関 ^{かん} する ^{かん} こと | |
| 2 薬 ^{くすり} に ^{かん} 関 ^{かん} する ^{かん} こと | |
| 3 対 ^{たい} 人 ^{じん} 関 ^{かん} 係 ^{けい} （家 ^か 族 ^{ぞく} 関 ^{かん} 係 ^{けい} ）に ^{かん} 関 ^{かん} する ^{かん} こと | |
| 4 主 ^{しゅ} 治 ^じ 医 ^い や病 ^{びょう} 院 ^{いん} 職 ^{せつ} 員 ^{かた} と ^{かん} の ^{かん} 接 ^{せつ} し ^{かた} 方 ^{かん} に ^{かん} 関 ^{かん} する ^{かん} こと | |
| 5 日 ^{にち} 常 ^{じょう} 生 ^{せい} 活 ^{かつ} （買 ^か い ^か 物 ^{ぶつ} や家 ^か 事 ^じ な ^か ど）に ^{かん} 関 ^{かん} する ^{かん} こと | |
| 6 福 ^{ふく} 祉 ^し 制 ^{せい} 度 ^ど に ^{かん} 関 ^{かん} する ^{かん} こと | |
| 7 趣 ^{しゆ} 味 ^み や余 ^よ 暇 ^か に ^{かん} 関 ^{かん} する ^{かん} こと | |
| 8 そ ^た の ^た 他 ^た () | |

問43-2 ^おあなたは、同^{おな}じ障^{しょうがい}害^{びょうき}や病^{かた}気^{しえん}をも^{しんばい}つ方^{おも}へ^{おも}支^{おも}援^{おも}する^{おも}にあ^{おも}たり、心^{しん}配^{ばい}だ^{おも}と思^{おも}うこ^{おも}と^{おも}は^{おも}あ^{おも}り^{おも}ま^{おも}す^{おも}か。(○はいくつでも)

- | | |
|--|--|
| 1 相 ^{そう} 談 ^{だん} を ^う 受 ^あ けて ^あ も、相 ^あ 手 ^て の ^{やく} 役 ^た に ^{しん} 立 ^{ばい} てる ^{しん} か ^{しん} 心 ^{ばい} 配 ^{おも} | |
| 2 相 ^{そう} 談 ^{だん} 内 ^{ない} 容 ^{よう} を ^き じ ^き く ^き り ^き 聴 ^{しん} け ^{ばい} る ^{しん} か ^{しん} 心 ^{ばい} 配 ^{おも} | |
| 3 ピアサポ ^{かつ} ート活 ^{どう} 動 ^じ を ^じ し ^{ぶん} な ^{たい} が ^{ちょう} ら、自 ^た 分 ^も の ^{しん} 体 ^{しん} 調 ^{ばい} を ^{しん} 保 ^{おも} てる ^{おも} か ^{おも} 心 ^{おも} 配 ^{おも} | |
| 4 相 ^{そう} 談 ^{だん} さ ^{ない} れ ^ひ た ^{みつ} 内 ^ま 容 ^も を ^{しん} 秘 ^{しん} 密 ^{ばい} と ^{しん} して ^{しん} 守 ^{しん} れ ^{ばい} る ^{おも} か ^{おも} 心 ^{おも} 配 ^{おも} | |
| 5 困 ^{こま} った ^{とき} 時 ^{そう} に ^{だん} 相 ^{せん} 談 ^{もん} で ^{しよ} き ^く る ^{しん} 専 ^{しん} 門 ^{ばい} 職 ^{おも} が ^{おも} い ^{おも} る ^{おも} か ^{おも} 心 ^{おも} 配 ^{おも} | |
| 6 相 ^{そう} 談 ^{だん} を ^う 受 ^ぎ ける ^{じゆつ} 技 ^み 術 ^が を ^{けん} 磨 ^{しゆ} く ^き た ^{かい} め ^{しん} の ^{しん} 研 ^{おも} 修 ^{おも} の ^{おも} 機 ^{おも} 会 ^{おも} が ^{おも} あ ^{おも} る ^{おも} か ^{おも} 心 ^{おも} 配 ^{おも} | |
| 7 ピアサポ ^{かつ} ート活 ^{どう} 動 ^じ を ^ひ す ^{ひょう} る ^{ほう} に ^{しん} あ ^{しん} た ^{おも} つ ^{おも} て ^{おも} の ^{おも} 費 ^{おも} 用 ^{おも} や報 ^{おも} 酬 ^{おも} が ^{おも} も ^{おも} ら ^{おも} え ^{おも} る ^{おも} か ^{おも} 心 ^{おも} 配 ^{おも} | |
| 8 そ ^た の ^た 他 ^た () | |
| 9 心 ^{しん} 配 ^{おも} だ ^{おも} と思 ^{おも} う ^{おも} こ ^{おも} と ^{おも} は ^{おも} な ^{おも} い | |

けいはつ
啓発について

問44 相模原市では、障害の有無にかかわらずあらゆる人の尊厳が守られ、安全で安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、「共にささえあい 生きる社会」のキャッチフレーズのもと、様々な事業を行っています。あなたは、このキャッチフレーズを聞いたり、次のデザインを見たりしたことがありますか。(〇は1つ)



- 1 見た(聞いた)ことがある 2 見た(聞いた)ことがない

問45 あなたは、障害のある人もない人も共に地域で普通に生活できるように地域の理解を進めていくために、特に力を入れるべきことは何だと思いますか。

(〇は3つまで)

- 1 障害や障害者問題に関する啓発の充実
- 2 障害への理解を目的とする市民団体への支援
- 3 障害のある人へのボランティア活動の推進
- 4 市民交流を通じての理解と参加の促進
- 5 学校における福祉教育の充実
- 6 スポーツ活動や文化芸術活動を通じた交流の促進
- 7 障害のある人の積極的な社会への進出
- 8 福祉施設の地域への開放や、地域住民との交流
- 9 障害のある人の地域のまちづくりへの参加や建築物等のバリアフリー化
- 10 その他()
- 11 特にない

問46 障害者の「害」という表記について、あなたはどのようにお考えですか。

(○は1つ)

- 1 法律上も「害」という字が使われており、制度も含め、これまで使われてきた表記でもあり、問題ないと思う
- 2 「害」という表記は印象はよくないが、他に適当な表記が見当たらない
- 3 「害」という表記は印象がよくないので、ひらがななどの表記が好ましい
- 4 どちらともいえない
- 5 その他 ()

問47 あなたは、障害のある人が安心して生活するために望むことは何ですか。

(○はいくつでも)

- 1 障害者用市営住宅やグループホームなど、生活の場の整備
- 2 障害のある人の就労支援や雇用施策の充実
- 3 ホームヘルプサービスの充実
- 4 ショートステイの充実
- 5 特別支援教育の充実
- 6 児童発達支援や放課後等デイサービスの整備
- 7 機能訓練（リハビリテーションなど）の充実
- 8 年金や手当などの所得保障の充実
- 9 医療費の負担軽減
- 10 道路、交通機関、公共建築物などを利用しやすくするための施策の充実
- 11 点字図書、録音図書、手話放送、字幕放送などの情報提供の充実
- 12 手話通訳、要約筆記制度の充実
- 13 障害者スポーツ、芸術、文化活動など趣味や余暇活動に対する支援
- 14 防災対策の充実
- 15 障害等に関する周囲の理解の促進
- 16 成年後見制度など障害のある人の権利を守るための支援の充実
- 17 困ったとき、悩んだときのための相談窓口の充実
- 18 重症心身障害児者や強度行動障害者の受入先や支援の充実
- 19 生活介護などの医療的ケアを受け入れられる施設の整備
- 20 その他 ()

さがみはらししょうがいふくしけいかくとうさくてい ちょうさ 相模原市障 害福祉計画等策定のためのアンケート調査

きょうりよく ねが ご協 力 のお願 い

しみん みな 市民の皆さまにおかれましては、ひごろから しせい たい きょうりよく あつ れいもう
日頃から市政に対しご協 力をいただき厚くお礼申し
あ
上げます。

さがみはらし れいわ ねんど しょうがいふくしけいかくとう しょうがいふくし とう ていきょうたいせい かくほ
相模原市では、令和5年度に障 害福祉計画等（障 害福祉サービス等の提 供体制の確保
とう そうごうてき けいかくてき はか けいかくとう さくてい よてい ちょうさ けいかく
等を総合的かつ計画的に図るための計画等）の策定を予定しています。この調査は、計画の
さくてい あ みな せいかつ ようす しょうがいふくし りようじょうきょう き
策定に当たり、皆さまの生活の様子や、障 害福祉サービスへの利用 状 況などをお聞かせ
いただくために実施するものです。

ちょうさ あ しな い す しみん たいしょうがいしやてちょう りょういくてちょう せいしんしょうがいしやほけん
調査に当たっては、市内にお住まいの「身体障 害者手帳・療 育手帳・精神障 害者保健
ふくしてちょう とくていりょうひ していなんびょう いりょうじゅきゅうしやしょう も かた てちょうとう
福祉手帳・特定医療費（指定難 病）医療受 給者証」のいずれかをお持ちの方、手帳等を
お持ちでない市民の方の中から無作為 抽 出 で選ばせていただいた方にご協 力をお願 い
しております（れいわ ねん がつ にちしてん
令和4年11月24日時点）。

ちょうさけっか とうけいてき しより ちょうさ もくてきがい しょう
調査結果はすべて統計的に処理するもので、この調査の目的以外に使用することはあり
ません。

いそが たいへんきょうしゆく ちょうさ しゅし じゅうぶん りかい きょうりよく
お忙しいところ大変 恐 縮 ですが、調査の趣旨を充分ご理解いただき、ご協 力くだ
さいますようお願い申し上げます。

れいわ ねん がつ
令和4年12月

さがみはらしちょう もとむら けんたろう
相模原市長 本村 賢太郎

どうふう へんしんようふうとう かいとう か い ちょうさひょう い
同封の「返信用封筒」に、回答を書き入れたこの調査票を入れて、

れいわ ねん がつ にち すい 郵便 とうかん
令和4年12月28日（水）までに 郵便ポストに投函してください。

きって は ひつよう
切手を貼る必要はありません。

- 本調査はインターネットでも回答可能です。インターネット
で回答可能な方については、右記のコードを読み込んでいた
だき、インターネットの回答用ページからご回答をお願いいた
たします。



（インターネットでご回答いただいた場合は、この調査票は破棄してください）

- この調査票には、名前を書く必要はありません。
- 調査票についてご不明な点は、下記お問合せ先までご連絡ください。

といあわ きき とうよう にちよう しゅくじつ のぞ ござん じ ぶん ごて じ ぶん
お問合せ先（土曜・日曜・祝日を除く、午前8時30分から午後5時15分まで）

さがみはらし けんこうふくしきょく ちいきほうかつ すいしんぶ ちいきほうかつ すいしんか
相模原市 健康福祉局 地域包括ケア推進部 地域包括ケア推進課

でん わ ちやくつう
電 話 042 (769) 9222 (直通) F A X 042 (759) 4395

e-mail houkatsucare@city.sagamihara.kanagawa.jp

問4 障害者手帳はお持ちですか。(○は1つ)

1 持っている	2 持っていない ⇒問4-4へ
---------	-----------------

問4-1 問4で「1 持っている」とお答えの方のうち、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方にお聞きします。
 現在お持ちの障害者手帳の等級は何級ですか。(○はいくつでも)

1 療育手帳	A1	A2	B1	B2		
2 精神障害者保健福祉手帳	1級	2級	3級			

問4-2 問4で「1 持っている」とお答えの方のうち、身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きします。
 現在お持ちの障害者手帳の総合等級は何級ですか。(○は1つ)

身体障害者手帳 (総合等級)	1級	2級	3級	4級	5級	6級
----------------	----	----	----	----	----	----

問4-3 身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きします。
 あてはまる障害の種別の番号に○をつけて、等級をご記入ください。
 (○はいくつでも)

1 視覚障害 (級)
2 聴覚・平衡機能障害 (級)
3 音声機能障害・言語機能・そしゃく機能障害 (級)
4 肢体不自由 (上肢・下肢・体幹) (級)
※該当する種別に○をつけてください。
5 内部障害 (心臓・じん臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸・免疫機能・肝臓) (級)
※該当する種別に○をつけてください。

問6 あなたの介護保険制度における要介護度は何ですか。(○は1つ)

1 要支援1	3 要介護1	5 要介護3	7 要介護5
2 要支援2	4 要介護2	6 要介護4	8 認定を受けていない

問6-1 問6で「1 要支援1～7 要介護5」とお答えの方にお聞きします。あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。(○は1つだけ)

1 利用している
2 利用していない

問6-2 問6-1で「1 利用している」とお答えの方にお聞きします。利用している介護保険サービスはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

[分類：自宅に訪問]	[分類：施設に泊まる・暮らす]
1 訪問介護（ホームヘルプサービス）	12 短期入所生活介護（ショートステイ）
2 訪問入浴介護	13 短期入所療養介護
3 訪問看護	14 介護老人福祉施設
4 訪問リハビリテーション	15 介護老人保健施設
5 夜間対応型訪問介護	16 介護療養型医療施設
6 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	17 特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）
7 居宅療養管理指導	18 介護医療院
[分類：施設に通う]	19 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
8 通所介護（デイサービス）	20 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
9 通所リハビリテーション	21 地域密着型特定施設入居者生活介護
10 地域密着型通所介護	[分類：訪問・通い・泊りの組み合わせ]
11 認知症対応型通所介護	22 小規模多機能型居宅介護
	23 看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）
	[分類：福祉用具を使う]
	24 福祉用具貸与
	25 特定福祉用具販売

問7 あなたは、いまだどこで生活していますか。(○は1つ)

- 1 自分または家族の持ち家
- 2 民間の賃貸住宅・借家・借間・アパート
- 3 県営・市営住宅、公社・公団の賃貸住宅
- 4 社宅・公務員住宅等の貸与住宅
- 5 病院に入院している ⇒問8へ
- 6 グループホーム ⇒問8へ
- 7 その他 ()

問7-1 問7で「1」～「4」または「7」とお答えの方(病院、グループホーム以外で生活している方)にお聞きします。

あなたは、いまだれと生活していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|------------|
| 1 一人で暮らしている | 6 子(未成年) |
| 2 配偶者 | 7 孫 |
| 3 親 | 8 兄弟・姉妹 |
| 4 配偶者の親 | 9 友人・知人 |
| 5 子(成人) | 10 その他 () |

【ここからはすべての方にお聞きします】

問8 あなたを主に介護・介助している人はどなたですか。(○は3つまで)

また、その人が「1 父」、「2 母」、「3 配偶者」の場合は、()内に年齢を記入してください。

1 父 (年齢は 歳)	6 近所の人、友人・知人
2 母 (年齢は 歳)	7 ホームヘルパー
3 配偶者 (年齢は 歳)	8 ボランティア
4 子	9 その他 ()
5 その他の親族	10 介護や介助は必要ではない ⇒問9へ

【問8-1から問8-3までは、問8で「1」～「9」とお答えの方(あなたを介護・介助している人がいる方)にお聞きします。】

問8-1 あなたが受けている介護・介助についてどう感じていますか。(○は1つ)

1 十分である	3 やや不足している	5 わからない
2 ほぼ十分である	4 不足している	

問8-2 受けている介護・介助はどのようなことですか。(○はいくつでも)

1 食事をすること	10 外出	19 洗濯
2 寝返り、起き上がり	11 車の乗り降り	20 お金の管理
3 いすや車いすへの移動	12 電車・路線バスなどの利用	21 買物
4 洗面	13 階段・段差ののりこえ	22 電話をかけること
5 家の中の移動	14 通園・通学・通所	23 手紙を書くこと
6 着替え	15 通勤	24 文章を読むこと
7 補装具の着脱	16 通院	25 会話や意思の伝達
8 トイレ	17 食事の準備、あとかたづけ	26 パソコンの利用
9 入浴	18 掃除	27 その他 ()

問8-3 主な介護・介助している人の状態はいかがですか。(○は1つ)

- 1 健康である
- 2 病気ではないが疲れが
- 3 病気がちであるが、とくに介護・介助に支障はない
- 4 病気があり、療養中などで介護・介助に支障がある
- 5 高齢により、介護・介助に支障がある

今後の暮らし方について

問9 あなたは、これから次の中でどのような生活を希望しますか。(○は2つまで)

		生活の場	希望するもの 2つまでに○
生活したい 地域で	①	一人で地域で生活したい	1
	②	自宅で親や親族などと生活したい	2
	③	夫婦や恋人、パートナーなどと生活したい	3
	④	グループホームで生活したい	4
生活したい 施設で	⑤	入所施設で生活したい	5
	⑥	老人ホームなどの高齢者の施設に入って生活したい	6
	⑦	病院に入院したい・入院を継続したい	7

問9-1 問9で「② 自宅で親や親族などと生活したい」とお答えの方にお聞きします。
将来、親や親族が病気などで一緒に生活できなくなったときは、次の中の
どのような生活を希望しますか。(○は2つまで)

		生活の場	希望するもの 2つまでに○
生活したい 地域で	①	一人で地域で生活したい	1
	②	夫婦や恋人、パートナーなどと生活したい	2
	③	グループホームで生活したい	3
生活したい 施設で	④	入所施設で生活したい	4
	⑤	老人ホームなどの高齢者の施設に入って生活したい	5
	⑥	病院に入院したい・入院を継続したい	6

【問10から問10-2までは、**現在病院に入院している方にお聞きします。**】

問10 あなたは、病院に入院してどのくらいの期間が経過していますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 3か月未満 | 6 5年～10年未満 |
| 2 3か月～6か月未満 | 7 10年～15年未満 |
| 3 6か月～1年未満 | 8 15年～20年未満 |
| 4 1年～3年未満 | 9 20年～30年未満 |
| 5 3年～5年未満 | 10 30年以上 |

問10-1 あなたは、現在入院している病院を退院して地域で生活したいと思いませんか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1 とても思う | 5 まったく思わない |
| 2 少し思う | 6 わからない |
| 3 どちらともいえない | 7 その他 () |
| 4 あまり思わない | |

問10-2 問10-1で「1」～「3」とお答えの方(退院後地域での生活を望む方)にお聞きします。

あなたが今後地域で生活していくためには、どんなことが必要だと思いませんか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 病気が良くなること | 9 生活費などの経済的な保障 |
| 2 家族の許可や協力 | 10 緊急時に受け入れてくれる場所 |
| 3 主治医の許可や協力 | 11 夜間・休日でも診てくれる医療機関 |
| 4 退院後の住まいの場 | 12 同じ障害や病気の人との交流 |
| 5 困った時に相談できる人 | 13 生きがいや趣味 |
| 6 退院を手伝ってくれる人 | 14 公共の場などのバリアフリー化 |
| 7 地域生活の練習ができる場所 | 15 その他 |
| 8 家事や手続きを手伝ってくれる人 | () |

【ここからはすべての方にお聞きします】

問11 あなたは、休日など時間があるとき、主にどのようにして過ごしたいですか。

(○は3つまで)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 趣味や学習活動 | 8 読書 |
| 2 スポーツ | 9 旅行 |
| 3 ボランティア活動 | 10 家でくつろぐ |
| 4 家族と過ごす | 11 地域の行事に参加する |
| 5 友人・知人と会う | 12 近所の散歩 |
| 6 演劇や映画の鑑賞 | 13 その他 () |
| 7 買い物や食事に行く | 14 特に何もしない |

問11-1 問11で○をつけたことについて、いまの生活ではどれくらい実現していると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 ほぼ実現している | 4 あまり実現していない |
| 2 少し実現している | 5 ほとんど実現していない |
| 3 どちらともいえない | |

問12 あなたは、継続的に治療を受けたり、健康や障害などについて相談したりする「かかりつけ医療機関」がありますか。(○は1つ)

- | | |
|------|------------|
| 1 ある | 2 ない ⇒問13へ |
|------|------------|

問12-1 問12で「1 ある」とお答えの方にお聞きします。

どのような医療機関ですか。また受診科は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|------------------------|
| 1 診療所や医院・クリニック (受診科:) |
| 2 総合病院や大学病院 (受診科:) |

収入について

問13 あなたが得ている主な収入は、次の中でどの収入ですか。

(○はいくつでも)

- 1 給料・報酬 (一般企業など)
- 2 事業収入 (自営業など)
- 3 福祉的就労による収入 (通所施設などでの作業工賃など)
- 4 年金・手当
- 5 生活保護費
- 6 財産収入 (家賃や利子収入など)
- 7 親族の扶養または援助
- 8 その他 ()

問13-1 問13で「1」～「3」とお答えの方(勤労による収入がある方)にお聞きします。

あなたが働いて得ている給料・報酬・事業収入・工賃は、1か月あたりどのくらいですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 5千円未満/月 | 6 10万円～15万円未満/月 |
| 2 5千円～1万円未満/月 | 7 15万円～20万円未満/月 |
| 3 1万円～3万円未満/月 | 8 20万円～25万円未満/月 |
| 4 3万円～5万円未満/月 | 9 25万円～30万円未満/月 |
| 5 5万円～10万円未満/月 | 10 30万円以上/月 |

問14 年金・手当・生活保護費・親族からの援助なども含めたあなた一人の全収入は、1か月あたりどのくらいですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 5千円未満/月 | 6 10万円～15万円未満/月 |
| 2 5千円～1万円未満/月 | 7 15万円～20万円未満/月 |
| 3 1万円～3万円未満/月 | 8 20万円～25万円未満/月 |
| 4 3万円～5万円未満/月 | 9 25万円～30万円未満/月 |
| 5 5万円～10万円未満/月 | 10 30万円以上/月 |

問15 あなたは、現在、市重度障害者等福祉手当を受給していますか。(○は1つ)

※市重度障害者等福祉手当…月額5千円(中度障害者は月額3千円)を9月と3月に定期的に支給しているものです。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 受給している(重度障害者) | 3 受給していない ⇒問16へ |
| 2 受給している(中度障害者) | |

問15-1 問15で「1 受給している(重度障害者)」または「2 受給している(中度障害者)」とお答えの方にお聞きします。

重度障害者等福祉手当の主な使い道は何ですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 衣食住費 | 4 趣味・余暇活動(スポーツ・旅行など) |
| 2 医療費や障害福祉サービスなどの利用料 | 5 預貯金など将来の備え |
| 3 ローンなどの支払い | 6 その他 () |

【問16～問19は、18歳未満の方がお答えください。18歳以上の方は問20へ進んでく

ださい】

教育について

問16 あなたは、現在通学（通園・通所）していますか。（○は1つ）

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 保育所・幼稚園 | 9 特別支援学校 中学部 |
| 2 児童発達支援事業所 | 10 高等学校 |
| 3 特別支援学校 幼稚部 | 11 特別支援学校 高等部 |
| 4 小学校（通常の学級） | 12 専門学校 |
| 5 小学校（特別支援学級） | 13 高等技術専門学校 |
| 6 特別支援学校 小学部 | 14 通園・通所・通学はしていない |
| 7 中学校（通常の学級） | 15 就職している |
| 8 中学校（特別支援学級） | 16 その他（ ） |

⇒問20へ

問16-1 問16で「1」～「13」のいずれかをお答えの方（現在通学（通園・通所）している方）にお聞きします。

あなたが学校（学園）生活をするうえで、困っていることはありますか。
（主なものに1つだけ○、その他のものに2つまで○）

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 家族の負担が大きい | 6 友だちができてにくい |
| 2 交通手段が限られ通園・通所が不便 | 7 教師・職員の理解が得にくい |
| 3 授業が難しい | 8 児童・生徒の理解が得にくい |
| 4 トイレや階段などの設備が不十分 | 9 希望する学校・学級に入れない |
| 5 介護・介助が不十分 | 10 その他（ ） |
| | 11 特に問題はない |

問16-2 問16-1で「1 家族の負担が大きい」に○か○をつけた方にお聞きします。

どのようなことに負担を感じていますか。（○は3つまで）

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 通学（通園）時の送迎 | 5 放課後の生活 |
| 2 障害の重さや特性への対応 | 6 学費など経済的な負担 |
| 3 長期休業中の生活 | 7 その他（ ） |
| 4 土日祝日の生活 | |

問17 あなたは、学校（学園）が休みの日や放課後の活動について、どのような希望がありますか。（○は3つまで）

- 1 地域の同世代の子どもたちと遊びたい
- 2 放課後児童クラブを利用したい
- 3 障害児通所支援事業所を利用したい
- 4 映画や買物などに大人の付き添い（ガイドヘルパー・ボランティアなど）と行きたい
- 5 家で遊びたい
- 6 習い事や塾に行きたい
- 7 地域のスポーツ活動に参加したい
- 8 旅行やキャンプに参加したい
- 9 ショートステイを利用したい
- 10 その他（)
- 11 特にない

問18 あなたが高等学校などを修了した後の進路希望は次のどれですか。（○は1つ）

- 1 大学、短期大学、専門学校などへ進学したい
- 2 職業訓練校へ通いたい
- 3 企業などで一般就労したい
- 4 一般就労に向けた支援を受けられる施設に通いたい
- 5 日中活動の場や通所施設に通いたい
- 6 身体機能の訓練ができる施設へ通いたい
- 7 自宅でできる仕事をしたい
- 8 家の仕事や家事の手伝いをしたい
- 9 施設などへ入所したい
- 10 その他（)
- 11 わからない

問19 学校教育終了後の進路のために、行政や社会に求めることは何ですか。

(○は3つまで)

- 1 一般企業への雇用促進・職業開拓
- 2 教育訓練機関の整備（職業訓練校・各種学校）
- 3 通所の日中活動の場・就労移行支援、就労継続支援など就労に向けた支援を行う福祉施設の充実
- 4 レクリエーション・学習など日中活動のできるサービスや福祉施設の充実
- 5 入所施設の充実
- 6 在宅で日常生活の支援を受けることができるサービスの充実
- 7 教育・就労・福祉などの一貫した相談支援体制の充実
- 8 施設から企業など次のステップへの移行や再挑戦ができる仕組み
- 9 その他（
- 10 特にない

【ここからはすべての方にお聞きします】

相談や福祉の情報について

問20 あなたは、いまの生活で困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

- 1 身の回りの介助をしてくれる人がいない
- 2 生活全般について相談できる人がいない
- 3 いっしょに暮らす人がいない
- 4 利用できる移動手段（公共交通機関、福祉タクシーなど）が少ない
- 5 学校や施設を利用できない
- 6 適当な働き口がない
- 7 十分な収入が得られない
- 8 趣味や生きがいを持ってない
- 9 生活をするうえで必要な情報が得られない
- 10 自分の健康や体力に自信がない
- 11 必要な保健・福祉・医療サービスが受けられない
- 12 自分や、家族などの介助者の緊急時に受け入れてくれる場所がない
- 13 隣人などとの関係がうまくいかない
- 14 余暇を過ごす場や機会がない
- 15 薬の管理が難しい
- 16 お金の管理が難しい
- 17 役所の手続きが難しい
- 18 その他（)
- 19 特に困っていることはない

問21 あなたは、将来の生活で心配なことはありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|------------------------------------|
| 1 生活する住居または施設があるか | 7 日中過ごせる場があるか |
| 2 いっしょに暮らす人がいるか | 8 生活費の負担ができるか |
| 3 身のまわりの介助をしてくれる人がいるか | 9 必要な医療が受けられるか |
| 4 自分で身のまわりのことができるか | 10 自分や、家族などの介助者の緊急時に受け入れてくれる場所があるか |
| 5 生活全般に関する相談・援助が受けられるか | 11 隣人などとの関係がうまくいくか |
| 6 働く場所や適当な仕事があるか | 12 その他（) |
| | 13 特に心配はない |

問22 あなたは問20・問21のいま困っていることや将来の心配について、だれに相談していますか。また、だれに相談したいと考えていますか。

(①②のそれぞれについて〇はいくつでも)

	①相談 している人	②相談 したい人
(1) 家族や親族	1	1
(2) 近所の人、友人・知人	2	2
(3) 医師、看護師、病院の相談員	3	3
(4) 相談支援事業所などの相談員	4	4
(5) 学校の先生	5	5
(6) 通所施設・入所施設の職員	6	6
(7) 各区の障害福祉相談課、保健福祉課のケースワーカー などの市の職員	7	7
(8) 児童相談所・陽光園・各区の子育て支援センターの職員	8	8
(9) 障害者更生相談所・精神保健福祉センターの職員	9	9
(10) 社会福祉協議会の職員	10	10
(11) 地域包括支援センターの職員	11	11
(12) 同じ職場の人や職場の上司	12	12
(13) 障害福祉相談員・民生児童委員	13	13
(14) ホームヘルパー	14	14
(15) ピアサポーター（同じ障害や病気をもつ人）	15	15
(16) 障害者団体・家族会・保護者会	16	16
(17) その他（ ）	17	17

問23 あなたが、困ったときや悩んだときに気軽に相談するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 電話やファックスでの相談が充実していること
- 2 電子メールでの相談ができること
- 3 職員が自宅などに訪問して、相談にのってくれること
- 4 休日や夜間も相談できること
- 5 専門的な相談ができること
- 6 どこで、どんな相談ができるか分かりやすくすること
- 7 身近なところで相談できること
- 8 プライバシーが守られる相談場所があること
- 9 定期的に相談できる仕組みがあること
- 10 パソコンやスマートフォンで相談できる仕組みがあること
- 11 その他 ()

問24 あなたは、現在の生活におおよそ3年前(新型コロナウイルス感染症の流行が発生する前)から変化を感じますか。(〇は1つ)

- 1 特に変化を感じない
- 2 変化があったが、おおよそ元通りになった
- 3 変化を感じる

【問24-1から問24-2までは、問24で「3 変化を感じる」とお答えの方にお聞きします。】

問24-1 新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけとした変化で、ストレスを感じるようになったことはありますか。(〇はいくつでも)

- 1 手指消毒・マスクの着用などの感染防止対策
- 2 外出・外食の自粛
- 3 交流の減少・人付き合いの変化
- 4 リモートワーク・オンライン授業の導入
- 5 収入の減少
- 6 その他 ()

問24-2 新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけとした変化で、生活の改善につながると感じたことはありますか。(〇はいくつでも)

- 1 健康管理に配慮するようになった
- 2 家族と過ごす時間が増えた
- 3 対人関係のストレスが減った
- 4 リモートワーク・オンライン授業による新しい働き方・学び方
- 5 余暇の時間が増えた
- 6 その他 ()

問25 あなたは、福祉サービスの情報を主にどこから入手しますか。
(〇はいくつでも)

- 1 広報さがみはら
- 2 市のホームページ
- 3 インターネットサイト「障害福祉情報サービスかながわ」
- 4 「2」「3」以外のインターネットサイト
- 5 障害のある方のための福祉のしおり
- 6 市の窓口
- 7 相談支援事業所、福祉施設など
- 8 障害者団体など
- 9 家族、友人・知人など
- 10 その他 ()
- 11 特になし

問26 あなたは、パソコンやスマートフォンなどを利用してありますか。(○は1つ)

1 利用している

2 利用していない

問26-1 問26で「1 利用している」とお答えの方にお聞きします。

あなたは、福祉サービスの申請や手続きがパソコンやスマートフォンなど
できるようになったら利用したいですか。(○は1つ)

1 利用したい

2 利用したくない

問26-2 問26-1で「2 利用したくない」とお答えの方にお聞きします。

利用したくないと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 パソコンやスマートフォンを持っていない

2 パソコンやスマートフォンの使い方がよく分からない

3 窓口で職員と会って手続きをしたい

4 その他 ()

問27 あなたは、これまでに福祉サービスの情報を知るために困ったことは何ですか。

(○はいくつでも)

1 情報を知る窓口が少ない・近くにない

2 どこで情報を得るかわからない

3 説明書がわかりにくい

4 わかりやすい説明がなかった

5 障害に応じた説明や説明書が得られなかった

6 制度・サービスがわかりにくい

7 その他 ()

日中活動・就労（はたらくこと）について

問28 あなたは平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（○は1つ）

- 1 企業などで働いている
- 2 自宅で働いている
- 3 通所施設・地域活動支援センターなどに通っている
- 4 自宅で家事の手伝いなどをしている
- 5 学校などに通っている
- 6 就職活動中
- 7 特に何もしていない
- 8 その他（ ）

問28-1 問28で「1 企業などで働いている」または「2 自宅で働いている」とお答えの方にお聞きします。

あなたは障害があることで、仕事をする上で不安や不満を感じることはありますか。（○はいくつでも）

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 身体的・精神的に仕事がつい | 9 差別・偏見・疎外感を感じる |
| 2 収入が少ない | 10 職場の人間関係が難しい |
| 3 通勤が大変 | 11 自分のペースで仕事ができない |
| 4 仕事が難しい | 12 雇用主の障害に対する理解が低い |
| 5 自分に合った仕事がない | 13 職場での障害に対する理解が低い |
| 6 職場での身分が不安定 | 14 その他 |
| 7 昇給や昇進が平等ではない | （ ） |
| 8 障害者用の設備が十分ではない | 15 特にない |

問28-2 問28で「7 特に何もしていない」とお答えの方にお聞きします。

特に何もしていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 障害・病気が重いため | 7 賃金や勤務体系などの労働条件が |
| 2 家事・育児・介護・介助のため | あわないため |
| 3 高齢のため（定年を含む） | 8 家で好きなことをしたいため |
| 4 通勤が困難なため | 9 仕事への意欲がわからないため |
| 5 職業訓練中のため | 10 仕事をする自信がないため |
| 6 自分にあった仕事が見つからないため | 11 仕事をする必要がないため |
| | 12 その他（ ） |

【ここからは、^{げんざい}現在、^{はたら}働いている方も^{かた}働いていない方も^{かた}お答えください。^{こた}(すべての方がお答えください。)^{かた}】

問29 あなたは今後（将来）、^{はたら}働きたいですか。（○は1つ）

- 1 ^{はたら}働きたい
- 2 ^{しょうがい}障害の^{じょうたい}状態などにより^{はたら}働くことはむずかしい ⇒問30へ
- 3 ^{はたら}働きたくない ⇒問30へ
- 4 わからない ⇒問30へ

→【問29-1 から問29-3 までは、問29で「1 ^{はたら}働きたい」とお答えの方にお聞きします。】

問29-1 あなたはどのようなところで^{はたら}働きたいですか。（○は1つ）

- 1 ^{きぎょう}企業などで^{はたら}働きたい
- 2 ^{つうしょしせつ}通所施設・^{ちいきかつどうしえん}地域活動支援センターなどで^{はたら}働きたい
- 3 ^{じたく}自宅で^{はたら}働きたい
- 4 その他（ ）

問29-2 あなたはどのような種類の^{しゅるい}仕事を^{しごと}したいですか。（○はいくつでも）

- | | |
|--|---|
| 1 ^{じむ} 事務の ^{しごと} 仕事 | 6 ^{いりょう} 医療・ ^{ふくし} 福祉・ ^{きょういくかんけい} 教育関係の ^{しごと} 仕事 |
| 2 ^{はんばい} 販売・ ^{せっきやく} 接客の ^{しごと} 仕事 | 7 ^{せいそう} 清掃の ^{しごと} 仕事 |
| 3 ^{せいぞう} 製造の ^{しごと} 仕事 | 8 その他（ ） |
| 4 ^{のうりんすいさんかんけい} 農林水産関係の ^{しごと} 仕事 | 9 わからない |
| 5 ^{コンピューターかんけい} コンピューター関係の ^{しごと} 仕事 | |

問29-3 あなたはどのように^{はたら}働きたいですか。（○はいくつでも）

- | | |
|---|---|
| 1 ^{せいしゃいん} 正社員 | 4 ^{ないしょく} 内職など ^{じたく} 自宅でできる ^{しごと} 仕事 |
| 2 アルバイト、パート | 5 その他（ ） |
| 3 ^{じえいぎょう} 自営業、または ^{じえいぎょう} 自営業の ^{てつだ} 手伝い | 6 わからない |

【ここからは、^{げんざい}現在、^{はたら}働いている方も^{かた}働いていない方も^{かた}お答えください。^{かた}(すべての方がお答えください。)]

問30 ^とあなたが^{はたら}働く^{うえ}上で、^{じょうけん}どのような^{ひつよう}条件が^{おも}必要だと思えますか。(〇はいくつでも)

- 1 ^{しょくば}職場が^{じたく}自宅から^{ちか}近い
- 2 ^{つうきんしゆだん}通勤手段がある
- 3 ^{しょうがい}障害のある^{ひと}人を^{せっきょくてき}積極的に^{こよう}雇用している
- 4 ^{しょうがい}障害に^あ合った^{しごと}仕事である
- 5 ^{しょうがい}障害に^あ合わせて^{きんむじかん}勤務時間・^{にっすう}日数が^{ちようせい}調整できる
- 6 ^{しょうがい}障害に^{はいりよ}配慮した^{せつび}設備が^{ととの}整っている
- 7 ^{ちんぎん}賃金が^{だとう}妥当である
- 8 ^{しょうがい}障害に対する^{たい}職場の^{しょくば}理解が^{りかい}ある
- 9 ^{しごと}仕事に^な慣れるまで^{てきせつ}適切な^{しどう}指導が^う受けられる
- 10 ^{しゅうろうそうだん}就労相談や^{しゅうろうくんれん}就労訓練が^{じゅうじつ}充実している
- 11 ^{いっばんきぎょう}一般企業で^{はたら}働く^{くんれん}訓練の^{きかい}機会が^{じゅうじつ}充実している
- 12 その他 ()
- 13 ^{とく}特にな

【ここからはすべての方にお聞きします】

問32 外出したときに、困ったことはありますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------|----------|
| 1 よくある | 3 ほとんどない |
| 2 ときどきある | 4 ない |

問33 あなたが外出しやすくなるために、希望するものは何ですか。(〇は5つまで)

- | |
|--|
| 1 外出時の介助者の支援 |
| 2 歩道や点字ブロックなど道路のバリアフリー |
| 3 建物内のバリアフリー(ユニバーサルトイレ・エレベーター・自動ドアの設置など) |
| 4 わかりやすい案内表示の設置(道路や建物の中) |
| 5 緊急時に相談できる施設の案内(地蔵など) |
| 6 交通機関の職員の協力 |
| 7 交通費の助成 |
| 8 市民の理解や協力 |
| 9 安く安心して利用できる障害のある方専用の施設 |
| 10 その他() |

問34 あなたは、現在、福祉タクシー利用券又は自動車燃料給油券を受給していますか。(〇は1つ)

- | |
|----------------------------------|
| 1 福祉タクシー利用券を受給している ⇒問34-1、問34-3へ |
| 2 自動車燃料給油券を受給している ⇒問34-2、問34-3へ |
| 3 受給していない ⇒問35へ |

【福祉タクシー利用券】1月当たり500円×6枚のタクシーの利用に使うことのできる券を交付しているものです。

【自動車燃料給油券】1月当たり1,000円×1枚又は2枚の自動車燃料の給油に使うことのできる券を交付しているものです。

問34-1 問34で「1 福祉タクシー利用券を受給している」とお答えの方にお聞き
します。

あなたは福祉タクシー利用券をどれくらい利用していますか。(〇は1つ)

- 1 全て利用している
- 2 ほとんど利用している(受給枚数の半数以上)
- 3 あまり利用していない(受給枚数の半数未満)
- 4 全く利用していない

問34-2 問34で「2 自動燃料給油券を受給している」とお答えの方にお聞き
します。

あなたは自動車燃料給油券をどれくらい利用していますか。(〇は1つ)

- 1 全て利用している
- 2 ほとんど利用している(受給枚数の半数以上)
- 3 あまり利用していない(受給枚数の半数未満)
- 4 全く利用していない

問34-3 問34で「1 福祉タクシー利用券を受給している」又は「2 自動燃料
給油券を受給している」とお答えの方にお聞きします。

福祉タクシー利用券又は自動車燃料給油券を利用する際の行先はどこで
か。(〇はいくつでも)

- 1 病院
- 2 学校
- 3 福祉施設
- 4 職場
- 5 ショッピングセンター・飲食店など
- 6 市役所などの公共機関
- 7 趣味や余暇活動の場
- 8 その他 ()

問35 あなたはスポーツをしていますか。(○は1つ)

※「スポーツ」にはウォーキングやラジオ体操たいそうを含みます。

- | | |
|--|---|
| 1 週 <small>しゅう</small> に3日 <small>にち</small> 以上 <small>じょう</small> | 4 3か月 <small>げつ</small> に1～2日 <small>にち</small> |
| 2 週 <small>しゅう</small> に1～2日 <small>にち</small> | 5 年 <small>ねん</small> に1～3日 <small>にち</small> |
| 3 月 <small>がつ</small> に1～3日 <small>にち</small> | 6 していない ⇒ 問35-2へ |

問35-1 問35で「1」～「5」とお答えの方こた(スポーツかたをしている方かた)にお聞きします。

スポーツはだれとしていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--|---|
| 1 ひとり <small>ひとり</small> で | 7 市内 <small>しな</small> の一般 <small>いっぱん</small> のスポーツクラブ <small>な</small> の仲間 <small>な</small> |
| 2 家族 <small>かぞく</small> | 8 市内 <small>しな</small> の障害者 <small>しょうがいしや</small> スポーツサークル・団体 <small>だんたい</small> の仲間 <small>な</small> |
| 3 友人 <small>ゆうじん</small> ・知人 <small>ちじん</small> | 9 市外 <small>しがい</small> の一般 <small>いっぱん</small> のスポーツクラブ <small>な</small> の仲間 <small>な</small> |
| 4 職場 <small>しょくば</small> の同僚 <small>どうりょう</small> | 10 市外 <small>しがい</small> の障害者 <small>しょうがいしや</small> スポーツサークル・団体 <small>だんたい</small> の仲間 <small>な</small> |
| 5 福祉 <small>ふくし</small> ・医療施設 <small>いりようしせつ</small> の仲間 <small>な</small> や職員 <small>しょくいん</small> | 11 その他 <small>た</small> () |
| 6 学校 <small>がっこう</small> の仲間 <small>な</small> や教職員 <small>きょうしょくいん</small> | |

問35-2 問35で「6 していない」とお答えの方こたにお聞きします。

スポーツをしていないのはなぜですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--|---|
| 1 交通手段 <small>こうつうしゅだん</small> ・移動手段 <small>いどうしゅだん</small> がない | 12 時間 <small>じかん</small> がない |
| 2 スポーツをできる場所 <small>ばしよ</small> がない | 13 体力 <small>たいりよく</small> がない |
| 3 施設 <small>しせつ</small> がバリアフリーでない | 14 医師 <small>いし</small> から禁止 <small>きんし</small> されている |
| 4 施設 <small>しせつ</small> に利用 <small>りよう</small> を断 <small>ことわ</small> られる | 15 障害 <small>しょうがい</small> に適 <small>てき</small> したスポーツがない |
| 5 どこでできるのか情報 <small>じょうほう</small> を得 <small>え</small> られない | 16 やりたいと思 <small>おも</small> うスポーツがない |
| 6 どんなスポーツができるのか情報 <small>じょうほう</small> が得 <small>え</small> られない | 17 スポーツが苦手 <small>にがて</small> である |
| 7 指導者 <small>しどうしや</small> がない | 18 ケガをするのではないかと心配 <small>しんぱい</small> である |
| 8 介助者 <small>かいじょしや</small> がない | 19 人の目 <small>ひとめ</small> が気 <small>き</small> になる |
| 9 仲間 <small>な</small> がない | 20 一緒 <small>いっしょ</small> にスポーツをする人 <small>ひと</small> に迷惑 <small>めいわく</small> を掛 <small>か</small> けるのではないかと心配 <small>しんぱい</small> である |
| 10 家族 <small>かぞく</small> の負担 <small>ふたん</small> が大きい <small>おお</small> | 21 その他 <small>た</small> () |
| 11 金銭 <small>きんせん</small> 的な余裕 <small>よゆう</small> がない | 22 特に理由 <small>とくりゆう</small> はない |

【ここからはすべての方にお聞きします】

問36 あなたの現在の近所づきあいは次のどれに近いですか。(○は1つ)

- 1 日常親しく付き合っている
- 2 ときどき世間話をする
- 3 あいさつを交わす程度
- 4 ほとんど付き合いはない

問37 あなたは、今後の近所づきあいはどのようにしたいですか。(○は1つ)

- 1 日常親しく付き合いたい
- 2 ときどき世間話をするようにしたい
- 3 あいさつを交わす程度にしたい
- 4 ほとんど付き合いはなくてよい

福祉サービスについて

問38 あなたは、福祉サービスを利用していますか。(〇は1つ)

1 利用している

2 利用していない ⇒ 問39へ

問38-1 どんな福祉サービスを利用していますか。(〇はいくつでも)

- 1 自宅への訪問によるサービス(身体介護や家事、移動や外出の援助(ガイドヘルプを含む)など)
- 2 通所によるサービス(生活介護、自立訓練、地域活動支援センターなど)
- 3 障害児の通所によるサービス(児童発達支援、放課後等デイサービスなど)
- 4 就労のための相談や訓練(就労移行支援、就労継続支援など)
- 5 短期入所、グループホーム、入所施設
- 6 障害児の入所施設
- 7 相談支援(地域での生活や福祉サービスを利用するときの援助など)
- 8 手話や要約筆記、その他のコミュニケーションの支援
- 9 福祉用具
- 10 その他()

問38-2 問38で「1 利用している」とお答えの方にお聞きします。

福祉サービスを利用するとき何か困ったことがありましたか。

(〇はいくつでも)

- 1 必要な日や必要な時間に使いたいサービスが使えなかった
- 2 利用資格や条件があわず、使いたいサービスが使えなかった
- 3 サービスの支給量が少ない、支給時間が短い
- 4 どの事業者が良いのかわからない(事業者情報が不十分)
- 5 利用方法、契約方法がわからなかった(わかりにくかった)
- 6 利用してトラブルがあった
- 7 費用負担があるため、サービスが使いづらい
- 8 特に困ったことはない
- 9 その他()

啓発について

問44 相模原市では、障害の有無にかかわらずあらゆる人の尊厳が守られ、安全で安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、「共にささえあい 生きる社会」のキャッチフレーズのもと、様々な事業を行っています。あなたは、このキャッチフレーズを聞いたり、次のデザインを見たりしたことがありますか。(〇は1つ)



- 1 見た(聞いた)ことがある 2 見た(聞いた)ことがない

問45 あなたは、障害のある人もない人も共に地域で普通に生活できるように地域の理解を進めていくために、特に力を入れるべきことは何だと思いますか。

(〇は3つまで)

- 1 障害や障害者問題に関する啓発の充実
- 2 障害への理解を目的とする市民団体への支援
- 3 障害のある人へのボランティア活動の推進
- 4 市民交流を通じての理解と参加の促進
- 5 学校における福祉教育の充実
- 6 スポーツ活動や文化芸術活動を通じた交流の促進
- 7 障害のある人の積極的な社会への進出
- 8 福祉施設の地域への開放や、地域住民との交流
- 9 障害のある人の地域のまちづくりへの参加や建築物等のバリアフリー化
- 10 その他()
- 11 特にない

問46 障害者の「害」という表記について、あなたはどのようにお考えですか。

(○は1つ)

- 1 法律上も「害」という字が使われており、制度も含め、これまで使われてきた表記でもあり、問題ないと思う
- 2 「害」という表記は印象はよくないが、他に適当な表記が見当たらない
- 3 「害」という表記は印象がよくないので、ひらがななどの表記が好ましい
- 4 どちらともいえない
- 5 その他 ()

問47 あなたは、障害のある人が安心して生活するために望むことは何ですか。

(○はいくつでも)

- 1 障害者用市営住宅やグループホームなど、生活の場の整備
- 2 障害のある人の就労支援や雇用施策の充実
- 3 ホームヘルプサービスの充実
- 4 ショートステイの充実
- 5 特別支援教育の充実
- 6 児童発達支援や放課後等デイサービスの整備
- 7 機能訓練（リハビリテーションなど）の充実
- 8 年金や手当などの所得保障の充実
- 9 医療費の負担軽減
- 10 道路、交通機関、公共建築物などを利用しやすくするための施策の充実
- 11 点字図書、録音図書、手話放送、字幕放送などの情報提供の充実
- 12 手話通訳、要約筆記制度の充実
- 13 障害者スポーツ、芸術、文化活動など趣味や余暇活動に対する支援
- 14 防災対策の充実
- 15 障害等に関する周囲の理解の促進
- 16 成年後見制度など障害のある人の権利を守るための支援の充実
- 17 困ったとき、悩んだときのための相談窓口の充実
- 18 重症心身障害児者や強度行動障害者の受入先や支援の充実
- 19 生活介護などの医療的ケアを受け入れられる施設の整備
- 20 その他 ()

【ここからは問4、問4-4のいずれにも該当しない方、障害のない方がお答えください。】

問49 あなたと一緒に住んでいる家族は、あなたを含めて何人ですか。ご自分を含めた家族の人数をお答えください。(○は1つ)

1	自分1人	3	3人	5	5人
2	2人	4	4人	6	6人以上

問50 あなたご自身、相模原市にお住まいになってから何年になりますか。(○は1つ)

1	2年以内	3	6～10年	5	21～30年
2	3～5年	4	11～20年	6	31年以上

問50-1 現在のお住まいの地区はどこですか (○は1つ)

1	緑区	2	中央区	3	南区	4	市外
---	----	---	-----	---	----	---	----

問51 現在のお仕事についておうかがいします。(○は1つ)

1	会社員・公務員・団体職員	6	学生
2	商・工業自営	7	専業主婦(夫)
3	農林漁業者	8	家事手伝い
4	自由業 (開業医、弁護士、文筆家など)	9	その他
5	パート・アルバイト	10	無職

問52 あなたは、身近に障害のある人はいますか。または、いましたか。(○はいくつでも)

1	家族・親族
2	友人・知人・職場の同僚など
3	いない

しょうがいしゃふくし かんしん
障害者福祉への関心について

とい 問53 あなたは、障害のある人たちに関心をお持ちですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1 非常に関心がある | 3 あまり関心がない |
| 2 ある程度関心がある | 4 全く関心がない |

とい 問54 あなたは、障害のある人と交流したり、一緒に過ごしたりする機会がこれまでにどれくらいありましたか。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1 ほぼ毎日(家族、職場の同僚、クラスメイトなど) |
| 2 ときどき(趣味や余暇活動など) |
| 3 会話などを交わしたことがあるくらい(まちなかで障害のある人を介助した、バスの中でヘルプマークを持っている人に席を譲ったなど) |
| 4 これまで交流したり、過ごしたりしたことはない |

しょうがい ひと たい りかい
障害のある人に対する理解について

とい 問55 あなたは、障害者虐待防止法について知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

とい 問56 あなたは、障害者差別解消法について知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問57 あなたは、相模原市内では障害のある人に対し、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|------------|-------------------|
| 1 あると思う | 3 ほとんどないと思う ⇒問58へ |
| 2 少しはあると思う | 4 わからない ⇒問58へ |

問57-1 問57で「1 あると思う」「2 少しはあると思う」とお答えの方にお聞きします。

障害のある人に対する差別や偏見は改善されていると思いますか。

(〇は1つ)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 かなり改善されている | 4 改善されていない |
| 2 少しずつ改善されている | 5 どちらともいえない |
| 3 あまり改善されていない | 6 わからない |

問58 あなたは、普段の生活の中で、障害のある人への対応や理解が足りていると思いますか。(〇は1つ)

- | |
|------------------|
| 1 足りていると思う ⇒問59へ |
| 2 少し足りていないと思う |
| 3 全然足りていないと思う |
| 4 わからない ⇒問59へ |

問58-1 問58で「2 少し足りていないと思う」「3 全然足りていないと思う」とお答えの方にお聞きします。

それはどんな場合ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 教育の場 | 6 店員の対応や態度 |
| 2 職場での対応 | 7 行政職員の対応や態度 |
| 3 近所づきあい | 8 病院での診察 |
| 4 まちなかでの人の視線 | 9 交通機関や建築物の構造 |
| 5 地域の行事の集まり | 10 その他 |

()

問59 相模原市では、障害の有無にかかわらずあらゆる人の尊厳が守られ、安全で安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、「共にささえあい 生きる社会」のキャッチフレーズのもと、様々な事業を行っています。あなたは、このキャッチフレーズを聞いたり、次のデザインを見たりしたことがありますか。(〇は1つ)



- | | |
|----------------|----------------|
| 1 見た(聞いた)ことがある | 2 見た(聞いた)ことがない |
|----------------|----------------|

問60 あなたは、障害のある人への市民の理解を深めるためには、何が必要だと思えますか。(〇は3つまで)

- | |
|------------------------------------|
| 1 障害や障害者問題に関する啓発の充実 |
| 2 障害への理解を目的とする市民団体への支援 |
| 3 障害のある人へのボランティア活動の推進 |
| 4 市民交流を通じての理解と参加の促進 |
| 5 学校における福祉教育の充実 |
| 6 スポーツ活動や文化芸術活動を通じた交流の促進 |
| 7 障害のある人の積極的な社会への進出 |
| 8 福祉施設の地域への開放や、地域住民との交流 |
| 9 障害のある人の地域のまちづくりへの参加や建築物等のバリアフリー化 |
| 10 その他 () |
| 11 わからない |
| 12 理解を深める必要はない |

障害のある人への支援・ボランティアなど

問61 あなたは、障害のある人に対するボランティア活動に関心がありますか。

(〇は1つ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1 非常に関心がある | 3 あまり関心がない |
| 2 ある程度関心がある | 4 全く関心がない |

問62 あなたは、障害のある人に対するボランティア活動をしたことがありますか。

(○は1つ)

1 ある

2 ない

問62-1 問62で「1 ある」とお答えの方にお聞きします。

それは、どのような活動ですか。(○はいくつでも)

- 1 施設での手伝い
- 2 バザー・イベントなどの手伝い
- 3 旅行や外出の手伝い
- 4 募金活動の手伝い
- 5 生活面の援助
- 6 専門的スキルを活かした手伝い
- 7 その他 ()

問62-2 問62で「2 ない」とお答えの方にお聞きします。

ボランティア活動について、どのようにお考えですか。

(○はいくつでも)

- 1 活動したい気持ちはあるが、仕事や家事が忙しく時間がない
- 2 活動したい気持ちはあるが、きっかけがつかめない
- 3 身近に活動グループや仲間がいないのでよくわからない
- 4 健康に自信がないので難しい
- 5 興味を持てる活動がない
- 6 家族や職場の理解が得られないので難しい
- 7 ボランティア活動はしたくない
- 8 その他 ()

問63 あなたは、障害のある人にどんな支援や活動をしてみたいですか。

(○は3つまで)

- 1 コミュニケーション・情報伝達（手話・筆談・朗読など）
- 2 外出支援（まちを案内したりする外出サポート）
- 3 移送サービス（車いすでも乗れる車の手配、運転、乗り降りの介助など）
- 4 配食サービス（食事作りや配達、その際の声かけなど）
- 5 施設でのボランティア（話し相手、講師、介助や援助、行事の手伝いなど）
- 6 福祉関連イベントの開催、イベントでの付き合い
- 7 施設訪問等による交流事業
- 8 スポーツ・レクリエーション・リハビリテーション等の地域交流活動
- 9 専門的スキルを活かした教育・学習・指導活動
- 10 その他（)
- 11 特にない

障害のある人の就労・教育など

問64 あなたは、障害のある人が職場の同僚などとして、より雇用が進む必要があると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 そう思う ⇒問65 へ | 3 あまり思わない |
| 2 ある程度そう思う ⇒問65 へ | 4 全く思わない |
| | 5 どちらともいえない |
| | 6 わからない ⇒問65 へ |

問64-1 問64で「3 あまり思わない」「4 全く思わない」「5 どちらともいえない」とお答えの方にお聞きします。

なぜそう思いますか。(○は1つ)

- 1 職場のバリアフリーなどが整備されていないから
- 2 障害のある人への接し方やどんな配慮が必要かわからないから
- 3 職場での介助や仕事を教えたりすることが従業員の負担となるから
- 4 障害のある人はどのような仕事に適しているかわからないから
- 5 その他（)

問65 現在、障害のある人への就労支援施策が推進されています。あなたは、障害のある人が働くために、どのような条件が必要だと思えますか。

(○は3つまで)

- | | |
|----|-----------------------|
| 1 | 障害に合った仕事であること |
| 2 | 障害に合った勤務条件であること |
| 3 | 賃金が妥当であること |
| 4 | 障害がある人に配慮した設備が整っていること |
| 5 | 障害の状況に応じたサポート体制があること |
| 6 | 通勤手段があること |
| 7 | 自宅で仕事ができること |
| 8 | 障害に対する周囲の理解があること |
| 9 | 通院などの保障があること |
| 10 | その他 () |
| 11 | わからない |

問66 あなたは、障害のある児童・生徒の教育環境は、以下のどの学級、学校で整備されるのが良いと思えますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|--------|---|-----------------|
| 1 | 通常の学級 | 4 | 通常の学級と特別支援学級の併用 |
| 2 | 特別支援学級 | 5 | 児童・生徒の実態に応じて異なる |
| 3 | 特別支援学校 | 6 | その他 () |

問67 あなたは、障害のある児童・生徒の教育に関し、どのようなことが必要であると思えますか。(○は2つまで)

- | | |
|----|----------------------------|
| 1 | 児童・生徒の障害の状況に応じた学習指導の充実 |
| 2 | スロープなど、児童・生徒の障害に対応した施設設備 |
| 3 | 特別支援教育の理解・啓発の推進 |
| 4 | 教育・保健・医療・福祉などの関係機関の連携 |
| 5 | 潜在的疾病や身体発育などの早期発見・適切な治療や指導 |
| 6 | 障害のある児童・生徒の保護者に対する精神的な支援 |
| 7 | 障害のある児童・生徒の保護者に対する経済的な支援 |
| 8 | 通学に対する支援(送迎など) |
| 9 | 障害に対する周囲の理解 |
| 10 | その他 () |
| 11 | 特になし |

福祉のまちづくり

問68 まちの環境は、障害のある人が外出しやすく改善されていると思いますか。

(○は1つ)

1 かなり改善されている	4 改善されていない
2 少しずつ改善されている	5 どちらともいえない
3 あまり改善されていない	6 わからない

問69 あなたは、障害のある人にとって次の施設などは使い勝手が良いと思いますか。

(ア～クの各項目それぞれ1つに○)

	利用 しやすい	やや利用 しやすい	どちらとも いえない	やや利用 しにくい	利用 しにくい
記入例)	5	④	3	2	1
ア 道路および周辺の整備	5	4	3	2	1
イ 駅舎および周辺の整備	5	4	3	2	1
ウ 公共施設および周辺の整備	5	4	3	2	1
エ 商業施設および周辺の整備	5	4	3	2	1
オ 公園および周辺の整備	5	4	3	2	1
カ 電車の乗り降り	5	4	3	2	1
キ バスの乗り降り	5	4	3	2	1
ク 公共交通機関の乗り継ぎ	5	4	3	2	1

相模原市の障害者施策

問70 あなたは、相模原市は障害のある人にとって暮らしやすいまちだと思いますか。

(○は1つ)

1 とても暮らしやすい	4 暮らしにくい
2 どちらかという暮らしやすい	5 どちらともいえない
3 どちらかという暮らしにくい	6 わからない

問71 相模原市が障害のある人にとって暮らしやすいまちになるには、次のうちの分野に重点的に取り組むことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1 労働・雇用	7 道路や建築物等のバリアフリー化
2 教育・学習	8 情報のバリアフリー化
3 所得保障	9 日常生活支援
4 保健・医療体制の充実	10 社会参加・外出支援
5 総合的な相談体制の充実	11 各種制度の自己負担額の更なる軽減
6 権利擁護・虐待防止	12 防災
	13 差別の解消
	14 その他 ()

問72 障害者の「害」という表記について、あなたはどのようにお考えですか。

(〇は1つ)

1 法律上も「害」という字が使われており、制度も含め、これまで使われてきた表記でもあり、問題ないと思う
2 「害」という表記は印象はよくないが、他の適当な表記が見当たらない
3 「害」という表記は印象がよくないので、ひらがななどの表記が望ましい
4 どちらともいえない
5 その他 ()

問73 最後に、市の障害のある人への福祉施策について、ご意見やご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。

記入もれがないかももう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、**令和4年12月28日(水)までに**お近くのポストに投函してください。

さがみはらししょうがいふくしけいかくとうさくてい 相模原市障害福祉計画等策定のためのアンケート調査

きょうりよく ねが 協力をお願い

しみん みな 市民の皆さまにおかれましては、ひごろ せいせい たい 日頃から市政に対しご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さがみはらし れいわ ねんどう しょうがいふくし とう ていきょうたいせい かくほうを 相模原市では、令和5年度に障害福祉サービス等の提供体制の確保等を総合的かつ計画的に図るための計画である障害福祉計画等の策定を予定しています。そのため、しみん みな ふくし かん いしき いこう はあく けいかくさくてい や施策推進に役立てるために調査を実施するものです。

ちようさ たいしょうしゅ しな い す この調査の対象者は、市内にお住まいの18歳以上の方の中から、無作為抽出で選ばせていただきました（令和4年11月30日時点）。

ちようさ けっか どうけいてき しより ちようさ もくてきがい しょう 調査結果はすべて統計的に処理するもので、この調査の目的以外に使用することはありません。

いそが たいへんきょうしゆく ちようさ しゅし じゅうぶん りかい きょうりよく お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨を充分ご理解いただきご協力をくださいますようお願い申し上げます。

れいわ ねん がつ 令和4年12月

さがみはらしちよう もとむら けんたろう 相模原市長 本村 賢太郎

どうふう へんしんようふうとう かいとう か い 同封の「返信用封筒」に、回答を書き入れたこの調査票を入れて、
れいわ ねん がつ 28日（水）までに ゆうびん とうかん 郵便ポストに投函してください。

きって はる ひつよう 切手を貼る必要はありません。

- 本調査はインターネットでも回答可能です。 インターネットでの回答可能な方については、右記のコードを読み込んでいただき、インターネットの回答用ページからご回答をお願いいたします。



（インターネットでご回答いただいた場合は、この調査票は破棄してください）

- この調査票には、名前を書く必要はありません。
- 調査票についてご不明な点は、下記お問合せ先までご連絡ください。

お問い合わせ先（土曜・日曜・祝日を除く、午前8時30分から午後5時15分まで）

さがみはらし けんこうふくしきょく ちいきほうかつ すいしんぶ ちいきほうかつ すいしんか
相模原市 健康福祉局 地域包括ケア推進部 地域包括ケア推進課

でん わ 電話 042 (769) 9222 (直通)

FAX 042 (759) 4395

e-mail houkatsucare@city.sagamihara.kanagawa.jp

記入上のお願い

- 回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。
- 回答が「その他」になる場合は、()内にその内容を書いてください。
- 回答が難しかったり、回答したくない質問には答えなくても構いません。

あなたのことについて

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- 1 男性 2 女性 3 その他

問2 あなたの年齢(令和4年12月1日現在)をお答えください。(数字を記入)

(歳)

問3 あなたと一緒に住んでいる家族は、あなたを含めて何人ですか。ご自身を含めた家族の人数をお答えください。(○は1つ)

- 1 自分1人 3 3人 5 5人
2 2人 4 4人 6 6人以上

問4 あなたご自身、相模原市にお住まいになってから何年になりますか。(○は1つ)

- 1 2年以内 3 6～10年 5 21～30年
2 3～5年 4 11～20年 6 31年以上

問4-1 現在のお住まいの地区はどこですか。(○は1つ)

- 1 緑区 2 中央区 3 南区 4 市外

問5 現在のお仕事についておうかがいします。(○は1つ)

- 1 会社員・公務員・団体職員 6 学生
2 商・工業自営 7 専業主婦(夫)
3 農林漁業者 8 家事手伝い
4 自由業(開業医、弁護士、文筆家など) 9 その他()
5 パート・アルバイト 10 無職

問6 あなたは、身近に障害のある人はいますか。または、いましたか。(○はいくつでも)

- 1 家族・親族 3 いない
2 友人・知人・職場の同僚など

問7 あなたは、障害のある人たちに関心をお持ちですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 非常に <u>関心</u> がある | 3 あまり <u>関心</u> がない |
| 2 ある程度 <u>関心</u> がある | 4 全く <u>関心</u> がない |

問8 あなたは、障害のある人と交流したり、一緒に過ごしたりする機会がこれまでどれくらいありましたか。(○は1つ)

- | |
|---|
| 1 ほぼ毎日(家族、職場の同僚、クラスメイトなど) |
| 2 ときどき(趣味や余暇活動など) |
| 3 会話などを <u>交</u> わしたことがあるくらい(まちなかで障害のある人を介助した、バスの中でヘルプマークを持っている人に席を譲ったなど) |
| 4 これまで交流したり、 <u>過</u> ごしたりしたことはない |

障害のある人に対する理解について

問9 あなたは、障害者虐待防止法について知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 <u>知</u> っている | 2 <u>知</u> らない |
|-----------------|----------------|

問10 あなたは、障害者差別解消法について知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 <u>知</u> っている | 2 <u>知</u> らない |
|-----------------|----------------|

問11 あなたは、相模原市内では障害のある人に対し、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1 <u>あ</u> ると思う | 3 ほとんど <u>な</u> いと思う ⇒問12へ |
| 2 <u>少</u> しは <u>あ</u> ると思う | 4 <u>わ</u> からない ⇒問12へ |

問11で「1 あると思う」「2 少しはあると思う」とお答えの方にお聞きします。

問11-1 障害のある人に対する差別や偏見は改善されていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1 かなり改善されている | 4 改善されていない |
| 2 <u>少</u> しずつ改善されている | 5 どちらともいえない |
| 3 あまり改善されていない | 6 <u>わ</u> からない |

問12 あなたは、普段の生活の中で、障害のある人への対応や理解が足りていると思いますか。(○は1つ)

1 足りていると思う ⇒問13へ

2 少し足りていないと思う

3 全然足りていないと思う

4 わからない ⇒問13へ

問12で「2 少し足りていないと思う」「3 全然足りていないと思う」とお答えの方にお聞きします。

問12-1 それはどんな場合ですか。(○はいくつでも)

1 教育の場

6 店員の対応や態度

2 職場での対応

7 行政職員の対応や態度

3 近所づきあい

8 病院での診察

4 まちなかでの人の視線

9 交通機関や建築物の構造

5 地域の行事の集まり

10 その他()

問13 相模原市では、障害の有無にかかわらずあらゆる人の尊厳が守られ、安全で安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、「共にささえあい 生きる社会」のキャッチフレーズのもと、様々な事業を行っています。あなたは、このキャッチフレーズを聞いたり、次のデザインを見たりしたことがありますか。(○は1つ)



1 見た(聞いた)ことがある

2 見た(聞いた)ことがない

問14 あなたは、障害のある人への市民の理解を深めるためには、何が必要だ
 と思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|----|----------------------------------|
| 1 | 障害や障害者問題に関する啓発の充実 |
| 2 | 障害への理解を目的とする市民団体への支援 |
| 3 | 障害のある人へのボランティア活動の推進 |
| 4 | 市民交流を通じての理解と参加の促進 |
| 5 | 学校における福祉教育の充実 |
| 6 | スポーツ活動や文化芸術活動を通じた交流の促進 |
| 7 | 障害のある人の積極的な社会への進出 |
| 8 | 福祉施設の地域への開放や、地域住民との交流 |
| 9 | 障害のある人の地域のまちづくりへの参加や建築物等のバリアフリー化 |
| 10 | その他 () |
| 11 | わからない |
| 12 | 理解を深める必要はない |

障害のある人への支援・ボランティアなど

問15 あなたは、障害のある人に対するボランティア活動に関心がありますか。
 (〇は1つ)

- | | | | |
|---|-----------|---|----------|
| 1 | 非常に関心がある | 3 | あまり関心がない |
| 2 | ある程度関心がある | 4 | 全く関心がない |

問16 あなたは、障害のある人に対するボランティア活動をしたことがありますか。(○は1つ)

1 ある

2 ない

問16で「1 ある」とお答えの方にお聞きします。

問16-1 それは、どのような活動ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 施設での手伝い | 5 生活面の援助 |
| 2 バザー・イベントなどの手伝い | 6 専門的スキルを活かした手伝い |
| 3 旅行や外出の手伝い | 7 その他() |
| 4 募金活動の手伝い | |

問16で「2 ない」とお答えの方にお聞きします。

問16-2 ボランティア活動について、どのようにお考えですか。(○はいくつでも)

- 活動したい気持ちはあるが、仕事や家事が忙しく時間がない
- 活動したい気持ちはあるが、きっかけがつかめない
- 身近に活動グループや仲間がないのでよくわからない
- 健康に自信がないので難しい
- 興味を持てる活動がない
- 家族や職場の理解が得られないので難しい
- ボランティア活動はしたくない
- その他()

問17 あなたは、障害のある人にどんな支援や活動をしてみたいですか。
 (〇は3つまで)

- 1 コミュニケーション・情報伝達(手話・筆談・朗読など)
- 2 外出支援(まちを案内したりする外出サポート)
- 3 移送サービス(車いすでも乗れる車の手配、運転、乗り降りの介助など)
- 4 配食サービス(食事作りや配達、その際の声かけなど)
- 5 施設でのボランティア(話し相手、講師、介助や援助、行事の手伝いなど)
- 6 福祉関連イベントの開催、イベントでの付き添い
- 7 施設訪問等による交流事業
- 8 スポーツ・レクリエーション・リハビリテーション等の地域交流活動
- 9 専門的スキルを活かした教育・学習・指導活動
- 10 その他()
- 11 特になし

障害のある人の就労・教育など

問18 あなたは、障害のある人が職場の同僚などとして、より雇用が進む必要があると思いますか。(〇は1つ)

- 1 そう思う ⇒問19へ
- 2 ある程度そう思う ⇒問19へ
- 3 あまり思わない
- 4 全く思わない
- 5 どちらともいえない
- 6 わからない ⇒問19へ

問18で「3 あまり思わない」「4 全く思わない」「5 どちらともいえない」とお答えの方にお聞きします。

問18-1 なぜそう思いますか。(〇は1つ)

- 1 職場のバリアフリーなどが整備されていないから
- 2 障害のある人への接し方やどんな配慮が必要かわからないから
- 3 職場での介助や仕事を教えたりすることが従業員の負担となるから
- 4 障害のある人はどのような仕事が適しているかわからないから
- 5 その他()

問19 現在、障害のある人への就労支援施策が推進されています。あなたは、
 障害のある人が働くために、どのような条件が必要だと思いますか。
 (〇は3つまで)

- 1 障害に合った仕事であること
- 2 障害に合った勤務条件であること
- 3 賃金が妥当であること
- 4 障害がある人に配慮した設備が整っていること
- 5 障害の状況に応じたサポート体制があること
- 6 通勤手段があること
- 7 自宅で仕事ができること
- 8 障害に対する周囲の理解があること
- 9 通院などの保障があること
- 10 その他 ()
- 11 わからない

問20 あなたは、障害のある児童・生徒の教育環境は、以下のどの学級、学校
 で整備されるのが良いと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------|-------------------|
| 1 通常の学級 | 4 通常の学級と特別支援学級の併用 |
| 2 特別支援学級 | 5 児童・生徒の実態に応じて異なる |
| 3 特別支援学校 | 6 その他 () |

問21 あなたは、障害のある児童・生徒の教育に関し、どのようなことが必要
 であると思いますか。(〇は2つまで)

- 1 児童・生徒の障害の状況に応じた学習指導の充実
- 2 スロープなど、児童・生徒の障害に対応した施設設備
- 3 特別支援教育の理解啓発の推進
- 4 教育・保健・医療・福祉などの関係機関の連携
- 5 潜在的疾病や身体発育などの早期発見・適切な治療や指導
- 6 障害のある児童・生徒の保護者に対する精神的な支援
- 7 障害のある児童・生徒の保護者に対する経済的な支援
- 8 通学に対する支援(送迎など)
- 9 障害に対する周囲の理解
- 10 その他 ()
- 11 特になし

ふくし 福祉のまちづくり

問22 まちの環境は、障害のある人が外出しやすく改善されていると思いますか。(〇は1つ)

1 かなり改善されている	4 改善されていない
2 少しずつ改善されている	5 どちらともいえない
3 あまり改善されていない	6 わからない

問23 あなたは、障害のある人にとって次の施設などは使い勝手が良いと思いますか。(ア～クの各項目それぞれ1つに〇)

	利用 しやすい	やや利用 しやすい	どちらとも いえない	やや利用 しにくい	利用 しにくい
記入例)	5	④	3	2	1
ア 道路および周辺の整備	5	4	3	2	1
イ 駅舎および周辺の整備	5	4	3	2	1
ウ 公共施設および周辺の整備	5	4	3	2	1
エ 商業施設および周辺の整備	5	4	3	2	1
オ 公園および周辺の整備	5	4	3	2	1
カ 電車の乗り降り	5	4	3	2	1
キ バスの乗り降り	5	4	3	2	1
ク 公共交通機関の乗り継ぎ	5	4	3	2	1

さがみはらし しょうがいしゃさく 相模原市の障害者施策

問24 あなたは、相模原市は障害のある人にとって暮らしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

1 とても暮らしやすい	4 暮らしにくい
2 どちらかという暮らしやすい	5 どちらともいえない
3 どちらかという暮らしにくい	6 わからない

問25 相模原市が障害のある人にとって暮らしやすいまちになるには、次のうちの分野に重点的に取り組むことが必要だと思いますか。
 (〇は3つまで)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 労働・雇用 | 8 情報のバリアフリー化 |
| 2 教育・学習 | 9 日常生活支援 |
| 3 所得保障 | 10 社会参加・外出支援 |
| 4 保健・医療体制の充実 | 11 各種制度の自己負担額の更なる軽減 |
| 5 総合的な相談体制の充実 | 12 防災 |
| 6 権利擁護・虐待防止 | 13 差別の解消 |
| 7 道路や建築物等のバリアフリー化 | 14 その他() |

問26 障害者の「害」という表記について、あなたはどのようにお考えですか。
 (〇は1つ)

- | |
|---|
| 1 法律上も「害」という字が使われており、制度も含め、これまで使われてきた表記でもあり、問題ないと思う |
| 2 「害」という表記は印象はよくないが、他の適当な表記が見当たらない |
| 3 「害」という表記は印象がよくないので、ひらがななどの表記が望ましい |
| 4 どちらともいえない |
| 5 その他() |

問27 最後に、市の障害のある人への福祉施策について、ご意見やご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。

記入もれがないかももう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、**令和4年12月28日(水)までに**お近くのポストに投函してください。

相模原市障害福祉計画等策定基礎調査
報 告 書

令和5年3月

調査主体 相模原市 健康福祉局 地域包括ケア推進部 地域包括ケア推進課
〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15
TEL : 042-769-9222 FAX : 042-759-4395